

府中市

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

(第8期)策定のための調査報告書

令和2年3月

府 中 市

目次

第1部 調査の概要	1
第1章 アンケート調査の概要	2
1 - 1 調査の種類と対象者	2
1 - 2 各調査の概要	3
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
(2) 要支援・要介護認定者調査	7
(3) 在宅介護実態調査	10
(4) 介護保険サービス提供事業者調査	12
(5) 介護支援専門員調査	15
(6) 医療機関調査	18
1 - 3 報告書を利用するにあたって	21
(1) 集計結果の表記方法	21
(2) グラフ・表の見方	21
第2部 アンケート調査	23
第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	24
1 - 1 調査結果の概要	24
(1) 回答者について	24
(2) 就労状況について	29
(3) 生活状況について	32
(4) からだを動かすことについて	39
(5) 食べることについて	46
(6) 毎日の生活について	51
(7) 地域生活と日ごろの活動について	57
(8) 認知症について	73
(9) たすけあいについて	79
(10) 健康づくりや介護予防などについて	87
(11) 災害時の対応について	97
(12) 情報について	100
(13) 介護保険について	103
(14) 高齢者保健福祉サービスについて	105
(15) 在宅療養について	106
(16) 高齢者の権利擁護について	109
1 - 2 テーマ別分析（生活機能の地域・基本属性別分析）	111

(1) 基本属性の比較	111
(2) 生活機能等の結果の比較	114
(3) 地域の取組等の結果の比較	117
1 - 3 調査結果から見えた課題	124
第2章 要支援・要介護認定者調査	127
2 - 1 調査結果の概要	127
(1) 回答者について	127
(2) 住まいについて	133
(3) 医療について	136
(4) 介護保険について	142
(5) 利用者本位のサービスのあり方について	155
(6) 高齢者の権利擁護について	159
(7) 高齢者保健福祉サービスについて	161
(8) 認知症について	165
(9) 地域生活と日ごろの活動について	169
(10) 災害時の対応について	176
(11) 在宅療養について	179
(12) 主な介護者の状況や意向について	185
2 - 2 調査結果から見えた課題	199
第3章 在宅介護実態調査	201
3 - 1 調査結果の概要	201
(1) 回答者について	201
(2) 主な介護者の就労状況について	209
(3) 介護保険認定データ	211
3 - 2 テーマ別分析	215
(1) 要介護度等の概要別にみた状況	215
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援	219
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備	225
(4) 将来の世帯類型の変化に対応した支援・サービスの提供体制	229
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援	232
3 - 2 調査結果から見えた課題	235
第4章 介護保険サービス提供事業者調査	236
4 - 1 調査結果の概要	236
(1) 回答者について	236
(2) 事業運営について	238
(3) サービス提供における課題について	244

(4) サービスの質の向上と人材確保に向けた取組について	248
(5) 認知症患者のサービス利用について	255
(6) 医療と介護の連携の状況について	258
(7) 共生型サービスについて	269
(8) 災害時等の体制について	270
(9) 地域との関わりについて	276
(10) 事故やトラブルの対応策について	279
(11) 市への意見・要望について	284
4 - 2 調査結果から見えた課題	286
第5章 介護支援専門員調査	288
5 - 1 調査結果の概要	288
(1) 回答者について	288
(2) ケアマネジャー業務の担当状況について	291
(3) ケアプランの作成状況について	292
(4) 担当地域におけるサービスの状況について	294
(5) サービス提供事業所等との関わりについて	302
(6) サービス担当者会議について	305
(7) 地域包括支援センターの役割について	307
(8) サービス利用者の在宅医療の状況について	308
(9) 認知症患者のサービス利用について	313
(10) 医療と介護の連携の状況について	316
(11) ケアマネジャー業務全般について	322
(12) 市への意見・要望について	331
5 - 2 調査結果から見えた課題	333
第6章 医療機関調査	335
6 - 1 調査結果の概要	335
(1) 回答者について	335
(2) 医療と介護の連携の状況について	336
(3) 診療所（医師の方）について	348
(4) 歯科診療所（歯科医師の方）について	352
(5) 薬局（薬剤師の方）について	355
(6) 訪問看護ステーション（訪問看護師の方）について	357
(7) 病院の退院支援担当医者(医療ソーシャルワーカー、看護師)について	359
(8) 地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携について	361
6 - 2 調査結果から見えた課題	369

第1部 調査の概要

第1章 アンケート調査の概要

1 - 1 調査の種類と対象者

本調査は、市民やサービス従事者の高齢者保健福祉や介護保険制度に対する意見やニーズを把握し、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）策定のための基礎資料を得ることを目的に、以下の6種類の調査を実施した。

調査の種類と対象者

調査種別	調査対象	配布数(件)
市民調査	・ 65歳以上の市民で認定を受けていない者 ・ 65歳以上の市民で要支援1・2の認定者 令和元年11月1日現在の住民基本台帳及び要支援認定者から無作為抽出	2,600 1,000 計 3,600
	認定を受けている65歳以上の市民で ・ 居宅サービス利用者 ・ 施設サービス利用者 ・ サービス未利用者 令和元年10月1日現在の住民基本台帳及び要介護認定者から無作為抽出	1,800 800 600 計 3,200
	・ 市内の在宅で生活している要支援・要介護認定者のうち、令和元年6月以降に更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた者	675
事業者調査	・ 市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所	278
	・ 市内の居宅介護支援事業所に在籍する全ての介護支援専門員	170 (55事業所)
	・ 市内の医療機関(病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション)	467

1 - 2 各調査の概要

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査の目的

要介護状態になる前の高齢者リスクや社会参加状況を把握することで地域課題を特定し、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合いの体制づくり、介護予防の推進等について検討する。

認知症、権利擁護などに対する意識やニーズを把握し、高齢者施策の推進について検討する。

調査対象

- ・ 65歳以上の市民で要支援・要介護認定を受けていない者：2,600人
- ・ 65歳以上の市民で要支援1、2の認定者：1,000人

令和元年11月1日現在の住民基本台帳及び要支援認定者から無作為抽出

調査方法

- ・ 郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

調査時期

- ・ 令和元年11月22日～12月9日

回収率

発送・配布数	回収数（率）	有効回収数（率）
3,600	2,572 71.4（%）	2,571 71.4（%）

調査項目

項目	設問	設問
A 基本属性		
F 1		性別
F 2		年齢
F 3		居住地域
F 4		家族構成 / 世帯の状況
B 就労状況		
問 1		収入のある仕事の有無
問 1-1		何歳まで仕事をしたいか
問 1-2		仕事を続けるうえで重視する点
C 生活状況		
問 2		要支援認定の状況
問 3		介護・介助の状況
問 3-1		主な介護・介助者
問 4		介護が必要になった時に生活したい場所
問 5		経済的にみた暮らしの状況
問 6		住まい（一戸建て、集合住宅など）
問 7		住まいや住環境で困っていること
D からだを動かすこと		
問 8		手すりを使わずに階段を昇降すること
問 9		椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること
問 10		15分位続けて歩くこと
問 11		過去1年間に転んだ経験
問 12		転倒に対する不安
問 13		外出状況
問 14		昨年と比べた外出の回数
E 食えること		
問 15		身長・体重（BMI）
問 16		半年前と比べて固いものが食べにくくなったか
問 17		歯の数と入れ歯の利用状況
問 17-1		毎日入れ歯の手入れをしているか
問 18		誰かと食事をともにする機会
F 毎日の生活		
問 19		物忘れの様子
問 20		バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）
問 21		自分で食品・日用品の買物をする事
問 22		自分で食事の用意をする事
問 23		自分で請求書の支払いをする事
問 24		自分で預貯金の出し入れをする事

G 地域生活と日ごろの活動	
問 25	会・グループ等への参加状況
問 26	地域づくり活動への参加者としての参加意向
問 27	地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向
問 28	これから参加したい活動
問 29	敬老の日記念大会の参加状況
問 29-1	その理由（自由回答）
問 30	敬老の日記念大会の参加意向
問 30-1	その理由（自由回答）
問 31	高齢者保養所利用助成の利用状況
問 32	生きがいの有無
問 33	生きがいづくり事業として望む支援（自由回答）
問 34	友人・知人と会う頻度
H 認知症	
問 35	本人又は家族に認知症の症状があるか
問 36	認知症に関する相談窓口を知っているか
問 36-1	知っている相談窓口
問 37	認知症に対するイメージ
問 38	認知症について知っていること
問 39	認知症予防啓発活動への参加状況
問 40	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと
I たすけあい	
問 41	心配事や愚痴を聞いてくれる人
問 42	心配事や愚痴を聞いてあげる人
問 43	看病や世話をしてくれる人
問 44	看病や世話をしてあげる人
問 45	近所づきあいの程度
問 46	地域からの役割の期待
問 47	地域の支え合い（手助けできること、過去に手助けしたこと、手助けしてほしいこと）
J 健康づくりや介護予防など	
問 48	主観的健康観
問 49	主観的幸福度
問 50	1か月間にゆううつな気持ちになったりしたことがあったか
問 51	1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか
問 52	喫煙の状況
問 53	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無
問 54	治療中の病気
問 55	介護予防に対する考え
問 56	介護予防事業の参加状況
問 56-1	介護予防事業の成果
K 災害時の対応	
問 57	災害時に助けてくれる人
問 58	災害に備えて取り組んでいること
問 59	災害時に手助けが必要な人にできること

L 情報	
問 60	健康や介護、福祉サービス、地域活動の情報入手先
問 61	暮らしの問題や福祉に関する相談先
問 61-1	地域包括支援センターの利用状況
M 介護保険	
問 62	介護保険サービスの認知度
N 高齢者保健福祉サービス	
問 63	高齢者保健福祉サービスに対する利用意向
O 在宅療養	
問 64	自宅で療養を続けたいと思うか
問 64-1	療養は可能だと思うか
問 64-2	そう思わない、難しいと思う理由
P 高齢者の権利擁護	
問 65	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度
Q 市への意見・要望	
問 66	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望（自由回答）

(2) 要支援・要介護認定者調査

調査の目的

要支援・要介護認定者のサービス利用状況や利用意向を把握することで、サービス水準の設定やサービス提供体制のあり方について検討する。

主な介護者の介護状況や意向を把握することで、介護者支援策の充実について検討する。

調査対象

- ・認定を受けている65歳以上の市民で居宅サービス利用者：1,800人
- ・認定を受けている65歳以上の市民で施設サービス利用者：800人
- ・認定を受けている65歳以上の市民でサービス未利用者：600人

令和元年10月1日現在の住民基本台帳尾及び要支援・要介護認定者から無作為抽出

本調査における「施設サービス利用者」は、次の10項目のサービスのいずれかを利用している者とする

認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護（短期除く）、介護老人福祉施設サービス、介護老人保健施設サービス、介護療養型医療施設サービス、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護医療院サービス

調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
居宅サービス利用者	1,800	1,236	(68.7%)	1,223	(67.9%)
施設サービス利用者	800	396	(49.5%)	361	(45.1%)
サービス未利用者	600	427	(71.2%)	418	(69.7%)
合計	3,200	2,059	(64.3%)	2,002	(62.6%)

調査項目

項目	設問	設問
A 基本属性		
	F 1	性別
	F 2	年齢
	F 3	世帯の状況
	F 4	居住地域
B 住まい		
	問 1	住まい（一戸建て、集合住宅など）
	問 1-1	住まいや住環境で困っていること
C 医療		
	問 2	現在治療中の病気の有無
	問 3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無
	問 4	現在受けている医療処置
	問 5	訪問診療の有無
D 介護保険		
	問 6	要介護度
	問 7	最初に要介護認定を受けた時期
	問 8	要介護認定を受けたきっかけ
	問 9	介護保険サービスの利用の有無
	問 9-1	介護保険サービスを利用していない理由
	問 9-2 (1)	介護保険サービスの利用状況 / 施設・居住系サービス
	問 9-2 (2)	介護保険サービスの利用状況 / 自宅で生活をしながら利用するサービス
	問 9-3 (1)	介護保険サービスの総合的な満足度
	問 9-3 (2)	総合的な満足度の基準
	問 10	今後生活したいところ
	問 11	施設入所の検討状況
	問 11-1	その理由
E 利用者本位のサービスのあり方		
	問 12	現在のケアプランの満足度
	問 12-1	ケアプランの不満の内容
	問 13	ケアマネジャーの評価
F 高齢者の権利擁護		
	問 14	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度
G 高齢者保健福祉サービス		
	問 15	高齢者保健福祉サービスに対する利用意向
	問 16	民間サービスの利用状況
H 認知症		
	問 17	認知症について知っていること
	問 18	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと

I 地域生活と日ごろの活動	
問 19	主観的幸福度
問 20	隣近所の人とのつきあいの程度
問 21	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け
問 22	生きがいの有無
問 23	これから参加したい活動
J 災害時の対応	
問 24	災害時に手助けをしてくれる人
問 25	災害時に手助けをしてもらいたいこと
K 在宅療養	
問 26	自宅で療養を続けたいと思うか
問 26-1	療養は可能だと思うか
問 26-2	そう思わない、難しいと思う理由
L 市への意見・要望	
問 27	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望（自由回答）
M 主な介護者の状況や意向	
問 28	主な介護者
問 29	主な介護者の年齢
問 30	主な介護者の居住地
問 31	介護している期間
問 32	1日に介護している平均時間
問 33	被介護者が生活するのによいところ
問 34	介護をしていくうえでの問題点
問 35	介護をされていて良かったと思うこと
問 36	介護者支援として必要と思うもの
問 37	市への意見・要望（自由回答）

(3) 在宅介護実態調査

調査の目的

要介護者の在宅生活の継続や介護者の就労継続に有効なサービスのあり方を検討する。

調査対象

・市内の在宅で生活している要支援・要介護認定者のうち、令和元年6月以降に更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた者

調査方法

・認定調査員による聞き取り調査

調査時期

・令和元年6月1日～12月27日

回収率

調査対象数	回収数(率)		有効回収数(率)	
675	675	100.0%	675	100.0%

調査項目

項目	設問	設問
A票 調査対象者（本人）の状況		
問1		世帯類型
問2		家族等の介護の頻度
問3		主な介護者の本人との関係
問4		主な介護者の性別
問5		主な介護者の年齢
問6		主な介護者が行っている介護
問7		介護のための離職の有無
問8		介護保険外の支援・サービスの利用状況
問9		在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス
問10		施設等検討の状況
問11		本人が抱えている傷病
問12		訪問診療の利用の有無
問13		（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用の有無
問14		介護保険サービス未利用の理由
B票 主な介護者の状況		
問1		主な介護者の勤務形態
問2		主な介護者の方の働き方の調整の状況
問3		就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援
問4		主な介護者の就労継続の可否に係る意識
問5		今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

(4) 介護保険サービス提供事業者調査

調査の目的

介護保険サービスを提供している事業所の運営状況や今後の事業展開、市への意見や要望等を把握することで、介護職員の離職防止や人材確保の取組、医療介護連携の推進などについて検討する。

調査対象

- ・市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所 278 事業所

調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

回収率

発送・配布数	回収数（率）	有効回収数（率）
278	199 (71.6%)	199 (71.6%)

調査項目

項目	設問	設問
A 基本属性		
	問1(1)	提供しているサービス
	問1(2)	他に提供しているサービス
	問1(3)	介護保険以外のサービスの提供の有無
B 事業運営		
	問2	昨年度の事業採算
	問3(1)	職員の離職状況
	問3(2)	離職理由
	問3(3)	離職防止策
	問4	介護従業員の処遇改善について
C サービス提供における課題		
	問5	サービス提供時の困難ケースの有無
	問5-1	困難ケースの内容
	問5-2	困難ケース対応にあたり必要な行政支援(自由回答)
	問6	介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの提供の有無
	問6-1	総合事業を提供しない理由
	問6-2	総合事業を進めていくうえでの課題
D サービスの質の向上と人材確保に向けた取組		
	問7	サービスの質の向上に対する取組
	問8	確保困難な職種
	問9	人材を確保するための取組
	問10	人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために有効と考える支援策
	問11	職員の研修・教育等に関して困っていること
	問12	事業所内での研修の実施状況
	問13	外部の研修等への参加支援の状況
	問14	福祉サービス第三者評価の受審の有無
	問14-1	受審していない理由
E 認知症患者のサービス利用		
	問15	認知症の利用者の状況で実際にあること
	問16	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法
	問17	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携
	問18	認知症患者の支援に必要となること

F 医療と介護の連携の状況	
問 19	市内の在宅療養者への医療と介護の連携の状況
問 19-1	医療と介護が連携していないと思う理由
問 20	退院前(時)カンファレンスへの出席状況
問 21	医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化について
問 22	医療機関との間での問題やトラブルの有無
問 22-1	医療機関との間で発生した問題やトラブルの内容(自由回答)
問 23	関係機関、職種との連携状況
問 24	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職
問 25	利用者の医学的な情報の把握状況
問 26	医療と介護の連携を図るために必要なこと
問 27	医療と介護の連携で苦労していること(自由回答)
問 28	医療機関に期待すること(自由回答)
G 共生型サービス	
問 29	共生型サービスへの参入意向
問 29-1	準備又は検討している共生型のサービスの種類
問 29-2	サービスを実施していくうえでの課題(自由回答)
H 災害時等の体制	
問 30	災害時のマニュアルの作成の有無
問 30-1	マニュアルの内容
問 31	B C Pの策定の有無
問 32	避難訓練や安否確認の訓練の有無
問 33	災害時に備えた地域との連携の程度
問 34	災害発生時における課題(自由回答)
問 35	感染防止のため取り組んでいること(自由回答)
I 地域との関わり	
問 36	地域団体や組織との関わり
問 36-1	関わりの内容
問 37	地域ケア会議への出席
問 37-1	地域ケア会議を活発にするために必要なこと
J 事故やトラブルの対応策	
問 38	ヒヤリハット報告書の様式の有無
問 39	ヒヤリハットの報告基準や報告手順のマニュアルの有無
問 40	ヒヤリハット報告書が提出される頻度
問 41	ヒヤリハット報告書の活用状況
問 42	事故に関する情報共有や再発防止への取組
K 市への意見・要望	
問 43	事業者として市に望むこと
問 44	介護保険制度に対する意見・要望(自由回答)

(5) 介護支援専門員調査

調査の目的

介護支援専門員の業務状況や業務全般に対する考え、市への意見や要望等を把握することで、介護支援専門員の質の向上、医療介護連携の推進、サービス提供体制のあり方について検討する。

調査対象

- ・市内の居宅介護支援事業所に在籍する全介護支援専門員（ケアマネジャー）：170人
(55事業所)

調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

回収率

発送・配布数	回収数（率）	有効回収数（率）
170	104 (61.2%)	104 (61.2%)

調査項目

項目	設問	設問
A 基本属性		
	問1	性別
	問2	年齢
	問3	ケアマネジャー以外の所有資格
	問4	ケアマネジャー業務の経験年数
	問5	主任ケアマネジャー資格の有無
	問6	現在の居宅介護支援事業所での在職期間
B ケアマネジャー業務の担当状況		
	問7	勤務形態
	問7-1	兼務している業務
C ケアプランの作成状況		
	問8	担当している利用者数
	問8-1	介護予防プランの作成を受託していない理由（自由回答）
	問8-2	介護予防プランの受託件数を増やすうえでの課題（自由回答）
D 担当地域におけるサービスの状況		
	問9(1)	量的に不足しているサービス
	問9(2)	ケアプランに組み入れにくいサービス
	問9(3)	必要性が高まるとされるサービス
	問10	介護保険以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがあるか
	問10-1	ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービス
	問10-2	ケアプランに加えたインフォーマルサポート
	問11	今後一層の充実が必要だと感じる高齢者保健福祉サービス
	問11-1	その理由（自由回答）
E サービス提供事業所等との関わり		
	問12	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整の方法
	問13	ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集の状況
F サービス担当者会議		
	問14	サービス担当者会議への参加状況
	問15	サービス担当者会議の開催にあたって困難と感ずること
G 地域包括支援センターの役割		
	問16	地域包括支援センターの役割に対する評価
H サービス利用者の在宅療養の状況		
	問17	訪問看護、訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる利用者の有無
	問18	在宅療養高齢者の急変時の医療機関への移行
	問19	在宅療養を進めていくうえで不足している機能
	問20	医療的ケアが必要な人のショートステイ利用状況
	問21	在宅療養を支えるうえで必要と思われる支援・サービス（自由回答）
	問22	後方支援病床利用調整事業の利用状況
	問22-1	利用に至らない理由（自由回答）

I 認知症患者のサービス利用	
問 23	認知症の利用者の状況で実際にあること
問 24	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携
問 25	認知症患者の支援に必要なことになること
J 医療と介護の連携の状況	
問 26	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法
問 27	入院時の情報提供書の提出状況
問 28	退院前(時)カンファレンスへの出席状況
問 29	医療機関との間での問題やトラブルの有無
問 29-1	医療機関との間で発生した問題やトラブルの内容(自由回答)
問 30	関係機関、職種との連携状況(自由回答)
問 31	医療と介護の連携で苦労していること(自由回答)
問 32	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職
K ケアマネジャー業務全般	
問 33	自立支援に向けたケアプランの作成状況
問 33-1	自立支援に向けたケアプランとして意識・工夫していること(自由回答)
問 33-2	不十分だと思う理由(自由回答)
問 34	ケアマネジャー業務を行ううえでの課題
問 35	ケアマネジャー業務の中で負担と感ずること
問 36	ケアプランを作成するうえで困ったときの相談先
問 37	相談内容
問 38	ケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている取組、今後行いたい取組
問 39	利用者への情報提供の際の課題
L 市への意見・要望	
問 40	ケアマネジャーとして市に望むこと
問 41	介護保険制度に対する意見・要望(自由回答)

(6) 医療機関調査

調査の目的

医療関係者の在宅療養への取組状況、市への意見や要望等を把握することで、医療介護連携の更なる推進について検討する。

調査対象

・市内の病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション：467 機関

調査方法

・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

調査時期

・令和元年10月11日～10月28日

回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
病院	12	8	(66.7%)	8	(66.7%)
診療所	157	99	(63.1%)	99	(63.1%)
歯科診療所	154	80	(51.9%)	80	(51.9%)
薬局	118	82	(69.5%)	82	(69.5%)
訪問看護ステーション	26	15	(57.7%)	15	(57.7%)
不明・その他	0	3		1	
医療機関	467	287	(61.5%)	285	(61.0%)

調査項目

項目	設問	設問
A 基本属性		
	問1	所属している医療機関
	問2	職種
B 医療と介護の連携の状況		
	問3	在宅療養者への医療と介護の連携の状況
	問3-1	連携していないと思う理由
	問4	退院前(時)カンファレンスやサービス担当者会議への出席の有無
	問5	介護サービス事業者とのトラブル
	問5-1	介護サービス事業者との間で発生した問題やトラブルの内容(自由回答)
	問6	関係機関、職種との連携状況
	問7	介護保険制度、介護保険サービスの理解
	問8	在宅医療についての考え
	問8-1	どのように関わりたいか(自由回答)
	問9	医療職と介護職が連携するために充実するとよいこと
	問10	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える介護職
	問11	認知症や認知症の介護に関する研修受講の意向
C 診療所(医師)の取組状況		
	問12	行っている在宅医療
	問12-1	訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元
	問13	他の医療機関との連携
	問14	介護関係者との情報交換の機会
	問15	ケアプランの送付と受け取りの必要性
	問16	担当患者のうち認知症の症状がある人の割合
	問17	認知症の症状がある人を治療するときに困ること
	問18	認知症サポート医への相談の有無
	問19	認知症専門医への紹介の有無
	問19-1	認知症専門医への紹介の目的
	問19-2	認知症専門医の種類
	問19-3	認知症専門医に紹介するときに問題になること
D 歯科診療所(歯科医師)の取組状況		
	問20	訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施
	問20-1	訪問時の口腔衛生指導の実施
	問20-2	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導の実施
	問20-3	訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療
	問20-4	訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元
	問21	今後の訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施の可能性
	問22	在宅療養者のかかりつけ医との連携
	問22-1	在宅療養者のかかりつけ医と連携していない理由

E 薬局（薬剤師）の取組状況	
問 23	在宅患者訪問薬剤管理指導の利用者の有無
問 23-1	居宅療養管理指導の依頼元
問 23-2	医師との連携状況
問 23-3	処方箋以外の連携の手段
問 23-4	在宅患者訪問薬剤管理指導の利用者がいない理由
問 24	在宅療養支援診療所の処方箋の取り扱い状況の有無
F 訪問看護ステーション（訪問看護師）の取組状況	
問 25	在宅医療の活動状況
問 26	在宅医療を実施している医療機関との連携
問 26-1	連携が取れていない理由（自由回答）
問 27	医師との連携の方法
問 27-1	医師との連絡の手段
G 病院の退院支援担当者（医療ソーシャルワーカー、看護師）の取組状況	
問 28	在宅医療の活動状況
問 29	地域連携活動の内容
問 30	介護保険施設との連携
H 地域包括ケアシステム構築に向けた医療と介護の連携	
問 31	医療と在宅介護の連携で苦労している点（自由回答）
問 32	介護従事者等に期待すること（自由回答）
問 33(1)	医療と介護の連携が進むために必要なこと（連携の仕組みづくり）
問 33(2)	医療と介護の連携が進むために必要なこと（地域の人材育成）
問 33(3)	医療と介護の連携が進むために必要なこと（サービス・基盤整備）
問 33(4)	医療と介護の連携が進むために必要なこと（情報提供・相談支援の充実）
問 34	医療と介護の連携についての意見・要望（自由回答）

1 - 3 報告書を利用するにあたって

(1) 集計結果の表記方法

グラフのnは、質問に対する無回答を含む集計対象総数で割合算出の基準を指す。限定設問やクロス集計等で、回答者の一部を集計したものは全体の数と異なる。

割合は、nに対する各回答数を百分率(%)で表したものだ。小数点以下第2位を四捨五入し小数点第1位までを表記し、1人の回答者が1つの回答をする設問では、100.0%とならない場合がある。

1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100.0%を超える。

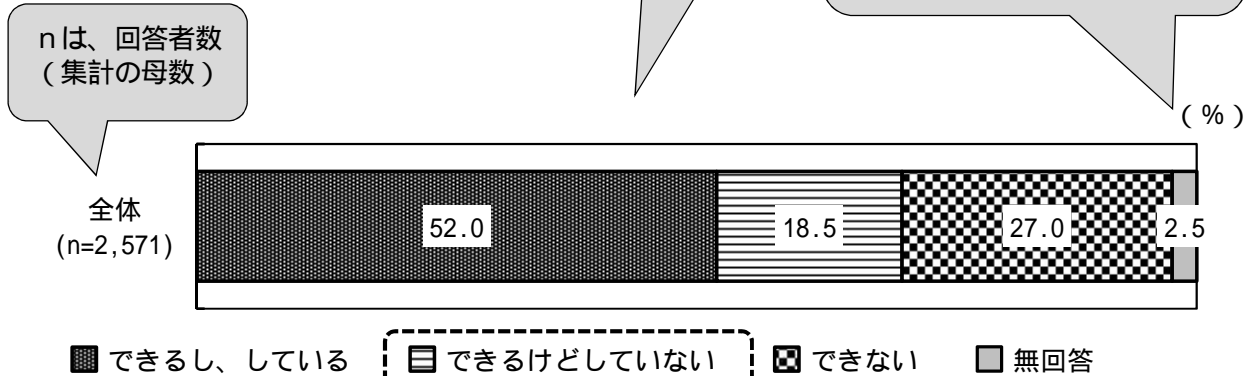
クロス集計表の表側(分類層)は、無回答を除いているため、各層の実数と集計対象総数が一致しない場合がある。

グラフや表の選択肢(カテゴリー)は、文字数の制約のため、簡略して表記している場合がある。

単数回答形式の設問は、帯グラフで表示。
ただし、選択肢が多い場合などは、見やすさを考慮して、棒グラフで表示。

(2) グラフ・表の見方

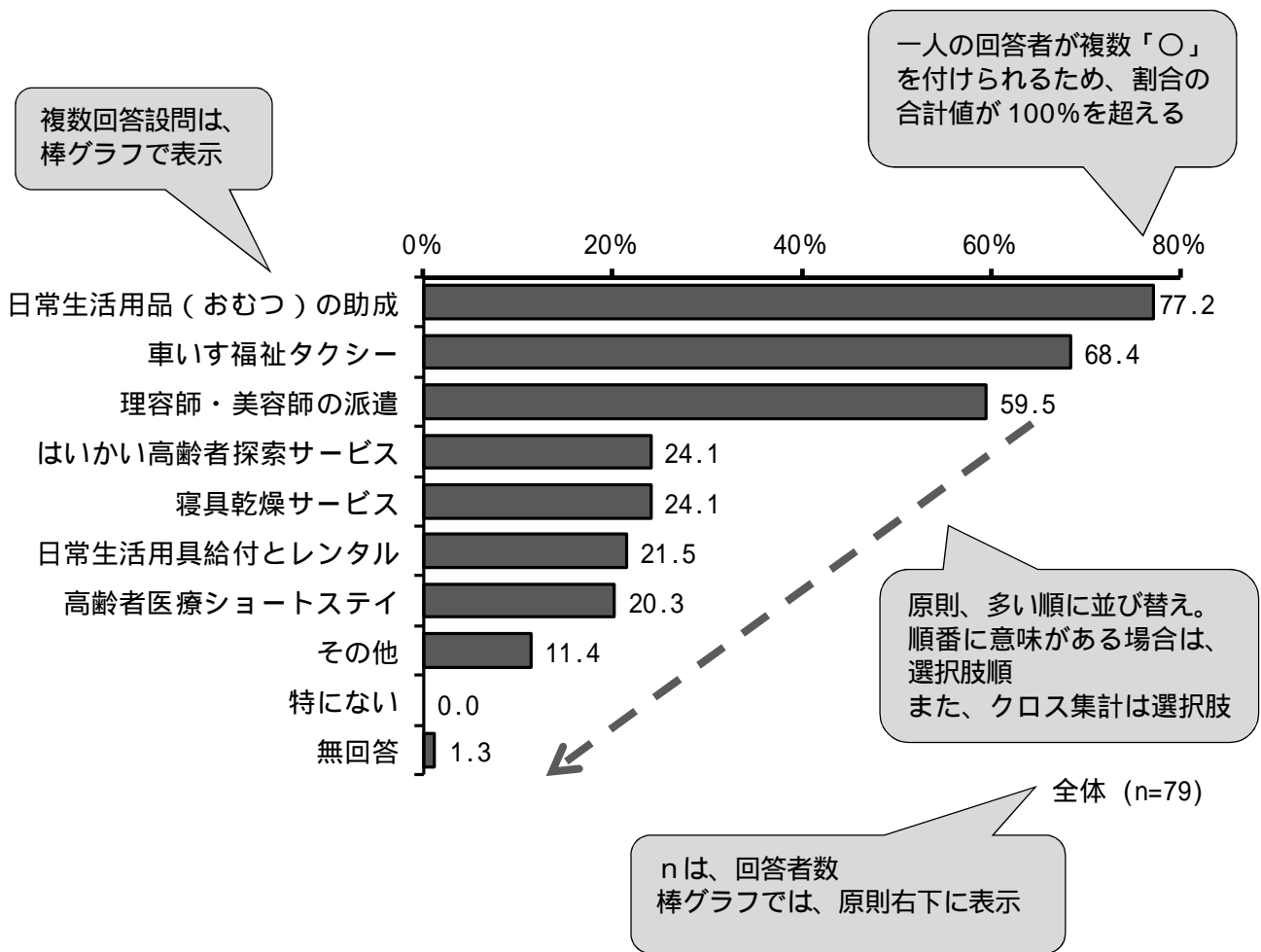
単数回答(「1つに」形式の設問)



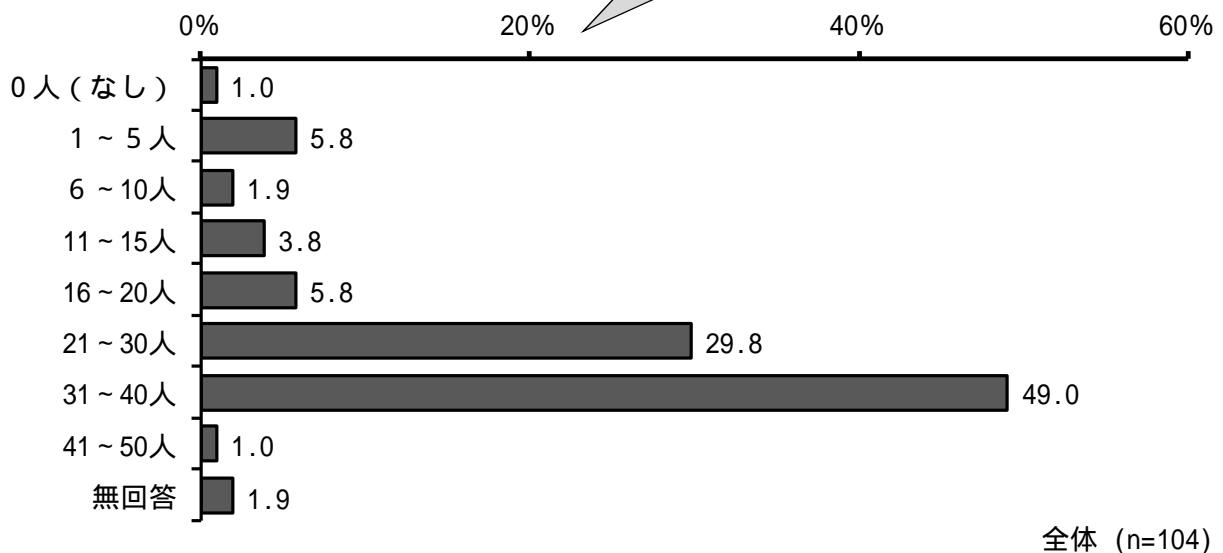
小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、合計が99.9%や100.1%など、100%とならない場合がある。

		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全 体 (n=2,571)		52.0%	18.5%	27.0%	2.5%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	67.7%	20.7%	10.4%	1.1%	
	要支援1・2 (n=637)	17.0%	13.0%	67.0%	3.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	74.4%	16.0%	9.2%	0.4%
		75～84歳 (n=404)	54.2%	24.3%	19.6%	2.0%
		85歳以上 (n=130)	25.4%	21.5%	50.8%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	70.0%	17.9%	11.2%	0.9%
		75～84歳 (n=605)	39.0%	19.3%	38.2%	3.5%
		85歳以上 (n=293)	19.8%	14.3%	60.4%	5.5%

複数回答（「いくつでも」、「3つまでに」形式の設問）



数量（人数など数値で回答する設問）



第2部 アンケート調査

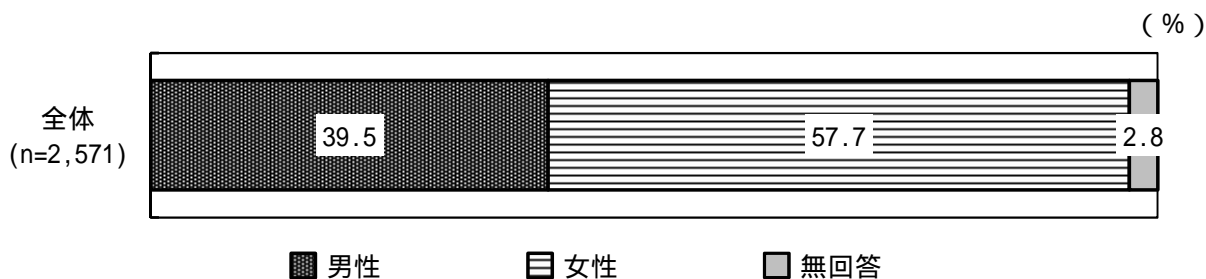
第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1-1 調査結果の概要

(1) 回答者について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに)

- ・「男性」が39.5%、「女性」が57.7%となっている。
- ・『要支援1・2』では、「男性」(29.0%)よりも「女性」(68.1%)の割合が高くなっている。



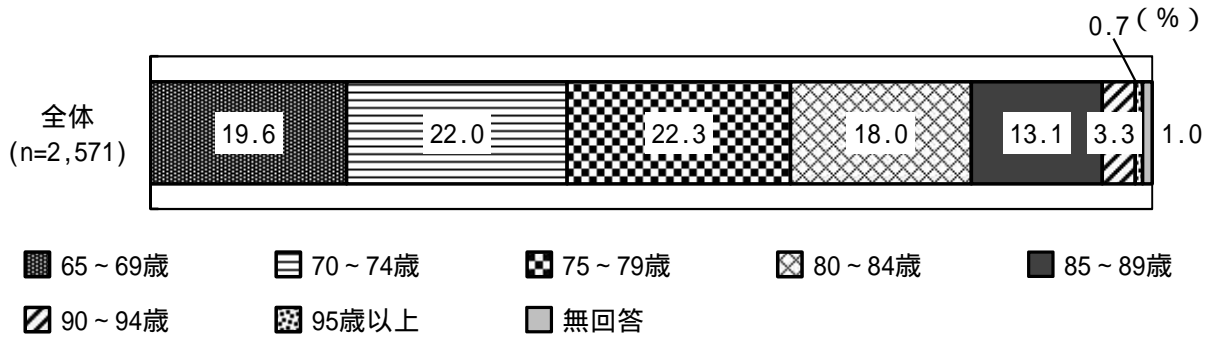
		男性	女性	無回答
全 体 (n=2,571)		39.5%	57.7%	2.8%
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	45.1%	53.0%	1.9%
	要支援1・2 (n=637)	29.0%	68.1%	2.8%
年 齢	65～69歳 (n=504)	46.0%	53.6%	0.4%
	70～74歳 (n=566)	43.8%	54.8%	1.4%
	75～79歳 (n=573)	39.4%	58.1%	2.4%
	80～84歳 (n=464)	38.4%	58.6%	3.0%
	85～89歳 (n=336)	31.5%	65.5%	3.0%
	90歳以上 (n=103)	23.3%	70.9%	5.8%
家族構成	1人暮らし (n=658)	28.9%	68.7%	2.4%
	夫婦2人暮らし (n=959)	50.9%	47.2%	1.9%
	子のみと同居 (n=511)	36.0%	60.9%	3.1%
	その他 (n=392)	37.8%	59.7%	2.6%
1人暮らし × 年 齢	65～74歳 (n=190)	42.6%	55.3%	2.1%
	75～84歳 (n=285)	26.0%	71.9%	2.1%
	85歳以上 (n=176)	19.3%	79.0%	1.7%

「要支援認定」：問2の回答結果をもとに区分。

「介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者」及び「分からない」と回答した者を除く。

F2 あなたの年齢をお答えください。(令和元年11月1日現在)(1つに)

- ・「75～79歳」(22.3%)が最も多く、次いで「70～74歳」(22.0%)、「65～69歳」(19.6%)、「80～84歳」(18.0%)と続いている。
- ・『要支援1・2』では、「85～89歳」(29.7%)、「80～84歳」(27.0%)の割合が高くなっている。

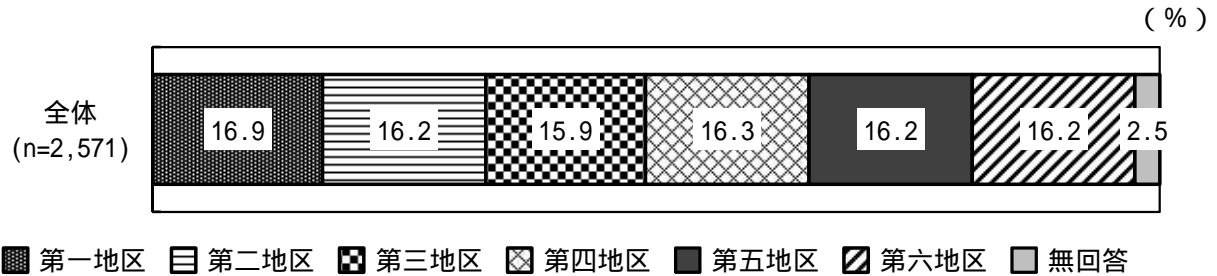


		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	無回答
全体	(n=2,571)	19.6%	22.0%	22.3%	18.0%	13.1%	3.3%	0.7%	1.0%
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	28.0%	28.1%	22.8%	13.8%	5.9%	0.8%	0.2%	0.4%
	要支援1・2 (n=637)	3.3%	9.3%	19.0%	27.0%	29.7%	8.6%	1.9%	1.3%
性別	男性 (n=1,015)	22.9%	24.4%	22.3%	17.5%	10.4%	2.0%	0.4%	0.1%
	女性 (n=1,484)	18.2%	20.9%	22.4%	18.3%	14.8%	4.1%	0.8%	0.4%
家族構成	1人暮らし (n=658)	11.9%	17.0%	20.7%	22.6%	19.8%	5.9%	1.1%	1.1%
	夫婦2人暮らし (n=959)	23.7%	26.3%	23.7%	15.0%	9.3%	1.4%	0.2%	0.5%
	子のみと同居 (n=511)	19.2%	20.0%	23.9%	20.7%	11.5%	3.1%	1.0%	0.6%
	その他 (n=392)	25.0%	24.2%	20.7%	14.8%	12.0%	2.6%	0.8%	0.0%

F3 あなたがお住まいの町名及び丁目を教えてください。(1つに)

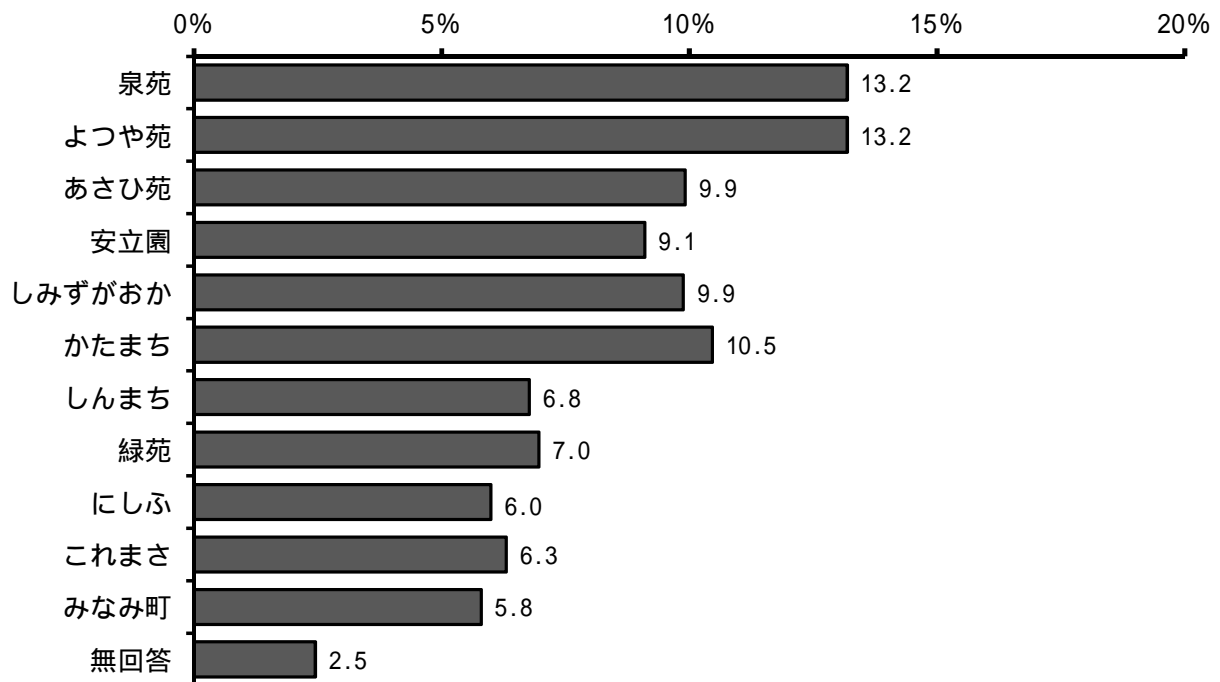
日常生活圏域(6区分)

・日常生活圏域では、「第一地区」(16.9%)が最も多く、次いで「第4地区」(16.3%)、「第2地区」「第5地区」「第6地区」(ともに16.2%)、「第3地区」(15.9%)と続いている。



地域包括支援センター圏域(11区分)

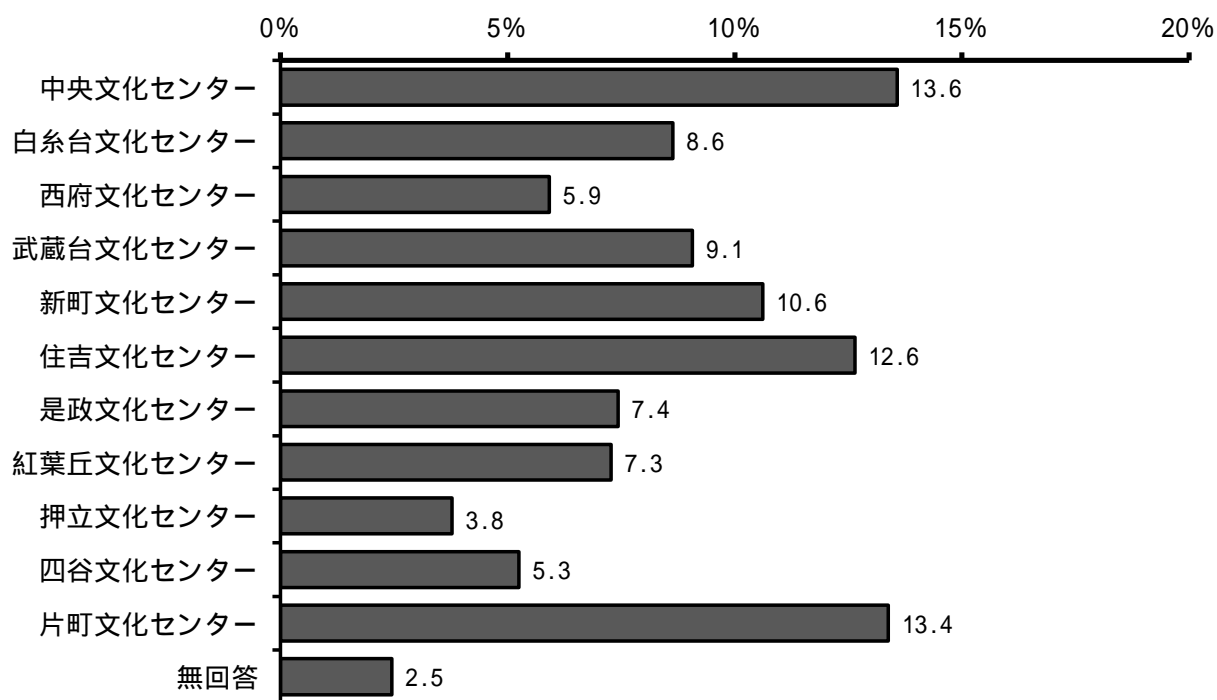
・地域包括支援センター圏域では、「泉苑」「よつや苑」(ともに13.2%)が最も多く、次いで「かたまち」(10.5%)、「あさひ苑」「しみずがおか」(ともに9.9%)、「安立園」(9.1%)と続いている。



全体 (n=2,571)

文化センター圏域（11区分）

・文化センター圏域では、「中央文化センター」(13.6%)が最も多く、次いで「片町文化センター」(13.4%)、「住吉文化センター」(12.6%)、「新町文化センター」(10.6%)と続いている。

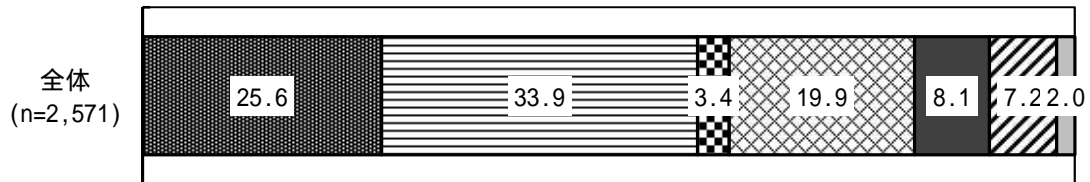


全体 (n=2,571)

F4 家族構成をお教えてください。(1つに)

- ・「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(33.9%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(25.6%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(19.9%)と続いている。
- ・「1人暮らし」の割合は、『非認定(自立)』(19.0%)よりも『要支援1・2』(38.6%)の割合のほうが高くなっている。

(%)



- 1人暮らし
- ▨ 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- ▩ 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- ▧ 子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)
- 配偶者及び子以外の親族と同居(配偶者や子と同居している場合を含む)
- ▨ その他
- 無回答

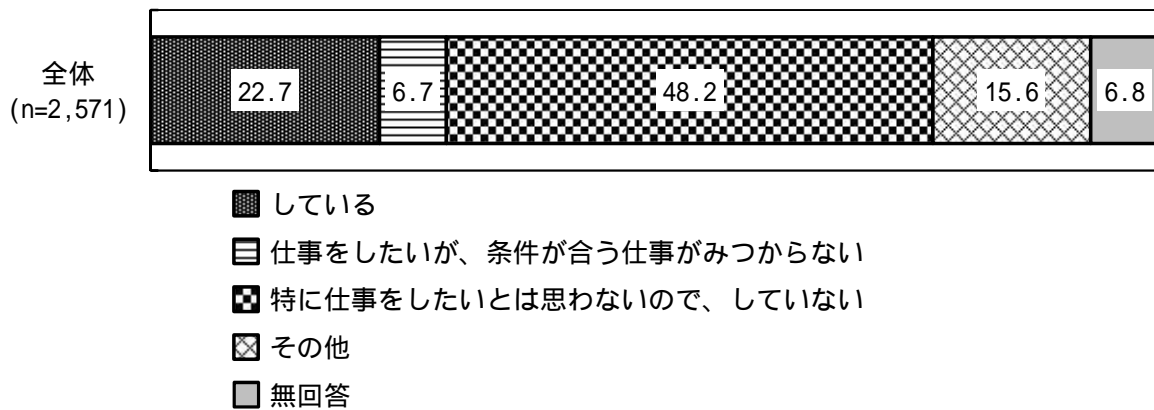
		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)	配偶者及び子以外の親族と同居(配偶者や子と同居している場合を含む)	その他	無回答	
全体 (n=2,571)		25.6%	33.9%	3.4%	19.9%	8.1%	7.2%	2.0%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	19.0%	38.0%	4.6%	20.3%	9.6%	7.5%	0.9%	
	要支援1・2 (n=637)	38.6%	27.2%	0.6%	20.1%	5.2%	6.4%	1.9%	
性別	男性 (n=1,015)	18.7%	41.3%	6.8%	18.1%	9.5%	5.1%	0.5%	
	女性 (n=1,484)	30.5%	29.4%	1.1%	21.0%	7.1%	8.7%	2.3%	
年齢	65~69歳 (n=504)	15.5%	34.5%	10.5%	19.4%	11.1%	8.3%	0.6%	
	70~74歳 (n=566)	19.8%	40.6%	3.9%	18.0%	9.7%	7.1%	0.9%	
	75~79歳 (n=573)	23.7%	38.6%	1.0%	21.3%	7.9%	6.3%	1.2%	
	80~84歳 (n=464)	32.1%	30.4%	0.6%	22.8%	6.5%	6.0%	1.5%	
	85~89歳 (n=336)	38.7%	25.9%	0.6%	17.6%	5.1%	8.9%	3.3%	
	90歳以上 (n=103)	44.7%	13.6%	1.0%	20.4%	3.9%	8.7%	7.8%	
性別×年齢	男性	65~74歳 (n=480)	16.9%	33.3%	13.5%	18.1%	11.0%	6.7%	0.4%
		75~84歳 (n=404)	18.3%	48.8%	0.7%	20.0%	8.7%	3.0%	0.5%
		85歳以上 (n=130)	26.2%	47.7%	0.8%	12.3%	6.2%	6.2%	0.8%
	女性	65~74歳 (n=580)	18.1%	41.7%	1.7%	19.1%	9.8%	8.6%	0.9%
		75~84歳 (n=605)	33.9%	25.8%	0.8%	23.1%	6.1%	8.3%	2.0%
		85歳以上 (n=293)	47.4%	11.9%	0.7%	20.5%	3.8%	9.9%	5.8%

(2) 就労状況について

問1 現在収入のある仕事についていますか。(1つに)

- ・「している」が22.7%、「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」が6.7%で、合わせた割合は29.4%となっている。
- ・一方、「特に仕事をしたいとは思わないので、していない」が48.2%となっている。
- ・「している(働いている)」割合を年齢別にみると、『男性・65～74歳』では51.3%、『女性・65～74歳』では29.8%となっている。また、「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」の割合は、『男性・65～74歳』では9.0%、『女性・65～74歳』では10.2%となっている。

(%)

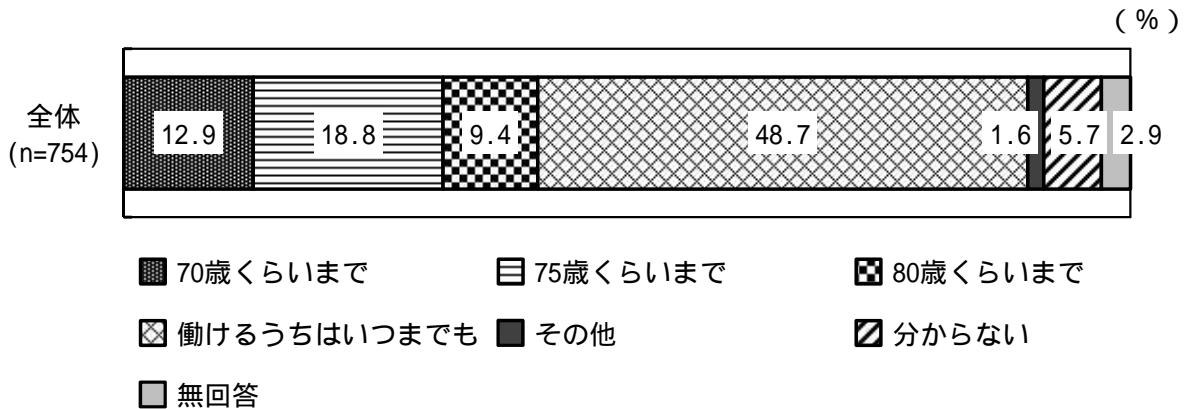


		している	仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない	特に仕事をしたいとは思わないので、していない	その他	無回答	
全体	(n=2,571)	22.7%	6.7%	48.2%	15.6%	6.8%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	31.4%	8.0%	47.3%	9.6%	3.7%	
	要支援1・2 (n=637)	5.5%	2.7%	54.6%	29.0%	8.2%	
性別	男性 (n=1,015)	32.7%	7.7%	45.4%	11.6%	2.6%	
	女性 (n=1,484)	16.4%	6.2%	50.5%	18.5%	8.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	46.8%	10.9%	33.9%	7.3%	1.0%	
	70～74歳 (n=566)	32.5%	8.3%	46.3%	9.7%	3.2%	
	75～79歳 (n=573)	17.8%	7.5%	53.1%	15.2%	6.5%	
	80～84歳 (n=464)	9.1%	4.1%	54.1%	22.0%	10.8%	
	85～89歳 (n=336)	3.0%	1.8%	60.7%	24.7%	9.8%	
	90歳以上 (n=103)	4.9%	1.0%	44.7%	28.2%	21.4%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	51.3%	9.0%	32.1%	6.9%	0.8%
		75～84歳 (n=404)	19.6%	7.9%	54.7%	13.1%	4.7%
		85歳以上 (n=130)	5.4%	2.3%	66.2%	23.8%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	29.8%	10.2%	47.2%	10.0%	2.8%
		75～84歳 (n=605)	10.2%	4.8%	52.9%	21.8%	10.2%
		85歳以上 (n=293)	2.4%	1.4%	52.9%	27.3%	16.0%

問1で「している」又は「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」とお答えの方におたずね
 します

問1-1 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいですか。(1つに)

- ・「働けるうちはいつまでも」(48.7%)が最も多く、次いで「75歳くらいまで」(18.8%)、「70歳くらいまで」(12.9%)、「80歳くらいまで」(9.4%)と続いている。
- ・「働けるうちはいつまでも」は、年齢が高くなるほど割合が高く、『65～69歳』では40.9%、『80～84歳』では77.0%、『85～89歳』では81.3%となっている。

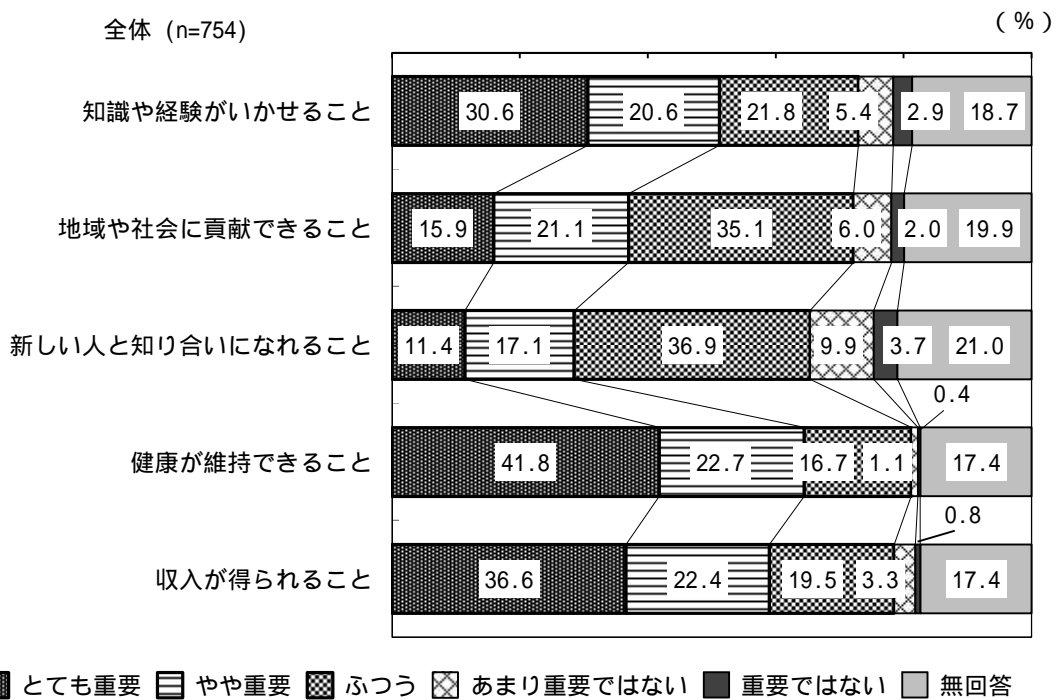


		70歳くらいまで	75歳くらいまで	80歳くらいまで	働けるうちはいつまでも	その他	分からない	無回答		
全体	(n=754)	12.9%	18.8%	9.4%	48.7%	1.6%	5.7%	2.9%		
要支援認定	非認定者(自立)	(n=635)	14.0%	20.2%	9.4%	47.6%	1.3%	5.5%	2.0%	
	要支援1・2	(n=52)	3.8%	13.5%	3.8%	59.6%	1.9%	7.7%	9.6%	
性別	男性	(n=410)	12.0%	19.5%	12.2%	48.3%	1.5%	4.6%	2.0%	
	女性	(n=336)	14.3%	18.2%	6.0%	49.4%	1.8%	6.3%	4.2%	
年齢	65～69歳	(n=291)	29.6%	18.6%	2.1%	40.9%	2.4%	5.8%	0.7%	
	70～74歳	(n=231)	1.7%	35.5%	10.8%	43.3%	0.9%	5.2%	2.6%	
	75～79歳	(n=145)	2.1%	1.4%	26.2%	55.9%	0.7%	7.6%	6.2%	
	80～84歳	(n=61)	4.9%	4.9%	3.3%	77.0%	1.6%	1.6%	6.6%	
	85～89歳	(n=16)	6.3%	0.0%	0.0%	81.3%	6.3%	6.3%	0.0%	
	90歳以上	(n=6)	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=289)	15.2%	26.6%	8.0%	41.9%	1.7%	5.2%	1.4%
		75～84歳	(n=111)	3.6%	2.7%	24.3%	62.2%	0.9%	2.7%	3.6%
		85歳以上	(n=10)	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	女性	65～74歳	(n=232)	19.8%	25.0%	3.4%	42.2%	1.7%	6.0%	1.7%
		75～84歳	(n=91)	2.2%	2.2%	13.2%	63.7%	1.1%	7.7%	9.9%
		85歳以上	(n=11)	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%

問1で「している」又は「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」とお答えの方におたずねします

問1-2 働くうえで、次にあげたことをどの程度重視しますか。(それぞれ1つに)

- ・「とても重要」と「やや重要」を合わせた割合は、『健康が維持できること』(64.5%)が最も多く、次いで『収入が得られること』(59.0%)、『知識や経験がいかせること』(51.2%)となっている。
- ・一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた割合は、『新しい人と知り合いになれること』(13.6%)が最も多く、次いで『知識や経験がいかせること』(8.3%)となっている。
- ・『収入が得られること』について、「とても重要」と「やや重要」合わせた割合は、年齢が低いほど高くなる傾向《「65～69歳」(68.8%)、「80～84歳」(42.7%)》がみられる。



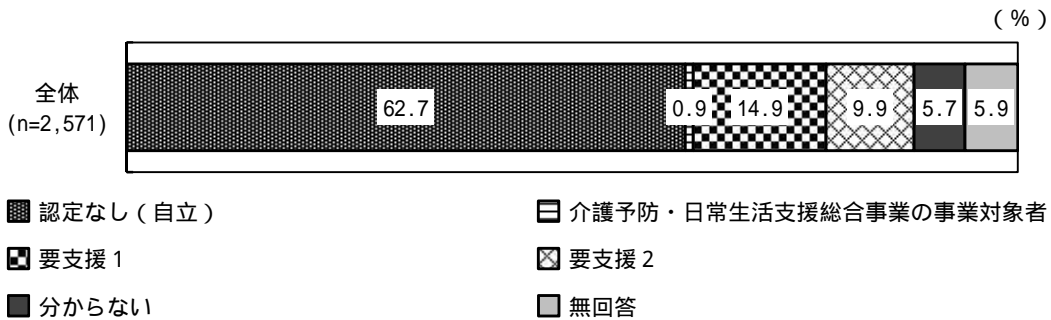
		収入が得られること							
		とても重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない	無回答		
全体	(n=754)	36.6%	22.4%	19.5%	3.3%	0.8%	17.4%		
要支援認定	非認定者(自立)	(n=635)	37.6%	24.7%	19.8%	3.0%	0.6%	14.2%	
	要支援1・2	(n=52)	32.7%	7.7%	19.2%	5.8%	1.9%	32.7%	
性別	男性	(n=410)	34.9%	25.4%	20.2%	3.4%	0.7%	15.4%	
	女性	(n=336)	39.0%	19.3%	18.5%	3.3%	0.9%	19.0%	
年齢	65～69歳	(n=291)	43.0%	25.8%	19.2%	1.7%	0.7%	9.6%	
	70～74歳	(n=231)	40.3%	23.8%	17.3%	2.6%	0.9%	15.2%	
	75～79歳	(n=145)	26.9%	17.2%	23.4%	5.5%	0.7%	26.2%	
	80～84歳	(n=61)	23.0%	19.7%	19.7%	8.2%	1.6%	27.9%	
	85～89歳	(n=16)	12.5%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	62.5%	
	90歳以上	(n=6)	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=289)	41.5%	26.3%	19.4%	1.7%	0.3%	10.7%
		75～84歳	(n=111)	20.7%	23.4%	21.6%	8.1%	1.8%	24.3%
		85歳以上	(n=10)	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	女性	65～74歳	(n=232)	41.8%	23.3%	17.2%	2.6%	1.3%	13.8%
		75～84歳	(n=91)	31.9%	12.1%	24.2%	4.4%	0.0%	27.5%
		85歳以上	(n=11)	36.4%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	54.5%

(3) 生活状況について

問2 あなたの介護保険における要支援認定の状況についてお答えください。

(令和元年10月1日現在)(1つに)

- ・「認定なし(自立)」(62.7%)が最も多く、次いで「要支援1」(14.9%)、「要支援2」(9.9%)、「介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者」(0.9%)となっている。
- ・「要支援1」「要支援2」を合わせた割合は、『男性』(18.2%)よりも『女性』(29.2%)のほうが高く、家族構成では『1人暮らし』(37.4%)の割合が高くなっている。



		認定なし(自立)	介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者	要支援1	要支援2	分からない	無回答	
全体	(n=2,571)	62.7%	0.9%	14.9%	9.9%	5.7%	5.9%	
性別	男性	(n=1,015) 71.6%	0.6%	12.0%	6.2%	5.5%	4.0%	
	女性	(n=1,484) 57.6%	1.1%	17.0%	12.2%	5.7%	6.3%	
年齢	65～69歳	(n=504) 89.7%	0.6%	2.2%	2.0%	3.6%	2.0%	
	70～74歳	(n=566) 80.0%	0.4%	5.5%	4.9%	4.8%	4.4%	
	75～79歳	(n=573) 64.2%	0.9%	12.6%	8.6%	7.7%	6.1%	
	80～84歳	(n=464) 47.8%	1.5%	23.3%	13.8%	5.4%	8.2%	
	85～89歳	(n=336) 28.3%	0.9%	33.9%	22.3%	7.1%	7.4%	
	90歳以上	(n=103) 15.5%	2.9%	40.8%	24.3%	7.8%	8.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=480) 86.0%	0.4%	3.8%	3.1%	4.6%	2.1%
		75～84歳	(n=404) 67.1%	0.7%	13.9%	6.7%	6.4%	5.2%
		85歳以上	(n=130) 33.1%	0.8%	36.9%	16.2%	5.4%	7.7%
	女性	65～74歳	(n=580) 83.6%	0.5%	4.1%	3.8%	3.8%	4.1%
		75～84歳	(n=605) 50.6%	1.5%	19.5%	13.6%	6.8%	8.1%
		85歳以上	(n=293) 21.5%	1.4%	36.5%	25.9%	7.5%	7.2%
家族構成	1人暮らし	(n=658) 46.7%	2.9%	21.3%	16.1%	6.7%	6.4%	
	夫婦2人暮らし	(n=959) 71.6%	0.2%	12.4%	6.0%	5.5%	4.2%	
	子のみと同居	(n=511) 64.2%	0.2%	14.7%	10.4%	5.1%	5.5%	
	その他	(n=392) 70.2%	0.0%	11.0%	7.9%	5.4%	5.6%	

問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに)

- ・「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.2%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が11.4%で、合わせた割合は22.6%となっている。
- ・一方、「介護・介助は必要ない」が71.9%となっている。
- ・「介護・介助は必要ない」は、『65～69歳』では94.0%、『90歳以上』では34.0%と、年齢が高くなるほど割合が低くなっている。



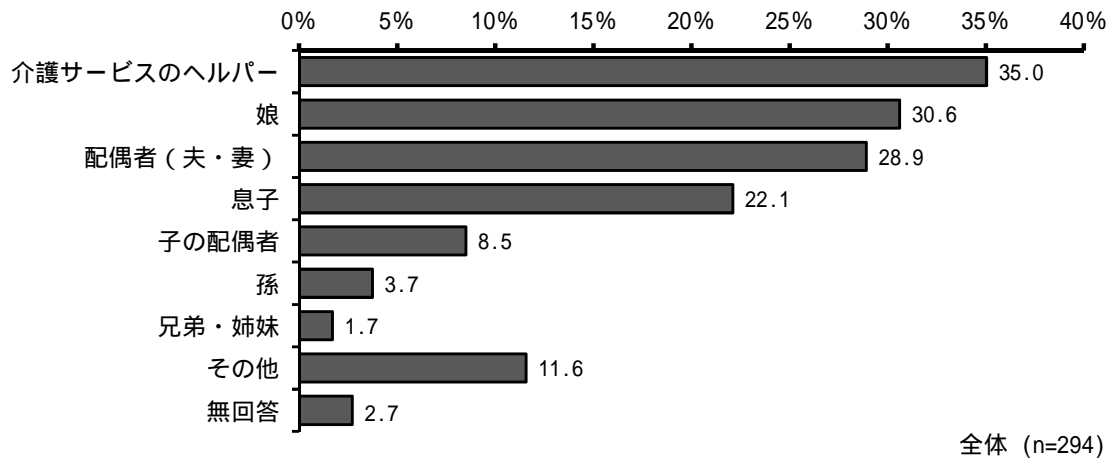
- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答

		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	無回答	
全 体 (n=2,571)		71.9%	11.2%	11.4%	5.5%	
性別	男性 (n=1,015)	77.4%	10.1%	9.1%	3.3%	
	女性 (n=1,484)	68.9%	11.7%	13.2%	6.2%	
年齢	65～69歳 (n=504)	94.0%	2.4%	2.2%	1.4%	
	70～74歳 (n=566)	88.3%	4.9%	4.6%	2.1%	
	75～79歳 (n=573)	73.8%	11.7%	8.7%	5.8%	
	80～84歳 (n=464)	57.5%	17.9%	15.3%	9.3%	
	85～89歳 (n=336)	40.5%	20.8%	28.9%	9.8%	
	90歳以上 (n=103)	34.0%	26.2%	34.0%	5.8%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	89.8%	4.6%	4.0%	1.7%
		75～84歳 (n=404)	73.5%	13.4%	9.2%	4.0%
		85歳以上 (n=130)	44.6%	20.8%	27.7%	6.9%
	女性	65～74歳 (n=580)	92.4%	2.8%	2.9%	1.9%
		75～84歳 (n=605)	62.5%	15.0%	13.6%	8.9%
		85歳以上 (n=293)	36.5%	22.2%	32.1%	9.2%

《問3で「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方におたずねします》

問3-1 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

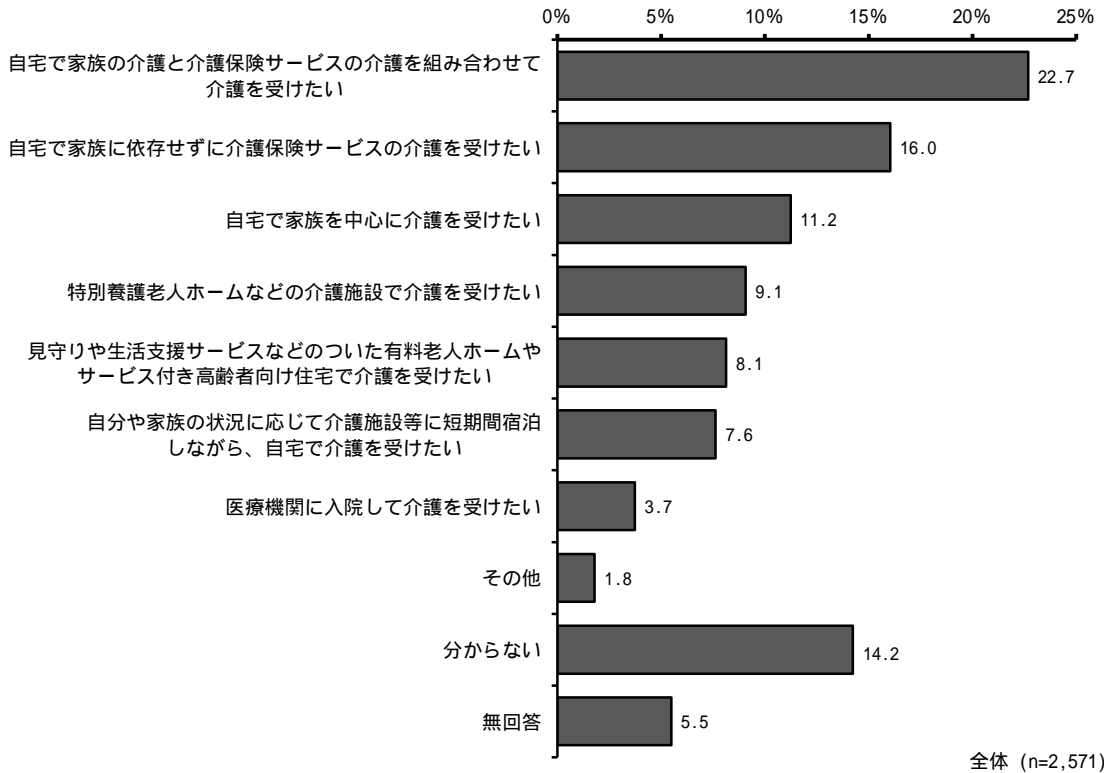
- ・「介護サービスのヘルパー」(35.0%)が最も多く、次いで「娘」(30.6%)、「配偶者(夫・妻)」(28.9%)、「息子」(22.1%)と続いている。
- ・「配偶者」の割合は、『女性』(21.9%)よりも『男性』(43.5%)で高くなっている。



		配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サー ビスのヘル パー	その他	無回答		
全 体	(n=294)	28.9%	22.1%	30.6%	8.5%	3.7%	1.7%	35.0%	11.6%	2.7%		
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=24)	33.3%	25.0%	29.2%	0.0%	4.2%	4.2%	12.5%	16.7%	0.0%	
	要支援1・2	(n=235)	29.8%	20.9%	31.1%	9.4%	3.8%	1.3%	37.4%	10.2%	2.6%	
性別	男性	(n=92)	43.5%	14.1%	23.9%	4.3%	0.0%	3.3%	37.0%	9.8%	2.2%	
	女性	(n=196)	21.9%	25.5%	33.7%	10.7%	5.6%	1.0%	34.2%	12.8%	2.6%	
年齢	65～69歳	(n=11)	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	27.3%	0.0%	
	70～74歳	(n=26)	46.2%	19.2%	23.1%	0.0%	11.5%	3.8%	23.1%	11.5%	7.7%	
	75～79歳	(n=50)	54.0%	16.0%	34.0%	4.0%	2.0%	2.0%	22.0%	10.0%	0.0%	
	80～84歳	(n=71)	32.4%	15.5%	28.2%	8.5%	1.4%	1.4%	36.6%	8.5%	4.2%	
	85～89歳	(n=97)	16.5%	25.8%	34.0%	11.3%	4.1%	2.1%	38.1%	12.4%	3.1%	
	90歳以上	(n=35)	5.7%	40.0%	31.4%	17.1%	5.7%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=19)	42.1%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	47.4%	26.3%	0.0%
		75～84歳	(n=37)	54.1%	18.9%	21.6%	2.7%	0.0%	2.7%	32.4%	5.4%	2.7%
		85歳以上	(n=36)	33.3%	13.9%	36.1%	8.3%	0.0%	2.8%	36.1%	5.6%	2.8%
	女性	65～74歳	(n=17)	41.2%	29.4%	35.3%	0.0%	17.6%	0.0%	17.6%	5.9%	11.8%
		75～84歳	(n=82)	35.4%	13.4%	35.4%	8.5%	2.4%	1.2%	30.5%	11.0%	2.4%
		85歳以上	(n=94)	6.4%	36.2%	31.9%	14.9%	6.4%	1.1%	40.4%	16.0%	1.1%
家族構成	1人暮らし	(n=112)	0.0%	17.0%	25.9%	6.3%	1.8%	2.7%	59.8%	11.6%	6.3%	
	夫婦2人暮らし	(n=69)	82.6%	17.4%	23.2%	5.8%	2.9%	1.4%	20.3%	7.2%	0.0%	
	子のみ同居	(n=67)	22.4%	35.8%	43.3%	6.0%	1.5%	0.0%	19.4%	9.0%	1.5%	
	その他	(n=36)	33.3%	13.9%	30.6%	19.4%	11.1%	2.8%	19.4%	27.8%	0.0%	

問4 今後、介護が必要になったら、どこで生活したいとお考えですか。(1つに)

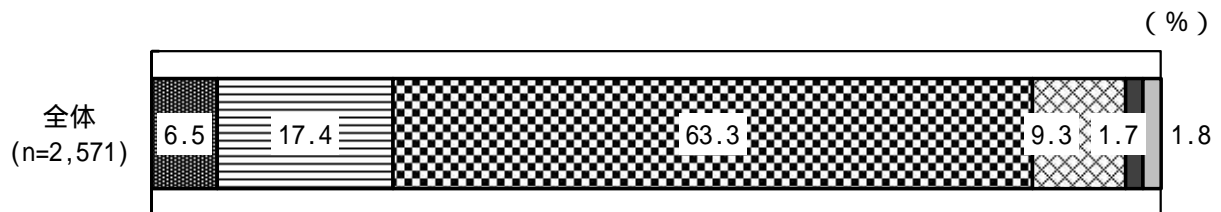
- ・「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(22.7%)が最も多く、次いで「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」(16.0%)、「自宅で家族を中心に介護を受けたい」(11.2%)と続いている。
- ・一方、「わからない」は14.2%となっている。
- ・「特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい」の割合は、『1人暮らし』(14.0%)や『賃貸』(14.3%)の割合がやや高くなっている。また、『要支援1・2』(7.7%)よりも『非認定者(自立)』(9.8%)のほうが高くなっている。



		自宅で家族を中心に介護を受けたい	自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい	自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい	自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で介護を受けたい	見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で介護を受けたい	特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい	医療機関に入院して介護を受けたい	その他	分からない	無回答	
全体 (n=2,571)		11.2%	22.7%	16.0%	7.6%	8.1%	9.1%	3.7%	1.8%	14.2%	5.5%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	11.3%	22.8%	17.8%	8.9%	9.1%	9.8%	3.1%	1.5%	13.0%	2.8%	
	要支援1・2 (n=637)	10.5%	26.7%	14.9%	5.8%	7.7%	7.7%	5.0%	2.7%	11.6%	7.4%	
性別	男性 (n=1,015)	15.2%	26.8%	12.2%	6.7%	7.6%	8.9%	3.3%	1.4%	13.7%	4.2%	
	女性 (n=1,484)	8.6%	19.9%	18.8%	8.5%	8.6%	9.3%	4.0%	2.0%	14.6%	5.8%	
年齢	65～69歳 (n=504)	10.1%	18.3%	19.8%	7.5%	12.3%	8.5%	3.6%	1.8%	16.1%	2.0%	
	70～74歳 (n=566)	9.9%	22.1%	18.0%	9.9%	10.2%	9.4%	2.5%	1.1%	14.5%	2.5%	
	75～79歳 (n=573)	11.9%	24.4%	15.0%	9.1%	4.5%	10.5%	2.8%	1.0%	15.4%	5.4%	
	80～84歳 (n=464)	11.4%	24.1%	13.8%	6.0%	6.7%	8.4%	5.0%	2.2%	12.9%	9.5%	
	85～89歳 (n=336)	14.3%	25.6%	13.1%	5.1%	6.8%	7.1%	5.4%	2.4%	11.6%	8.6%	
	90歳以上 (n=103)	9.7%	24.3%	13.6%	2.9%	5.8%	9.7%	5.8%	6.8%	14.6%	6.8%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	13.5%	24.0%	14.0%	7.1%	9.6%	9.6%	3.5%	1.9%	15.4%	1.5%
		75～84歳 (n=404)	15.8%	30.0%	8.2%	7.2%	6.4%	8.4%	2.7%	1.0%	13.9%	6.4%
	85歳以上 (n=130)		19.2%	27.7%	18.5%	3.8%	3.8%	6.9%	4.6%	0.8%	6.9%	7.7%
	女性	65～74歳 (n=580)	7.2%	17.1%	22.9%	10.3%	12.8%	8.6%	2.6%	1.0%	15.0%	2.4%
		75～84歳 (n=605)	8.9%	20.2%	18.7%	8.4%	5.1%	10.4%	4.5%	1.7%	14.4%	7.8%
85歳以上 (n=293)		10.2%	25.3%	10.9%	4.8%	7.5%	8.5%	5.8%	4.4%	14.0%	8.5%	
家族構成	1人暮らし (n=658)	4.3%	8.8%	22.6%	4.7%	10.6%	14.0%	5.2%	3.2%	18.8%	7.8%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	13.2%	28.7%	14.7%	8.0%	8.6%	7.5%	2.5%	1.0%	11.5%	4.3%	
	子のみ同居 (n=511)	14.9%	27.2%	13.3%	9.2%	4.9%	7.6%	3.7%	1.4%	13.9%	3.9%	
住まい	持ち家 (n=1,978)	12.0%	25.2%	16.8%	8.4%	8.7%	7.8%	3.4%	1.6%	11.8%	4.3%	
	賃貸 (n=488)	9.2%	15.6%	13.1%	5.1%	5.7%	14.3%	4.9%	2.0%	23.4%	6.6%	

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに)

- ・「ふつう」の割合が最も多く63.3%となっている。
- ・「大変苦しい」(6.5%)と「やや苦しい」(17.4%)を合わせた割合は23.9%となっている。
- ・一方、「ややゆとりがある」(9.3%)と「大変ゆとりがある」(1.7%)を合わせた割合は11.0%となっている。
- ・「大変苦しい・やや苦しい」は、『1人暮らし』(33.0%)や主観的健康感が『よくない』(43.0%)の割合が高くなっている。

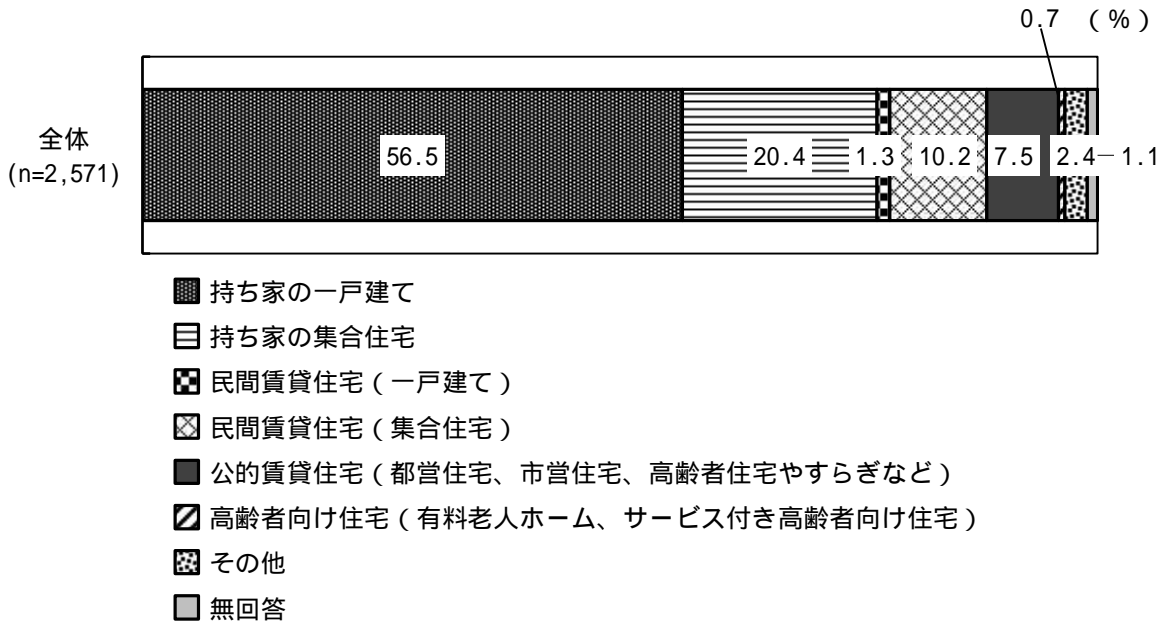


■ 大変苦しい ■ やや苦しい ■ ふつう ■ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある ■ 無回答

		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	
全 体	(n=2,571)	6.5%	17.4%	63.3%	9.3%	1.7%	1.8%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	5.5%	14.6%	65.7%	11.5%	1.9%	0.9%	
	要支援1・2 (n=637)	5.8%	21.4%	63.4%	6.1%	1.6%	1.7%	
性別	男性 (n=1,015)	7.2%	17.1%	61.3%	11.6%	2.0%	0.8%	
	女性 (n=1,484)	6.0%	17.3%	65.4%	7.7%	1.5%	2.2%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	6.3%	15.7%	63.9%	11.9%	1.2%	1.0%	
	70～74歳 (n=566)	7.1%	19.6%	59.7%	10.8%	2.1%	0.7%	
	75～79歳 (n=573)	7.3%	18.0%	62.8%	8.4%	1.7%	1.7%	
	80～84歳 (n=464)	8.0%	17.0%	63.4%	7.8%	1.5%	2.4%	
	85～89歳 (n=336)	3.6%	16.4%	68.8%	7.1%	1.5%	2.7%	
	90歳以上 (n=103)	2.9%	16.5%	67.0%	6.8%	3.9%	2.9%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	6.9%	19.4%	58.1%	13.3%	2.1%	0.2%
		75～84歳 (n=404)	9.2%	16.3%	61.4%	9.7%	2.2%	1.2%
		85歳以上 (n=130)	2.3%	10.8%	73.1%	11.5%	0.8%	1.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	6.7%	16.2%	64.7%	9.8%	1.2%	1.4%
		75～84歳 (n=605)	6.6%	17.7%	64.6%	7.3%	1.3%	2.5%
		85歳以上 (n=293)	3.4%	18.1%	68.3%	4.4%	2.7%	3.1%
家族構成	1人暮らし (n=658)	8.7%	24.3%	55.6%	6.8%	2.1%	2.4%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	5.8%	12.8%	66.5%	12.1%	1.3%	1.5%	
	子のみ同居 (n=511)	6.8%	15.3%	68.7%	6.1%	2.5%	0.6%	
	その他 (n=392)	4.1%	19.6%	62.8%	11.0%	1.3%	1.3%	
住まい	持ち家 (n=1,978)	3.8%	13.8%	68.4%	11.3%	2.0%	0.9%	
	賃貸 (n=488)	17.0%	30.7%	46.7%	2.3%	1.0%	2.3%	
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	4.2%	7.7%	64.8%	18.1%	4.2%	1.0%	
	まあよい (n=1,508)	4.8%	15.5%	67.0%	9.9%	1.5%	1.4%	
	あまりよくない (n=545)	9.7%	26.4%	56.9%	3.7%	1.1%	2.2%	
	よくない (n=128)	18.0%	25.0%	44.5%	7.0%	1.6%	3.9%	

問6 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに)

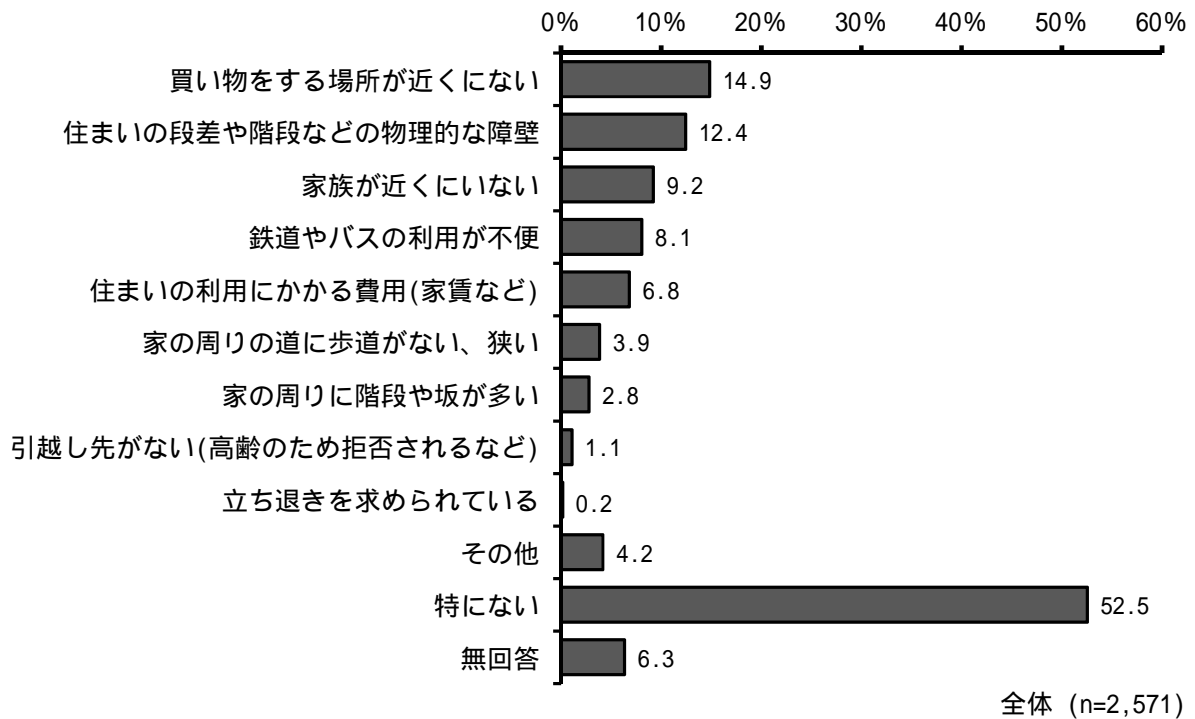
- ・「持ち家の一戸建て」(56.5%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(20.4%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(10.2%)となっている。
- ・『1人暮らし』では、「持ち家の一戸建て」(39.4%)の割合が低くなり、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(22.0%)の割合が高くなっている。



		持ち家の一戸建て	持ち家の集合住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)	高齢者向け住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)	その他	無回答	
全体	(n=2,571)	56.5%	20.4%	1.3%	10.2%	7.5%	0.7%	2.4%	1.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	57.2%	23.7%	1.4%	8.6%	6.2%	0.1%	2.4%	0.5%	
	要支援1・2 (n=637)	59.3%	16.5%	1.3%	10.2%	8.2%	1.7%	2.7%	1.1%	
性別	男性 (n=1,015)	57.2%	20.9%	1.4%	11.7%	5.7%	0.3%	2.7%	0.1%	
	女性 (n=1,484)	55.4%	20.8%	1.3%	9.2%	8.8%	0.9%	2.2%	1.5%	
年齢	65～69歳 (n=504)	52.0%	27.6%	1.8%	11.7%	4.0%	0.0%	2.6%	0.4%	
	70～74歳 (n=566)	52.1%	24.2%	1.2%	11.7%	7.6%	0.0%	3.2%	0.0%	
	75～79歳 (n=573)	55.8%	20.1%	1.6%	10.3%	8.6%	0.2%	2.6%	0.9%	
	80～84歳 (n=464)	61.2%	15.5%	1.1%	10.1%	7.8%	0.6%	1.9%	1.7%	
	85～89歳 (n=336)	64.3%	13.1%	0.9%	5.7%	10.7%	2.1%	1.8%	1.5%	
	90歳以上 (n=103)	61.2%	14.6%	1.0%	5.8%	8.7%	5.8%	0.0%	2.9%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	50.0%	24.8%	1.7%	15.0%	5.0%	0.0%	3.5%	0.0%
		75～84歳 (n=404)	60.9%	18.8%	1.5%	9.9%	5.9%	0.5%	2.2%	0.2%
		85歳以上 (n=130)	73.1%	13.1%	0.0%	4.6%	7.7%	0.8%	0.8%	0.0%
	女性	65～74歳 (n=580)	53.4%	27.1%	1.4%	9.0%	6.7%	0.0%	2.1%	0.3%
		75～84歳 (n=605)	55.5%	18.2%	1.3%	10.4%	9.8%	0.3%	2.5%	2.0%
	85歳以上 (n=293)	59.4%	13.7%	1.0%	6.1%	11.3%	4.1%	1.7%	2.7%	
家族構成	1人暮らし (n=658)	39.4%	20.1%	1.7%	22.0%	11.7%	1.8%	1.8%	1.5%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	58.9%	23.1%	0.9%	6.8%	8.0%	0.0%	1.9%	0.3%	
	子のみ同居 (n=511)	63.6%	21.5%	2.0%	5.9%	4.5%	0.2%	1.8%	0.6%	
	その他 (n=392)	69.9%	14.3%	1.0%	4.6%	3.3%	0.8%	4.6%	1.5%	

問7 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも)

- ・「買い物をする場所が近くにない」(14.9%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(12.4%)、「家族が近くにいない」(9.2%)、「鉄道やバスの利用が不便」(8.1%)、「住まいの利用にかかる費用(家賃など)」(6.8%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は52.5%となっている。
- ・「買い物をする場所が近くにない」や「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」の割合は、『非認定者(自立)』よりも『要支援1・2』の割合が15ポイント程度高くなっている。
- ・『1人暮らし』では、「家族が近くにいない」(20.4%)の割合が最も高くなっている。



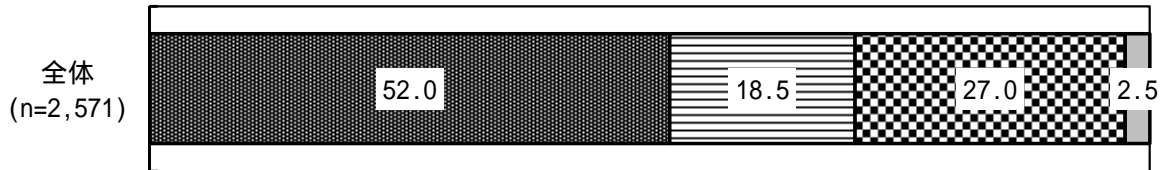
		住まいの段差や階段などの物理的な障壁	買い物をする場所が近くにない	家の周りに階段や坂が多い	家の周りに歩道がない、狭い	鉄道やバスの利用が不便	家族が近くにいない	住まいの利用にかかる費用(家賃など)	立ち退きを求められている	引越し先がない(高齢のため拒否されるなど)	その他	特にない	無回答	
全体 (n=2,571)		12.4%	14.9%	2.8%	3.9%	8.1%	9.2%	6.8%	0.2%	1.1%	4.2%	52.5%	6.3%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	8.6%	10.4%	2.0%	3.4%	6.5%	4.4%	6.5%	0.2%	0.7%	3.5%	63.6%	3.7%	
	要支援1・2 (n=637)	22.9%	25.4%	4.7%	5.3%	13.5%	18.2%	5.0%	0.0%	1.3%	6.1%	30.1%	8.8%	
性別	男性 (n=1,015)	12.4%	11.0%	2.9%	3.9%	7.9%	7.2%	8.1%	0.2%	1.5%	3.5%	56.7%	4.3%	
	女性 (n=1,484)	12.5%	16.8%	2.8%	3.7%	8.2%	10.4%	6.0%	0.1%	0.7%	4.6%	50.4%	7.3%	
年齢	65～69歳 (n=504)	7.7%	9.1%	2.8%	4.2%	6.2%	5.2%	9.1%	0.2%	0.8%	3.8%	63.3%	3.0%	
	70～74歳 (n=566)	10.4%	11.3%	1.9%	2.5%	6.5%	3.9%	8.3%	0.2%	1.2%	4.1%	58.8%	4.9%	
	75～79歳 (n=573)	10.6%	14.8%	2.6%	4.5%	8.0%	8.0%	6.3%	0.2%	1.4%	3.8%	53.9%	6.1%	
	80～84歳 (n=464)	16.2%	16.2%	3.2%	4.5%	10.3%	12.9%	6.7%	0.0%	0.9%	4.7%	45.0%	7.5%	
	85～89歳 (n=336)	18.5%	25.0%	3.6%	3.9%	11.3%	17.3%	3.3%	0.0%	0.6%	4.5%	40.8%	8.9%	
	90歳以上 (n=103)	19.4%	22.3%	4.9%	2.9%	7.8%	21.4%	3.9%	0.0%	1.9%	3.9%	35.0%	13.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	10.4%	6.5%	2.5%	2.9%	5.8%	2.9%	10.6%	0.2%	1.5%	3.3%	62.3%	3.5%
		75～84歳 (n=404)	12.9%	13.1%	2.7%	5.4%	8.4%	8.2%	7.4%	0.0%	1.2%	4.0%	54.2%	4.2%
		85歳以上 (n=130)	18.5%	21.5%	4.6%	3.1%	13.8%	19.2%	0.8%	0.0%	1.5%	3.1%	43.8%	7.7%
	女性	65～74歳 (n=580)	8.1%	12.9%	2.1%	3.6%	6.2%	5.7%	7.1%	0.2%	0.7%	4.5%	60.0%	4.5%
		75～84歳 (n=605)	13.6%	16.7%	3.0%	4.0%	9.8%	11.6%	5.8%	0.2%	0.8%	4.6%	47.1%	8.4%
	85歳以上 (n=293)	18.4%	24.2%	3.8%	3.1%	9.2%	17.4%	4.4%	0.0%	0.3%	4.4%	38.6%	10.6%	
家族構成	1人暮らし (n=658)	12.6%	17.8%	3.0%	2.9%	8.5%	20.4%	10.0%	0.3%	2.6%	4.7%	42.7%	6.7%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	12.9%	14.0%	2.9%	4.8%	8.4%	8.8%	5.8%	0.2%	0.9%	2.8%	55.0%	5.2%	
	子のみ同居 (n=511)	14.3%	12.9%	3.5%	3.7%	7.6%	2.0%	7.0%	0.0%	0.2%	5.1%	56.0%	6.5%	
	その他 (n=392)	9.7%	14.0%	1.0%	3.6%	7.4%	2.3%	3.8%	0.0%	0.3%	5.9%	59.7%	6.4%	

(4) からだを動かすことについて

問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに)

- ・「できるし、している」が52.0%、「できるけどしていない」が18.5%で、合わせた割合は70.5%、一方、「できない」が27.0%となっている。
- ・「できない」割合は、『70～74歳』では13.3%、『75～79歳』では25.7%と、75歳以上で高くなる傾向があり、特に女性でその傾向が強くなっている《「女性・65～74歳」(11.2%)、「女性・75～84歳」(38.2%)》。

(%)

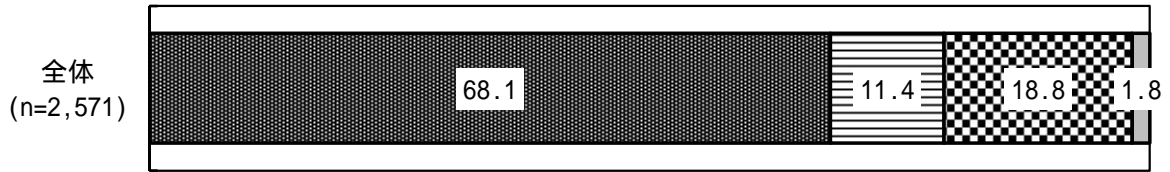


できるし、している
 できるけどしていない
 できない
 無回答

		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全体 (n=2,571)		52.0%	18.5%	27.0%	2.5%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	67.7%	20.7%	10.4%	1.1%	
	要支援1・2 (n=637)	17.0%	13.0%	67.0%	3.0%	
性別	男性 (n=1,015)	60.0%	20.1%	18.6%	1.3%	
	女性 (n=1,484)	47.2%	17.7%	32.2%	2.8%	
年齢	65～69歳 (n=504)	78.0%	14.1%	7.1%	0.8%	
	70～74歳 (n=566)	66.6%	19.4%	13.3%	0.7%	
	75～79歳 (n=573)	52.0%	20.1%	25.7%	2.3%	
	80～84歳 (n=464)	36.0%	22.0%	38.4%	3.7%	
	85～89歳 (n=336)	22.9%	17.0%	55.4%	4.8%	
	90歳以上 (n=103)	15.5%	17.5%	62.1%	4.9%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	74.4%	16.0%	9.2%	0.4%
		75～84歳 (n=404)	54.2%	24.3%	19.6%	2.0%
		85歳以上 (n=130)	25.4%	21.5%	50.8%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	70.0%	17.9%	11.2%	0.9%
		75～84歳 (n=605)	39.0%	19.3%	38.2%	3.5%
		85歳以上 (n=293)	19.8%	14.3%	60.4%	5.5%

問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに)

- ・「できるし、している」が68.1%、「できるけどしていない」が11.4%で、合わせた割合は79.5%、一方、「できない」が18.8%となっている。
 - ・「できない」は、年齢が高くなるほど割合が高くなっており、85歳以上では40%を超えている。
- (%)

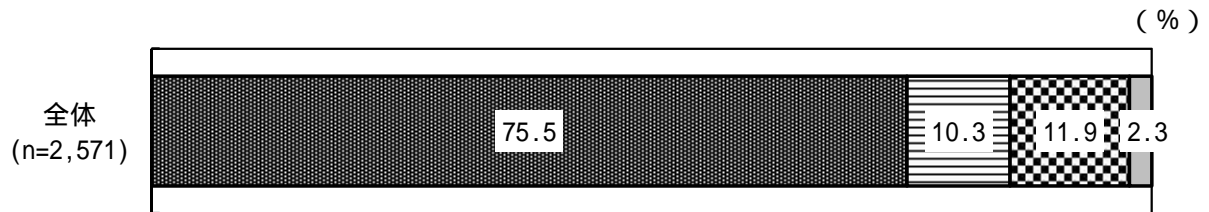


できるし、している
 できるけどしていない
 できない
 無回答

		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	
全 体 (n=2,571)		68.1%	11.4%	18.8%	1.8%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	83.0%	10.1%	6.0%	0.9%	
	要支援1・2 (n=637)	36.6%	13.5%	47.9%	2.0%	
性別	男性 (n=1,015)	74.6%	11.3%	12.8%	1.3%	
	女性 (n=1,484)	64.7%	11.1%	22.5%	1.7%	
年齢	65～69歳 (n=504)	86.7%	8.3%	4.4%	0.6%	
	70～74歳 (n=566)	82.0%	9.2%	8.3%	0.5%	
	75～79歳 (n=573)	70.2%	11.2%	17.5%	1.2%	
	80～84歳 (n=464)	56.5%	13.8%	26.3%	3.4%	
	85～89歳 (n=336)	40.8%	14.3%	41.4%	3.6%	
	90歳以上 (n=103)	35.0%	18.4%	46.6%	0.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	84.2%	9.4%	6.0%	0.4%
		75～84歳 (n=404)	71.8%	11.1%	14.6%	2.5%
		85歳以上 (n=130)	48.5%	19.2%	32.3%	0.0%
	女性	65～74歳 (n=580)	84.5%	8.3%	6.7%	0.5%
		75～84歳 (n=605)	60.3%	12.9%	25.0%	1.8%
		85歳以上 (n=293)	35.5%	13.0%	47.8%	3.8%

問10 15分位続けて歩いていますか。(1つに)

- ・「できるし、している」が75.5%、「できるけどしていない」が10.3%で、合わせた割合は85.8%、一方、「できない」が11.9%となっている。
- ・「できない」は、『65～69歳』では2.6%、『90歳以上』では42.7%と、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。



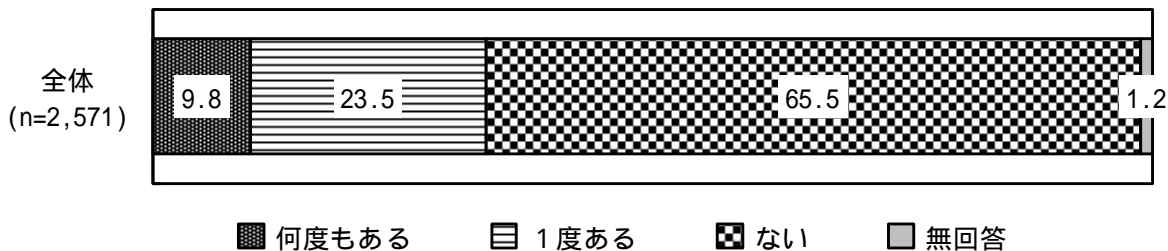
できるし、している
 できるけどしていない
 できない
 無回答

		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	
全 体 (n=2,571)		75.5%	10.3%	11.9%	2.3%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	85.9%	10.2%	3.3%	0.7%	
	要支援1・2 (n=637)	51.8%	11.6%	32.8%	3.8%	
性別	男性 (n=1,015)	78.7%	11.3%	9.3%	0.7%	
	女性 (n=1,484)	74.0%	9.7%	13.3%	3.0%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	86.5%	10.5%	2.6%	0.4%	
	70～74歳 (n=566)	83.0%	10.6%	5.8%	0.5%	
	75～79歳 (n=573)	81.8%	7.9%	8.6%	1.7%	
	80～84歳 (n=464)	69.0%	11.2%	15.3%	4.5%	
	85～89歳 (n=336)	55.7%	12.8%	27.1%	4.5%	
	90歳以上 (n=103)	44.7%	9.7%	42.7%	2.9%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	84.6%	10.4%	4.8%	0.2%
		75～84歳 (n=404)	79.5%	11.1%	7.9%	1.5%
		85歳以上 (n=130)	55.4%	14.6%	30.0%	0.0%
	女性	65～74歳 (n=580)	84.7%	10.9%	3.8%	0.7%
		75～84歳 (n=605)	74.9%	7.6%	13.6%	4.0%
		85歳以上 (n=293)	51.9%	11.6%	31.4%	5.1%

問11 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに)

- ・「何度もある」が9.8%、「1度ある」が23.5%で、合わせた割合は33.3%、一方、「ない」が65.5%となっている。
- ・「何度もある」と「1度ある」を合わせると、年齢が高くなるほど割合が高くなっているが、『性別』の差はみられない《「男性」(30.8%)、「女性」(34.4%)》。また、主観的健康感が『とてもよい』(14.9%)よりも『よくない』(50.0%)や、『治療中の病気等・ない』(18.8%)よりも『ある』(35.7%)の割合が高くなっている。

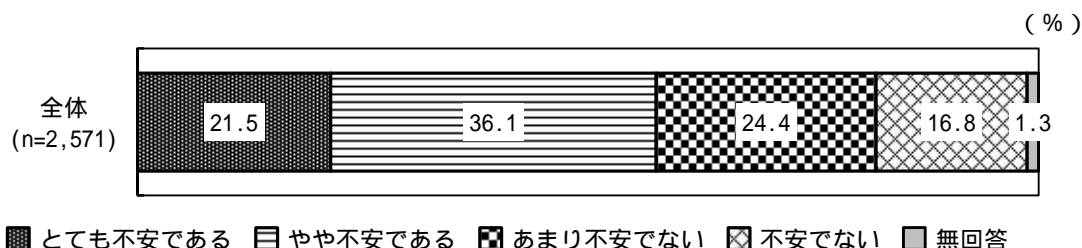
(%)



		何度もある	1度ある	ない	無回答	
全 体	(n=2,571)	9.8%	23.5%	65.5%	1.2%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	5.5%	19.0%	74.9%	0.6%	
	要支援1・2 (n=637)	20.7%	31.4%	46.6%	1.3%	
性別	男性 (n=1,015)	10.4%	20.4%	68.6%	0.6%	
	女性 (n=1,484)	9.4%	25.0%	64.4%	1.2%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	7.3%	17.1%	75.0%	0.6%	
	70～74歳 (n=566)	6.4%	18.0%	74.9%	0.7%	
	75～79歳 (n=573)	7.2%	25.1%	67.4%	0.3%	
	80～84歳 (n=464)	12.9%	26.3%	58.6%	2.2%	
	85～89歳 (n=336)	17.0%	32.7%	48.2%	2.1%	
	90歳以上 (n=103)	20.4%	32.0%	46.6%	1.0%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	9.0%	15.0%	75.4%	0.6%
		75～84歳 (n=404)	8.7%	23.3%	67.3%	0.7%
		85歳以上 (n=130)	21.5%	31.5%	46.9%	0.0%
	女性	65～74歳 (n=580)	5.0%	19.5%	75.0%	0.5%
		75～84歳 (n=605)	10.1%	26.9%	61.7%	1.3%
		85歳以上 (n=293)	16.7%	31.7%	49.1%	2.4%
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	2.6%	12.3%	84.5%	0.6%	
	まあよい (n=1,508)	6.6%	22.3%	70.1%	0.9%	
	あまりよくない (n=545)	19.6%	30.3%	49.0%	1.1%	
	よくない (n=128)	23.4%	26.6%	47.7%	2.3%	
治療中の 病気等	ない (n=329)	3.6%	15.2%	79.9%	1.2%	
	ある (n=2,102)	11.1%	24.6%	63.2%	1.1%	

問12 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに)

- ・「とても不安である」(21.5%)と「やや不安である」(36.1%)を合わせた割合は57.6%となっている。
- ・一方、「あまり不安でない」(24.4%)と「不安でない」(16.8%)を合わせた割合は41.2%となっている。
- ・「とても不安である・やや不安である」は、『65～69歳』(40.3%)、『90歳以上』(86.4%)と、年齢が高いほど割合が高く、また、『男性』(46.2%)よりも『女性』(64.7%)の割合が高くなっている。



		とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	
全 体 (n=2,571)		21.5%	36.1%	24.4%	16.8%	1.3%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	10.7%	34.3%	31.0%	23.4%	0.6%	
	要支援1・2 (n=637)	46.3%	41.4%	8.6%	2.4%	1.3%	
性別	男性 (n=1,015)	12.6%	33.6%	28.5%	24.5%	0.8%	
	女性 (n=1,484)	27.1%	37.6%	22.0%	11.9%	1.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	10.9%	29.4%	30.4%	29.0%	0.4%	
	70～74歳 (n=566)	12.9%	30.7%	32.5%	23.5%	0.4%	
	75～79歳 (n=573)	19.0%	39.3%	24.4%	16.4%	0.9%	
	80～84歳 (n=464)	29.3%	38.8%	21.1%	8.4%	2.4%	
	85～89歳 (n=336)	36.9%	45.5%	10.7%	4.2%	2.7%	
	90歳以上 (n=103)	47.6%	38.8%	9.7%	2.9%	1.0%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	7.9%	26.3%	31.9%	33.3%	0.6%
		75～84歳 (n=404)	13.4%	36.1%	29.5%	20.3%	0.7%
		85歳以上 (n=130)	27.7%	52.3%	13.1%	5.4%	1.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	14.8%	33.3%	31.4%	20.3%	0.2%
		75～84歳 (n=605)	30.4%	40.3%	19.0%	8.1%	2.1%
		85歳以上 (n=293)	44.0%	41.0%	9.2%	3.4%	2.4%
主観的健康感	とてもよい (n=310)	5.8%	17.4%	26.8%	48.7%	1.3%	
	まあよい (n=1,508)	15.3%	36.9%	30.3%	16.4%	1.1%	
	あまりよくない (n=545)	37.8%	45.3%	11.9%	4.4%	0.6%	
	よくない (n=128)	57.0%	29.7%	8.6%	3.9%	0.8%	
治療中の病気等	ない (n=329)	6.7%	28.0%	31.3%	32.8%	1.2%	
	ある (n=2,102)	24.0%	37.9%	23.2%	13.8%	1.0%	

問13 週に1回以上は外出していますか。(1つに)

- ・「週2～4回」(43.2%)が最も多く、次いで「週5回以上」(36.4%)、「週1回」(13.2%)、「ほとんど外出しない」(6.4%)となっている。
- ・「ほとんど外出しない」は、『65～69歳』(1.8%)、『90歳以上』(26.2%)と、年齢が高いほど割合が高く、特に85歳以上で高くなっている。また、主観的健康感が『あまりよくない』(12.3%)、『よくない』(28.1%)の割合が高くなっている。

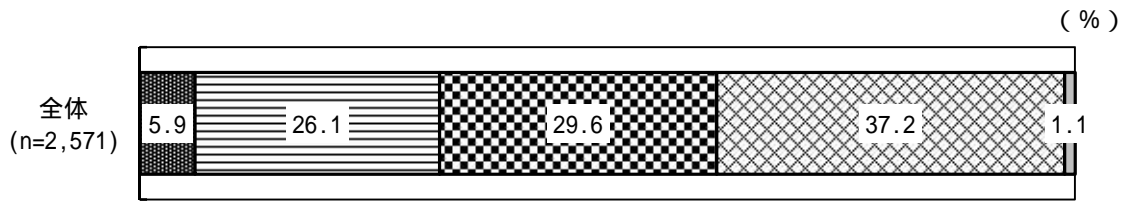
(%)



		ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	
全体	(n=2,571)	6.4%	13.2%	43.2%	36.4%	0.8%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	2.7%	8.0%	42.1%	46.9%	0.3%	
	要支援1・2 (n=637)	14.1%	26.2%	47.6%	11.6%	0.5%	
性別	男性 (n=1,015)	5.2%	9.8%	40.7%	44.0%	0.3%	
	女性 (n=1,484)	7.1%	15.1%	45.1%	31.8%	0.9%	
年齢	65～69歳 (n=504)	1.8%	6.7%	38.1%	53.2%	0.2%	
	70～74歳 (n=566)	3.4%	8.8%	41.0%	46.6%	0.2%	
	75～79歳 (n=573)	3.7%	11.3%	46.2%	37.7%	1.0%	
	80～84歳 (n=464)	8.0%	17.5%	45.5%	28.0%	1.1%	
	85～89歳 (n=336)	14.6%	21.4%	48.8%	13.7%	1.5%	
	90歳以上 (n=103)	26.2%	32.0%	33.0%	8.7%	0.0%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	3.1%	6.0%	36.7%	54.2%	0.0%
		75～84歳 (n=404)	4.0%	10.4%	44.1%	41.1%	0.5%
		85歳以上 (n=130)	16.9%	21.5%	44.6%	16.2%	0.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	2.1%	9.1%	42.1%	46.4%	0.3%
		75～84歳 (n=605)	6.4%	16.0%	47.8%	28.3%	1.5%
		85歳以上 (n=293)	18.1%	24.9%	45.4%	10.6%	1.0%
主観的健康感	とてもよい (n=310)	0.6%	4.8%	28.4%	65.5%	0.6%	
	まあよい (n=1,508)	3.3%	10.5%	45.2%	40.5%	0.6%	
	あまりよくない (n=545)	12.3%	20.7%	47.7%	18.5%	0.7%	
	よくない (n=128)	28.1%	28.1%	36.7%	6.3%	0.8%	
治療中の病気等	ない (n=329)	2.4%	7.0%	36.2%	54.1%	0.3%	
	ある (n=2,102)	7.0%	13.9%	44.6%	33.6%	0.9%	

問14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに)

- ・「とても減っている」(5.9%)と「減っている」(26.1%)を合わせた割合は32.0%となっている。
- ・一方、「あまり減っていない」(29.6%)と「減っていない」(37.2%)を合わせた割合は66.8%となっている。
- ・「とても減っている」と「減っている」を合わせると、『65～69歳』(18.3%)、『90歳以上』(69.0%)と、年齢が高いほど割合が高く、特に85歳以上で高くなっている。また、主観的健康感が『よくない』や治療中の病気等が『ある』で割合が高く、主観的幸福感が『低い』ほど割合が高くなっている。



■ とても減っている □ 減っている ▣ あまり減っていない ▤ 減っていない □ 無回答

		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答		
全体	(n=2,571)	5.9%	26.1%	29.6%	37.2%	1.1%		
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	1.9%	17.7%	32.1%	48.1%	0.2%	
	要支援1・2	(n=637)	15.1%	45.8%	24.5%	13.3%	1.3%	
性別	男性	(n=1,015)	4.3%	22.2%	29.5%	43.3%	0.8%	
	女性	(n=1,484)	6.9%	29.0%	29.8%	33.2%	1.1%	
年齢	65～69歳	(n=504)	0.8%	17.5%	26.6%	54.8%	0.4%	
	70～74歳	(n=566)	2.7%	17.7%	30.7%	48.9%	0.0%	
	75～79歳	(n=573)	4.5%	24.4%	32.1%	38.0%	0.9%	
	80～84歳	(n=464)	7.1%	32.8%	33.6%	24.8%	1.7%	
	85～89歳	(n=336)	14.3%	41.7%	26.5%	14.9%	2.7%	
	90歳以上	(n=103)	24.3%	44.7%	16.5%	12.6%	1.9%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=480)	2.1%	15.4%	26.7%	55.6%	0.2%
		75～84歳	(n=404)	4.0%	24.5%	33.2%	37.6%	0.7%
		85歳以上	(n=130)	13.8%	39.2%	28.5%	15.4%	3.1%
	女性	65～74歳	(n=580)	1.6%	19.5%	30.2%	48.6%	0.2%
		75～84歳	(n=605)	6.4%	30.7%	33.1%	28.1%	1.7%
		85歳以上	(n=293)	18.1%	44.7%	21.8%	13.3%	2.0%
主観的 健康感	とてもよい	(n=310)	0.0%	4.5%	17.7%	76.8%	1.0%	
	まあよい	(n=1,508)	2.9%	20.1%	35.1%	41.2%	0.7%	
	あまりよくない	(n=545)	11.4%	47.5%	26.6%	13.8%	0.7%	
	よくない	(n=128)	30.5%	53.1%	9.4%	4.7%	2.3%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点)	(n=43)	25.6%	37.2%	14.0%	16.3%	7.0%	
	やや不幸(3・4点)	(n=131)	9.9%	41.2%	26.0%	21.4%	1.5%	
	どちらでもない(5点)	(n=421)	6.4%	35.2%	32.3%	25.4%	0.7%	
	やや幸福(6・7点)	(n=640)	6.3%	28.6%	30.2%	34.7%	0.3%	
	幸福(8～10点)	(n=1,195)	4.1%	18.8%	30.0%	46.6%	0.5%	
治療中の 病気等	ない	(n=329)	1.2%	12.2%	26.4%	59.6%	0.6%	
	ある	(n=2,102)	6.8%	28.6%	29.9%	33.7%	1.0%	

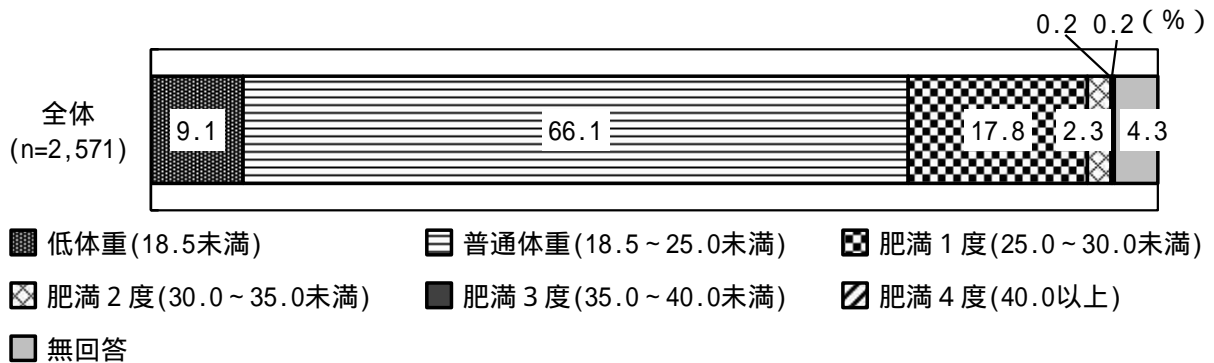
(5) 食べることについて

問15 身長・体重をお教えてください。(BMI)

- ・「普通体重(18.5~25.0未満)」(66.1%)で、肥満の「1度」~「4度」を合わせた「肥満(25.0以上)」の割合は20.5%、一方、「低体重(18.5未満)」は9.1%となっている。
- ・「低体重」は、『65~69歳』(6.7%)、『90歳以上』(16.5%)と、年齢が高くなるほど割合が高くなっており、『男性』(6.3%)よりも『女性』(11.1%)のほうが高くなっている。

BMI (Body mass index)

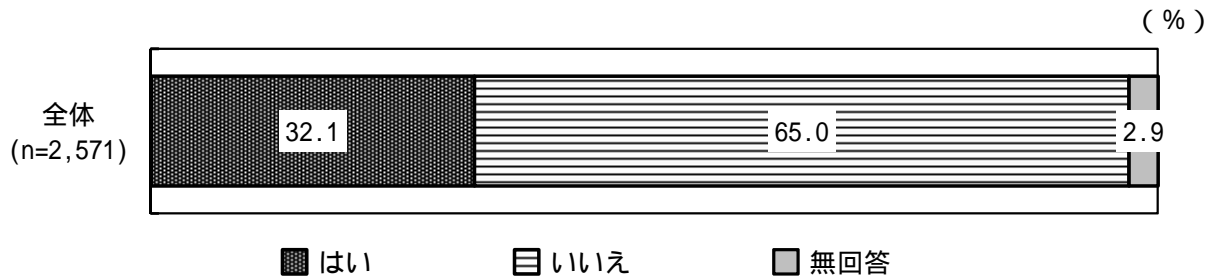
[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値。肥満や低体重(やせ)の分析に用いる。



		低体重 (18.5未満)	普通体重 (18.5~ 25.0未満)	肥満 (1度/ 25.0~30.0 未満)	肥満 (2度/ 30.0~35.0 未満)	肥満 (3度/ 35.0~40.0 未満)	肥満 (4度/ 40.0以上)	無回答		
全 体		(n=2,571)	9.1%	66.1%	17.8%	2.3%	0.2%	0.2%	4.3%	
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	7.3%	70.3%	17.7%	2.3%	0.1%	0.1%	2.2%	
	要支援1・2	(n=637)	11.6%	64.1%	17.4%	1.7%	0.2%	0.2%	4.9%	
性別	男性	(n=1,015)	6.3%	67.3%	20.1%	2.4%	0.1%	0.1%	3.7%	
	女性	(n=1,484)	11.1%	65.6%	16.1%	2.4%	0.2%	0.2%	4.5%	
年齢	65~69歳	(n=504)	6.7%	67.9%	20.0%	3.2%	0.2%	0.2%	1.8%	
	70~74歳	(n=566)	6.9%	68.0%	19.3%	2.8%	0.0%	0.2%	2.8%	
	75~79歳	(n=573)	9.1%	67.7%	16.6%	2.8%	0.2%	0.0%	3.7%	
	80~84歳	(n=464)	9.3%	65.3%	17.5%	1.5%	0.2%	0.2%	6.0%	
	85~89歳	(n=336)	13.7%	63.4%	14.3%	1.2%	0.3%	0.3%	6.8%	
	90歳以上	(n=103)	16.5%	54.4%	17.5%	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%	
性別 × 年齢	男性	65~74歳	(n=480)	5.0%	66.0%	23.1%	3.3%	0.2%	0.0%	2.3%
		75~84歳	(n=404)	5.4%	69.3%	18.6%	2.0%	0.0%	0.2%	4.5%
		85歳以上	(n=130)	13.1%	66.2%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%
	女性	65~74歳	(n=580)	8.3%	69.5%	16.7%	2.8%	0.0%	0.3%	2.4%
		75~84歳	(n=605)	11.6%	65.1%	15.9%	2.5%	0.3%	0.0%	4.6%
		85歳以上	(n=293)	15.4%	58.7%	15.4%	1.4%	0.3%	0.3%	8.5%
主観的 健康感	とてもよい	(n=310)	6.5%	71.3%	18.4%	1.3%	0.0%	0.0%	2.6%	
	まあよい	(n=1,508)	8.2%	66.8%	18.6%	2.3%	0.3%	0.2%	3.6%	
	あまりよくない	(n=545)	12.1%	63.9%	15.6%	3.3%	0.0%	0.0%	5.1%	
	よくない	(n=128)	15.6%	59.4%	17.2%	0.8%	0.0%	0.8%	6.3%	
治療中の 病気等	ない	(n=329)	10.0%	72.0%	14.9%	0.3%	0.3%	0.0%	2.4%	
	ある	(n=2,102)	8.8%	65.6%	18.7%	2.6%	0.1%	0.2%	3.9%	

問16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに)

- ・「はい」が32.1%、「いいえ」が65.0%となっている。
- ・「はい」は、『65～69歳』(19.2%)、『90歳以上』(59.2%)と、年齢が高いほど割合が高くなっている。なお、男女の差はみられない《『男性』(30.7%)、『女性』(32.7%)》。また、主観的健康感が『よくない』ほど割合が高くなっている。

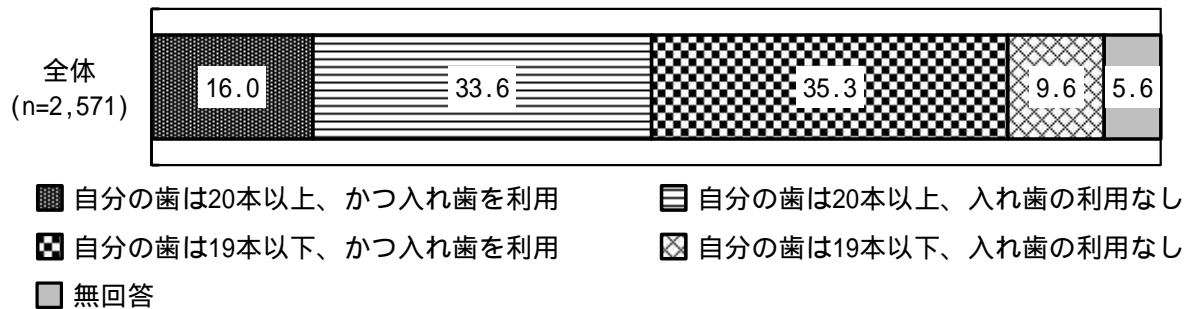


		はい	いいえ	無回答	
全 体	(n=2,571)	32.1%	65.0%	2.9%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	24.9%	73.6%	1.6%	
	要支援1・2 (n=637)	46.6%	50.2%	3.1%	
性別	男性 (n=1,015)	30.7%	66.4%	2.9%	
	女性 (n=1,484)	32.7%	64.8%	2.5%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	19.2%	79.8%	1.0%	
	70～74歳 (n=566)	25.4%	72.4%	2.1%	
	75～79歳 (n=573)	32.5%	64.6%	3.0%	
	80～84歳 (n=464)	37.1%	59.1%	3.9%	
	85～89歳 (n=336)	47.6%	47.9%	4.5%	
	90歳以上 (n=103)	59.2%	38.8%	1.9%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	22.3%	75.4%	2.3%
		75～84歳 (n=404)	34.4%	62.1%	3.5%
		85歳以上 (n=130)	50.8%	46.9%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	22.4%	76.6%	1.0%
		75～84歳 (n=605)	34.7%	62.1%	3.1%
		85歳以上 (n=293)	49.8%	46.1%	4.1%
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	11.0%	86.1%	2.9%	
	まあよい (n=1,508)	27.4%	70.0%	2.7%	
	あまりよくない (n=545)	48.4%	49.5%	2.0%	
	よくない (n=128)	60.2%	36.7%	3.1%	
治療中の 病気等	ない (n=329)	21.3%	76.3%	2.4%	
	ある (n=2,102)	33.7%	63.7%	2.7%	

問17 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(1つに)

- ・「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(35.3%)が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(33.6%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(16.0%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(9.6%)となっている。
- ・「入れ歯を利用している」割合は51.3%、「自分の歯が19本以下」の割合は44.9%となっている。
- ・「入れ歯を利用している」割合は、75歳を超えると半数以上となっている。

(%)

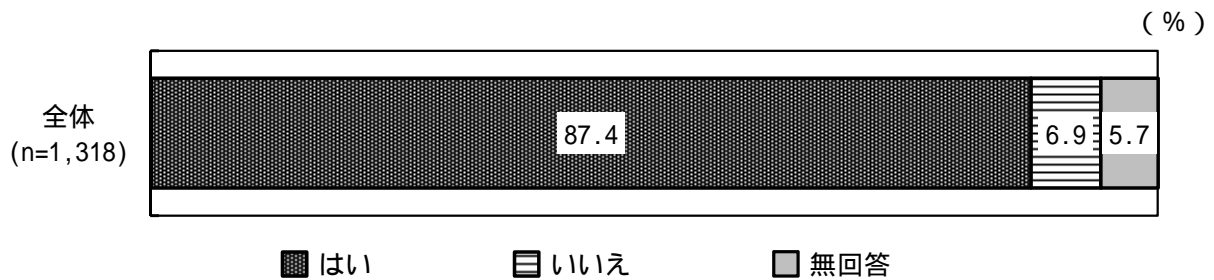


		自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答	
全 体 (n=2,571)		16.0%	33.6%	35.3%	9.6%	5.6%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	16.8%	41.1%	30.4%	8.9%	2.9%	
	要支援1・2 (n=637)	14.8%	22.0%	47.9%	8.6%	6.8%	
性別	男性 (n=1,015)	16.4%	34.1%	33.7%	11.0%	4.8%	
	女性 (n=1,484)	15.8%	33.2%	36.9%	8.4%	5.7%	
年齢	65～69歳 (n=504)	15.5%	49.4%	19.8%	12.9%	2.4%	
	70～74歳 (n=566)	17.8%	41.2%	27.0%	10.1%	3.9%	
	75～79歳 (n=573)	16.2%	31.6%	38.7%	7.9%	5.6%	
	80～84歳 (n=464)	15.3%	26.7%	41.2%	9.1%	7.8%	
	85～89歳 (n=336)	16.7%	16.7%	52.1%	6.0%	8.6%	
	90歳以上 (n=103)	8.7%	11.7%	58.3%	13.6%	7.8%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	15.6%	44.0%	21.9%	15.6%	2.9%
		75～84歳 (n=404)	17.6%	29.2%	40.3%	6.7%	6.2%
		85歳以上 (n=130)	15.4%	13.1%	56.9%	6.9%	7.7%
	女性	65～74歳 (n=580)	17.8%	46.0%	25.0%	7.9%	3.3%
		75～84歳 (n=605)	14.9%	29.1%	40.3%	9.1%	6.6%
		85歳以上 (n=293)	14.0%	16.4%	53.2%	7.8%	8.5%
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	15.5%	43.9%	29.0%	8.7%	2.9%	
	まあよい (n=1,508)	17.6%	36.3%	32.8%	8.6%	4.8%	
	あまりよくない (n=545)	13.2%	23.5%	43.5%	11.7%	8.1%	
	よくない (n=128)	12.5%	28.9%	42.2%	11.7%	4.7%	

《問17で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ》

問17-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに)

- ・「はい」が87.4%、「いいえ」が6.9%となっている。
- ・「はい」の割合は、要支援認定の有無や年齢による大きな差はみられないが《『非認定者(自立)』(87.6%)、『要支援1・2』(87.2%)》、『女性』(4.1%)よりも『男性』(11.4%)の割合が高くなっている。

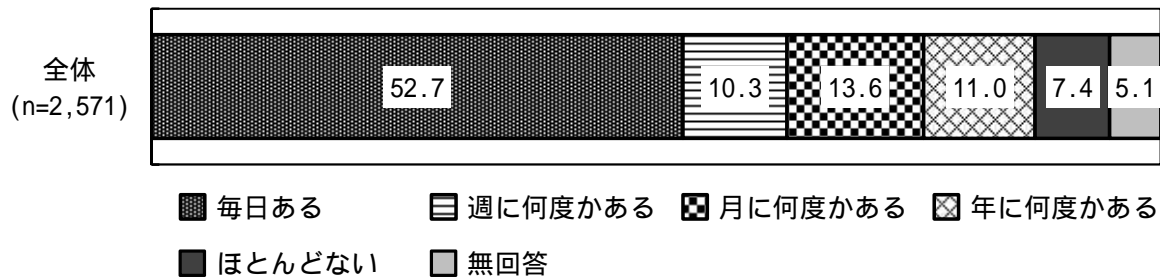


		はい	いいえ	無回答	
全 体	(n=1,318)	87.4%	6.9%	5.7%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=761)	87.6%	7.0%	5.4%	
	要支援1・2 (n=399)	87.2%	7.0%	5.8%	
性別	男性 (n=508)	82.3%	11.4%	6.3%	
	女性 (n=783)	90.8%	4.1%	5.1%	
年 齢	65～69歳 (n=178)	86.5%	6.2%	7.3%	
	70～74歳 (n=254)	85.8%	9.1%	5.1%	
	75～79歳 (n=315)	88.3%	6.0%	5.7%	
	80～84歳 (n=262)	85.1%	7.3%	7.6%	
	85～89歳 (n=231)	90.9%	6.1%	3.0%	
	90歳以上 (n=69)	89.9%	5.8%	4.3%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=180)	81.7%	13.3%	5.0%
		75～84歳 (n=234)	80.8%	10.7%	8.5%
		85歳以上 (n=94)	87.2%	9.6%	3.2%
	女性	65～74歳 (n=248)	89.1%	4.0%	6.9%
		75～84歳 (n=334)	91.3%	3.9%	4.8%
		85歳以上 (n=197)	92.4%	4.1%	3.6%

問18 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに)

- ・「毎日ある」(52.7%)と「週に何度かある」(10.3%)を合わせた割合は63.0%、一方、「ほとんどない」(7.4%)と「年に何度かある」(11.0%)と「月に何度かある」(13.6%)を合わせた割合は32.0%となっている。
- ・「ほとんどない」は、『女性』(5.5%)よりも『男性』(9.7%)の方がやや高く、年齢が高いほど割合が高くなっているが、『65～69歳』(3.6%)と『90歳以上』(11.7%)との差は8ポイント程度となっている。また、『1人暮らし』(16.7%)の割合が高く、主観的幸福感が『低い』ほど割合が高くなっている。

(%)

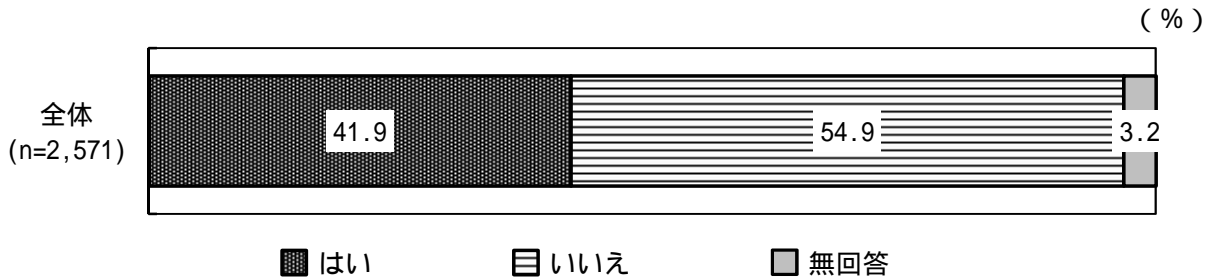


		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	
全 体 (n=2,571)		52.7%	10.3%	13.6%	11.0%	7.4%	5.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	60.0%	9.6%	12.5%	8.9%	3.8%	5.1%	
	要支援1・2 (n=637)	41.0%	13.2%	15.4%	16.2%	10.8%	3.5%	
性別	男性 (n=1,015)	58.2%	6.9%	9.9%	9.9%	9.7%	5.5%	
	女性 (n=1,484)	49.5%	12.4%	16.0%	12.0%	5.5%	4.6%	
年齢	65～69歳 (n=504)	66.5%	9.1%	8.9%	6.9%	3.6%	5.0%	
	70～74歳 (n=566)	61.0%	7.8%	11.3%	7.2%	6.9%	5.8%	
	75～79歳 (n=573)	52.0%	10.3%	14.8%	10.8%	6.8%	5.2%	
	80～84歳 (n=464)	41.8%	11.0%	17.5%	15.3%	8.8%	5.6%	
	85～89歳 (n=336)	40.5%	14.3%	16.1%	14.6%	11.6%	3.0%	
	90歳以上 (n=103)	34.0%	12.6%	17.5%	23.3%	11.7%	1.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	61.7%	8.3%	8.8%	7.1%	7.7%	6.5%
		75～84歳 (n=404)	56.9%	5.0%	9.7%	12.1%	10.9%	5.4%
		85歳以上 (n=130)	50.0%	7.7%	14.6%	13.1%	12.3%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	65.3%	8.6%	11.2%	7.1%	3.1%	4.7%
		75～84歳 (n=605)	41.7%	14.5%	19.7%	13.4%	5.3%	5.5%
		85歳以上 (n=293)	34.8%	15.7%	17.7%	18.8%	10.6%	2.4%
家族構成	1人暮らし (n=658)	4.9%	19.9%	31.5%	22.0%	16.7%	5.0%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	72.5%	4.8%	6.8%	7.4%	3.9%	4.7%	
	子のみ同居 (n=511)	65.9%	9.8%	7.4%	7.0%	5.3%	4.5%	
	その他 (n=392)	68.1%	6.9%	8.7%	7.4%	3.1%	5.9%	
主観的健康感	とてもよい (n=310)	63.2%	10.0%	12.9%	5.2%	3.2%	5.5%	
	まあよい (n=1,508)	55.9%	10.2%	13.1%	10.1%	5.6%	5.1%	
	あまりよくない (n=545)	43.1%	11.6%	14.9%	15.4%	11.7%	3.3%	
	よくない (n=128)	43.8%	7.0%	12.5%	14.1%	16.4%	6.3%	
主観的幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	27.9%	4.7%	14.0%	9.3%	27.9%	16.3%	
	やや不幸(3・4点) (n=131)	32.1%	7.6%	21.4%	14.5%	21.4%	3.1%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	42.8%	11.2%	15.7%	15.0%	11.9%	3.6%	
	やや幸福(6・7点) (n=640)	53.4%	9.8%	13.6%	13.1%	5.2%	4.8%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	60.0%	11.3%	11.8%	8.4%	3.8%	4.8%	

(6) 毎日の生活について

問19 物忘れが多いと感じますか。(1つに)

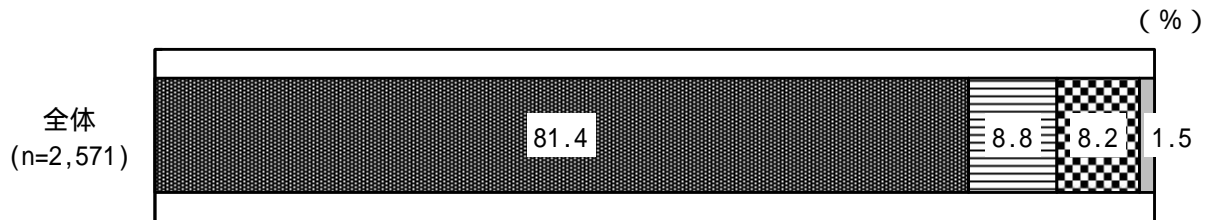
- ・「はい」が41.9%、「いいえ」が54.9%となっている。
- ・「はい」の割合は、『65～69歳』(33.9%)、『90歳以上』(64.1%)と、年齢が高いほど割合が高くなっている。



		はい	いいえ	無回答	
全 体	(n=2,571)	41.9%	54.9%	3.2%	
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	36.4%	61.8%	1.9%
	要支援1・2	(n=637)	52.7%	43.6%	3.6%
性別	男性	(n=1,015)	39.5%	57.7%	2.8%
	女性	(n=1,484)	43.1%	53.7%	3.2%
年齢	65～69歳	(n=504)	33.9%	65.1%	1.0%
	70～74歳	(n=566)	33.4%	64.0%	2.7%
	75～79歳	(n=573)	40.3%	55.5%	4.2%
	80～84歳	(n=464)	47.8%	48.3%	3.9%
	85～89歳	(n=336)	56.0%	41.1%	3.0%
	90歳以上	(n=103)	64.1%	29.1%	6.8%

問20 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに)

- ・「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が8.8%で、合わせた割合は90.2%、一方、「できない」が8.2%となっている。
- ・「できない」割合は、『65～69歳』(2.4%)、『90歳以上』(30.1%)と、年齢が高いほど割合が高く、特に85歳以上の割合が高くなっており、『女性』でその傾向が大きくなっている。



■ できるし、している ▨ できるけどしていない ▩ できない □ 無回答

		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全 体 (n=2,571)		81.4%	8.8%	8.2%	1.5%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	91.8%	5.8%	1.7%	0.7%	
	要支援1・2 (n=637)	58.9%	15.1%	24.3%	1.7%	
性別	男性 (n=1,015)	84.1%	8.6%	5.6%	1.7%	
	女性 (n=1,484)	80.1%	9.0%	9.9%	1.0%	
年齢	65～69歳 (n=504)	92.1%	4.8%	2.4%	0.8%	
	70～74歳 (n=566)	89.2%	6.0%	3.7%	1.1%	
	75～79歳 (n=573)	86.4%	6.5%	5.4%	1.7%	
	80～84歳 (n=464)	76.5%	12.3%	8.8%	2.4%	
	85～89歳 (n=336)	61.6%	15.8%	21.4%	1.2%	
	90歳以上 (n=103)	49.5%	19.4%	30.1%	1.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	89.2%	5.6%	3.8%	1.5%
		75～84歳 (n=404)	84.4%	9.4%	4.0%	2.2%
		85歳以上 (n=130)	65.4%	16.2%	17.7%	0.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	92.2%	4.7%	2.6%	0.5%
		75～84歳 (n=605)	81.3%	8.9%	8.4%	1.3%
		85歳以上 (n=293)	54.3%	17.7%	26.6%	1.4%
主観的健康感	とてもよい (n=310)	95.2%	2.9%	0.3%	1.6%	
	まあよい (n=1,508)	87.5%	7.5%	4.1%	0.9%	
	あまりよくない (n=545)	68.1%	13.2%	16.7%	2.0%	
	よくない (n=128)	46.1%	16.4%	35.2%	2.3%	

問21 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに)

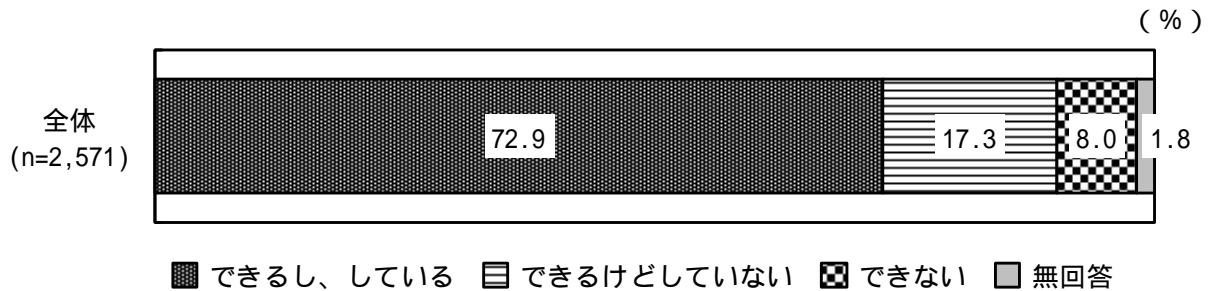
- ・「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が10.5%で、合わせた割合は91.9%、一方、「できない」が6.8%となっている。
- ・「できない」割合は、『65～69歳』(1.6%)、『90歳以上』(28.2%)と、年齢が高いほど割合が高く、特に85歳以上で高くなっている。



		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	
全 体 (n=2,571)		81.4%	10.5%	6.8%	1.2%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	89.8%	8.3%	1.4%	0.4%	
	要支援1・2 (n=637)	61.2%	17.0%	20.1%	1.7%	
性別	男性 (n=1,015)	76.7%	16.5%	5.2%	1.6%	
	女性 (n=1,484)	84.7%	6.7%	7.8%	0.8%	
年齢	65～69歳 (n=504)	90.3%	7.9%	1.6%	0.2%	
	70～74歳 (n=566)	88.5%	7.1%	3.2%	1.2%	
	75～79歳 (n=573)	83.1%	10.3%	4.7%	1.9%	
	80～84歳 (n=464)	78.0%	13.1%	7.5%	1.3%	
	85～89歳 (n=336)	67.3%	15.5%	16.1%	1.2%	
	90歳以上 (n=103)	54.4%	16.5%	28.2%	1.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	82.7%	13.1%	2.9%	1.3%
		75～84歳 (n=404)	75.0%	19.3%	3.5%	2.2%
		85歳以上 (n=130)	60.8%	19.2%	19.2%	0.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	94.8%	2.8%	2.1%	0.3%
		75～84歳 (n=605)	85.3%	6.4%	7.3%	1.0%
		85歳以上 (n=293)	64.2%	15.0%	19.5%	1.4%
家族構成	1人暮らし (n=658)	87.2%	4.7%	6.2%	1.8%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	80.9%	12.9%	5.3%	0.8%	
	子のみと同居 (n=511)	78.7%	11.5%	9.0%	0.8%	
	その他 (n=392)	78.3%	13.3%	7.4%	1.0%	
1人 暮らし × 年齢	65～74歳 (n=190)	95.3%	1.1%	2.1%	1.6%	
	75～84歳 (n=285)	89.1%	4.6%	3.9%	2.5%	
	85歳以上 (n=176)	76.1%	8.5%	14.2%	1.1%	

問22 自分で食事の用意をしていますか。(1つに)

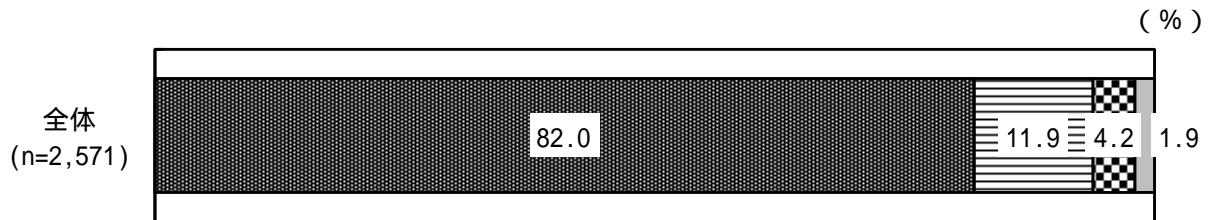
- ・「できるし、している」が72.9%、「できるけどしていない」が17.3%で、合わせた割合は90.2%、一方、「できない」が8.0%となっている。
- ・年齢が高くなるほど「できない」割合が高くなっており、特に『男性・85歳以上』(27.7%)の割合が高くなっている。
- ・「できない」割合は、『1人暮らし』では3.6%と低く、さらに年齢別にみると、『85歳以上』では6.8%となっている。



		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	
全 体 (n=2,571)		72.9%	17.3%	8.0%	1.8%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	76.4%	18.9%	4.1%	0.7%	
	要支援1・2 (n=637)	65.9%	15.1%	16.8%	2.2%	
性別	男性 (n=1,015)	49.3%	35.3%	13.7%	1.8%	
	女性 (n=1,484)	89.1%	5.1%	4.2%	1.7%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	77.2%	18.8%	3.6%	0.4%	
	70～74歳 (n=566)	76.3%	17.0%	5.5%	1.2%	
	75～79歳 (n=573)	73.6%	16.8%	7.2%	2.4%	
	80～84歳 (n=464)	71.3%	17.7%	9.3%	1.7%	
	85～89歳 (n=336)	66.1%	17.0%	14.6%	2.4%	
	90歳以上 (n=103)	60.2%	12.6%	22.3%	4.9%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	53.1%	36.9%	8.8%	1.3%
		75～84歳 (n=404)	47.5%	34.9%	15.1%	2.5%
		85歳以上 (n=130)	40.8%	30.0%	27.7%	1.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	96.0%	2.2%	1.2%	0.5%
		75～84歳 (n=605)	89.6%	5.1%	3.5%	1.8%
		85歳以上 (n=293)	74.4%	10.2%	11.6%	3.8%
家族構成	1人暮らし (n=658)	88.0%	5.5%	3.6%	2.9%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	67.5%	22.8%	8.6%	1.1%	
	子のみと同居 (n=511)	69.1%	20.0%	10.0%	1.0%	
	その他 (n=392)	67.9%	20.4%	10.5%	1.3%	
1人 暮らし × 年 齢	65～74歳 (n=190)	94.2%	3.7%	0.5%	1.6%	
	75～84歳 (n=285)	88.4%	5.3%	3.9%	2.5%	
	85歳以上 (n=176)	80.7%	7.4%	6.8%	5.1%	

問23 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに)

- ・「できるし、している」が82.0%、「できるけどしていない」が11.9%で、合わせた割合は93.9%、一方、「できない」が4.2%となっている。
- ・「できない」は、『90歳以上』では18.4%、『90歳未満』では全ての区分において割合が10%以下となっている。



■ できるし、している ▨ できるけどしていない ▩ できない □ 無回答

		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答		
全 体	(n=2,571)	82.0%	11.9%	4.2%	1.9%		
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	86.7%	10.6%	1.5%	1.2%	
	要支援1・2	(n=637)	74.3%	14.1%	10.4%	1.3%	
性別	男性	(n=1,015)	72.0%	20.0%	5.9%	2.1%	
	女性	(n=1,484)	88.7%	6.5%	3.0%	1.7%	
年 齢	65～69歳	(n=504)	86.9%	10.7%	2.2%	0.2%	
	70～74歳	(n=566)	85.5%	10.1%	2.7%	1.8%	
	75～79歳	(n=573)	82.9%	12.4%	2.3%	2.4%	
	80～84歳	(n=464)	78.7%	13.8%	4.5%	3.0%	
	85～89歳	(n=336)	76.2%	13.4%	8.3%	2.1%	
	90歳以上	(n=103)	67.0%	12.6%	18.4%	1.9%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳	(n=480)	75.0%	19.0%	4.4%	1.7%
		75～84歳	(n=404)	71.5%	20.5%	5.0%	3.0%
		85歳以上	(n=130)	63.1%	21.5%	14.6%	0.8%
	女性	65～74歳	(n=580)	95.5%	3.1%	0.9%	0.5%
		75～84歳	(n=605)	87.4%	8.3%	2.0%	2.3%
		85歳以上	(n=293)	78.2%	9.9%	9.2%	2.7%
家族構成	1人暮らし	(n=658)	92.1%	2.9%	2.1%	2.9%	
	夫婦2人暮らし	(n=959)	78.6%	15.5%	4.3%	1.6%	
	子のみと同居	(n=511)	78.3%	15.1%	5.1%	1.6%	
	その他	(n=392)	79.3%	14.0%	5.9%	0.8%	
1人 暮らし × 年 齢	65～74歳	(n=190)	96.3%	1.1%	0.5%	2.1%	
	75～84歳	(n=285)	91.6%	2.8%	1.8%	3.9%	
	85歳以上	(n=176)	88.6%	4.5%	4.5%	2.3%	

問24 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに)

- ・「できるし、している」が82.2%、「できるけどしていない」が11.3%で、合わせた割合は93.5%、一方、「できない」が4.8%となっている。
- ・「できない」割合は、『65～69歳』(1.8%)、『90歳以上』(19.4%)と、年齢が高いほど割合が高く、『85歳以上』で高くなっている。



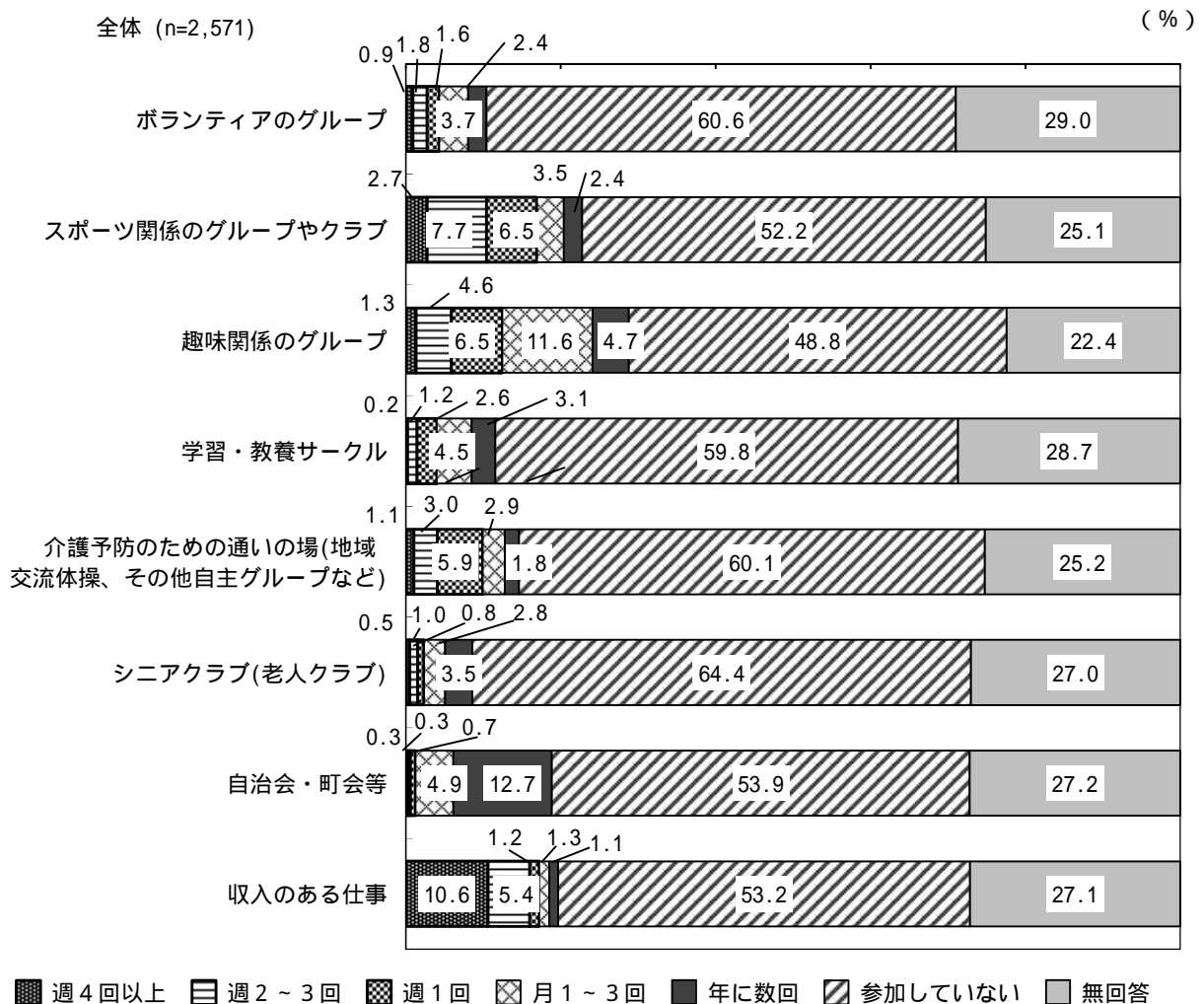
		できるし、 している	できるけど していない	できない	無回答	
全体 (n=2,571)		82.2%	11.3%	4.8%	1.7%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	87.9%	9.5%	1.9%	0.7%	
	要支援1・2 (n=637)	72.4%	15.1%	11.0%	1.6%	
性別	男性 (n=1,015)	74.2%	17.5%	6.4%	1.9%	
	女性 (n=1,484)	87.9%	7.1%	3.6%	1.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	89.1%	8.7%	1.8%	0.4%	
	70～74歳 (n=566)	86.6%	9.9%	2.3%	1.2%	
	75～79歳 (n=573)	84.3%	10.1%	3.3%	2.3%	
	80～84歳 (n=464)	80.0%	12.3%	5.8%	1.9%	
	85～89歳 (n=336)	71.4%	15.8%	10.1%	2.7%	
	90歳以上 (n=103)	60.2%	18.4%	19.4%	1.9%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	77.5%	17.3%	3.8%	1.5%
		75～84歳 (n=404)	74.0%	16.3%	6.9%	2.7%
		85歳以上 (n=130)	62.3%	22.3%	14.6%	0.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	96.2%	2.8%	0.7%	0.3%
		75～84歳 (n=605)	88.3%	7.8%	2.5%	1.5%
		85歳以上 (n=293)	71.3%	14.0%	11.3%	3.4%
家族構成	1人暮らし (n=658)	91.5%	4.4%	2.3%	1.8%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	79.9%	14.0%	4.9%	1.3%	
	子のみと同居 (n=511)	81.0%	11.4%	5.9%	1.8%	
	その他 (n=392)	76.8%	14.8%	7.1%	1.3%	
1人 暮らし × 年齢	65～74歳 (n=190)	96.3%	2.1%	0.0%	1.6%	
	75～84歳 (n=285)	93.7%	2.5%	1.8%	2.1%	
	85歳以上 (n=176)	83.0%	9.7%	5.7%	1.7%	

(7) 地域生活と日ごろの活動について

問25 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(~ それぞれ1つに)

- ・「参加している（年に数回～週4回以上）」割合は、『趣味関係のグループ』(28.7%)が最も高く、次いで、『スポーツ関係のグループやクラブ』(22.8%)、『収入のある仕事』(19.6%)、『自治会・町会等』(18.9%)、『介護予防のための通いの場（地域交流体操、その他自主グループなど）』(14.7%)、『学習・教養サークル』(11.6%)、『ボランティアのグループ』(10.4%)、『シニアクラブ（老人クラブ）』(8.6%)となっている。
- ・「週1回以上（1～4回以上）」の割合は、『収入のある仕事』(17.2%)が最も高く、次いで、『スポーツ関係のグループやクラブ』(16.9%)、『趣味関係のグループ』(12.4%)、『介護予防のための通いの場（地域交流体操、その他自主グループなど）』(10.0%)、『ボランティアのグループ』(4.3%)、『学習・教養サークル』(4.0%)、『シニアクラブ（老人クラブ）』(2.3%)、『自治会・町会等』(1.3%)となっている。
- ・一方、「参加していない」割合は、『シニアクラブ（老人クラブ）』(64.4%)が最も多く、次いで『ボランティアのグループ』(60.6%)、『介護予防のための通いの場（地域交流体操、その他自主グループなど）』(60.1%)となっている。



		ボランティアのグループ							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=2,571)		0.9%	1.8%	1.6%	3.7%	2.4%	60.6%	29.0%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	1.1%	2.4%	1.8%	4.8%	3.0%	63.8%	23.1%	
	要支援1・2 (n=637)	0.5%	0.9%	1.6%	2.2%	1.4%	57.3%	36.1%	
性別	男性 (n=1,015)	1.4%	1.3%	0.7%	3.6%	3.3%	69.4%	20.3%	
	女性 (n=1,484)	0.6%	2.3%	2.3%	3.9%	1.7%	55.5%	33.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	1.3%	1.3%	0.6%	3.5%	3.8%	80.2%	9.4%
		75～84歳 (n=404)	2.0%	1.5%	0.7%	4.5%	3.7%	58.2%	29.5%
		85歳以上 (n=130)	0.0%	0.8%	0.8%	1.5%	0.8%	63.8%	32.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	1.0%	3.4%	3.1%	6.0%	1.9%	64.3%	20.2%
		75～84歳 (n=605)	0.5%	2.0%	2.1%	3.6%	1.5%	48.4%	41.8%
		85歳以上 (n=293)	0.0%	0.7%	1.0%	0.3%	1.7%	52.6%	43.7%
		スポーツ関係のグループやクラブ							
全体 (n=2,571)		2.7%	7.7%	6.5%	3.5%	2.4%	52.2%	25.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	3.7%	10.0%	8.1%	4.7%	3.2%	52.2%	18.1%	
	要支援1・2 (n=637)	0.8%	3.8%	4.2%	1.6%	1.1%	54.5%	34.1%	
性別	男性 (n=1,015)	2.2%	5.3%	4.6%	4.6%	4.9%	60.2%	18.1%	
	女性 (n=1,484)	3.2%	9.5%	8.0%	2.8%	0.7%	47.5%	28.4%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	1.5%	4.8%	4.0%	5.6%	5.6%	69.8%	8.8%
		75～84歳 (n=404)	3.2%	6.9%	6.7%	3.5%	4.0%	50.5%	25.2%
		85歳以上 (n=130)	1.5%	2.3%	0.8%	4.6%	5.4%	54.6%	30.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	4.1%	13.1%	10.9%	4.3%	1.0%	51.4%	15.2%
		75～84歳 (n=605)	3.3%	9.1%	7.4%	2.1%	0.3%	42.5%	35.2%
		85歳以上 (n=293)	1.0%	3.4%	3.4%	1.0%	0.7%	49.8%	40.6%
		趣味関係のグループ							
全体 (n=2,571)		1.3%	4.6%	6.5%	11.6%	4.7%	48.8%	22.4%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	1.4%	5.3%	7.8%	13.6%	6.0%	49.5%	16.4%	
	要支援1・2 (n=637)	0.9%	3.6%	4.7%	8.5%	2.2%	50.2%	29.8%	
性別	男性 (n=1,015)	0.8%	3.7%	4.0%	10.3%	7.4%	56.8%	16.8%	
	女性 (n=1,484)	1.6%	5.2%	8.3%	12.7%	3.0%	44.0%	25.1%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	0.4%	2.1%	3.3%	9.2%	9.2%	66.5%	9.4%
		75～84歳 (n=404)	1.5%	5.2%	5.2%	12.1%	5.9%	46.5%	23.5%
		85歳以上 (n=130)	0.0%	5.4%	3.1%	9.2%	5.4%	53.1%	23.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	1.6%	5.3%	9.1%	15.7%	4.3%	49.0%	15.0%
		75～84歳 (n=605)	1.7%	5.5%	8.8%	12.1%	2.5%	38.8%	30.7%
		85歳以上 (n=293)	1.7%	4.1%	5.8%	8.5%	1.7%	44.4%	33.8%
		学習・教養サークル							
全体 (n=2,571)		0.2%	1.2%	2.6%	4.5%	3.1%	59.8%	28.7%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	0.1%	1.4%	3.2%	5.5%	3.7%	63.9%	22.2%	
	要支援1・2 (n=637)	0.3%	0.8%	1.4%	3.0%	2.5%	55.4%	36.6%	
性別	男性 (n=1,015)	0.2%	0.6%	1.1%	3.3%	3.3%	70.2%	21.2%	
	女性 (n=1,484)	0.3%	1.7%	3.6%	5.3%	3.0%	53.8%	32.3%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	0.0%	1.0%	1.3%	2.7%	2.7%	82.3%	10.0%
		75～84歳 (n=404)	0.5%	0.2%	1.0%	4.5%	4.2%	59.4%	30.2%
		85歳以上 (n=130)	0.0%	0.0%	0.8%	2.3%	3.1%	59.2%	34.6%
	女性	65～74歳 (n=580)	0.0%	2.4%	4.3%	6.2%	3.8%	63.4%	19.8%
		75～84歳 (n=605)	0.2%	1.7%	4.5%	5.0%	3.0%	46.8%	39.0%
		85歳以上 (n=293)	1.0%	0.3%	0.7%	4.1%	1.7%	48.8%	43.3%

第2部 アンケート調査 第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

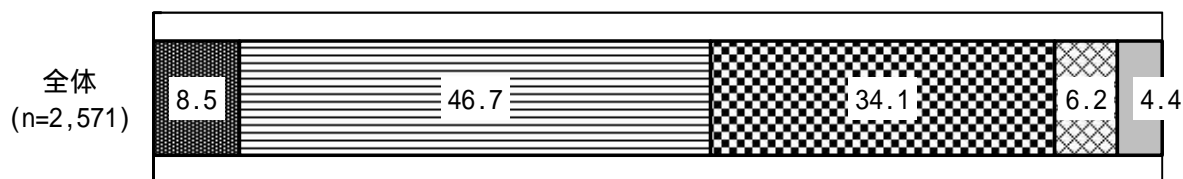
		介護予防のための通いの場（地域交流体操、その他自主グループなど）							
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=2,571)		1.1%	3.0%	5.9%	2.9%	1.8%	60.1%	25.2%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	0.8%	1.9%	3.9%	3.2%	1.9%	67.4%	21.0%	
	要支援1・2 (n=637)	1.3%	6.4%	12.4%	2.7%	1.7%	48.2%	27.3%	
性別	男性 (n=1,015)	0.7%	2.0%	2.9%	1.0%	1.6%	71.8%	20.1%	
	女性 (n=1,484)	1.3%	3.8%	7.8%	4.0%	2.1%	53.3%	27.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	0.2%	0.8%	1.7%	0.6%	1.7%	85.6%	9.4%
		75～84歳 (n=404)	1.0%	2.7%	3.2%	1.0%	0.7%	62.1%	29.2%
		85歳以上 (n=130)	1.5%	3.8%	6.2%	2.3%	3.8%	50.8%	31.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	0.9%	2.6%	5.3%	3.3%	1.6%	68.3%	18.1%
		75～84歳 (n=605)	2.0%	4.3%	9.4%	5.1%	2.6%	43.5%	33.1%
		85歳以上 (n=293)	1.0%	5.1%	9.6%	3.1%	2.0%	44.0%	35.2%
		シニアクラブ（老人クラブ）							
全体 (n=2,571)		0.5%	1.0%	0.8%	2.8%	3.5%	64.4%	27.0%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	0.4%	1.0%	0.8%	2.7%	3.3%	70.7%	21.2%	
	要支援1・2 (n=637)	0.5%	1.3%	0.8%	3.1%	3.3%	56.7%	34.4%	
性別	男性 (n=1,015)	0.4%	1.4%	0.6%	1.7%	3.5%	72.8%	19.6%	
	女性 (n=1,484)	0.6%	0.7%	0.9%	3.4%	3.6%	60.0%	30.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	0.0%	0.4%	0.4%	0.8%	1.9%	86.7%	9.8%
		75～84歳 (n=404)	1.0%	1.7%	0.7%	1.7%	5.4%	61.1%	28.2%
		85歳以上 (n=130)	0.0%	3.8%	0.8%	4.6%	3.8%	57.7%	29.2%
	女性	65～74歳 (n=580)	0.2%	0.3%	0.3%	0.5%	1.4%	76.4%	20.9%
		75～84歳 (n=605)	0.8%	1.0%	1.7%	5.0%	5.8%	49.1%	36.7%
		85歳以上 (n=293)	1.0%	1.0%	0.7%	6.1%	3.4%	49.8%	37.9%
		自治会・町会等							
全体 (n=2,571)		0.3%	0.3%	0.7%	4.9%	12.7%	53.9%	27.2%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	0.4%	0.3%	0.9%	5.7%	16.0%	56.0%	20.8%	
	要支援1・2 (n=637)	0.0%	0.2%	0.3%	3.1%	7.8%	53.1%	35.5%	
性別	男性 (n=1,015)	0.4%	0.2%	1.1%	5.5%	14.2%	59.7%	18.9%	
	女性 (n=1,484)	0.2%	0.4%	0.4%	4.6%	12.1%	50.9%	31.5%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	0.4%	0.2%	0.8%	5.8%	14.2%	70.0%	8.5%
		75～84歳 (n=404)	0.5%	0.2%	1.7%	6.2%	14.4%	50.0%	27.0%
		85歳以上 (n=130)	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	13.8%	51.5%	32.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	0.2%	0.3%	0.2%	4.7%	15.7%	59.0%	20.0%
		75～84歳 (n=605)	0.3%	0.7%	0.7%	5.5%	12.1%	43.0%	37.9%
		85歳以上 (n=293)	0.0%	0.0%	0.3%	2.7%	4.4%	51.5%	41.0%
		収入のある仕事							
全体 (n=2,571)		10.6%	5.4%	1.2%	1.3%	1.1%	53.2%	27.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	15.7%	7.7%	1.9%	1.6%	1.4%	52.2%	19.6%	
	要支援1・2 (n=637)	0.8%	1.4%	0.3%	0.8%	0.5%	58.9%	37.4%	
性別	男性 (n=1,015)	16.9%	6.8%	1.9%	1.3%	1.7%	51.9%	19.5%	
	女性 (n=1,484)	6.5%	4.4%	0.9%	1.3%	0.8%	55.1%	31.1%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	28.8%	11.0%	2.7%	1.5%	1.9%	47.1%	7.1%
		75～84歳 (n=404)	7.9%	3.7%	1.2%	1.5%	1.7%	53.7%	30.2%
		85歳以上 (n=130)	1.5%	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	63.8%	32.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	14.0%	7.8%	1.6%	2.2%	1.4%	55.9%	17.2%
		75～84歳 (n=605)	2.3%	3.0%	0.7%	1.0%	0.7%	53.7%	38.7%
		85歳以上 (n=293)	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	56.0%	43.3%

問26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

(1つに)

- ・「是非参加したい」が8.5%、「参加してもよい」が46.7%、「既に参加している」が6.2%で、これらを合わせた参加意向のある割合は61.4%、一方、「参加したくない」が34.1%となっている。
- ・「参加したくない」割合は、『85歳未満』と『85歳以上』では10ポイント程度の差がみられるが、『85歳以上』では年齢による差はみられない《『85～89歳』(44.6%)、『90歳以上』(45.6%)》。また、男女差もわずかである《『男性』(36.0%)、『女性』(32.9%)》。

(%)



■ 是非参加したい ■ 参加してもよい ■ 参加したくない ■ 既に参加している ■ 無回答

		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	
全 体 (n=2,571)		8.5%	46.7%	34.1%	6.2%	4.4%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	9.2%	52.2%	29.5%	6.9%	2.1%	
	要支援1・2 (n=637)	7.7%	37.5%	41.9%	6.0%	6.9%	
性別	男性 (n=1,015)	7.0%	48.3%	36.0%	4.8%	3.9%	
	女性 (n=1,484)	9.6%	46.0%	32.9%	7.2%	4.3%	
年齢	65～69歳 (n=504)	8.3%	57.3%	30.0%	3.2%	1.2%	
	70～74歳 (n=566)	7.6%	51.6%	33.2%	4.9%	2.7%	
	75～79歳 (n=573)	9.8%	46.4%	32.3%	7.3%	4.2%	
	80～84歳 (n=464)	9.9%	44.2%	32.1%	7.8%	6.0%	
	85～89歳 (n=336)	6.0%	33.6%	44.6%	8.0%	7.7%	
	90歳以上 (n=103)	9.7%	28.2%	45.6%	6.8%	9.7%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	6.7%	52.3%	35.4%	3.3%	2.3%
		75～84歳 (n=404)	7.4%	47.8%	33.2%	6.2%	5.4%
		85歳以上 (n=130)	6.9%	34.6%	46.9%	6.2%	5.4%
	女性	65～74歳 (n=580)	9.0%	56.2%	28.3%	4.8%	1.7%
		75～84歳 (n=605)	11.4%	44.1%	31.2%	8.6%	4.6%
		85歳以上 (n=293)	7.2%	30.0%	45.4%	8.9%	8.5%
主観的健康感	とてもよい (n=310)	10.0%	49.4%	28.7%	8.4%	3.5%	
	まあよい (n=1,508)	9.0%	49.5%	31.0%	7.2%	3.3%	
	あまりよくない (n=545)	7.9%	43.5%	40.6%	3.7%	4.4%	
	よくない (n=128)	3.1%	28.1%	57.8%	3.9%	7.0%	
主観的幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	11.6%	20.9%	58.1%	4.7%	4.7%	
	やや不幸(3～4点) (n=131)	9.2%	46.6%	37.4%	0.8%	6.1%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	7.8%	38.7%	43.5%	4.0%	5.9%	
	やや幸福(6～7点) (n=640)	7.3%	52.3%	31.1%	5.5%	3.8%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	9.7%	48.6%	30.7%	8.5%	2.4%	
治療中の病気等	ない (n=329)	7.6%	51.1%	32.5%	6.1%	2.7%	
	ある (n=2,102)	8.8%	46.3%	34.6%	6.3%	4.0%	
収入のある仕事	している (n=583)	9.4%	57.1%	24.0%	4.6%	4.8%	
	仕事をしたい (n=171)	19.9%	43.9%	24.6%	5.8%	5.8%	
	していない (n=1,240)	6.7%	45.3%	39.2%	6.5%	2.3%	
生きがい	生きがいあり (n=1,315)	10.0%	49.9%	27.8%	8.7%	3.6%	
	思いつかない (n=949)	7.1%	43.7%	43.8%	2.6%	2.7%	

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに）

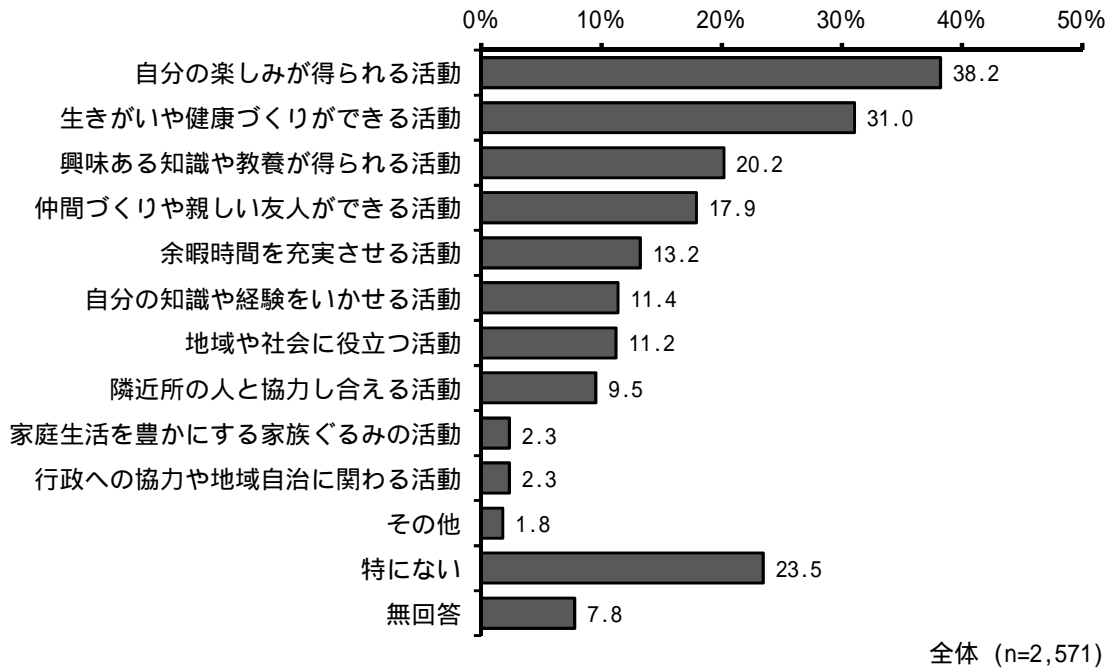
- ・「是非参加したい」が2.4%、「参加してもよい」が29.9%、「既に参加している」が3.5%で、これらを合わせた参加意向のある割合は35.8%、一方、「参加したくない」が57.4%となっている。
- ・「参加したくない」割合は、85歳未満と85歳以上では10ポイント程度の差がみられるが、85歳以上では年齢による差はみられない《『85～89歳』（64.0%）、『90歳以上』（64.1%）》。また、男女別の割合の差もわずかである《『男性』（55.3%）、『女性』（59.4%）》。



		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	
全 体 (n=2,571)		2.4%	29.9%	57.4%	3.5%	6.7%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	2.6%	34.6%	55.3%	3.9%	3.6%	
	要支援1・2 (n=637)	1.6%	21.0%	63.7%	3.5%	10.2%	
性別	男性 (n=1,015)	2.2%	35.4%	55.3%	3.4%	3.7%	
	女性 (n=1,484)	2.4%	26.1%	59.4%	3.7%	8.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	2.4%	37.7%	55.4%	2.2%	2.4%	
	70～74歳 (n=566)	2.8%	35.3%	54.9%	2.8%	4.1%	
	75～79歳 (n=573)	3.1%	26.4%	59.9%	4.4%	6.3%	
	80～84歳 (n=464)	2.2%	30.4%	54.1%	3.2%	10.1%	
	85～89歳 (n=336)	0.6%	19.9%	64.0%	4.5%	11.0%	
	90歳以上 (n=103)	1.9%	12.6%	64.1%	7.8%	13.6%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	3.3%	38.3%	54.6%	2.1%	1.7%
		75～84歳 (n=404)	1.2%	34.9%	54.2%	4.0%	5.7%
		85歳以上 (n=130)	0.8%	26.2%	60.8%	6.9%	5.4%
	女性	65～74歳 (n=580)	1.9%	35.0%	55.5%	2.9%	4.7%
		75～84歳 (n=605)	3.6%	23.5%	59.7%	4.0%	9.3%
		85歳以上 (n=293)	1.0%	14.3%	66.2%	4.8%	13.7%
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	4.5%	39.0%	48.4%	4.8%	3.2%	
	まあよい (n=1,508)	2.0%	32.9%	55.5%	4.0%	5.6%	
	あまりよくない (n=545)	2.8%	21.3%	67.5%	2.4%	6.1%	
	よくない (n=128)	0.8%	14.8%	71.9%	0.8%	11.7%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	4.7%	14.0%	72.1%	0.0%	9.3%	
	やや不幸(3～4点) (n=131)	3.8%	29.8%	61.1%	0.0%	5.3%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	2.4%	24.0%	63.4%	2.6%	7.6%	
	やや幸福(6～7点) (n=640)	1.6%	33.1%	56.9%	4.1%	4.4%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	2.8%	32.3%	55.4%	4.3%	5.3%	
治療中の 病気等	ない (n=329)	3.0%	34.0%	56.2%	2.7%	4.0%	
	ある (n=2,102)	2.3%	29.8%	58.0%	3.7%	6.2%	
収入の ある仕事	している (n=583)	3.3%	41.0%	48.5%	3.1%	4.1%	
	仕事をしたい (n=171)	7.0%	45.6%	40.4%	2.3%	4.7%	
	していない (n=1,240)	1.5%	25.2%	64.8%	4.0%	4.6%	
生きがい	生きがいあり (n=1,315)	2.8%	34.2%	52.7%	4.7%	5.6%	
	思いつかない (n=949)	1.8%	25.4%	67.2%	1.8%	3.8%	

問28 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。(3つまでに)

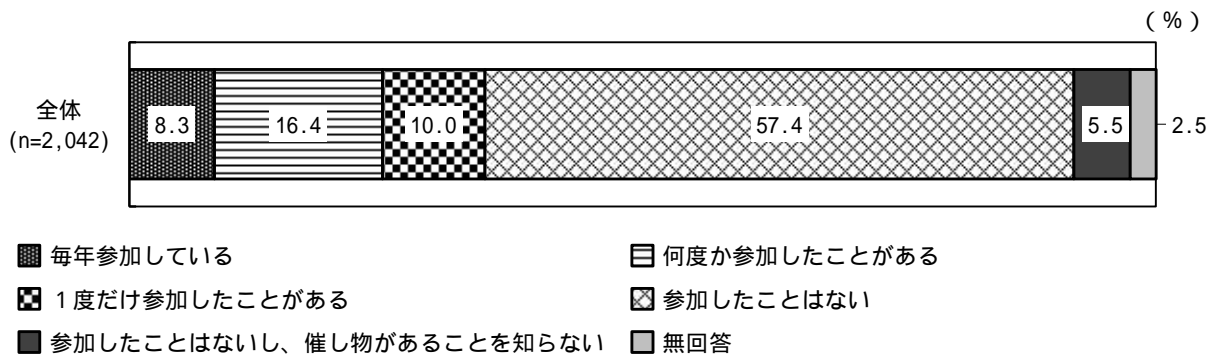
- ・「自分の楽しみが得られる活動」(38.2%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(31.0%)、「興味ある知識や教養が得られる活動」(20.2%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(17.9%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は23.5%となっている。
- ・『85～89歳』では、「自分の楽しみが得られる活動」(28.3%)と「生きがいや健康づくりができる活動」(24.7%)の割合が同程度となっている。また、『90歳以上』では、同じ割合(18.4%)となっている。



		自分の楽しみが得られる活動	生きがいや健康づくりができる活動	興味ある知識や教養が得られる活動	仲間づくりや親しい友人ができる活動	余暇時間を充実させる活動	自分の知識や経験をいかせる活動	地域や社会に役立つ活動	隣近所の人と協力し合える活動	家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	行政への協力や地域自治に関わる活動	その他	特にない	無回答
全体	(n=2,571)	38.2%	31.0%	20.2%	17.9%	13.2%	11.4%	11.2%	9.5%	2.3%	2.3%	1.8%	23.5%	7.8%
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	43.1%	24.0%	13.7%	33.9%	16.3%	17.9%	9.5%	2.7%	14.5%	3.0%	1.4%	19.5%	4.8%
	要支援1・2 (n=637)	31.2%	16.0%	6.1%	28.3%	8.6%	19.2%	10.0%	1.6%	6.3%	1.1%	2.8%	28.9%	10.4%
性別	男性 (n=1,015)	37.6%	18.6%	16.6%	27.2%	15.8%	16.1%	9.6%	3.3%	13.2%	3.7%	1.7%	26.0%	5.5%
	女性 (n=1,484)	39.2%	22.0%	7.8%	34.2%	11.9%	19.3%	9.7%	1.8%	10.1%	1.5%	1.8%	21.3%	8.7%
年齢	65～69歳 (n=504)	47.4%	27.6%	14.3%	35.3%	18.1%	17.3%	7.5%	3.0%	17.7%	2.8%	1.2%	17.3%	2.6%
	70～74歳 (n=566)	41.3%	24.7%	14.0%	31.8%	16.6%	18.7%	9.0%	1.9%	13.4%	3.5%	1.4%	21.9%	5.1%
	75～79歳 (n=573)	36.6%	14.8%	10.3%	33.2%	13.3%	17.6%	11.0%	1.9%	12.2%	1.9%	1.6%	25.7%	7.9%
	80～84歳 (n=464)	38.1%	17.9%	9.3%	31.0%	10.1%	20.5%	11.9%	3.0%	6.7%	1.9%	1.1%	19.4%	11.9%
	85～89歳 (n=336)	28.3%	17.0%	8.3%	24.7%	6.5%	14.9%	8.3%	1.8%	4.2%	1.8%	3.6%	32.4%	12.2%
90歳以上 (n=103)	18.4%	11.7%	6.8%	18.4%	6.8%	8.7%	8.7%	2.9%	5.8%	0.0%	3.9%	37.9%	12.6%	
性別×年齢	男性 65～74歳 (n=480)	41.7%	22.5%	18.5%	28.3%	20.6%	16.0%	8.5%	3.1%	14.8%	4.6%	1.7%	24.8%	2.9%
	男性 75～84歳 (n=404)	36.1%	15.8%	14.9%	27.2%	13.1%	17.1%	11.4%	3.5%	14.1%	3.2%	1.7%	24.0%	7.4%
	男性 85歳以上 (n=130)	27.7%	13.1%	14.6%	23.1%	6.2%	13.1%	7.7%	3.1%	4.6%	2.3%	1.5%	36.2%	9.2%
	女性 65～74歳 (n=580)	46.7%	29.5%	10.5%	37.9%	14.8%	19.7%	8.3%	1.9%	16.0%	2.1%	1.0%	15.0%	4.7%
	女性 75～84歳 (n=605)	38.7%	17.0%	6.6%	35.9%	11.2%	20.5%	11.4%	1.8%	7.3%	1.2%	1.2%	21.3%	10.7%
女性 85歳以上 (n=293)	25.6%	17.7%	5.1%	23.2%	6.8%	16.4%	9.2%	1.7%	4.4%	1.0%	4.4%	33.8%	12.6%	
主観的健康感	とてもよい (n=310)	43.9%	23.5%	18.4%	36.8%	12.9%	21.0%	9.7%	3.9%	18.4%	3.2%	1.3%	17.4%	2.9%
	まあよい (n=1,508)	40.3%	22.3%	11.7%	32.9%	14.6%	18.0%	9.6%	2.3%	11.9%	2.3%	1.1%	21.4%	7.2%
	あまりよくない (n=545)	35.0%	15.8%	8.4%	27.7%	13.2%	18.9%	10.3%	2.4%	7.7%	1.8%	3.3%	28.8%	7.2%
よくない (n=128)	24.2%	10.9%	3.9%	16.4%	5.5%	10.9%	5.5%	0.0%	3.1%	2.3%	2.3%	44.5%	11.7%	
主観的幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	16.3%	7.0%	4.7%	14.0%	11.6%	11.6%	4.7%	0.0%	4.7%	0.0%	4.7%	46.5%	16.3%
	やや不幸(3～4点) (n=131)	33.6%	12.2%	11.5%	24.4%	9.9%	23.7%	10.7%	1.5%	6.9%	1.5%	2.3%	30.5%	6.9%
	どちらでもない(5点) (n=421)	31.6%	14.5%	7.1%	27.1%	10.0%	16.2%	8.3%	1.9%	8.3%	1.7%	2.1%	32.5%	8.6%
	やや幸福(6～7点) (n=640)	42.3%	22.8%	12.3%	35.3%	18.4%	20.2%	8.4%	2.3%	12.5%	1.3%	1.4%	20.0%	6.3%
幸福(8～10点) (n=1,195)	41.5%	23.3%	12.9%	33.1%	13.0%	18.0%	10.9%	2.7%	13.1%	3.3%	1.6%	19.9%	6.1%	

問29 市では各種生きがいづくり事業を行っています。あなたは、「敬老の日記念大会」に参加したことはありますか。70歳以上の方のみお答えください。(1つに)

- ・「参加したことはない」(57.4%)が最も多く、「参加したことはないし、催し物があることを知らない」(5.5%)を合わせた割合は、62.9%となっている。
- ・一方、「何度か参加したことがある」(16.4%)、「1度だけ参加したことがある」(10.0%)、「毎年参加している」(8.3%)を合わせた割合は34.7%となっている。
- ・「何度か参加したことがある」は、『70～74歳』(2.1%)、『90歳以上』(30.1%)と、年齢が高くなるほど割合が高くなっており、『男性』(12.9%)よりも『女性』(18.5%)の割合が高くなっている。また、『非認定者(自立)』(12.5%)よりも『要支援1・2』(24.0%)の割合のほうが高くなっている。



		毎年参加している	何度か参加したことがある	1度だけ参加したことがある	参加したことはない	参加したことはないし、催し物があることを知らない	無回答	
全 体 (n=2,042)		8.3%	16.4%	10.0%	57.4%	5.5%	2.5%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,154)	8.8%	12.5%	9.4%	62.8%	5.1%	1.4%	
	要支援1・2 (n=608)	6.7%	24.0%	12.5%	49.2%	5.8%	1.8%	
性別	男性 (n=782)	8.4%	12.9%	9.5%	60.7%	6.5%	1.9%	
	女性 (n=1,208)	8.1%	18.5%	10.5%	55.3%	4.8%	2.7%	
年齢	70～74歳 (n=566)	4.2%	2.1%	8.3%	77.2%	6.7%	1.4%	
	75～79歳 (n=573)	9.8%	16.2%	9.4%	57.2%	5.9%	1.4%	
	80～84歳 (n=464)	11.6%	22.6%	9.7%	48.1%	3.2%	4.7%	
	85～89歳 (n=336)	9.2%	27.7%	13.7%	42.3%	5.1%	2.1%	
	90歳以上 (n=103)	3.9%	30.1%	11.7%	40.8%	7.8%	5.8%	
性別 × 年齢	男性	70～74歳 (n=248)	3.6%	1.2%	6.9%	77.8%	9.7%	0.8%
		75～84歳 (n=404)	10.6%	16.8%	9.2%	56.9%	4.5%	2.0%
		85歳以上 (n=130)	10.8%	23.1%	15.4%	40.0%	6.9%	3.8%
	女性	70～74歳 (n=310)	4.5%	2.9%	9.4%	77.4%	3.9%	1.9%
		75～84歳 (n=605)	10.7%	20.5%	9.9%	50.6%	5.0%	3.3%
		85歳以上 (n=293)	6.5%	31.1%	13.0%	41.6%	5.5%	2.4%

《問29で「毎年参加している」「何度か参加したことがある」「1度だけ参加したことがある」「参加したことはない」とお答えの方におたずねします》

問29-1 その理由を具体的にお書きください。

参加している又は参加したことはない理由について、自由回答形式で聞いたところ、全体で1,334件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

「毎年参加している」理由

内容	件数
催し物を楽しみにしているから、楽しめるから	90
交流があるから、人との関わりを持ちたいから	16
案内が届くから	4
健康のため	3
興味があるアトラクションや催し物、ゲストであれば参加したい	2
友人に誘われたから	2
他の人の考えを知る機会だから	1
時間があえば参加したい	1
その他	11

「何度か参加したことがある」理由

内容	件数
催し物を楽しみにしているから、楽しめるから	44
興味があるアトラクションや催し物、ゲストであれば参加したい	35
体調が悪いため、高齢のため	29
友人に誘われたから	12
交通の便が悪い	8
時間がない、他にすることがあるから	8
案内が届くから	7
内容に関心がないから、面白くなさそう、参加するメリットを感じないから	7
体調次第で参加したい	6
交流があるから、人との関わりを持ちたいから	5
時間があえば参加したい	4
他の人の考えを知る機会だから	3
近いから、交通の便がよいから	2
送迎があれば、参加したい	2
健康のため	1
その他	30
わからない・特になし	7

1度だけ参加したことがある

内容	件数
体調が悪いため、高齢のため	20
興味があるアトラクションや催し物、ゲストであれば参加したい	19
内容に関心がないから、面白くなさそう、参加するメリットを感じないから	16
時間がない、他にすることがあるから	9
交通の便が悪い	7
友人に誘われたから	6
案内が届くから	6
催し物を楽しみにしているから、楽しめるから	5
毎年内容が変わらないから	4
団体行動が苦手、人混みが苦手	3
体調次第で参加したい	1
時間があえば参加したい	1
参加するのが面倒	1
高齢者だけの集まりに参加したくない	1
その他	30
わからない・特になし	7

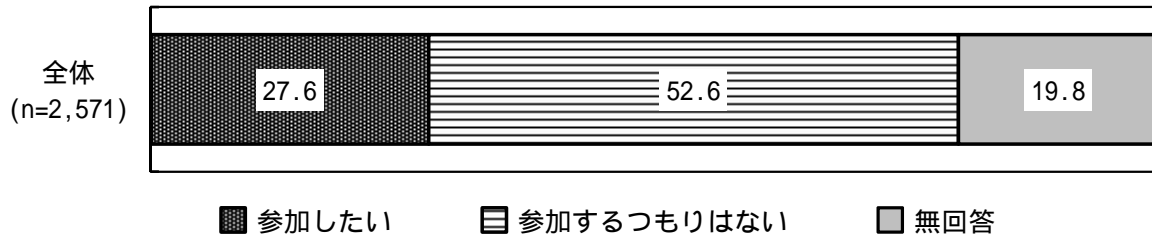
参加したことはない

内容	件数
内容に関心がないから、面白くなさそう、参加するメリットを感じないから	290
時間がない、他にすることがあるから	167
体調が悪いため、高齢のため	102
交通の便が悪い	63
参加するのが面倒	30
まだ老人だとは思っていない、言われたくない	29
団体行動が苦手、人混みが苦手	24
高齢者だけの集まりに参加したくない	10
人との関わりが好きではないから	10
興味があるアトラクションや催し物、ゲストであれば参加したい	5
交流があるから、人との関わりを持ちたいから	2
体調次第で参加したい	1
年齢を感じるようになったから	1
その他	87
わからない・特になし	37

問30 あなたは、「敬老の日記念大会」に今後も参加したいと思いますか。70歳未満の方は、70歳を迎えた場合を想定してお答えください。(1つに)

- ・「参加したい」が27.6%、「参加するつもりはない」が52.6%となっている。
- ・「参加したい」割合は、『75～79歳』(32.1%)で最も高くなっている。なお、『非認定者(自立)』(28.8%)と『要支援1・2』(25.1%)との差はわずかである。

(%)



		参加したい	参加するつもりはない	無回答	
全 体 (n=2,571)		27.6%	52.6%	19.8%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	28.8%	54.5%	16.7%	
	要支援1・2 (n=637)	25.1%	51.5%	23.4%	
性別	男性 (n=1,015)	26.1%	57.0%	16.8%	
	女性 (n=1,484)	28.9%	50.0%	21.1%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	28.2%	57.7%	14.1%	
	70～74歳 (n=566)	25.6%	59.9%	14.5%	
	75～79歳 (n=573)	32.1%	49.6%	18.3%	
	80～84歳 (n=464)	29.3%	44.2%	26.5%	
	85～89歳 (n=336)	24.7%	48.5%	26.8%	
	90歳以上 (n=103)	13.6%	54.4%	32.0%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	24.0%	65.0%	11.0%
		75～84歳 (n=404)	29.2%	49.5%	21.3%
		85歳以上 (n=130)	23.8%	51.5%	24.6%
	女性	65～74歳 (n=580)	29.5%	53.4%	17.1%
		75～84歳 (n=605)	32.2%	46.3%	21.5%
		85歳以上 (n=293)	21.2%	50.2%	28.7%

《問30で「参加したい」、「参加するつもりはない」とお答えの方におたずねします》

問30-1 その理由を具体的にお書きください。

参加している又は参加したことはない理由について、自由回答形式で聞いたところ、全体で1,392件（参加したい：506件、参加するつもりはない：886件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

参加したい

内容	件数
催し物を楽しみにしているから、楽しめるから	173
興味があるアトラクションや催し物、ゲストであれば参加したい	63
交流があるから、人との関わりをもちたいから	51
時間があえば参加したい	36
体調次第で参加したい	29
他の人の考えを知る機会だから	16
体調が悪いため、高齢のため	12
交通の便が悪い	8
時間がない、他にすることがあるから	8
健康のため	7
近いから、交通の便がよいから	5
送迎があれば、参加したい	5
友人に誘われたから	5
まだ老人だとは思っていない、言われたくない	5
年齢を感じるようになったから	4
内容に関心がないから、面白くなさそう、参加するメリットを感じないから	2
面倒	2
高齢者だけの集まりに参加したくない	1
その他	61
わからない・特になし	13

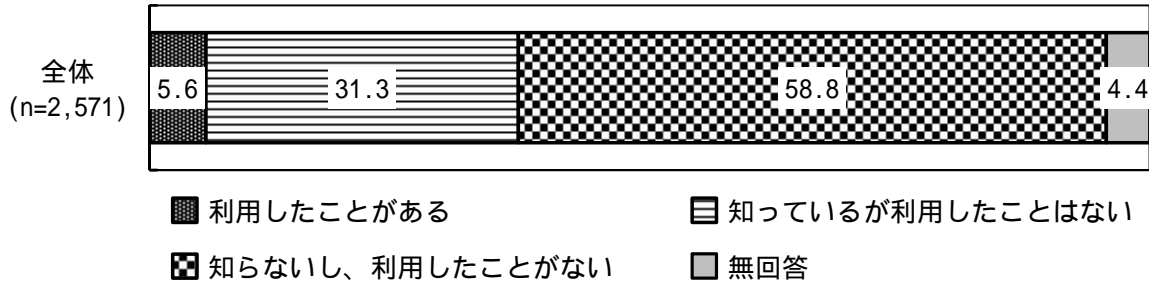
参加するつもりはない

内容	件数
内容に関心がないから、面白くなさそう、参加するメリットを感じないから	300
体調が悪いため、高齢のため	161
時間がない、他にすることがあるから	118
交通の便が悪い	48
まだ老人だとは思っていない、言われたくない	45
面倒	38
団体行動が苦手、人混みが苦手	27
高齢者だけの集まりに参加したくない	25
興味があるアトラクションや催し物、ゲストであれば参加したい	16
人との関わりが好きではないから	12
毎年内容が変わらないから	6
体調次第で参加したい	3
時間があえば参加したい	2
送迎があれば、参加したい	1
その他	50
わからない・特になし	34

問31 「高齢者保養施設利用助成」を利用したことがありますか。(1つに)

- ・「利用したことがある」が5.6%、「知っているが利用したことはない」が31.3%で、合わせた割合は36.9%、一方、「知らないし、利用したことがない」が58.8%となっている。
- ・「利用したことがある」は、『65～69歳』(1.4%)、『85～89歳』(13.7%)と、90歳未満では年齢が高くなるほど割合が高くなっている。

(%)

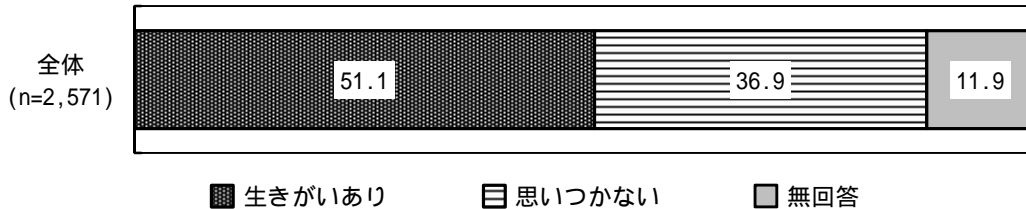


		利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らないし、利用したことがない	無回答	
全 体 (n=2,571)		5.6%	31.3%	58.8%	4.4%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	4.3%	29.8%	63.7%	2.2%	
	要支援1・2 (n=637)	8.8%	36.7%	49.9%	4.6%	
性別	男性 (n=1,015)	5.2%	29.8%	62.3%	2.8%	
	女性 (n=1,484)	5.9%	32.1%	56.9%	5.2%	
年齢	65～69歳 (n=504)	1.4%	17.9%	75.6%	5.2%	
	70～74歳 (n=566)	2.7%	32.3%	64.1%	0.9%	
	75～79歳 (n=573)	5.1%	31.2%	60.2%	3.5%	
	80～84歳 (n=464)	8.4%	37.3%	48.5%	5.8%	
	85～89歳 (n=336)	13.7%	39.3%	41.7%	5.4%	
	90歳以上 (n=103)	6.8%	35.9%	45.6%	11.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	1.7%	21.9%	74.8%	1.7%
		75～84歳 (n=404)	6.7%	35.9%	54.5%	3.0%
		85歳以上 (n=130)	13.8%	40.0%	40.0%	6.2%
	女性	65～74歳 (n=580)	2.2%	28.6%	65.2%	4.0%
		75～84歳 (n=605)	6.6%	32.6%	55.5%	5.3%
		85歳以上 (n=293)	11.6%	38.2%	43.0%	7.2%

問32 生きがいがありますか。(1つに)

- ・「生きがいあり」が51.1%、「思いつかない」が36.9%となっている。
- ・「生きがいあり」の割合は、『65～69歳』（58.1%）、『90歳以上』（31.1%）と、年齢が高くなるほど割合が低くなっている。なお、男女差は見られないが《『男性』（51.5%）、『女性』（51.1%）》、『1人暮らし』（48.8%）の割合がやや低くなっている。
- ・主観的健康感が『高い』ほど「生きがいがある」割合が高くなっている。

(%)



		生きがいあり	思いつかない	無回答	
全 体 (n=2,571)		51.1%	36.9%	11.9%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	58.4%	33.2%	8.4%	
	要支援1・2 (n=637)	41.6%	43.8%	14.6%	
性別	男性 (n=1,015)	51.5%	39.0%	9.5%	
	女性 (n=1,484)	51.1%	35.9%	13.0%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	58.1%	34.9%	6.9%	
	70～74歳 (n=566)	56.7%	36.4%	6.9%	
	75～79歳 (n=573)	50.8%	37.9%	11.3%	
	80～84歳 (n=464)	48.9%	33.8%	17.2%	
	85～89歳 (n=336)	40.5%	43.2%	16.4%	
	90歳以上 (n=103)	31.1%	41.7%	27.2%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	56.0%	38.8%	5.2%
		75～84歳 (n=404)	50.7%	36.1%	13.1%
		85歳以上 (n=130)	37.7%	48.5%	13.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	58.8%	33.1%	8.1%
		75～84歳 (n=605)	50.1%	35.9%	14.0%
		85歳以上 (n=293)	38.2%	41.3%	20.5%
家族構成	1人暮らし (n=658)	48.8%	38.3%	12.9%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	53.0%	36.3%	10.7%	
	子のみと同居 (n=511)	51.5%	37.8%	10.8%	
	その他 (n=392)	51.8%	37.0%	11.2%	
経済的 状況	苦しい (n=615)	39.2%	47.5%	13.3%	
	ふつう (n=1,628)	52.7%	35.6%	11.7%	
	ゆとりがある (n=282)	71.3%	22.7%	6.0%	
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	68.7%	22.6%	8.7%	
	まあよい (n=1,508)	55.4%	33.4%	11.2%	
	あまりよくない (n=545)	36.9%	51.4%	11.7%	
	よくない (n=128)	32.0%	58.6%	9.4%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	4.7%	83.7%	11.6%	
	やや不幸(3・4点) (n=131)	32.1%	59.5%	8.4%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	31.4%	57.0%	11.6%	
	やや幸福(6・7点) (n=640)	51.9%	38.8%	9.4%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	64.8%	25.0%	10.2%	
治療中の 病気等	ない (n=329)	55.9%	35.6%	8.5%	
	ある (n=2,102)	51.0%	37.6%	11.4%	
収入の ある仕事	している (n=583)	61.6%	29.7%	8.7%	
	仕事をしたい (n=171)	39.2%	46.2%	14.6%	
	していない (n=1,240)	51.5%	38.1%	10.4%	

問33 「生きがいづくり」に関して、市はどのような支援をすべきだと思いますか。具体的にお書きください。

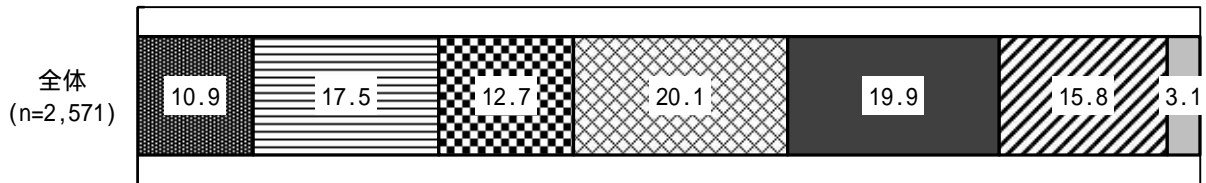
自由回答形式で聞いたところ、全体で911件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
催し物・教室の充実	109
個々で取組べき、個々で違うので難しい	90
施設の充実	86
参加費や会場費などの経済的負担の軽減	39
会やグループ活動の支援	39
移動手段の確保、外出・移送の支援	35
催し物などに関する情報の充実	29
街づくり全般（外出したくなるまちづくり）	20
人間関係を気にせず参加できる環境	12
閉じこもりがちの人を引っ張り出すしかけ	12
健康づくりとの連携	11
話し相手などの確保	5
その他	98
わからない・特になし	326

問34 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに)

- ・「月1～3回」(20.1%)が最も多く、次いで「年に数回」(19.9%)、「週に2～3回」(17.5%)、「ほとんどない」(15.8%)、「週1回」(12.7%)と続いている。
- ・「ほとんどない」は、経済的は『苦しい』(19.8%)と回答した人、主観的幸福感が『低い』《『不幸(0～2点)』(41.9%)》、主観的健康感が『よくない』(41.4%)の割合が高くなっている。

(%)



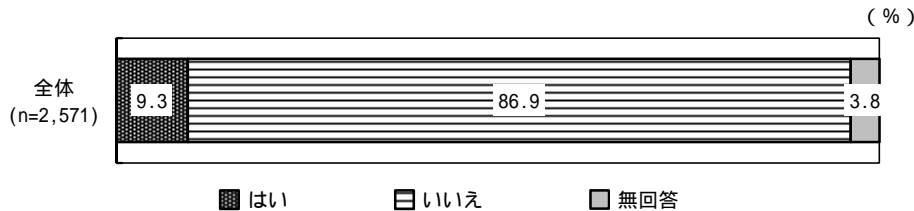
■ 週4回以上 □ 週に2～3回 ▣ 週1回 ▤ 月1～3回 ■ 年に数回 ▨ ほとんどない □ 無回答

		週4回以上	週に2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	ほとんどない	無回答	
全体 (n=2,571)		10.9%	17.5%	12.7%	20.1%	19.9%	15.8%	3.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	13.8%	19.2%	12.4%	22.0%	20.8%	10.2%	1.6%	
	要支援1・2 (n=637)	4.7%	15.4%	13.5%	17.7%	19.2%	25.7%	3.8%	
性別	男性 (n=1,015)	9.4%	11.2%	10.7%	21.6%	25.0%	20.1%	2.0%	
	女性 (n=1,484)	11.7%	21.9%	13.9%	19.6%	16.6%	12.7%	3.6%	
年齢	65～69歳 (n=504)	15.1%	13.9%	12.5%	24.2%	23.0%	9.7%	1.6%	
	70～74歳 (n=566)	10.2%	17.7%	12.2%	23.0%	23.5%	12.4%	1.1%	
	75～79歳 (n=573)	12.2%	19.0%	14.1%	18.8%	17.3%	15.2%	3.3%	
	80～84歳 (n=464)	9.3%	20.9%	13.1%	18.1%	17.2%	16.4%	5.0%	
	85～89歳 (n=336)	7.1%	16.1%	11.6%	15.2%	18.5%	27.7%	3.9%	
	90歳以上 (n=103)	4.9%	12.6%	10.7%	16.5%	18.4%	30.1%	6.8%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	10.0%	10.6%	10.8%	22.5%	29.6%	15.4%	1.0%
		75～84歳 (n=404)	10.1%	13.1%	12.1%	20.8%	19.6%	21.5%	2.7%
		85歳以上 (n=130)	4.6%	7.7%	6.2%	20.0%	25.4%	33.1%	3.1%
	女性	65～74歳 (n=580)	14.8%	20.2%	13.4%	24.7%	18.1%	7.2%	1.6%
		75～84歳 (n=605)	11.4%	25.1%	14.2%	17.4%	15.9%	11.4%	4.6%
		85歳以上 (n=293)	6.5%	18.4%	14.0%	14.0%	15.7%	25.9%	5.5%
家族構成	1人暮らし (n=658)	9.6%	19.6%	16.7%	20.2%	15.0%	15.2%	3.6%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	12.1%	17.0%	12.8%	21.1%	21.0%	14.1%	2.0%	
	子のみと同居 (n=511)	8.6%	16.8%	10.6%	23.1%	19.2%	18.4%	3.3%	
	その他 (n=392)	12.5%	16.8%	8.7%	14.8%	26.3%	17.6%	3.3%	
経済的状況	苦しい (n=615)	8.6%	11.7%	9.8%	20.7%	25.4%	19.8%	4.1%	
	ふつう (n=1,628)	11.2%	19.0%	13.1%	20.1%	19.0%	15.1%	2.5%	
	ゆとりがある (n=282)	13.8%	22.0%	15.6%	22.0%	14.2%	10.3%	2.1%	
主観的健康感	とてもよい (n=310)	17.1%	21.9%	14.2%	20.3%	17.4%	7.4%	1.6%	
	まあよい (n=1,508)	13.0%	18.2%	12.5%	20.8%	20.2%	13.1%	2.3%	
	あまりよくない (n=545)	4.2%	13.8%	13.4%	20.4%	23.1%	22.4%	2.8%	
	よくない (n=128)	3.9%	11.7%	7.8%	17.2%	14.1%	41.4%	3.9%	
主観的幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	4.7%	2.3%	16.3%	23.3%	9.3%	41.9%	2.3%	
	やや不幸(3～4点) (n=131)	4.6%	13.7%	9.2%	19.8%	20.6%	29.8%	2.3%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	5.2%	12.6%	11.9%	21.1%	20.9%	25.4%	2.9%	
	やや幸福(6～7点) (n=640)	9.2%	16.4%	13.6%	22.0%	24.2%	13.0%	1.6%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	15.5%	20.8%	13.2%	20.3%	17.6%	10.6%	2.1%	
生きがい	生きがいあり (n=1,315)	15.2%	22.3%	14.4%	20.6%	17.1%	9.4%	1.0%	
	思いつかない (n=949)	6.1%	11.4%	11.3%	19.7%	25.2%	25.6%	0.7%	

(8) 認知症について

問 35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに)

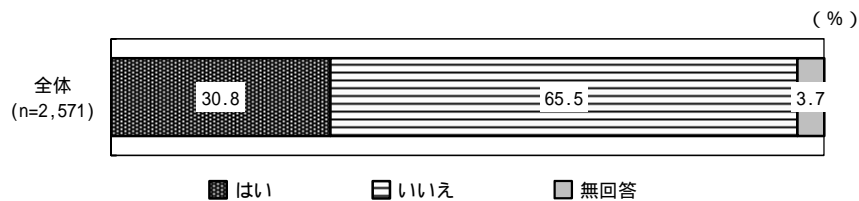
- ・「はい」が9.3%、「いいえ」が86.9%となっている。
- ・「はい」の割合は、『要支援1・2』では12.6%、『非認定者(自立)』では8.1%となっている。



		はい	いいえ	無回答
全 体	(n=2,571)	9.3%	86.9%	3.8%
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	8.1%	90.1%	1.7%
	要支援1・2 (n=637)	12.6%	82.6%	4.9%
性別	男性 (n=1,015)	11.0%	86.3%	2.7%
	女性 (n=1,484)	8.2%	87.5%	4.3%
年齢	65～69歳 (n=504)	9.5%	89.7%	0.8%
	70～74歳 (n=566)	6.7%	91.7%	1.6%
	75～79歳 (n=573)	8.7%	86.0%	5.2%
	80～84歳 (n=464)	12.1%	82.5%	5.4%
	85～89歳 (n=336)	10.7%	83.6%	5.7%
	90歳以上 (n=103)	8.7%	83.5%	7.8%

問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに)

- ・「はい」が30.8%、「いいえ」が65.5%となっている。
- ・「はい」の割合は、『男性』(25.7%)よりも『女性』(34.6%)のほうが高い。
- ・本人又は家族に認知症の症状がある人が『ある・いる』では、「はい」が50.4%となっている。また、物忘れが多いと感じる(問19)との関係では、『はい(多いと感じる)』(29.2%)よりも『いいえ(多いと感じない)』(32.6%)ほうがやや高くなっている。

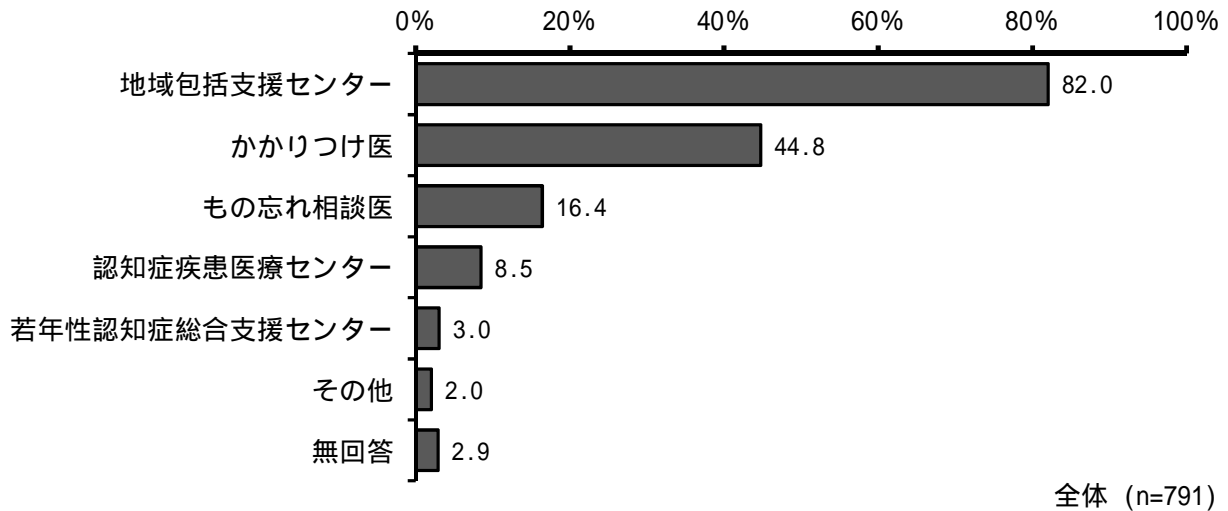


		はい	いいえ	無回答
全 体	(n=2,571)	30.8%	65.5%	3.7%
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	32.3%	65.5%	2.2%
	要支援1・2 (n=637)	32.3%	62.6%	5.0%
性別	男性 (n=1,015)	25.7%	71.3%	3.0%
	女性 (n=1,484)	34.6%	61.2%	4.2%
年齢	65～69歳 (n=504)	26.0%	72.8%	1.2%
	70～74歳 (n=566)	30.2%	68.0%	1.8%
	75～79歳 (n=573)	30.9%	64.6%	4.5%
	80～84歳 (n=464)	34.9%	59.5%	5.6%
	85～89歳 (n=336)	34.5%	59.5%	6.0%
	90歳以上 (n=103)	27.2%	66.0%	6.8%
本人・家族 の認知症	ある・いる (n=240)	50.4%	47.5%	2.1%
	ない・いない (n=2,234)	28.2%	69.3%	2.5%
物忘れが多 いと感じる	はい (n=1,078)	29.2%	66.5%	4.3%
	いいえ (n=1,411)	32.6%	64.7%	2.7%

問36で「はい(知っている)」を選択した方におたずねします

問36-1 あなたが知っている相談窓口はどれですか。(いくつでも)

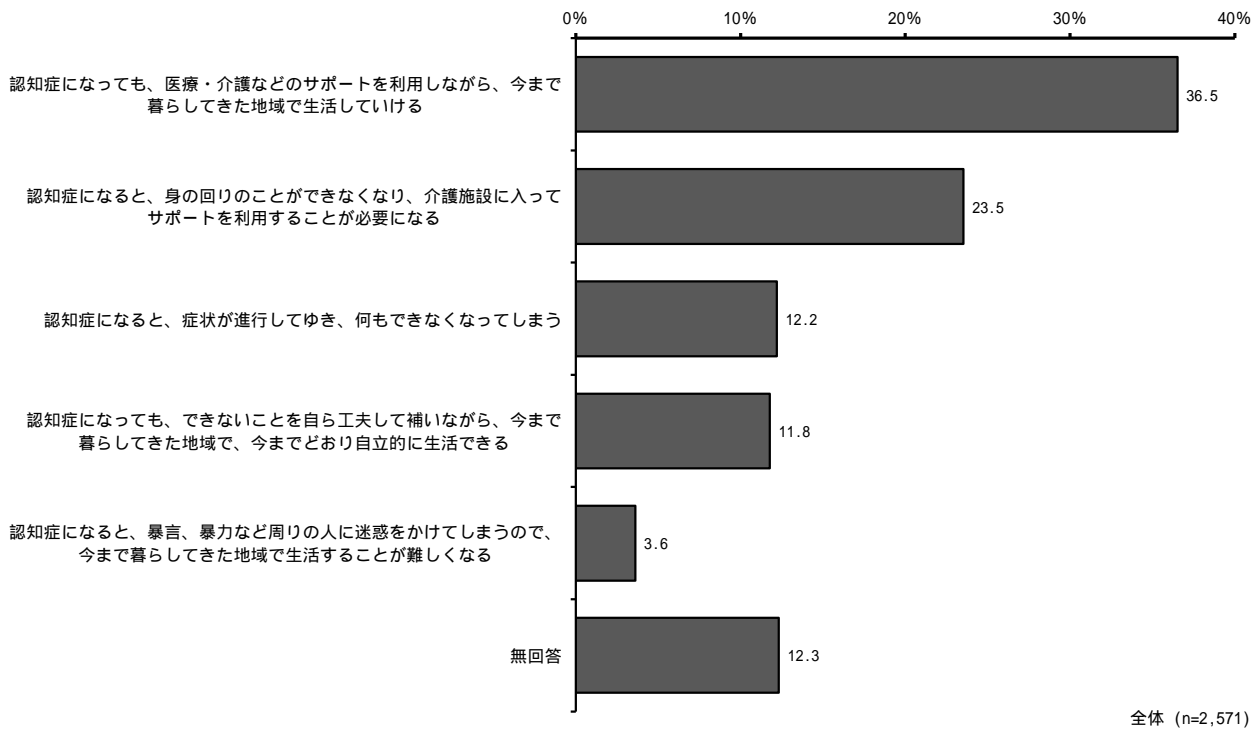
- ・「地域包括支援センター」(82.0%)が最も多く、次いで「かかりつけ医」(44.8%)、「もの忘れ相談医」(16.4%)、「認知症疾患医療センター」(8.5%)と続いている。
- ・各相談窓口ともに、『男性』よりも『女性』のほうが知っている割合が高くなっている。



		地域包括支援センター	かかりつけ医	認知症疾患医療センター	もの忘れ相談医	若年性認知症総合支援センター	その他	無回答	
全体 (n=791)		82.0%	44.8%	8.5%	16.4%	3.0%	2.0%	2.9%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=521)	84.8%	41.3%	10.4%	17.9%	3.8%	1.3%	1.9%	
	要支援1・2 (n=206)	83.0%	51.5%	5.3%	15.0%	1.9%	3.4%	3.9%	
性別	男性 (n=261)	79.3%	38.3%	7.3%	8.0%	0.4%	1.9%	3.8%	
	女性 (n=514)	84.0%	47.7%	9.3%	21.2%	4.5%	2.1%	2.5%	
年齢	65～69歳 (n=131)	89.3%	35.1%	11.5%	22.9%	5.3%	1.5%	2.3%	
	70～74歳 (n=171)	85.4%	40.4%	8.2%	19.3%	5.3%	1.8%	2.3%	
	75～79歳 (n=177)	80.2%	45.2%	6.8%	16.9%	1.7%	4.0%	2.8%	
	80～84歳 (n=162)	77.8%	47.5%	9.9%	12.3%	1.2%	1.2%	4.9%	
	85～89歳 (n=116)	78.4%	57.8%	7.8%	12.1%	2.6%	1.7%	1.7%	
	90歳以上 (n=28)	78.6%	46.4%	3.6%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=93)	80.6%	31.2%	7.5%	9.7%	0.0%	1.1%	3.2%
		75～84歳 (n=118)	77.1%	40.7%	7.6%	7.6%	0.8%	3.4%	4.2%
		85歳以上 (n=49)	81.6%	46.9%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	4.1%
	女性	65～74歳 (n=207)	89.9%	41.1%	10.6%	26.1%	7.7%	1.9%	1.9%
		75～84歳 (n=214)	80.8%	48.6%	8.9%	19.2%	1.9%	2.3%	3.7%
		85歳以上 (n=91)	79.1%	59.3%	7.7%	14.3%	3.3%	2.2%	1.1%

問37 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに)

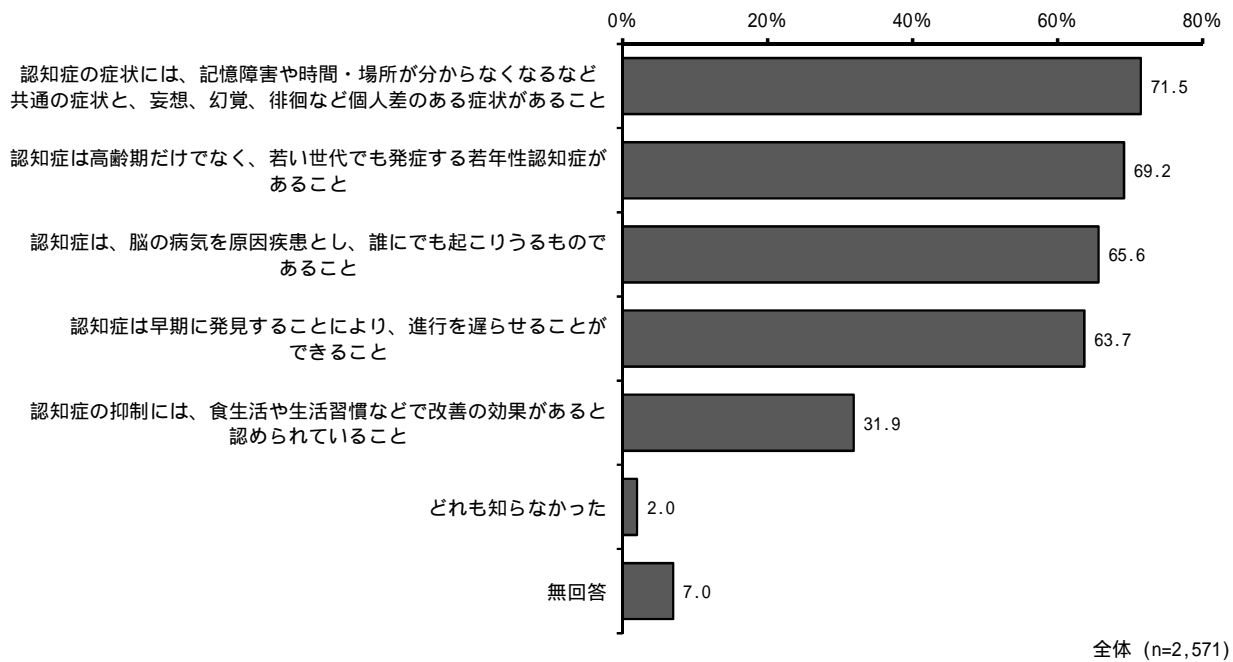
- ・「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(36.5%)が最も多く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」(23.5%)、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」(12.2%)、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」(11.8%)と続いている。
- ・「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」は、『65～69歳』(15.5%)、『90歳以上』(8.7%)と、年齢が低いほど割合が高くなっている。



		認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる	認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる	認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけるので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう	無回答	
全体 (n=2,571)		11.8%	36.5%	23.5%	3.6%	12.2%	12.3%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	11.7%	40.4%	24.4%	3.5%	12.1%	7.9%	
	要支援1・2 (n=637)	10.8%	34.4%	25.0%	3.6%	11.1%	15.1%	
性別	男性 (n=1,015)	13.4%	34.5%	23.5%	3.6%	15.1%	9.9%	
	女性 (n=1,484)	10.8%	38.4%	23.7%	3.6%	10.5%	13.1%	
年齢	65～69歳 (n=504)	7.9%	38.9%	27.6%	3.0%	15.5%	7.1%	
	70～74歳 (n=566)	11.8%	37.1%	24.6%	4.2%	14.0%	8.3%	
	75～79歳 (n=573)	15.0%	35.8%	23.0%	4.0%	10.3%	11.9%	
	80～84歳 (n=464)	13.1%	33.8%	19.8%	2.8%	11.2%	19.2%	
	85～89歳 (n=336)	12.2%	37.8%	20.8%	4.5%	10.4%	14.3%	
	90歳以上 (n=103)	4.9%	33.0%	28.2%	2.9%	8.7%	22.3%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	10.8%	32.1%	27.7%	3.5%	19.8%	6.0%
		75～84歳 (n=404)	16.3%	36.9%	19.3%	3.7%	10.6%	13.1%
		85歳以上 (n=130)	13.8%	36.2%	21.5%	3.8%	10.8%	13.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	9.5%	43.1%	24.5%	3.6%	10.5%	8.8%
		75～84歳 (n=605)	12.9%	33.9%	23.3%	3.3%	10.9%	15.7%
		85歳以上 (n=293)	9.2%	37.5%	23.2%	4.1%	9.9%	16.0%

問38 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも)

- ・「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(71.5%)が最も多く、次いで「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(69.2%)、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(65.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(63.7%)と続いている。
- ・一方、「どれも知らなかった」は2.0%となっている。
- ・全体的に年齢が低いほど知っている割合が高くなっている。



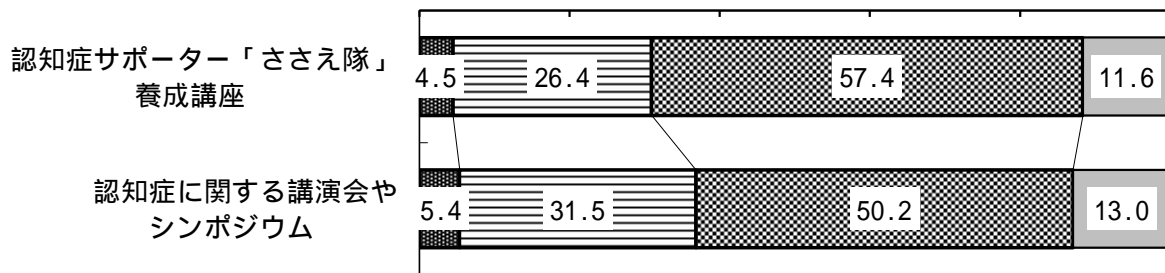
		認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること	認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること	認知症の抑制には、食生活や生活習慣などで改善の効果があると認められていること	認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること	認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること	どれも知らなかった	無回答	
全体	(n=2,571)	65.6%	71.5%	31.9%	69.2%	63.7%	2.0%	7.0%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	72.0%	77.4%	37.8%	77.3%	67.6%	0.7%	3.6%	
	要支援1・2 (n=637)	60.3%	66.7%	24.6%	60.3%	61.7%	3.5%	8.6%	
性別	男性 (n=1,015)	67.5%	70.7%	30.9%	63.6%	55.7%	1.7%	6.2%	
	女性 (n=1,484)	65.2%	73.2%	32.8%	73.8%	69.4%	2.1%	6.9%	
年齢	65～69歳 (n=504)	73.0%	81.2%	39.9%	81.7%	68.5%	0.6%	3.6%	
	70～74歳 (n=566)	71.7%	74.0%	35.3%	75.4%	67.1%	1.1%	5.1%	
	75～79歳 (n=573)	66.7%	71.7%	31.4%	69.3%	66.5%	1.4%	5.8%	
	80～84歳 (n=464)	58.0%	66.4%	26.1%	61.4%	58.0%	1.9%	10.3%	
	85～89歳 (n=336)	60.1%	64.9%	27.1%	56.0%	58.3%	4.2%	10.7%	
	90歳以上 (n=103)	46.6%	60.2%	14.6%	51.5%	49.5%	10.7%	10.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	71.0%	74.2%	32.1%	68.8%	56.0%	1.7%	4.6%
		75～84歳 (n=404)	65.1%	67.8%	31.9%	60.6%	55.0%	1.2%	7.7%
		85歳以上 (n=130)	62.3%	67.7%	23.8%	54.6%	56.9%	3.1%	6.9%
	女性	65～74歳 (n=580)	73.3%	80.3%	42.1%	86.6%	77.2%	0.2%	4.3%
		75～84歳 (n=605)	62.1%	71.1%	27.4%	70.1%	68.3%	1.8%	7.4%
	85歳以上 (n=293)	55.6%	63.8%	24.9%	56.0%	56.3%	6.5%	11.3%	

問39 府中市では、次のような認知症予防の啓発活動を実施しています。あなたの参加状況について
 ・ のそれぞれ1つに をつけてください。

- ・ 『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』は、「参加したことがある」が4.5%、「知っているが参加したことはない」が26.4%、「知らない」が57.4%となっている。
- ・ 『認知症に関する講演会やシンポジウム』は、「参加したことがある」が5.4%、「知っているが参加したことはない」が31.5%、「知らない」が50.2%となっている。
- ・ 『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』『認知症に関する講演会やシンポジウム』ともに『男性』の認知度が低く（「知らない」割合が高く）なっている。

全体 (n=2,571)

(%)

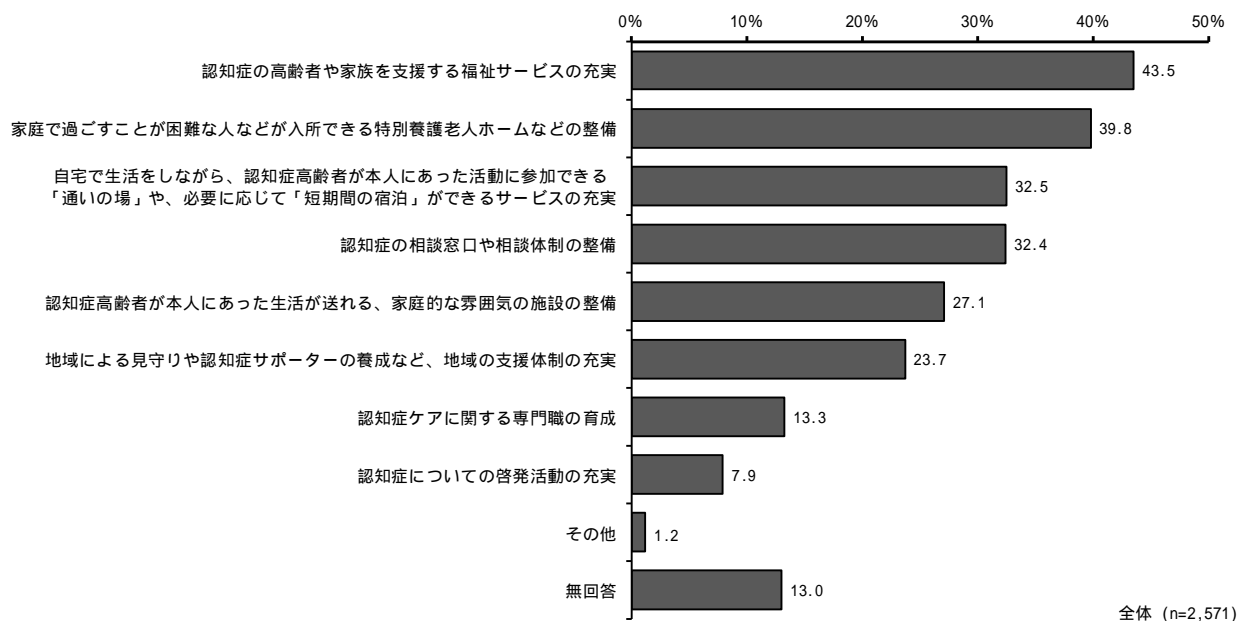


■ 参加したことがある ■ 知っているが参加したことはない ■ 知らない ■ 無回答

	認知症サポーター「ささえ隊」養成講座				認知症に関する講演会やシンポジウム					
	参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らない	無回答	参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らない	無回答		
全体 (n=2,571)	4.5%	26.4%	57.4%	11.6%	5.4%	31.5%	50.2%	13.0%		
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	5.2%	28.0%	59.9%	6.9%	6.0%	35.3%	51.1%	7.6%	
	要支援1・2 (n=637)	3.3%	24.8%	55.6%	16.3%	4.9%	28.1%	49.9%	17.1%	
性別	男性 (n=1,015)	2.1%	18.1%	70.4%	9.4%	3.1%	25.7%	61.4%	9.9%	
	女性 (n=1,484)	6.3%	32.5%	48.9%	12.3%	7.1%	36.1%	43.0%	13.8%	
年齢	65～69歳 (n=504)	4.8%	21.4%	68.7%	5.2%	3.0%	33.1%	57.9%	6.0%	
	70～74歳 (n=566)	4.1%	28.6%	60.2%	7.1%	4.1%	35.3%	52.8%	7.8%	
	75～79歳 (n=573)	5.9%	28.4%	53.9%	11.7%	6.3%	31.8%	49.4%	12.6%	
	80～84歳 (n=464)	4.5%	27.6%	50.9%	17.0%	7.3%	29.5%	43.5%	19.6%	
	85～89歳 (n=336)	3.3%	26.5%	51.2%	19.0%	7.1%	28.3%	44.6%	19.9%	
	90歳以上 (n=103)	1.9%	24.3%	56.3%	17.5%	4.9%	22.3%	49.5%	23.3%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	1.7%	13.5%	79.0%	5.8%	0.6%	24.2%	69.4%	5.8%
		75～84歳 (n=404)	2.5%	22.3%	63.6%	11.6%	5.0%	26.2%	56.4%	12.4%
		85歳以上 (n=130)	2.3%	22.3%	60.0%	15.4%	6.2%	30.0%	46.9%	16.9%
	女性	65～74歳 (n=580)	6.7%	34.8%	52.2%	6.2%	6.0%	42.6%	43.8%	7.6%
		75～84歳 (n=605)	7.3%	32.6%	45.1%	15.0%	8.3%	34.7%	40.7%	16.4%
	85歳以上 (n=293)	3.4%	28.3%	49.5%	18.8%	6.8%	26.6%	45.7%	20.8%	

問40 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。
(3つまでに)

- ・「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(43.5%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(39.8%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加できる『通いの場』や、必要に応じて『短期間の宿泊』ができるサービスの充実」(32.5%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(32.4%)と続いている。
- ・「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」は、『65～69歳』(43.3%)、『90歳以上』(28.2%)と、年齢が低いほど割合が高く、また、『要支援1・2』(37.7%)よりも『非認定者(自立)』(42.9%)のほうが割合が高くなっている。



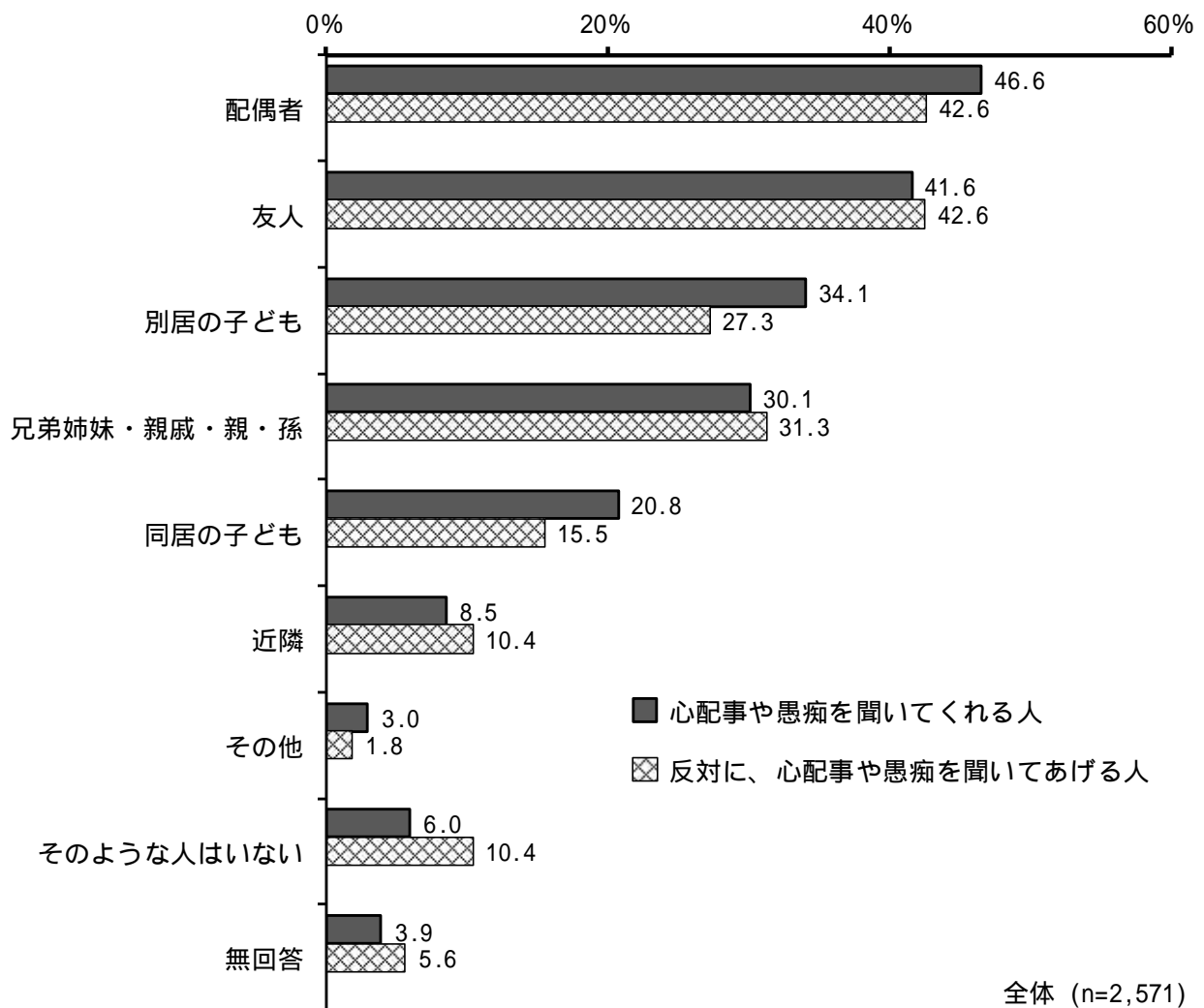
		認知症についての啓発活動の充実	認知症の相談窓口や相談体制の整備	地域による見守りや認知症サポーターの養成など、地域の支援体制の充実	認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実	本人にあった活動に参加できる『通いの場』や『短期間の宿泊』の充実	自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった生活が送れる、家庭的な雰囲気施設の整備	認知症高齢者が本人にあった生活が送れる、家庭的な雰囲気施設の整備	家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備	認知症ケアに関する専門職の育成	その他	無回答
全体	(n=2,571)	7.9%	32.4%	23.7%	43.5%	32.5%	27.1%	39.8%	13.3%	1.2%	13.0%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	7.4%	34.7%	26.2%	48.1%	36.6%	27.9%	42.9%	14.1%	0.8%	8.3%	
	要支援1・2 (n=637)	9.3%	30.6%	22.8%	40.7%	28.4%	29.7%	37.7%	12.4%	1.9%	13.8%	
性別	男性 (n=1,015)	10.9%	36.9%	25.0%	45.4%	27.2%	27.2%	39.5%	11.8%	1.7%	10.4%	
	女性 (n=1,484)	6.0%	29.9%	22.6%	42.7%	36.2%	27.4%	41.0%	14.5%	0.9%	13.9%	
年齢	65～69歳 (n=504)	6.7%	35.3%	30.4%	53.4%	33.9%	26.4%	43.3%	13.9%	0.6%	6.5%	
	70～74歳 (n=566)	7.6%	31.8%	25.3%	44.3%	37.3%	28.4%	46.3%	13.1%	1.1%	9.9%	
	75～79歳 (n=573)	7.3%	34.6%	22.2%	40.5%	33.9%	24.4%	38.9%	13.4%	1.4%	14.7%	
	80～84歳 (n=464)	9.3%	29.3%	21.3%	41.2%	29.3%	24.1%	37.3%	13.1%	1.5%	18.1%	
	85～89歳 (n=336)	8.0%	29.8%	18.8%	39.3%	29.2%	31.3%	32.4%	14.3%	0.9%	15.2%	
90歳以上 (n=103)	10.7%	35.0%	16.5%	33.0%	18.4%	37.9%	28.2%	7.8%	3.9%	19.4%		
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	9.2%	37.3%	28.8%	46.7%	25.4%	29.2%	41.9%	13.5%	1.3%	7.1%
		75～84歳 (n=404)	12.4%	36.1%	22.5%	43.3%	30.0%	23.0%	39.1%	10.1%	2.2%	14.4%
		85歳以上 (n=130)	13.1%	38.5%	19.2%	47.7%	25.4%	33.1%	32.3%	10.8%	1.5%	10.0%
	女性	65～74歳 (n=580)	5.7%	30.5%	26.7%	50.2%	44.0%	26.0%	47.6%	13.4%	0.5%	9.3%
		75～84歳 (n=605)	5.8%	30.4%	20.8%	39.8%	33.1%	25.5%	38.5%	15.7%	0.8%	16.9%
		85歳以上 (n=293)	7.2%	28.0%	18.1%	33.8%	27.6%	33.1%	32.4%	14.3%	1.7%	17.4%

(9) たすけあいについて

問41 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(いくつでも)

問42 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。(いくつでも)

- ・『心配事や愚痴を聞いてくれる人』は、「配偶者」(46.6%)が最も多く、次いで「友人」(41.6%)、「別居の子ども」(34.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.1%)、「同居の子ども」(20.8%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は6.0%となっている。なお、「別居の子ども」(34.1%)と「同居の子ども」(20.8%)を合わせた割合は54.9%となっている。
- ・反対に『心配事や愚痴を聞いてあげる人』は、「配偶者」「友人」(ともに42.6%)が最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.3%)、「別居の子ども」(27.3%)、「同居の子ども」(15.5%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は10.4%となっている。なお、「別居の子ども」(27.3%)と「同居の子ども」(15.5%)を合わせた割合は42.8%となっている。



- ・「配偶者」の割合は、『女性』(28.1%)よりも『男性』(56.5%)のほうが30ポイント程度高いが、「配偶者」以外は『女性』のほうが高くなっている。

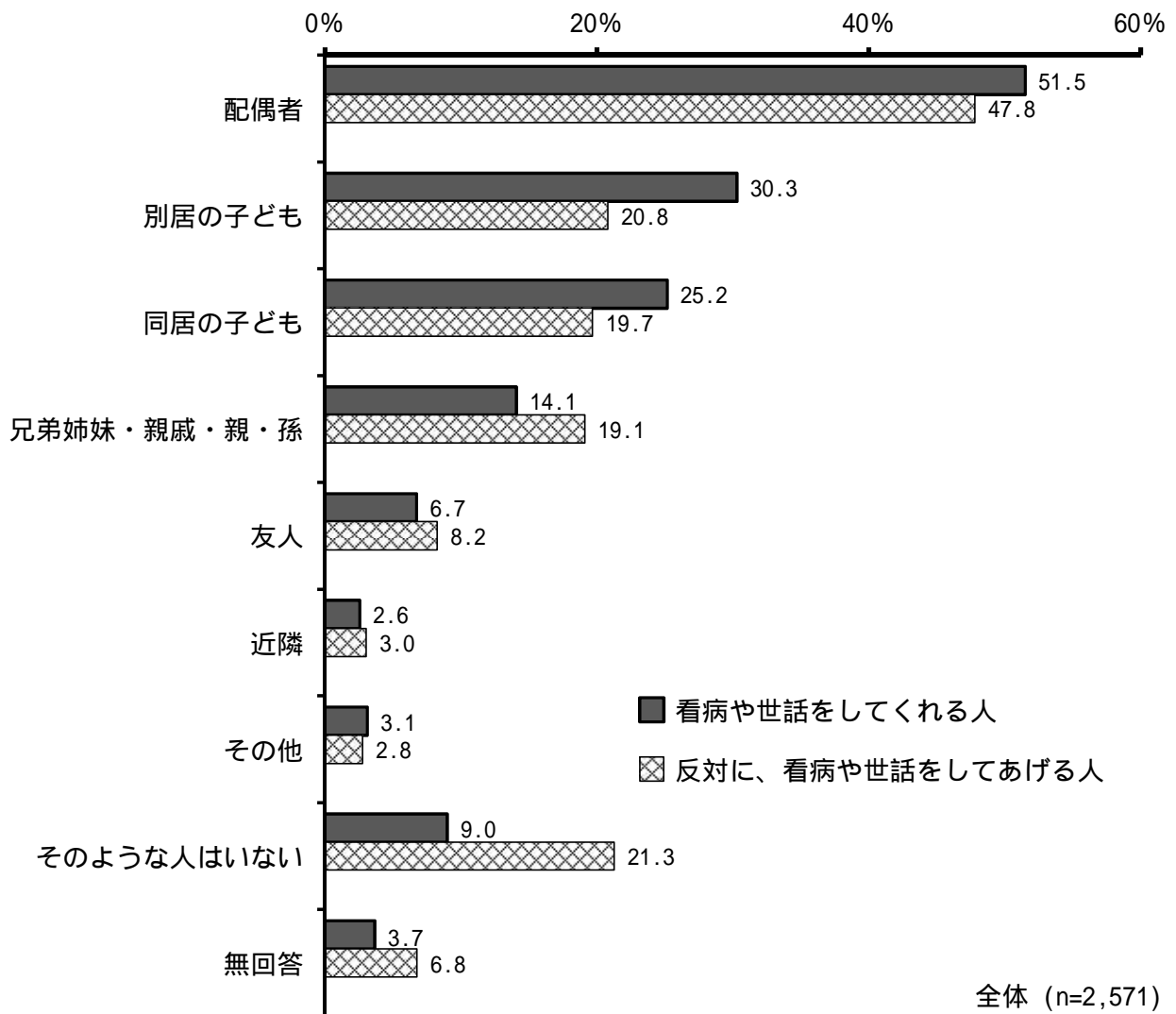
		問41 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体 (n=2,571)		46.6%	20.8%	34.1%	30.1%	8.5%	41.6%	3.0%	6.0%	3.9%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	56.5%	21.3%	33.3%	33.1%	8.1%	47.3%	2.2%	4.4%	2.1%	
	要支援1・2 (n=637)	28.1%	21.8%	41.0%	25.6%	9.1%	30.8%	4.7%	7.2%	5.2%	
性別	男性 (n=1,015)	65.2%	14.9%	26.9%	20.0%	4.5%	26.5%	2.8%	8.4%	3.5%	
	女性 (n=1,484)	34.4%	24.6%	39.5%	37.1%	11.1%	52.5%	3.0%	3.9%	3.8%	
年齢	65～69歳 (n=504)	62.1%	18.5%	28.6%	32.5%	6.0%	54.8%	2.6%	5.0%	1.4%	
	70～74歳 (n=566)	55.3%	18.2%	31.6%	33.7%	7.6%	49.1%	2.5%	6.0%	2.1%	
	75～79歳 (n=573)	48.2%	21.6%	34.9%	31.6%	9.8%	40.5%	3.5%	5.4%	4.4%	
	80～84歳 (n=464)	38.6%	22.4%	35.1%	25.6%	9.3%	34.3%	1.5%	6.5%	5.8%	
	85～89歳 (n=336)	28.6%	23.8%	40.2%	28.0%	10.7%	28.3%	5.1%	6.3%	6.3%	
	90歳以上 (n=103)	9.7%	25.2%	46.6%	15.5%	6.8%	21.4%	4.9%	8.7%	7.8%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	68.1%	12.7%	19.0%	21.5%	4.8%	35.0%	2.9%	9.4%	2.1%
		75～84歳 (n=404)	65.6%	15.8%	30.7%	19.3%	4.0%	20.5%	2.0%	8.2%	5.4%
		85歳以上 (n=130)	53.8%	20.0%	44.6%	16.9%	5.4%	13.1%	4.6%	5.4%	3.1%
	女性	65～74歳 (n=580)	50.7%	22.9%	39.7%	42.9%	8.4%	65.9%	2.2%	2.1%	1.6%
		75～84歳 (n=605)	29.9%	25.8%	38.2%	35.0%	13.1%	49.6%	2.6%	4.3%	4.1%
		85歳以上 (n=293)	11.3%	25.9%	41.6%	29.4%	11.9%	32.4%	5.5%	6.8%	7.2%
家族構成	1人暮らし (n=658)	0.5%	2.6%	43.9%	32.5%	10.2%	48.3%	4.0%	13.7%	4.6%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	80.1%	2.5%	37.9%	27.6%	7.3%	41.0%	1.9%	2.7%	3.2%	
	子のみと同居 (n=511)	43.2%	57.5%	24.9%	30.5%	8.0%	36.0%	3.7%	3.7%	5.1%	
	その他 (n=392)	48.5%	46.4%	22.2%	32.4%	8.7%	40.8%	2.8%	3.8%	1.8%	

		問42 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体 (n=2,571)		42.6%	15.5%	27.3%	31.3%	10.4%	42.6%	1.8%	10.4%	5.6%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	52.4%	17.3%	28.7%	34.9%	11.0%	48.5%	1.6%	7.4%	2.8%	
	要支援1・2 (n=637)	24.8%	13.7%	28.3%	26.5%	9.3%	32.0%	2.7%	14.8%	8.8%	
性別	男性 (n=1,015)	61.0%	13.1%	22.2%	22.9%	6.3%	28.4%	1.0%	13.2%	4.8%	
	女性 (n=1,484)	30.7%	16.9%	31.5%	37.1%	12.9%	52.7%	2.4%	8.2%	5.7%	
年齢	65～69歳 (n=504)	58.7%	17.9%	29.2%	37.5%	8.5%	56.9%	1.8%	5.2%	2.0%	
	70～74歳 (n=566)	51.4%	14.1%	27.6%	37.3%	9.5%	49.3%	1.4%	8.8%	3.0%	
	75～79歳 (n=573)	44.3%	18.8%	26.5%	30.5%	12.7%	43.8%	2.6%	9.9%	5.8%	
	80～84歳 (n=464)	33.4%	14.7%	27.8%	26.5%	9.7%	31.0%	1.5%	13.4%	8.0%	
	85～89歳 (n=336)	23.8%	11.0%	25.0%	23.5%	10.4%	29.5%	2.1%	15.8%	9.2%	
	90歳以上 (n=103)	9.7%	13.6%	26.2%	14.6%	10.7%	23.3%	1.0%	17.5%	14.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	65.0%	14.2%	19.2%	24.8%	6.9%	36.7%	1.3%	12.1%	2.7%
		75～84歳 (n=404)	60.6%	12.6%	23.8%	21.8%	6.2%	23.0%	1.0%	13.4%	6.2%
		85歳以上 (n=130)	47.7%	10.8%	28.5%	19.2%	4.6%	14.6%	0.0%	16.2%	8.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	46.7%	17.4%	36.2%	47.8%	10.9%	66.4%	1.9%	2.8%	2.4%
		75～84歳 (n=605)	25.8%	19.3%	29.9%	33.6%	14.4%	48.8%	2.8%	9.8%	6.6%
		85歳以上 (n=293)	8.5%	11.3%	24.9%	23.2%	13.3%	33.8%	2.7%	16.0%	10.2%
家族構成	1人暮らし (n=658)	0.9%	1.1%	29.6%	30.1%	11.4%	47.9%	2.0%	20.7%	7.1%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	73.1%	2.3%	31.9%	31.4%	8.8%	42.3%	0.9%	5.2%	4.5%	
	子のみと同居 (n=511)	39.9%	45.0%	21.3%	29.4%	10.2%	35.8%	2.5%	9.2%	6.8%	
	その他 (n=392)	43.4%	33.4%	21.2%	37.0%	12.2%	44.6%	2.8%	7.9%	2.0%	

問43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

問44 反対に、看病や世話をしあげる人はいますか。(いくつでも)

- ・『看病や世話をしてくれる人』は、「配偶者」(51.5%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(30.3%)、「同居の子ども」(25.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(14.1%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は9.0%となっている。なお、「別居の子ども」(30.3%)と「同居の子ども」(25.2%)を合わせた割合は55.5%となっている。
- ・反対に『看病や世話をしあげる人』は、「配偶者」(47.8%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(20.8%)、「同居の子ども」(19.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.1%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は21.3%となっている。なお、「別居の子ども」(20.8%)と「同居の子ども」(19.7%)を合わせた割合は40.5%となっている。



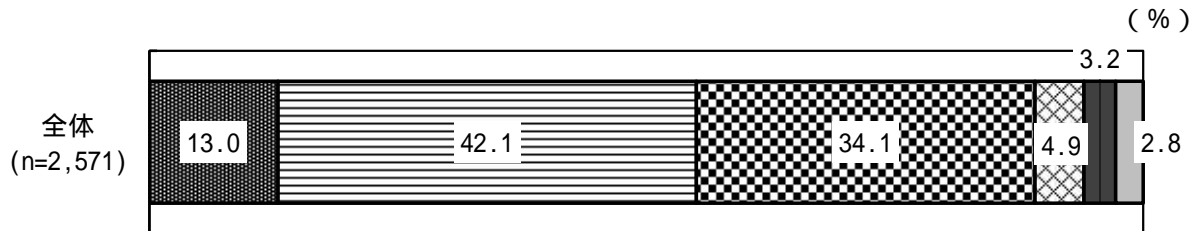
・「配偶者」の割合は、『女性』(31.2%)よりも『男性』(62.3%)のほうが30ポイント程度高いが、「配偶者」以外は『女性』のほうが高くなっている。

		問43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体 (n=2,571)		51.5%	25.2%	30.3%	14.1%	2.6%	6.7%	3.1%	9.0%	3.7%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	62.3%	25.7%	27.3%	14.7%	1.9%	6.6%	1.9%	7.3%	1.8%	
	要支援1・2 (n=637)	31.2%	26.1%	40.7%	13.5%	3.1%	5.8%	5.3%	10.7%	5.0%	
性別	男性 (n=1,015)	70.5%	20.1%	24.5%	11.2%	1.2%	2.9%	1.0%	10.0%	2.8%	
	女性 (n=1,484)	39.2%	28.4%	34.8%	16.2%	3.6%	9.4%	4.6%	8.2%	3.6%	
年齢	65～69歳 (n=504)	67.9%	23.4%	20.6%	14.5%	1.4%	6.3%	2.4%	8.3%	1.0%	
	70～74歳 (n=566)	63.6%	22.6%	26.5%	16.8%	2.3%	8.1%	1.1%	9.2%	2.3%	
	75～79歳 (n=573)	54.1%	24.3%	33.5%	12.2%	3.0%	8.0%	2.1%	8.9%	3.7%	
	80～84歳 (n=464)	40.7%	28.4%	33.2%	13.6%	3.2%	4.5%	4.1%	9.3%	6.0%	
	85～89歳 (n=336)	29.8%	27.1%	38.1%	14.3%	3.9%	5.4%	6.8%	8.9%	5.1%	
	90歳以上 (n=103)	12.6%	33.0%	41.7%	8.7%	1.0%	5.8%	7.8%	9.7%	7.8%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	74.2%	19.6%	17.7%	11.0%	1.5%	3.3%	1.3%	11.5%	1.9%
		75～84歳 (n=404)	70.3%	19.8%	28.2%	10.9%	0.7%	2.5%	0.5%	8.4%	4.0%
		85歳以上 (n=130)	58.5%	23.1%	38.5%	13.1%	1.5%	2.3%	1.5%	8.5%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	59.0%	25.7%	29.0%	19.7%	2.2%	10.3%	2.1%	6.4%	1.4%
		75～84歳 (n=605)	33.9%	30.2%	37.4%	14.0%	4.8%	9.4%	4.5%	9.4%	4.3%
	85歳以上 (n=293)	10.9%	30.7%	40.3%	13.3%	3.8%	6.8%	9.9%	9.2%	6.5%	
家族構成	1人暮らし (n=658)	0.6%	2.3%	43.5%	19.1%	5.9%	14.6%	6.7%	26.1%	5.6%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	88.8%	3.6%	33.4%	10.8%	1.4%	4.6%	0.8%	2.6%	2.4%	
	子のみ同居 (n=511)	46.8%	71.2%	17.8%	10.8%	1.6%	3.3%	1.4%	3.3%	4.3%	
	その他 (n=392)	53.8%	53.6%	17.6%	18.4%	1.3%	3.6%	5.1%	3.6%	1.5%	

		問44 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答	
全体 (n=2,571)		47.8%	19.7%	20.8%	19.1%	3.0%	8.2%	2.8%	21.3%	6.8%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	57.8%	22.7%	24.3%	23.9%	2.7%	8.6%	1.9%	16.4%	3.2%	
	要支援1・2 (n=637)	30.0%	14.9%	15.4%	10.4%	3.1%	6.4%	5.2%	30.5%	11.5%	
性別	男性 (n=1,015)	61.9%	17.5%	16.0%	15.3%	1.3%	3.4%	1.5%	21.7%	5.0%	
	女性 (n=1,484)	38.9%	20.8%	24.5%	22.3%	4.2%	11.6%	3.7%	20.6%	7.3%	
年齢	65～69歳 (n=504)	63.3%	27.0%	28.0%	31.0%	1.8%	8.7%	2.6%	12.1%	2.2%	
	70～74歳 (n=566)	58.7%	18.7%	22.8%	24.7%	2.5%	10.6%	2.1%	17.7%	3.4%	
	75～79歳 (n=573)	48.0%	18.5%	22.9%	16.6%	4.5%	10.5%	2.1%	20.9%	6.3%	
	80～84歳 (n=464)	38.6%	18.5%	15.7%	12.3%	4.1%	5.4%	1.9%	25.6%	10.6%	
	85～89歳 (n=336)	28.9%	15.8%	13.1%	9.5%	3.0%	5.1%	5.7%	30.4%	10.7%	
	90歳以上 (n=103)	14.6%	13.6%	11.7%	6.8%	0.0%	4.9%	5.8%	36.9%	19.4%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	65.4%	21.0%	15.8%	18.3%	1.0%	4.2%	1.5%	20.6%	2.9%
		75～84歳 (n=404)	61.4%	15.3%	16.6%	13.4%	1.2%	3.2%	1.0%	21.0%	6.7%
		85歳以上 (n=130)	50.8%	11.5%	14.6%	10.0%	2.3%	1.5%	3.1%	26.9%	7.7%
	女性	65～74歳 (n=580)	57.4%	24.0%	33.1%	35.7%	3.1%	14.1%	3.1%	9.8%	2.8%
		75～84歳 (n=605)	32.9%	20.7%	22.0%	15.9%	6.3%	11.7%	2.6%	24.0%	8.3%
	85歳以上 (n=293)	14.7%	15.4%	12.3%	8.5%	2.4%	6.5%	7.2%	35.2%	14.3%	
家族構成	1人暮らし (n=658)	1.5%	1.1%	19.1%	19.5%	4.9%	14.1%	4.7%	46.4%	10.0%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	82.4%	3.2%	26.7%	17.3%	2.2%	6.6%	1.3%	8.4%	4.1%	
	子のみ同居 (n=511)	44.0%	56.0%	17.6%	16.8%	2.7%	5.1%	1.6%	17.8%	7.8%	
	その他 (n=392)	47.2%	43.1%	14.5%	27.6%	2.3%	7.1%	5.1%	15.6%	3.6%	

問45 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに)

- ・「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(42.1%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(34.1%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(13.0%)と続いている。
- ・「個人的なことを相談し合える人がいる」割合は、『男性』(5.1%)よりも『女性』(18.0%)の割合が高く、特に『女性・75～84歳』(21.2%)の割合が高くなっている。



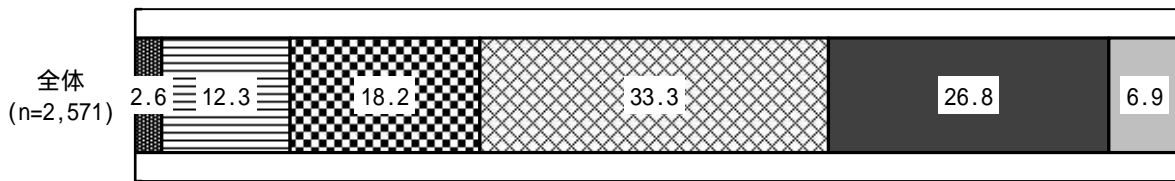
- 個人的なことを相談し合える人がいる
- さしさわりのないことなら、話せる人がいる
- 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
- あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる
- 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない
- 無回答

		個人的なことを相談し合える人がいる	さしさわりのないことなら、話せる人がいる	道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる	あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる	全く交流はなく、近隣に住む人を知らない	無回答	
全 体 (n=2,571)		13.0%	42.1%	34.1%	4.9%	3.2%	2.8%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	13.0%	43.0%	35.8%	4.3%	2.7%	1.2%	
	要支援1・2 (n=637)	12.9%	43.8%	31.2%	5.0%	3.1%	3.9%	
性別	男性 (n=1,015)	5.1%	36.6%	44.3%	6.9%	5.1%	2.0%	
	女性 (n=1,484)	18.0%	46.0%	27.5%	3.4%	2.0%	3.1%	
年齢	65～69歳 (n=504)	8.5%	33.7%	47.2%	5.2%	4.8%	0.6%	
	70～74歳 (n=566)	13.4%	43.1%	34.1%	4.8%	2.8%	1.8%	
	75～79歳 (n=573)	14.5%	45.2%	29.3%	5.4%	3.5%	2.1%	
	80～84歳 (n=464)	14.9%	43.8%	31.9%	4.5%	1.1%	3.9%	
	85～89歳 (n=336)	14.3%	46.4%	28.6%	4.2%	2.1%	4.5%	
	90歳以上 (n=103)	7.8%	40.8%	28.2%	5.8%	7.8%	9.7%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	4.8%	29.2%	51.9%	7.3%	5.8%	1.0%
		75～84歳 (n=404)	5.0%	43.3%	38.1%	6.7%	4.5%	2.5%
		85歳以上 (n=130)	6.9%	43.1%	36.2%	6.2%	3.8%	3.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	16.4%	46.4%	31.0%	2.8%	2.1%	1.4%
		75～84歳 (n=605)	21.2%	45.5%	25.3%	3.8%	1.2%	3.1%
		85歳以上 (n=293)	15.0%	45.7%	25.6%	4.1%	3.1%	6.5%
家族構成	1人暮らし (n=658)	15.7%	39.8%	29.8%	5.2%	6.1%	3.5%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	11.5%	41.7%	37.5%	5.6%	1.5%	2.2%	
	子のみ同居 (n=511)	12.1%	44.8%	34.4%	3.9%	2.5%	2.2%	
	その他 (n=392)	12.5%	44.4%	33.4%	4.3%	3.1%	2.3%	
主観的健康感	とてもよい (n=310)	17.7%	39.4%	35.5%	3.5%	2.6%	1.3%	
	まあよい (n=1,508)	12.9%	45.0%	33.4%	4.6%	3.1%	1.0%	
	あまりよくない (n=545)	10.5%	39.8%	39.3%	5.9%	3.3%	1.3%	
	よくない (n=128)	13.3%	37.5%	30.5%	10.9%	6.3%	1.6%	
主観的幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	16.3%	18.6%	34.9%	9.3%	20.9%	0.0%	
	やや不幸(3～4点) (n=131)	9.2%	35.9%	36.6%	10.7%	6.1%	1.5%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	7.8%	38.7%	38.2%	7.4%	5.5%	2.4%	
	やや幸福(6～7点) (n=640)	11.6%	43.9%	36.4%	4.2%	3.1%	0.8%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	16.2%	46.1%	32.0%	3.8%	1.5%	0.5%	
生きがい	生きがいあり (n=1,315)	16.0%	44.9%	32.3%	3.7%	2.0%	1.1%	
	思いつかない (n=949)	7.3%	40.7%	38.5%	7.1%	5.2%	1.4%	

問46 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(1つに)

- ・「とてもそう思う」(2.6%)、「そう思う」(12.3%)、「ややそう思う」(18.2%)を合わせた割合は33.1%となっている。
- ・一方、「あまりそう思わない」(33.3%)、「全くそう思わない」(26.8%)を合わせた割合は60.1%となっている。
- ・「あまりそう思わない・全くそう思わない」割合は、主観的健康感が『あまりよくない・よくない』や、主観的幸福感が『不幸・やや不幸』で高くなっている。

(%)

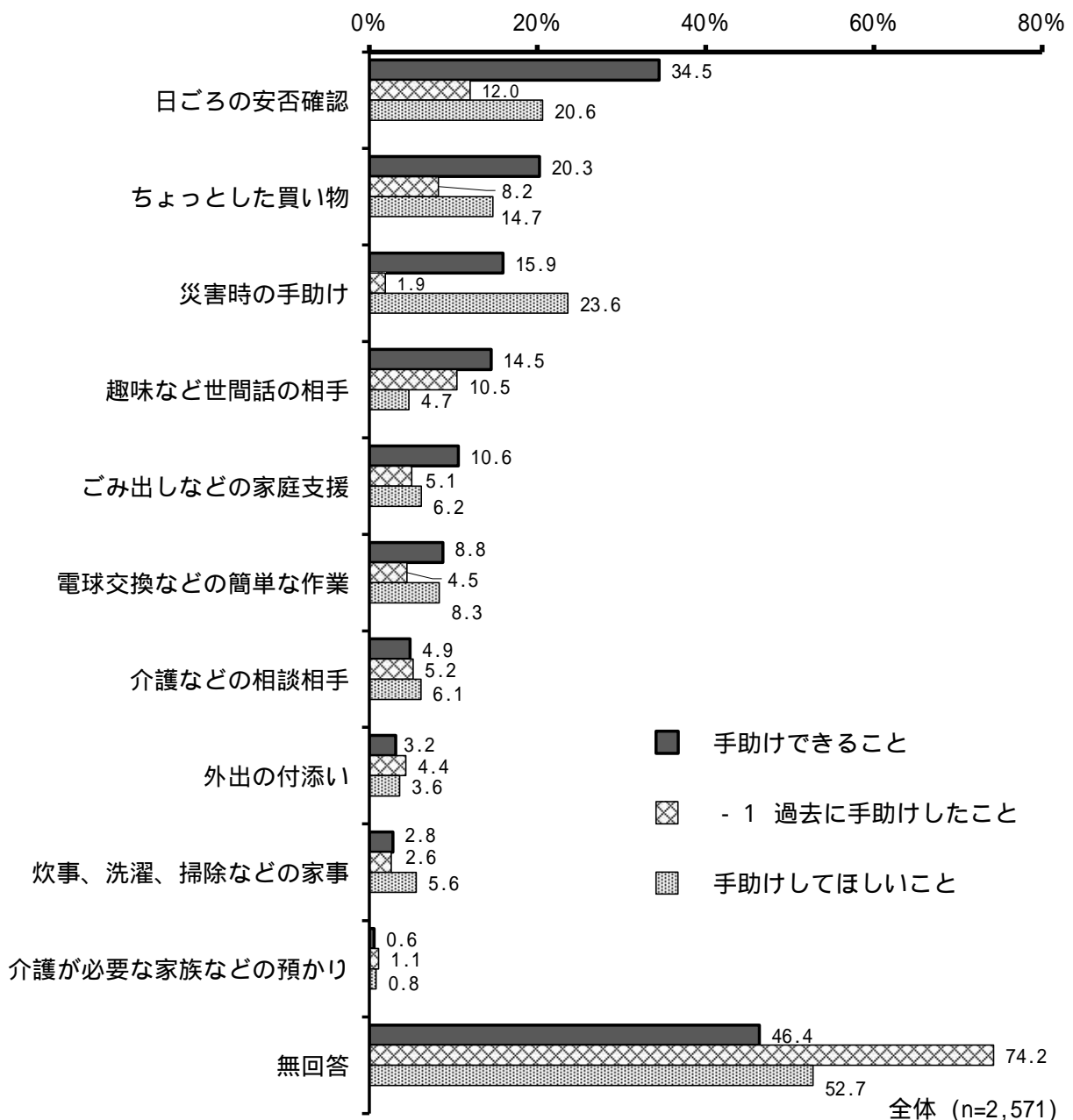


■ とてもそう思う ■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ 無回答

		とてもそう 思う	そう 思う	ややそう 思 う	あまりそう 思 わ ない	全くそう 思 わ ない	無回答		
全 体	(n=2,571)	2.6%	12.3%	18.2%	33.3%	26.8%	6.9%		
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	2.6%	14.1%	20.5%	35.2%	24.0%	3.5%	
	要支援1・2	(n=637)	2.7%	8.2%	15.5%	32.7%	32.3%	8.6%	
性別	男性	(n=1,015)	2.5%	12.6%	15.9%	38.3%	26.6%	4.1%	
	女性	(n=1,484)	2.6%	12.1%	19.7%	30.5%	27.2%	7.9%	
年齢	65～69歳	(n=504)	3.0%	8.5%	17.9%	38.7%	29.8%	2.2%	
	70～74歳	(n=566)	1.2%	12.2%	18.7%	36.0%	27.6%	4.2%	
	75～79歳	(n=573)	3.8%	13.1%	22.7%	30.4%	23.2%	6.8%	
	80～84歳	(n=464)	2.8%	16.8%	16.4%	31.3%	23.1%	9.7%	
	85～89歳	(n=336)	2.1%	10.1%	14.6%	30.1%	33.0%	10.1%	
	90歳以上	(n=103)	1.0%	11.7%	11.7%	30.1%	28.2%	17.5%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=480)	2.5%	9.8%	15.0%	41.0%	29.8%	1.9%
		75～84歳	(n=404)	2.7%	15.6%	17.6%	36.4%	21.8%	5.9%
		85歳以上	(n=130)	1.5%	13.8%	13.8%	34.6%	29.2%	6.9%
	女性	65～74歳	(n=580)	1.7%	11.2%	21.2%	34.0%	27.6%	4.3%
		75～84歳	(n=605)	3.8%	14.4%	21.7%	27.6%	23.8%	8.8%
		85歳以上	(n=293)	2.0%	9.2%	13.3%	28.7%	33.4%	13.3%
家族構成	1人暮らし	(n=658)	2.9%	8.2%	18.5%	31.2%	30.5%	8.7%	
	夫婦2人暮らし	(n=959)	2.7%	12.2%	18.4%	36.5%	24.5%	5.7%	
	子のみ同居	(n=511)	1.2%	15.7%	18.4%	33.9%	25.6%	5.3%	
	その他	(n=392)	3.3%	14.8%	16.8%	30.4%	28.8%	5.9%	
主観的 健康感	とてもよい	(n=310)	4.5%	20.0%	21.3%	31.3%	19.4%	3.5%	
	まあよい	(n=1,508)	2.8%	12.4%	20.0%	34.9%	24.8%	5.1%	
	あまりよくない	(n=545)	1.3%	9.7%	13.9%	34.7%	35.0%	5.3%	
	よくない	(n=128)	2.3%	4.7%	11.7%	29.7%	43.0%	8.6%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点)	(n=43)	2.3%	2.3%	7.0%	30.2%	53.5%	4.7%	
	やや不幸(3・4点)	(n=131)	0.8%	5.3%	12.2%	34.4%	44.3%	3.1%	
	どちらでもない(5点)	(n=421)	1.7%	8.1%	13.3%	31.8%	37.3%	7.8%	
	やや幸福(6・7点)	(n=640)	2.5%	10.3%	20.9%	37.0%	26.1%	3.1%	
	幸福(8～10点)	(n=1,195)	3.4%	16.7%	20.6%	33.3%	21.7%	4.3%	

問47 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になったときに隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてほしいですか。(1)~(10)の項目のうち、-1については3つまでに、-1についてはあてはまるものにをつけてください。

- ・『手助けできること』は、「日ごろの安否確認」(34.5%)が最も多く、次いで「ちょっとした買い物」(20.3%)、「災害時の手助け」(15.9%)、「趣味など世間話の相手」(14.5%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(10.6%)と続いている。
- ・『過去に手助けしたこと』は、「日ごろの安否確認」(12.0%)が最も多く、次いで「趣味など世間話の相手」(10.5%)、「ちょっとした買い物」(8.2%)と続いている。
- ・『手助けしてほしいこと』では、「災害時の手助け」(23.6%)が最も多く、次いで「日ごろの安否確認」(20.6%)、「ちょっとした買い物」(14.7%)と続いている。



・「過去に手助けをしたこと」は、ほとんどの項目において男性よりも女性の割合が高くなっている。

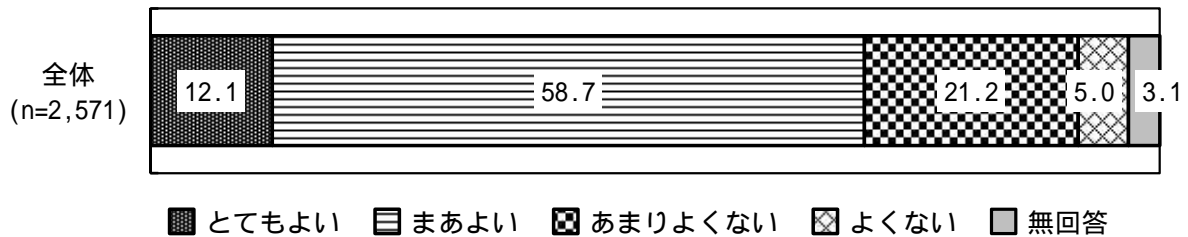
		手助けできること(3つまでに)											
		日ごろの安否確認	趣味など世間話の相手	介護などの相談相手	炊事、洗濯、掃除などの家事	ちょっとした買い物	介護が必要な家族などの預かり	外出の付添い	災害時の手助け	ごみ出しなどの家庭支援	電球交換などの簡単な作業	無回答	
全体 (n=2,571)		34.5%	14.5%	4.9%	2.8%	20.3%	0.6%	3.2%	15.9%	10.6%	8.8%	46.4%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	40.8%	15.0%	5.1%	3.0%	27.0%	0.6%	4.3%	21.8%	12.3%	12.0%	37.4%	
	要支援1・2 (n=637)	26.8%	14.1%	5.7%	1.4%	7.4%	0.6%	1.3%	5.0%	5.2%	2.4%	61.2%	
性別	男性 (n=1,015)	36.7%	13.3%	3.7%	1.4%	16.7%	0.5%	2.2%	25.2%	9.5%	19.0%	42.1%	
	女性 (n=1,484)	33.6%	15.3%	5.8%	4.0%	23.2%	0.7%	4.0%	10.0%	11.4%	1.7%	48.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	45.0%	11.9%	3.4%	2.6%	30.4%	0.6%	3.4%	30.6%	13.3%	14.9%	32.3%	
	70～74歳 (n=566)	39.6%	13.4%	4.8%	3.4%	24.2%	0.7%	4.9%	21.2%	12.7%	10.8%	40.5%	
	75～79歳 (n=573)	34.0%	16.2%	4.9%	4.9%	22.7%	0.7%	4.0%	10.8%	11.2%	8.9%	46.6%	
	80～84歳 (n=464)	28.2%	15.3%	5.4%	1.9%	12.5%	0.6%	1.5%	9.3%	7.8%	5.2%	54.5%	
	85～89歳 (n=336)	24.4%	17.0%	8.0%	1.2%	10.4%	0.0%	1.8%	6.5%	6.5%	3.0%	57.4%	
	90歳以上 (n=103)	20.4%	8.7%	0.0%	0.0%	5.8%	1.0%	1.0%	4.9%	7.8%	2.9%	70.9%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	41.9%	11.0%	2.1%	1.5%	20.6%	0.4%	2.1%	34.4%	9.4%	24.0%	35.6%
		75～84歳 (n=404)	32.7%	13.6%	4.0%	1.7%	13.9%	0.5%	2.5%	17.3%	8.9%	16.8%	49.0%
		85歳以上 (n=130)	30.0%	20.8%	9.2%	0.0%	11.5%	0.8%	1.5%	16.2%	11.5%	7.7%	43.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	42.6%	14.0%	5.9%	4.3%	32.8%	0.9%	6.0%	18.8%	16.0%	3.4%	37.1%
		75～84歳 (n=605)	30.9%	17.5%	6.1%	5.0%	21.3%	0.8%	3.3%	5.8%	10.6%	0.8%	49.8%
		85歳以上 (n=293)	21.5%	13.0%	4.8%	1.4%	8.5%	0.0%	1.7%	1.7%	4.1%	0.0%	67.6%
		問47 -1 過去に手助けしたこと(あてはまるものに○)											
全体 (n=2,571)		12.0%	10.5%	5.2%	2.6%	8.2%	1.1%	4.4%	1.9%	5.1%	4.5%	74.2%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	13.1%	10.5%	5.1%	2.5%	8.7%	1.1%	4.3%	2.0%	5.1%	5.6%	72.4%	
	要支援1・2 (n=637)	12.7%	13.3%	6.6%	2.5%	8.0%	1.3%	4.9%	1.4%	5.3%	2.8%	74.4%	
性別	男性 (n=1,015)	10.7%	7.2%	3.0%	1.2%	3.8%	0.5%	2.1%	2.5%	4.4%	8.0%	77.0%	
	女性 (n=1,484)	13.1%	12.7%	6.9%	3.7%	11.3%	1.5%	6.0%	1.5%	5.6%	2.0%	72.0%	
年齢	65～69歳 (n=504)	9.7%	7.3%	4.2%	1.8%	6.2%	0.4%	2.6%	2.2%	4.0%	3.2%	78.0%	
	70～74歳 (n=566)	12.2%	8.8%	4.6%	2.8%	9.0%	1.4%	4.9%	2.5%	4.6%	5.5%	72.8%	
	75～79歳 (n=573)	12.7%	12.6%	5.4%	3.7%	11.0%	1.7%	6.5%	1.9%	5.4%	5.6%	72.1%	
	80～84歳 (n=464)	13.1%	10.3%	5.8%	2.8%	7.8%	1.3%	4.1%	1.5%	6.3%	4.3%	71.6%	
	85～89歳 (n=336)	12.8%	13.1%	7.7%	2.4%	6.3%	0.6%	3.9%	1.2%	5.7%	3.9%	76.2%	
	90歳以上 (n=103)	9.7%	13.6%	1.9%	1.0%	6.8%	1.0%	1.9%	0.0%	3.9%	1.9%	81.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	9.4%	4.8%	2.5%	0.4%	3.1%	0.6%	2.1%	2.5%	3.5%	6.3%	79.6%
		75～84歳 (n=404)	12.9%	8.4%	3.2%	2.0%	4.5%	0.5%	2.5%	3.0%	5.4%	10.6%	74.5%
		85歳以上 (n=130)	9.2%	12.3%	3.8%	1.5%	4.6%	0.0%	0.8%	0.8%	4.6%	6.2%	75.4%
	女性	65～74歳 (n=580)	12.6%	11.0%	6.0%	4.0%	11.4%	1.2%	5.3%	2.2%	5.0%	2.8%	71.6%
		75～84歳 (n=605)	13.4%	13.7%	7.3%	4.1%	13.1%	2.1%	7.4%	1.0%	6.1%	1.3%	69.3%
		85歳以上 (n=293)	13.3%	13.7%	7.8%	2.4%	7.2%	1.0%	4.4%	1.0%	5.8%	2.0%	78.2%
		問47 手助けしてほしいこと(3つまでに○)											
全体 (n=2,571)		20.6%	4.7%	6.1%	5.6%	14.7%	0.8%	3.6%	23.6%	6.2%	8.3%	52.7%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	23.6%	4.7%	6.5%	5.0%	16.9%	1.1%	3.4%	27.0%	6.5%	7.3%	49.6%	
	要支援1・2 (n=637)	18.5%	4.4%	6.1%	7.2%	13.0%	0.6%	4.6%	22.3%	6.3%	11.6%	51.3%	
性別	男性 (n=1,015)	23.4%	4.9%	6.5%	6.1%	10.2%	1.0%	3.0%	26.5%	5.1%	6.5%	52.8%	
	女性 (n=1,484)	19.1%	4.7%	5.9%	5.5%	18.1%	0.6%	4.2%	22.1%	7.2%	9.9%	51.6%	
年齢	65～69歳 (n=504)	26.4%	4.6%	6.3%	5.4%	18.7%	1.2%	2.8%	32.3%	7.7%	8.1%	45.0%	
	70～74歳 (n=566)	23.0%	4.4%	5.3%	6.2%	16.3%	1.2%	3.5%	27.4%	7.8%	6.4%	50.7%	
	75～79歳 (n=573)	19.2%	5.4%	8.6%	7.3%	14.3%	0.7%	4.2%	21.6%	6.1%	10.1%	51.5%	
	80～84歳 (n=464)	17.5%	4.5%	4.3%	5.2%	11.6%	0.2%	3.9%	17.0%	4.5%	9.1%	59.5%	
	85～89歳 (n=336)	16.7%	5.1%	5.7%	3.3%	12.2%	0.9%	3.9%	19.6%	3.9%	9.5%	57.1%	
	90歳以上 (n=103)	17.5%	2.9%	5.8%	4.9%	10.7%	0.0%	3.9%	15.5%	5.8%	4.9%	60.2%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	26.5%	4.2%	6.3%	6.3%	10.6%	1.7%	2.9%	30.2%	6.3%	6.7%	49.6%
		75～84歳 (n=404)	21.0%	5.7%	6.4%	7.4%	9.9%	0.2%	2.7%	22.8%	4.2%	6.9%	56.7%
		85歳以上 (n=130)	20.0%	5.4%	7.7%	1.5%	10.0%	0.8%	3.8%	24.6%	3.8%	4.6%	52.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	23.3%	4.8%	5.3%	5.5%	22.9%	0.7%	3.4%	29.5%	9.1%	7.6%	46.4%
		75～84歳 (n=605)	17.0%	4.6%	6.8%	6.0%	15.9%	0.7%	5.1%	18.2%	6.4%	11.9%	52.7%
		85歳以上 (n=293)	15.4%	4.4%	5.1%	4.4%	12.3%	0.3%	3.8%	16.0%	4.8%	10.6%	59.7%
家族構成	1人暮らし (n=658)	23.1%	4.1%	3.8%	6.7%	17.6%	0.2%	3.8%	18.4%	9.3%	13.2%	50.3%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	22.2%	5.3%	7.2%	4.9%	15.1%	0.8%	2.6%	26.0%	5.8%	7.2%	52.8%	
	子のみ同居 (n=511)	19.2%	4.5%	7.4%	6.3%	12.3%	1.4%	3.7%	25.8%	4.9%	5.7%	53.4%	
	その他 (n=392)	15.8%	4.8%	5.6%	5.1%	12.0%	1.3%	5.4%	24.7%	3.8%	6.6%	54.6%	

(10) 健康づくりや介護予防などについて

問48 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに)

- ・「とてもよい」(12.1%)と「まあよい」(58.7%)を合わせた割合は70.8%となっている。
- ・一方、「あまりよくない」(21.2%)と「よくない」(5.0%)を合わせた割合は26.2%となっている。
- ・『非認定者(自立)』では、「とてもよい・まあよい」(83.1%)が、「あまりよくない・よくない」(14.4%)よりも高くなっているが、『要支援1・2』では、「あまりよくない・よくない」(52.4%)のほうが高くなっている。

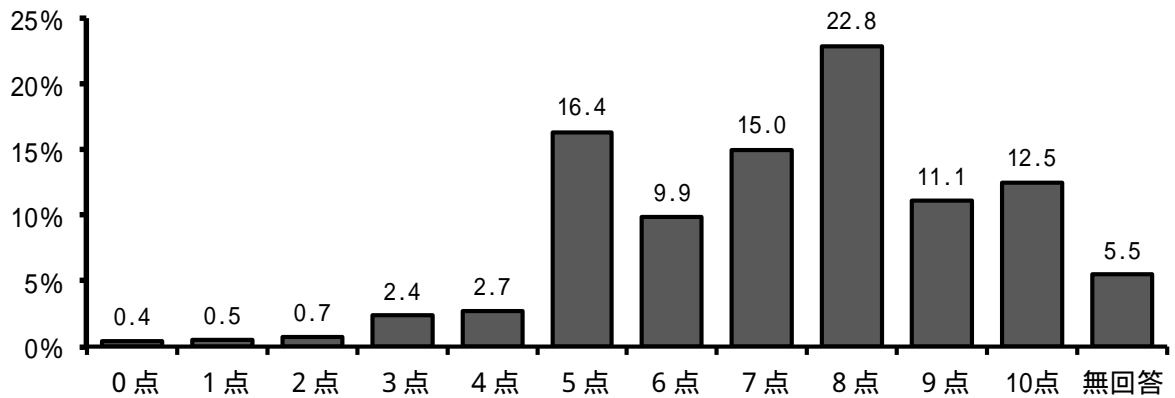
(%)



		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全 体 (n=2,571)		12.1%	58.7%	21.2%	5.0%	3.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	16.7%	67.4%	12.5%	1.9%	1.6%	
	要支援1・2 (n=637)	1.9%	41.1%	41.1%	11.3%	4.6%	
性別	男性 (n=1,015)	14.8%	56.4%	22.4%	4.3%	2.2%	
	女性 (n=1,484)	10.4%	60.6%	20.6%	5.1%	3.3%	
年齢	65～69歳 (n=504)	19.4%	67.3%	12.1%	0.8%	0.4%	
	70～74歳 (n=566)	17.0%	61.1%	17.1%	3.4%	1.4%	
	75～79歳 (n=573)	11.5%	59.0%	21.3%	5.2%	3.0%	
	80～84歳 (n=464)	7.8%	56.0%	23.7%	7.1%	5.4%	
	85～89歳 (n=336)	3.0%	49.4%	34.2%	9.2%	4.2%	
	90歳以上 (n=103)	1.0%	49.5%	33.0%	7.8%	8.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	19.8%	59.2%	19.0%	1.5%	0.6%
		75～84歳 (n=404)	12.9%	56.7%	21.8%	5.4%	3.2%
		85歳以上 (n=130)	2.3%	45.4%	36.9%	10.8%	4.6%
	女性	65～74歳 (n=580)	16.7%	68.1%	11.4%	2.6%	1.2%
		75～84歳 (n=605)	8.1%	58.5%	23.1%	6.0%	4.3%
		85歳以上 (n=293)	2.7%	51.5%	33.1%	7.5%	5.1%
経済的状況	苦しい (n=615)	6.0%	49.6%	32.0%	8.9%	3.4%	
	ふつう (n=1,628)	12.3%	62.1%	19.0%	3.5%	3.0%	
	ゆとりがある (n=282)	24.5%	60.6%	9.2%	3.9%	1.8%	
主観的幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	0.0%	18.6%	32.6%	44.2%	4.7%	
	やや不幸(3～4点) (n=131)	3.1%	41.2%	39.7%	16.0%	0.0%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	4.5%	50.1%	35.4%	8.8%	1.2%	
	やや幸福(6～7点) (n=640)	7.2%	62.3%	26.3%	2.3%	1.9%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	19.5%	65.9%	11.4%	2.3%	1.0%	
生きがい	生きがいあり (n=1,315)	16.2%	63.5%	15.3%	3.1%	1.9%	
	思いつかない (n=949)	7.4%	53.1%	29.5%	7.9%	2.1%	
喫煙の状況	ほぼ毎日吸っている (n=186)	17.2%	59.7%	20.4%	1.6%	1.1%	
	時々吸っている (n=38)	13.2%	47.4%	26.3%	10.5%	2.6%	
	吸っていたがやめた (n=756)	11.8%	58.5%	23.4%	5.0%	1.3%	
	もともと吸っていない (n=1,517)	11.9%	60.8%	20.3%	5.3%	1.6%	
介護予防に対する考え	意識して取り組んでいる (n=1,002)	12.8%	60.2%	20.1%	4.3%	2.7%	
	体力が落ちてきたら取り組みたい (n=188)	20.7%	64.4%	12.2%	2.7%	0.0%	
	もう少し歳をとってから取り組みたい (n=168)	19.0%	64.9%	13.1%	1.2%	1.8%	
	きっかけがあれば取り組みたい (n=305)	8.9%	68.9%	17.4%	3.0%	2.0%	
	興味はあるが、取り組み方が分からない (n=505)	8.1%	54.9%	30.7%	5.0%	1.4%	
興味・関心がない (n=126)	15.9%	51.6%	21.4%	9.5%	1.6%		

問49 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらいになると感じますか。最も近いものをお選びください。(1つに)

- ・「8点」(22.8%)が最も多く、次いで「5点」(16.4%)、「7点」(15.0%)、「10点」(12.5%)、「9点」(11.1%)と続いている。
- ・「8点以上」の割合は46.4%、一方、「2点以下」の割合は1.6%となっている。
- ・全体の平均点は7.13点で、『女性』(7.27点)よりも『男性』(6.97点)のほうが低く、また、『1人暮らし』(6.59点)で低くなっている。



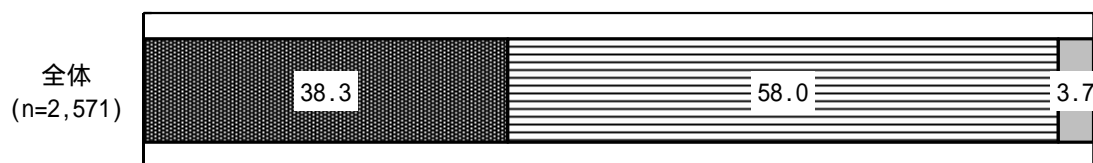
全体 (n=2,571)

		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点	
全体	(n=2,571)	0.4%	0.5%	0.7%	2.4%	2.7%	16.4%	9.9%	15.0%	22.8%	11.1%	12.5%	5.5%	7.13点	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	0.2%	0.4%	0.2%	1.7%	2.1%	12.6%	10.2%	17.2%	25.6%	13.3%	13.2%	3.2%	7.40点	
	要支援1・2 (n=637)	0.3%	0.8%	1.3%	3.5%	3.9%	23.1%	10.0%	12.6%	20.3%	7.8%	9.9%	6.6%	6.69点	
性別	男性 (n=1,015)	0.5%	0.5%	0.9%	3.3%	2.6%	17.0%	10.7%	16.3%	24.9%	10.3%	9.2%	3.8%	6.97点	
	女性 (n=1,484)	0.4%	0.5%	0.5%	1.8%	2.9%	15.8%	9.5%	14.4%	21.8%	11.9%	14.8%	5.8%	7.27点	
年齢	65～69歳 (n=504)	0.4%	0.6%	0.6%	3.0%	2.8%	13.3%	8.5%	17.9%	27.6%	11.5%	11.9%	2.0%	7.22点	
	70～74歳 (n=566)	0.7%	0.2%	0.5%	1.4%	2.7%	14.7%	10.4%	15.5%	25.1%	13.1%	11.7%	4.1%	7.25点	
	75～79歳 (n=573)	0.2%	0.7%	0.7%	1.9%	3.0%	16.9%	10.5%	15.2%	22.0%	9.8%	13.8%	5.4%	7.14点	
	80～84歳 (n=464)	0.4%	0.6%	0.6%	3.0%	2.4%	17.0%	11.0%	12.7%	20.3%	11.2%	12.9%	7.8%	7.08点	
	85～89歳 (n=336)	0.3%	0.3%	1.2%	3.0%	2.1%	22.0%	7.7%	12.8%	19.3%	10.4%	12.8%	8.0%	6.99点	
	90歳以上 (n=103)	0.0%	1.0%	0.0%	2.9%	4.9%	17.5%	12.6%	13.6%	16.5%	9.7%	11.7%	9.7%	6.90点	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	0.6%	0.4%	0.8%	2.9%	3.3%	15.4%	9.4%	17.9%	28.8%	9.6%	8.5%	2.3%	7.01点
		75～84歳 (n=404)	0.5%	0.2%	0.7%	3.7%	2.0%	17.1%	12.6%	15.1%	21.3%	10.4%	11.1%	5.2%	6.99点
		85歳以上 (n=130)	0.0%	1.5%	0.8%	3.1%	1.5%	23.1%	10.0%	13.8%	22.3%	13.1%	5.4%	5.4%	6.77点
	女性	65～74歳 (n=580)	0.5%	0.3%	0.2%	1.6%	2.2%	12.8%	9.8%	15.7%	24.3%	14.7%	14.5%	3.4%	7.44点
		75～84歳 (n=605)	0.2%	0.8%	0.7%	1.7%	3.1%	16.7%	9.6%	13.6%	21.7%	10.7%	15.0%	6.3%	7.21点
	85歳以上 (n=293)	0.3%	0.0%	1.0%	2.4%	3.4%	20.1%	8.2%	13.0%	17.4%	9.2%	15.4%	9.6%	7.07点	
家族構成	1人暮らし (n=658)	0.9%	1.1%	1.4%	4.4%	4.1%	21.1%	11.1%	13.2%	18.1%	9.3%	9.3%	6.1%	6.59点	
	夫婦2人暮らし (n=959)	0.4%	0.3%	0.5%	1.7%	2.3%	14.6%	8.2%	15.5%	26.2%	13.3%	12.8%	4.1%	7.34点	
	子のみ同居 (n=511)	0.2%	0.2%	0.2%	2.0%	2.3%	16.6%	10.6%	15.3%	22.9%	10.8%	12.5%	6.5%	7.21点	
	その他 (n=392)	0.0%	0.5%	0.5%	1.5%	1.8%	13.3%	11.7%	16.3%	23.2%	10.2%	15.8%	5.1%	7.38点	
経済的状況	苦しい (n=615)	1.3%	1.3%	2.0%	5.9%	6.8%	24.1%	11.9%	14.1%	13.8%	5.4%	6.8%	6.7%	6.08点	
	ふつう (n=1,628)	0.2%	0.3%	0.3%	1.4%	1.5%	15.3%	10.1%	15.5%	25.6%	11.5%	13.3%	5.1%	7.35点	
	ゆとりがある (n=282)	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	5.7%	5.0%	14.9%	29.4%	22.0%	20.2%	2.1%	8.18点	
主観的健康感	とてもよい (n=310)	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.3%	6.1%	3.5%	11.3%	26.5%	16.8%	31.9%	2.6%	8.39点	
	まあよい (n=1,508)	0.1%	0.3%	0.2%	1.6%	2.0%	14.0%	9.5%	16.9%	27.1%	12.7%	12.4%	3.2%	7.38点	
	あまりよくない (n=545)	0.7%	0.4%	1.5%	4.0%	5.5%	27.3%	15.6%	15.2%	14.3%	6.2%	4.4%	4.8%	6.18点	
	よくない (n=128)	4.7%	5.5%	4.7%	9.4%	7.0%	28.9%	5.5%	6.3%	9.4%	4.7%	7.0%	7.0%	5.16点	

問50 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに)

- ・「はい」が38.3%、「いいえ」が58.0%となっている。
- ・「はい」の割合は、『男性』(33.7%)よりも『女性』(41.3%)のほうが高くなっている。

(%)



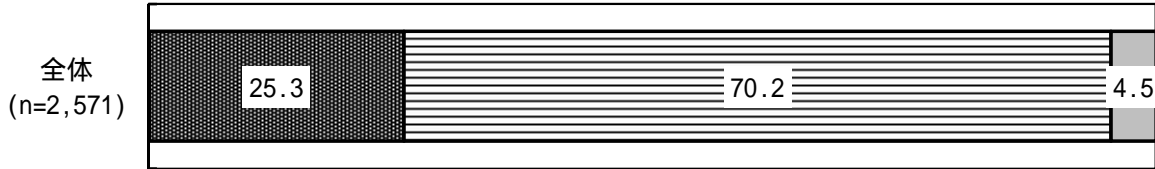
■ はい □ いいえ □ 無回答

		はい	いいえ	無回答	
全 体	(n=2,571)	38.3%	58.0%	3.7%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	33.3%	64.6%	2.0%	
	要支援1・2 (n=637)	49.0%	45.5%	5.5%	
性別	男性 (n=1,015)	33.7%	64.3%	2.0%	
	女性 (n=1,484)	41.3%	54.3%	4.4%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	36.7%	62.3%	1.0%	
	70～74歳 (n=566)	35.9%	61.5%	2.7%	
	75～79歳 (n=573)	36.0%	61.4%	2.6%	
	80～84歳 (n=464)	37.9%	55.6%	6.5%	
	85～89歳 (n=336)	46.7%	47.9%	5.4%	
	90歳以上 (n=103)	42.7%	49.5%	7.8%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	31.9%	67.1%	1.0%
		75～84歳 (n=404)	32.4%	64.9%	2.7%
		85歳以上 (n=130)	43.8%	53.1%	3.1%
	女性	65～74歳 (n=580)	40.0%	57.4%	2.6%
		75～84歳 (n=605)	39.5%	55.7%	4.8%
		85歳以上 (n=293)	46.8%	46.1%	7.2%
家族構成	1人暮らし (n=658)	43.0%	52.3%	4.7%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	35.2%	62.3%	2.5%	
	子のみと同居 (n=511)	37.8%	57.7%	4.5%	
	その他 (n=392)	38.5%	59.4%	2.0%	
1人 暮らし × 年 齢	65～74歳 (n=190)	38.4%	59.5%	2.1%	
	75～84歳 (n=285)	40.4%	54.4%	5.3%	
	85歳以上 (n=176)	51.7%	43.2%	5.1%	
経済的 状況	苦しい (n=615)	52.0%	43.6%	4.4%	
	ふつう (n=1,628)	34.3%	62.1%	3.6%	
	ゆとりがある (n=282)	30.1%	68.8%	1.1%	
住まい	持ち家 (n=1,978)	37.0%	59.7%	3.3%	
	賃貸 (n=488)	41.4%	54.7%	3.9%	
	高齢者向け住宅 (n=17)	41.2%	52.9%	5.9%	
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	16.1%	83.2%	0.6%	
	まあよい (n=1,508)	31.9%	66.0%	2.1%	
	あまりよくない (n=545)	61.8%	36.0%	2.2%	
	よくない (n=128)	79.7%	18.8%	1.6%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点) (n=43)	90.7%	4.7%	4.7%	
	やや不幸(3・4点) (n=131)	74.0%	24.4%	1.5%	
	どちらでもない(5点) (n=421)	51.3%	46.8%	1.9%	
	やや幸福(6・7点) (n=640)	44.8%	53.4%	1.7%	
	幸福(8～10点) (n=1,195)	25.7%	73.1%	1.3%	

問51 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに)

- ・「はい」が25.3%、「いいえ」が70.2%となっている。
- ・「はい」は、『65～69歳』(20.8%)、『85～89歳』(33.9%)と、90歳未満では年齢が高いほど割合が高くなっている。なお、男女差はわずかである。

(%)

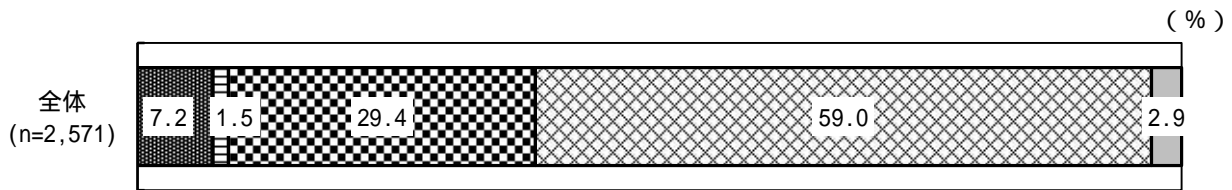


■ はい □ いいえ □ 無回答

		はい	いいえ	無回答	
全 体	(n=2,571)	25.3%	70.2%	4.5%	
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612) 19.2%	78.6%	2.2%	
	要支援1・2	(n=637) 36.3%	56.5%	7.2%	
性別	男性	(n=1,015) 24.1%	72.9%	3.0%	
	女性	(n=1,484) 25.9%	69.1%	4.9%	
年 齢	65～69歳	(n=504) 20.8%	77.0%	2.2%	
	70～74歳	(n=566) 23.0%	74.6%	2.5%	
	75～79歳	(n=573) 23.0%	74.2%	2.8%	
	80～84歳	(n=464) 28.0%	64.4%	7.5%	
	85～89歳	(n=336) 33.9%	58.0%	8.0%	
	90歳以上	(n=103) 32.0%	59.2%	8.7%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳	(n=480) 22.7%	75.6%	1.7%
		75～84歳	(n=404) 22.8%	73.3%	4.0%
		85歳以上	(n=130) 33.1%	62.3%	4.6%
	女性	65～74歳	(n=580) 21.0%	76.0%	2.9%
		75～84歳	(n=605) 26.4%	68.8%	4.8%
		85歳以上	(n=293) 34.1%	56.7%	9.2%
家族構成	1人暮らし	(n=658) 31.3%	62.6%	6.1%	
	夫婦2人暮らし	(n=959) 23.7%	73.4%	2.9%	
	子のみ同居	(n=511) 22.1%	73.8%	4.1%	
	その他	(n=392) 23.0%	73.0%	4.1%	
1人 暮らし × 年 齢	65～74歳	(n=190) 26.8%	70.0%	3.2%	
	75～84歳	(n=285) 29.5%	64.9%	5.6%	
	85歳以上	(n=176) 38.6%	52.3%	9.1%	
経済的 状況	苦しい	(n=615) 39.2%	55.9%	4.9%	
	ふつう	(n=1,628) 21.3%	74.6%	4.1%	
	ゆとりがある	(n=282) 17.0%	80.9%	2.1%	
主観的 健康感	とてもよい	(n=310) 6.1%	92.6%	1.3%	
	まあよい	(n=1,508) 18.0%	79.4%	2.5%	
	あまりよくない	(n=545) 47.2%	48.8%	4.0%	
	よくない	(n=128) 72.7%	25.0%	2.3%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点)	(n=43) 88.4%	4.7%	7.0%	
	やや不幸(3・4点)	(n=131) 65.6%	31.3%	3.1%	
	どちらでもない(5点)	(n=421) 41.1%	55.1%	3.8%	
	やや幸福(6・7点)	(n=640) 27.0%	70.8%	2.2%	
	幸福(8～10点)	(n=1,195) 12.9%	85.6%	1.5%	

問52 タバコは吸っていますか。(1つに)

- ・「もともと吸っていない」(59.0%)が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(29.4%)となっている。
- ・「ほぼ毎日吸っている」(7.2%)と「時々吸っている」(1.5%)を合わせた割合は8.7%となっている。
- ・「ほぼ毎日吸っている」割合は、『男性』では12.7%、『男性・65～74歳』では19.0%となっている。
- ・「もともと吸っていない」割合は、『65～69歳』(51.8%)、『90歳以上』(72.8%)と、年齢が高くなるほど高くなっている。



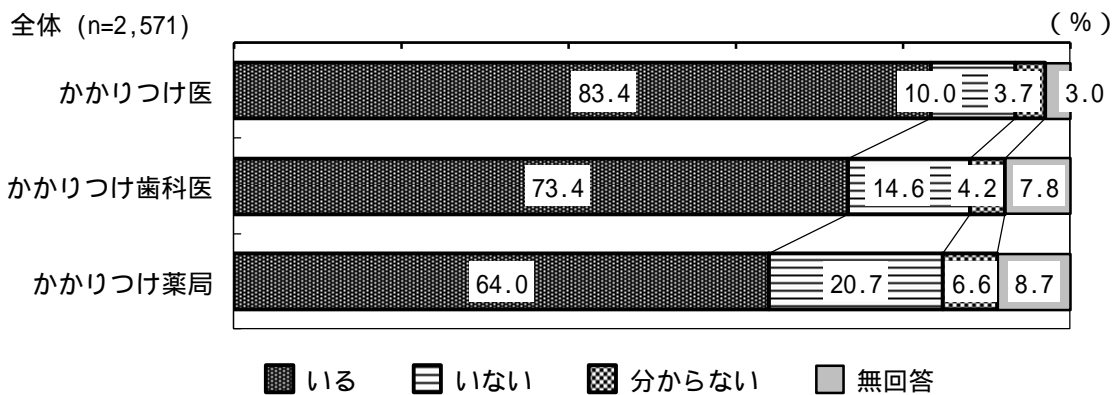
■ ほぼ毎日吸っている □ 時々吸っている ▣ 吸っていたがやめた ▤ もともと吸っていない □ 無回答

		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答		
全体	(n=2,571)	7.2%	1.5%	29.4%	59.0%	2.9%		
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	9.3%	1.4%	31.1%	56.6%	1.6%	
	要支援1・2	(n=637)	2.2%	1.3%	25.3%	67.5%	3.8%	
性別	男性	(n=1,015)	12.7%	2.2%	56.9%	26.6%	1.6%	
	女性	(n=1,484)	3.6%	1.1%	10.6%	81.1%	3.6%	
年齢	65～69歳	(n=504)	13.7%	2.4%	31.7%	51.8%	0.4%	
	70～74歳	(n=566)	10.1%	1.8%	31.8%	54.4%	1.9%	
	75～79歳	(n=573)	7.0%	1.2%	30.9%	58.8%	2.1%	
	80～84歳	(n=464)	3.2%	0.9%	27.4%	63.4%	5.2%	
	85～89歳	(n=336)	1.2%	0.9%	26.2%	67.3%	4.5%	
	90歳以上	(n=103)	0.0%	1.9%	18.4%	72.8%	6.8%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=480)	19.0%	2.7%	55.2%	22.3%	0.8%
		75～84歳	(n=404)	9.2%	1.7%	57.4%	29.5%	2.2%
		85歳以上	(n=130)	0.8%	1.5%	61.5%	33.8%	2.3%
	女性	65～74歳	(n=580)	5.9%	1.6%	12.2%	78.8%	1.6%
		75～84歳	(n=605)	2.8%	0.7%	10.6%	81.7%	4.3%
		85歳以上	(n=293)	1.0%	1.0%	7.5%	84.3%	6.1%
家族構成	1人暮らし	(n=658)	8.2%	2.7%	22.2%	63.1%	3.8%	
	夫婦2人暮らし	(n=959)	7.0%	1.3%	35.5%	54.4%	1.9%	
	子のみと同居	(n=511)	6.5%	0.2%	27.0%	63.0%	3.3%	
	その他	(n=392)	7.7%	1.5%	31.1%	57.4%	2.3%	
主観的 健康感	とてもよい	(n=310)	10.3%	1.6%	28.7%	58.4%	1.0%	
	まあよい	(n=1,508)	7.4%	1.2%	29.3%	61.2%	0.9%	
	あまりよくない	(n=545)	7.0%	1.8%	32.5%	56.5%	2.2%	
	よくない	(n=128)	2.3%	3.1%	29.7%	62.5%	2.3%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点)	(n=43)	14.0%	9.3%	37.2%	39.5%	0.0%	
	やや不幸(3・4点)	(n=131)	6.9%	1.5%	33.6%	55.0%	3.1%	
	どちらでもない(5点)	(n=421)	7.1%	2.9%	31.4%	57.0%	1.7%	
	やや幸福(6・7点)	(n=640)	10.0%	1.1%	32.2%	55.9%	0.8%	
	幸福(8～10点)	(n=1,195)	5.9%	1.0%	28.0%	64.1%	0.9%	

問53 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

(それぞれ1つに)

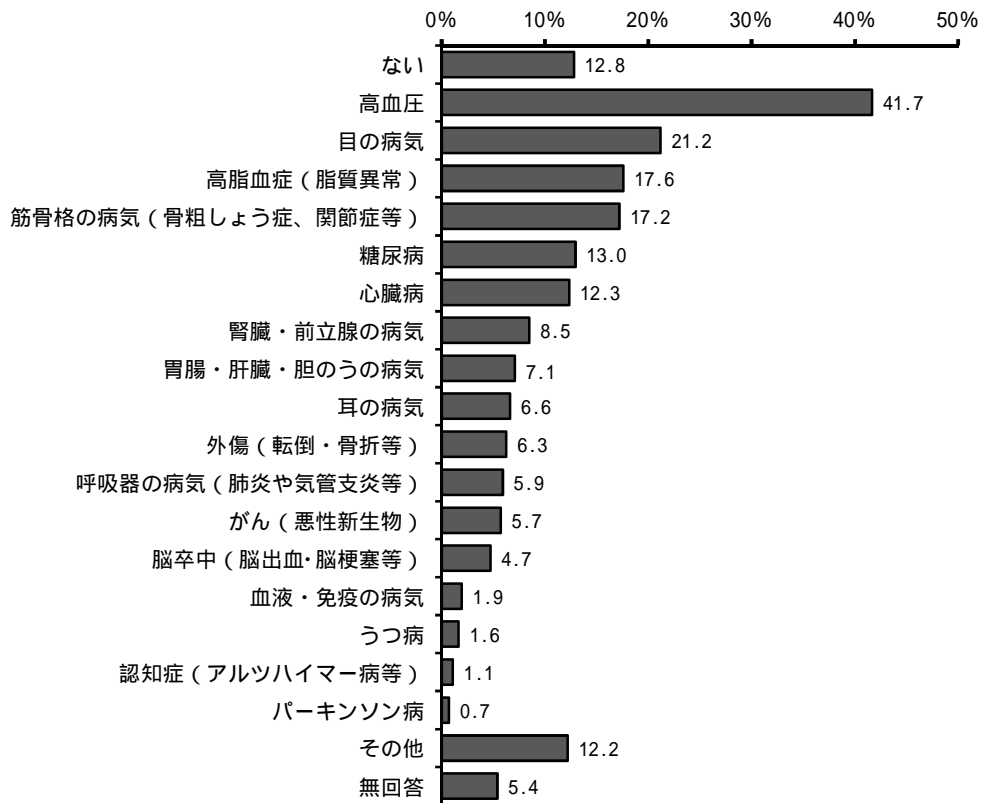
- ・「いる」割合は、『かかりつけ医』(83.4%)が最も多く、次いで『かかりつけ歯科医』(73.4%)、『かかりつけ薬局』(64.0%)となっている。
- ・『かかりつけ医』がいる割合は、男女の差はわずかがだが《『男性』(81.5%)、『女性』(84.6%)》、『かかりつけ歯科医』《『男性』(68.7%)、『女性』(77.2%)》、『かかりつけ薬局』《『男性』(57.6%)、『女性』(68.7%)》がいる割合は、女性のほうが10ポイント程度高くなっている。
- ・歯と入れ歯の状況と『かかりつけ歯科医』が「いる」割合との関係を見ると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(83.5%)で高く、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(56.9%)で低くなっている。



	かかりつけ医				かかりつけ歯科医				かかりつけ薬局					
	いる	いない	分からない	無回答	いる	いない	分からない	無回答	いる	いない	分からない	無回答		
全 体 (n=2,571)	83.4%	10.0%	3.7%	3.0%	73.4%	14.6%	4.2%	7.8%	64.0%	20.7%	6.6%	8.7%		
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	80.8%	13.2%	4.1%	1.9%	76.3%	15.5%	4.2%	4.0%	60.0%	26.4%	7.7%	5.8%	
	要支援1・2 (n=637)	88.7%	4.4%	3.1%	3.8%	68.8%	14.4%	4.1%	12.7%	72.5%	11.3%	4.6%	11.6%	
性別	男性 (n=1,015)	81.5%	12.9%	3.6%	2.0%	68.7%	21.1%	4.0%	6.2%	57.6%	27.6%	8.1%	6.7%	
	女性 (n=1,484)	84.6%	8.4%	3.4%	3.6%	77.2%	10.4%	4.2%	8.1%	68.7%	16.5%	5.5%	9.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	72.4%	21.6%	4.8%	1.2%	71.6%	22.0%	4.4%	2.0%	50.0%	39.5%	7.5%	3.0%	
	70～74歳 (n=566)	79.2%	14.0%	4.9%	1.9%	73.7%	17.0%	5.8%	3.5%	61.1%	24.9%	9.2%	4.8%	
	75～79歳 (n=573)	87.4%	6.6%	3.0%	3.0%	77.8%	11.0%	4.0%	7.2%	70.2%	16.4%	5.4%	8.0%	
	80～84歳 (n=464)	90.1%	3.4%	2.4%	4.1%	73.5%	11.4%	2.6%	12.5%	69.6%	11.4%	4.5%	14.4%	
	85～89歳 (n=336)	89.3%	3.6%	2.7%	4.5%	73.2%	8.3%	3.0%	15.5%	70.8%	8.9%	5.4%	14.9%	
	90歳以上 (n=103)	87.4%	3.9%	2.9%	5.8%	59.2%	21.4%	5.8%	13.6%	66.0%	11.7%	6.8%	15.5%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	74.8%	19.6%	4.4%	1.3%	66.3%	26.9%	4.2%	2.7%	49.2%	39.0%	9.2%	2.7%
		75～84歳 (n=404)	86.6%	7.7%	3.2%	2.5%	72.5%	16.3%	3.7%	7.4%	63.6%	20.0%	6.9%	9.4%
		85歳以上 (n=130)	90.8%	4.6%	1.5%	3.1%	66.2%	14.6%	3.8%	15.4%	70.8%	9.2%	6.9%	13.1%
	女性	65～74歳 (n=580)	77.2%	16.0%	5.0%	1.7%	78.4%	13.3%	5.7%	2.6%	61.6%	26.2%	7.8%	4.5%
		75～84歳 (n=605)	89.8%	3.6%	2.3%	4.3%	78.8%	7.9%	3.1%	10.1%	74.7%	10.6%	3.8%	10.9%
	85歳以上 (n=293)	88.4%	3.4%	2.7%	5.5%	71.3%	10.2%	3.8%	14.7%	70.0%	9.9%	4.4%	15.7%	
主観的健康感	とてもよい (n=310)	79.0%	17.1%	2.3%	1.6%	81.6%	12.9%	2.6%	2.9%	56.5%	31.0%	5.5%	7.1%	
	まあよい (n=1,508)	84.1%	10.3%	4.2%	1.3%	75.9%	14.3%	4.2%	5.5%	63.8%	22.0%	7.7%	6.5%	
	あまりよくない (n=545)	89.9%	6.2%	2.9%	0.9%	70.5%	16.0%	4.6%	9.0%	71.9%	15.4%	5.3%	7.3%	
	よくない (n=128)	80.5%	11.7%	3.9%	3.9%	60.9%	22.7%	7.8%	8.6%	68.8%	15.6%	3.9%	11.7%	
治療中の病気等	ない (n=329)	59.6%	31.6%	6.1%	2.7%	72.6%	19.1%	3.6%	4.6%	38.9%	42.9%	9.1%	9.1%	
	ある (n=2,102)	88.2%	6.4%	3.1%	2.2%	74.5%	13.7%	4.3%	7.6%	69.3%	16.9%	6.2%	7.6%	
歯と入れ歯の状況	20本以上、入れ歯を利用 (n=411)	84.4%	8.5%	4.1%	2.9%	83.5%	8.0%	4.4%	4.1%	66.9%	19.0%	7.1%	7.1%	
	20本以上、入れ歯なし (n=863)	80.6%	13.4%	3.8%	2.1%	75.3%	15.8%	4.3%	4.6%	59.4%	27.2%	7.4%	5.9%	
	19本以下、入れ歯を利用 (n=907)	85.4%	8.0%	3.9%	2.6%	75.0%	13.1%	3.4%	8.5%	68.9%	16.4%	5.6%	9.0%	
	19本以下、入れ歯なし (n=246)	84.6%	11.4%	2.0%	2.0%	56.9%	27.6%	6.5%	8.9%	61.8%	23.2%	7.3%	7.7%	

問54 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- ・「高血圧」(41.7%)が最も多く、次いで「目の病気」(21.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(17.6%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(17.2%)、「糖尿病」(13.0%)、「心臓病」(12.3%)と続いている。
- ・一方、「ない」は12.8%となっている。
- ・年齢が高くなるほど各疾病の割合が高くなる傾向にあり、特に「高血圧」は85歳以上では50%以上《『85～89歳』(53.6%)、『90歳以上』(51.5%)》となっている。

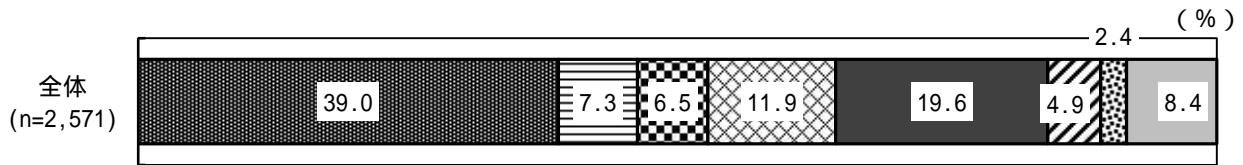


全体 (n=2,571)

		ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答		
全体	(n=2,571)	12.8	41.7	4.7	12.3	13.0	17.6	5.9	7.1	8.5	17.2	6.3	5.7	1.9	1.6	1.1	0.7	21.2	6.6	12.2	5.4		
要支援認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	17.4	38.8	2.9	9.6	11.5	4.8	4.9	7.2	11.0	3.3	5.1	1.4	1.2	0.5	0.2	19.0	4.7	11.6	4.8		
	要支援1・2	(n=637)	3.0	50.2	9.3	19.0	15.7	18.8	9.4	11.5	12.1	33.8	13.7	8.8	3.6	2.7	2.4	2.2	28.6	10.2	14.8	3.5	
性別	男性	(n=1,015)	14.4	41.3	7.0	14.0	16.6	6.1	6.5	17.7	6.0	3.4	6.8	2.0	1.4	1.6	0.8	20.2	6.5	12.2	4.4		
	女性	(n=1,484)	12.1	41.9	3.1	11.2	10.4	20.1	5.9	7.1	2.1	25.1	8.2	4.9	1.9	1.8	0.8	0.6	21.8	6.4	12.3	6.0	
年齢	65～69歳	(n=504)	23.2	32.7	2.6	6.9	8.9	16.3	5.4	4.4	5.4	9.1	3.2	4.2	1.0	1.2	0.0	0.4	13.7	2.4	12.5	5.8	
	70～74歳	(n=566)	15.4	40.1	5.1	7.6	14.1	19.3	5.5	6.2	6.4	12.7	4.1	6.4	1.8	1.6	0.2	0.2	20.1	3.5	11.1	5.3	
	75～79歳	(n=573)	11.7	41.9	4.7	13.1	14.0	18.5	5.8	6.8	9.6	19.2	7.5	6.6	1.9	2.4	1.6	1.0	23.0	6.5	10.8	5.9	
	80～84歳	(n=464)	6.7	42.2	6.5	15.7	15.1	19.0	5.0	8.0	12.5	22.2	8.2	4.7	1.9	1.9	2.8	0.6	23.9	9.1	12.7	5.6	
	85～89歳	(n=336)	5.4	53.6	5.7	20.8	12.8	15.2	8.6	10.7	8.9	23.8	9.2	5.7	3.3	0.9	1.2	1.5	28.9	12.8	13.1	3.6	
	90歳以上	(n=103)	5.8	51.5	1.9	19.4	8.7	10.7	7.8	8.7	11.7	27.2	8.7	7.8	2.9	0.0	1.0	0.0	19.4	12.6	19.4	7.8	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=480)	18.3	40.4	5.4	9.4	16.3	15.4	6.0	5.4	11.7	5.0	2.1	5.8	1.3	0.0	0.0	15.6	4.0	12.3	4.8	
	75～84歳	(n=404)	12.1	39.9	7.7	16.8	17.3	14.6	5.2	6.9	22.5	5.9	3.7	6.7	2.2	1.7	3.5	1.2	22.3	7.2	11.4	5.2	
	85歳以上	(n=130)	6.2	49.2	10.8	22.3	15.4	9.2	9.2	25.4	10.0	7.7	10.8	3.8	0.8	1.5	2.3	30.8	13.8	14.6	0.8		
	女性	65～74歳	(n=580)	19.8	33.1	2.2	5.5	7.9	19.8	5.0	5.3	1.2	16.2	4.8	5.0	1.4	1.4	0.2	0.5	18.3	2.2	11.2	6.2
	75～84歳	(n=605)	7.8	44.0	4.1	12.2	12.4	21.8	5.5	7.1	3.0	30.2	10.4	5.5	1.8	2.6	1.3	0.7	24.0	7.6	12.2	6.0	
	85歳以上	(n=293)	5.5	55.3	2.4	20.1	10.2	16.7	8.5	10.2	2.0	32.1	10.2	3.4	3.1	0.7	1.0	0.7	24.2	12.3	15.0	5.8	
主観的健康感	とてもよい	(n=310)	36.1	27.7	1.3	2.6	6.5	11.6	1.3	1.6	3.9	3.5	2.3	2.6	0.3	0.6	0.0	0.0	9.7	1.9	7.1	7.7	
	まあよい	(n=1,508)	13.5	41.3	3.6	9.9	12.7	18.6	4.8	5.8	6.9	14.7	5.2	4.5	1.3	1.1	0.7	0.4	19.8	5.4	10.8	4.6	
	あまりよくない	(n=545)	1.5	49.4	8.3	23.3	16.1	18.2	10.5	12.3	13.4	29.4	9.9	9.9	4.0	3.1	1.7	1.3	29.0	12.1	18.0	3.3	
	よくない	(n=128)	1.6	47.7	12.5	21.1	14.1	20.3	12.5	14.8	17.2	32.8	15.6	8.6	5.5	4.7	3.1	3.9	35.2	9.4	18.8	5.5	

問55 あなたの介護予防に対するお考えをお答えください。(1つに)

- ・「意識して取り組んでいる」(39.0%)が最も多く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない」(19.6%)、「きっかけがあれば取り組みたい」(11.9%)、「体力が落ちてきたら取り組みたい」(7.3%)、「もう少し歳をとってから取り組みたい」(6.5%)と続いている。
- ・「意識的に取り組んでいる」は、『男性』(33.3%)よりも『女性』(42.9%)の方が高い。また、『65～69歳』では34.3%、『85～89歳』では47.0%と、90歳未満では年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。

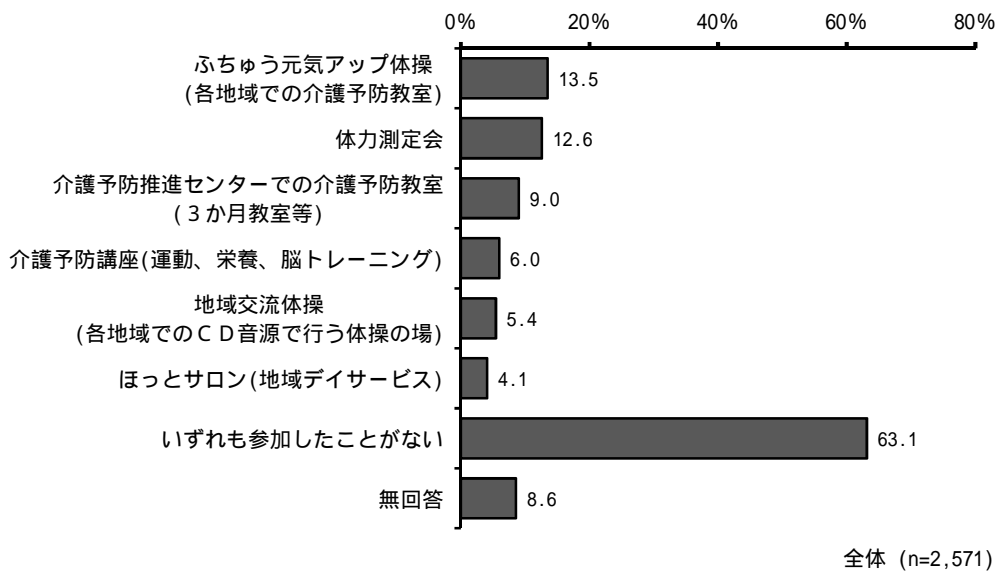


- 意識して取り組んでいる
- 体力が落ちてきたら取り組みたい
- もう少し歳をとってから取り組みたい
- きっかけがあれば取り組みたい
- 興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない
- 興味・関心がない
- その他
- 無回答

		意識して取り組んでいる	体力が落ちてきたら取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない	興味・関心がない	その他	無回答	
全 体	(n=2,571)	39.0%	7.3%	6.5%	11.9%	19.6%	4.9%	2.4%	8.4%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	39.3%	8.9%	8.3%	13.6%	18.2%	4.8%	1.9%	5.0%	
	要支援1・2 (n=637)	46.3%	3.5%	1.7%	8.3%	21.4%	4.2%	4.1%	10.5%	
性別	男性 (n=1,015)	33.3%	8.7%	8.8%	12.0%	22.0%	7.2%	2.5%	5.6%	
	女性 (n=1,484)	42.9%	6.5%	5.2%	11.9%	18.1%	3.4%	2.4%	9.6%	
年齢	65～69歳 (n=504)	34.3%	8.3%	13.9%	14.1%	18.8%	5.0%	2.2%	3.4%	
	70～74歳 (n=566)	38.3%	8.3%	8.5%	14.7%	18.2%	5.3%	1.1%	5.7%	
	75～79歳 (n=573)	37.2%	8.2%	4.9%	13.3%	21.1%	4.4%	2.4%	8.6%	
	80～84歳 (n=464)	40.5%	6.9%	3.4%	8.8%	20.5%	4.1%	3.0%	12.7%	
	85～89歳 (n=336)	47.0%	5.1%	1.8%	7.4%	18.2%	5.1%	3.6%	11.9%	
	90歳以上 (n=103)	39.8%	2.9%	0.0%	5.8%	23.3%	8.7%	4.9%	14.6%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	28.8%	8.8%	13.8%	13.8%	21.5%	8.5%	1.7%	3.3%
		75～84歳 (n=404)	35.4%	9.9%	5.4%	12.4%	20.3%	6.4%	3.5%	6.7%
		85歳以上 (n=130)	43.8%	4.6%	0.8%	4.6%	28.5%	4.6%	2.3%	10.8%
	女性	65～74歳 (n=580)	43.1%	7.9%	9.0%	15.2%	15.7%	2.4%	1.4%	5.3%
		75～84歳 (n=605)	41.0%	6.3%	3.3%	10.6%	21.2%	2.8%	2.3%	12.6%
		85歳以上 (n=293)	46.4%	4.4%	1.7%	7.5%	16.4%	6.5%	4.8%	12.3%
主観的健康感	とてもよい (n=310)	41.3%	12.6%	10.3%	8.7%	13.2%	6.5%	2.3%	5.2%	
	まあよい (n=1,508)	40.0%	8.0%	7.2%	13.9%	18.4%	4.3%	1.7%	6.4%	
	あまりよくない (n=545)	36.9%	4.2%	4.0%	9.7%	28.4%	5.0%	3.7%	8.1%	
	よくない (n=128)	33.6%	3.9%	1.6%	7.0%	19.5%	9.4%	6.3%	18.8%	
治療中の病気等	ない (n=329)	32.5%	11.9%	13.1%	13.7%	17.6%	7.0%	0.6%	3.6%	
	ある (n=2,102)	41.2%	6.8%	5.6%	11.8%	20.6%	4.8%	2.9%	6.6%	
収入のある仕事	している (n=583)	31.9%	9.4%	12.3%	14.6%	19.6%	5.1%	1.9%	5.1%	
	仕事をしたい (n=171)	37.4%	5.3%	7.6%	15.2%	21.6%	2.9%	1.2%	8.8%	
	していない (n=1,240)	41.4%	7.5%	5.2%	11.1%	19.4%	5.9%	2.5%	7.1%	
生きがい	生きがいあり (n=1,315)	48.1%	8.6%	6.6%	11.6%	13.8%	3.6%	2.4%	5.2%	
	思いつかない (n=949)	28.5%	6.3%	6.5%	12.8%	28.6%	7.4%	2.7%	7.3%	

問56 府中市では、いつまでも元気で暮らせるための介護予防事業を行っています。次の事業に「参加したことがある」、又は「参加している」ものはありますか。(いくつでも)

- ・「ふちゅう元気アップ体操(各地域での介護予防教室)」(13.5%)が最も多く、次いで「体力測定会」(12.6%)、「介護予防推進センターでの介護予防教室(3か月教室等)」(9.0%)、「介護予防講座(運動、栄養、脳トレーニング)」(6.0%)、「地域交流体操(各地域でのCD音源で行う体操の場)」(5.4%)と続いている。
- ・一方、「いずれも参加したことがない」は63.1%となっている。
- ・各教室ともに、男性よりも女性の参加率が高くなっており、なかでも「ふちゅう元気アップ体操(各地域での介護予防教室)」は、『男性』(6.6%)よりも『女性』(18.1%)が10ポイント以上高い。

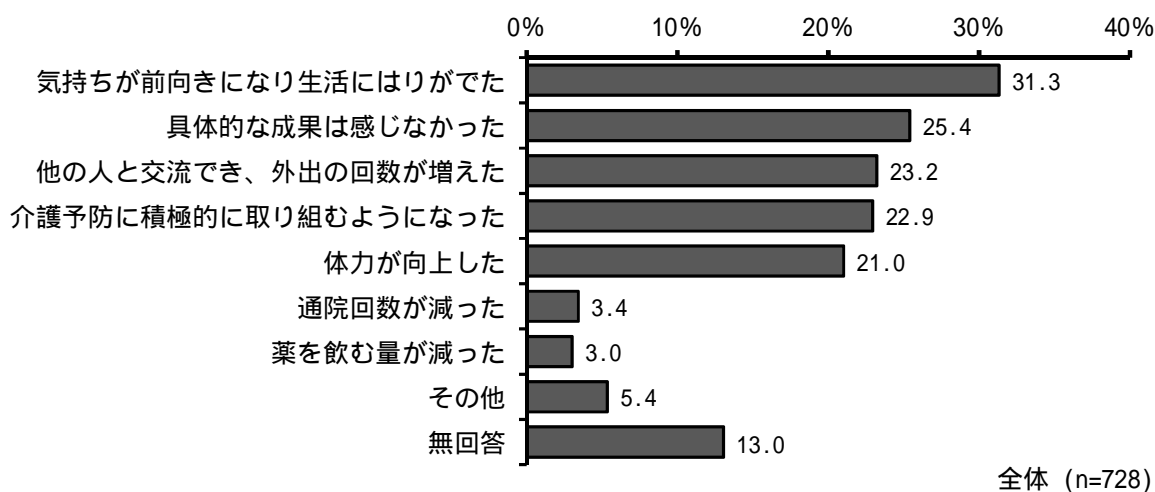


		ふちゅう元気アップ体操(各地域での介護予防教室)	地域交流体操(各地域でのCD音源で行う体操の場)	介護予防推進センターでの介護予防教室(3か月教室等)	介護予防講座(運動、栄養、脳トレーニング)	体力測定会	ほっとサロン(地域デイサービス)	いずれも参加したことがない	無回答		
全 体		(n=2,571)	13.5%	5.4%	9.0%	6.0%	12.6%	4.1%	63.1%	8.6%	
要支援認定	非認定者(自立)	(n=1,612)	12.2%	5.0%	8.9%	6.1%	13.1%	1.6%	67.4%	5.8%	
	要支援1・2	(n=637)	17.7%	6.8%	10.7%	7.4%	12.4%	11.0%	54.0%	10.4%	
性別	男性	(n=1,015)	6.6%	2.0%	5.5%	3.3%	9.2%	1.4%	73.0%	8.3%	
	女性	(n=1,484)	18.1%	7.7%	11.5%	8.0%	15.0%	5.8%	57.1%	8.1%	
年齢	65~69歳	(n=504)	5.4%	2.4%	6.5%	2.8%	9.1%	0.4%	75.8%	6.2%	
	70~74歳	(n=566)	11.1%	4.8%	5.8%	3.2%	7.8%	1.4%	74.0%	6.4%	
	75~79歳	(n=573)	15.2%	6.6%	11.3%	8.7%	14.0%	2.6%	59.3%	9.2%	
	80~84歳	(n=464)	18.3%	6.0%	11.9%	8.6%	17.9%	6.5%	51.1%	11.2%	
	85~89歳	(n=336)	20.5%	8.3%	11.9%	8.0%	17.3%	10.4%	50.6%	10.1%	
	90歳以上	(n=103)	12.6%	2.9%	4.9%	3.9%	9.7%	11.7%	59.2%	9.7%	
性別×年齢	男性	65~74歳	(n=480)	3.8%	0.8%	2.9%	1.3%	6.3%	0.2%	81.7%	6.9%
		75~84歳	(n=404)	7.7%	2.7%	7.7%	4.7%	10.4%	2.2%	66.8%	9.9%
		85歳以上	(n=130)	13.8%	3.8%	8.5%	6.2%	16.2%	3.1%	60.0%	8.5%
	女性	65~74歳	(n=580)	12.4%	6.0%	8.8%	4.5%	10.2%	1.6%	69.1%	5.7%
		75~84歳	(n=605)	22.6%	9.1%	14.2%	11.7%	19.7%	5.8%	48.6%	9.6%
		85歳以上	(n=293)	20.1%	8.5%	11.6%	7.5%	15.0%	13.7%	50.9%	9.9%
主観的健康感	とてもよい	(n=310)	9.0%	4.2%	7.1%	4.2%	11.3%	1.3%	71.9%	6.1%	
	まあよい	(n=1,508)	13.9%	5.6%	9.7%	6.2%	13.3%	3.0%	64.1%	6.7%	
	あまりよくない	(n=545)	14.1%	5.5%	8.1%	6.1%	12.5%	7.0%	61.1%	9.5%	
	よくない	(n=128)	14.8%	7.0%	10.9%	5.5%	11.7%	11.7%	57.0%	12.5%	

《問56で介護予防事業に1つでも「参加したことがある」、又は「参加している」とお答えの方におたずねします》

問56-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。(いくつでも)

- ・「気持ちが前向きになり生活にはりがでた」(31.3%)が最も多く、次いで「具体的な成果は感じなかった」(25.4%)、「他の人と交流でき、外出の回数が増えた」(23.2%)、「介護予防に積極的に取り組むようになった」(22.9%)、「体力が向上した」(21.0%)と続いている。
- ・「気持ちが前向きになり生活にはりがでた」割合と主観的健康感との関係を見ると、『とてもよい』(14.7%)では低く、『よくない』(38.5%)で高くなっている。
- ・生きがいの有無との関係では、『ない』よりも『あり』のほうが、全体的に介護予防の効果を感じている割合が高くなっている。
- ・「具体的な成果は感じなかった」は、『男性』(42.6%)や『非認定者(自立)』(30.2%)の割合が高くなっている。

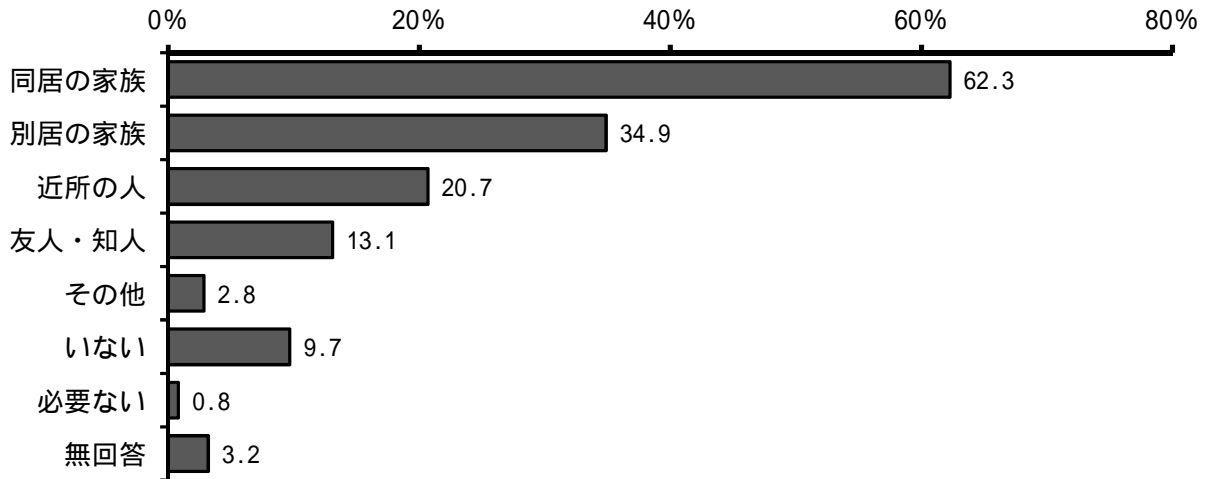


		通院回数 が減った	薬を飲む 量が減っ た	体力が向 上した	気持ちが前 向きにな り生活に はりがで た	他の人と 交流で き、外出 の回数 が増え た	介護予防 に積極 的に取 り組む ようにな った	具体的 な成果 は感じ なかつ た	その他	無回答	
全 体	(n=728)	3.4%	3.0%	21.0%	31.3%	23.2%	22.9%	25.4%	5.4%	13.0%	
要支援 認定											
	非認定者(自立)	(n=431)	2.6%	1.6%	20.9%	25.1%	20.4%	22.0%	30.2%	5.6%	11.8%
	要支援1・2	(n=227)	4.0%	4.8%	22.9%	41.9%	28.6%	27.3%	18.5%	5.3%	13.2%
性別											
	男性	(n=190)	3.2%	2.6%	12.6%	19.5%	15.8%	17.9%	42.6%	6.3%	11.1%
	女性	(n=516)	3.5%	3.1%	23.4%	35.5%	25.6%	25.2%	19.6%	5.2%	13.0%
年齢											
	65～69歳	(n=91)	0.0%	0.0%	20.9%	28.6%	16.5%	15.4%	39.6%	4.4%	1.1%
	70～74歳	(n=111)	2.7%	0.0%	18.9%	25.2%	19.8%	20.7%	32.4%	5.4%	9.9%
	75～79歳	(n=180)	3.9%	5.0%	24.4%	31.7%	19.4%	22.8%	26.7%	6.7%	9.4%
	80～84歳	(n=175)	2.9%	1.7%	21.1%	28.0%	30.3%	25.1%	21.7%	4.0%	21.7%
	85～89歳	(n=132)	6.1%	6.8%	22.0%	37.1%	26.5%	29.5%	14.4%	5.3%	16.7%
	90歳以上	(n=32)	3.1%	0.0%	3.1%	46.9%	18.8%	12.5%	21.9%	9.4%	12.5%
性別 × 年齢											
	男性										
	65～74歳	(n=55)	1.8%	0.0%	7.3%	10.9%	5.5%	9.1%	60.0%	9.1%	3.6%
	75～84歳	(n=94)	4.3%	3.2%	16.0%	19.1%	19.1%	21.3%	39.4%	6.4%	14.9%
	85歳以上	(n=41)	2.4%	4.9%	12.2%	31.7%	22.0%	22.0%	26.8%	2.4%	12.2%
	女性										
	65～74歳	(n=146)	1.4%	0.0%	24.7%	32.9%	23.3%	21.9%	26.7%	3.4%	6.2%
	75～84歳	(n=253)	3.2%	3.6%	25.3%	33.6%	27.3%	24.9%	19.0%	5.1%	15.0%
	85歳以上	(n=115)	7.0%	6.1%	18.3%	42.6%	25.2%	29.6%	12.2%	7.8%	16.5%
主観的 健康感											
	とてもよい	(n=68)	1.5%	1.5%	17.6%	14.7%	14.7%	20.6%	27.9%	8.8%	17.6%
	まあよい	(n=441)	2.9%	2.5%	23.8%	32.9%	24.0%	22.7%	23.4%	4.1%	12.7%
	あまりよくない	(n=160)	6.3%	6.3%	16.9%	32.5%	24.4%	23.8%	31.9%	6.3%	10.6%
	よくない	(n=39)	2.6%	0.0%	15.4%	38.5%	28.2%	23.1%	23.1%	12.8%	15.4%
治療中の 病気等											
	ない	(n=69)	5.8%	2.9%	27.5%	26.1%	21.7%	14.5%	23.2%	8.7%	8.7%
	ある	(n=638)	3.3%	3.1%	21.0%	32.4%	23.8%	24.3%	25.4%	5.2%	12.5%
生きがい											
	生きがいあり	(n=414)	4.1%	2.9%	23.7%	33.1%	26.3%	28.0%	22.7%	6.5%	9.9%
	思いつかない	(n=235)	0.9%	2.6%	17.9%	28.5%	19.6%	15.7%	31.9%	4.7%	14.0%

(11) 災害時の対応について

問57 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも)

- ・「同居の家族」(62.3%)が最も多く、次いで「別居の家族」(34.9%)、「近所の人」(20.7%)、「友人・知人」(13.1%)と続いている。
- ・一方、「いない」は9.7%、「必要ない」は0.8%となっている。
- ・『1人暮らし』では、「いない」が25.5%と高い。

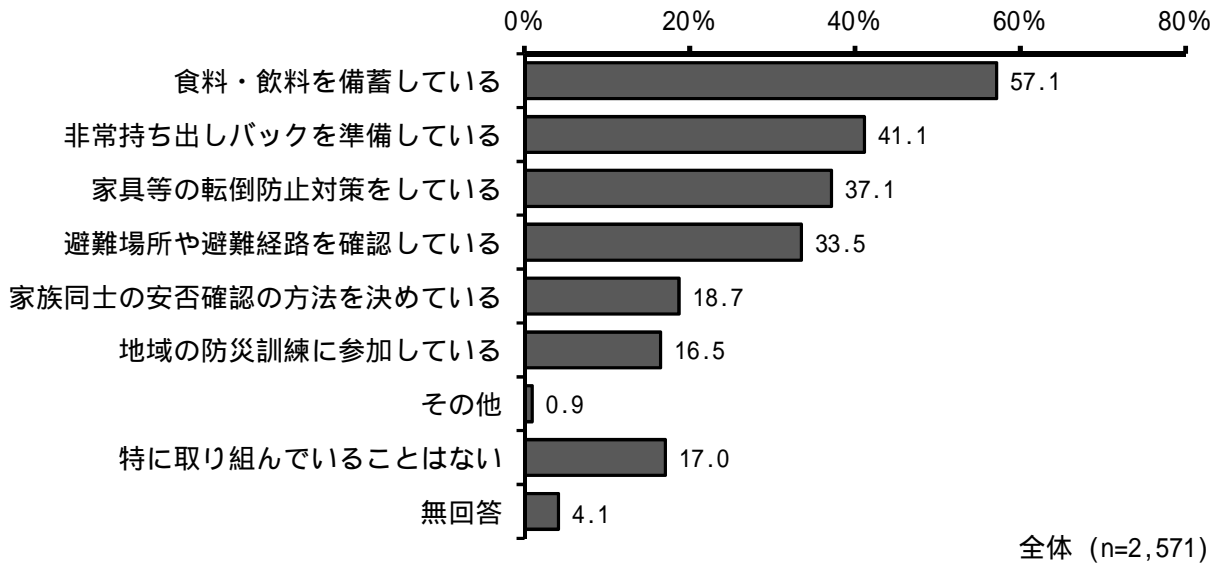


全体 (n=2,571)

		同居の家 族	別居の家 族	近所の人	友人・知 人	その他	いない	必要ない	無回答	
全 体	(n=2,571)	62.3%	34.9%	20.7%	13.1%	2.8%	9.7%	0.8%	3.2%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	69.6%	36.4%	19.9%	15.4%	2.6%	7.6%	1.1%	2.0%	
	要支援1・2 (n=637)	48.8%	35.2%	23.4%	7.8%	3.8%	12.4%	0.2%	3.6%	
性別	男性 (n=1,015)	67.4%	32.2%	19.9%	11.3%	2.8%	10.6%	1.4%	2.8%	
	女性 (n=1,484)	59.0%	37.5%	21.0%	14.6%	2.8%	8.8%	0.5%	3.0%	
年齢	65～69歳 (n=504)	74.0%	34.1%	13.5%	14.5%	3.4%	8.1%	0.8%	2.2%	
	70～74歳 (n=566)	68.4%	33.6%	19.8%	15.9%	1.8%	10.6%	1.2%	2.3%	
	75～79歳 (n=573)	62.3%	36.8%	20.9%	15.0%	2.1%	10.5%	1.0%	3.5%	
	80～84歳 (n=464)	57.3%	34.7%	26.5%	10.3%	2.2%	9.9%	0.2%	3.4%	
	85～89歳 (n=336)	48.5%	36.3%	23.5%	8.6%	4.5%	8.6%	0.9%	3.9%	
	90歳以上 (n=103)	41.7%	33.0%	19.4%	7.8%	7.8%	9.7%	0.0%	6.8%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	70.4%	29.2%	16.0%	13.1%	3.3%	10.6%	1.7%	2.5%
		75～84歳 (n=404)	66.1%	34.7%	24.5%	11.4%	2.0%	10.9%	1.0%	3.2%
		85歳以上 (n=130)	60.8%	36.2%	20.0%	4.6%	3.1%	9.2%	1.5%	2.3%
	女性	65～74歳 (n=580)	71.7%	37.9%	17.2%	16.7%	1.7%	8.3%	0.5%	2.1%
		75～84歳 (n=605)	55.9%	37.5%	22.5%	14.5%	2.3%	9.4%	0.5%	3.3%
		85歳以上 (n=293)	41.0%	36.9%	24.6%	10.2%	6.1%	8.2%	0.3%	4.4%
家族構成	1人暮らし (n=658)	3.6%	43.5%	25.7%	18.4%	4.7%	25.5%	1.2%	3.5%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	76.1%	41.2%	19.5%	11.5%	1.8%	5.5%	0.6%	3.3%	
	子のみ同居 (n=511)	91.0%	23.7%	17.8%	10.2%	2.7%	2.0%	1.2%	3.1%	
	その他 (n=392)	87.8%	23.0%	19.1%	12.8%	2.6%	3.8%	0.3%	1.3%	
1人 暮らし × 年齢	65～74歳 (n=190)	1.6%	34.7%	18.9%	22.6%	4.7%	35.8%	2.1%	3.7%	
	75～84歳 (n=285)	4.2%	44.2%	27.0%	18.9%	2.1%	25.3%	0.7%	2.8%	
	85歳以上 (n=176)	5.1%	52.8%	30.7%	13.1%	9.1%	14.2%	1.1%	4.0%	

問58 災害に備えて、あなたやご家族で取り組んでいることは何ですか。(いくつでも)

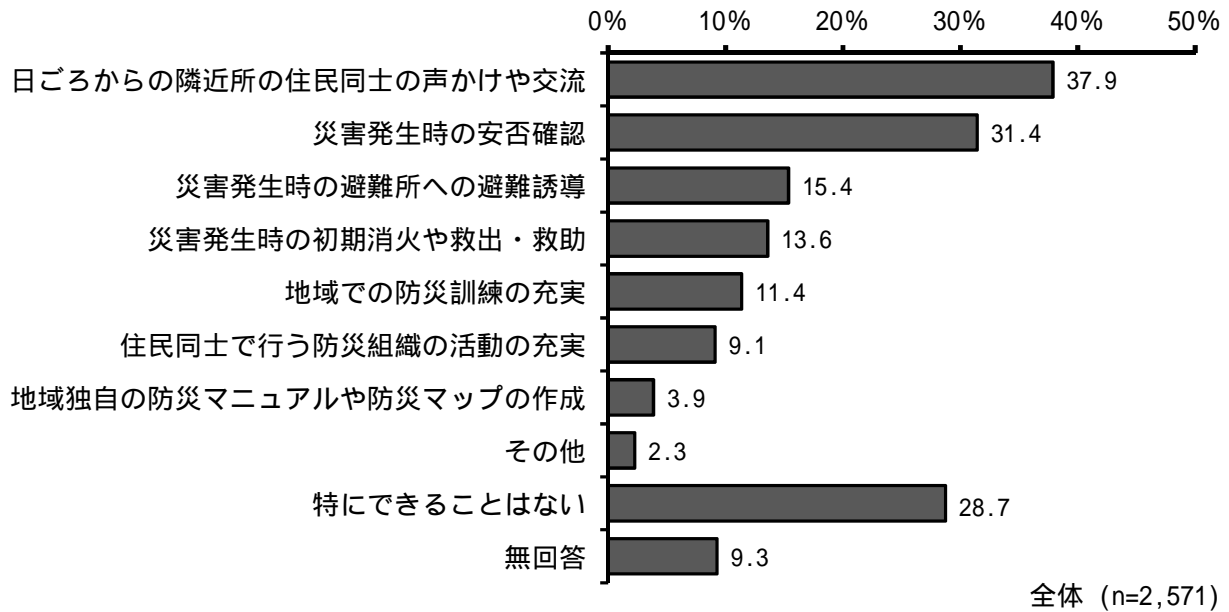
- ・「食料・飲料を備蓄している」(57.1%)が最も多く、次いで「非常持ち出しバックを準備している」(41.1%)、「家具等の転倒防止対策をしている」(37.1%)、「避難場所や避難経路を確認している」(33.5%)と続いている。
- ・一方、「特に取り組んでいることはない」は17.0%となっている。
- ・「特に取り組んでいることはない」の割合は、『女性』(15.2%)よりも『男性』(19.8%)のほうが高く、また、『1人暮らし』(23.4%)で高くなっている。



		食料・飲料を備蓄している	非常持ち出しバックを準備している	家具等の転倒防止対策をしている	避難場所や避難経路を確認している	家族同士の安否確認の方法を決めている	地域の防災訓練に参加している	その他	特に取り組んでいることはない	無回答	
全体 (n=2,571)		57.1%	41.1%	37.1%	33.5%	18.7%	16.5%	0.9%	17.0%	4.1%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	60.3%	43.5%	40.3%	37.5%	21.1%	18.5%	1.0%	14.0%	2.8%	
	要支援1・2 (n=637)	55.7%	39.6%	37.5%	29.0%	15.5%	11.9%	0.6%	19.5%	4.9%	
性別	男性 (n=1,015)	53.4%	39.1%	34.7%	35.0%	17.7%	16.7%	0.9%	19.8%	3.7%	
	女性 (n=1,484)	59.7%	42.9%	39.3%	32.7%	19.8%	16.6%	0.9%	15.2%	4.0%	
年齢	65～69歳 (n=504)	61.7%	41.1%	34.1%	33.9%	19.8%	13.9%	1.2%	16.3%	2.4%	
	70～74歳 (n=566)	57.6%	39.2%	40.5%	36.2%	20.8%	17.5%	0.9%	18.4%	2.5%	
	75～79歳 (n=573)	58.3%	40.8%	38.4%	37.3%	17.8%	19.5%	0.3%	15.5%	4.4%	
	80～84歳 (n=464)	53.9%	46.6%	36.9%	33.2%	22.2%	19.0%	1.1%	15.3%	5.4%	
	85～89歳 (n=336)	55.7%	40.8%	36.3%	26.8%	12.5%	13.4%	1.2%	19.6%	5.7%	
	90歳以上 (n=103)	43.7%	28.2%	30.1%	20.4%	11.7%	5.8%	1.9%	23.3%	8.7%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	54.0%	37.5%	32.7%	34.8%	20.0%	14.2%	1.3%	20.8%	2.3%
		75～84歳 (n=404)	53.2%	41.3%	36.9%	36.9%	17.8%	21.3%	0.7%	17.6%	5.0%
		85歳以上 (n=130)	52.3%	38.5%	35.4%	30.0%	9.2%	12.3%	0.0%	22.3%	5.4%
	女性	65～74歳 (n=580)	64.3%	42.2%	41.9%	35.3%	20.9%	17.4%	0.7%	14.1%	2.6%
		75～84歳 (n=605)	58.7%	45.5%	38.5%	34.7%	21.7%	18.3%	0.7%	14.0%	4.3%
		85歳以上 (n=293)	52.9%	38.9%	35.5%	23.2%	13.3%	11.6%	2.0%	19.5%	6.1%
家族構成	1人暮らし (n=658)	50.2%	37.4%	28.9%	26.1%	13.4%	12.2%	1.4%	23.4%	4.9%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	61.4%	43.8%	43.9%	36.8%	19.4%	18.8%	0.7%	13.3%	3.0%	
	子のみと同居 (n=511)	56.4%	42.7%	35.2%	34.8%	23.1%	17.0%	1.2%	15.3%	5.5%	
	その他 (n=392)	60.5%	39.5%	38.3%	36.5%	20.2%	18.1%	0.5%	17.6%	2.3%	
1人暮らし×年齢	65～74歳 (n=190)	45.3%	26.8%	23.7%	27.4%	8.4%	8.9%	1.1%	31.1%	3.2%	
	75～84歳 (n=285)	54.0%	45.6%	28.8%	27.0%	17.2%	16.1%	0.4%	19.3%	4.9%	
	85歳以上 (n=176)	50.0%	35.8%	34.7%	23.9%	12.5%	9.7%	3.4%	21.6%	6.8%	

問59 災害に備えて、又は、災害が発生したときに近所の手助けが必要な高齢者等に対してあなたができるのはどのようなことですか。(いくつでも)

- ・「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(37.9%)が最も多く、次いで「災害発生時の安否確認」(31.4%)、「災害発生時の避難所への避難誘導」(15.4%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(13.6%)、「地域での防災訓練の充実」(11.4%)と続いている。
- ・一方、「特にできることはない」の割合は全体では28.7%で、『要支援1・2』では42.5%となっている。また、『男性』(28.0%)と『女性』(29.4%)の差はみられない。

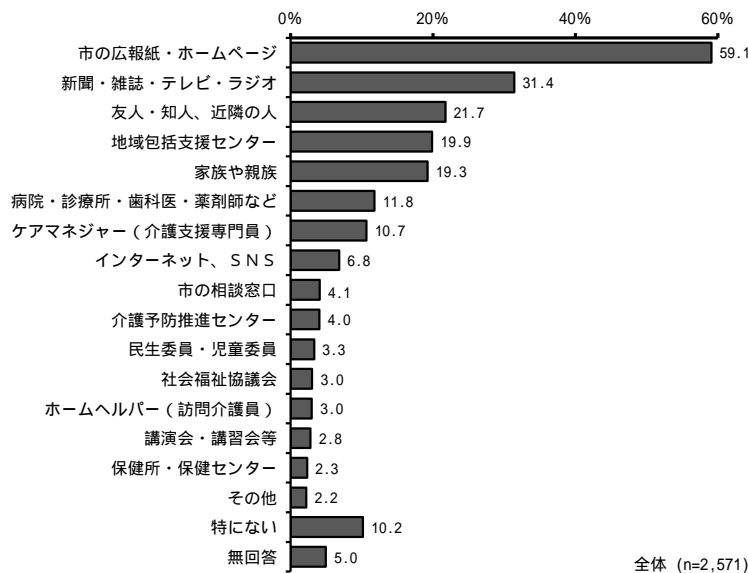


		日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流	住民同士で行う防災組織の活動の充実	地域での防災訓練の充実	地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	災害発生時の安否確認	災害発生時の初期消火や救出・救助	災害発生時の避難所への避難誘導	その他	特にできることはない	無回答	
全体 (n=2,571)		37.9%	9.1%	11.4%	3.9%	31.4%	13.6%	15.4%	2.3%	28.7%	9.3%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	41.6%	11.4%	13.2%	4.7%	39.5%	18.7%	21.2%	2.2%	22.1%	5.8%	
	要支援1・2 (n=637)	31.2%	5.3%	7.5%	2.5%	17.7%	3.9%	4.2%	3.1%	42.5%	13.0%	
性別	男性 (n=1,015)	35.1%	11.0%	12.7%	5.1%	33.7%	22.6%	21.5%	1.9%	28.0%	6.8%	
	女性 (n=1,484)	39.8%	8.0%	10.5%	3.0%	30.3%	7.7%	11.6%	2.6%	29.4%	10.4%	
年齢	65～69歳 (n=504)	37.9%	10.1%	11.7%	4.8%	43.5%	22.6%	25.0%	2.0%	19.6%	4.4%	
	70～74歳 (n=566)	38.7%	10.2%	12.5%	3.9%	36.9%	17.3%	22.3%	2.3%	25.6%	6.7%	
	75～79歳 (n=573)	38.4%	11.5%	14.1%	5.1%	33.7%	13.1%	15.0%	1.9%	28.1%	9.8%	
	80～84歳 (n=464)	40.9%	7.5%	11.0%	3.7%	22.4%	9.1%	9.3%	3.7%	29.7%	13.1%	
	85～89歳 (n=336)	37.2%	5.4%	7.7%	1.8%	19.3%	4.8%	3.6%	1.5%	38.7%	12.2%	
90歳以上 (n=103)	18.4%	3.9%	1.0%	1.0%	10.7%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	58.3%	13.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	31.3%	10.8%	9.6%	4.8%	38.5%	27.9%	28.1%	1.5%	25.0%	5.4%
		75～84歳 (n=404)	36.1%	12.6%	17.1%	6.4%	31.2%	20.5%	18.8%	2.5%	29.2%	8.2%
		85歳以上 (n=130)	46.2%	6.9%	10.8%	2.3%	23.8%	9.2%	5.4%	1.5%	34.6%	7.7%
	女性	65～74歳 (n=580)	44.7%	9.8%	14.3%	3.8%	41.6%	13.1%	19.8%	2.8%	20.7%	5.5%
		75～84歳 (n=605)	41.5%	7.9%	9.9%	3.3%	27.6%	5.3%	8.4%	3.0%	28.8%	13.1%
		85歳以上 (n=293)	27.0%	4.4%	4.4%	1.0%	14.0%	2.0%	2.0%	1.7%	47.8%	14.0%

(12) 情報について

問60 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動等に関する情報をどこから（誰から）入手していますか。（いくつでも）

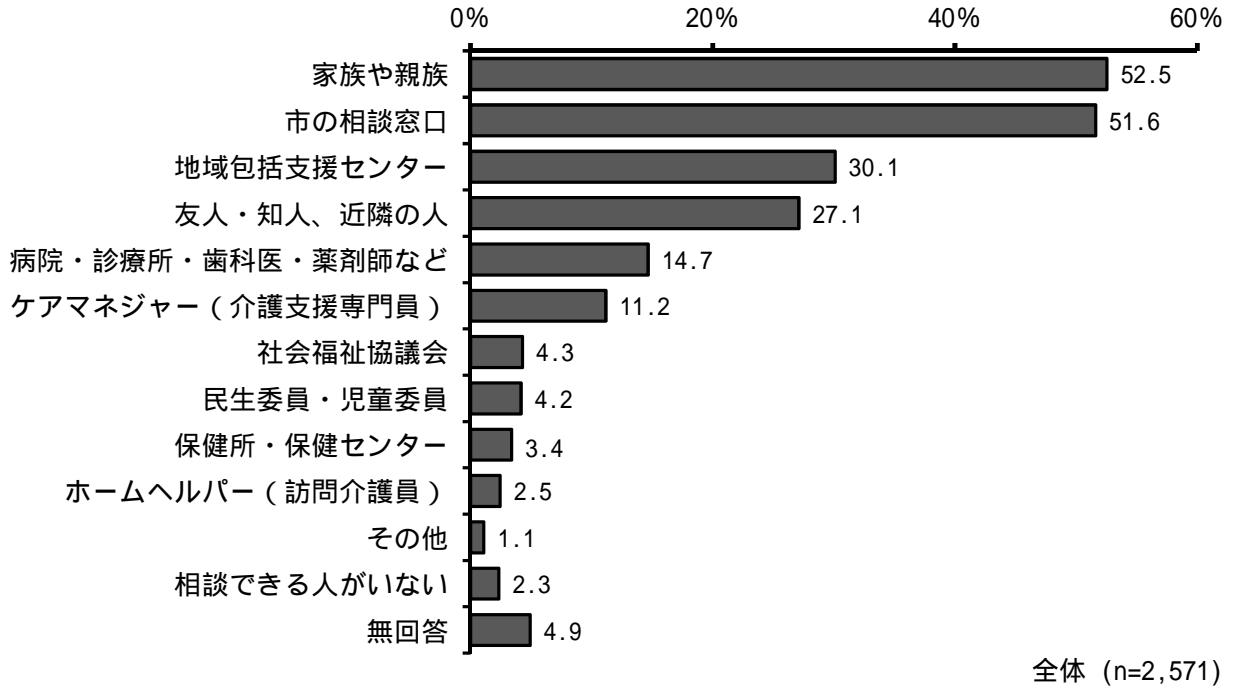
- ・「市の広報紙・ホームページ」(59.1%)が最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(31.4%)、「友人・知人、近隣の人」(21.7%)、「地域包括支援センター」(19.9%)、「家族や親族」(19.3%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は10.2%となっている。
- ・「市の広報紙・ホームページ」は、『65～69歳』(63.9%)と、『90歳以上』(43.7%)と、年齢が高くなるほど割合が低くなっている。なお、男女の差はみられない。
- ・「地域包括支援センター」は、『非認定者(自立)』(12.3%)よりも『要支援1・2』(42.2%)の割合が30ポイント程度上回っている。



		市の広報紙・ホームページ	市の相談窓口	地域包括支援センター	保健所・保健センター	社会福祉協議会	介護予防推進センター	病院・診療所・歯科医・薬剤師など	ホームヘルパー（訪問介護員）	ケアマネジャー（介護支援専門員）	民生委員・児童委員	家族や親族	友人・知人、近隣の人	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	講演会・講習会等	インターネット、SNS	その他	特にない	無回答	
全体	(n=2,571)	59.1	4.1	19.9	2.3	3.0	4.0	11.8	3.0	10.7	3.3	19.3	21.7	31.4	2.8	6.8	2.2	10.2	5.0	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	67.2	3.0	12.3	2.4	3.1	4.1	9.8	1.4	2.9	2.9	18.4	23.4	34.1	3.1	9.4	2.4	11.2	3.3	
	要支援1・2 (n=637)	47.9	6.0	42.2	2.0	3.6	4.7	17.1	7.4	32.3	4.6	22.4	17.9	28.6	2.4	2.8	1.6	5.3	5.0	
性別	男性 (n=1,015)	58.4	4.5	14.4	1.9	2.7	2.7	12.2	3.0	8.4	2.4	20.7	13.9	34.3	2.2	10.2	1.7	13.6	3.9	
	女性 (n=1,484)	60.4	3.8	23.3	2.7	3.4	5.0	11.5	3.2	12.4	4.0	18.5	27.0	29.9	3.3	4.7	2.6	8.2	5.2	
年齢	65～69歳 (n=504)	63.9	3.2	6.0	2.2	2.0	3.0	7.5	1.2	5.0	1.4	14.5	19.0	28.6	1.2	13.3	3.0	15.1	1.8	
	70～74歳 (n=566)	62.7	3.9	14.1	2.8	3.4	2.8	11.3	1.4	5.5	1.1	18.2	22.4	33.9	1.9	8.8	1.8	13.1	5.7	
	75～79歳 (n=573)	62.3	4.2	18.8	2.6	2.8	4.9	12.9	1.6	7.5	4.5	19.2	25.3	31.9	3.8	5.6	2.1	9.4	5.4	
	80～84歳 (n=464)	56.9	5.0	30.2	2.4	4.3	5.6	12.9	5.4	15.3	5.4	19.8	20.7	30.2	3.4	4.3	2.2	6.9	5.4	
	85～89歳 (n=336)	49.7	4.5	33.6	1.5	2.4	5.1	14.6	6.0	23.2	5.4	25.9	21.4	34.5	4.5	1.8	1.8	5.1	5.4	
	90歳以上 (n=103)	43.7	2.9	33.0	1.9	4.9	1.9	11.7	7.8	24.3	1.9	25.2	14.6	29.1	1.9	0.0	3.9	6.8	6.8	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	57.1	3.3	7.5	1.7	1.7	1.3	10.4	2.1	5.0	1.0	17.1	11.7	30.4	1.0	14.6	1.5	17.9	3.8
		75～84歳 (n=404)	61.1	5.0	15.6	2.0	3.2	3.2	13.9	3.2	8.7	3.5	21.0	16.3	37.1	3.0	7.7	2.5	11.4	4.0
		85歳以上 (n=130)	55.4	7.7	36.2	2.3	4.6	6.2	13.8	5.4	20.0	3.8	33.1	14.6	40.0	3.8	2.3	0.0	3.8	4.6
	女性	65～74歳 (n=580)	68.6	3.8	12.6	3.3	3.6	4.3	8.8	0.7	5.5	1.4	16.0	28.3	32.1	2.1	8.1	3.1	10.7	3.8
		75～84歳 (n=605)	59.8	4.5	28.9	3.0	3.8	6.3	12.7	3.5	12.6	5.8	18.8	27.9	27.9	4.1	3.3	2.0	6.6	6.3
	85歳以上 (n=293)	46.4	2.0	32.4	1.0	2.4	3.8	13.7	7.2	25.6	5.1	22.9	22.2	30.7	4.1	1.0	3.1	6.5	5.5	
家族構成	1人暮らし (n=658)	47.3	4.3	26.4	2.9	3.5	4.4	13.7	5.5	15.2	5.0	13.7	23.9	29.8	4.1	3.5	2.7	11.7	5.5	
	夫婦2人暮らし (n=959)	66.1	4.4	16.0	2.6	2.7	4.0	11.3	1.9	8.7	2.7	19.6	20.8	33.3	2.7	8.9	1.7	9.1	4.4	
	子のみ同居 (n=511)	62.0	3.5	19.8	2.0	2.3	4.5	12.3	2.2	8.8	3.1	23.3	21.7	31.7	0.8	7.6	2.5	8.2	6.1	
	その他 (n=392)	59.7	3.6	19.1	1.3	3.6	3.3	9.2	2.8	10.5	2.6	21.9	19.6	30.6	3.3	7.1	2.6	13.0	2.8	

問61 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも）

- ・「家族や親族」(52.5%)が最も多く、次いで「市の相談窓口」(51.6%)、「地域包括支援センター」(30.1%)、「友人・知人、近隣の人」(27.1%)と続いている。
- ・一方、「相談できる人がいない」は全体では2.3%、『女性』(1.3%)よりも『男性』(3.8%)のほうが高く、特に『男性・65～74歳』では4.6%となっている。

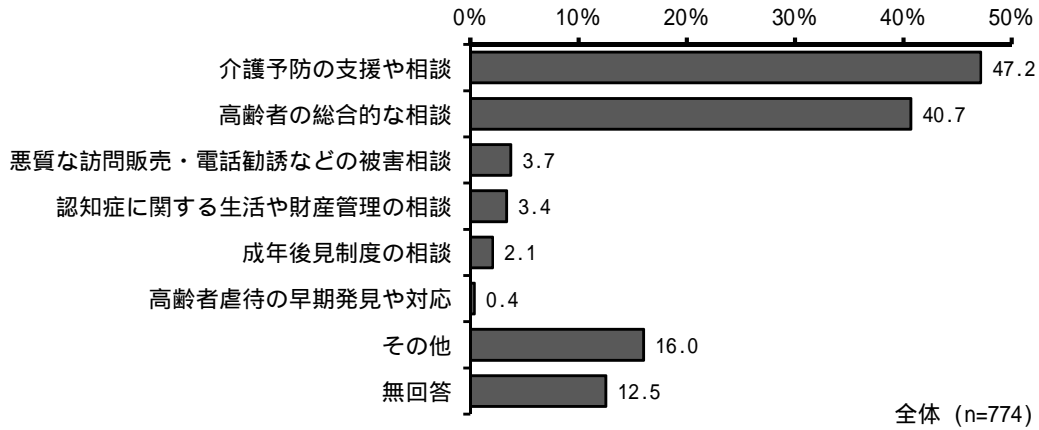


		市の相談窓口	地域包括支援センター	保健所・保健センター	社会福祉協議会	病院・診療所・歯科医・薬剤師など	ホームヘルパー（訪問介護員）	ケアマネジャー（介護支援専門員）	民生委員・児童委員	家族や親族	友人・知人、近隣の人	その他	相談できる人がいない	無回答	
全体	(n=2,571)	51.6%	30.1%	3.4%	4.3%	14.7%	2.5%	11.2%	4.2%	52.5%	27.1%	1.1%	2.3%	4.9%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	61.9%	22.3%	4.0%	4.5%	13.9%	0.9%	3.2%	3.7%	55.0%	31.5%	0.9%	2.0%	3.3%	
	要支援1・2 (n=637)	30.9%	53.4%	1.7%	4.1%	17.0%	6.4%	33.4%	4.4%	50.9%	15.7%	1.6%	1.6%	5.0%	
性別	男性 (n=1,015)	55.2%	23.3%	4.2%	5.0%	15.4%	2.4%	8.9%	3.7%	50.2%	19.8%	1.1%	3.8%	4.6%	
	女性 (n=1,484)	49.6%	34.4%	3.0%	4.0%	14.3%	2.6%	12.9%	4.3%	54.6%	32.4%	1.1%	1.3%	4.7%	
年齢	65～69歳 (n=504)	62.3%	16.3%	3.4%	3.8%	11.1%	1.2%	4.8%	1.8%	57.1%	31.9%	2.0%	3.0%	2.0%	
	70～74歳 (n=566)	59.0%	21.9%	4.4%	6.0%	13.1%	1.4%	7.4%	2.1%	49.8%	31.1%	0.7%	2.5%	4.9%	
	75～79歳 (n=573)	55.1%	31.2%	4.0%	3.1%	16.2%	1.6%	8.2%	6.5%	49.0%	29.5%	0.9%	1.9%	5.2%	
	80～84歳 (n=464)	45.7%	39.7%	2.4%	5.0%	18.1%	3.2%	16.2%	5.0%	50.4%	20.3%	0.4%	2.8%	6.3%	
	85～89歳 (n=336)	32.7%	45.8%	2.1%	3.9%	14.6%	5.7%	24.1%	6.0%	56.5%	23.2%	1.2%	1.5%	5.7%	
	90歳以上 (n=103)	29.1%	42.7%	3.9%	2.9%	14.6%	5.8%	16.5%	4.9%	61.2%	12.6%	2.9%	1.9%	4.9%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	59.0%	12.5%	3.5%	4.6%	10.4%	1.9%	6.0%	1.0%	50.0%	21.0%	1.7%	4.6%	4.6%
		75～84歳 (n=404)	56.2%	27.7%	5.0%	5.2%	20.3%	2.2%	8.7%	5.7%	49.5%	19.3%	0.5%	3.2%	4.5%
		85歳以上 (n=130)	38.5%	49.2%	4.6%	6.2%	18.5%	4.6%	20.0%	7.7%	53.8%	16.9%	0.8%	3.1%	4.6%
	女性	65～74歳 (n=580)	61.7%	24.5%	4.3%	5.3%	13.6%	0.9%	6.4%	2.8%	56.2%	40.2%	1.0%	1.0%	2.8%
		75～84歳 (n=605)	48.4%	39.7%	2.3%	3.3%	15.2%	2.5%	13.9%	5.3%	50.1%	29.9%	0.7%	1.7%	6.1%
	85歳以上 (n=293)	28.0%	42.3%	1.7%	2.7%	13.0%	6.1%	23.9%	5.1%	60.4%	22.5%	2.0%	1.0%	5.8%	
家族構成	1人暮らし (n=658)	41.5%	37.5%	2.9%	4.1%	14.1%	5.0%	15.2%	4.9%	44.7%	27.5%	1.4%	3.5%	4.9%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	56.6%	27.0%	4.3%	3.9%	14.4%	1.4%	9.5%	4.0%	53.3%	27.5%	0.8%	2.1%	4.1%	
	子のみと同居 (n=511)	52.1%	28.4%	2.3%	4.3%	13.5%	1.4%	10.0%	4.1%	56.6%	26.2%	0.8%	2.2%	5.9%	
	その他 (n=392)	56.9%	28.3%	3.3%	5.4%	16.3%	2.3%	10.7%	3.8%	59.2%	27.3%	1.8%	1.3%	4.1%	

《問61で「地域包括支援センター」とお答えの方におたずねします》

問61-1 具体的にどのような目的で利用したことがありますか。(いくつでも)

- ・「介護予防の支援や相談」(47.2%)が最も多く、次いで「高齢者の総合的な相談」(40.7%)となっている。
- ・『非認定者(自立)』では、「高齢者の総合的な相談」(38.2%)の割合が最も多くなっている。



		高齢者の総合的な相談	介護予防の支援や相談	認知症に関する生活や財産管理の相談	成年後見制度の相談	高齢者虐待の早期発見や対応	悪質な訪問販売・電話勧誘などの被害相談	その他	無回答		
全体	(n=774)	40.7%	47.2%	3.4%	2.1%	0.4%	3.7%	16.0%	12.5%		
要支援認定	非認定者(自立)	(n=359)	38.2%	31.8%	4.2%	2.5%	0.3%	5.0%	22.6%	16.7%	
	要支援1・2	(n=340)	44.1%	64.1%	2.9%	1.8%	0.6%	2.4%	7.4%	8.5%	
性別	男性	(n=236)	41.5%	44.1%	5.1%	2.5%	0.0%	4.7%	15.3%	12.7%	
	女性	(n=511)	39.9%	49.1%	2.7%	2.0%	0.6%	3.3%	16.0%	12.3%	
年齢	65～69歳	(n=82)	37.8%	28.0%	4.9%	2.4%	1.2%	1.2%	24.4%	11.0%	
	70～74歳	(n=124)	39.5%	46.8%	1.6%	1.6%	0.0%	4.0%	18.5%	9.7%	
	75～79歳	(n=179)	41.3%	41.3%	6.1%	1.1%	0.6%	4.5%	21.8%	11.2%	
	80～84歳	(n=184)	33.7%	52.2%	1.6%	2.7%	0.0%	3.8%	13.6%	15.2%	
	85～89歳	(n=154)	45.5%	55.8%	3.2%	1.9%	0.0%	3.2%	8.4%	14.3%	
	90歳以上	(n=44)	56.8%	56.8%	0.0%	2.3%	2.3%	4.5%	4.5%	13.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=60)	41.7%	36.7%	3.3%	3.3%	0.0%	3.3%	21.7%	10.0%
		75～84歳	(n=112)	33.0%	42.0%	7.1%	3.6%	0.0%	6.3%	18.8%	14.3%
		85歳以上	(n=64)	56.3%	54.7%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	3.1%	12.5%
	女性	65～74歳	(n=142)	38.0%	40.1%	2.8%	1.4%	0.7%	2.8%	19.0%	10.6%
		75～84歳	(n=240)	39.6%	49.6%	2.5%	1.3%	0.4%	3.3%	17.5%	12.1%
		85歳以上	(n=124)	41.9%	58.1%	2.4%	3.2%	0.8%	3.2%	9.7%	15.3%

(13) 介護保険について

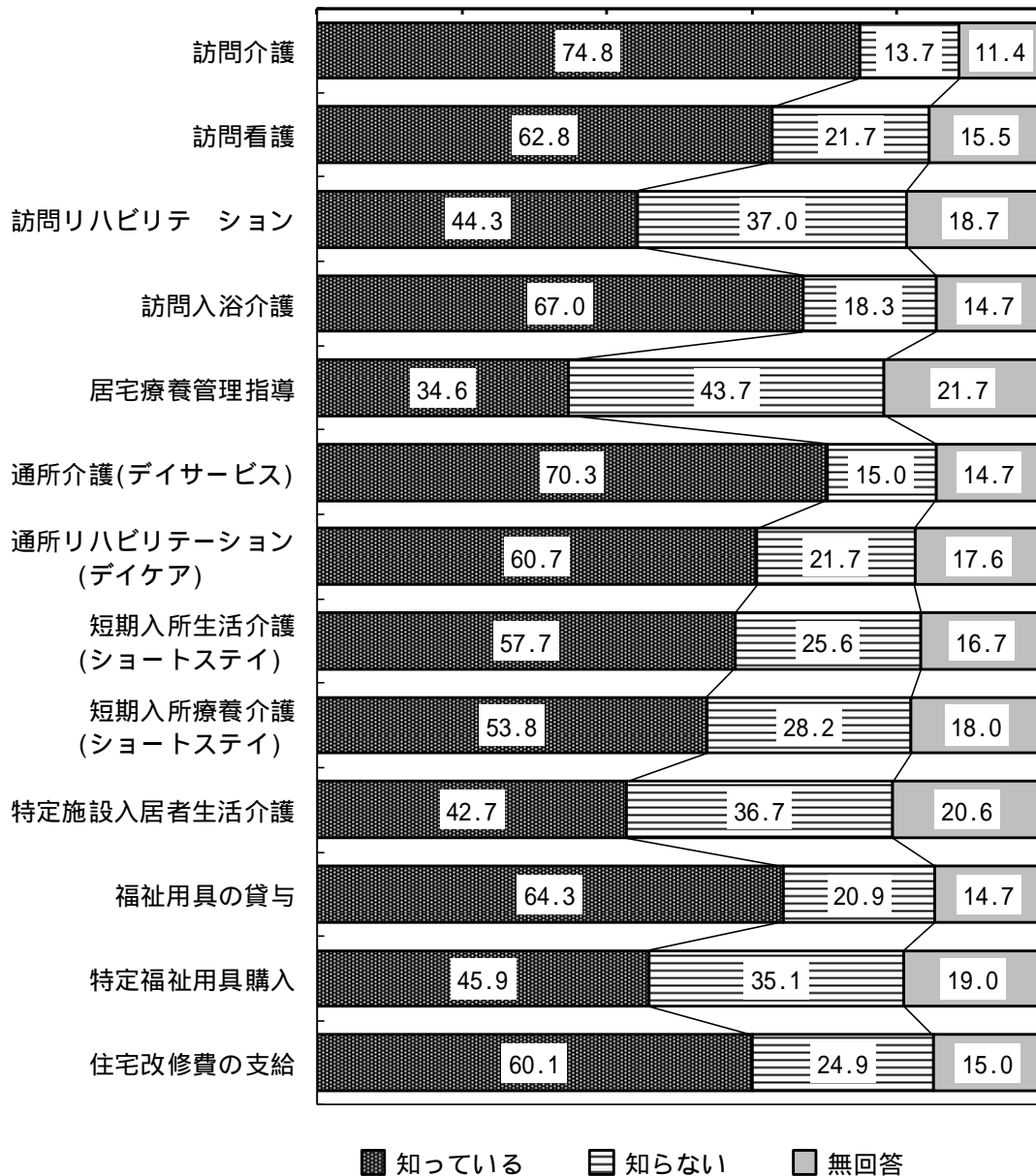
問62 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っていますが、これらのサービスを知っていますか。(サービスごとに1つずつ)

居宅サービス

- ・「知っている」割合が高い居宅サービスは、『訪問介護』(74.8%)が最も多く、次いで『通所介護(デイサービス)』(70.3%)、『訪問入浴介護』(67.0%)、『福祉用具の貸与』(64.3%)、『訪問看護』(62.8%)と続いている。
- ・一方、「知らない」割合が高い居宅サービスは、『居宅療養管理指導』(43.7%)が最も多く、次いで『訪問リハビリテーション』(37.0%)、『特定施設入居者生活介護』(36.7%)、『特定福祉用具購入』(35.1%)と続いている。

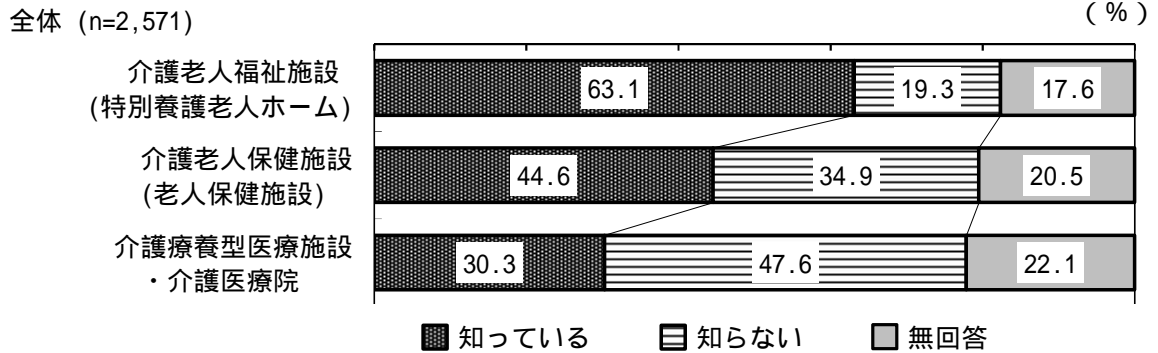
全体 (n=2,571)

(%)



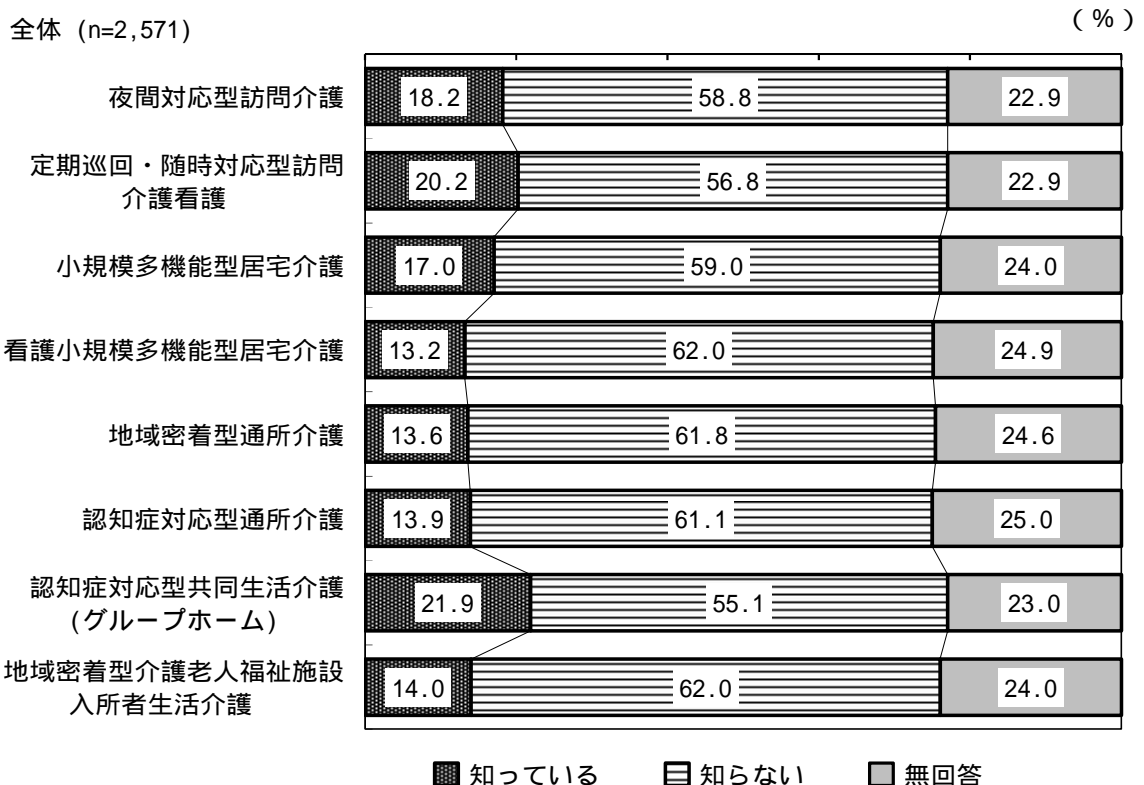
施設サービス

- ・「知っている」割合が高い施設サービスは、『介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）』（63.1%）が最も多く、次いで『介護老人保健施設（老人保健施設）』（44.6%）、『介護療養型医療施設・介護医療院』（30.3%）と続いている。
- ・一方、「知らない」割合が高い施設サービスは、『介護療養型医療施設・介護医療院』（47.6%）が最も多く、次いで『介護老人保健施設（老人保健施設）』（34.9%）となっている。



地域密着型サービス

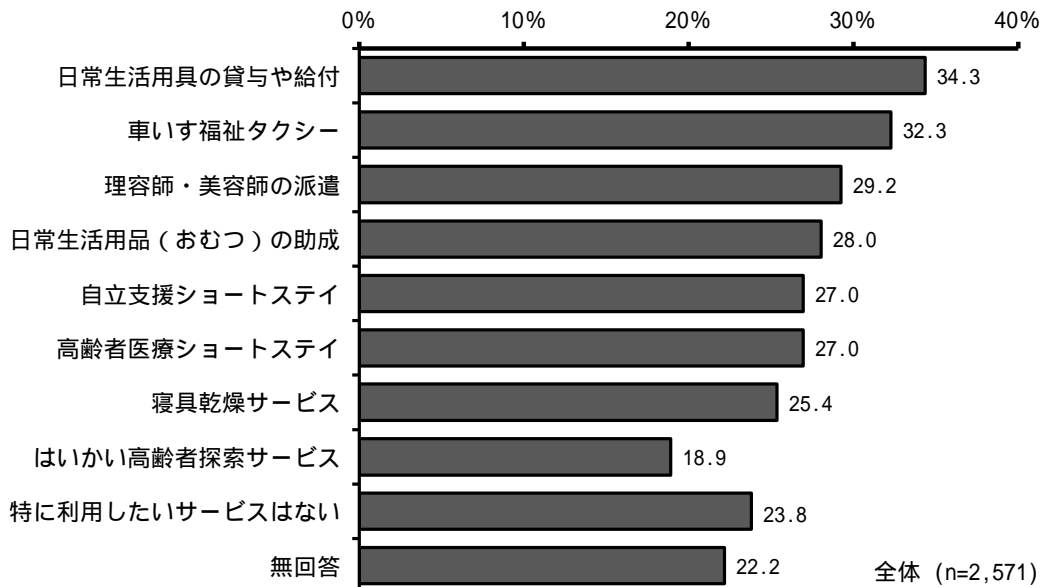
- ・「知っている」割合が高い地域密着型サービスは、『認知症対応型共同生活介護(グループホーム)』（21.9%）が最も多く、次いで『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』（20.2%）となっている。
- ・一方、「知らない」割合が高い地域密着型サービスは、『看護小規模多機能型居宅介護』『地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護』（ともに62.0%）が最も多く、次いで『地域密着型通所介護』（61.8%）、『認知症対応型通所介護』（61.1%）、『小規模多機能型居宅介護』（59.0%）と続いている。



(14) 高齢者保健福祉サービスについて

問63 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。あなたは、以下のサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも)

- ・「日常生活用具の貸与や給付」(34.3%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(32.3%)、「理容師・美容師の派遣」(29.2%)、「日常生活用品(おむつ)の助成」(28.0%)、「自立支援ショートステイ」「高齢者医療ショートステイ」(ともに27.0%)、「寝具乾燥サービス」(25.4%)と続いている。
- ・一方、「特に利用したいサービスはない」は23.8%となっている。
- ・ほとんどのサービスにおいて、『男性』よりも『女性』のほうが利用意向が高くなっている。



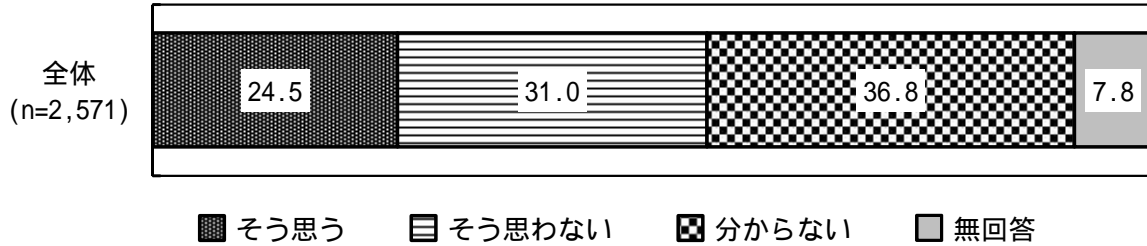
		自立支援 ショート ステイ	高齢者医 療ショ ートス テイ	日常生 活用具 の貸与 や給付	はいかい 高齢者探 索サー ビス	日常生 活用品 (おむつ) の助成	車いす福 祉タク シー	寝具乾燥 サービ ス	理容師・ 美容師の 派遣	特に利用 したい サービ ス はない	無回答	
全体	(n=2,571)	27.0%	27.0%	34.3%	18.9%	28.0%	32.3%	25.4%	29.2%	23.8%	22.2%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	31.3%	30.7%	37.0%	23.1%	31.4%	36.7%	29.0%	31.6%	26.5%	18.2%	
	要支援1・2 (n=637)	22.0%	22.9%	37.4%	13.2%	25.4%	28.1%	20.9%	28.1%	17.9%	23.9%	
性別	男性 (n=1,015)	26.9%	28.1%	28.4%	16.7%	21.1%	26.9%	20.6%	23.3%	31.1%	19.9%	
	女性 (n=1,484)	27.4%	26.8%	39.2%	20.6%	33.3%	36.6%	28.8%	33.8%	19.0%	22.7%	
年齢	65～69歳 (n=504)	32.1%	30.8%	40.3%	23.0%	32.5%	38.9%	30.4%	31.9%	28.8%	13.3%	
	70～74歳 (n=566)	30.2%	28.8%	37.6%	26.3%	32.0%	39.8%	32.9%	34.5%	27.2%	16.6%	
	75～79歳 (n=573)	25.7%	26.9%	31.6%	19.0%	27.2%	30.7%	23.9%	28.4%	23.0%	24.3%	
	80～84歳 (n=464)	23.9%	25.2%	31.7%	13.8%	27.6%	27.8%	22.0%	27.4%	17.5%	27.2%	
	85～89歳 (n=336)	23.8%	24.7%	32.7%	11.6%	21.7%	24.4%	17.3%	23.8%	21.1%	29.5%	
	90歳以上 (n=103)	16.5%	17.5%	21.4%	4.9%	12.6%	14.6%	9.7%	18.4%	25.2%	33.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	28.5%	28.5%	30.2%	19.0%	21.0%	29.8%	24.0%	24.6%	38.1%	13.5%
		75～84歳 (n=404)	24.5%	27.2%	26.5%	14.9%	20.8%	25.0%	18.1%	22.8%	25.7%	24.5%
		85歳以上 (n=130)	28.5%	29.2%	27.7%	13.8%	22.3%	22.3%	16.2%	20.8%	22.3%	28.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	33.4%	30.9%	46.4%	29.5%	41.6%	47.4%	38.3%	40.7%	19.7%	15.9%
		75～84歳 (n=605)	25.5%	26.1%	35.7%	18.2%	32.1%	32.9%	26.4%	31.7%	16.9%	25.6%
		85歳以上 (n=293)	19.8%	20.8%	32.1%	8.5%	19.5%	22.9%	15.0%	24.2%	22.5%	29.7%

(15) 在宅療養について

問 64 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに)

- ・「分からない」が36.8%、「そう思わない」が31.0%、「そう思う」が24.5%となっている。
- ・「そう思う」割合は、『女性』(20.7%)よりも『男性』(29.9%)のほうが高く、特に『男性・85歳以上』(37.7%)で高くなっている。一方、女性は年齢による差がみられない。

(%)

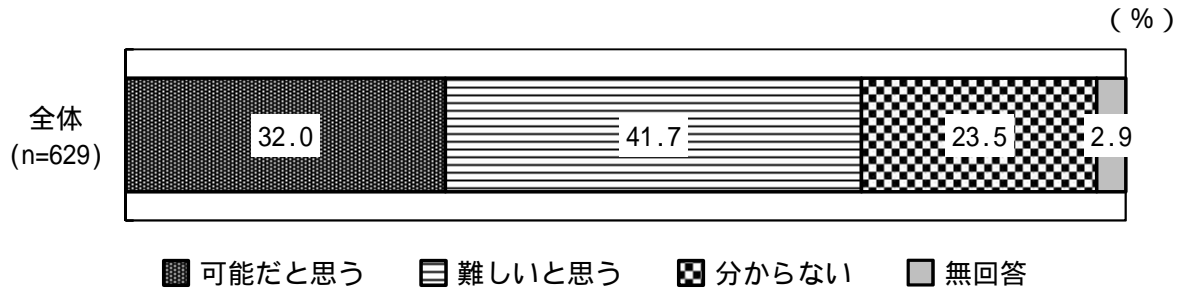


		そう思う	そう思わない	分からない	無回答	
全 体 (n=2,571)		24.5%	31.0%	36.8%	7.8%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	24.4%	31.5%	38.6%	5.5%	
	要支援1・2 (n=637)	24.6%	33.8%	33.1%	8.5%	
性別	男性 (n=1,015)	29.9%	28.4%	33.8%	8.0%	
	女性 (n=1,484)	20.7%	33.2%	39.1%	7.0%	
年齢	65～69歳 (n=504)	24.6%	33.1%	39.1%	3.2%	
	70～74歳 (n=566)	24.0%	29.3%	41.3%	5.3%	
	75～79歳 (n=573)	22.9%	32.8%	36.1%	8.2%	
	80～84歳 (n=464)	25.0%	29.1%	34.1%	11.9%	
	85～89歳 (n=336)	27.1%	31.0%	31.5%	10.4%	
	90歳以上 (n=103)	21.4%	30.1%	36.9%	11.7%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=480)	29.8%	28.3%	35.8%	6.0%
		75～84歳 (n=404)	27.5%	29.0%	33.9%	9.7%
		85歳以上 (n=130)	37.7%	26.9%	26.2%	9.2%
	女性	65～74歳 (n=580)	20.2%	33.3%	44.0%	2.6%
		75～84歳 (n=605)	21.2%	33.6%	35.9%	9.4%
		85歳以上 (n=293)	20.8%	32.8%	35.8%	10.6%
家族構成	1人暮らし (n=658)	19.6%	35.3%	35.9%	9.3%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	27.7%	29.5%	35.2%	7.5%	
	子のみと同居 (n=511)	25.0%	27.0%	40.7%	7.2%	
	その他 (n=392)	23.7%	32.9%	38.3%	5.1%	
住まい	持ち家 (n=1,978)	26.1%	30.6%	36.5%	6.8%	
	賃貸 (n=488)	19.5%	31.6%	39.8%	9.2%	
治療中の病気等	ない (n=329)	24.9%	27.4%	41.9%	5.8%	
	ある (n=2,102)	24.4%	32.0%	36.5%	7.0%	

問64で「そう思う」とお答えの方におたずねします

問64-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに)

- ・「難しいと思う」が41.7%、「可能だと思う」が32.0%、「分からない」が23.5%となっている。
- ・「可能だと思う」割合は、男女差や年齢による傾向はみられないが、経済的状況で『ゆとりがある』や住まいが『持ち家』の場合は高く推移している。

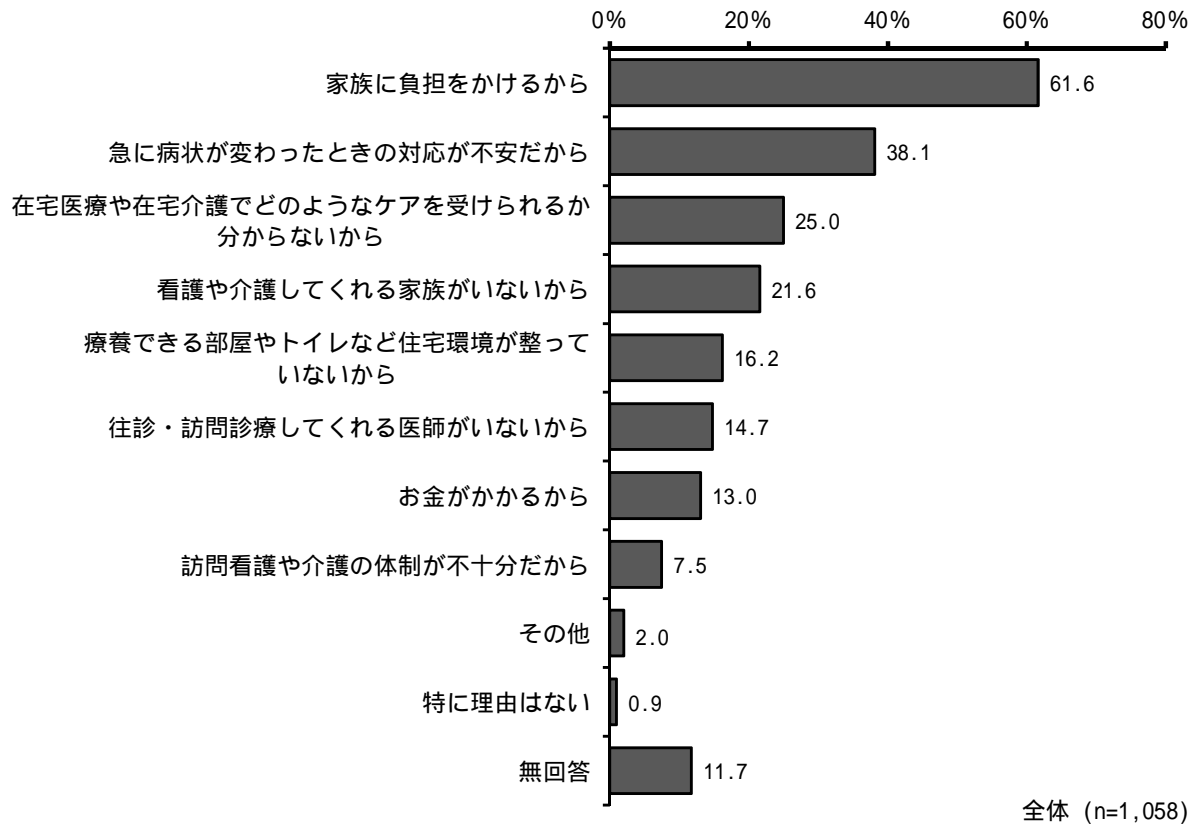


		可能だと思う	難しいと思う	分からない	無回答	
全 体	(n=629)	32.0%	41.7%	23.5%	2.9%	
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=393) 32.6%	42.7%	23.9%	0.8%	
	要支援1・2	(n=157) 30.6%	43.9%	22.3%	3.2%	
性別	男性	(n=303) 32.3%	41.9%	23.4%	2.3%	
	女性	(n=307) 30.9%	42.0%	23.5%	3.6%	
年齢	65～69歳	(n=124) 25.8%	49.2%	23.4%	1.6%	
	70～74歳	(n=136) 32.4%	43.4%	23.5%	0.7%	
	75～79歳	(n=131) 35.9%	38.9%	21.4%	3.8%	
	80～84歳	(n=116) 31.0%	41.4%	25.0%	2.6%	
	85～89歳	(n=91) 35.2%	33.0%	25.3%	6.6%	
	90歳以上	(n=22) 27.3%	45.5%	22.7%	4.5%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=143) 31.5%	46.9%	21.0%	0.7%
		75～84歳	(n=111) 33.3%	37.8%	25.2%	3.6%
		85歳以上	(n=49) 32.7%	36.7%	26.5%	4.1%
	女性	65～74歳	(n=117) 26.5%	45.3%	26.5%	1.7%
		75～84歳	(n=128) 33.6%	42.2%	21.1%	3.1%
		85歳以上	(n=61) 32.8%	36.1%	23.0%	8.2%
家族構成	1人暮らし	(n=129) 34.1%	41.9%	19.4%	4.7%	
	夫婦2人暮らし	(n=266) 32.0%	43.2%	22.6%	2.3%	
	子のみと同居	(n=128) 28.1%	43.8%	25.0%	3.1%	
	その他	(n=93) 34.4%	36.6%	26.9%	2.2%	
経済的 状況	苦しい	(n=154) 26.6%	50.0%	20.1%	3.2%	
	ふつう	(n=383) 32.4%	40.2%	24.5%	2.9%	
	ゆとりがある	(n=81) 42.0%	34.6%	22.2%	1.2%	
住まい	持ち家	(n=517) 34.0%	40.8%	22.8%	2.3%	
	賃貸	(n=95) 22.1%	46.3%	26.3%	5.3%	
主観的 健康感	とてもよい	(n=93) 34.4%	33.3%	28.0%	4.3%	
	まあよい	(n=362) 32.6%	44.2%	21.3%	1.9%	
	あまりよくない	(n=123) 28.5%	43.1%	23.6%	4.9%	
	よくない	(n=41) 26.8%	39.0%	34.1%	0.0%	
治療中の 病気等	ない	(n=82) 37.8%	37.8%	20.7%	3.7%	
	ある	(n=513) 31.0%	43.5%	23.4%	2.1%	

《問64で「そう思わない」又は問64-1で「難しいと思う」とお答えの方におたずねします》

問64-2 それはなぜですか。(3つまでに)

- ・「家族に負担をかけるから」(61.6%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(38.1%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(25.0%)、「看護や介護してくれる家族がいないから」(21.6%)と続いている。
- ・一方、「特に理由はない」は0.9%となっている。

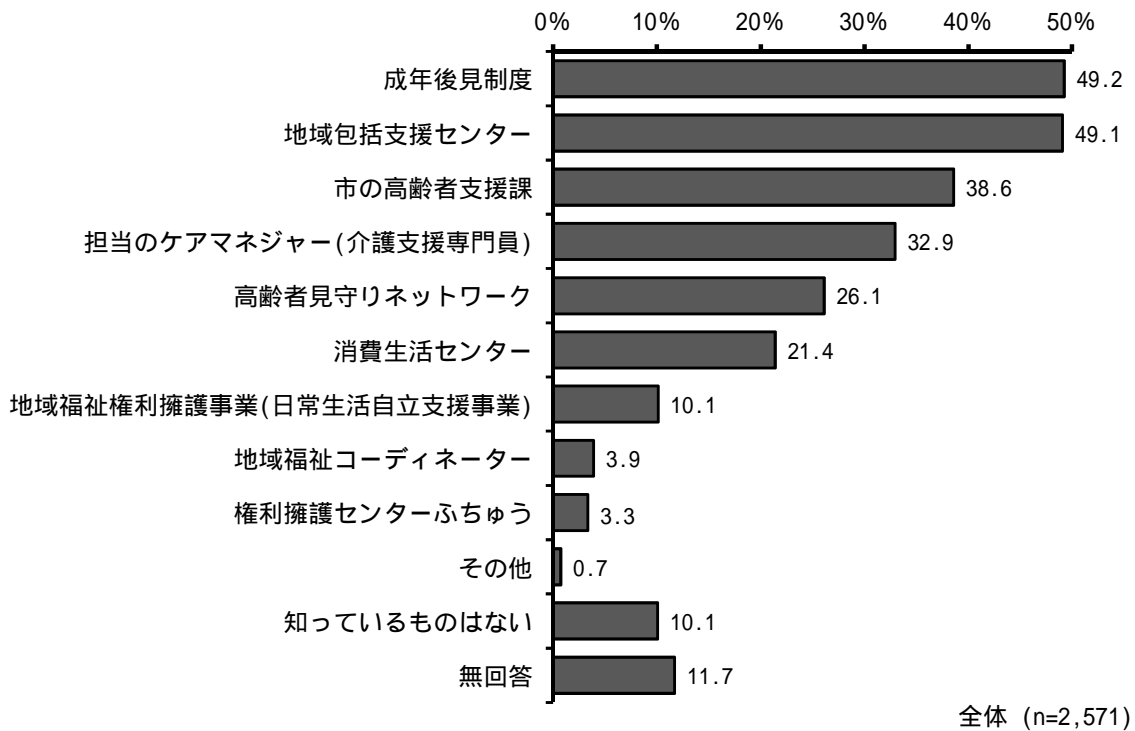


		在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから	急に病状が変わったときの対応が不安だから	往診・訪問診療してくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	看護や介護してくれる家族がいないから	療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから	お金がかかるから	その他	特に理由はない	無回答	
全体	(n=1,058)	25.0%	38.1%	14.7%	7.5%	61.6%	21.6%	16.2%	13.0%	2.0%	0.9%	11.7%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=676)	24.0%	38.0%	12.7%	7.4%	67.2%	17.3%	17.8%	11.5%	1.9%	0.6%	11.1%	
	要支援1・2 (n=284)	29.6%	38.4%	20.4%	7.4%	54.2%	26.1%	13.0%	10.9%	2.5%	0.7%	12.3%	
性別	男性 (n=415)	25.8%	38.1%	16.6%	8.4%	61.0%	18.1%	17.3%	13.7%	1.0%	1.4%	10.1%	
	女性 (n=622)	24.3%	38.1%	13.3%	6.9%	63.3%	23.8%	15.4%	12.5%	2.6%	0.5%	12.5%	
年齢	65～69歳 (n=228)	16.2%	34.6%	11.0%	7.0%	71.9%	14.9%	19.7%	15.8%	1.3%	0.9%	9.6%	
	70～74歳 (n=225)	27.6%	40.0%	8.4%	7.1%	66.7%	16.4%	16.9%	15.1%	1.8%	0.9%	8.9%	
	75～79歳 (n=239)	25.5%	39.7%	13.8%	9.2%	60.3%	22.2%	19.2%	12.1%	2.5%	0.8%	13.8%	
	80～84歳 (n=183)	30.1%	37.7%	24.0%	8.2%	52.5%	29.5%	12.6%	14.8%	2.2%	0.5%	12.6%	
	85～89歳 (n=134)	31.3%	37.3%	20.1%	6.0%	53.7%	27.6%	6.0%	5.2%	1.5%	0.7%	14.9%	
	90歳以上 (n=41)	12.2%	41.5%	17.1%	4.9%	53.7%	26.8%	22.0%	9.8%	4.9%	2.4%	12.2%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=203)	21.7%	36.0%	10.3%	6.9%	65.0%	14.3%	16.7%	17.2%	1.0%	1.5%	9.4%
		75～84歳 (n=159)	26.4%	36.5%	21.4%	11.3%	58.5%	21.4%	20.8%	10.7%	0.6%	1.3%	11.9%
		85歳以上 (n=53)	39.6%	50.9%	26.4%	5.7%	52.8%	22.6%	9.4%	9.4%	1.9%	1.9%	7.5%
	女性	65～74歳 (n=246)	22.0%	38.2%	9.3%	6.9%	74.0%	17.1%	19.9%	14.2%	1.6%	0.4%	8.9%
		75～84歳 (n=257)	28.0%	40.1%	16.0%	7.4%	56.8%	27.6%	13.6%	14.4%	3.5%	0.4%	14.0%
	85歳以上 (n=118)	20.3%	33.1%	16.1%	5.9%	55.1%	29.7%	10.2%	5.1%	2.5%	0.8%	16.9%	
家族構成	1人暮らし (n=286)	23.4%	37.4%	12.6%	8.0%	39.5%	46.9%	9.4%	14.0%	2.4%	1.7%	13.6%	
	夫婦2人暮らし (n=398)	27.1%	39.9%	17.6%	7.8%	67.8%	14.1%	17.6%	11.3%	1.8%	0.5%	11.8%	
	子のみ同居 (n=194)	26.3%	36.6%	13.4%	7.2%	67.5%	12.9%	20.6%	14.9%	0.5%	1.0%	11.3%	
	その他 (n=163)	22.7%	37.4%	14.1%	6.7%	77.9%	6.1%	17.2%	12.3%	3.1%	0.0%	8.6%	

(16) 高齢者の権利擁護について

問 65 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。(いくつでも)

- ・「成年後見制度」(49.2%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(49.1%)、「市の高齢者支援課」(38.6%)、「担当のケアマネジャー(介護支援専門員)」(32.9%)と続いている。
- ・一方、「知っているものはない」は10.1%となっている。
- ・「地域包括支援センター」は、『非認定者(自立)』(46.6%)よりも『要支援1・2』(64.7%)の割合が高いが、「成年後見制度」は、『要支援1・2』(42.2%)よりも『非認定者(自立)』(57.6%)の割合が高くなっている。



		成年後見制度	地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	高齢者見守りネットワーク	市の高齢者支援課	地域包括支援センター	権利擁護センターふちゅう	地域福祉コーディネーター	消費生活センター	担当のケアマネジャー(介護支援専門員)	その他	知っているものはない	無回答	
全体	(n=2,571)	49.2%	10.1%	26.1%	38.6%	49.1%	3.3%	3.9%	21.4%	32.9%	0.7%	10.1%	11.7%	
要支援認定	非認定者(自立) (n=1,612)	57.6%	11.2%	28.3%	43.1%	46.6%	3.9%	4.3%	25.2%	29.1%	0.9%	10.9%	8.7%	
	要支援1・2 (n=637)	42.2%	8.2%	22.8%	34.2%	64.7%	3.1%	3.5%	16.8%	49.8%	0.3%	4.1%	10.7%	
性別	男性 (n=1,015)	48.1%	7.4%	20.8%	40.7%	38.8%	2.9%	2.5%	18.8%	23.3%	0.9%	13.5%	11.9%	
	女性 (n=1,484)	50.9%	11.9%	30.1%	37.5%	56.6%	3.8%	4.9%	23.7%	40.2%	0.7%	7.7%	10.8%	
年齢	65～69歳 (n=504)	58.1%	10.5%	27.4%	38.3%	47.2%	4.2%	4.8%	25.2%	36.9%	0.2%	12.5%	7.3%	
	70～74歳 (n=566)	58.7%	12.2%	32.0%	41.9%	46.6%	4.2%	4.8%	27.0%	30.4%	0.4%	12.2%	8.5%	
	75～79歳 (n=573)	47.5%	9.9%	26.5%	41.2%	50.6%	1.6%	2.1%	21.5%	28.3%	1.0%	8.0%	11.3%	
	80～84歳 (n=464)	40.9%	8.6%	21.3%	35.8%	46.8%	4.1%	4.7%	18.5%	30.6%	1.1%	9.7%	17.9%	
	85～89歳 (n=336)	40.8%	8.6%	21.1%	35.1%	55.4%	3.6%	3.0%	14.6%	40.2%	0.9%	6.5%	14.9%	
	90歳以上 (n=103)	32.0%	7.8%	20.4%	32.0%	55.3%	1.0%	3.9%	8.7%	42.7%	1.9%	10.7%	13.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=480)	52.1%	7.1%	23.8%	38.1%	34.8%	2.9%	2.9%	20.0%	24.2%	0.4%	17.5%	8.8%
		75～84歳 (n=404)	46.3%	7.9%	18.3%	44.1%	38.9%	3.2%	2.5%	19.3%	19.3%	1.2%	11.1%	14.1%
		85歳以上 (n=130)	39.2%	6.9%	17.7%	40.0%	53.8%	1.5%	0.8%	13.1%	32.3%	1.5%	6.2%	16.2%
	女性	65～74歳 (n=580)	64.0%	14.8%	35.0%	41.7%	57.1%	5.2%	6.2%	31.4%	41.4%	0.2%	8.1%	7.1%
		75～84歳 (n=605)	44.1%	10.4%	28.8%	35.7%	56.0%	2.5%	3.8%	21.3%	36.4%	1.0%	7.4%	13.4%
		85歳以上 (n=293)	39.2%	9.2%	22.5%	32.8%	56.7%	3.8%	4.4%	13.7%	46.1%	1.0%	7.8%	13.3%
家族構成	1人暮らし (n=658)	43.3%	10.9%	28.3%	36.9%	52.4%	3.6%	4.1%	17.6%	37.4%	0.8%	9.1%	12.9%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	54.4%	9.7%	24.9%	41.4%	47.4%	4.0%	3.8%	23.9%	29.0%	0.7%	9.8%	11.1%	
	子のみ同居 (n=511)	47.0%	9.6%	24.9%	34.6%	47.2%	2.0%	3.9%	22.9%	30.5%	0.8%	12.3%	12.3%	
	その他 (n=392)	51.5%	9.7%	27.6%	41.1%	50.5%	3.3%	3.3%	20.9%	38.3%	0.8%	9.2%	9.4%	

問 66 最後に、市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、全体で 850 件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
制度、サービス、事業について	238
現状や将来について	98
アンケートを回答しての感想	93
情報提供、周知について	49
入所施設について	37
相談窓口、連絡先について	31
保険料について	27
アンケートについての意見	26
交通・移動支援について	19
まちづくりについて	8
国や社会全体に対する意見	8
住居について	7
手続きについて	6
人材について	5
地域活動、ボランティア活動	5
災害対応	5
権利擁護	1
その他	24
わからない・特になし	163

1 - 2 テーマ別分析（生活機能の地域・基本属性別分析）

（1）基本属性の比較

<家族構成（F4）>

「1人暮らし」の割合は、

- ・日常生活圏域別では、6ポイントの差《第6地区（21.6%）～第5地区（27.6%）》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、8.5ポイントの差《よつや苑（20.6%）～しみずがおか・安立園（ともに29.1%）》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、8.9ポイントの差《四谷文化センター（20.0%）～中央文化センター（28.9%）》がみられる。

		1人暮らし	夫婦2人暮らし	子のみと同居（配偶者及び子のみと同居している場合を含む）	上記以外との同居・その他	無回答
市全体 (n=2,571)		25.6%	37.3%	19.9%	15.2%	2.0%
地区別 （日常生活圏域・地域包括支援センターエリア）	第1地区 (n=434)	26.3%	35.7%	18.7%	17.3%	2.1%
	あさひ苑 (n=255)	27.5%	32.9%	19.2%	17.6%	2.7%
	緑苑 (n=179)	24.6%	39.7%	17.9%	16.8%	1.1%
	第2地区 (n=416)	26.9%	34.9%	21.9%	14.2%	2.2%
	これまさ (n=162)	23.5%	29.6%	27.2%	18.5%	1.2%
	しみずがおか (n=254)	29.1%	38.2%	18.5%	11.4%	2.8%
	第3地区 (n=408)	26.5%	39.7%	18.1%	14.7%	1.0%
	しんまち (n=174)	23.0%	39.1%	19.5%	16.1%	2.3%
	安立園 (n=234)	29.1%	40.2%	17.1%	13.7%	0.0%
	第4地区 (n=418)	25.1%	38.5%	22.0%	12.7%	1.7%
	かたまち (n=269)	23.4%	37.5%	22.7%	14.9%	1.5%
	みなみ町 (n=149)	28.2%	40.3%	20.8%	8.7%	2.0%
	第5地区 (n=416)	27.6%	37.5%	15.6%	17.3%	1.9%
	泉苑 (n=339)	28.0%	38.9%	15.0%	15.9%	2.1%
にしふ (n=154)	26.0%	31.2%	20.1%	21.4%	1.3%	
第6地区 (n=416)	21.6%	38.9%	22.8%	16.1%	0.5%	
にしふ (n=154)	26.0%	31.2%	20.1%	21.4%	1.3%	
よつや苑 (n=339)	20.6%	40.7%	23.0%	15.3%	0.3%	
（参考） 文化センター圏域別	中央文化センター (n=349)	28.9%	38.1%	16.9%	15.8%	0.3%
	白糸台文化センター (n=222)	28.4%	37.8%	14.4%	16.2%	3.2%
	西府文化センター (n=152)	25.7%	33.6%	19.7%	19.7%	1.3%
	武蔵台文化センター (n=233)	24.0%	41.6%	16.3%	15.0%	3.0%
	新町文化センター (n=273)	24.2%	39.6%	19.8%	15.0%	1.5%
	住吉文化センター (n=325)	25.2%	43.1%	19.4%	11.4%	0.9%
	是政文化センター (n=191)	27.7%	27.7%	26.7%	16.2%	1.6%
	紅葉丘文化センター (n=187)	24.1%	33.7%	23.0%	16.6%	2.7%
	押立文化センター (n=97)	23.7%	45.4%	18.6%	10.3%	2.1%
	四谷文化センター (n=135)	20.0%	32.6%	28.9%	17.8%	0.7%
片町文化センター (n=344)	25.9%	36.0%	20.6%	16.3%	1.2%	

<介護の必要性(問3)>

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」を合わせた割合は、

- ・日常生活圏域別では、7.7ポイントの差《第1地区(20.0%)~第3地区(27.7%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、9.2ポイントの差《緑苑(19.5%)~しんまち(28.7%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、6.1ポイントの差《押立文化センター(19.6%)~是政文化センター(25.7%)》がみられる。

		介護・介助は 必要ない	何らかの介 護・介助は必 要だが、現在 は受けていな い	現在、何らか の介護を受け ている(介護 認定を受けず に家族などの 介護を受けて いる場合も含 む)	無回答	【再掲】 介護・介助 が必要
市全体 (n=2,571)		71.9%	11.2%	11.4%	5.5%	22.6%
地区別 (日常生活 圏域・地域 包括支援 センター エリア)	第1地区 (n=434)	75.8%	9.2%	10.8%	4.1%	20.0%
	あさひ苑 (n=255)	74.5%	9.4%	11.0%	5.1%	20.4%
	緑苑 (n=179)	77.7%	8.9%	10.6%	2.8%	19.5%
	第2地区 (n=416)	70.9%	13.7%	10.3%	5.0%	24.0%
	これまさ (n=162)	69.1%	14.2%	11.7%	4.9%	25.9%
	しみずがおか (n=254)	72.0%	13.4%	9.4%	5.1%	22.8%
	第3地区 (n=408)	66.9%	12.7%	15.0%	5.4%	27.7%
	しんまち (n=174)	63.2%	12.6%	16.1%	8.0%	28.7%
	安立園 (n=234)	69.7%	12.8%	14.1%	3.4%	26.9%
	第4地区 (n=418)	74.4%	11.0%	9.8%	4.8%	20.8%
	かたまち (n=269)	75.8%	11.5%	9.3%	3.3%	20.8%
	みなみ町 (n=149)	71.8%	10.1%	10.7%	7.4%	20.8%
	第5地区 (n=416)	73.1%	10.8%	11.1%	5.0%	21.9%
	泉苑 (n=339)	72.3%	10.9%	11.2%	5.6%	22.1%
	にしふ (n=154)	72.1%	11.0%	11.7%	5.2%	22.7%
	第6地区 (n=416)	71.9%	10.3%	11.8%	6.0%	22.1%
にしふ (n=154)	72.1%	11.0%	11.7%	5.2%	22.7%	
よつや苑 (n=339)	72.9%	10.0%	11.5%	5.6%	21.5%	
(参考) 文化 センター 圏域別	中央文化センター (n=349)	71.3%	13.8%	11.5%	3.4%	25.3%
	白糸台文化センター (n=222)	71.6%	14.0%	10.8%	3.6%	24.8%
	西府文化センター (n=152)	73.7%	11.2%	11.2%	3.9%	22.4%
	武蔵台文化センター (n=233)	73.8%	9.4%	10.3%	6.4%	19.7%
	新町文化センター (n=273)	68.1%	10.3%	14.7%	7.0%	25.0%
	住吉文化センター (n=325)	71.1%	11.7%	9.8%	7.4%	21.5%
	是政文化センター (n=191)	69.1%	14.7%	11.0%	5.2%	25.7%
	紅葉丘文化センター (n=187)	74.3%	7.5%	12.3%	5.9%	19.8%
	押立文化センター (n=97)	77.3%	10.3%	9.3%	3.1%	19.6%
	四谷文化センター (n=135)	74.1%	7.4%	13.3%	5.2%	20.7%
	片町文化センター (n=344)	74.4%	10.8%	11.3%	3.5%	22.1%

<住まいの種類(問6)>

民間賃貸住宅の割合は、

- ・日常生活圏域別では、6.5ポイントの差《第5地区(7.9%)~第2地区(14.4%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、13.3ポイントの差《しんまち(2.9%)~しみずがおか(16.2%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、15.9ポイントの差《新町文化センター(4.4%)~白糸台文化センター(20.3%)》がみられる。

		持ち家の 一戸建て	持ち家の 集合住宅	民間賃貸 住宅(一 戸建て)	民間賃貸 住宅(集 合住宅)	公的賃貸 住宅(都 営住宅、 市営住 宅、高齢 者住宅や すらぎな ど)	高齢者向 け住宅 (有料老 人ホー ム、サー ビス付き 高齢者向 け住宅)	その他	無回答	【再掲】 持ち家	【再掲】 民間賃貸
市全体 (n=2,571)		56.5%	20.4%	1.3%	10.2%	7.5%	0.7%	2.4%	1.1%	76.9%	11.5%
地区別 (日常生活 圏域・地域 包括支援 センター エリア)	第1地区 (n=434)	61.1%	16.4%	1.8%	11.5%	4.6%	1.6%	2.8%	0.2%	77.5%	13.3%
	あさひ苑 (n=255)	66.3%	10.2%	2.4%	10.2%	5.1%	2.4%	3.1%	0.4%	76.5%	12.6%
	緑苑 (n=179)	53.6%	25.1%	1.1%	13.4%	3.9%	0.6%	2.2%	0.0%	78.7%	14.5%
	第2地区 (n=416)	46.9%	28.4%	1.2%	13.2%	4.3%	0.2%	4.3%	1.4%	75.3%	14.4%
	これまさ (n=162)	56.8%	25.3%	1.2%	10.5%	3.7%	0.0%	1.2%	1.2%	82.1%	11.7%
	しみずがおか (n=254)	40.6%	30.3%	1.2%	15.0%	4.7%	0.4%	6.3%	1.6%	70.9%	16.2%
	第3地区 (n=408)	61.5%	17.9%	0.7%	7.4%	9.8%	0.0%	2.0%	0.7%	79.4%	8.1%
	しんまち (n=174)	75.3%	6.3%	0.0%	2.9%	13.8%	0.0%	1.7%	0.0%	81.6%	2.9%
	安立園 (n=234)	51.3%	26.5%	1.3%	10.7%	6.8%	0.0%	2.1%	1.3%	77.8%	12.0%
	第4地区 (n=418)	43.3%	27.0%	1.2%	9.8%	15.8%	0.0%	2.2%	0.7%	70.3%	11.0%
	かたまち (n=269)	40.5%	39.4%	0.7%	11.9%	4.1%	0.0%	2.6%	0.7%	79.9%	12.6%
	みなみ町 (n=149)	48.3%	4.7%	2.0%	6.0%	36.9%	0.0%	1.3%	0.7%	53.0%	8.0%
	第5地区 (n=416)	64.7%	16.1%	1.2%	6.7%	8.2%	0.5%	1.4%	1.2%	80.8%	7.9%
	泉苑 (n=339)	60.8%	19.5%	1.5%	7.1%	8.6%	0.0%	1.5%	1.2%	80.3%	8.6%
にしふ (n=154)	76.0%	6.5%	0.6%	8.4%	3.9%	1.3%	1.3%	1.9%	82.5%	9.0%	
第6地区 (n=416)	60.3%	19.2%	1.7%	11.8%	3.1%	1.4%	1.7%	0.7%	79.5%	13.5%	
にしふ (n=154)	76.0%	6.5%	0.6%	8.4%	3.9%	1.3%	1.3%	1.9%	82.5%	9.0%	
よつや苑 (n=339)	58.1%	20.9%	1.8%	11.8%	3.5%	1.8%	1.8%	0.3%	79.0%	13.6%	
(参考) 文化 センター 圏域別	中央文化センター (n=349)	40.4%	34.7%	1.4%	12.0%	6.9%	0.3%	2.9%	1.4%	75.1%	13.4%
	白糸台文化センター (n=222)	50.9%	22.1%	2.3%	18.0%	1.8%	0.9%	3.2%	0.9%	73.0%	20.3%
	西府文化センター (n=152)	68.4%	15.1%	0.0%	7.9%	3.9%	1.3%	1.3%	2.0%	83.5%	7.9%
	武蔵台文化センター (n=233)	76.4%	8.6%	1.7%	4.7%	5.6%	0.0%	1.7%	1.3%	85.0%	6.4%
	新町文化センター (n=273)	72.2%	12.1%	0.0%	4.4%	9.9%	0.0%	1.5%	0.0%	84.3%	4.4%
	住吉文化センター (n=325)	48.6%	17.5%	1.8%	8.0%	19.7%	1.8%	2.2%	0.3%	66.1%	9.8%
	是政文化センター (n=191)	56.0%	23.0%	2.1%	12.0%	3.1%	0.0%	2.1%	1.6%	79.0%	14.1%
	紅葉丘文化センター (n=187)	71.7%	5.9%	1.6%	8.0%	7.5%	2.1%	2.7%	0.5%	77.6%	9.6%
	押立文化センター (n=97)	27.8%	42.3%	0.0%	8.2%	9.3%	1.0%	10.3%	1.0%	70.1%	8.2%
	四谷文化センター (n=135)	73.3%	10.4%	3.0%	10.4%	2.2%	0.0%	0.0%	0.7%	83.7%	13.4%
片町文化センター (n=344)	44.8%	31.7%	0.6%	14.5%	6.1%	0.0%	2.0%	0.3%	76.5%	15.1%	

(2) 生活機能等の結果の比較

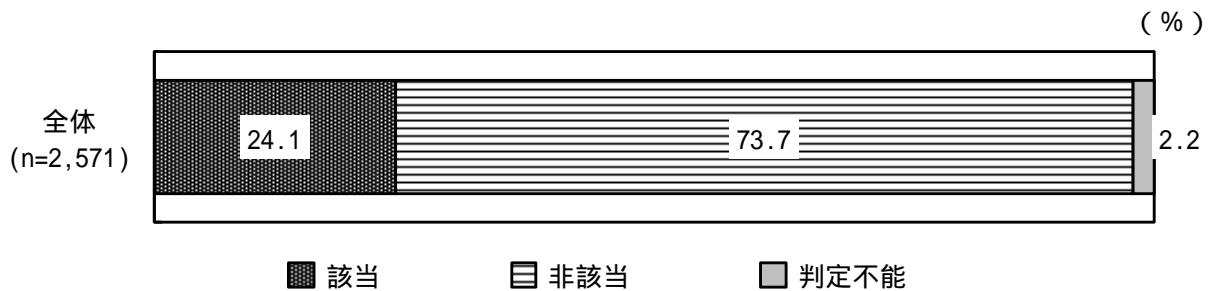
本アンケート調査の設問項目は、高齢者の生活機能等の状況を把握するための項目を盛り込んでい
る。回答結果をもとに、地域・基本属性別の分析を行った。

<運動器機能>

運動器機能の低下のおそれについて、次の設問の回答結果をもとに分析を行った。

問番号	設問内容	該当する選択肢(3問以上)
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇ること	「できない」
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるこ と	「できない」
問10	15分位続けて歩くこと	「できない」
問11	過去1年間の転んだ経験	「何度もある」「1度ある」
問12	転倒に対する不安	「とても不安である」 「やや不安である」

- ・「該当」する割合は、年齢が高くなるほど割合が高くなっており、特に『女性・85歳以上』(61.4%)で高くなっている。



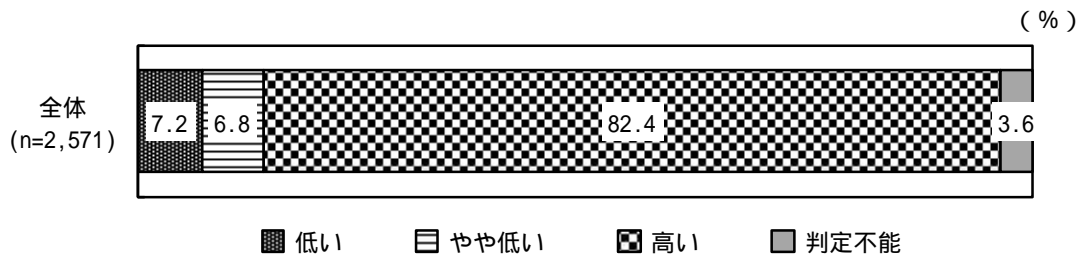
		該当	非該当	判定不能	
全 体 (n=2,571)		24.1%	73.7%	2.2%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	7.8%	91.1%	1.1%	
	要支援1・2 (n=637)	62.5%	34.4%	3.1%	
性別	男性 (n=1,015)	16.5%	82.3%	1.3%	
	女性 (n=1,484)	28.6%	69.0%	2.4%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	5.8%	93.3%	1.0%	
	70～74歳 (n=566)	10.2%	89.0%	0.7%	
	75～79歳 (n=573)	20.9%	77.3%	1.7%	
	80～84歳 (n=464)	33.8%	62.7%	3.4%	
	85～89歳 (n=336)	54.2%	41.7%	4.2%	
	90歳以上 (n=103)	65.0%	31.1%	3.9%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	7.1%	92.5%	0.4%
		75～84歳 (n=404)	17.8%	80.0%	2.2%
		85歳以上 (n=130)	46.9%	51.5%	1.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	8.8%	90.2%	1.0%
		75～84歳 (n=605)	31.4%	66.1%	2.5%
		85歳以上 (n=293)	61.4%	33.8%	4.8%
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	1.6%	97.4%	1.0%	
	まあよい (n=1,508)	15.2%	83.2%	1.7%	
	あまりよくない (n=545)	48.1%	49.7%	2.2%	
	よくない (n=128)	71.9%	24.2%	3.9%	
治療中の 病気等	ない (n=329)	4.9%	93.9%	1.2%	
	ある (n=2,102)	27.3%	70.6%	2.0%	

<手段的日常生活動作 (I A D L) >

手段的日常生活動作 (I A D L) の低下のおそれについて、次の設問の回答結果をもとに分析を行った。

問番号	設問内容	評価・分析			
問 20	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している できるけどしていない	1点	できない	0点
問 21	自分で食品・日用品の買物をしていま すか	できるし、している できるけどしていない	1点	できない	0点
問 22	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している できるけどしていない	1点	できない	0点
問 23	自分で請求書の支払いをしています か	できるし、している できるけどしていない	1点	できない	0点
問 24	自分で預貯金の出し入れをしていま すか	できるし、している できるけどしていない	1点	できない	0点
		合計点数(5項目) 3点以下:低い 4点:やや低い 5点:高い			

- ・手段的日常生活動作 (I A D L) の評価が低い (低下のおそれのある3点以下) 割合は、年齢が高くなるほど割合が高くなっており、特に85歳以上で高くなっている。また、85歳以上では、「女性」(17.7%)よりも「男性」(23.1%)での割合が高くなっている。



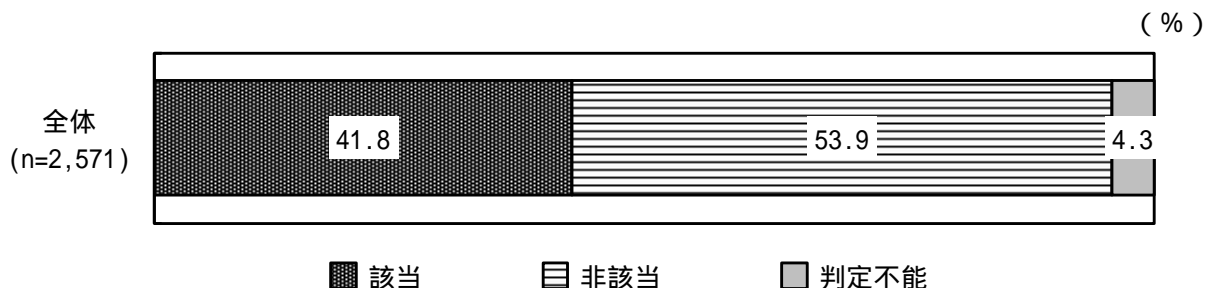
		低い	やや低い	高い	判定不能	
全 体 (n=2,571)		7.2%	6.8%	82.4%	3.6%	
要支援 認定	非認定者(自立) (n=1,612)	2.0%	4.3%	92.1%	1.6%	
	要支援1・2 (n=637)	20.3%	12.1%	62.3%	5.3%	
性別	男性 (n=1,015)	7.9%	10.0%	79.3%	2.8%	
	女性 (n=1,484)	6.7%	4.6%	85.0%	3.6%	
年 齢	65～69歳 (n=504)	2.0%	2.8%	94.0%	1.2%	
	70～74歳 (n=566)	3.7%	5.3%	89.0%	1.9%	
	75～79歳 (n=573)	4.7%	6.8%	84.5%	4.0%	
	80～84歳 (n=464)	8.8%	9.3%	76.7%	5.2%	
	85～89歳 (n=336)	17.3%	10.7%	67.3%	4.8%	
	90歳以上 (n=103)	25.2%	10.7%	55.3%	8.7%	
性別 × 年 齢	男性	65～74歳 (n=480)	4.6%	7.3%	86.0%	2.1%
		75～84歳 (n=404)	6.9%	12.9%	76.2%	4.0%
		85歳以上 (n=130)	23.1%	11.5%	63.8%	1.5%
	女性	65～74歳 (n=580)	1.6%	1.6%	95.7%	1.2%
		75～84歳 (n=605)	6.0%	4.6%	85.5%	4.0%
		85歳以上 (n=293)	17.7%	10.9%	63.5%	7.8%
家族構成	1人暮らし (n=658)	5.5%	5.3%	84.2%	5.0%	
	夫婦2人暮らし (n=959)	6.4%	6.3%	84.8%	2.6%	
	子のみと同居 (n=511)	9.2%	8.2%	79.6%	2.9%	
	その他 (n=392)	8.9%	8.4%	80.1%	2.6%	
主観的 健康感	とてもよい (n=310)	0.3%	3.9%	93.5%	2.3%	
	まあよい (n=1,508)	4.0%	4.9%	89.1%	2.0%	
	あまりよくない (n=545)	13.6%	12.5%	68.4%	5.5%	
	よくない (n=128)	33.6%	11.7%	47.7%	7.0%	

<うつ傾向>

うつ傾向のおそれについて、次の設問の回答結果をもとに分析を行った。

問番号	設問内容	該当する選択肢（1問以上）
問 50	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問 51	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「はい」

- ・「該当」する割合は、主観的健康感が『よくない』ほど高くなっている。年齢別にみると、『85～89歳』（50.3%）での割合がやや高くなっているものの、年齢による大きな差はみられない。



		該当	非該当	判定不能	無回答	
全 体	(n=2,571)	41.8%	53.9%	4.3%	0.0%	
要支援 認定	非認定者(自立)	(n=1,612) 36.0%	61.5%	2.5%	0.0%	
	要支援 1・2	(n=637) 53.2%	40.3%	6.4%	0.0%	
性別	男性	(n=1,015) 37.0%	60.2%	2.8%	0.0%	
	女性	(n=1,484) 44.8%	50.5%	4.6%	0.0%	
年齢	65～69歳	(n=504) 39.1%	59.1%	1.8%	0.0%	
	70～74歳	(n=566) 39.2%	58.1%	2.7%	0.0%	
	75～79歳	(n=573) 39.1%	57.8%	3.1%	0.0%	
	80～84歳	(n=464) 43.1%	49.6%	7.3%	0.0%	
	85～89歳	(n=336) 50.3%	44.0%	5.7%	0.0%	
	90歳以上	(n=103) 46.6%	43.7%	9.7%	0.0%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=480) 36.3%	62.3%	1.5%	0.0%
		75～84歳	(n=404) 35.4%	60.6%	4.0%	0.0%
		85歳以上	(n=130) 44.6%	51.5%	3.8%	0.0%
	女性	65～74歳	(n=580) 41.4%	55.7%	2.9%	0.0%
		75～84歳	(n=605) 44.3%	50.7%	5.0%	0.0%
		85歳以上	(n=293) 51.9%	40.6%	7.5%	0.0%
家族構成	1人暮らし	(n=658) 47.6%	47.4%	5.0%	0.0%	
	夫婦2人暮らし	(n=959) 37.7%	59.5%	2.7%	0.0%	
	子のみ同居	(n=511) 41.7%	53.0%	5.3%	0.0%	
	その他	(n=392) 41.6%	55.1%	3.3%	0.0%	
経済的 状況	苦しい	(n=615) 57.6%	37.7%	4.7%	0.0%	
	ふつう	(n=1,628) 37.2%	58.5%	4.2%	0.0%	
	ゆとりがある	(n=282) 32.3%	66.3%	1.4%	0.0%	
主観的 健康感	とてもよい	(n=310) 18.1%	80.6%	1.3%	0.0%	
	まあよい	(n=1,508) 34.9%	62.3%	2.9%	0.0%	
	あまりよくない	(n=545) 67.2%	30.3%	2.6%	0.0%	
	よくない	(n=128) 85.9%	13.3%	0.8%	0.0%	
主観的 幸福感	不幸(0～2点)	(n=43) 93.0%	2.3%	4.7%	0.0%	
	やや不幸(3～4点)	(n=131) 77.9%	20.6%	1.5%	0.0%	
	どちらでもない(5点)	(n=421) 58.4%	39.4%	2.1%	0.0%	
	やや幸福(6～7点)	(n=640) 47.7%	50.0%	2.3%	0.0%	
	幸福(8～10点)	(n=1,195) 28.5%	69.7%	1.8%	0.0%	
治療中の 病気等	ない	(n=329) 27.7%	69.9%	2.4%	0.0%	
	ある	(n=2,102) 44.6%	51.6%	3.8%	0.0%	
生きがい	生きがいあり	(n=1,315) 36.4%	61.1%	2.5%	0.0%	
	思いつかない	(n=949) 51.3%	45.6%	3.1%	0.0%	

(3) 地域の取組等の結果の比較

<介護予防のための通いの場（地域交流体操、その他自主グループなど）への参加の状況（問25）>

「月1回以上」の割合は、

- ・日常生活圏域別では、4.1ポイントの差《第3地区（10.8%）～第2地区（14.9%）》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、8.8ポイントの差《しんまち（8.6%）～しみずがおか（17.4%）》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、7.4ポイントの差《新町文化センター（8.0%）～片町文化センター（15.4%）》がみられる。

		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	【再掲】 月に1回以上
市全体 (n=2,571)		1.1%	3.0%	5.9%	2.9%	1.8%	60.1%	25.2%	12.9%
地区別 (日常生活 圏域・地域 包括支援 センター エリア)	第1地区 (n=434)	0.7%	2.3%	6.5%	2.1%	2.5%	59.2%	26.7%	11.6%
	あさひ苑 (n=255)	0.8%	2.0%	6.7%	2.0%	2.0%	58.4%	28.2%	11.5%
	緑苑 (n=179)	0.6%	2.8%	6.1%	2.2%	3.4%	60.3%	24.6%	11.7%
	第2地区 (n=416)	1.2%	2.6%	8.7%	2.4%	2.6%	58.7%	23.8%	14.9%
	これまさ (n=162)	0.6%	3.1%	5.6%	1.9%	2.5%	59.3%	27.2%	11.2%
	しみずがおか (n=254)	1.6%	2.4%	10.6%	2.8%	2.8%	58.3%	21.7%	17.4%
	第3地区 (n=408)	1.0%	2.2%	3.4%	4.2%	1.2%	63.2%	24.8%	10.8%
	しんまち (n=174)	1.1%	2.9%	1.7%	2.9%	1.7%	61.5%	28.2%	8.6%
	安立園 (n=234)	0.9%	1.7%	4.7%	5.1%	0.9%	64.5%	22.2%	12.4%
	第4地区 (n=418)	1.2%	4.1%	5.7%	2.6%	1.9%	59.6%	24.9%	13.6%
	かたまち (n=269)	1.1%	4.8%	5.2%	2.6%	2.2%	60.6%	23.4%	13.7%
	みなみ町 (n=149)	1.3%	2.7%	6.7%	2.7%	1.3%	57.7%	27.5%	13.4%
	第5地区 (n=416)	1.7%	2.9%	4.6%	2.9%	1.2%	63.2%	23.6%	12.1%
	泉苑 (n=339)	1.5%	3.2%	3.8%	2.7%	0.9%	65.5%	22.4%	11.2%
にしふ (n=154)	1.3%	1.3%	5.8%	2.6%	1.3%	59.7%	27.9%	11.0%	
第6地区 (n=416)	0.7%	3.6%	6.3%	3.4%	1.7%	59.4%	25.0%	14.0%	
にしふ (n=154)	1.3%	1.3%	5.8%	2.6%	1.3%	59.7%	27.9%	11.0%	
よつや苑 (n=339)	0.9%	4.1%	6.8%	3.8%	2.1%	57.8%	24.5%	15.6%	
(参考) 文化 センター 圏域別	中央文化センター (n=349)	0.9%	2.3%	6.3%	3.7%	2.3%	59.9%	24.6%	13.2%
	白糸台文化センター (n=222)	2.3%	1.8%	8.1%	1.8%	3.6%	60.4%	22.1%	14.0%
	西府文化センター (n=152)	1.3%	1.3%	5.9%	2.6%	1.3%	60.5%	27.0%	11.1%
	武蔵台文化センター (n=233)	1.7%	3.0%	2.6%	2.1%	0.9%	69.1%	20.6%	9.4%
	新町文化センター (n=273)	1.1%	2.2%	1.8%	2.9%	1.5%	63.4%	27.1%	8.0%
	住吉文化センター (n=325)	1.2%	4.0%	7.1%	2.8%	1.2%	56.0%	27.7%	15.1%
	是政文化センター (n=191)	0.0%	4.2%	8.4%	2.1%	1.6%	58.1%	25.7%	14.7%
	紅葉丘文化センター (n=187)	0.0%	2.7%	4.8%	3.2%	1.6%	57.8%	29.9%	10.7%
	押立文化センター (n=97)	1.0%	1.0%	8.2%	3.1%	3.1%	61.9%	21.6%	13.3%
	四谷文化センター (n=135)	0.0%	2.2%	5.9%	6.7%	1.5%	58.5%	25.2%	14.8%
片町文化センター (n=344)	1.5%	4.9%	6.7%	2.3%	2.3%	60.8%	21.5%	15.4%	

<生きがいの有無(問32)>

「生きがいあり」の割合は、

- ・日常生活圏域別では、6.1ポイントの差《第2地区(47.8%)～第1地区(53.9%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、13.3ポイントの差《にしふ(44.2%)～緑苑(57.5%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、16.3ポイントの差《西府文化センター(42.1%)～武蔵台文化センター(58.4%)》がみられる。

		生きがいあり	思いつかない	無回答
市全体 (n=2,571)		51.1%	36.9%	11.9%
地区別 (日常生活圏域・地域包括支援センターエリア)	第1地区 (n=434)	53.9%	36.2%	9.9%
	あさひ苑 (n=255)	51.4%	40.0%	8.6%
	緑苑 (n=179)	57.5%	30.7%	11.7%
	第2地区 (n=416)	47.8%	38.7%	13.5%
	これまさ (n=162)	46.9%	36.4%	16.7%
	しみずがおか (n=254)	48.4%	40.2%	11.4%
	第3地区 (n=408)	52.5%	34.1%	13.5%
	しんまち (n=174)	51.1%	31.6%	17.2%
	安立園 (n=234)	53.4%	35.9%	10.7%
	第4地区 (n=418)	51.4%	38.0%	10.5%
	かたまち (n=269)	50.6%	39.8%	9.7%
	みなみ町 (n=149)	53.0%	34.9%	12.1%
	第5地区 (n=416)	52.9%	37.0%	10.1%
	泉苑 (n=339)	55.2%	35.1%	9.7%
	にしふ (n=154)	44.2%	42.9%	13.0%
	第6地区 (n=416)	48.3%	39.9%	11.8%
	にしふ (n=154)	44.2%	42.9%	13.0%
	よつや苑 (n=339)	49.0%	39.8%	11.2%
(参考)文化センター圏域別	中央文化センター (n=349)	51.6%	37.2%	11.2%
	白糸台文化センター (n=222)	50.9%	39.6%	9.5%
	西府文化センター (n=152)	42.1%	44.7%	13.2%
	武蔵台文化センター (n=233)	58.4%	33.5%	8.2%
	新町文化センター (n=273)	52.7%	31.1%	16.1%
	住吉文化センター (n=325)	48.6%	39.1%	12.3%
	是政文化センター (n=191)	47.1%	36.1%	16.8%
	紅葉丘文化センター (n=187)	53.5%	39.0%	7.5%
	押立文化センター (n=97)	51.5%	37.1%	11.3%
	四谷文化センター (n=135)	53.3%	39.3%	7.4%
	片町文化センター (n=344)	51.2%	37.5%	11.3%

<認知症の相談窓口の認知度(問36)>

「はい(知っている)」割合は、

- ・日常生活圏域別では、8.5ポイントの差《第6地区(26.2%)~第4地区(34.7%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、9.0ポイントの差《あさひ苑(25.9%)~みなみ町(34.9%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、12.5ポイントの差《四谷文化センター(21.5%)~片町文化センター(34.0%)》がみられる。

		はい	いいえ	無回答
市全体 (n=2,571)		30.8%	65.5%	3.7%
地区別 (日常生活圏域・地域包括支援センターエリア)	第1地区 (n=434)	28.6%	67.7%	3.7%
	あさひ苑 (n=255)	25.9%	69.8%	4.3%
	緑苑 (n=179)	32.4%	64.8%	2.8%
	第2地区 (n=416)	32.0%	64.7%	3.4%
	これまさ (n=162)	32.7%	64.2%	3.1%
	しみずがおか (n=254)	31.5%	65.0%	3.5%
	第3地区 (n=408)	30.6%	65.2%	4.2%
	しんまち (n=174)	30.5%	64.9%	4.6%
	安立園 (n=234)	30.8%	65.4%	3.8%
	第4地区 (n=418)	34.7%	61.5%	3.8%
	かたまち (n=269)	34.6%	62.1%	3.3%
	みなみ町 (n=149)	34.9%	60.4%	4.7%
	第5地区 (n=416)	32.7%	64.9%	2.4%
	泉苑 (n=339)	33.3%	64.3%	2.4%
にしふ (n=154)	27.3%	69.5%	3.2%	
第6地区 (n=416)	26.2%	70.2%	3.6%	
にしふ (n=154)	27.3%	69.5%	3.2%	
よつや苑 (n=339)	26.5%	69.9%	3.5%	
(参考)文化センター圏域別	中央文化センター (n=349)	28.4%	69.1%	2.6%
	白糸台文化センター (n=222)	27.9%	66.7%	5.4%
	西府文化センター (n=152)	29.6%	67.1%	3.3%
	武蔵台文化センター (n=233)	33.9%	63.5%	2.6%
	新町文化センター (n=273)	32.2%	63.0%	4.8%
	住吉文化センター (n=325)	31.4%	64.3%	4.3%
	是政文化センター (n=191)	32.5%	64.9%	2.6%
	紅葉丘文化センター (n=187)	30.5%	66.3%	3.2%
	押立文化センター (n=97)	33.0%	62.9%	4.1%
	四谷文化センター (n=135)	21.5%	75.6%	3.0%
	片町文化センター (n=344)	34.0%	63.1%	2.9%

<認知症予防の啓発活動への参加状況(問39)>

認知症サポーター「ささえ隊」養成講座に「参加したことがある」割合は、

- ・日常生活圏域別では、3.2ポイントの差《第1地区(3.5%)～第5地区(6.7%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、4.6ポイントの差《かたまち(2.2%)～泉苑(6.8%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、4.3ポイントの差《紅葉丘文化センター(2.1%)～武蔵台文化センター(6.4%)》がみられる。

認知症に関する講演会やシンポジウムに「参加したことがある」割合は、

- ・日常生活圏域別では、3.7ポイントの差《第1地区(3.7%)～第3地区(7.4%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、4.3ポイントの差《にしふ(3.2%)～しんまち(7.5%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、3.5ポイントの差《西府文化センター(3.9%)～中央文化センター(7.4%)》がみられる。

	認知症サポーター「ささえ隊」養成講座				問39 認知症に関する講演会やシンポジウム			
	参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らない	無回答	参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らない	無回答
市全体 (n=2,571)	4.5%	26.4%	57.4%	11.6%	5.4%	31.5%	50.2%	13.0%
地区別 (日常生活圏域・地域包括支援センターエリア)	第1地区 (n=434)	3.5%	27.2%	60.8%	8.5%	35.0%	50.5%	10.8%
	あさひ苑 (n=255)	3.5%	24.7%	63.5%	8.2%	32.2%	53.3%	10.6%
	緑苑 (n=179)	3.4%	30.7%	57.0%	8.9%	39.1%	46.4%	11.2%
	第2地区 (n=416)	4.1%	25.7%	58.2%	12.0%	30.0%	52.4%	12.5%
	これまさ (n=162)	4.3%	23.5%	59.3%	13.0%	25.3%	55.6%	15.4%
	しみずがおか (n=254)	3.9%	27.2%	57.5%	11.4%	33.1%	50.4%	10.6%
	第3地区 (n=408)	4.9%	23.0%	59.1%	13.0%	30.1%	49.8%	12.7%
	しんまち (n=174)	5.2%	21.3%	56.9%	16.7%	26.4%	47.7%	18.4%
	安立園 (n=234)	4.7%	24.4%	60.7%	10.3%	32.9%	51.3%	8.5%
	第4地区 (n=418)	3.8%	31.6%	51.4%	13.2%	31.8%	46.9%	15.3%
	かたまち (n=269)	2.2%	31.2%	55.0%	11.5%	32.0%	48.7%	13.8%
	みなみ町 (n=149)	6.7%	32.2%	45.0%	16.1%	31.5%	43.6%	18.1%
	第5地区 (n=416)	6.7%	26.0%	56.3%	11.1%	32.0%	50.0%	12.5%
	泉苑 (n=339)	6.8%	26.0%	56.3%	10.9%	32.2%	49.9%	12.1%
	にしふ (n=154)	3.9%	25.3%	59.7%	11.0%	27.9%	54.5%	14.3%
第6地区 (n=416)	4.3%	24.8%	61.3%	9.6%	29.6%	53.8%	11.3%	
にしふ (n=154)	3.9%	25.3%	59.7%	11.0%	27.9%	54.5%	14.3%	
よつや苑 (n=339)	5.0%	24.8%	60.8%	9.4%	30.7%	52.8%	10.6%	
(参考)文化センター圏域別	中央文化センター (n=349)	4.3%	24.4%	60.5%	10.9%	31.2%	51.3%	10.0%
	白糸台文化センター (n=222)	4.1%	21.2%	62.6%	12.2%	28.8%	52.7%	14.0%
	西府文化センター (n=152)	5.3%	27.6%	56.6%	10.5%	32.2%	51.3%	12.5%
	武蔵台文化センター (n=233)	6.4%	25.3%	58.4%	9.9%	33.0%	51.1%	11.2%
	新町文化センター (n=273)	4.8%	24.5%	56.8%	13.9%	30.8%	47.3%	16.1%
	住吉文化センター (n=325)	5.2%	30.2%	52.0%	12.6%	31.4%	48.9%	14.5%
	是政文化センター (n=191)	3.1%	23.6%	61.3%	12.0%	26.2%	56.5%	13.1%
	紅葉丘文化センター (n=187)	2.1%	30.5%	60.4%	7.0%	38.0%	49.7%	8.0%
	押立文化センター (n=97)	6.2%	29.9%	55.7%	8.2%	34.0%	52.6%	9.3%
	四谷文化センター (n=135)	5.2%	21.5%	63.7%	9.6%	26.7%	55.6%	12.6%
片町文化センター (n=344)	4.1%	30.2%	53.8%	11.9%	33.1%	46.5%	13.4%	

<近隣に住む人との付き合いの程度(問45)>

「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」割合は、

- ・日常生活圏域別では、2.7ポイントの差《第5地区(1.4%)～第4地区(4.1%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、4.3ポイントの差《しんまち(1.1%)～みなみ町(5.4%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、7ポイントの差《新町文化センター(0.7%)～白糸台文化センター(7.7%)》がみられる。

		個人的なことを相談し合える人がいる	さしさわりのないことなら、話せる人がいる	道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる	あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる	全く交流はなく、近隣に住む人を知らない	無回答
市全体 (n=2,571)		13.0%	42.1%	34.1%	4.9%	3.2%	2.8%
地区別 (日常生活圏域・地域包括支援センターエリア)	第1地区 (n=434)	9.7%	44.5%	35.7%	4.8%	3.9%	1.4%
	あさひ苑 (n=255)	8.2%	45.5%	35.7%	4.3%	4.7%	1.6%
	緑苑 (n=179)	11.7%	43.0%	35.8%	5.6%	2.8%	1.1%
	第2地区 (n=416)	13.5%	39.2%	35.1%	5.5%	3.8%	2.9%
	これまさ (n=162)	13.0%	42.0%	34.6%	4.9%	2.5%	3.1%
	しみずがおか (n=254)	13.8%	37.4%	35.4%	5.9%	4.7%	2.8%
	第3地区 (n=408)	13.0%	37.5%	36.8%	5.9%	3.4%	3.4%
	しんまち (n=174)	14.4%	39.7%	37.9%	3.4%	1.1%	3.4%
	安立園 (n=234)	12.0%	35.9%	35.9%	7.7%	5.1%	3.4%
	第4地区 (n=418)	12.4%	43.8%	31.8%	4.8%	4.1%	3.1%
	かたまち (n=269)	11.5%	44.2%	33.8%	4.5%	3.3%	2.6%
	みなみ町 (n=149)	14.1%	43.0%	28.2%	5.4%	5.4%	4.0%
	第5地区 (n=416)	14.9%	44.2%	34.4%	3.1%	1.4%	1.9%
	泉苑 (n=339)	15.0%	44.0%	35.1%	3.2%	1.5%	1.2%
	にしふ (n=154)	15.6%	44.8%	27.9%	4.5%	1.9%	5.2%
第6地区 (n=416)	12.7%	45.0%	31.5%	5.3%	2.9%	2.6%	
にしふ (n=154)	15.6%	44.8%	27.9%	4.5%	1.9%	5.2%	
よつや苑 (n=339)	11.8%	45.1%	33.0%	5.0%	2.9%	2.1%	
(参考)文化センター圏域別	中央文化センター (n=349)	12.6%	37.2%	35.8%	6.9%	4.6%	2.9%
	白糸台文化センター (n=222)	11.3%	37.4%	37.4%	5.4%	7.7%	0.9%
	西府文化センター (n=152)	13.2%	46.1%	29.6%	3.9%	2.0%	5.3%
	武蔵台文化センター (n=233)	13.7%	43.8%	37.8%	2.6%	1.3%	0.9%
	新町文化センター (n=273)	13.2%	41.8%	36.3%	4.8%	0.7%	3.3%
	住吉文化センター (n=325)	13.2%	43.7%	29.2%	5.8%	4.9%	3.1%
	是政文化センター (n=191)	14.1%	39.3%	34.6%	4.7%	3.7%	3.7%
	紅葉丘文化センター (n=187)	9.1%	48.1%	35.3%	3.7%	1.6%	2.1%
	押立文化センター (n=97)	9.3%	41.2%	35.1%	7.2%	4.1%	3.1%
	四谷文化センター (n=135)	12.6%	47.4%	32.6%	4.4%	1.5%	1.5%
片町文化センター (n=344)	14.0%	44.5%	32.8%	4.1%	2.6%	2.0%	

<介護予防事業等への参加状況(問56)>

「いずれも参加したことがない」割合は、

- ・日常生活圏域別では、8.1ポイントの差《第4地区(59.3%)~第3地区(67.4%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、15.4ポイントの差《みなみ町(57.0%)~しんまち(72.4%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、11.3ポイントの差《片町文化センター(58.7%)~新町文化センター(70.0%)》がみられる。

		ふちゅう元 気アップ体 操(各地域 での介護予 防教室)	地域交流体 操(各地域 でのCD音 源で行う体 操の場)	介護予防推 進センター での介護予 防教室(3 か月教室 等)	介護予防講 座(運動、 栄養、脳ト レーニン グ)	体力測定会	ほっとサロ ン(地域デ イサービ ス)	いずれも参 加したこと がない	無回答
市全体	(n=2,571)	13.5%	5.4%	9.0%	6.0%	12.6%	4.1%	63.1%	8.6%
地区別 (日常生活 圏域・地域 包括支援 センター エリア)	第1地区 (n=434)	13.4%	4.1%	6.9%	5.8%	12.7%	3.9%	65.2%	8.1%
	あさひ苑 (n=255)	12.2%	4.3%	7.1%	5.1%	10.6%	2.7%	67.1%	7.8%
	緑苑 (n=179)	15.1%	3.9%	6.7%	6.7%	15.6%	5.6%	62.6%	8.4%
	第2地区 (n=416)	13.7%	6.7%	6.5%	4.1%	13.0%	3.8%	61.1%	10.8%
	これまさ (n=162)	9.3%	4.9%	5.6%	4.9%	10.5%	3.1%	65.4%	12.3%
	しみずがおか (n=254)	16.5%	7.9%	7.1%	3.5%	14.6%	4.3%	58.3%	9.8%
	第3地区 (n=408)	11.5%	3.7%	5.4%	7.1%	12.0%	2.7%	67.4%	6.9%
	しんまち (n=174)	8.0%	2.3%	5.7%	6.3%	12.1%	2.9%	72.4%	5.7%
	安立園 (n=234)	14.1%	4.7%	5.1%	7.7%	12.0%	2.6%	63.7%	7.7%
	第4地区 (n=418)	14.1%	6.0%	14.4%	6.7%	15.1%	4.8%	59.3%	8.1%
	かたまち (n=269)	13.0%	7.1%	13.4%	6.3%	14.1%	3.7%	60.6%	8.2%
	みなみ町 (n=149)	16.1%	4.0%	16.1%	7.4%	16.8%	6.7%	57.0%	8.1%
	第5地区 (n=416)	14.4%	6.0%	9.9%	6.7%	11.8%	5.5%	60.3%	9.6%
	泉苑 (n=339)	15.0%	5.6%	9.1%	7.4%	13.0%	5.3%	60.2%	10.6%
	にしふ (n=154)	11.0%	5.2%	11.7%	3.2%	5.8%	3.9%	66.2%	7.8%
	第6地区 (n=416)	13.9%	5.8%	11.3%	6.0%	10.8%	3.8%	65.6%	7.2%
	にしふ (n=154)	11.0%	5.2%	11.7%	3.2%	5.8%	3.9%	66.2%	7.8%
	よつや苑 (n=339)	14.7%	6.5%	11.5%	6.8%	12.1%	4.4%	64.3%	6.5%
(参考) 文化 センター 圏域別	中央文化センター (n=349)	14.9%	5.4%	7.2%	8.0%	14.6%	3.7%	61.0%	8.3%
	白糸台文化センター (n=222)	12.6%	6.8%	9.0%	6.8%	14.4%	4.1%	60.4%	9.9%
	西府文化センター (n=152)	13.2%	4.6%	13.2%	5.3%	5.3%	3.9%	63.8%	6.6%
	武蔵台文化センター (n=233)	11.6%	3.9%	6.4%	7.3%	11.2%	5.6%	63.1%	10.3%
	新町文化センター (n=273)	10.6%	2.6%	6.2%	5.9%	11.7%	2.6%	70.0%	6.6%
	住吉文化センター (n=325)	15.7%	4.9%	12.9%	5.8%	15.4%	4.9%	60.9%	7.1%
	是政文化センター (n=191)	11.5%	3.7%	5.2%	4.7%	11.0%	3.1%	62.8%	12.6%
	紅葉丘文化センター (n=187)	12.8%	3.7%	5.9%	3.2%	10.2%	3.2%	67.9%	8.0%
	押立文化センター (n=97)	16.5%	10.3%	3.1%	0.0%	12.4%	4.1%	66.0%	6.2%
	四谷文化センター (n=135)	10.4%	7.4%	7.4%	5.2%	8.9%	4.4%	67.4%	8.1%
片町文化センター (n=344)	16.3%	8.1%	15.7%	7.8%	15.1%	4.9%	58.7%	8.7%	

<災害時に手助けをしてくれる人の有無(問57)>

「いない」割合は、

- ・日常生活圏域別では、3.8ポイントの差《第6地区(8.2%)~第3地区(12.0%)》がみられる。
- ・地域包括支援センター圏域別では、5.9ポイントの差《緑苑(7.3%)~しんまち(13.2%)》がみられる。
- ・文化センター圏域別では、7.8ポイントの差《四谷文化センター(4.4%)~白糸台文化センター(12.2%)》がみられる。

		同居の家族	別居の家族	近所の人	友人・知人	その他	いない	必要ない	無回答
市全体 (n=2,571)		62.3%	34.9%	20.7%	13.1%	2.8%	9.7%	0.8%	3.2%
地区別 (日常生活圏域・地域包括支援センターエリア)	第1地区 (n=434)	64.5%	36.9%	19.1%	9.9%	3.2%	8.8%	1.2%	1.2%
	あさひ苑 (n=255)	63.1%	38.8%	18.8%	9.8%	3.1%	9.8%	1.6%	0.4%
	緑苑 (n=179)	66.5%	34.1%	19.6%	10.1%	3.4%	7.3%	0.6%	2.2%
	第2地区 (n=416)	60.6%	35.8%	19.2%	13.9%	3.8%	8.7%	0.5%	5.0%
	これまさ (n=162)	62.3%	33.3%	18.5%	12.3%	3.1%	8.0%	0.0%	6.8%
	しみずがおか (n=254)	59.4%	37.4%	19.7%	15.0%	4.3%	9.1%	0.8%	3.9%
	第3地区 (n=408)	60.0%	35.0%	23.0%	15.0%	3.7%	12.0%	0.7%	3.9%
	しんまち (n=174)	60.9%	32.8%	26.4%	16.7%	2.3%	13.2%	0.6%	2.3%
	安立園 (n=234)	59.4%	36.8%	20.5%	13.7%	4.7%	11.1%	0.9%	5.1%
	第4地区 (n=418)	64.8%	33.0%	19.9%	12.4%	2.6%	10.0%	1.0%	3.3%
	かたまち (n=269)	66.5%	34.6%	19.3%	13.4%	3.0%	8.9%	1.1%	3.3%
	みなみ町 (n=149)	61.7%	30.2%	20.8%	10.7%	2.0%	12.1%	0.7%	3.4%
	第5地区 (n=416)	60.6%	33.4%	24.8%	13.9%	1.7%	10.6%	0.7%	3.1%
	泉苑 (n=339)	59.6%	36.0%	24.2%	14.5%	1.8%	9.7%	0.9%	3.2%
	にしふ (n=154)	61.7%	29.9%	21.4%	13.6%	1.3%	11.0%	1.3%	1.9%
第6地区 (n=416)	63.5%	36.3%	19.0%	13.7%	2.2%	8.2%	1.0%	1.9%	
にしふ (n=154)	61.7%	29.9%	21.4%	13.6%	1.3%	11.0%	1.3%	1.9%	
よつや苑 (n=339)	64.6%	36.0%	19.8%	13.3%	2.4%	8.3%	0.6%	2.1%	
(参考)文化センター圏域別	中央文化センター (n=349)	58.7%	36.7%	18.6%	11.7%	4.3%	12.0%	0.6%	4.3%
	白糸台文化センター (n=222)	58.6%	38.3%	20.3%	11.3%	1.8%	12.2%	0.9%	2.7%
	西府文化センター (n=152)	63.8%	28.3%	20.4%	12.5%	2.6%	11.2%	0.7%	2.0%
	武蔵台文化センター (n=233)	61.8%	35.6%	23.2%	12.9%	0.9%	9.4%	0.9%	3.9%
	新町文化センター (n=273)	63.0%	35.2%	24.5%	15.0%	2.2%	10.3%	0.4%	2.9%
	住吉文化センター (n=325)	59.4%	35.4%	19.4%	12.3%	3.4%	12.0%	0.6%	2.8%
	是政文化センター (n=191)	59.7%	33.5%	18.3%	12.6%	2.6%	7.9%	0.5%	7.3%
	紅葉丘文化センター (n=187)	67.9%	36.4%	19.3%	11.8%	4.3%	6.4%	1.6%	0.0%
	押立文化センター (n=97)	63.9%	39.2%	17.5%	16.5%	9.3%	6.2%	1.0%	1.0%
	四谷文化センター (n=135)	70.4%	31.9%	25.2%	11.9%	0.0%	4.4%	0.7%	1.5%
片町文化センター (n=344)	65.4%	34.0%	21.8%	16.0%	2.3%	8.4%	1.5%	2.9%	

1 - 3 調査結果から見た課題

一人暮らし高齢者への支援の充実

- ・高齢者の幸福度について全体での平均点は7.13点で、「1人暮らし」(6.59点)は他の世帯と比べて低くなっている。(問49)
- ・一人暮らし世帯では、他の世帯と比べて、他者と食事をする機会が少ない、近隣に住む人と交流が少ないなどの状況がみられる。(問18、問45)

一人暮らし高齢者に幸せを感じてもらえるまちづくりを進めていくことが必要である。そのためには、安心や生きがい、支えあいといった地域で生活を送ることができる基本的な仕組みの充実、すなわち、地域包括ケアシステムの充実が求められている。

高齢になっても働き続けられる環境づくり

- ・働いている割合を年齢別にみると、『男性・65～74歳』では51.3%、『女性・65～74歳』では29.8%となっている。(問1)
- ・「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」の割合は、『男性・65～74歳』では9.0%、『女性・65～74歳』では10.2%となっている。(問1)
- ・何歳頃まで仕事をしたいかは、「働けるうちはいつまでも」が48.7%となっている。(問1-1)

雇用延長や人生100年時代など、高齢者を取り巻く社会環境が変化するなかで、高齢者と働く場や仕事とのマッチングなど、働き続けられる環境の整備が求められている。

介護予防の普及啓発の推進

- ・年齢が高いほどできないことが増え、また、転倒に関するリスクが増えている(問8～問12)
- ・外出機会が少ない方の割合や、一人で食事する方の割合は年齢が高いほど高くなる傾向がみられるなど、年齢とともに社会参加が減少することがみられる(問13、問18)
- ・介護予防に対する考えは、「意識して取り組んでいる」(39.0%)が最も多く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない」(19.6%)、「きっかけがあれば取り組みたい」(11.9%)となっている(問55)。
- ・「意識的に取り組んでいる」割合は、『男性』(33.3%)よりも『女性』(42.9%)のほうが高く、また、90歳未満では年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられるなど、男女や年齢による意識の違いもみられる。(問55)
- ・介護予防事業の各教室への参加状況は、男性よりも女性の参加率が高くなっている。(問56)

年齢とともに身体機能の低下や社会参加が少なくなり、フレイル状態となることが考えられることから、フレイルに関する知識の普及啓発と生活機能が低下している方に対する個別アプローチを充実する必要がある。

高齢者の保健事業と一般介護予防事業等との一体的な実施

- ・自由意見（問66）では、「予防」「健康」「体操」に関する記載が86件（意見総数850件）あり、「ほっとサロンなど健康で過ごせる場所を増やしてほしい」、「元気アップ体操などを継続的に行うには、近場で活動できる場所があるといい」などの意見があった。
 - ・「低体重（BMI 18.5未満）」の割合は、主観的健康感が『よくない』（15.6%）のほうが、『とてもよい』（6.5%）、『まあよい』（8.2%）を合わせた割合（14.7%）よりも高くなっている。（問15）
- フレイル状態を悪循環させる、いわゆる「フレイルサイクル」は、栄養状態から起因する場合と主観的健康感から起因する場合の両方が考えられ、主観的健康感を高めつつ、栄養状態の改善につなげることが重要となると考えられる。**
- ・「歯と入れ歯の状況」において、『かかりつけ歯科医』が『いる』割合との関係を見ると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」（83.5%）で高く、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」（56.9%）で低くなっている。（問53）

栄養状態と深く関連する歯の環境について、かかりつけ歯科医の有無が重要であると考えられ、成人歯科健康診査の受診につなげるなど、適切な口腔環境を整えることで、栄養状態の改善だけではなく、栄養状態と関連する主観的健康感の向上につなげる必要がある。また、さらに効果を高めるためには、医療保険における保健事業と連携して実施する必要がある。

認知症の人を支える地域づくりの更なる推進

- ・自由意見（問66）では、「認知症」に関する記載が27件あり、「相談窓口や支援機関と連携の充実」「認知症の相談窓口を教えてほしい」などの意見があった。
- ・認知症に関する相談窓口を「知っている」割合は30.8%で、本人又は家族に認知症の症状が『ある・いる』では50.4%となっている。（問36）

早期発見、早期検診につなげるためにも地域包括支援センターをはじめとする相談窓口の周知を強化する必要がある。

- ・一方、認知症に対するイメージとして、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」は、『65～69歳』（15.5%）、『90歳以上』（8.7%）と、年齢が低いほど割合が高くなっている。（問37）
- ・認知症の症状について知っていることは、年齢が低いほど割合が高くなっている。（問38）
- ・『認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』は、「参加したことがある」が4.5%、「知っているが参加したことはない」が26.4%、「知らない」が57.4%となっている。年齢別にみると、『男性』の認知度が低くなっている。（問39）

認知症は誰もがなりうることから、認知症の人やその家族が地域のよい環境で自分らしく暮らし続けるためには、認知症への社会の理解を深め、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として地域をともに創っていくことが求められる。このためにも、地域に対し認知症に関する正しい知識と理解の更なる普及啓発を進める必要がある。

認知症の人本人とともに普及啓発を進め、認知症の人本人が自らの言葉で語り、認知症になっても希望を持って前を向いて暮らすことができることを地域に発信することも必要となる。

地域活動への参加の推進方策の構築

- ・地域づくり活動の企画・運営（お世話役）として、「是非参加したい」が2.4%、「参加してもよい」が29.9%、「既に参加している」が3.5%で、これらを合わせた参加意向のある割合は35.8%となっている。（問27）
- ・これから参加したい活動は、「自分の楽しみが得られる活動」（38.2%）が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」（31.0%）、「興味ある知識や教養が得られる活動」（20.2%）、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」（17.9%）と続いている。（問28）

地域活動を希望する高齢者が参加できるよう、情報提供の充実や気軽に参加できる仕組みづくり、地域活動の新たなメニュー構築に取り組むことが求められている。

地域活動の企画・運営を担ってもよいと回答した方は、今後の地域活動を担う貴重な人材であることから、地域における人材の発掘や、担い手として参加できる仕組みの構築が求められている。

日常の支えあいと災害時の助け合いの推進

- ・「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」（42.1%）が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」（34.1%）、「個人的なことを相談し合える人がいる」（13.0%）と続いている。（問45）
- ・隣近所で困っている世帯があった場合、手助けできることは、「日ごろの安否確認」（34.5%）が最も多く、次いで「ちょっとした買い物」（20.3%）、「災害時の手助け」（15.9%）、「趣味など世間話の相手」（14.5%）となっている。（問47）
- ・高齢や病気などで日常生活が不自由になったときに隣近所の人に手助けしてもらいたいことは、「災害時の手助け」（23.6%）が最も多く、次いで「日ごろの安否確認」（20.6%）、「ちょっとした買い物」（14.7%）となっている。（問47）
- ・地震等の災害が起こったときに手助けをしてくれる人が「いない」割合は、全体では9.7%、『1人暮らし』では25.5%となっている。（問57）

日常のご近所関係や支えあいが、災害時の安否確認や助け合いにつながることから、日頃の地域における支えあいをしやすい環境を醸成していく必要がある。

地区別の状況を踏まえたきめ細やかな施策の推進

- ・『1人暮らし』の割合は、日常生活圏域別では、6ポイントの差《第6地区(21.6%)～第5地区(27.6%)》がみられる。（F4）
- ・介護予防の対象となる運動器機能の低下のおそれがあるに「該当」する割合は、日常生活圏域別では、6.9ポイントの差《第4地区(21.8%)～第3地区(28.7%)》がみられる。（問8～問12）

地区の特性の違いがみられることから、それぞれの地区を分析し、適切な施策を進めることが求められている。

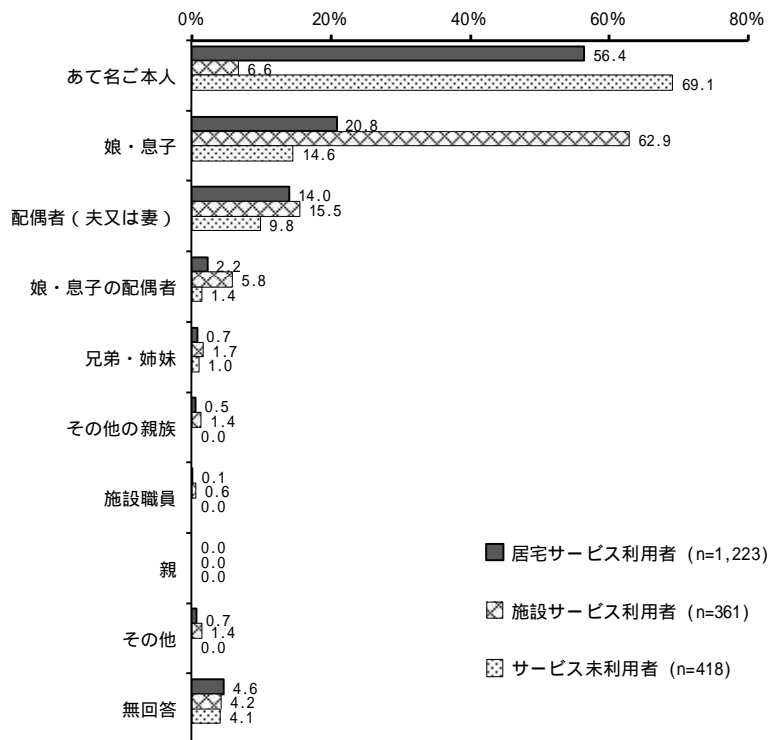
第2章 要支援・要介護認定者調査

2-1 調査結果の概要

(1) 回答者について

この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに)

- ・ 居宅サービス利用者では、「あて名ご本人」(56.4%)が最も多く、次いで「娘・息子」(20.8%)、「配偶者(夫又は妻)」(14.0%)、「娘・息子の配偶者」(2.2%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「娘・息子」(62.9%)が最も多く、次いで「配偶者(夫又は妻)」(15.5%)、「あて名ご本人」(6.6%)、「娘・息子の配偶者」(5.8%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「あて名ご本人」(69.1%)が最も多く、次いで「娘・息子」(14.6%)、「配偶者(夫又は妻)」(9.8%)、「娘・息子の配偶者」(1.4%)と続いている。
- ・ 「あて名ご本人」は、「要支援1」では83.7%、「要介護5」では12.9%と、要介護度が高くなるほど割合が低くなっており、要介護度を反映した結果となっている。

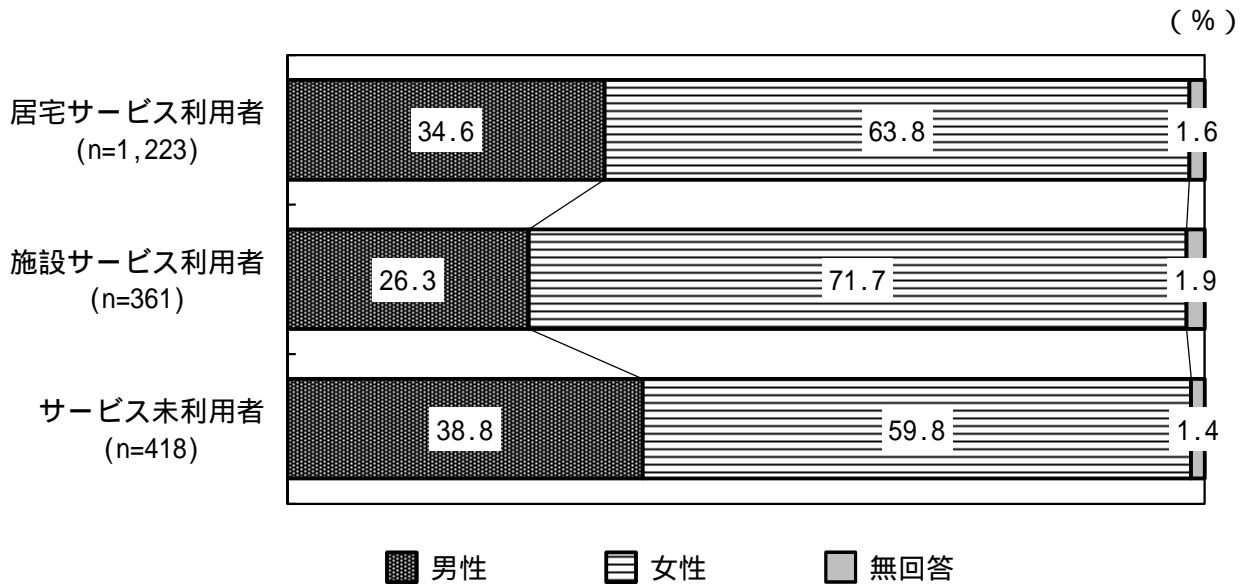


		あて名ご本人	配偶者(夫又は妻)	娘・息子	娘・息子の配偶者	親	兄弟・姉妹	その他の親族	施設職員	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		56.4%	14.0%	20.8%	2.2%	0.0%	0.7%	0.5%	0.1%	0.7%	4.6%
要介護度	要支援1 (n=203)	83.7%	3.4%	5.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	5.9%
	要支援2 (n=208)	81.7%	7.2%	6.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	3.8%
	要介護1 (n=285)	58.9%	11.6%	21.8%	1.8%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.4%	3.5%
	要介護2 (n=216)	43.1%	15.7%	31.0%	3.2%	0.0%	0.5%	0.9%	0.0%	0.9%	4.6%
	要介護3 (n=132)	26.5%	25.8%	34.1%	6.8%	0.0%	1.5%	0.8%	0.0%	0.8%	3.8%
	要介護4 (n=68)	26.5%	27.9%	33.8%	4.4%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%
要介護5 (n=70)	12.9%	35.7%	42.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	4.3%	

クロス集計表は、居宅サービス利用者

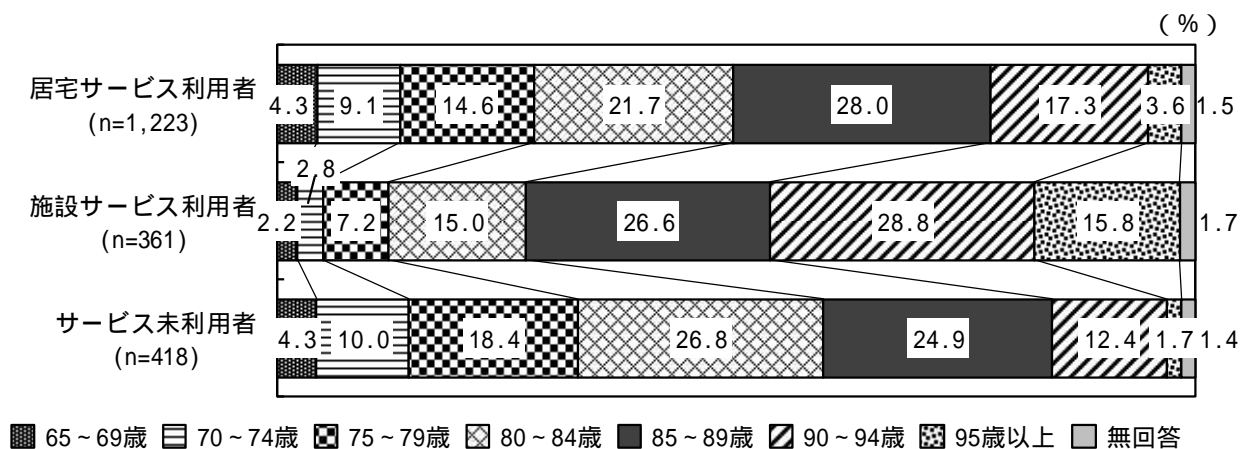
F1 あなたの性別をお答えください。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「男性」が34.6%、「女性」が63.8%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「男性」が26.3%、「女性」が71.7%となっている。
- ・サービス未利用者では、「男性」が38.8%、「女性」が59.8%となっている。



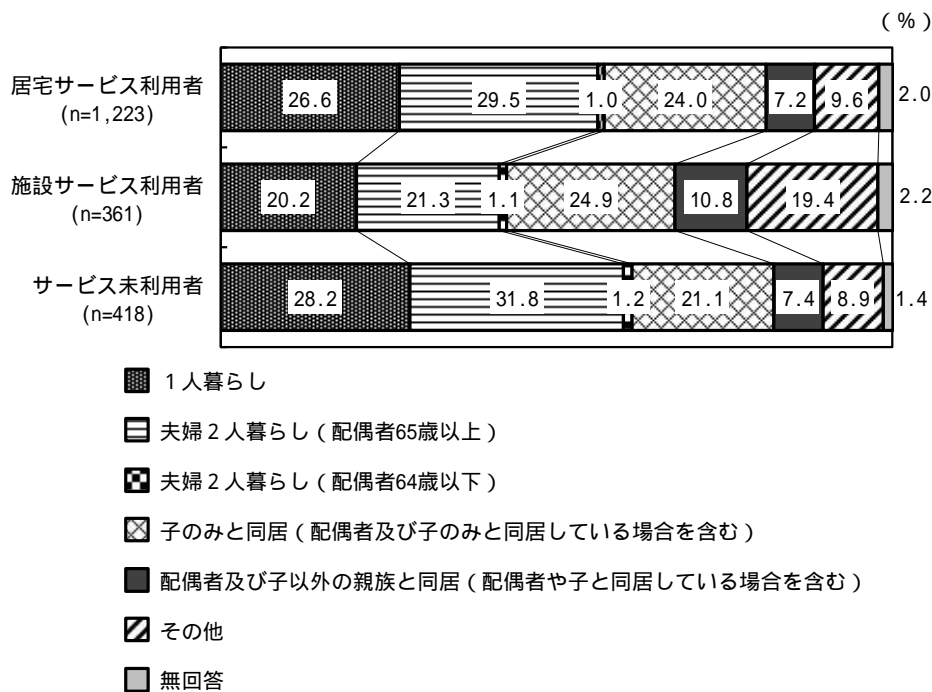
F2 あなたの年齢をお答えください。(令和元年10月1日現在)(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「85～89歳」(28.0%)が最も多く、次いで「80～84歳」(21.7%)、「90～94歳」(17.3%)、「75～79歳」(14.6%)、「70～74歳」(9.1%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「90～94歳」(28.8%)が最も多く、次いで「85～89歳」(26.6%)、「95歳以上」(15.8%)、「80～84歳」(15.0%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「80～84歳」(26.8%)が最も多く、次いで「85～89歳」(24.9%)、「75～79歳」(18.4%)、「90～94歳」(12.4%)と続いている。



F3 あなたは、現在どなたと一緒に住まいですか。なお、施設等に入所(居)されている方は、入所(居)する前の状況をお答えください。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(29.5%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(26.6%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(24.0%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(24.9%)が最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(21.3%)、「1人暮らし」(20.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(31.8%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(28.2%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(21.1%)と続いている。
- ・居宅サービス利用者で「1人暮らし」の割合は、『要支援1・2』では38.7%、『要介護3～5』では10.0%と、要介護度が高くなるほど低くなっている。

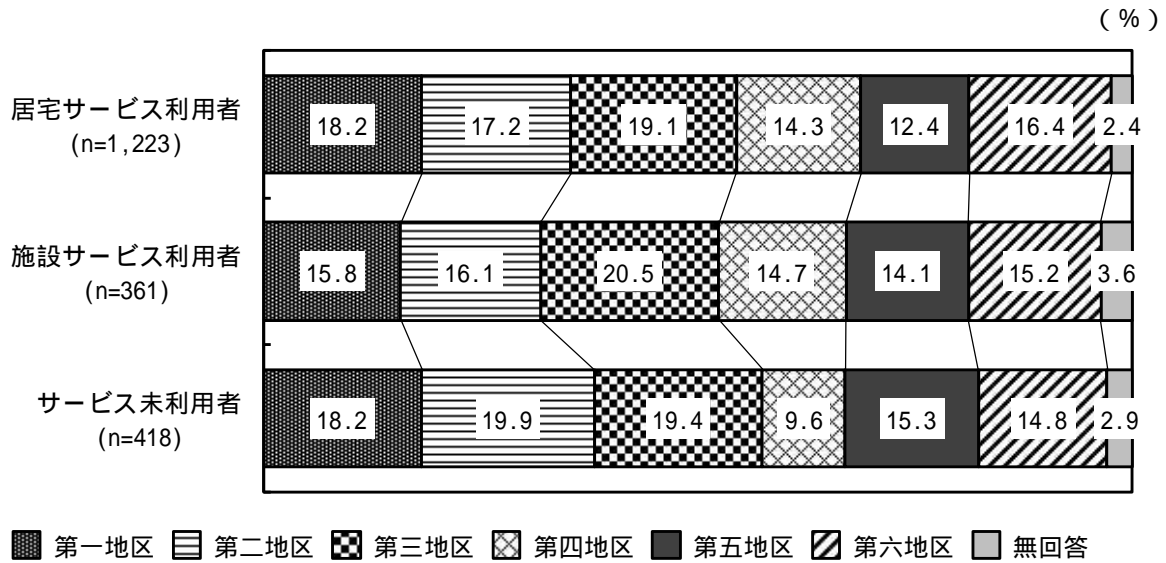


		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)	配偶者及び子以外の親族と同居(配偶者や子と同居している場合を含む)	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		26.6%	29.5%	1.0%	24.0%	7.2%	9.6%	2.0%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	38.7%	28.2%	1.2%	17.8%	4.6%	7.1%	2.4%
	要介護1・2 (n=501)	24.4%	27.9%	0.8%	24.8%	7.0%	13.4%	1.8%
	要介護3～5 (n=270)	10.0%	35.6%	1.1%	32.6%	12.2%	7.8%	0.7%
性別	男性 (n=423)	16.8%	48.5%	1.9%	14.4%	10.2%	7.6%	0.7%
	女性 (n=780)	32.2%	19.9%	0.5%	29.9%	5.6%	10.9%	1.0%
年齢	65～69歳 (n=53)	24.5%	30.2%	5.7%	22.6%	5.7%	9.4%	1.9%
	70～74歳 (n=111)	26.1%	41.4%	2.7%	11.7%	11.7%	5.4%	0.9%
	75～79歳 (n=178)	16.9%	40.4%	0.6%	23.0%	9.6%	9.0%	0.6%
	80～84歳 (n=266)	27.1%	39.8%	1.1%	16.2%	6.0%	7.5%	2.3%
	85～89歳 (n=342)	29.5%	25.1%	0.6%	26.9%	5.8%	11.4%	0.6%
	90～94歳 (n=211)	33.2%	15.2%	0.0%	33.2%	7.1%	11.4%	0.0%
	95歳以上 (n=44)	20.5%	4.5%	0.0%	47.7%	9.1%	18.2%	0.0%

F4 あなたがお住まいの町名及び丁目を教えてください。(1つに)

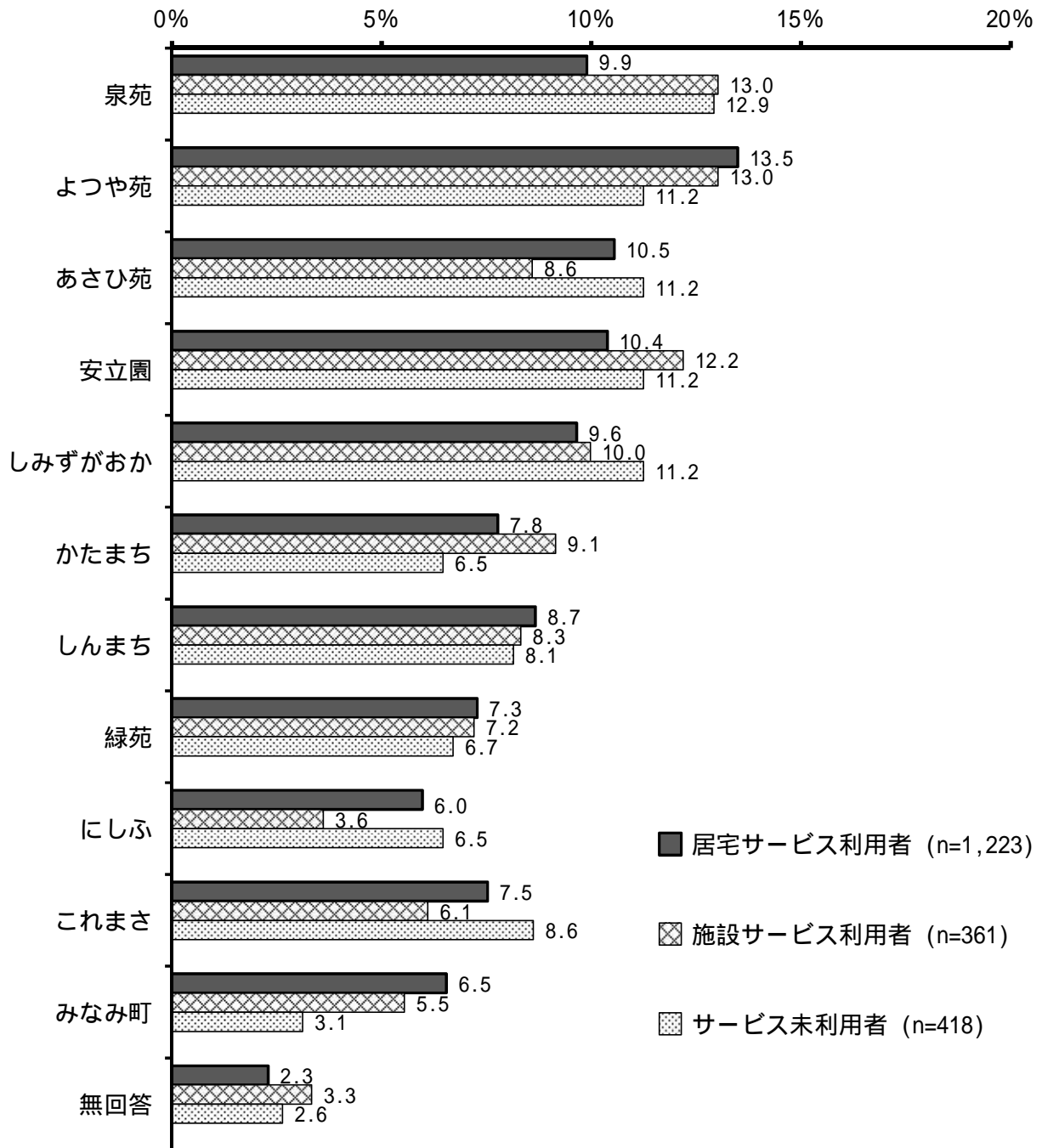
日常生活圏域(6区分)

- ・ 居宅サービス利用者では、「第3地区」(19.1%)が最も多く、次いで「第一地区」(18.2%)、「第2地区」(17.2%)、「第6地区」(16.4%)、「第4地区」(14.3%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「第3地区」(20.5%)が最も多く、次いで「第2地区」(16.1%)、「第一地区」(15.8%)、「第6地区」(15.2%)、「第4地区」(14.7%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「第2地区」(19.9%)が最も多く、次いで「第3地区」(19.4%)、「第一地区」(18.2%)、「第5地区」(15.3%)、「第6地区」(14.8%)と続いている。



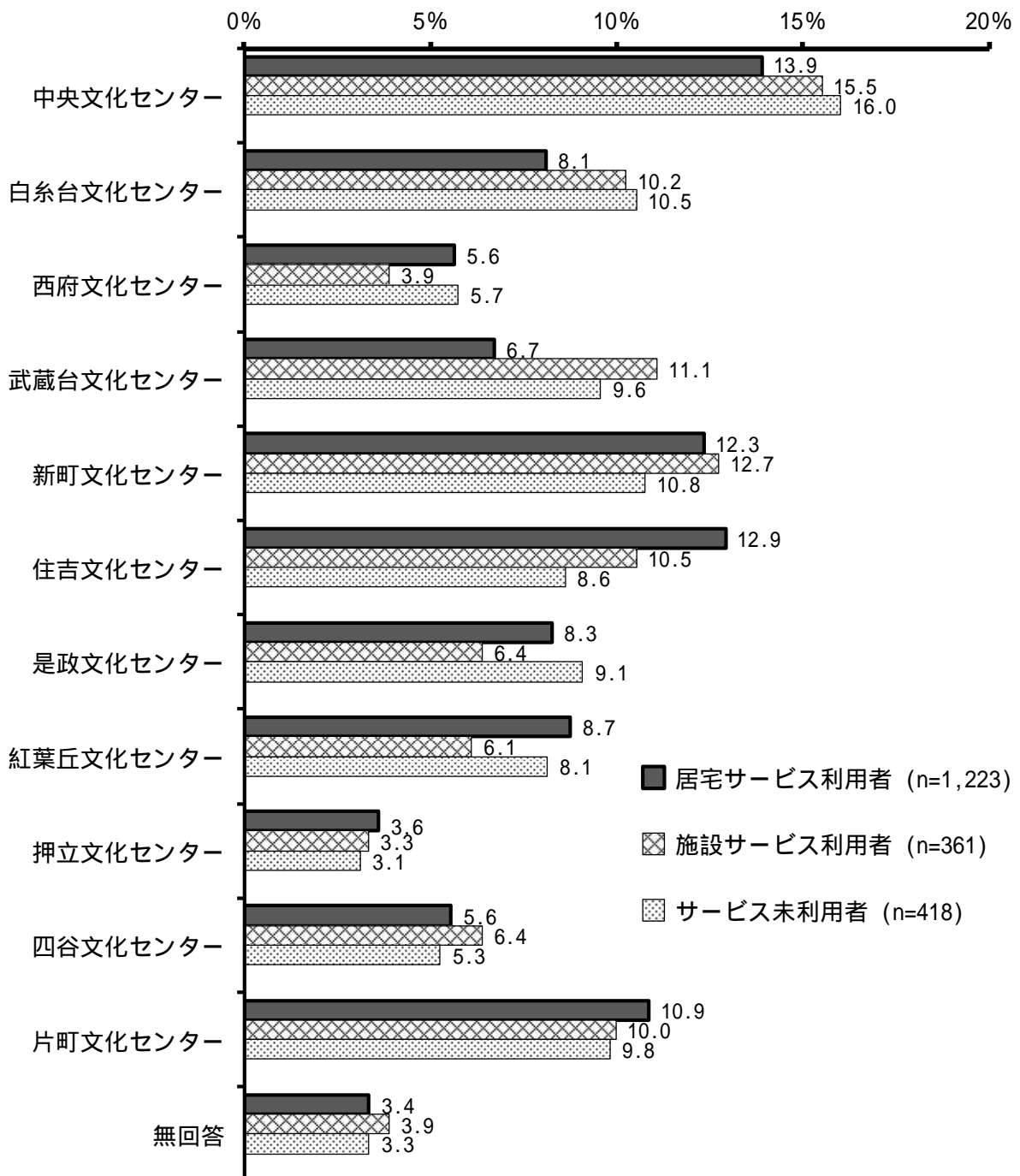
地域包括支援センター圏域（11区分）

- ・居宅サービス利用者では、「よつや苑」(13.5%)が最も多く、次いで「あさひ苑」(10.5%)、「安立園」(10.4%)、「泉苑」(9.9%)、「しみずがおか」(9.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「泉苑」と「よつや苑」(ともに13.0%)が最も多く、次いで「安立園」(12.2%)、「しみずがおか」(10.0%)、「かたまち」(9.1%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「泉苑」(12.9%)が最も多く、次いで「よつや苑」「あさひ苑」「安立園」「しみずがおか」(ともに11.2%)と続いている。



文化センター圏域(11区分)

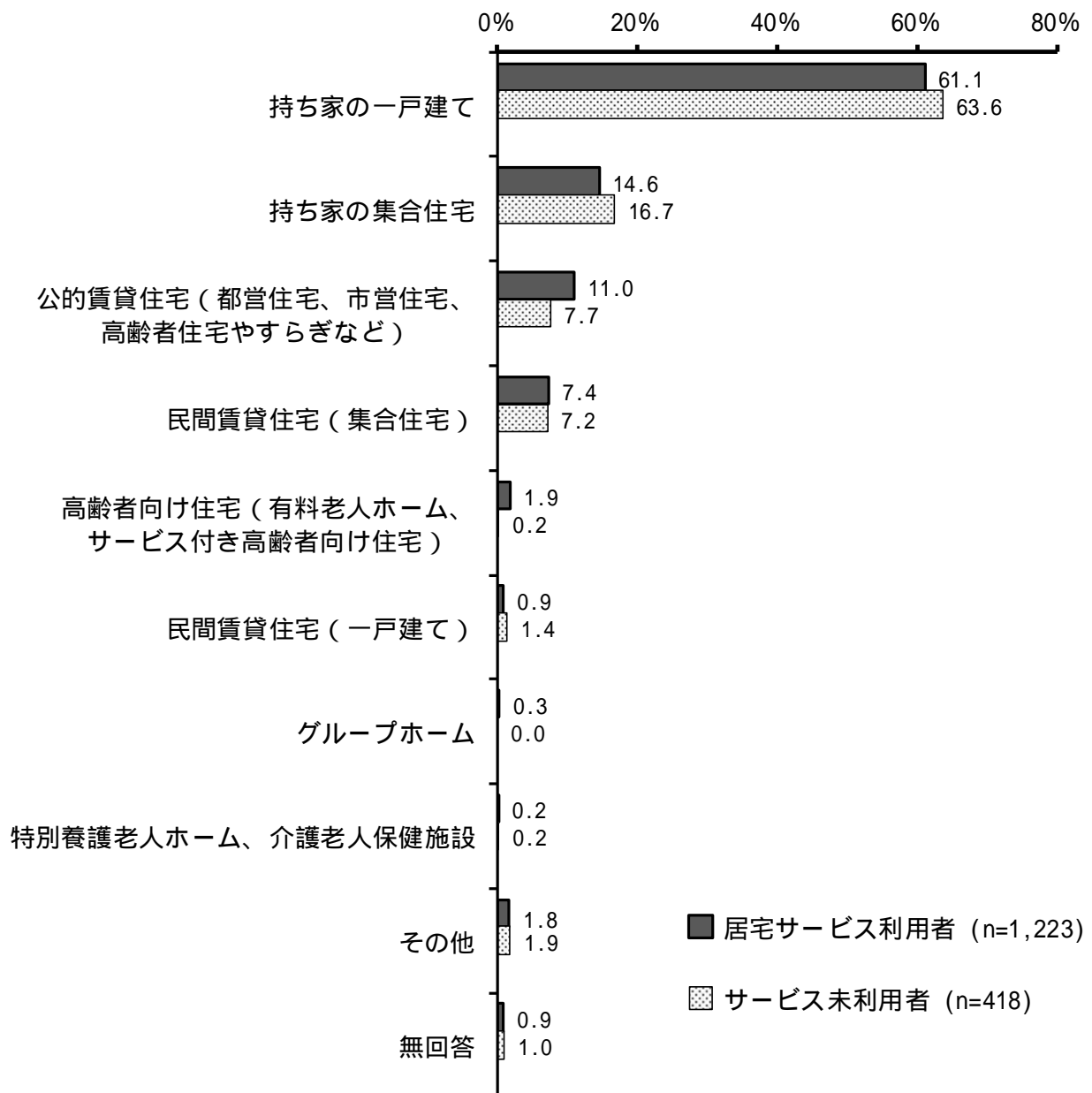
- ・居宅サービス利用者では、「中央文化センター」(13.9%)が最も多く、次いで「住吉文化センター」(12.9%)、「新町文化センター」(12.3%)、「片町文化センター」(10.9%)、「紅葉丘文化センター」(8.7%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「中央文化センター」(15.5%)が最も多く、次いで「新町文化センター」(12.7%)、「武蔵台文化センター」(11.1%)、「住吉文化センター」(10.5%)、「白糸台文化センター」(10.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「中央文化センター」(16.0%)が最も多く、次いで「新町文化センター」(10.8%)、「白糸台文化センター」(10.5%)、「片町文化センター」(9.8%)、「武蔵台文化センター」(9.6%)と続いている。



(2) 住まいについて

問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに)

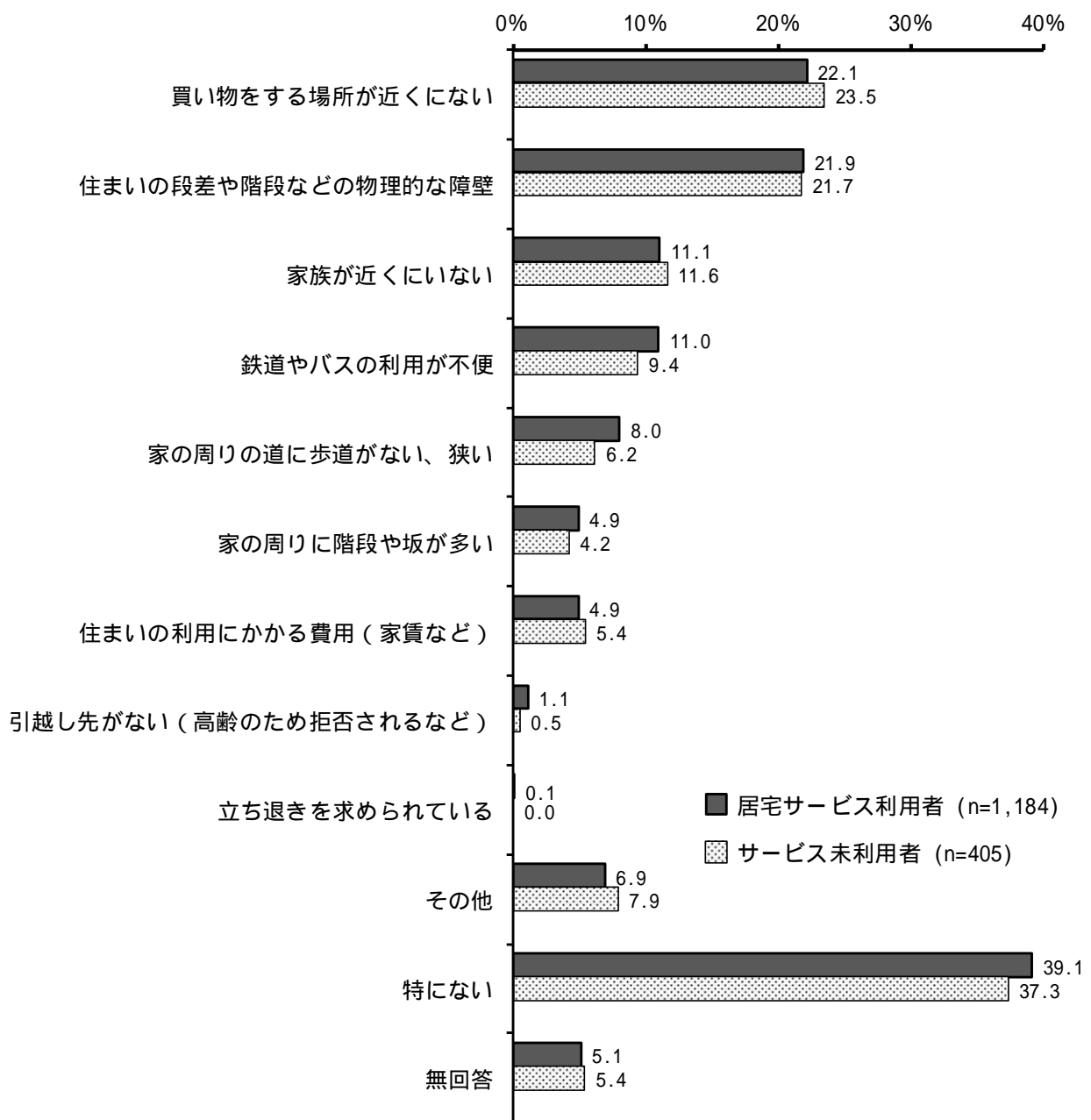
- ・居宅サービス利用者では、「持ち家の一戸建て」(61.1%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(14.6%)、「公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)」(11.0%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(7.4%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「持ち家の一戸建て」(63.6%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(16.7%)、「公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)」(7.7%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(7.2%)と続いている。



問1で「持ち家の一戸建て」「持ち家の集合住宅」「民間賃貸住宅（一戸建て）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」「公的賃貸住宅（都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど）」「高齢者向け住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）」とお答えの方におたずねします

問1-1 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。（いくつでも）

- ・居宅サービス利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(22.1%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.9%)、「家族が近くにいない」(11.1%)、「鉄道やバスの利用が不便」(11.0%)と続いている。一方、「特にない」は39.1%となっている。
- ・サービス未利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(23.5%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.7%)、「家族が近くにいない」(11.6%)、「鉄道やバスの利用が不便」(9.4%)、「家の周りの道に歩道がない、狭い」(6.2%)と続いている。一方、「特にない」は37.3%となっている。



・居宅サービス利用者の『1人暮らし』では、他の家族構成と比べて「民間賃貸住宅（集合住宅）」（12.0%）、「公的賃貸住宅」（18.8%）における割合が高くなっている。

		問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか。										
		持ち家の 一戸建て	持ち家の 集合住宅	民間賃貸 住宅（一 戸建て）	民間賃貸 住宅（集 合住宅）	公的賃貸 住宅（都 営住宅、 市営住 宅、高齢 者住宅や すらぎな ど）	高齢者向 け住宅 （有料老 人ホー ム、サー ビス付き 高齢者向 け住宅）	グループ ホーム	特別養護 老人ホー ム、介護 老人保健 施設	その他	無回答	
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,223)	61.1%	14.6%	0.9%	7.4%	11.0%	1.9%	0.3%	0.2%	1.8%	0.9%
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	58.2%	18.0%	0.5%	8.0%	10.7%	1.2%	0.0%	0.0%	2.4%	1.0%
	要介護1・2	(n=501)	60.5%	14.0%	1.0%	7.2%	12.4%	2.6%	0.4%	0.2%	1.4%	0.4%
	要介護3～5	(n=270)	68.1%	11.5%	1.5%	5.2%	8.5%	1.5%	0.7%	0.4%	1.5%	1.1%
性別	男性	(n=423)	63.4%	14.4%	1.2%	8.7%	9.2%	1.2%	0.0%	0.2%	1.4%	0.2%
	女性	(n=780)	60.9%	14.9%	0.8%	6.5%	11.8%	2.3%	0.5%	0.1%	1.9%	0.3%
年齢	65～69歳	(n=53)	43.4%	20.8%	5.7%	13.2%	13.2%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%
	70～74歳	(n=111)	45.0%	22.5%	0.0%	13.5%	18.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	75～79歳	(n=178)	55.6%	18.0%	1.7%	9.0%	12.4%	1.1%	0.6%	0.0%	1.7%	0.0%
	80～84歳	(n=266)	61.7%	13.9%	1.1%	9.8%	9.8%	1.5%	0.4%	0.0%	1.5%	0.4%
	85～89歳	(n=342)	68.1%	12.3%	0.6%	4.7%	9.9%	2.3%	0.0%	0.3%	1.8%	0.0%
	90～94歳	(n=211)	67.8%	11.4%	0.0%	4.3%	10.0%	2.4%	0.9%	0.0%	2.4%	0.9%
95歳以上	(n=44)	68.2%	13.6%	0.0%	0.0%	2.3%	9.1%	0.0%	0.0%	6.8%	0.0%	
家族構成	1人暮らし	(n=325)	44.0%	16.9%	1.5%	12.0%	18.8%	2.8%	0.6%	0.3%	2.8%	0.3%
	夫婦2人暮らし	(n=373)	59.5%	19.8%	1.1%	7.5%	10.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%
	子のみ同居	(n=294)	70.1%	10.2%	0.7%	6.1%	9.5%	2.0%	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%
	配偶者・子以外同居	(n=88)	81.8%	12.5%	0.0%	2.3%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%
	その他	(n=118)	78.0%	5.1%	0.0%	2.5%	1.7%	4.2%	0.8%	0.8%	5.9%	0.8%

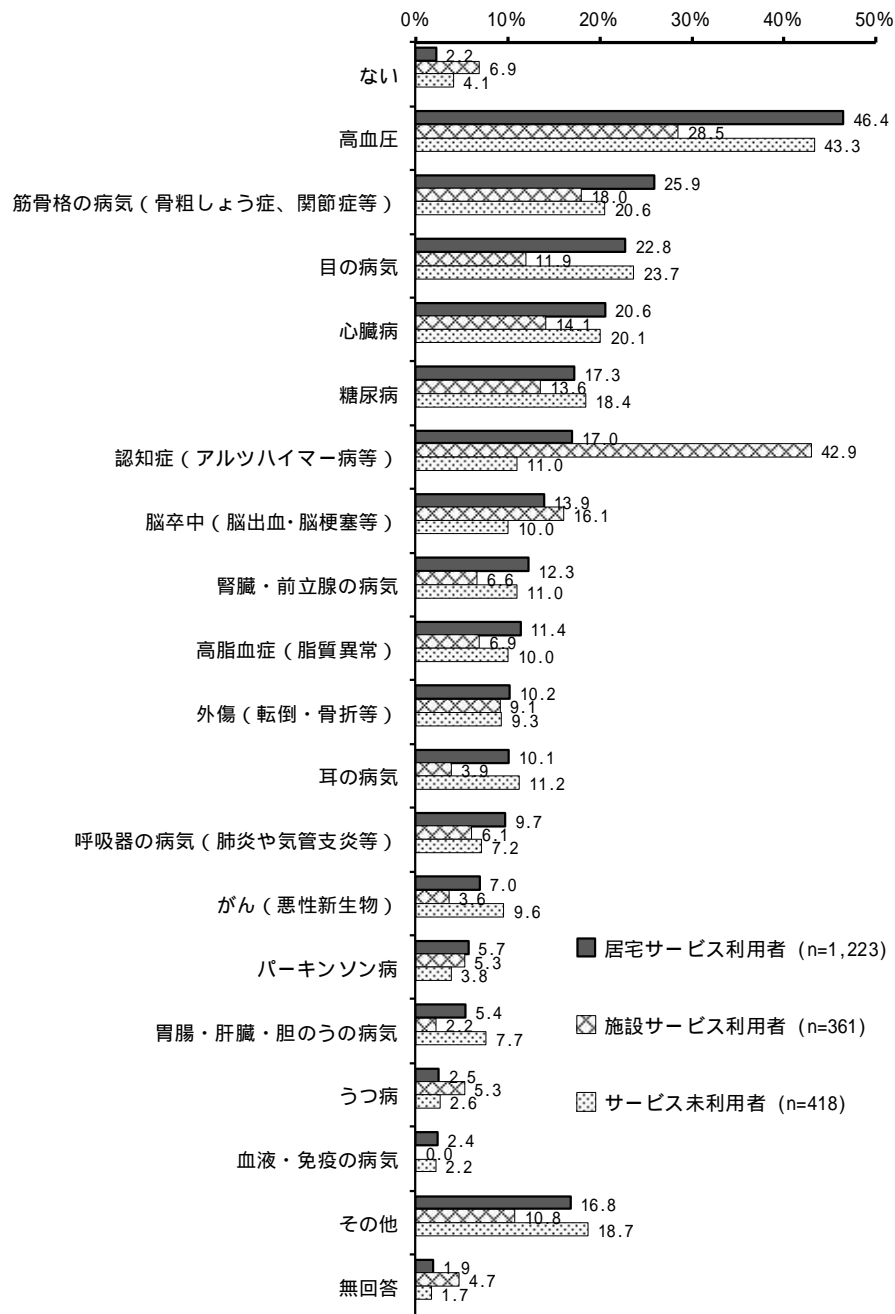
・居宅サービス利用者の「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」割合は、『要支援1・2』（18.4%）、『要介護1・2』（23.9%）、『要介護3～5』（25.4%）と、要介護度が高くなるほど高くなっている。

		問1-1 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。													
		住まいの 段差や階 段などの 物理的な 障壁	買い物 する場所 が近くに ない	家の周り に階段や 坂が多い	家の周り の道に歩 道がない、狭い	鉄道やバ スの利用 が不便	家族が近 くにいな い	住まいの 利用にか かる費用 （家賃な ど）	立ち退き を求めら れている	引越しが ない （高齢 のため拒 否されな ど）	その他	特にな い	無回答		
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,223)	21.9%	22.1%	4.9%	8.0%	11.0%	11.1%	4.9%	0.1%	1.1%	6.9%	39.1%	5.1%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	18.4%	22.7%	5.0%	8.8%	10.8%	16.9%	4.8%	0.3%	1.0%	6.3%	38.8%	4.8%	
	要介護1・2	(n=501)	23.9%	23.5%	5.5%	7.6%	12.1%	9.6%	5.1%	0.0%	1.2%	7.2%	37.8%	4.9%	
	要介護3～5	(n=270)	25.4%	18.8%	3.8%	8.5%	10.0%	5.4%	4.6%	0.0%	1.2%	7.3%	41.9%	4.2%	
性別	男性	(n=423)	19.5%	19.3%	6.0%	8.0%	12.5%	10.8%	3.9%	0.0%	1.2%	8.0%	40.7%	6.7%	
	女性	(n=780)	23.2%	23.7%	4.4%	8.0%	10.3%	11.2%	5.5%	0.1%	1.1%	6.2%	38.4%	4.0%	
年齢	65～69歳	(n=53)	19.6%	9.8%	9.8%	11.8%	13.7%	7.8%	3.9%	0.0%	0.0%	7.8%	47.1%	3.9%	
	70～74歳	(n=111)	20.7%	17.1%	8.1%	10.8%	10.8%	8.1%	4.5%	0.9%	0.9%	7.2%	41.4%	3.6%	
	75～79歳	(n=178)	19.5%	20.7%	2.9%	5.7%	11.5%	8.6%	8.0%	0.0%	0.6%	8.6%	37.9%	4.6%	
	80～84歳	(n=266)	22.7%	26.9%	5.0%	8.5%	13.8%	13.8%	5.4%	0.0%	1.9%	6.2%	33.1%	5.8%	
	85～89歳	(n=342)	22.7%	24.5%	5.4%	8.4%	11.0%	12.5%	3.9%	0.0%	1.2%	7.2%	38.5%	5.1%	
	90～94歳	(n=211)	22.3%	21.3%	2.5%	5.4%	7.9%	9.9%	3.5%	0.0%	0.5%	5.4%	44.1%	5.0%	
95歳以上	(n=44)	24.4%	7.3%	7.3%	12.2%	2.4%	4.9%	7.3%	0.0%	2.4%	9.8%	48.8%	4.9%		
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	22.8%	13.9%	12.7%	15.2%	17.7%	12.7%	2.5%	0.0%	0.0%	8.9%	39.2%	5.1%
		75～84歳	(n=168)	18.1%	19.3%	4.2%	4.8%	12.7%	9.6%	6.0%	0.0%	1.8%	9.0%	38.6%	6.6%
		85歳以上	(n=173)	18.9%	21.3%	4.7%	7.7%	9.5%	11.2%	2.4%	0.0%	1.2%	6.5%	43.8%	7.7%
	女性	65～74歳	(n=83)	18.1%	15.7%	4.8%	7.2%	6.0%	3.6%	6.0%	1.2%	1.2%	6.0%	47.0%	2.4%
		75～84歳	(n=273)	23.7%	27.4%	4.1%	9.0%	13.2%	13.2%	6.8%	0.0%	1.1%	5.6%	33.1%	4.5%
85歳以上	(n=420)	24.2%	22.7%	4.4%	7.4%	9.4%	11.1%	4.7%	0.0%	1.0%	6.7%	40.2%	4.0%		
家族構成	1人暮らし	(n=325)	17.0%	26.9%	5.1%	8.0%	10.6%	24.4%	5.1%	0.3%	2.2%	7.1%	34.0%	3.2%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	20.5%	23.7%	4.9%	10.2%	13.7%	12.9%	5.1%	0.0%	0.8%	7.5%	33.7%	7.5%	
	子のみ同居	(n=294)	28.3%	16.2%	5.5%	7.6%	8.6%	1.4%	6.2%	0.0%	1.0%	5.5%	45.9%	4.8%	
	配偶者・子以外同居	(n=88)	22.1%	23.3%	5.8%	9.3%	14.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	8.1%	41.9%	2.3%	
	その他	(n=118)	25.0%	18.5%	1.9%	0.9%	7.4%	0.9%	1.9%	0.0%	0.0%	8.3%	53.7%	1.9%	
家族 介護者	有り	(n=1,053)	22.9%	22.1%	5.0%	8.3%	11.2%	9.8%	5.0%	0.0%	1.1%	6.6%	39.3%	4.3%	
	無し	(n=170)	15.7%	22.3%	4.2%	6.6%	9.6%	18.7%	4.2%	0.6%	1.2%	9.0%	38.0%	9.6%	
治療中の 病気等	ない	(n=27)	11.5%	11.5%	0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	61.5%	11.5%	
	ある	(n=1,175)	22.3%	22.5%	5.1%	8.2%	11.3%	11.1%	5.1%	0.1%	1.1%	7.1%	38.2%	5.1%	
住まい	持ち家	(n=925)	21.3%	22.7%	4.9%	8.8%	10.9%	9.8%	1.7%	0.0%	0.2%	6.9%	40.6%	5.1%	
	賃貸（民間・公的）	(n=236)	26.3%	20.8%	5.5%	5.5%	11.9%	15.7%	16.1%	0.4%	4.7%	6.8%	32.2%	4.7%	
高齢者住宅・GH・施設等	(n=29)	0.0%	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%	13.0%	17.4%	0.0%	0.0%	8.7%	47.8%	8.7%		

(3) 医療について

問2 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「高血圧」(46.4%)が最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(25.9%)、「目の病気」(22.8%)、「心臓病」(20.6%)、「糖尿病」(17.3%)と続いている。一方、「ない」は2.2%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「認知症(アルツハイマー病等)」(42.9%)が最も多く、次いで「高血圧」(28.5%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(18.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(16.1%)、「心臓病」(14.1%)と続いている。一方、「ない」は6.9%となっている。
- ・サービス未利用者では、「高血圧」(43.3%)が最も多く、次いで「目の病気」(23.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(20.6%)、「心臓病」(20.1%)、「糖尿病」(18.4%)と続いている。一方、「ない」は4.1%となっている。



・居宅サービス利用者で「高血圧」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合は、要介護度が高くなるほど低くなっている。「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「糖尿病」は、要介護度が高くなるほど割合が高くなっている。

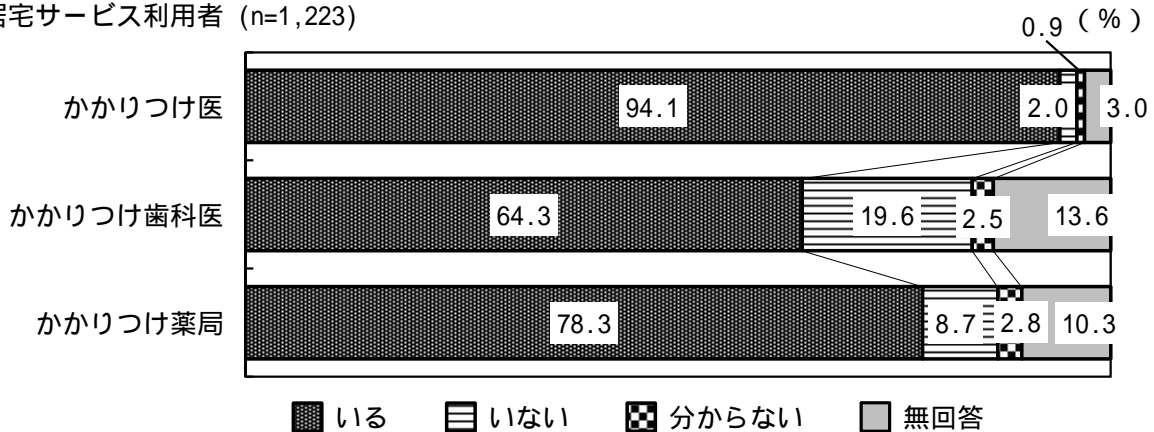
		ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	管支炎等	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
居宅サービス利用者（全体）（n=1,223）		2.2%	46.4%	13.9%	20.6%	17.3%	11.4%	9.7%	5.4%	12.3%	25.9%	10.2%	7.0%	2.4%	2.5%	17.0%	5.7%	22.8%	10.1%	16.8%	1.9%	
要介護度 （3区分）	要支援1・2（n=411）	2.4%	52.6%	8.0%	20.4%	15.8%	12.9%	9.2%	5.8%	13.6%	32.8%	8.8%	7.3%	2.2%	2.2%	2.9%	3.6%	23.8%	12.7%	17.8%	1.0%	
	要介護1・2（n=501）	1.4%	46.7%	14.2%	23.0%	17.2%	12.0%	10.6%	6.0%	12.6%	25.3%	11.0%	8.0%	2.6%	3.6%	21.6%	5.4%	25.7%	11.2%	17.6%	0.6%	
	要介護3～5（n=270）	2.2%	38.5%	23.7%	18.1%	20.0%	7.8%	8.9%	3.3%	10.4%	17.4%	11.5%	5.6%	2.6%	1.1%	31.9%	10.0%	17.4%	4.1%	16.3%	2.6%	
性別	男性（n=423）	1.7%	38.5%	21.7%	25.5%	22.0%	9.0%	9.9%	4.0%	24.8%	10.6%	6.6%	7.6%	2.4%	0.5%	16.1%	5.0%	18.2%	8.7%	16.1%	1.2%	
	女性（n=780）	2.3%	50.8%	9.7%	18.3%	14.7%	12.7%	9.6%	6.3%	5.5%	34.1%	12.3%	6.8%	2.3%	3.6%	17.9%	6.2%	25.0%	10.9%	17.4%	1.9%	
年齢	65～69歳（n=53）	1.9%	34.0%	22.6%	17.0%	28.3%	9.4%	1.9%	3.8%	3.8%	7.5%	5.7%	15.1%	0.0%	1.9%	5.7%	9.4%	17.0%	3.8%	30.2%	1.9%	
	70～74歳（n=111）	0.9%	33.3%	24.3%	16.2%	19.8%	7.2%	13.5%	3.6%	9.0%	17.1%	3.6%	9.0%	3.6%	1.8%	7.2%	9.0%	16.2%	2.7%	24.3%	4.5%	
	75～79歳（n=178）	1.1%	43.8%	20.8%	18.0%	19.7%	13.5%	8.4%	5.6%	14.6%	23.0%	10.1%	6.7%	4.5%	5.1%	16.9%	10.1%	19.7%	7.3%	21.3%	1.1%	
	80～84歳（n=266）	1.9%	42.9%	13.2%	18.0%	21.4%	15.4%	9.0%	6.8%	12.8%	30.8%	11.3%	7.1%	2.3%	4.1%	14.3%	6.4%	21.8%	10.9%	16.5%	1.9%	
	85～89歳（n=342）	2.9%	49.7%	10.8%	21.3%	16.1%	10.8%	9.6%	5.6%	11.4%	28.1%	11.4%	6.7%	1.2%	1.8%	20.8%	4.4%	26.3%	12.9%	14.6%	1.2%	
	90～94歳（n=211）	2.4%	56.4%	8.5%	27.0%	10.4%	9.5%	10.9%	4.3%	16.6%	26.1%	10.0%	4.7%	2.4%	0.0%	24.2%	1.9%	24.2%	11.4%	12.3%	0.9%	
95歳以上（n=44）	2.3%	52.3%	2.3%	29.5%	9.1%	4.5%	11.4%	4.5%	4.5%	34.1%	20.5%	4.5%	2.3%	0.0%	15.9%	0.0%	29.5%	15.9%	9.1%	4.5%		
性別×年齢	男性	65～74歳（n=81）	1.2%	35.8%	33.3%	18.5%	25.9%	6.2%	8.6%	3.7%	11.1%	7.4%	4.9%	11.1%	1.2%	0.0%	6.2%	7.4%	18.5%	3.7%	22.2%	3.7%
		75～84歳（n=168）	1.8%	34.5%	23.2%	21.4%	25.6%	13.1%	8.3%	4.2%	24.4%	11.3%	7.7%	6.5%	2.4%	1.2%	21.4%	7.1%	17.3%	5.4%	18.5%	0.6%
		85歳以上（n=173）	1.7%	43.4%	15.0%	32.9%	16.8%	6.4%	12.1%	4.0%	31.8%	11.6%	6.4%	6.9%	2.9%	0.0%	15.6%	1.7%	18.5%	13.9%	11.0%	0.6%
	女性	65～74歳（n=83）	1.2%	31.3%	14.5%	14.5%	19.3%	9.6%	10.8%	3.6%	3.6%	20.5%	3.6%	10.8%	3.6%	3.6%	7.2%	10.8%	14.5%	2.4%	30.1%	3.6%
		75～84歳（n=273）	1.5%	48.7%	12.1%	16.1%	17.6%	15.8%	9.2%	7.7%	6.6%	37.7%	12.8%	7.3%	3.3%	6.6%	11.7%	8.4%	22.7%	11.7%	18.3%	1.8%
		85歳以上（n=420）	3.1%	55.7%	7.1%	20.5%	11.9%	11.4%	9.3%	5.5%	5.0%	34.3%	13.8%	5.5%	1.2%	1.4%	24.3%	3.8%	28.6%	12.1%	14.5%	1.7%

問3 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。(それぞれ1つに)

居宅サービス利用者

- ・「いる」割合は、『かかりつけ医』が94.1%、『かかりつけ歯科医』が64.3%、『かかりつけ薬局』が78.3%となっている。
- ・『かかりつけ医』『かかりつけ薬局』が「いる」割合は、要介護度による差はわずかだが、『かかりつけ歯科医』の割合は、『要支援1・2』(70.6%)の割合が高くなっている。

居宅サービス利用者 (n=1,223)

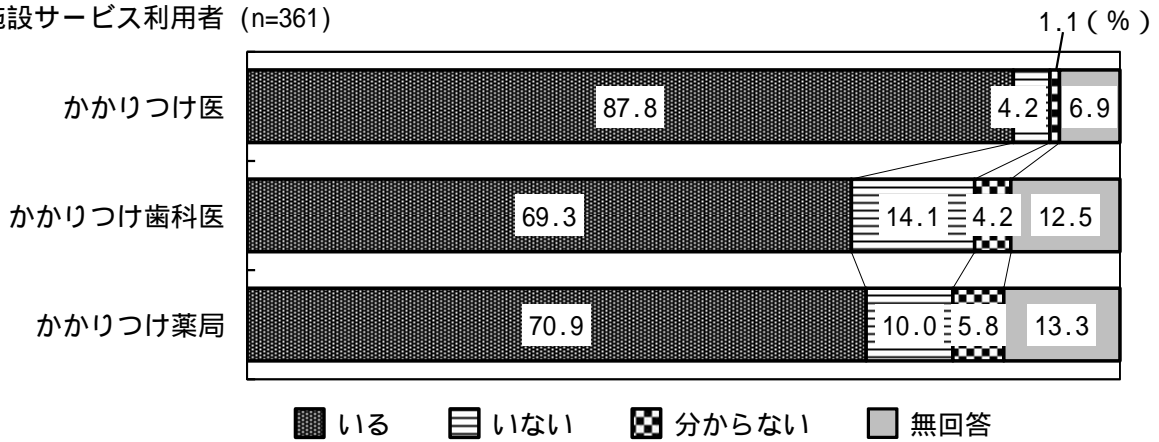


	かかりつけ医				かかりつけ歯科医				かかりつけ薬局					
	いる	いない	分からない	無回答	いる	いない	分からない	無回答	いる	いない	分からない	無回答		
居宅サービス利用者 (全体) (n=1,223)	94.1%	2.0%	0.9%	3.0%	64.3%	19.6%	2.5%	13.6%	78.3%	8.7%	2.8%	10.3%		
要介護度 (3区分)	要支援1・2 (n=411)	93.9%	2.7%	0.7%	2.7%	70.6%	12.7%	1.9%	14.8%	78.6%	7.5%	1.9%	11.9%	
	要介護1・2 (n=501)	95.0%	1.2%	0.8%	3.0%	62.5%	21.6%	3.2%	12.8%	78.2%	8.4%	4.4%	9.0%	
	要介護3～5 (n=270)	94.8%	2.2%	1.1%	1.9%	60.4%	27.8%	1.9%	10.0%	81.9%	8.9%	1.5%	7.8%	
性別	男性 (n=423)	94.8%	1.9%	1.2%	2.1%	63.6%	18.7%	2.6%	15.1%	76.8%	7.8%	2.6%	12.8%	
	女性 (n=780)	93.8%	2.1%	0.8%	3.3%	64.4%	20.6%	2.4%	12.6%	79.0%	9.1%	2.9%	9.0%	
年齢	65～69歳 (n=53)	96.2%	0.0%	1.9%	1.9%	56.6%	26.4%	1.9%	15.1%	75.5%	9.4%	5.7%	9.4%	
	70～74歳 (n=111)	89.2%	3.6%	0.9%	6.3%	55.0%	25.2%	3.6%	16.2%	79.3%	7.2%	2.7%	10.8%	
	75～79歳 (n=178)	89.9%	5.6%	2.2%	2.2%	61.2%	19.1%	1.7%	18.0%	75.8%	10.1%	3.4%	10.7%	
	80～84歳 (n=266)	95.9%	1.5%	0.8%	1.9%	67.7%	16.5%	3.0%	12.8%	80.8%	7.1%	2.6%	9.4%	
	85～89歳 (n=342)	95.9%	1.2%	0.6%	2.3%	68.1%	18.4%	2.6%	10.8%	75.7%	10.8%	3.5%	9.9%	
	90～94歳 (n=211)	95.3%	0.9%	0.5%	3.3%	67.3%	19.4%	1.4%	11.8%	81.0%	7.6%	0.9%	10.4%	
95歳以上 (n=44)	95.5%	0.0%	0.0%	4.5%	47.7%	36.4%	2.3%	13.6%	81.8%	4.5%	2.3%	11.4%		
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=81)	92.6%	2.5%	1.2%	3.7%	53.1%	28.4%	2.5%	16.0%	79.0%	7.4%	1.2%	12.3%
		75～84歳 (n=168)	95.2%	2.4%	1.8%	0.6%	63.7%	17.3%	2.4%	16.7%	76.2%	9.5%	3.0%	11.3%
		85歳以上 (n=173)	95.4%	1.2%	0.6%	2.9%	68.8%	15.6%	2.3%	13.3%	76.3%	6.4%	2.9%	14.5%
	女性	65～74歳 (n=83)	90.4%	2.4%	1.2%	6.0%	57.8%	22.9%	3.6%	15.7%	77.1%	8.4%	6.0%	8.4%
		75～84歳 (n=273)	92.3%	3.7%	1.1%	2.9%	65.6%	17.9%	2.6%	13.9%	80.6%	7.3%	2.9%	9.2%
		85歳以上 (n=420)	95.7%	1.0%	0.5%	2.9%	65.0%	22.1%	2.1%	10.7%	78.6%	10.5%	2.4%	8.6%

施設サービス利用者

- ・「いる」割合は、『かかりつけ医』が87.8%、『かかりつけ歯科医』が69.3%、『かかりつけ薬局』が70.9%となっている。

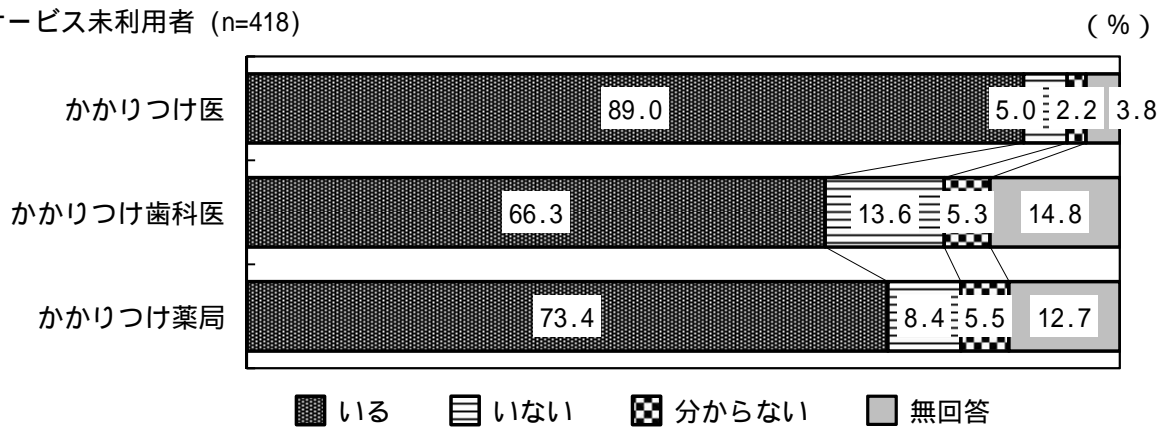
施設サービス利用者 (n=361)



サービス未利用者

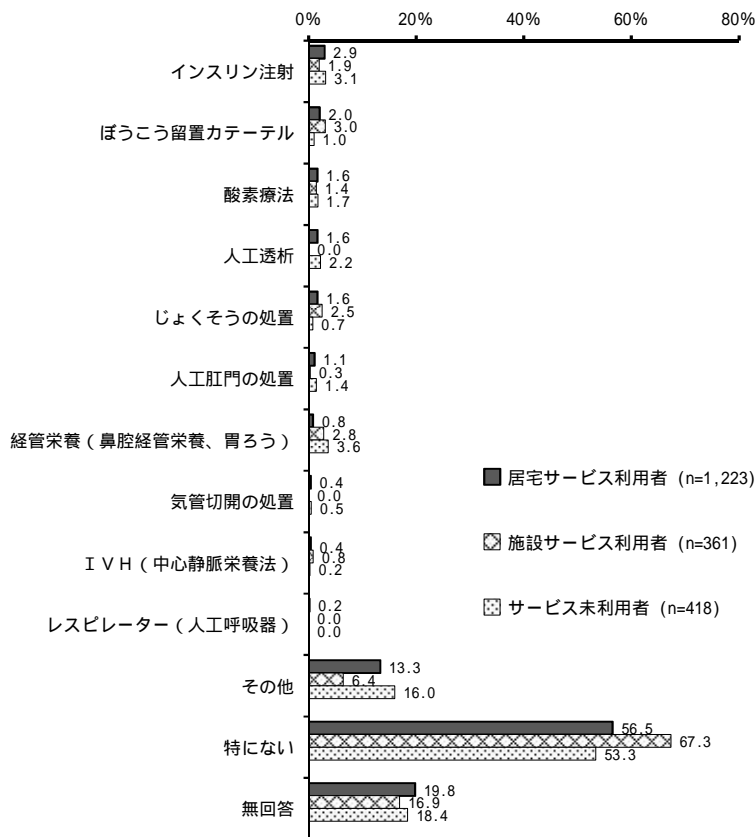
- ・「いる」割合は、『かかりつけ医』が89.0%、『かかりつけ歯科医』が66.3%、『かかりつけ薬局』が73.4%となっている。

サービス未利用者 (n=418)



問4 あなたが現在受けている医療処置はありますか。(いくつでも)

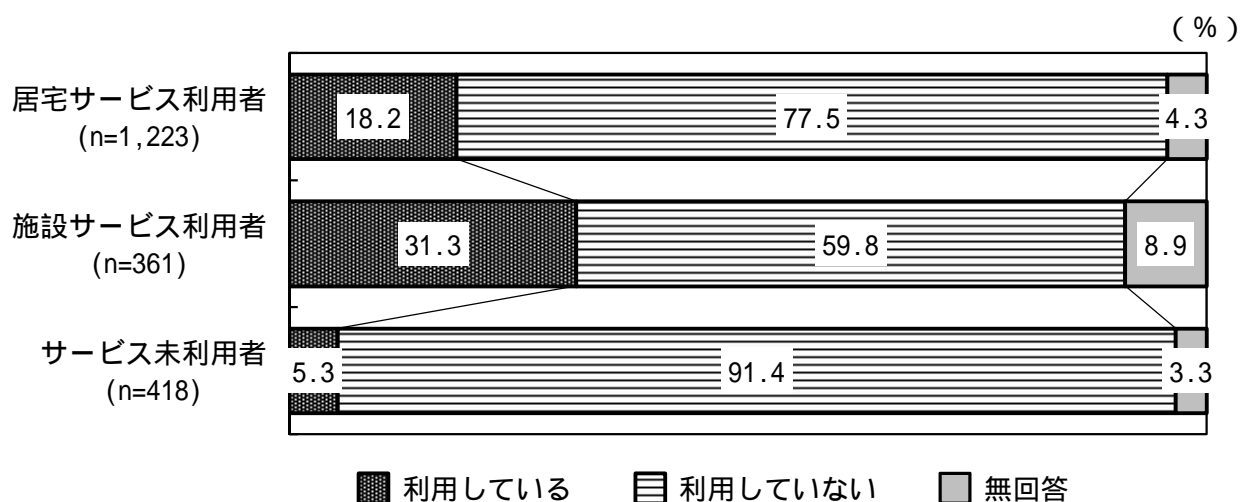
- ・居宅サービス利用者では、「インスリン注射」(2.9%)が最も多く、次いで「ぼうこう留置カテーテル」(2.0%)、「酸素療法」「人工透析」「じょくそうの処置」(それぞれ1.6%)と続いている。一方、「特にない」は56.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「ぼうこう留置カテーテル」(3.0%)が最も多く、次いで「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(2.8%)、「じょくそうの処置」(2.5%)、「インスリン注射」(1.9%)、「酸素療法」(1.4%)と続いている。一方、「特にない」は67.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(3.6%)が最も多く、次いで「インスリン注射」(3.1%)、「人工透析」(2.2%)、「酸素療法」(1.7%)、「人工肛門の処置」(1.4%)と続いている。一方、「特にない」は53.3%となっている。



		経管栄養、 胃ろう (鼻腔経管 栄養)	ぼう こう 留置 カテ ー	酸 素 療 法	人 工 透 析	イ ン ス リ ン 注 射	気 管 切 開 の 処 置	I V H (中 心 静 脈 栄 養 法)	人 工 肛 門 の 処 置	じ ょ く そ う の 処 置	レ ス ピ レ ー タ ー (人 工 呼 吸 器)	そ の 他	特 に な い	無 回 答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		0.8%	2.0%	1.6%	1.6%	2.9%	0.4%	0.4%	1.1%	1.6%	0.2%	13.3%	56.5%	19.8%
要介護度 (3区分)	要支援1・2 (n=411)	0.2%	1.7%	1.2%	1.0%	2.9%	0.2%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	15.8%	51.6%	25.1%
	要介護1・2 (n=501)	0.4%	1.4%	1.2%	2.4%	2.6%	0.0%	0.4%	1.6%	1.0%	0.2%	14.4%	60.3%	15.8%
	要介護3～5 (n=270)	2.6%	4.1%	3.3%	1.5%	3.3%	1.5%	0.7%	0.7%	5.6%	0.4%	8.1%	58.5%	16.7%
施設サービス利用者(全体) (n=361)		2.8%	3.0%	1.4%	0.0%	1.9%	0.0%	0.8%	0.3%	2.5%	0.0%	6.4%	67.3%	16.9%
要介護度 (3区分)	要支援1・2 (n=18)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	61.1%	22.2%
	要介護1・2 (n=66)	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	77.3%	13.6%
	要介護3～5 (n=264)	3.8%	3.8%	1.5%	0.0%	1.9%	0.0%	0.8%	0.4%	3.4%	0.0%	6.4%	66.7%	15.5%
サービス未利用者(全体) (n=418)		3.6%	1.0%	1.7%	2.2%	3.1%	0.5%	0.2%	1.4%	0.7%	0.0%	16.0%	53.3%	18.4%
要介護度 (3区分)	要支援1・2 (n=238)	0.8%	0.4%	1.3%	2.1%	2.9%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	17.6%	55.5%	19.3%
	要介護1・2 (n=91)	0.0%	1.1%	3.3%	3.3%	4.4%	1.1%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	12.1%	60.4%	13.2%
	要介護3～5 (n=49)	26.5%	2.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	6.1%	0.0%	16.3%	28.6%	20.4%

問5 現在、訪問診療を利用していますか。(1つに)

- ・「利用している」割合は、居宅サービス利用者では18.2%、施設サービス利用者では31.3%、サービス未利用者では5.3%となっている。
- ・居宅サービス利用者で「利用している」割合は、『要支援1・2』では10.9%、『要介護3～5』では33.3%と、要介護度が高くなるほど高くなっている。



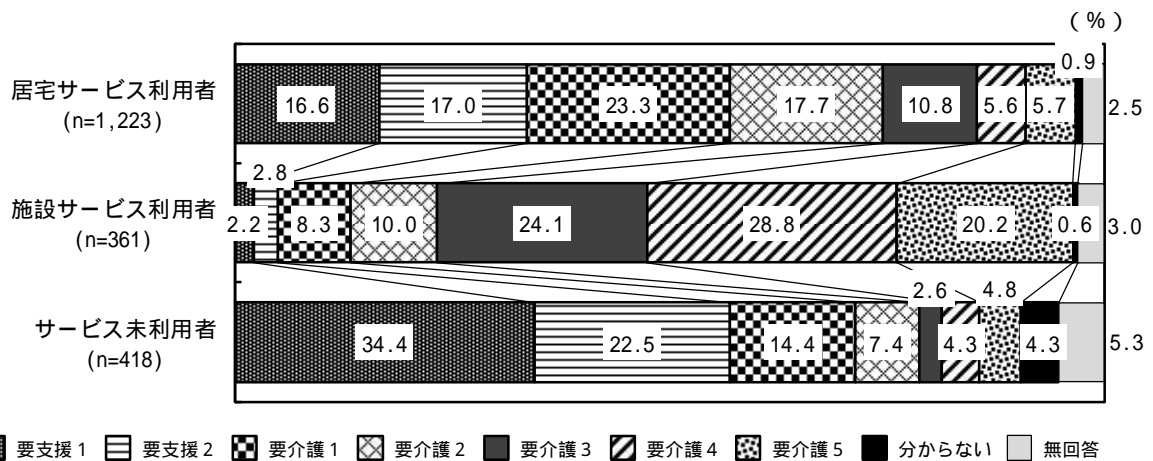
		利用している	利用していない	無回答	
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		18.2%	77.5%	4.3%	
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	10.9%	85.9%	3.2%	
	要介護1・2 (n=501)	16.8%	79.4%	3.8%	
	要介護3～5 (n=270)	33.3%	63.0%	3.7%	
性別	男性 (n=423)	20.8%	74.9%	4.3%	
	女性 (n=780)	16.7%	79.5%	3.8%	
年齢	65～69歳 (n=53)	24.5%	73.6%	1.9%	
	70～74歳 (n=111)	19.8%	77.5%	2.7%	
	75～79歳 (n=178)	20.2%	75.3%	4.5%	
	80～84歳 (n=266)	13.5%	81.2%	5.3%	
	85～89歳 (n=342)	15.8%	80.1%	4.1%	
	90～94歳 (n=211)	19.4%	77.3%	3.3%	
95歳以上 (n=44)	34.1%	63.6%	2.3%		
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=81)	25.9%	70.4%	3.7%
		75～84歳 (n=168)	19.6%	75.6%	4.8%
		85歳以上 (n=173)	19.7%	76.3%	4.0%
	女性	65～74歳 (n=83)	16.9%	81.9%	1.2%
		75～84歳 (n=273)	14.3%	81.0%	4.8%
		85歳以上 (n=420)	18.1%	78.3%	3.6%
家族構成	1人暮らし (n=325)	15.7%	79.7%	4.6%	
	夫婦2人暮らし (n=373)	19.6%	75.6%	4.8%	
	子のみと同居 (n=294)	19.0%	76.5%	4.4%	
	配偶者・子以外と同 (n=88)	20.5%	78.4%	1.1%	
	その他 (n=118)	16.9%	82.2%	0.8%	
家族介護者	有り (n=1,053)	18.6%	77.6%	3.8%	
	無し (n=170)	15.9%	77.1%	7.1%	

(4) 介護保険について

問6 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに)

令和元年10月1日現在

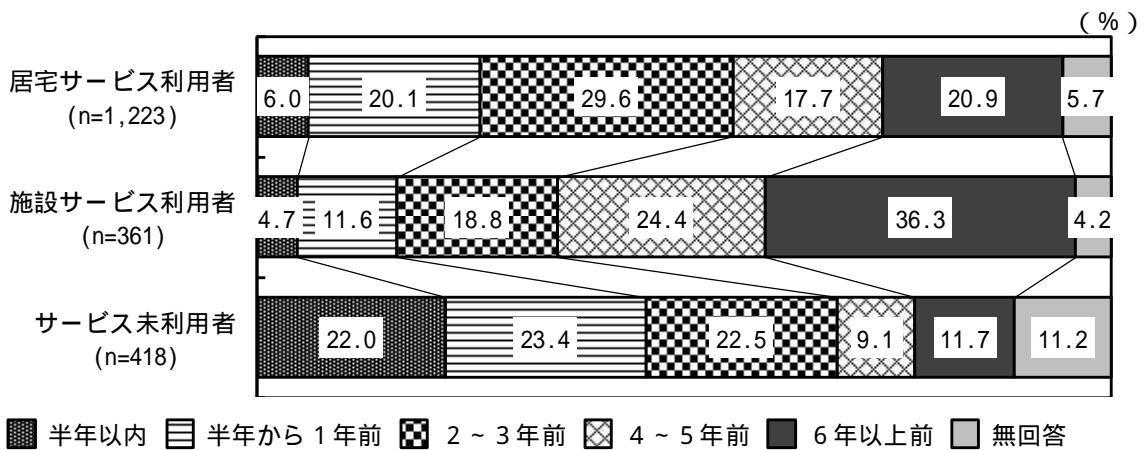
- ・ 居宅サービス利用者では、「要介護1」(23.3%)が最も多く、次いで「要介護2」(17.7%)、「要支援2」(17.0%)、「要支援1」(16.6%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「要介護4」(28.8%)が最も多く、次いで「要介護3」(24.1%)、「要介護5」(20.2%)、「要介護2」(10.0%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「要支援1」(34.4%)が最も多く、次いで「要支援2」(22.5%)、「要介護1」(14.4%)と続いている。



		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	分からない	無回答	
居宅サービス利用者 (全体) (n=1,223)		16.6%	17.0%	23.3%	17.7%	10.8%	5.6%	5.7%	0.9%	2.5%	
性別	男性 (n=423)	14.4%	14.9%	21.3%	22.5%	12.1%	5.9%	6.1%	0.5%	2.4%	
	女性 (n=780)	17.7%	18.1%	24.7%	14.9%	10.1%	5.5%	5.6%	1.0%	2.3%	
年齢	65～69歳 (n=53)	9.4%	20.8%	20.8%	17.0%	17.0%	3.8%	11.3%	0.0%	0.0%	
	70～74歳 (n=111)	13.5%	19.8%	18.9%	15.3%	10.8%	9.9%	6.3%	0.9%	4.5%	
	75～79歳 (n=178)	19.7%	16.3%	20.2%	16.9%	9.6%	7.3%	8.4%	0.0%	1.7%	
	80～84歳 (n=266)	19.2%	17.7%	23.7%	18.0%	9.4%	4.1%	4.1%	1.9%	1.9%	
	85～89歳 (n=342)	19.6%	16.1%	24.0%	18.4%	9.1%	4.4%	4.4%	1.2%	2.9%	
	90～94歳 (n=211)	10.9%	17.1%	28.9%	19.0%	12.3%	4.3%	6.2%	0.5%	0.9%	
	95歳以上 (n=44)	4.5%	9.1%	25.0%	13.6%	22.7%	15.9%	6.8%	0.0%	2.3%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=81)	7.4%	22.2%	14.8%	25.9%	11.1%	6.2%	7.4%	1.2%	3.7%
		75～84歳 (n=168)	17.3%	9.5%	18.5%	22.6%	14.3%	8.3%	9.5%	0.0%	0.0%
		85歳以上 (n=173)	14.5%	16.8%	27.2%	20.8%	10.4%	3.5%	2.3%	0.6%	4.0%
	女性	65～74歳 (n=83)	16.9%	18.1%	24.1%	6.0%	14.5%	9.6%	8.4%	0.0%	2.4%
		75～84歳 (n=273)	20.9%	22.0%	24.5%	14.3%	6.6%	3.7%	3.7%	1.5%	2.9%
		85歳以上 (n=420)	15.7%	15.5%	25.2%	17.1%	11.7%	6.0%	6.4%	1.0%	1.4%
家族構成	1人暮らし (n=325)	23.1%	25.8%	26.8%	10.8%	4.3%	1.5%	2.5%	2.5%	2.8%	
	夫婦2人暮らし (n=373)	16.4%	16.1%	18.8%	19.8%	13.7%	5.9%	7.0%	0.3%	2.1%	
	子のみ同居 (n=294)	11.6%	13.3%	23.1%	19.0%	13.3%	8.2%	8.5%	0.3%	2.7%	
	配偶者・子以外同居 (n=88)	13.6%	8.0%	20.5%	19.3%	18.2%	12.5%	6.8%	0.0%	1.1%	
	その他 (n=118)	12.7%	11.9%	32.2%	24.6%	8.5%	5.1%	4.2%	0.8%	0.0%	

問7 最初に要介護認定を受けた時期はいつ頃ですか。(1つに)

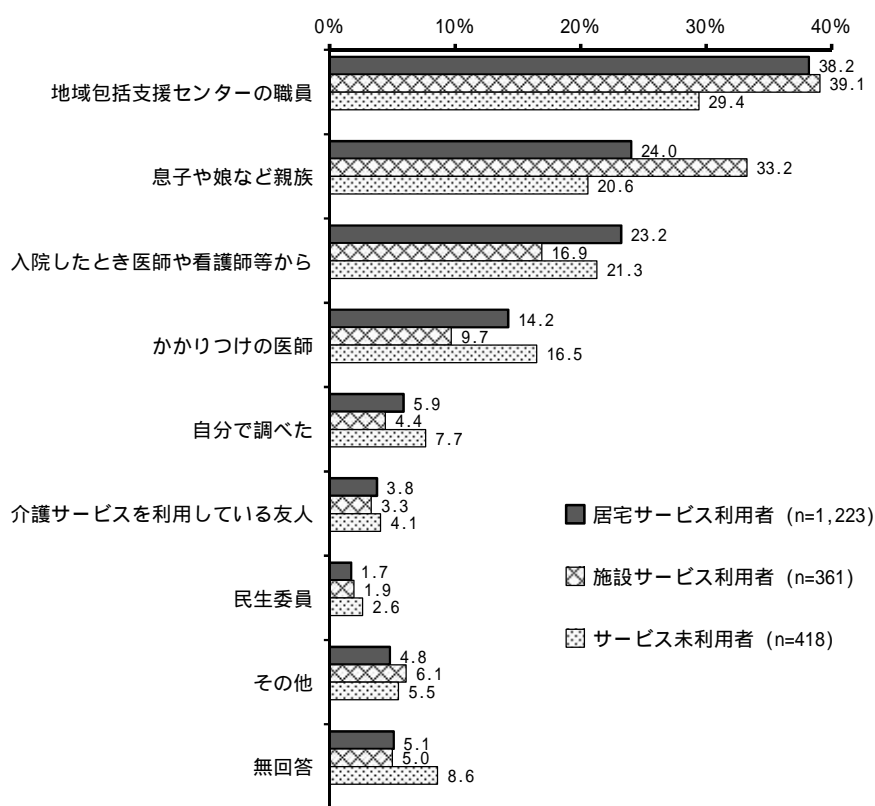
- ・居宅サービス利用者では、「2～3年前」(29.6%)が最も多く、次いで「6年以上前」(20.9%)、「半年から1年前」(20.1%)、「4～5年前」(17.7%)と続いている。介護度別にみると、『要介護5』では、「6年以上前」が44.3%と最も多い。
- ・施設サービス利用者では、「6年以上前」(36.3%)が最も多く、次いで「4～5年前」(24.4%)、「2～3年前」(18.8%)、「半年から1年前」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「半年から1年前」(23.4%)が最も多く、次いで「2～3年前」(22.5%)、「半年以内」(22.0%)、「6年以上前」(11.7%)と続いている。



		半年以内	半年から1年前	2～3年前	4～5年前	6年以上前	無回答	
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		6.0%	20.1%	29.6%	17.7%	20.9%	5.7%	
要介護度	要支援1 (n=203)	7.4%	26.1%	31.0%	15.8%	12.8%	6.9%	
	要支援2 (n=208)	5.3%	20.7%	28.8%	16.3%	20.7%	8.2%	
	要介護1 (n=285)	8.1%	22.1%	34.4%	15.8%	16.8%	2.8%	
	要介護2 (n=216)	4.6%	18.5%	25.5%	22.2%	26.9%	2.3%	
	要介護3 (n=132)	6.1%	15.2%	29.5%	24.2%	25.0%	0.0%	
	要介護4 (n=68)	2.9%	23.5%	38.2%	8.8%	25.0%	1.5%	
	要介護5 (n=70)	2.9%	10.0%	18.6%	21.4%	44.3%	2.9%	
性別	男性 (n=423)	5.9%	21.7%	27.9%	19.1%	20.6%	4.7%	
	女性 (n=780)	6.0%	19.2%	30.9%	16.9%	21.3%	5.6%	
年齢	65～69歳 (n=53)	5.7%	22.6%	35.8%	7.5%	20.8%	7.5%	
	70～74歳 (n=111)	5.4%	18.9%	33.3%	14.4%	22.5%	5.4%	
	75～79歳 (n=178)	6.7%	23.0%	30.3%	14.6%	19.7%	5.6%	
	80～84歳 (n=266)	7.5%	21.4%	25.2%	17.3%	21.1%	7.5%	
	85～89歳 (n=342)	4.7%	21.6%	31.0%	20.5%	18.7%	3.5%	
	90～94歳 (n=211)	6.2%	15.2%	31.3%	19.0%	23.2%	5.2%	
	95歳以上 (n=44)	4.5%	11.4%	22.7%	22.7%	34.1%	4.5%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=81)	7.4%	23.5%	24.7%	11.1%	27.2%	6.2%
		75～84歳 (n=168)	6.5%	17.3%	27.4%	23.2%	20.8%	4.8%
		85歳以上 (n=173)	4.6%	24.9%	30.1%	19.1%	17.3%	4.0%
	女性	65～74歳 (n=83)	3.6%	16.9%	43.4%	13.3%	16.9%	6.0%
		75～84歳 (n=273)	7.7%	24.9%	27.5%	12.1%	20.5%	7.3%
		85歳以上 (n=420)	5.5%	16.0%	30.7%	20.7%	22.9%	4.3%

問8 最初に要介護認定を受けたとき、どなたから申請を勧められましたか。(いくつでも)

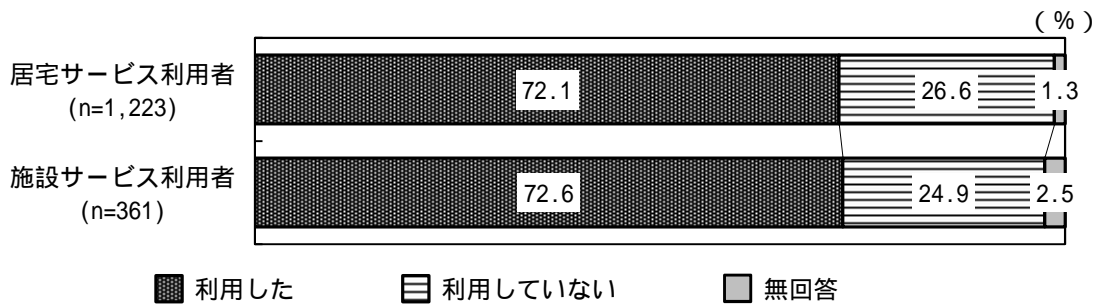
- ・ 居宅サービス利用者では、「地域包括支援センターの職員」(38.2%)が最も多く、次いで「息子や娘など親族」(24.0%)、「入院したとき医師や看護師等から」(23.2%)、「かかりつけの医師」(14.2%)と続いている。家族構成別にみると、『1人暮らし』では、他の家族構成と比べて「地域包括支援センターの職員」(44.9%)の割合が高く、一方、「入院したときの医師や看護師から」(18.5%)や「かかりつけ医」(12.0%)の割合が低くなっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「地域包括支援センターの職員」(39.1%)が最も多く、次いで「息子や娘など親族」(33.2%)、「入院したとき医師や看護師等から」(16.9%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「地域包括支援センターの職員」(29.4%)が最も多く、次いで「入院したとき医師や看護師等から」(21.3%)、「息子や娘など親族」(20.6%)、「かかりつけの医師」(16.5%)と続いている。



		地域包括支援センターの職員	民生委員	かかりつけの医師	入院したとき医師や看護師等から	介護サービスを利用している友人	息子や娘など親族	自分で調べた	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		38.2%	1.7%	14.2%	23.2%	3.8%	24.0%	5.9%	4.8%	5.1%
性別	男性 (n=423)	38.3%	2.4%	13.2%	27.2%	2.8%	20.3%	6.4%	5.2%	3.1%
	女性 (n=780)	38.2%	1.4%	14.5%	21.3%	4.2%	26.0%	5.8%	4.7%	5.8%
年齢	65～69歳 (n=53)	28.3%	1.9%	13.2%	34.0%	3.8%	22.6%	5.7%	9.4%	5.7%
	70～74歳 (n=111)	36.0%	0.0%	8.1%	33.3%	5.4%	15.3%	6.3%	5.4%	5.4%
	75～79歳 (n=178)	38.8%	0.6%	14.0%	29.2%	3.4%	12.9%	7.9%	7.3%	4.5%
	80～84歳 (n=266)	34.6%	2.6%	15.4%	27.1%	4.5%	21.4%	6.8%	4.1%	8.3%
	85～89歳 (n=342)	41.8%	1.8%	15.8%	19.9%	2.3%	26.6%	5.3%	5.0%	2.6%
	90～94歳 (n=211)	39.8%	2.4%	13.3%	14.2%	4.7%	32.7%	5.2%	2.8%	4.7%
95歳以上 (n=44)	43.2%	0.0%	9.1%	9.1%	2.3%	50.0%	2.3%	2.3%	2.3%	
家族構成	1人暮らし (n=325)	44.9%	2.2%	12.0%	18.5%	4.9%	19.7%	7.1%	4.6%	6.8%
	夫婦2人暮らし (n=373)	38.9%	1.3%	16.4%	27.3%	4.3%	16.1%	5.9%	6.2%	5.6%
	子のみと同居 (n=294)	34.7%	2.4%	15.0%	23.1%	3.4%	33.3%	4.4%	3.7%	2.4%
	配偶者・子以外と同居 (n=88)	27.3%	1.1%	13.6%	22.7%	3.4%	34.1%	9.1%	4.5%	3.4%
	その他 (n=118)	36.4%	0.8%	10.2%	25.4%	0.0%	32.2%	4.2%	5.1%	2.5%

問9 令和元年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つに)

- ・「利用した」は、居宅サービス利用者では72.1%、施設サービス利用者では72.6%となっている。
- ・居宅サービス利用者で「利用した」割合は、『要支援1・2』では62.5%、『要介護3～5』では84.4%と、要介護度が高くなるほど高くなっている。また、家族構成では『1人暮らし』(68.9%)で低く、家族介護者が『無し』(55.9%)のほうが低くなっている。

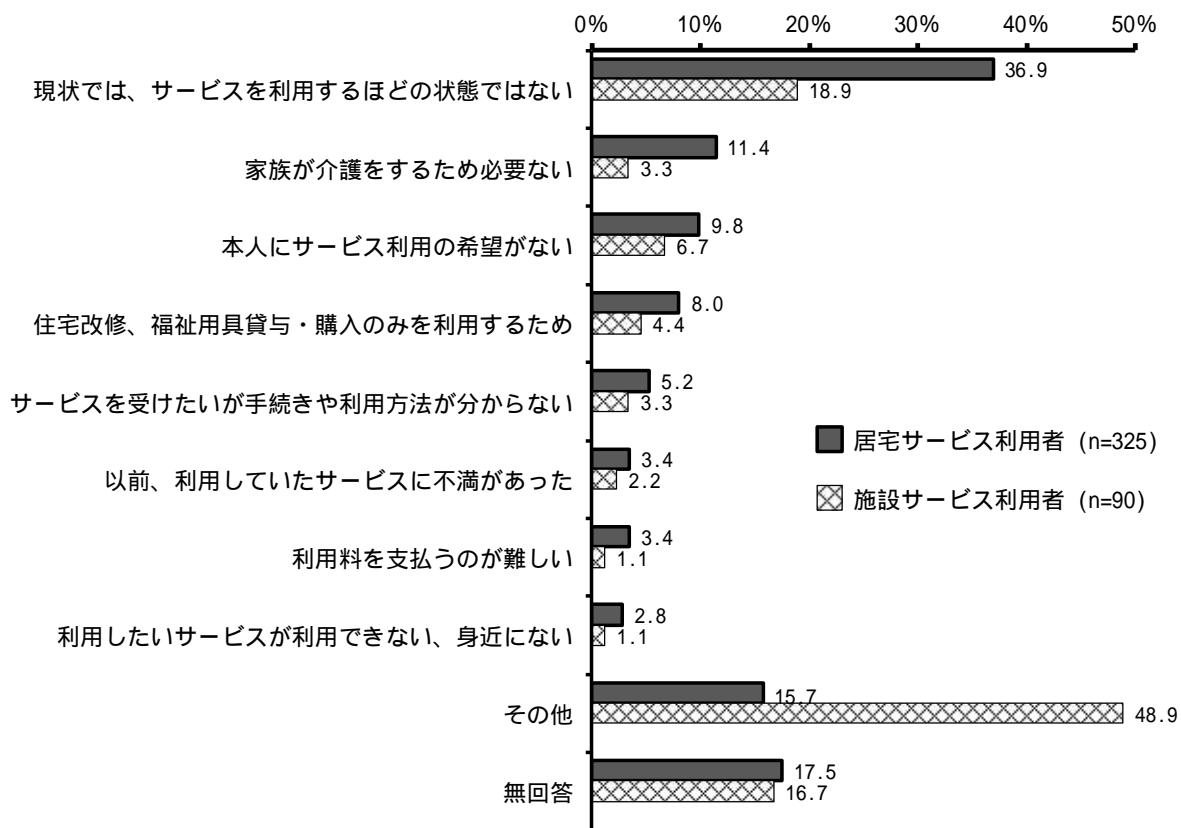


		利用した	利用していない	無回答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		72.1%	26.6%	1.3%
要介護度 (3区分)	要支援1・2 (n=411)	62.5%	36.5%	1.0%
	要介護1・2 (n=501)	76.0%	23.6%	0.4%
	要介護3～5 (n=270)	84.4%	15.2%	0.4%
家族構成	1人暮らし (n=325)	68.9%	29.2%	1.8%
	夫婦2人暮らし (n=373)	69.7%	29.5%	0.8%
	子のみと同居 (n=294)	77.6%	21.4%	1.0%
	配偶者・子以外と同居 (n=88)	76.1%	23.9%	0.0%
	その他 (n=118)	74.6%	25.4%	0.0%
家族 介護者	有り (n=1,053)	74.7%	24.5%	0.8%
	無し (n=170)	55.9%	39.4%	4.7%
治療中の 病気等	ない (n=27)	59.3%	37.0%	3.7%
	ある (n=1,175)	72.8%	26.3%	0.9%

問9で「利用していない」と回答した方におたずねします

問9-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(36.9%)が最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(11.4%)、「本人にサービス利用の希望がない」(9.8%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(8.0%)、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(5.2%)と続いている。介護度別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」割合は、『要介護3～5』であっても22.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(18.9%)が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(6.7%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(4.4%)、「家族が介護をするため必要ない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(ともに3.3%)と続いている。



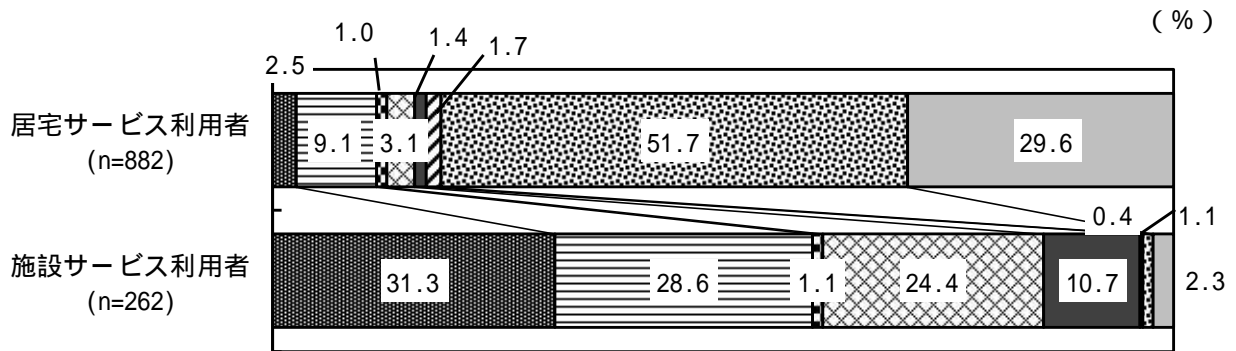
		現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体)	(n=325)	36.9%	9.8%	11.4%	3.4%	3.4%	2.8%	8.0%	5.2%	15.7%	17.5%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=150)	43.3%	10.0%	6.0%	4.0%	2.7%	4.0%	6.7%	4.0%	14.0%	16.7%
	要介護1・2 (n=118)	31.4%	10.2%	14.4%	3.4%	5.1%	2.5%	11.0%	6.8%	12.7%	21.2%
	要介護3～5 (n=41)	22.0%	9.8%	22.0%	2.4%	2.4%	0.0%	7.3%	2.4%	36.6%	9.8%
家族構成	1人暮らし (n=95)	29.5%	5.3%	2.1%	7.4%	4.2%	4.2%	6.3%	7.4%	16.8%	24.2%
	夫婦2人暮らし (n=110)	38.2%	13.6%	14.5%	3.6%	4.5%	2.7%	6.4%	3.6%	15.5%	17.3%
	子のみと同居 (n=63)	44.4%	6.3%	19.0%	0.0%	3.2%	0.0%	14.3%	4.8%	11.1%	12.7%
	配偶者・子以外と同居 (n=21)	38.1%	9.5%	14.3%	0.0%	0.0%	4.8%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%
	その他 (n=30)	33.3%	16.7%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	6.7%	16.7%	13.3%
家族介護者	有り (n=258)	36.4%	11.2%	12.8%	3.5%	3.1%	2.3%	7.8%	5.8%	18.2%	14.7%
	無し (n=67)	38.8%	4.5%	6.0%	3.0%	4.5%	4.5%	9.0%	3.0%	6.0%	28.4%

問9で「利用した」と回答した方におたずねします

問9-2 介護保険サービスについて、令和元年9月の1か月間で次のサービスを利用しましたか。（要支援1、2の方は、それぞれ介護予防サービスと読みかえてお答えください。）

(1) 施設・居住系サービス(1つに)

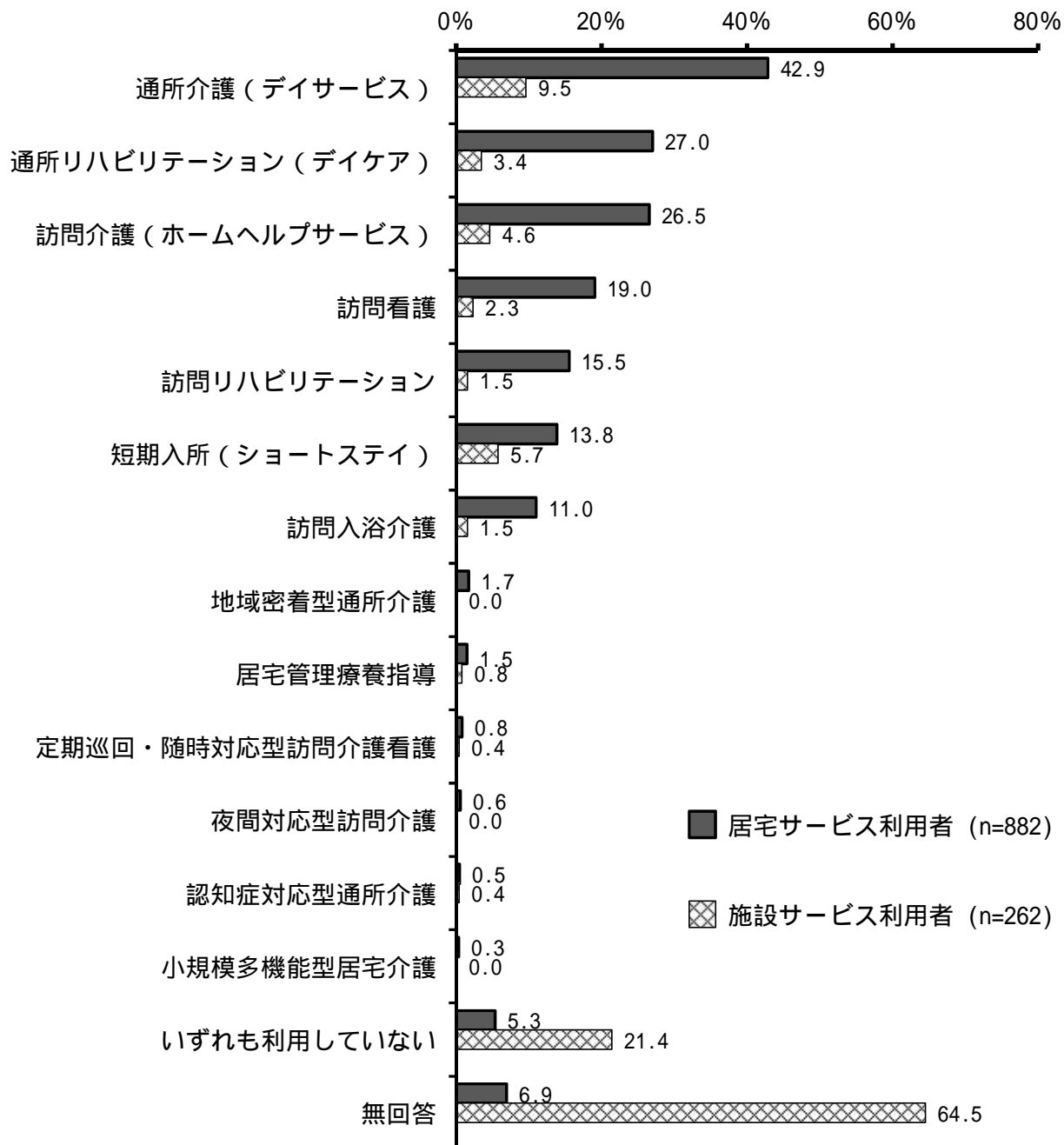
- ・ 居宅サービス利用者では、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(9.1%)が最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」(3.1%)、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(2.5%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は51.7%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(31.3%)が最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」(28.6%)、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」(24.4%)、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」(10.7%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は1.1%となっている。



- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 介護老人保健施設（老人保健施設）
- 介護医療院（介護療養型医療施設）
- 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- neither 利用していない
- 無回答

問9-2(2) 自宅で生活をしながら利用するサービス(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「通所介護(デイサービス)」(42.9%)が最も多く、次いで「通所リハビリテーション(デイケア)」(27.0%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(26.5%)、「訪問看護」(19.0%)、「訪問リハビリテーション」(15.5%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は5.3%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「通所介護(デイサービス)」(9.5%)が最も多く、次いで「短期入所(ショートステイ)」(5.7%)、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」(4.6%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は21.4%となっている。

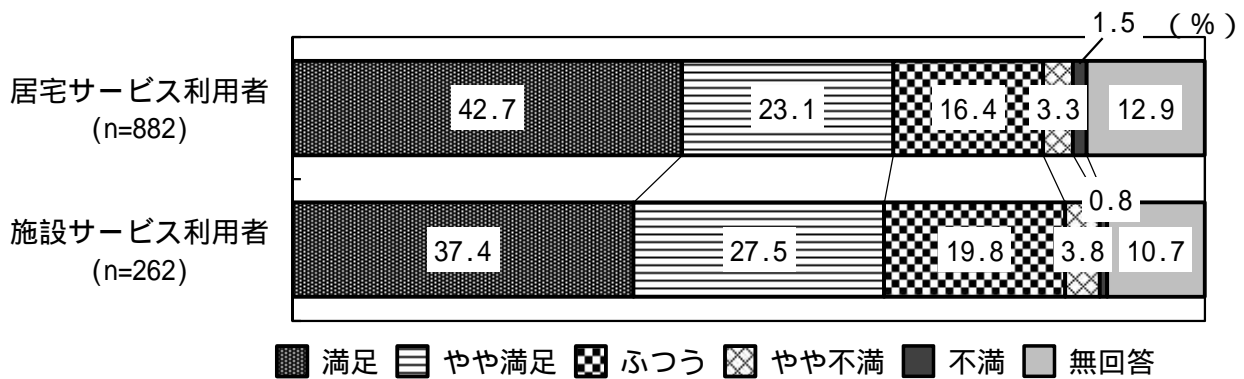


問9で「利用した」と回答した方におたずねします

問9-3 利用中のサービスの「総合的な満足度」についてお答えください。

(1) 総合的な満足度(1つに)

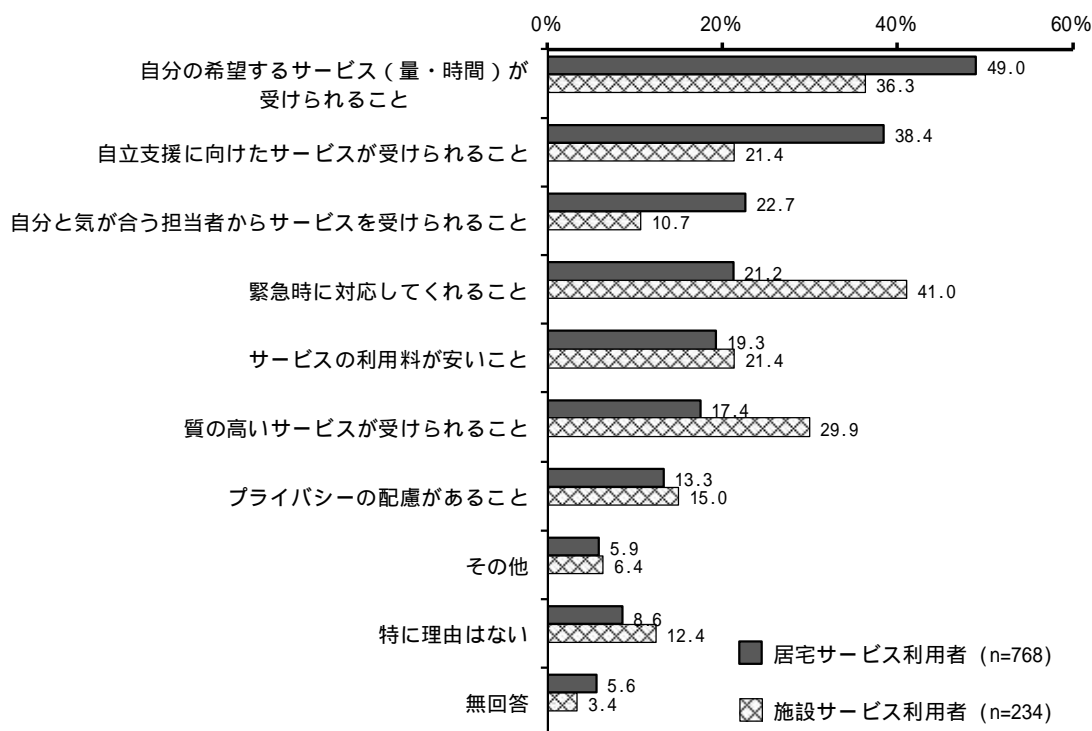
- ・居宅サービス利用者では、「満足」(42.7%)、「やや満足」(23.1%)を合わせた割合は65.8%となっている。一方、「やや不満」(3.3%)、「不満」(1.5%)を合わせた割合は4.8%となっている。「やや不満」と「不満」を合わせた割合を要介護度別にみると、『要介護5』で8.0%と最も高くなっている。
- ・施設サービス利用者では、「満足」(37.4%)、「やや満足」(27.5%)を合わせた割合は64.9%となっている。一方、「やや不満」(3.8%)、「不満」(0.8%)を合わせた割合は4.6%となっている。



		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	
居宅サービス利用者(全体)		(n=882)	42.7%	23.1%	16.4%	3.3%	1.5%	12.9%
要介護度	要支援1	(n=116)	45.7%	19.0%	17.2%	2.6%	0.9%	14.7%
	要支援2	(n=141)	49.6%	24.8%	9.9%	3.5%	1.4%	10.6%
	要介護1	(n=204)	43.1%	20.1%	19.6%	1.5%	2.0%	13.7%
	要介護2	(n=177)	44.1%	21.5%	14.1%	4.5%	1.1%	14.7%
	要介護3	(n=112)	36.6%	28.6%	20.5%	4.5%	0.9%	8.9%
	要介護4	(n=54)	33.3%	29.6%	18.5%	5.6%	0.0%	13.0%
	要介護5	(n=62)	35.5%	29.0%	14.5%	3.2%	4.8%	12.9%
性別	男性	(n=303)	40.3%	23.4%	15.8%	4.3%	2.0%	14.2%
	女性	(n=566)	43.6%	23.3%	16.8%	2.8%	1.2%	12.2%
年齢	65～69歳	(n=43)	34.9%	30.2%	9.3%	7.0%	7.0%	11.6%
	70～74歳	(n=83)	38.6%	16.9%	19.3%	7.2%	1.2%	16.9%
	75～79歳	(n=131)	43.5%	21.4%	20.6%	2.3%	0.8%	11.5%
	80～84歳	(n=187)	40.6%	26.2%	16.0%	3.2%	0.0%	13.9%
	85～89歳	(n=233)	45.9%	23.2%	16.3%	2.6%	1.7%	10.3%
	90～94歳	(n=156)	46.2%	21.8%	15.4%	2.6%	1.3%	12.8%
	95歳以上	(n=37)	32.4%	29.7%	8.1%	2.7%	5.4%	21.6%
家族構成	1人暮らし	(n=224)	47.8%	18.3%	16.5%	4.5%	1.8%	11.2%
	夫婦2人暮らし	(n=260)	38.8%	23.8%	19.6%	3.8%	1.2%	12.7%
	子のみと同居	(n=228)	42.1%	26.3%	14.9%	2.2%	1.8%	12.7%
	配偶者・子以外と同居	(n=67)	44.8%	23.9%	16.4%	1.5%	0.0%	13.4%
	その他	(n=88)	42.0%	25.0%	10.2%	3.4%	2.3%	17.0%

問9-3(2)「総合的な満足度」について、つけた基準について教えてください。(いくつでも)

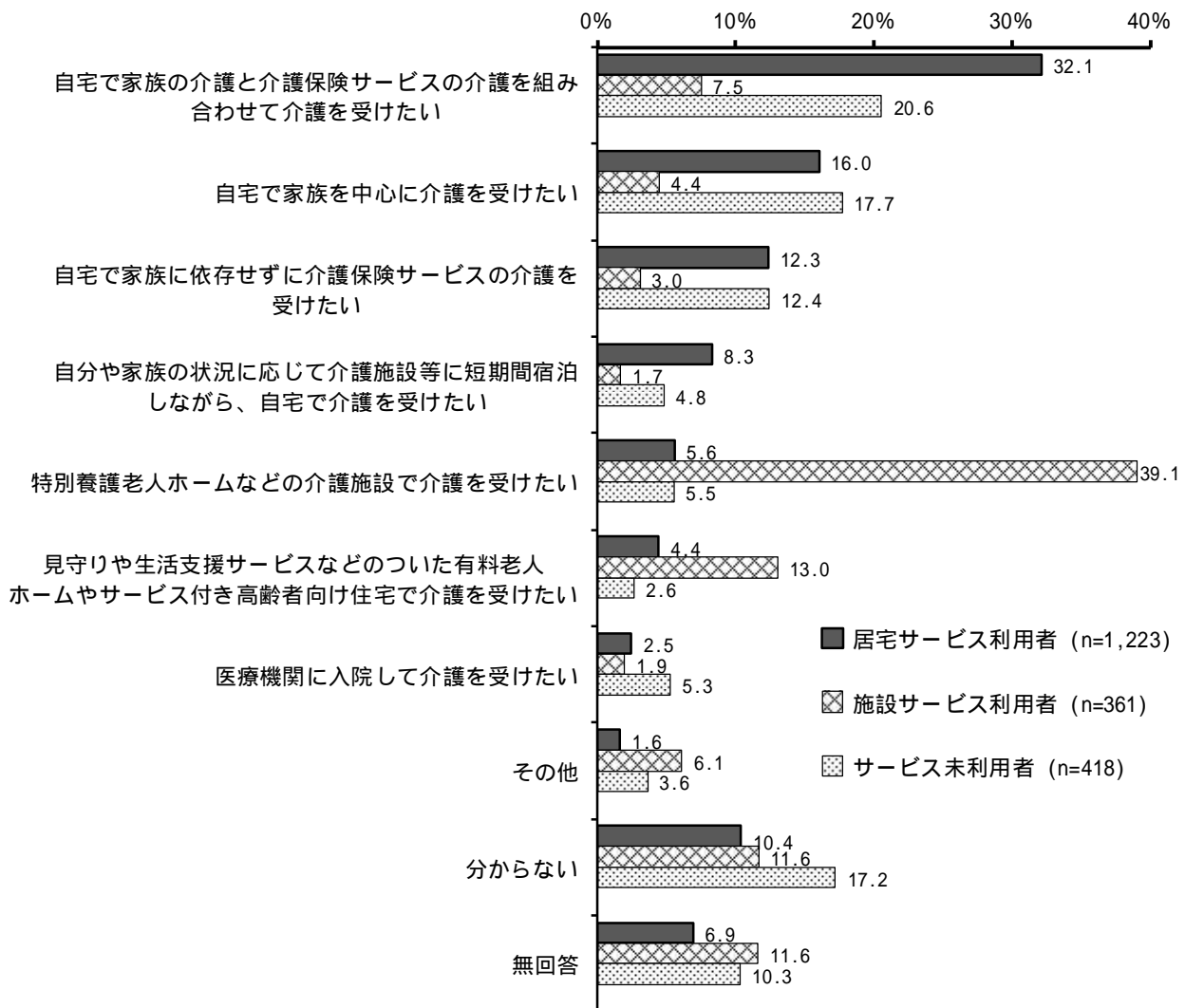
- ・居宅サービス利用者では、「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(49.0%)が最も多く、次いで「自立支援に向けたサービスが受けられること」(38.4%)、「自分と気が合う担当者からサービスを受けられること」(22.7%)、「緊急時に対応してくれること」(21.2%)、「サービスの利用料が安いこと」(19.3%)と続いている。一方、「特に理由はない」は8.6%となっている。要介護度別にみると、「緊急時に対応してくれること」の割合は、『要支援1・2』では19.1%、『要介護3～5』では31.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「緊急時に対応してくれること」(41.0%)が最も多く、次いで「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(36.3%)、「質の高いサービスが受けられること」(29.9%)、「自立支援に向けたサービスが受けられること」と「サービスの利用料が安いこと」(ともに21.4%)と続いている。一方、「特に理由はない」は12.4%となっている。



		自立支援に向けたサービスが受けられること	自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること	質の高いサービスが受けられること	サービスの利用料が安いこと	自分と気が合う担当者からサービスを受けられること	プライバシーの配慮があること	緊急時に対応してくれること	その他	特に理由はない	無回答		
居宅サービス利用者(全体)		(n=768)	38.4%	49.0%	17.4%	19.3%	22.7%	13.3%	21.2%	5.9%	8.6%	5.6%	
要介護度(3区分)	要支援1・2	(n=225)	43.1%	44.9%	15.6%	24.0%	28.0%	18.2%	19.1%	4.4%	9.3%	5.8%	
	要介護1・2	(n=327)	41.0%	51.7%	17.1%	17.7%	22.0%	13.1%	17.1%	8.0%	6.7%	4.6%	
	要介護3～5	(n=203)	30.0%	49.8%	20.7%	17.7%	18.7%	8.4%	31.0%	3.9%	9.9%	5.9%	
性別	男性	(n=260)	43.5%	43.8%	20.8%	17.3%	21.5%	13.8%	21.9%	6.2%	6.9%	7.7%	
	女性	(n=497)	35.6%	52.1%	15.9%	20.5%	23.3%	13.1%	20.7%	5.6%	8.9%	4.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=52)	48.1%	38.5%	21.2%	17.3%	21.2%	11.5%	23.1%	7.7%	1.9%	9.6%
		75～84歳	(n=105)	46.7%	47.6%	21.9%	20.0%	17.1%	15.2%	23.8%	5.7%	5.7%	5.7%
		85歳以上	(n=103)	37.9%	42.7%	19.4%	14.6%	26.2%	13.6%	19.4%	5.8%	10.7%	8.7%
	女性	65～74歳	(n=55)	34.5%	56.4%	14.5%	18.2%	9.1%	5.5%	16.4%	3.6%	9.1%	9.1%
		75～84歳	(n=171)	41.5%	48.5%	13.5%	18.1%	28.7%	17.0%	19.3%	5.8%	9.4%	4.1%
85歳以上	(n=269)	32.3%	53.9%	17.8%	22.7%	23.0%	12.3%	22.7%	5.9%	8.2%	3.7%		
家族構成	1人暮らし	(n=199)	36.2%	48.7%	15.1%	21.1%	24.1%	18.1%	17.1%	5.0%	8.0%	6.5%	
	夫婦2人暮らし	(n=227)	41.0%	41.4%	16.7%	17.2%	20.7%	11.5%	22.0%	5.7%	8.8%	7.9%	
	子のみと同居	(n=199)	36.2%	54.8%	18.1%	20.6%	24.6%	9.5%	20.6%	5.5%	6.5%	3.5%	
	配偶者・子以外と同居	(n=58)	32.8%	51.7%	22.4%	19.0%	19.0%	12.1%	25.9%	8.6%	13.8%	5.2%	
	その他	(n=73)	45.2%	60.3%	21.9%	19.2%	24.7%	16.4%	27.4%	8.2%	6.8%	1.4%	
家族介護者	有り	(n=689)	38.0%	49.9%	18.3%	19.2%	22.2%	13.5%	21.9%	6.2%	9.1%	4.9%	
	無し	(n=79)	41.8%	40.5%	10.1%	20.3%	26.6%	11.4%	15.2%	2.5%	3.8%	11.4%	

問10 あなたは、今後、どこで生活したいと考えていますか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(32.1%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護を受けたい」(16.0%)、「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」(12.3%)と続いている。一方、「分からない」は10.4%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい」(39.1%)が最も多く、次いで「見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で介護を受けたい」(13.0%)、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(7.5%)と続いている。一方、「分からない」は11.6%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(20.6%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護を受けたい」(17.7%)、「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」(12.4%)と続いている。一方、「分からない」は17.2%となっている。



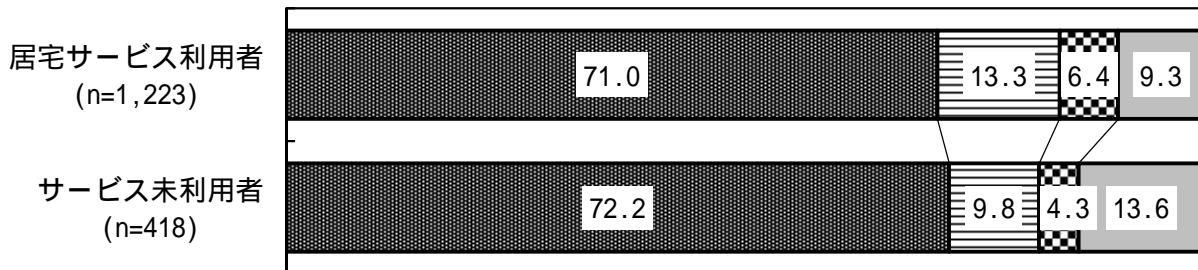
・居宅サービス利用者の『要介護5』では、「自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で介護を受けたい」(20.0%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい」(10.0%)の割合が他の要介護度と比べて高くなっている。

		自宅で家族を中心に介護を受けたい	自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせて介護を受けたい	自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい	自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で介護を受けたい	料見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい	医療機関に入院して介護を受けたい	その他	分からない	無回答	
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,223)	16.0%	32.1%	12.3%	8.3%	4.4%	5.6%	2.5%	1.6%	10.4%	6.9%
要介護度	要支援1	(n=203)	14.8%	22.7%	16.7%	4.4%	5.9%	4.4%	3.4%	3.4%	17.7%	6.4%
	要支援2	(n=208)	11.1%	26.4%	22.6%	7.7%	5.8%	2.9%	3.4%	1.0%	12.5%	6.7%
	要介護1	(n=285)	14.4%	32.6%	11.6%	9.8%	6.3%	5.6%	3.2%	1.4%	7.7%	7.4%
	要介護2	(n=216)	20.8%	38.9%	9.3%	5.6%	3.7%	7.4%	1.4%	0.9%	7.9%	4.2%
	要介護3	(n=132)	18.9%	43.9%	3.8%	9.8%	1.5%	7.6%	1.5%	1.5%	5.3%	6.1%
	要介護4	(n=68)	20.6%	41.2%	8.8%	8.8%	1.5%	4.4%	0.0%	0.0%	8.8%	5.9%
性別	男性	(n=423)	21.3%	36.6%	8.3%	6.6%	3.1%	4.7%	3.3%	1.9%	6.9%	7.3%
	女性	(n=780)	13.3%	30.0%	14.2%	9.4%	5.1%	6.2%	2.1%	1.4%	12.2%	6.2%
年齢	65～69歳	(n=53)	22.6%	32.1%	13.2%	5.7%	0.0%	0.0%	5.7%	5.7%	9.4%	5.7%
	70～74歳	(n=111)	13.5%	43.2%	10.8%	3.6%	2.7%	5.4%	0.0%	0.0%	9.9%	9.9%
	75～79歳	(n=178)	17.4%	28.1%	11.8%	10.7%	2.8%	7.3%	2.2%	2.8%	11.8%	5.1%
	80～84歳	(n=266)	15.0%	32.3%	13.5%	6.4%	6.8%	5.6%	2.3%	0.8%	10.5%	6.8%
	85～89歳	(n=342)	18.7%	30.1%	12.6%	8.5%	4.1%	6.1%	2.6%	2.3%	9.4%	5.6%
	90～94歳	(n=211)	13.7%	31.8%	13.3%	10.9%	5.7%	5.2%	2.8%	0.5%	8.1%	8.1%
性別×年齢	65～74歳	(n=81)	17.3%	38.3%	9.9%	4.9%	0.0%	2.5%	1.2%	2.5%	11.1%	12.3%
	75～84歳	(n=168)	19.6%	38.7%	6.5%	8.3%	4.2%	5.4%	3.0%	0.6%	7.1%	6.5%
	85歳以上	(n=173)	24.9%	33.5%	9.2%	5.8%	3.5%	5.2%	4.6%	2.9%	4.6%	5.8%
	65～74歳	(n=83)	15.7%	41.0%	13.3%	3.6%	3.6%	4.8%	3.6%	1.2%	8.4%	4.8%
	75～84歳	(n=273)	13.6%	26.0%	16.8%	8.1%	5.5%	7.0%	1.8%	2.2%	13.6%	5.5%
	85歳以上	(n=420)	12.9%	30.5%	12.9%	11.4%	5.2%	6.0%	1.9%	1.0%	11.7%	6.7%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	4.6%	15.7%	27.7%	5.8%	8.6%	7.4%	2.8%	3.1%	16.0%	8.3%
	夫婦2人暮らし	(n=373)	20.9%	39.4%	6.4%	7.8%	2.4%	5.4%	2.1%	0.5%	7.2%	7.8%
	子のみ同居	(n=294)	18.4%	39.8%	6.8%	10.2%	3.1%	4.1%	2.4%	0.7%	10.2%	4.4%
	配偶者・子以外同居	(n=88)	25.0%	38.6%	4.5%	10.2%	2.3%	5.7%	0.0%	1.1%	8.0%	4.5%
	その他	(n=118)	21.2%	32.2%	8.5%	11.0%	5.1%	5.9%	3.4%	2.5%	5.9%	4.2%
記入者	本人	(n=690)	14.6%	27.2%	17.2%	7.0%	5.9%	4.8%	3.2%	2.0%	10.3%	7.7%
	本人以外	(n=477)	18.0%	39.2%	5.0%	10.5%	2.7%	6.9%	1.7%	0.8%	10.3%	4.8%
住まい	持ち家	(n=925)	17.8%	34.6%	11.9%	9.2%	3.1%	4.8%	2.5%	1.5%	8.5%	6.1%
	賃貸(民間・公的)	(n=236)	11.9%	27.5%	14.4%	5.5%	4.2%	8.1%	2.5%	0.8%	16.1%	8.9%

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてうかがいます。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「入所・入居は検討していない」が71.0%、「入所・入居を検討している」が13.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.4%となっている。要介護度別にみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」割合は、『要支援1』では1.5%、『要介護5』では18.6%と、要介護度が高くなるほど高くなっており、特に要介護3以上で高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「入所・入居は検討していない」が72.2%、「入所・入居を検討している」が9.8%となっている。

(%)



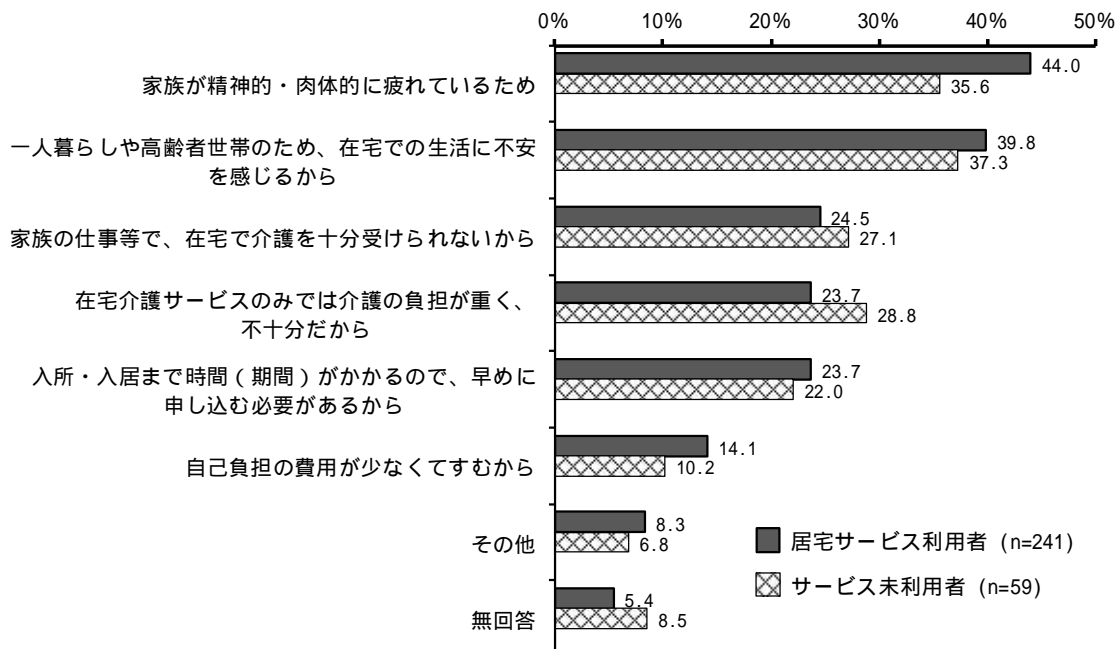
入所・入居を検討していない
 入所・入居を検討している
 すでに入所・入居申し込みをしている
 無回答

		入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		71.0%	13.3%	6.4%	9.3%
要介護度	要支援1 (n=203)	76.4%	11.3%	1.5%	10.8%
	要支援2 (n=208)	77.4%	14.4%	1.4%	6.7%
	要介護1 (n=285)	74.4%	12.6%	3.9%	9.1%
	要介護2 (n=216)	69.4%	14.4%	7.9%	8.3%
	要介護3 (n=132)	62.9%	17.4%	14.4%	5.3%
	要介護4 (n=68)	66.2%	13.2%	16.2%	4.4%
	要介護5 (n=70)	60.0%	10.0%	18.6%	11.4%
性別	男性 (n=423)	70.7%	13.5%	6.1%	9.7%
	女性 (n=780)	71.4%	13.6%	6.7%	8.3%
年齢	65～69歳 (n=53)	75.5%	9.4%	3.8%	11.3%
	70～74歳 (n=111)	73.9%	9.9%	3.6%	12.6%
	75～79歳 (n=178)	75.8%	10.7%	5.6%	7.9%
	80～84歳 (n=266)	71.1%	14.7%	4.9%	9.4%
	85～89歳 (n=342)	71.3%	13.5%	8.2%	7.0%
	90～94歳 (n=211)	66.4%	16.6%	7.6%	9.5%
	95歳以上 (n=44)	61.4%	18.2%	11.4%	9.1%
家族構成	1人暮らし (n=325)	66.2%	18.5%	4.6%	10.8%
	夫婦2人暮らし (n=373)	70.5%	14.5%	6.4%	8.6%
	子のみと同居 (n=294)	73.8%	12.2%	6.1%	7.8%
	配偶者・子以外と同居 (n=88)	79.5%	5.7%	10.2%	4.5%
	その他 (n=118)	73.7%	6.8%	10.2%	9.3%
家族介護者	有り (n=1,053)	72.4%	13.0%	6.8%	7.8%
	無し (n=170)	62.4%	15.3%	3.5%	18.8%
治療中の病気等	ない (n=27)	74.1%	3.7%	11.1%	11.1%
	ある (n=1,175)	71.4%	13.7%	6.2%	8.7%
記入者	本人 (n=690)	74.8%	12.3%	2.6%	10.3%
	本人以外 (n=477)	65.6%	15.9%	11.1%	7.3%
住まい	持ち家 (n=925)	74.9%	12.8%	5.1%	7.2%
	賃貸(民間・公的) (n=236)	64.4%	17.8%	4.2%	13.6%

問11で「入所・入居を検討している」又は「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方におたずねします

問11-1 申し込みをしている又は検討している理由は何ですか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(44.0%)が最も多く、次いで「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅の生活に不安を感じるから」(39.8%)、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」(24.5%)、「在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから」「入所・入居まで時間(期間)がかかるので、早めに申し込む必要があるから」(ともに23.7%)と続いている。要介護度別にみると、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅の生活に不安を感じるから」の割合は、『要支援1・2』(57.6%)の割合が高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」(37.3%)が最も多く、次いで「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(35.6%)、「在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから」(28.8%)、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」(27.1%)、「入所・入居まで時間(期間)がかかるので、早めに申し込む必要があるから」(22.0%)と続いている。

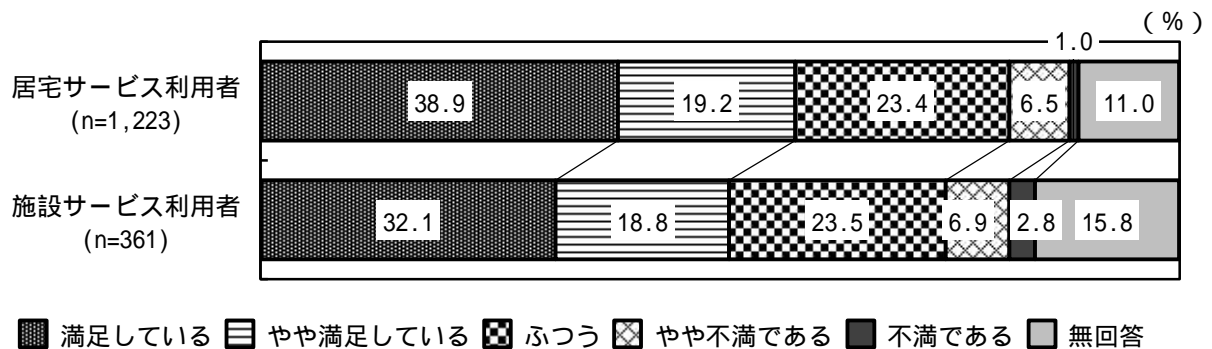


		在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから	家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから	家族が精神的・肉体的に疲れているため	一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから	入所・入居まで時間(期間)がかかるので、早めに申し込む必要があるから	自己負担の費用が少なくてすむから	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体)	(n=241)	23.7%	24.5%	44.0%	39.8%	23.7%	14.1%	8.3%	5.4%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=59)	16.9%	15.3%	16.9%	57.6%	11.9%	15.3%	6.8%	8.5%
	要介護1・2 (n=95)	25.3%	32.6%	46.3%	45.3%	24.2%	11.6%	6.3%	3.2%
	要介護3～5 (n=82)	28.0%	22.0%	62.2%	20.7%	32.9%	13.4%	12.2%	6.1%
家族構成	1人暮らし (n=75)	14.7%	22.7%	14.7%	74.7%	20.0%	14.7%	6.7%	6.7%
	夫婦2人暮らし (n=78)	28.2%	15.4%	57.7%	33.3%	29.5%	16.7%	7.7%	6.4%
	子のみと同居 (n=54)	31.5%	33.3%	55.6%	14.8%	18.5%	11.1%	9.3%	3.7%
	配偶者・子以外と同居 (n=14)	14.3%	42.9%	85.7%	14.3%	42.9%	28.6%	7.1%	0.0%
家族介護者	有り (n=209)	25.8%	25.8%	47.8%	38.3%	25.4%	14.4%	9.1%	3.8%
	無し (n=32)	9.4%	15.6%	18.8%	50.0%	12.5%	12.5%	3.1%	15.6%
	持家 (n=165)	28.5%	24.2%	50.9%	35.8%	27.9%	13.9%	10.9%	1.8%
住まい	賃貸(民間・公的) (n=52)	9.6%	19.2%	26.9%	55.8%	17.3%	19.2%	1.9%	7.7%

(5) 利用者本位のサービスのあり方について

問12 あなたは、現在の(介護予防)ケアプランに満足していますか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「満足している」(38.9%)、「やや満足している」(19.2%)を合わせた割合は58.1%となっている。一方、「やや不満である」(6.5%)、「不満である」(1.0%)を合わせた割合は7.5%となっている。年齢別にみると、居宅サービス利用者で「やや不満である」と「不満である」を合わせた割合は、『65～69歳』では15.1%、『95歳以上』では6.8%と、年齢が低いほど高くなっている。
- ・施設サービス利用者では、「満足している」(32.1%)、「やや満足している」(18.8%)を合わせた割合は50.9%となっている。一方、「やや不満である」(6.9%)、「不満である」(2.8%)を合わせた割合は9.7%となっている。

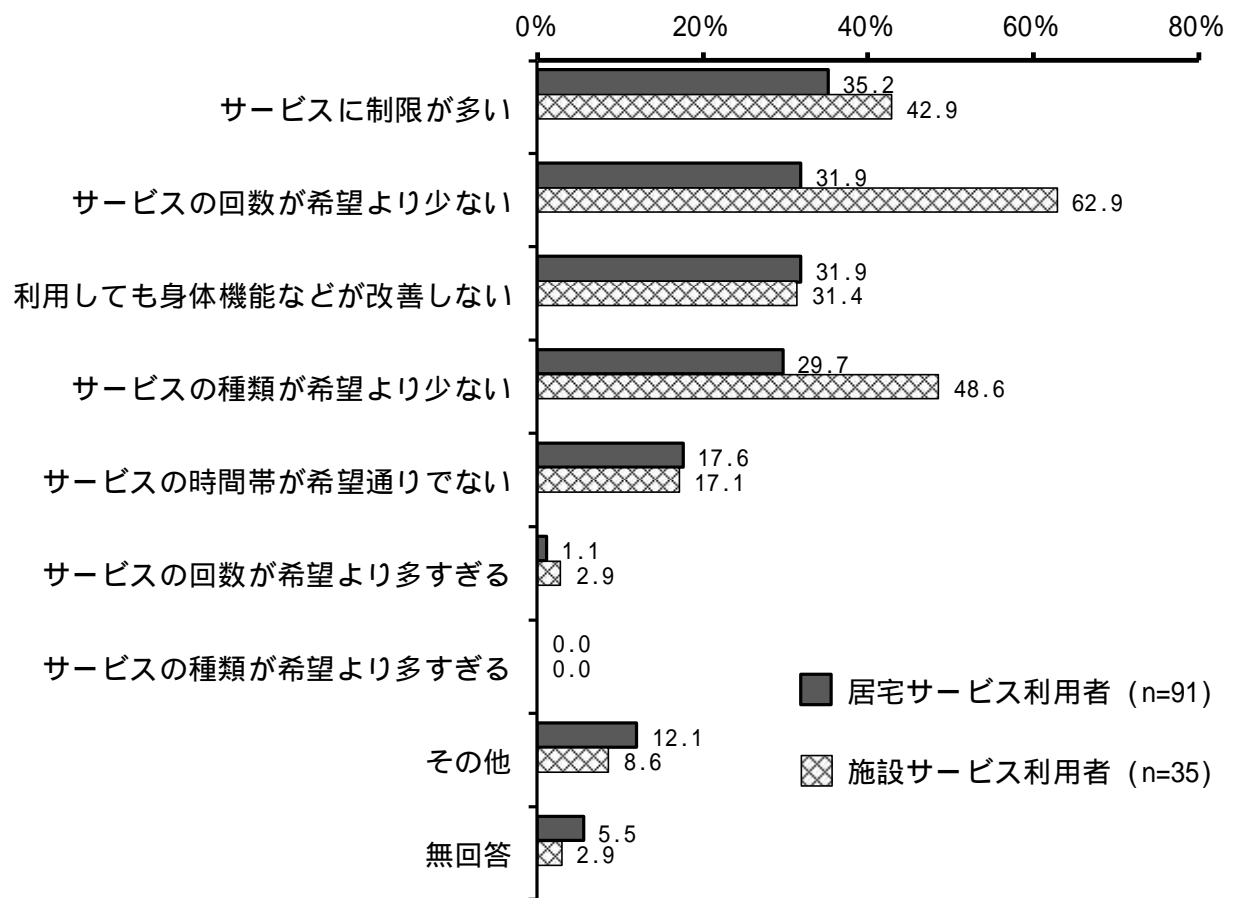


			満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答	
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)			38.9%	19.2%	23.4%	6.5%	1.0%	11.0%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	38.7%	19.0%	21.2%	7.1%	1.9%	12.2%	
	要介護1・2	(n=501)	39.9%	18.6%	25.5%	6.8%	0.6%	8.6%	
	要介護3～5	(n=270)	38.9%	21.5%	24.4%	5.2%	0.4%	9.6%	
性別	男性	(n=423)	37.1%	21.5%	23.6%	5.4%	0.9%	11.3%	
	女性	(n=780)	39.9%	18.1%	23.5%	7.1%	1.0%	10.5%	
年齢	65～69歳	(n=53)	37.7%	17.0%	24.5%	11.3%	3.8%	5.7%	
	70～74歳	(n=111)	39.6%	19.8%	25.2%	7.2%	1.8%	6.3%	
	75～79歳	(n=178)	34.3%	21.3%	24.7%	7.3%	0.6%	11.8%	
	80～84歳	(n=266)	35.7%	19.9%	23.7%	7.1%	0.8%	12.8%	
	85～89歳	(n=342)	40.6%	19.3%	23.7%	6.1%	0.9%	9.4%	
	90～94歳	(n=211)	46.9%	15.6%	20.9%	4.3%	0.5%	11.8%	
	95歳以上	(n=44)	25.0%	29.5%	18.2%	4.5%	2.3%	20.5%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	34.6%	22.2%	25.9%	7.4%	2.5%	7.4%
		75～84歳	(n=168)	33.3%	25.0%	23.8%	6.5%	0.0%	11.3%
		85歳以上	(n=173)	41.6%	17.9%	22.5%	3.5%	1.2%	13.3%
	女性	65～74歳	(n=83)	43.4%	15.7%	24.1%	9.6%	2.4%	4.8%
		75～84歳	(n=273)	36.3%	17.6%	24.5%	7.7%	1.1%	12.8%
家族構成	その他	1人暮らし	(n=325)	36.6%	20.6%	22.5%	10.2%	1.2%	8.9%
		夫婦2人暮らし	(n=373)	30.8%	20.1%	29.0%	5.4%	1.1%	13.7%
		子のみと同居	(n=294)	45.6%	17.7%	19.4%	5.4%	1.0%	10.9%
		配偶者・子以外と同居	(n=88)	43.2%	22.7%	22.7%	3.4%	0.0%	8.0%
		その他	(n=118)	51.7%	16.9%	17.8%	4.2%	0.8%	8.5%

問12で「やや不満である」又は「不満である」と答えた方におたずねします

問12-1 不満の内容は次のどれですか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「サービスに制限が多い」(35.2%)が最も多く、次いで「サービスの回数が希望より少ない」「利用しても身体機能などが改善しない」(ともに31.9%)、「サービスの種類が希望より少ない」(29.7%)、「サービスの時間帯が希望通りでない」(17.6%)と続いている。性別で見ると、ほとんどの項目で、『女性』よりも『男性』の割合が高くなっている。
- ・施設サービス利用者では、「サービスの回数が希望より少ない」(62.9%)が最も多く、次いで「サービスの種類が希望より少ない」(48.6%)、「サービスに制限が多い」(42.9%)、「利用しても身体機能などが改善しない」(31.4%)と続いている。

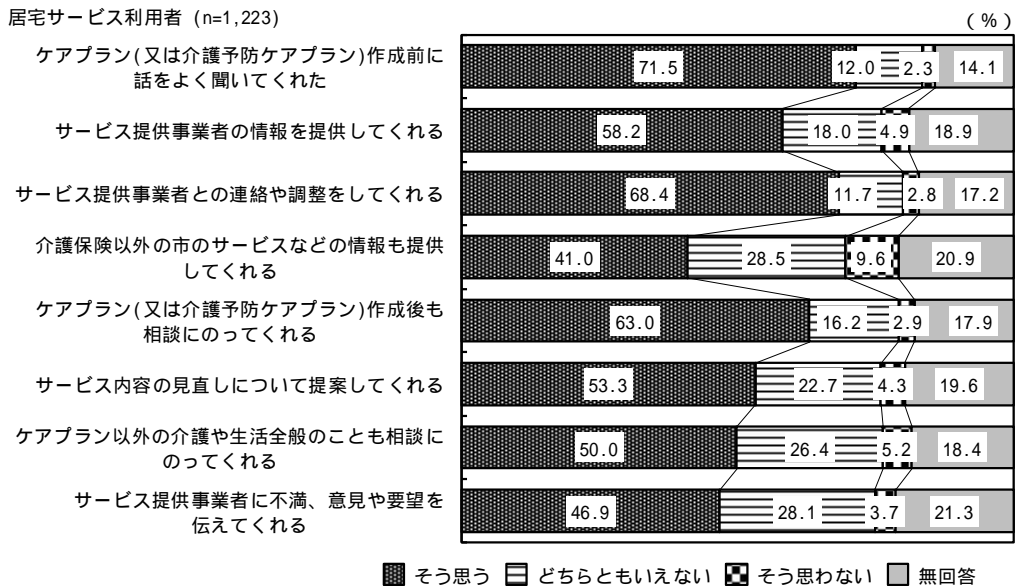


		サービスの種類が希望より少ない	サービスの種類が希望より多すぎる	サービスの回数が希望より少ない	サービスの回数が希望より多すぎる	サービスの時間帯が希望通りでない	サービスに制限が多い	利用しても身体機能などが改善しない	その他	無回答	
居宅サービス利用者(全体)		(n=91)	29.7%	0.0%	31.9%	1.1%	17.6%	35.2%	31.9%	12.1%	5.5%
要介護度(3区分)	要支援1・2	(n=37)	29.7%	0.0%	43.2%	0.0%	10.8%	40.5%	24.3%	5.4%	8.1%
	要介護1・2	(n=37)	37.8%	0.0%	21.6%	2.7%	27.0%	18.9%	35.1%	16.2%	2.7%
	要介護3～5	(n=15)	13.3%	0.0%	26.7%	0.0%	13.3%	60.0%	40.0%	13.3%	6.7%
性別	男性	(n=27)	40.7%	0.0%	48.1%	0.0%	29.6%	25.9%	37.0%	7.4%	3.7%
	女性	(n=63)	25.4%	0.0%	25.4%	1.6%	12.7%	39.7%	30.2%	14.3%	4.8%

問13 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）についてどのように感じていますか。
（～のそれぞれについて、1つずつ）

居宅サービス利用者

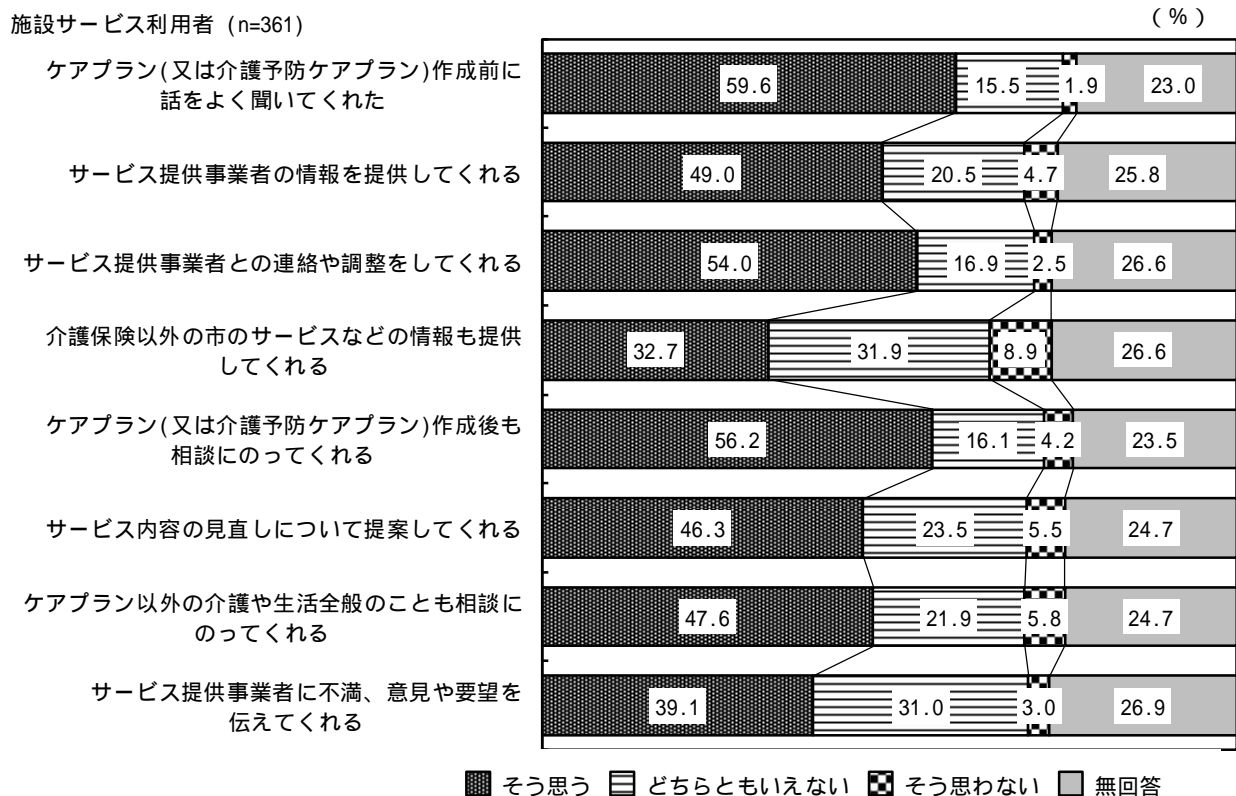
- ・「そう思う」の割合は、『ケアプラン（又は介護予防ケアプラン）作成前に話をよく聞いてくれた』（71.5%）が最も多く、次いで『サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる』（68.4%）、『ケアプラン（又は介護予防ケアプラン）作成後も相談にのってくれる』（63.0%）、『サービス提供事業者の情報を提供してくれる』（58.2%）、『サービス内容の見直しについて提案してくれる』（53.3%）と続いている。
- ・各項目ともに『要支援1・2』では、「そう思う」割合が低くなっている。
- ・「どちらとも言えない」の割合は、『介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる』（28.5%）が最も多く、次いで『サービス提供事業者に不満、意見や要望を伝えてくれる』（28.1%）、『ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる』（26.4%）、『サービス内容の見直しについて提案してくれる』（22.7%）と続いている。



		ケアプラン(又は介護予防ケアプラン)作成前に話をよく聞いてくれた				サービス提供事業者の情報を提供してくれる			
		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
居宅サービス利用者(全体)	(n=1,223)	71.5%	12.0%	2.3%	14.1%	58.2%	18.0%	4.9%	18.9%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	68.6%	11.4%	1.7%	18.2%	48.2%	23.1%	4.9%	23.8%
	要介護1・2 (n=501)	74.7%	12.8%	2.4%	10.2%	63.9%	15.4%	5.4%	15.4%
	要介護3～5 (n=270)	74.1%	13.3%	3.3%	9.3%	67.0%	17.0%	4.8%	11.1%
		サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる				介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる			
居宅サービス利用者(全体)	(n=1,223)	68.4%	11.7%	2.8%	17.2%	41.0%	28.5%	9.6%	20.9%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	61.1%	13.9%	2.7%	22.4%	32.1%	32.1%	9.0%	26.8%
	要介護1・2 (n=501)	73.3%	10.4%	2.8%	13.6%	42.5%	29.1%	10.8%	17.6%
	要介護3～5 (n=270)	75.9%	11.5%	3.0%	9.6%	53.7%	25.2%	9.3%	11.9%
		ケアプラン(又は介護予防ケアプラン)作成後も相談にのってくれる				サービス内容の見直しについて提案してくれる			
居宅サービス利用者(全体)	(n=1,223)	63.0%	16.2%	2.9%	17.9%	53.3%	22.7%	4.3%	19.6%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	54.7%	18.2%	3.2%	23.8%	42.6%	27.0%	4.4%	26.0%
	要介護1・2 (n=501)	65.7%	17.4%	2.6%	14.4%	56.5%	23.4%	4.4%	15.8%
	要介護3～5 (n=270)	74.8%	12.6%	3.3%	9.3%	66.7%	17.8%	4.8%	10.7%
		ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる				サービス提供事業者に不満、意見や要望を伝えてくれる			
居宅サービス利用者(全体)	(n=1,223)	50.0%	26.4%	5.2%	18.4%	46.9%	28.1%	3.7%	21.3%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	40.9%	29.7%	5.4%	24.1%	33.8%	33.1%	4.6%	28.5%
	要介護1・2 (n=501)	53.7%	25.9%	5.4%	15.0%	52.1%	26.9%	3.6%	17.4%
	要介護3～5 (n=270)	59.6%	24.8%	5.6%	10.0%	60.0%	25.6%	2.6%	11.9%

施設サービス利用者

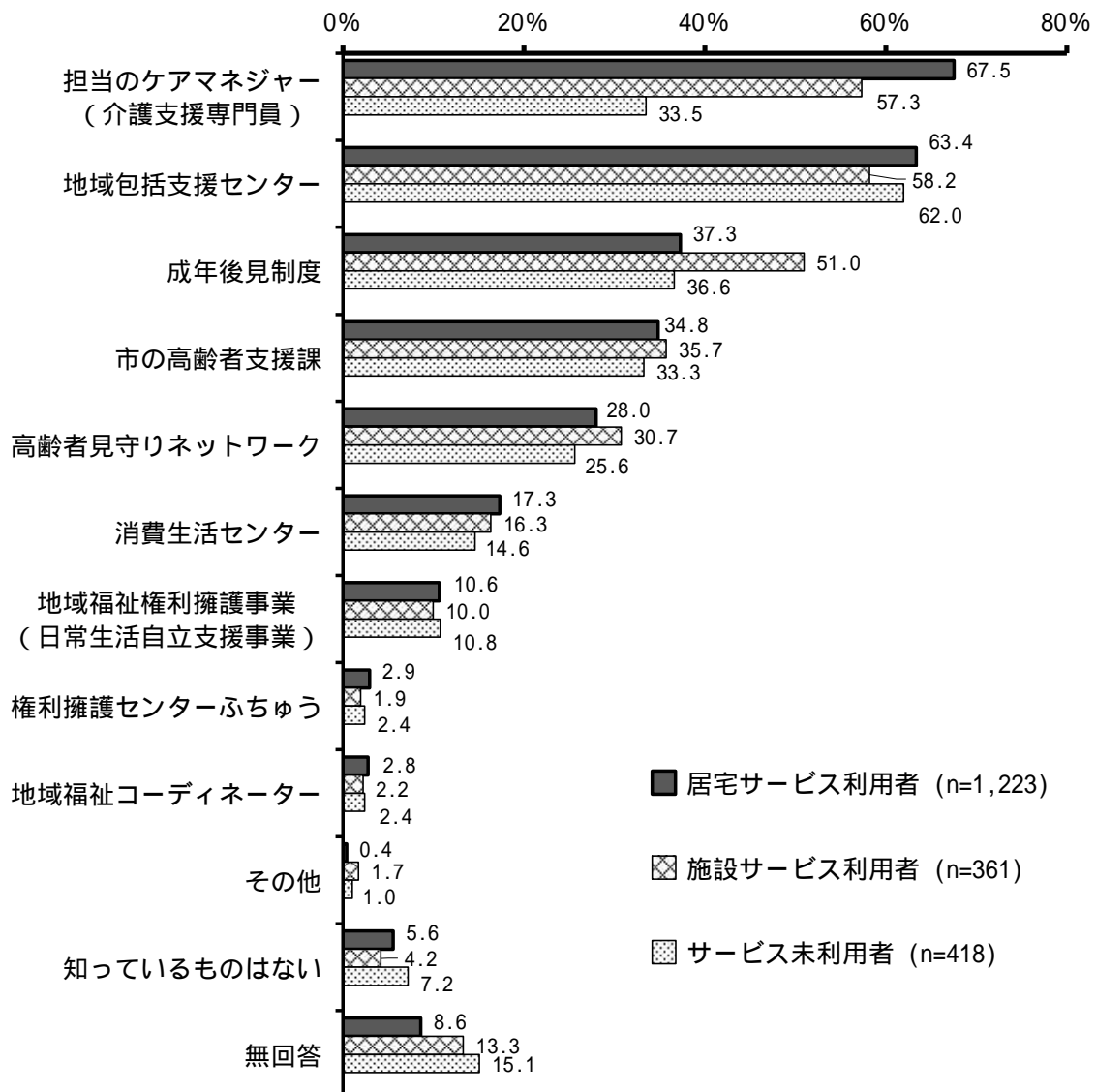
- ・「そう思う」の割合は、『ケアプラン（又は介護予防ケアプラン）作成前に話をよく聞いてくれた』（59.6%）が最も多く、次いで『ケアプラン（又は介護予防ケアプラン）作成後も相談にのってくれる』（56.2%）、『サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる』（54.0%）、『サービス提供事業者の情報を提供してくれる』（49.0%）、『ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる』（47.6%）と続いている。
- ・一方、「そう思わない」の割合は、『介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる』（8.9%）が最も多く、次いで『ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる』（5.8%）、『サービス内容の見直しについて提案してくれる』（5.5%）、『サービス提供事業者の情報を提供してくれる』（4.7%）、『ケアプラン（又は介護予防ケアプラン）作成後も相談にのってくれる』（4.2%）と続いている。



(6) 高齢者の権利擁護について

問14 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(67.5%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(63.4%)、「成年後見制度」(37.3%)、「市の高齢者支援課」(34.8%)、「高齢者見守りネットワーク」(28.0%)と続いている。一方、「知っているものはない」は5.6%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「地域包括支援センター」(58.2%)が最も多く、次いで「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(57.3%)、「成年後見制度」(51.0%)、「市の高齢者支援課」(35.7%)、「高齢者見守りネットワーク」(30.7%)と続いている。一方、「知っているものはない」は4.2%となっている。
- ・サービス未利用者では、「地域包括支援センター」(62.0%)が最も多く、次いで「成年後見制度」(36.6%)、「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(33.5%)、「市の高齢者支援課」(33.3%)、「高齢者見守りネットワーク」(25.6%)と続いている。一方、「知っているものはない」は7.2%となっている。



第2部 アンケート調査 第2章 要支援・要介護認定者調査

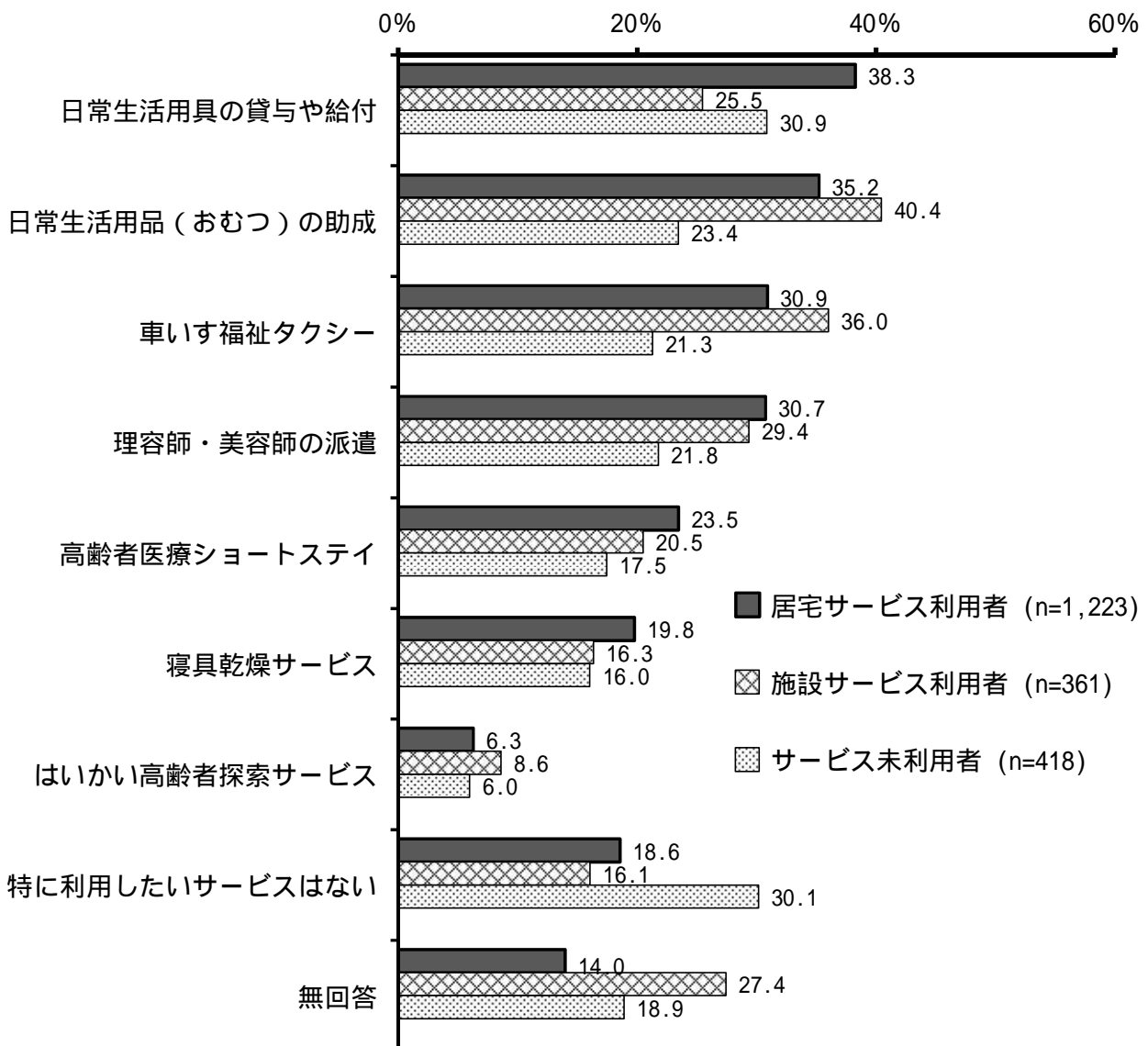
・居宅サービス利用者の「知っているものはない」割合は、『65～69歳』では3.8%、『90～94歳』では8.1%と、『90歳未満』では年齢が高いほど高くなる傾向がみられる。

		成年後見制度	(地域福祉権利擁護事業) (日常生活自立支援事業)	高齢者見守りネットワーク	市の高齢者支援課	地域包括支援センター	権利擁護センター ふちゆう	地域福祉コーディネーター	消費生活センター	担当のケアマネジャー (介護支援専門員)	その他	知っているものはない	無回答	
居宅サービス利用者(全体)	(n=1,223)	37.3%	10.6%	28.0%	34.8%	63.4%	2.9%	2.8%	17.3%	67.5%	0.4%	5.6%	8.6%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	37.7%	10.0%	31.4%	32.1%	67.2%	2.9%	3.4%	21.2%	65.2%	0.5%	3.6%	8.0%
	要介護1・2	(n=501)	36.5%	12.4%	25.1%	32.9%	62.5%	3.8%	2.8%	16.2%	71.7%	0.2%	6.8%	7.0%
	要介護3～5	(n=270)	40.4%	8.1%	28.5%	43.0%	64.1%	1.9%	1.9%	14.4%	68.5%	0.7%	5.9%	8.9%
性別	男性	(n=423)	41.8%	10.9%	27.4%	38.1%	65.5%	3.5%	2.8%	17.5%	68.1%	0.5%	5.2%	8.3%
	女性	(n=780)	35.1%	10.5%	28.6%	33.3%	62.3%	2.6%	2.7%	17.2%	67.3%	0.4%	5.9%	8.3%
年齢	65～69歳	(n=53)	37.7%	17.0%	26.4%	24.5%	71.7%	3.8%	3.8%	17.0%	66.0%	0.0%	3.8%	7.5%
	70～74歳	(n=111)	42.3%	11.7%	30.6%	32.4%	64.0%	4.5%	2.7%	21.6%	73.0%	0.0%	4.5%	8.1%
	75～79歳	(n=178)	41.6%	11.8%	29.8%	38.8%	67.4%	2.8%	1.7%	21.3%	62.9%	0.6%	3.4%	10.7%
	80～84歳	(n=266)	39.1%	11.7%	30.5%	32.7%	66.5%	3.8%	3.4%	17.3%	65.4%	0.8%	5.3%	8.3%
	85～89歳	(n=342)	32.2%	8.2%	26.3%	36.0%	58.2%	2.3%	2.9%	15.5%	67.8%	0.0%	6.1%	7.9%
	90～94歳	(n=211)	38.9%	11.4%	27.0%	35.5%	64.9%	2.4%	2.4%	16.1%	71.1%	0.5%	8.1%	7.6%
	95歳以上	(n=44)	34.1%	4.5%	20.5%	38.6%	56.8%	2.3%	2.3%	11.4%	72.7%	0.0%	6.8%	11.4%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	33.8%	10.5%	30.5%	30.2%	63.7%	3.4%	3.4%	17.2%	64.3%	0.6%	5.5%	9.8%
	夫婦2人暮らし	(n=373)	41.3%	9.7%	25.5%	34.9%	63.5%	2.9%	1.6%	16.6%	67.3%	0.0%	3.8%	8.6%
	子のみと同居	(n=294)	36.7%	10.2%	26.5%	37.1%	64.6%	2.7%	3.1%	17.0%	68.4%	1.0%	5.8%	8.5%
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	43.2%	14.8%	33.0%	45.5%	68.2%	1.1%	1.1%	18.2%	71.6%	0.0%	8.0%	5.7%
	その他	(n=118)	33.9%	12.7%	28.0%	34.7%	60.2%	4.2%	4.2%	19.5%	75.4%	0.0%	9.3%	5.1%

(7) 高齢者保健福祉サービスについて

問15 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。あなたは、以下のサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「日常生活用具の貸与や給付」(38.3%)が最も多く、次いで「日常生活用品(おむつ)の助成」(35.2%)、「車いす福祉タクシー」(30.9%)、「理容師・美容師の派遣」(30.7%)、「高齢者医療ショートステイ」(23.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は18.6%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「日常生活用品(おむつ)の助成」(40.4%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(36.0%)、「理容師・美容師の派遣」(29.4%)、「日常生活用具の貸与や給付」(25.5%)、「高齢者医療ショートステイ」(20.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は16.1%となっている。
- ・サービス未利用者では、「日常生活用具の貸与や給付」(30.9%)が最も多く、次いで「日常生活用品(おむつ)の助成」(23.4%)、「理容師・美容師の派遣」(21.8%)、「車いす福祉タクシー」(21.3%)、「高齢者医療ショートステイ」(17.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は30.1%となっている。

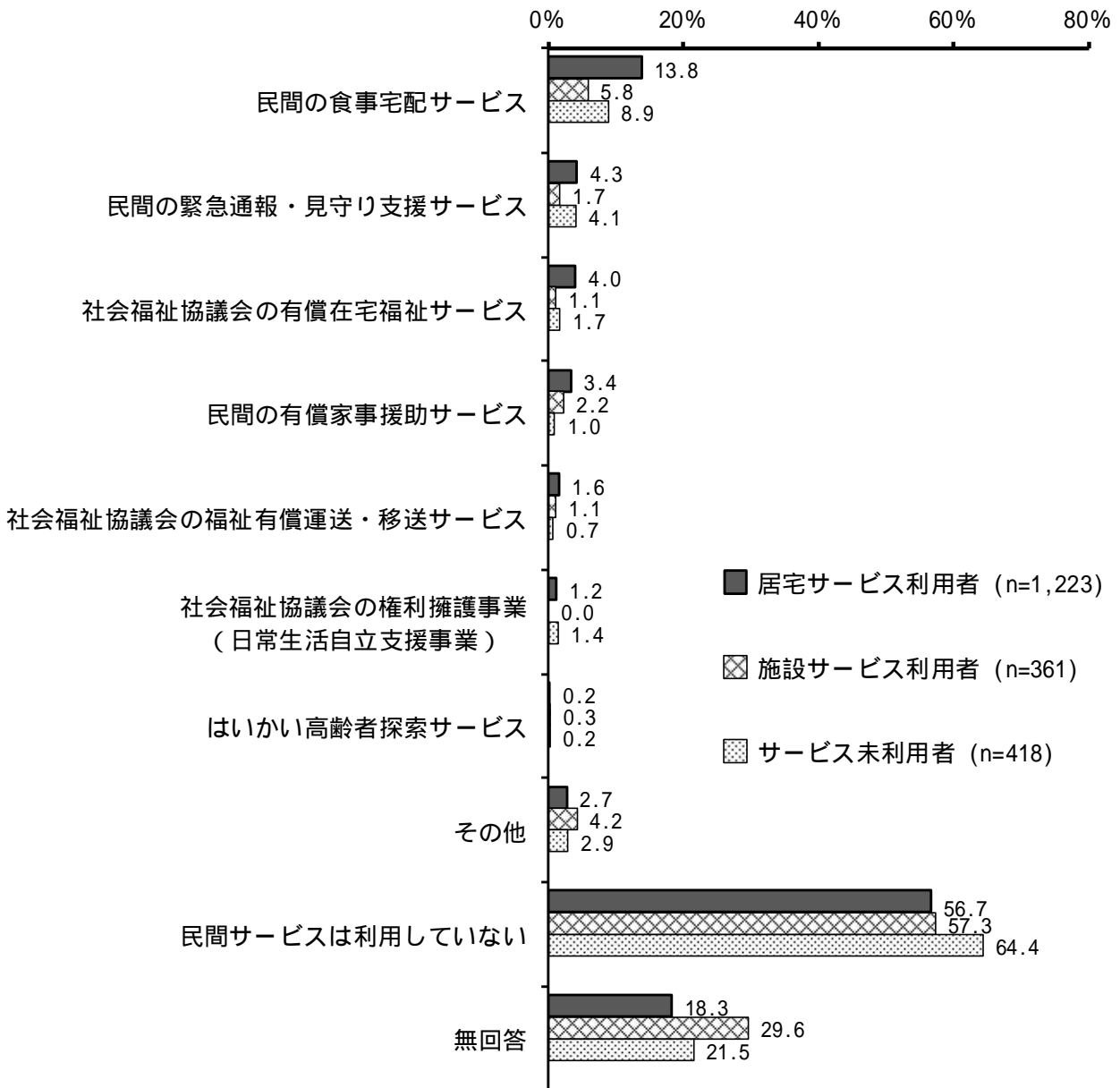


・居宅サービス利用者で『要介護3～5』では、「日常生活用品（おむつ）の助成」（71.1%）、「車いす福祉タクシー」（55.2%）、「理容師・美容師の派遣」（47.4%）、「日常生活用具の貸与や給付」（43.0%）が多くなっている。

		高齢者医療シヨートス	日常生活用具の貸与や給付	はいかいいき高年齢者探索サービス	日常生活用品（おむつ）の助成	車いす福祉タクシー	寝具乾燥サービス	理容師・美容師の派遣	特に利用したいサービスはない	無回答	
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,223)	23.5%	38.3%	6.3%	35.2%	30.9%	19.8%	30.7%	18.6%	14.0%
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	19.7%	34.1%	4.1%	17.5%	20.9%	18.0%	23.6%	25.8%	16.5%
	要介護1・2	(n=501)	23.4%	41.7%	8.0%	31.7%	28.1%	22.2%	29.1%	20.4%	10.0%
	要介護3～5	(n=270)	31.9%	43.0%	7.4%	71.1%	55.2%	20.0%	47.4%	3.3%	12.6%
性別	男性	(n=423)	25.1%	40.2%	7.8%	35.7%	34.3%	19.1%	30.0%	16.5%	14.7%
	女性	(n=780)	22.6%	37.1%	5.4%	35.3%	29.5%	20.0%	31.0%	19.7%	13.5%
年齢	65～69歳	(n=53)	22.6%	50.9%	3.8%	34.0%	37.7%	11.3%	24.5%	20.8%	13.2%
	70～74歳	(n=111)	19.8%	39.6%	3.6%	30.6%	32.4%	23.4%	30.6%	18.9%	18.0%
	75～79歳	(n=178)	22.5%	36.5%	5.6%	31.5%	30.3%	15.2%	28.1%	21.9%	16.3%
	80～84歳	(n=266)	25.6%	37.6%	6.8%	38.7%	34.2%	23.7%	30.8%	16.5%	14.7%
	85～89歳	(n=342)	25.1%	37.7%	8.2%	34.5%	29.8%	18.7%	30.7%	17.0%	11.1%
	90～94歳	(n=211)	22.7%	37.9%	5.2%	37.4%	28.9%	21.3%	33.2%	19.9%	10.9%
	95歳以上	(n=44)	20.5%	36.4%	9.1%	43.2%	29.5%	22.7%	38.6%	22.7%	20.5%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	19.7%	35.4%	4.0%	21.8%	22.5%	20.6%	25.5%	23.4%	17.2%
	夫婦2人暮らし	(n=373)	26.0%	38.9%	6.4%	38.1%	32.7%	21.2%	32.4%	15.0%	15.5%
	子のみと同居	(n=294)	25.5%	38.4%	6.8%	43.9%	32.0%	17.3%	32.0%	17.3%	10.5%
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	22.7%	42.0%	9.1%	45.5%	43.2%	18.2%	37.5%	14.8%	11.4%
	その他	(n=118)	23.7%	40.7%	8.5%	35.6%	38.1%	20.3%	32.2%	23.7%	6.8%
家族介護者	有り	(n=1,053)	25.1%	40.4%	6.7%	38.1%	32.8%	20.5%	33.0%	17.4%	11.1%
	無し	(n=170)	13.5%	25.3%	3.5%	17.6%	19.4%	15.3%	17.1%	25.9%	31.8%

問16 あなたは、以下のような民間サービスを利用していますか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「民間の食事宅配サービス」(13.8%)が最も多く、次いで「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(4.3%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(4.0%)、「民間の有償家事援助サービス」(3.4%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は56.7%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「民間の食事宅配サービス」(5.8%)が最も多く、次いで「民間の有償家事援助サービス」(2.2%)、「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(1.7%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は57.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「民間の食事宅配サービス」(8.9%)が最も多く、次いで「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(4.1%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(1.7%)、「社会福祉協議会の権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」(1.4%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は64.4%となっている。



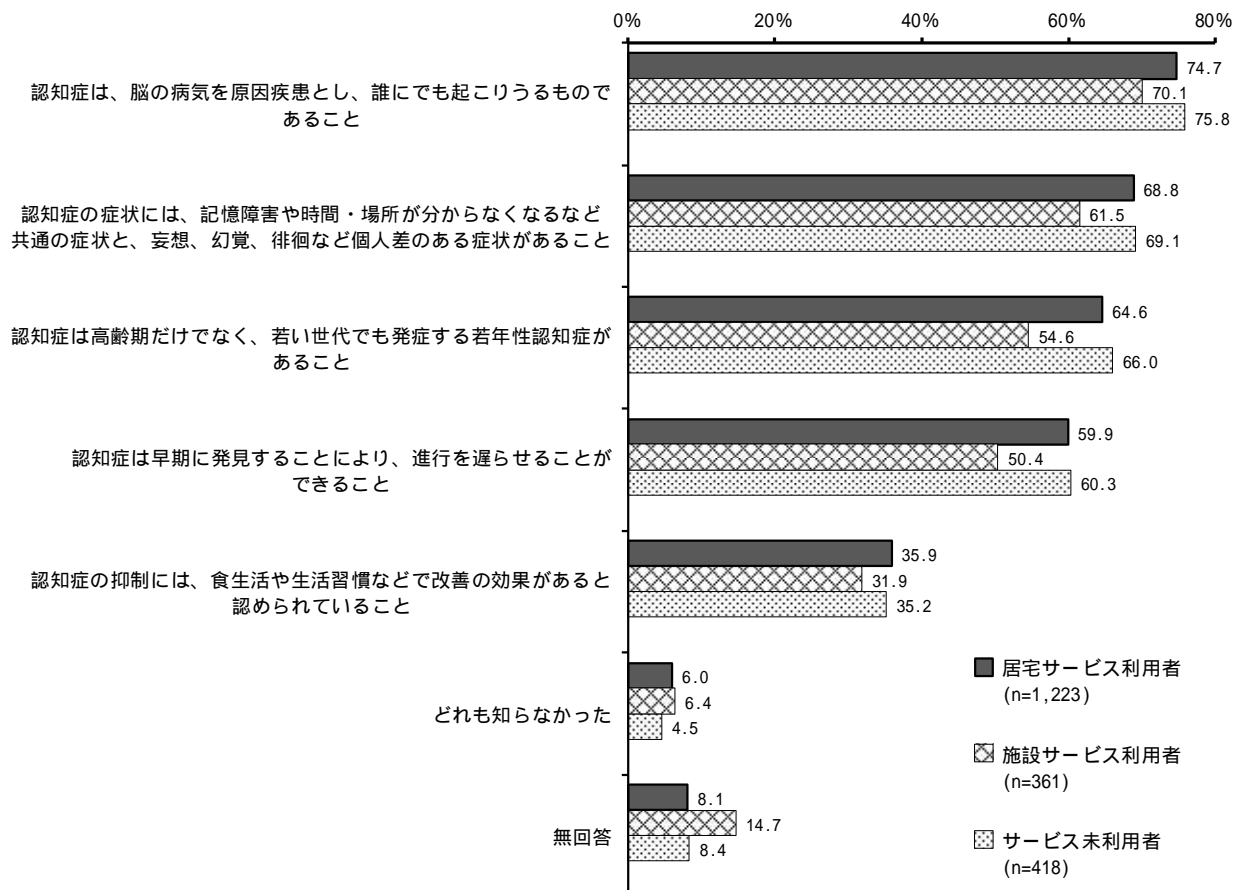
・居宅サービス利用者の「民間の食事宅配サービス」は、『男性』(10.6%)よりも『女性』(15.1%)の割合が高く、また、家族構成では『1人暮らし』(20.9%)の割合が高くなっている。

		民間の食事宅配サービス	民間の有償家事援助サービス	民間の緊急通報・見守り支援サービス	はいかい高齢者探索サービス	社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス	社会福祉協議会の権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	社会福祉協議会の福祉有償運送・移送サービス	その他	民間サービスは利用していない	無回答	
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,223)	13.8%	3.4%	4.3%	0.2%	4.0%	1.2%	1.6%	2.7%	56.7%	18.3%
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	14.6%	3.6%	5.6%	0.0%	5.8%	1.5%	1.2%	3.2%	53.5%	17.3%
	要介護1・2	(n=501)	15.8%	3.4%	4.0%	0.2%	4.0%	1.8%	1.8%	2.2%	57.1%	17.0%
	要介護3～5	(n=270)	8.9%	1.9%	2.6%	0.7%	1.9%	0.0%	1.9%	3.0%	62.6%	19.6%
性別	男性	(n=423)	10.6%	3.1%	5.2%	0.7%	2.8%	1.2%	1.2%	2.8%	57.2%	20.6%
	女性	(n=780)	15.1%	3.2%	3.7%	0.0%	4.5%	1.2%	1.8%	2.7%	56.5%	17.2%
年齢	65～69歳	(n=53)	11.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	1.9%	0.0%	7.5%	64.2%	17.0%
	70～74歳	(n=111)	13.5%	0.9%	2.7%	0.0%	1.8%	0.0%	3.6%	0.9%	64.0%	17.1%
	75～79歳	(n=178)	7.9%	2.8%	3.4%	0.6%	3.9%	0.6%	2.2%	2.8%	62.4%	17.4%
	80～84歳	(n=266)	14.3%	3.8%	6.0%	0.8%	3.8%	1.1%	1.1%	3.0%	50.4%	22.6%
	85～89歳	(n=342)	17.8%	4.7%	4.7%	0.0%	4.1%	0.9%	2.0%	2.3%	53.8%	16.4%
	90～94歳	(n=211)	13.3%	3.3%	4.3%	0.0%	5.2%	2.8%	0.0%	2.8%	55.0%	19.0%
家族構成	95歳以上	(n=44)	6.8%	2.3%	2.3%	0.0%	4.5%	2.3%	2.3%	2.3%	75.0%	13.6%
	1人暮らし	(n=325)	20.9%	5.5%	10.2%	0.0%	7.1%	2.5%	1.2%	2.8%	43.7%	17.8%
	夫婦2人暮らし	(n=373)	11.3%	2.4%	2.9%	0.8%	3.2%	0.5%	1.3%	2.7%	53.4%	24.4%
	子のみと同居	(n=294)	11.9%	3.7%	1.7%	0.0%	3.4%	1.0%	3.1%	3.4%	62.6%	15.3%
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	8.0%	1.1%	2.3%	0.0%	1.1%	1.1%	1.1%	2.3%	71.6%	14.8%
家族介護者	その他	(n=118)	11.0%	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	0.8%	0.0%	1.7%	77.1%	9.3%
	有り	(n=1,053)	13.3%	3.6%	4.0%	0.3%	3.6%	0.9%	1.8%	2.8%	59.2%	16.5%
	無し	(n=170)	17.1%	1.8%	5.9%	0.0%	6.5%	2.9%	0.0%	2.4%	41.2%	29.4%

(8) 認知症について

問17 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(74.7%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(68.8%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(64.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(59.9%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は6.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(70.1%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(61.5%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(54.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(50.4%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は6.4%となっている。
- ・サービス未利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(75.8%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(69.1%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(66.0%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(60.3%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は4.5%となっている。

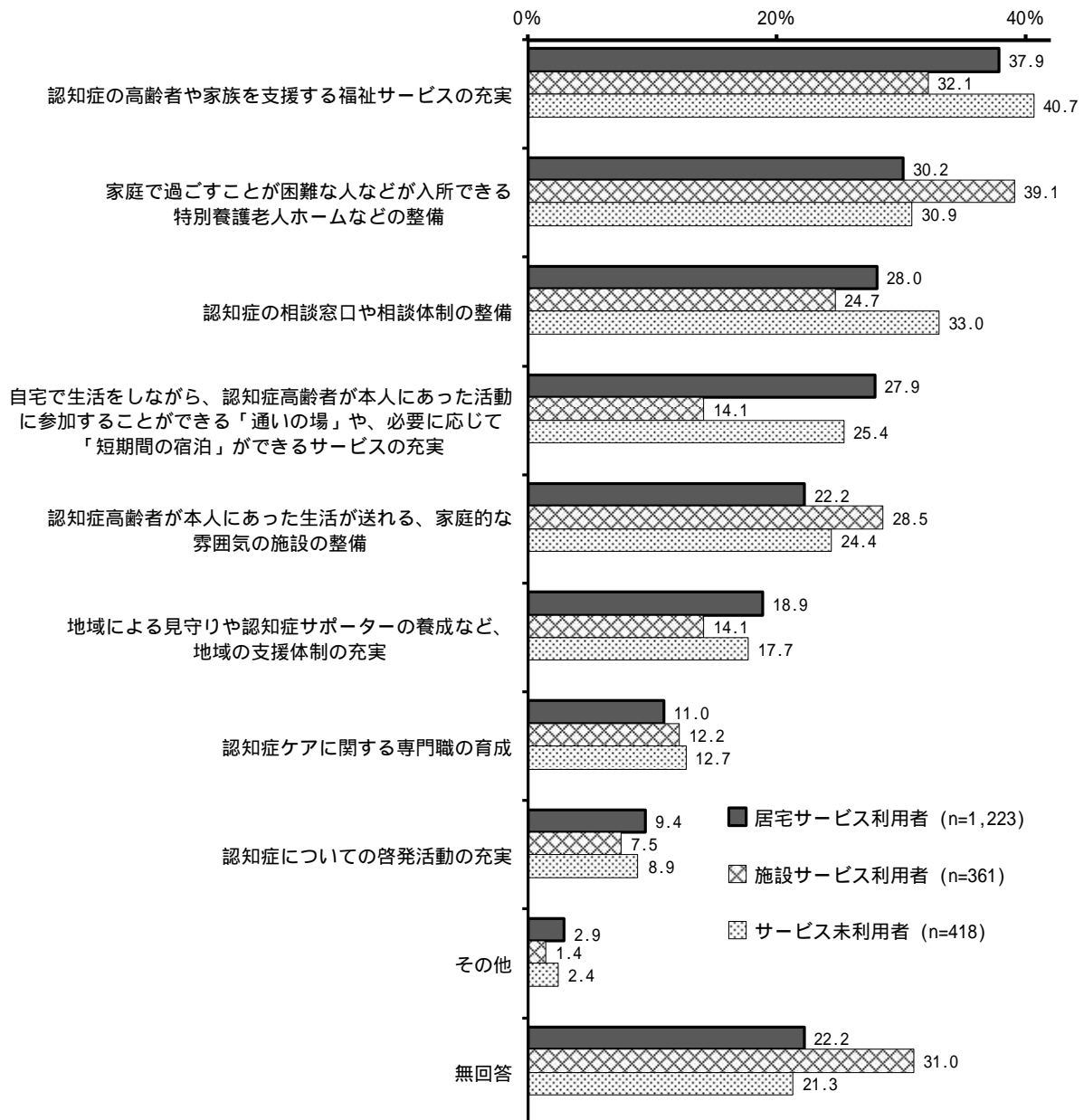


・居宅サービス利用者では、全体的に年齢が高くなるほど知っている割合が低くなる傾向がみられ、特に「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」は、『65～69歳』（75.5%）と『95歳以上』（43.2%）では30ポイント程度の差がある。

		こ り う る も の 病 気 を 原 因 疾 患 と し、 誰 に で も 起	な ら ん ど 個 人 差 の な ど あ る 症 状 が あ る こ と	認 知 症 の 症 状 に は、 記 憶 障 害 や 時 間・ 場 所 が 分 か	の 認 知 症 の 抑 制 に は、 食 生 活 や 生 活 習 慣 な ど で 改 善	る 認 知 症 は 高 齢 期 だ け で な く、 若 い 世 代 で も 発 症 す	せ 認 知 症 は 早 期 に 発 見 す る こ と に よ り、 進 行 を 遅 ら	ど れ も 知 ら な か つ た	無 回 答	
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,223)	74.7%	68.8%	35.9%	64.6%	59.9%	6.0%	8.1%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	78.6%	69.1%	38.2%	68.1%	64.5%	4.4%	7.8%	
	要介護1・2	(n=501)	72.7%	70.1%	35.1%	64.9%	60.7%	6.0%	7.4%	
	要介護3～5	(n=270)	76.3%	70.4%	35.9%	64.8%	55.2%	7.0%	7.4%	
性別	男性	(n=423)	76.4%	69.0%	37.6%	64.8%	60.5%	5.9%	8.7%	
	女性	(n=780)	74.4%	68.8%	34.7%	64.7%	59.7%	5.8%	7.4%	
年齢	65～69歳	(n=53)	86.8%	83.0%	35.8%	75.5%	66.0%	3.8%	1.9%	
	70～74歳	(n=111)	81.1%	75.7%	40.5%	73.0%	60.4%	6.3%	6.3%	
	75～79歳	(n=178)	75.8%	68.0%	38.8%	71.9%	63.5%	3.9%	9.0%	
	80～84歳	(n=266)	77.1%	71.1%	37.6%	70.7%	66.2%	2.3%	6.4%	
	85～89歳	(n=342)	75.7%	65.8%	34.5%	60.5%	57.3%	6.4%	8.2%	
	90～94歳	(n=211)	68.2%	67.3%	33.2%	56.9%	56.4%	9.5%	9.0%	
	95歳以上	(n=44)	61.4%	61.4%	25.0%	43.2%	43.2%	13.6%	15.9%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	77.8%	71.6%	40.7%	67.9%	53.1%	7.4%	6.2%
		75～84歳	(n=168)	79.2%	71.4%	41.1%	70.8%	65.5%	3.0%	8.9%
		85歳以上	(n=173)	72.8%	65.3%	32.9%	57.8%	59.5%	8.1%	9.8%
	女性	65～74歳	(n=83)	88.0%	84.3%	37.3%	79.5%	71.1%	3.6%	3.6%
		75～84歳	(n=273)	74.7%	68.5%	36.3%	71.1%	64.5%	2.9%	6.6%
		85歳以上	(n=420)	71.9%	66.4%	33.3%	58.1%	54.5%	7.9%	8.6%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	71.4%	66.5%	35.1%	63.4%	62.5%	6.5%	9.8%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	76.4%	67.6%	34.6%	64.3%	58.7%	3.8%	9.1%	
	子のみと同居	(n=294)	74.1%	69.4%	35.4%	63.3%	58.2%	7.5%	7.1%	
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	81.8%	71.6%	39.8%	72.7%	62.5%	5.7%	5.7%	
	その他	(n=118)	78.0%	76.3%	39.8%	68.6%	60.2%	6.8%	3.4%	

問18 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。
(3つまでに)

- ・居宅サービス利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(37.9%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.2%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(28.0%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加することができる「通いの場」や、必要に応じて「短期間の宿泊」ができるサービスの充実」(27.9%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(39.1%)が最も多く、次いで「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(32.1%)、「認知症高齢者が本人にあった生活が送れる、家庭的な雰囲気施設の整備」(28.5%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(24.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(40.7%)が最も多く、次いで「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(33.0%)、「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.9%)と続いている。



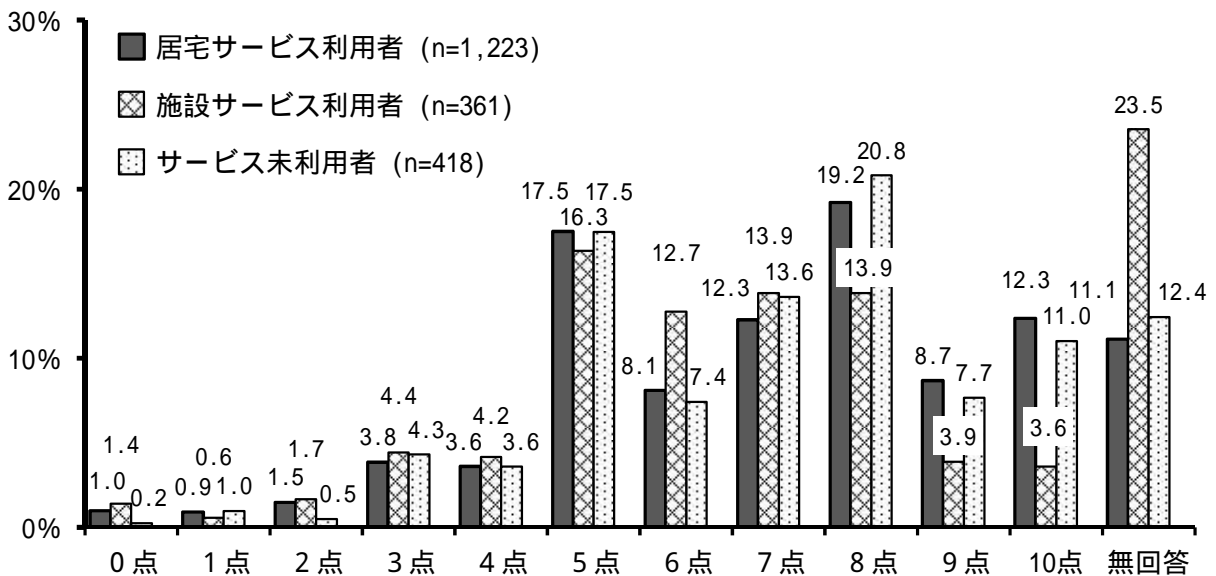
・居宅サービス利用者で家族介護者が『有る(いる)』では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(39.8%)が多くなっている。

		認知症についての啓発活動の充実	認知症の相談窓口や相談体制の整備	地域による見守りや認知症サポーターの養成など、地域の支援体制の充実	認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実	「活動に参加しながら、認知症高齢者が本人にあつた生活を送れる」や、「短い期間の宿泊」ができるサービスの充実	自宅生活しながら、認知症高齢者が本人にあつた生活を送れる、家庭的な雰囲気の高齢者が本人にあつた生活を送れる、家庭的な	認知症の高齢者が本人にあつた生活を送れる、家庭的な	家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備	認知症ケアに関する専門職の育成	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,223)	9.4%	28.0%	18.9%	37.9%	27.9%	22.2%	30.2%	11.0%	2.9%	22.2%
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	10.5%	32.1%	22.6%	33.3%	27.3%	20.7%	24.3%	14.6%	3.9%	22.4%
	要介護1・2	(n=501)	10.2%	25.5%	18.4%	40.5%	27.3%	25.3%	34.1%	10.2%	1.8%	20.2%
	要介護3～5	(n=270)	6.7%	27.4%	16.3%	41.9%	30.4%	20.4%	34.1%	7.8%	3.3%	22.6%
性別	男性	(n=423)	12.5%	25.5%	19.1%	36.6%	26.2%	19.9%	27.7%	9.5%	3.3%	24.8%
	女性	(n=780)	7.6%	29.7%	19.1%	39.2%	28.7%	23.7%	31.7%	12.1%	2.4%	20.5%
年齢	65～69歳	(n=53)	7.5%	35.8%	26.4%	43.4%	24.5%	24.5%	35.8%	17.0%	3.8%	15.1%
	70～74歳	(n=111)	7.2%	29.7%	23.4%	44.1%	23.4%	19.8%	31.5%	11.7%	0.9%	22.5%
	75～79歳	(n=178)	7.3%	30.9%	19.1%	42.1%	29.2%	22.5%	30.9%	11.2%	2.8%	20.2%
	80～84歳	(n=266)	9.4%	25.9%	19.2%	39.1%	27.8%	22.2%	33.5%	9.4%	2.6%	22.9%
	85～89歳	(n=342)	13.2%	27.5%	17.0%	34.2%	30.4%	21.3%	25.1%	12.3%	2.6%	21.9%
	90～94歳	(n=211)	7.6%	28.9%	18.0%	35.1%	28.4%	23.7%	33.2%	9.5%	2.8%	24.2%
	95歳以上	(n=44)	6.8%	20.5%	18.2%	38.6%	18.2%	27.3%	22.7%	11.4%	4.5%	25.0%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	9.5%	27.4%	21.5%	26.8%	23.1%	21.8%	29.8%	11.4%	3.1%	25.2%
	夫婦2人暮らし	(n=373)	10.2%	26.8%	16.4%	40.5%	29.0%	22.3%	29.8%	7.0%	2.7%	24.7%
	子のみと同居	(n=294)	8.2%	32.3%	19.4%	42.2%	30.6%	19.7%	25.5%	13.6%	2.4%	19.7%
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	8.0%	23.9%	19.3%	43.2%	27.3%	27.3%	35.2%	13.6%	2.3%	21.6%
	その他	(n=118)	11.9%	29.7%	20.3%	48.3%	31.4%	27.1%	40.7%	16.1%	2.5%	11.0%
家族介護者	有り	(n=1,053)	9.7%	28.3%	19.6%	39.8%	28.3%	22.9%	29.9%	11.2%	2.7%	20.7%
	無し	(n=170)	7.6%	26.5%	14.7%	25.9%	25.3%	18.2%	31.8%	9.4%	4.1%	31.8%

(9) 地域生活と日ごろの活動について

問19 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらいになると感じますか。最も近いものをお選びください。(1つに)

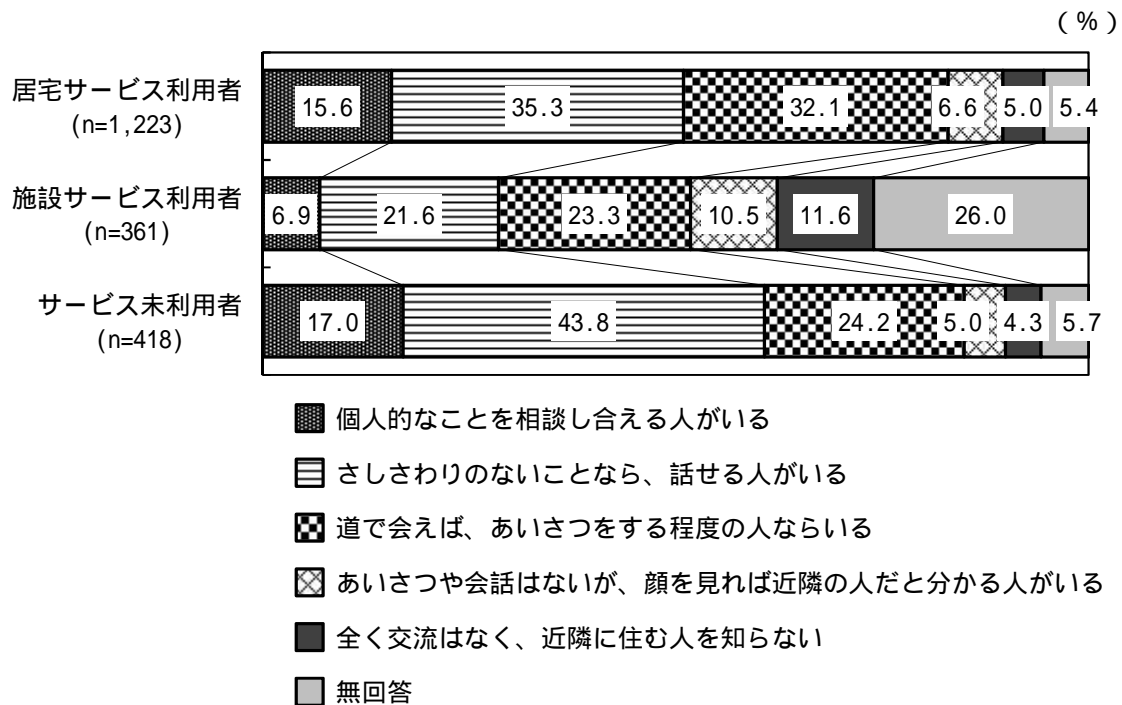
- ・居宅サービス利用者では、「8点」(19.2%)が最も多く、次いで「5点」(17.5%)、「10点」「7点」(ともに12.3%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「5点」(16.3%)が最も多く、次いで「7点」「8点」(ともに13.9%)、「6点」(12.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「8点」(20.8%)が最も多く、次いで「5点」(17.5%)、「7点」(13.6%)、「10点」(11.0%)と続いている。
- ・平均点は、居宅サービス利用者が6.83点、施設サービス利用者が6.16点、サービス未利用者が6.87点となっている。



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点	
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)	1.0%	0.9%	1.5%	3.8%	3.6%	17.5%	8.1%	12.3%	19.2%	8.7%	12.3%	11.1%	6.83点	
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	0.5%	1.2%	0.7%	3.2%	4.4%	14.8%	7.5%	14.1%	23.1%	10.2%	11.7%	8.5%	7.01点
	要介護1・2 (n=501)	1.2%	0.6%	1.8%	4.0%	3.6%	20.6%	7.0%	11.6%	16.0%	8.6%	14.0%	11.2%	6.77点
	要介護3～5 (n=270)	1.5%	0.7%	1.9%	4.8%	2.6%	17.4%	10.0%	11.5%	21.9%	6.7%	9.3%	11.9%	6.63点
性別	男性 (n=423)	1.4%	0.9%	1.4%	4.3%	3.1%	20.1%	7.8%	14.2%	19.4%	6.9%	10.2%	10.4%	6.63点
	女性 (n=780)	0.8%	0.9%	1.5%	3.7%	4.0%	16.3%	8.1%	11.2%	19.1%	9.6%	13.6%	11.3%	6.92点
年齢	65～69歳 (n=53)	7.5%	1.9%	3.8%	7.5%	9.4%	13.2%	7.5%	11.3%	22.6%	3.8%	3.8%	7.5%	5.55点
	70～74歳 (n=111)	1.8%	2.7%	1.8%	6.3%	2.7%	16.2%	10.8%	11.7%	16.2%	11.7%	8.1%	9.9%	6.44点
	75～79歳 (n=178)	0.6%	0.0%	1.7%	5.6%	4.5%	21.9%	8.4%	13.5%	18.5%	7.9%	10.7%	6.7%	6.63点
	80～84歳 (n=266)	0.4%	0.4%	0.8%	3.4%	3.4%	19.2%	9.4%	14.3%	16.9%	7.1%	11.7%	13.2%	6.84点
	85～89歳 (n=342)	0.3%	1.2%	1.8%	3.2%	3.5%	18.4%	7.3%	9.9%	21.1%	9.1%	13.5%	10.8%	6.93点
	90～94歳 (n=211)	1.4%	0.9%	0.9%	2.4%	1.9%	13.3%	6.2%	13.3%	21.3%	9.0%	17.5%	11.8%	7.27点
	95歳以上 (n=44)	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	4.5%	13.6%	9.1%	9.1%	15.9%	15.9%	11.4%	18.2%	7.28点
家族構成	1人暮らし (n=325)	1.5%	0.6%	2.2%	3.4%	4.3%	19.7%	7.7%	13.5%	16.0%	8.9%	9.2%	12.9%	6.57点
	夫婦2人暮らし (n=373)	1.6%	1.1%	0.8%	5.9%	4.6%	18.0%	8.3%	9.7%	19.6%	7.5%	12.3%	10.7%	6.65点
	子のみ同居 (n=294)	0.3%	1.4%	1.7%	3.1%	2.4%	15.6%	9.9%	12.9%	18.7%	7.1%	15.6%	11.2%	7.00点
	配偶者・子以外同居 (n=88)	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	21.6%	8.0%	13.6%	28.4%	8.0%	5.7%	8.0%	6.84点
	その他 (n=118)	0.0%	0.8%	0.8%	0.8%	2.5%	12.7%	5.1%	13.6%	21.2%	16.1%	17.8%	8.5%	7.61点

問20 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに)

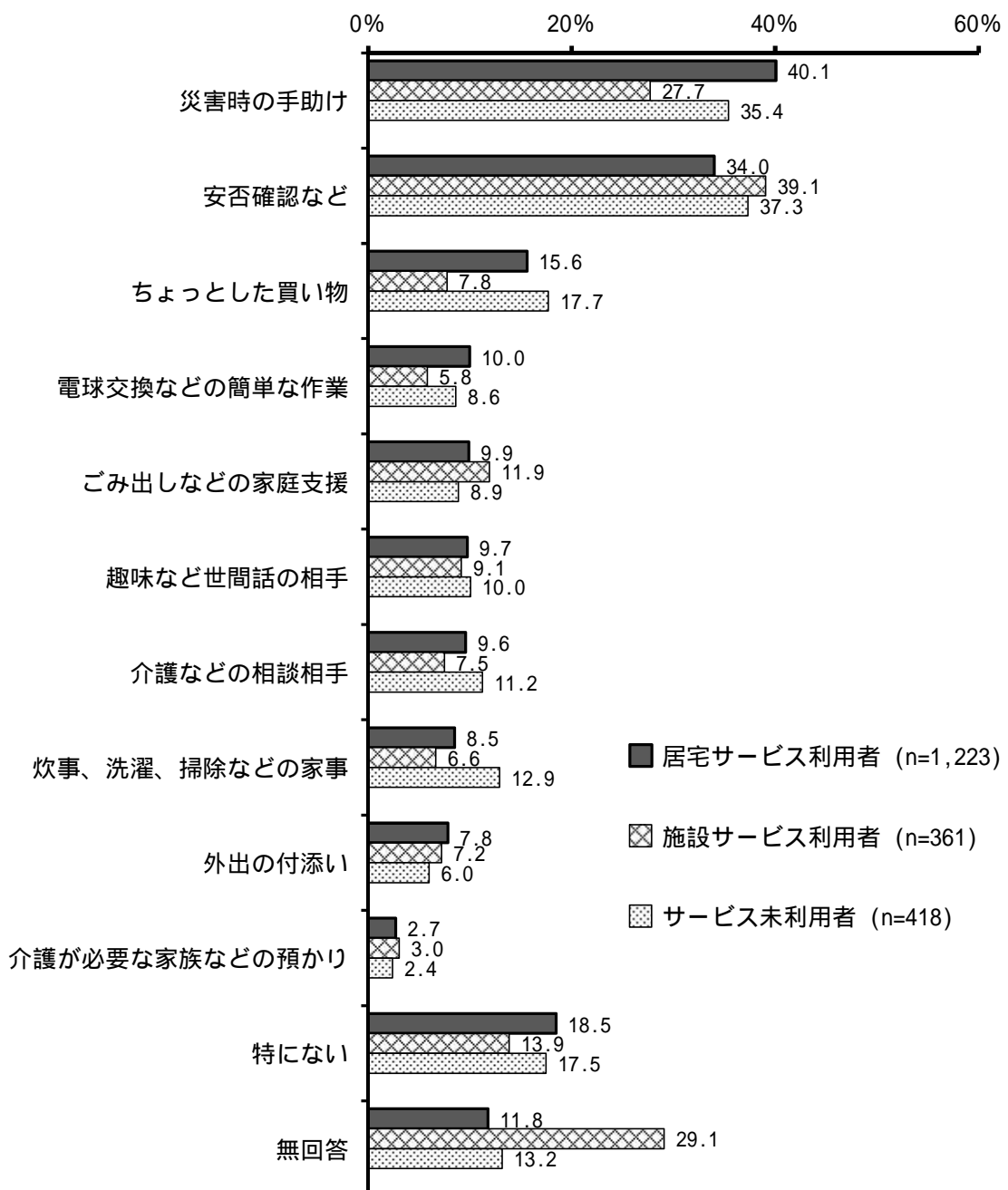
- ・居宅サービス利用者では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(35.3%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(32.1%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(15.6%)と続いている。「個人的なことを相談し合える人がいる」や「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」の割合は、要介護度が低いほうが高くなっている。
- ・施設サービス利用者では、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(23.3%)が最も多く、次いで「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(21.6%)、「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(43.8%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(24.2%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(17.0%)と続いている。



		個人的なことを相談し合える人がいる	さしさわりのないことなら、話せる人がいる	道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる	あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる	全く交流はなく、近隣に住む人を知らない	無回答		
居宅サービス利用者 (全体)		(n=1,223)	15.6%	35.3%	32.1%	6.6%	5.0%	5.4%	
要介護度 (3区分)	要支援 1・2	(n=411)	21.4%	42.3%	23.4%	4.9%	3.4%	4.6%	
	要介護 1・2	(n=501)	12.8%	35.9%	36.3%	6.0%	4.6%	4.4%	
	要介護 3～5	(n=270)	11.9%	23.3%	38.5%	10.7%	7.8%	7.8%	
性別	男性	(n=423)	10.6%	28.4%	39.5%	9.7%	5.2%	6.6%	
	女性	(n=780)	17.9%	39.0%	28.3%	5.1%	5.0%	4.6%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	11.1%	23.5%	35.8%	12.3%	9.9%	7.4%
		75～84歳	(n=168)	9.5%	29.2%	39.9%	8.3%	4.8%	8.3%
		85歳以上	(n=173)	11.6%	30.1%	41.0%	9.2%	3.5%	4.6%
	女性	65～74歳	(n=83)	15.7%	30.1%	39.8%	7.2%	3.6%	3.6%
		75～84歳	(n=273)	19.4%	40.7%	28.6%	4.0%	4.0%	3.3%
85歳以上	(n=420)	17.6%	39.5%	26.0%	5.5%	5.7%	5.7%		
家族構成	1人暮らし	(n=325)	22.2%	41.5%	21.8%	3.4%	5.5%	5.5%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	14.7%	30.0%	37.5%	7.0%	4.8%	5.9%	
	子のみ同居	(n=294)	11.2%	34.7%	33.7%	8.2%	6.1%	6.1%	
	配偶者・子以外同居	(n=88)	8.0%	29.5%	38.6%	13.6%	4.5%	5.7%	
	その他	(n=118)	16.9%	36.4%	36.4%	6.8%	1.7%	1.7%	

問21 あなたが、高齢や病気などで日常生活が不自由になったとき、隣近所の人に手助けしてもらったとしたらどんなことをしてほしいですか。(3つまでに)

- ・居宅サービス利用者では、「災害時の手助け」(40.1%)が最も多く、次いで「安否確認など」(34.0%)、「ちょっとした買い物」(15.6%)、「電球交換などの簡単な作業」(10.0%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(9.9%)と続いている。一方、「特にない」は18.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「安否確認など」(39.1%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(27.7%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(11.9%)、「趣味など世間話の相手」(9.1%)と続いている。一方、「特にない」は13.9%となっている。
- ・サービス未利用者では、「安否確認など」(37.3%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(35.4%)、「ちょっとした買い物」(17.7%)、「炊事、洗濯、掃除などの家事」(12.9%)、「介護などの相談相手」(11.2%)と続いている。一方、「特にない」は17.5%となっている。



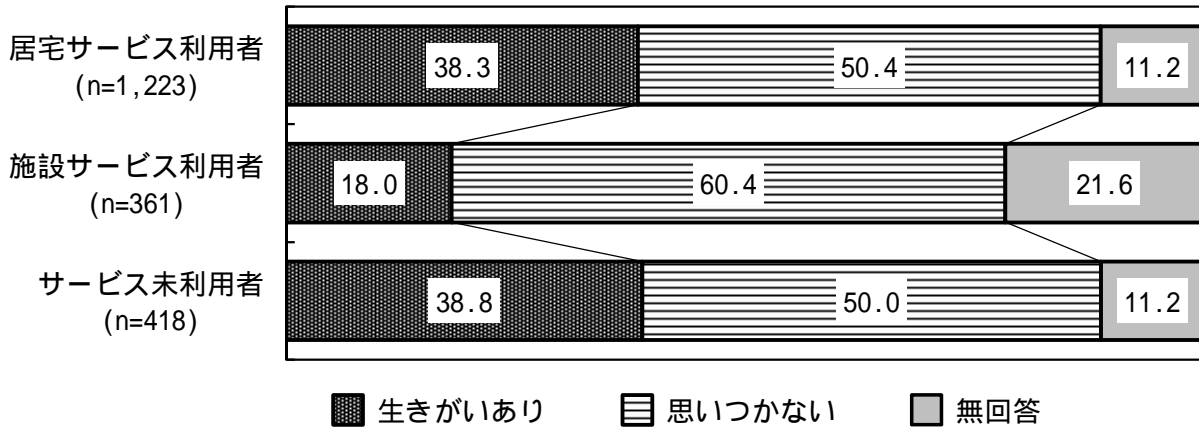
・居宅サービス利用者の「災害時の手助け」は、『要支援1・2』では40.1%、『要介護3～5』では44.1%と、要介護度の違いによる差がみられないが、ほとんどの項目で要介護度が低いほうが手助けを求める割合が高い傾向がみられる。

		安否確認など	相手趣味など世間話の	手介護などの相談相	炊事、洗濯、掃除などの家事	物ちよつとした買い	介護が必要な家族	外出の付添い	災害時の手助け	庭支援	ごみ出しなどの家	電球交換などの簡	特にな	無回答	
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,223)	34.0%	9.7%	9.6%	8.5%	15.6%	2.7%	7.8%	40.1%	9.9%	10.0%	18.5%	11.8%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	37.2%	9.7%	10.9%	11.4%	22.4%	2.2%	7.1%	40.1%	13.4%	12.9%	15.6%	9.7%	
	要介護1・2	(n=501)	33.9%	10.6%	9.0%	8.2%	12.2%	1.8%	9.2%	39.3%	8.2%	9.6%	19.6%	11.4%	
	要介護3～5	(n=270)	30.7%	6.3%	8.1%	5.2%	11.1%	5.6%	6.3%	44.1%	8.9%	5.9%	21.5%	12.6%	
性別	男性	(n=423)	35.5%	7.3%	13.7%	7.3%	11.8%	3.5%	6.1%	43.7%	9.9%	9.2%	17.3%	12.5%	
	女性	(n=780)	33.1%	11.0%	7.4%	9.0%	17.7%	2.1%	8.5%	38.1%	10.1%	10.1%	19.5%	11.2%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	34.6%	6.2%	9.9%	4.9%	7.4%	2.5%	4.9%	45.7%	11.1%	11.1%	18.5%	12.3%
		75～84歳	(n=168)	33.3%	7.1%	14.9%	8.3%	11.3%	4.2%	7.1%	45.8%	8.9%	8.3%	14.9%	13.1%
		85歳以上	(n=173)	37.6%	8.1%	13.9%	7.5%	14.5%	3.5%	5.8%	40.5%	10.4%	9.2%	19.1%	12.1%
	女性	65～74歳	(n=83)	24.1%	7.2%	3.6%	14.5%	20.5%	1.2%	9.6%	43.4%	18.1%	14.5%	18.1%	10.8%
		75～84歳	(n=273)	33.0%	11.7%	6.2%	10.3%	21.2%	1.5%	8.4%	41.0%	9.9%	11.4%	16.5%	11.7%
		85歳以上	(n=420)	35.0%	11.0%	8.8%	7.1%	15.0%	2.6%	8.3%	35.0%	8.8%	8.6%	21.7%	11.0%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	34.8%	8.6%	7.4%	9.2%	20.9%	0.6%	8.9%	37.2%	15.1%	17.5%	14.8%	12.6%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	31.6%	10.2%	11.0%	9.4%	15.0%	4.3%	8.8%	42.6%	10.5%	11.3%	15.0%	13.7%	
	子のみと同居	(n=294)	34.7%	8.2%	8.8%	6.5%	12.9%	1.0%	5.8%	40.5%	5.8%	3.7%	24.5%	11.2%	
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	38.6%	6.8%	12.5%	8.0%	12.5%	8.0%	3.4%	37.5%	8.0%	2.3%	27.3%	8.0%	
	その他	(n=118)	36.4%	16.1%	10.2%	5.9%	11.9%	3.4%	8.5%	40.7%	7.6%	5.9%	21.2%	6.8%	
家族 介護者	有り	(n=1,053)	35.0%	9.6%	10.1%	8.5%	15.4%	3.0%	7.9%	42.0%	9.4%	9.5%	18.8%	10.0%	
	無し	(n=170)	27.6%	10.6%	6.5%	8.8%	17.1%	0.6%	7.6%	28.2%	12.9%	12.9%	16.5%	22.9%	

問22 生きがいがありますか。(1つに)

- ・「生きがいあり」の割合は、居宅サービス利用者では38.3%、施設サービス利用者では18.0%、サービス未利用者では38.8%となっている。
- ・居宅サービス利用者の「生きがいあり」の割合は、『要支援1』では52.2%、『要介護4』では14.7%と、『要介護5』を除き、介護度が低くなるほどが高くなっている。

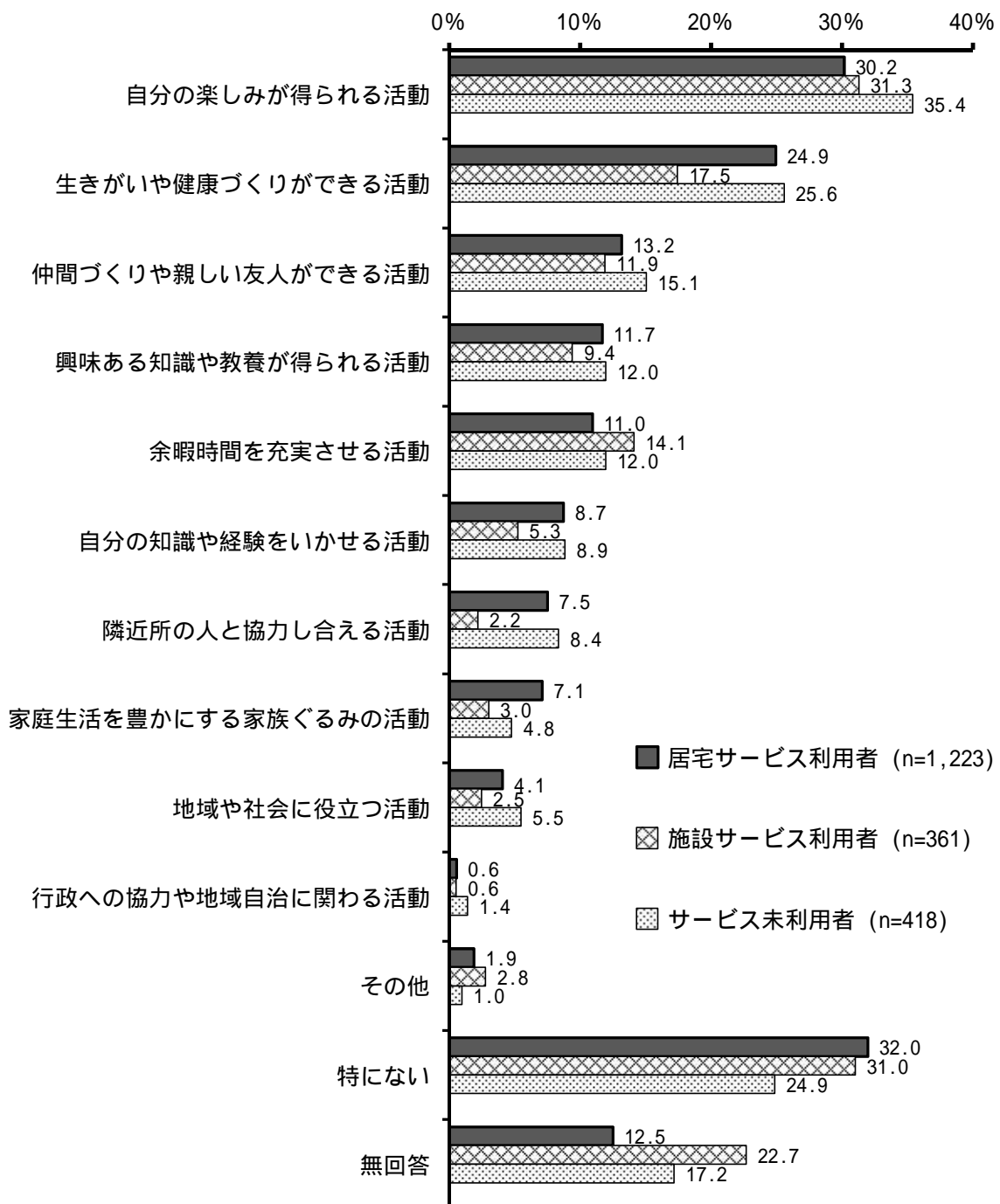
(%)



		生きがいあり	思いつかない	無回答	
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,223) 38.3%	50.4%	11.2%	
要介護度	要支援1	(n=203) 52.2%	36.5%	11.3%	
	要支援2	(n=208) 48.1%	39.4%	12.5%	
	要介護1	(n=285) 38.2%	51.9%	9.8%	
	要介護2	(n=216) 34.3%	57.4%	8.3%	
	要介護3	(n=132) 29.5%	61.4%	9.1%	
	要介護4	(n=68) 14.7%	75.0%	10.3%	
	要介護5	(n=70) 31.4%	51.4%	17.1%	
性別	男性	(n=423) 37.6%	52.0%	10.4%	
	女性	(n=780) 38.3%	50.1%	11.5%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81) 23.5%	64.2%	12.3%
		75～84歳	(n=168) 35.1%	54.8%	10.1%
		85歳以上	(n=173) 46.8%	43.4%	9.8%
	女性	65～74歳	(n=83) 28.9%	54.2%	16.9%
		75～84歳	(n=273) 38.1%	49.1%	12.8%
85歳以上	(n=420) 40.5%	50.0%	9.5%		
家族構成	1人暮らし	(n=325) 38.2%	48.6%	13.2%	
	夫婦2人暮らし	(n=373) 38.3%	48.3%	13.4%	
	子のみと同居	(n=294) 34.4%	56.5%	9.2%	
	配偶者・子以外と同居	(n=88) 34.1%	56.8%	9.1%	
	その他	(n=118) 51.7%	43.2%	5.1%	

問23 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。(3つまでに)

- ・居宅サービス利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(30.2%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(24.9%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(13.2%)、「興味ある知識や教養が得られる活動」(11.7%)、「余暇時間を充実させる活動」(11.0%)と続いている。一方、「特にない」は32.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(31.3%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(17.5%)、「余暇時間を充実させる活動」(14.1%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(11.9%)と続いている。一方、「特にない」は31.0%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(35.4%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(25.6%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(15.1%)と続いている。一方、「特にない」は24.9%となっている。



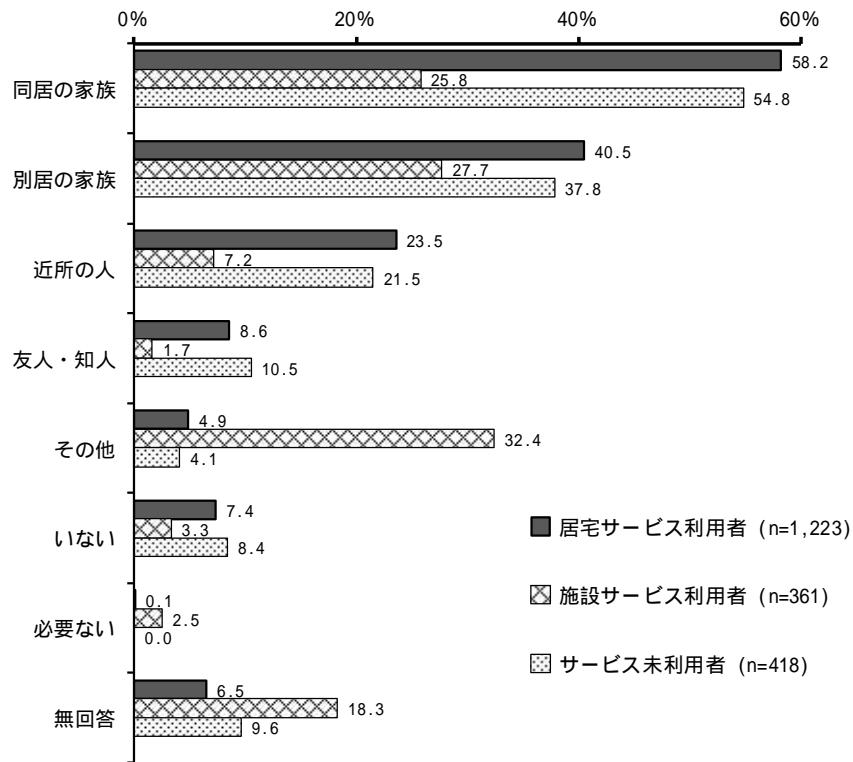
・居宅サービス利用者のほとんどの項目で、要介護度が低いほど割合が高くなっている。

		自分の楽しみが得られる活動	興味ある知識や教養が得られる活動	かせる知識や経験をい	がでる活動	生かす活動	活動時間	余暇を充実させる	仲間づくりや楽しい友	え近所の人と協力し合	家族生活の豊かにする	地域や社会に役立つ活	行政への協力や地域自	その他	特にな	無回
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		30.2%	11.7%	8.7%	24.9%	11.0%	13.2%	7.5%	7.1%	4.1%	0.6%	1.9%	32.0%	12.5%		
要介護度 (3区分)	要支援1・2 (n=411)	32.8%	16.1%	10.2%	34.8%	14.4%	20.7%	10.5%	7.5%	5.4%	1.0%	2.2%	22.1%	10.5%		
	要介護1・2 (n=501)	30.5%	11.2%	9.6%	22.2%	10.0%	10.0%	7.4%	6.2%	3.4%	0.6%	2.2%	36.1%	11.2%		
	要介護3～5 (n=270)	27.8%	7.0%	5.9%	16.3%	8.1%	8.9%	3.3%	8.9%	4.1%	0.0%	0.7%	40.4%	13.7%		
性別	男性 (n=423)	27.7%	12.1%	13.0%	23.4%	11.6%	12.1%	9.2%	8.3%	5.4%	1.2%	1.4%	30.0%	14.7%		
	女性 (n=780)	31.5%	11.5%	6.4%	25.8%	10.9%	13.8%	6.7%	6.4%	3.2%	0.3%	2.1%	33.1%	11.2%		
性別 × 年齢	男性	65～74歳 (n=81)	27.2%	12.3%	8.6%	22.2%	11.1%	9.9%	14.8%	4.9%	6.2%	2.5%	1.2%	30.9%	14.8%	
		75～84歳 (n=168)	26.2%	13.7%	13.7%	22.6%	11.9%	13.7%	7.1%	8.9%	5.4%	1.8%	0.6%	30.4%	14.3%	
		85歳以上 (n=173)	29.5%	10.4%	14.5%	24.9%	11.0%	11.6%	8.7%	9.2%	5.2%	0.0%	2.3%	29.5%	15.0%	
	女性	65～74歳 (n=83)	32.5%	13.3%	9.6%	18.1%	10.8%	10.8%	6.0%	8.4%	7.2%	0.0%	0.0%	36.1%	12.0%	
		75～84歳 (n=273)	32.6%	12.8%	6.6%	28.2%	9.9%	16.8%	7.7%	6.6%	3.3%	0.7%	3.7%	27.8%	11.7%	
		85歳以上 (n=420)	30.7%	10.5%	5.7%	25.0%	11.4%	12.6%	6.2%	5.5%	2.4%	0.0%	1.4%	36.2%	10.7%	
家族構成	1人暮らし (n=325)	29.8%	13.8%	7.1%	28.0%	11.7%	16.0%	9.2%	1.2%	4.0%	1.2%	1.8%	30.5%	12.9%		
	夫婦2人暮らし (n=373)	27.3%	9.1%	9.9%	23.1%	9.9%	14.5%	8.3%	9.1%	4.6%	0.0%	2.4%	31.4%	16.1%		
	子のみと同居 (n=294)	31.6%	13.3%	7.5%	22.4%	11.9%	8.5%	6.1%	8.2%	3.7%	0.3%	1.7%	35.0%	10.2%		
	配偶者・子以外と同居 (n=88)	42.0%	12.5%	6.8%	29.5%	9.1%	11.4%	4.5%	15.9%	1.1%	0.0%	1.1%	29.5%	6.8%		
	その他 (n=118)	28.0%	11.0%	14.4%	27.1%	11.9%	14.4%	6.8%	7.6%	5.9%	1.7%	0.8%	32.2%	7.6%		

(10) 災害時の対応について

問24 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも)

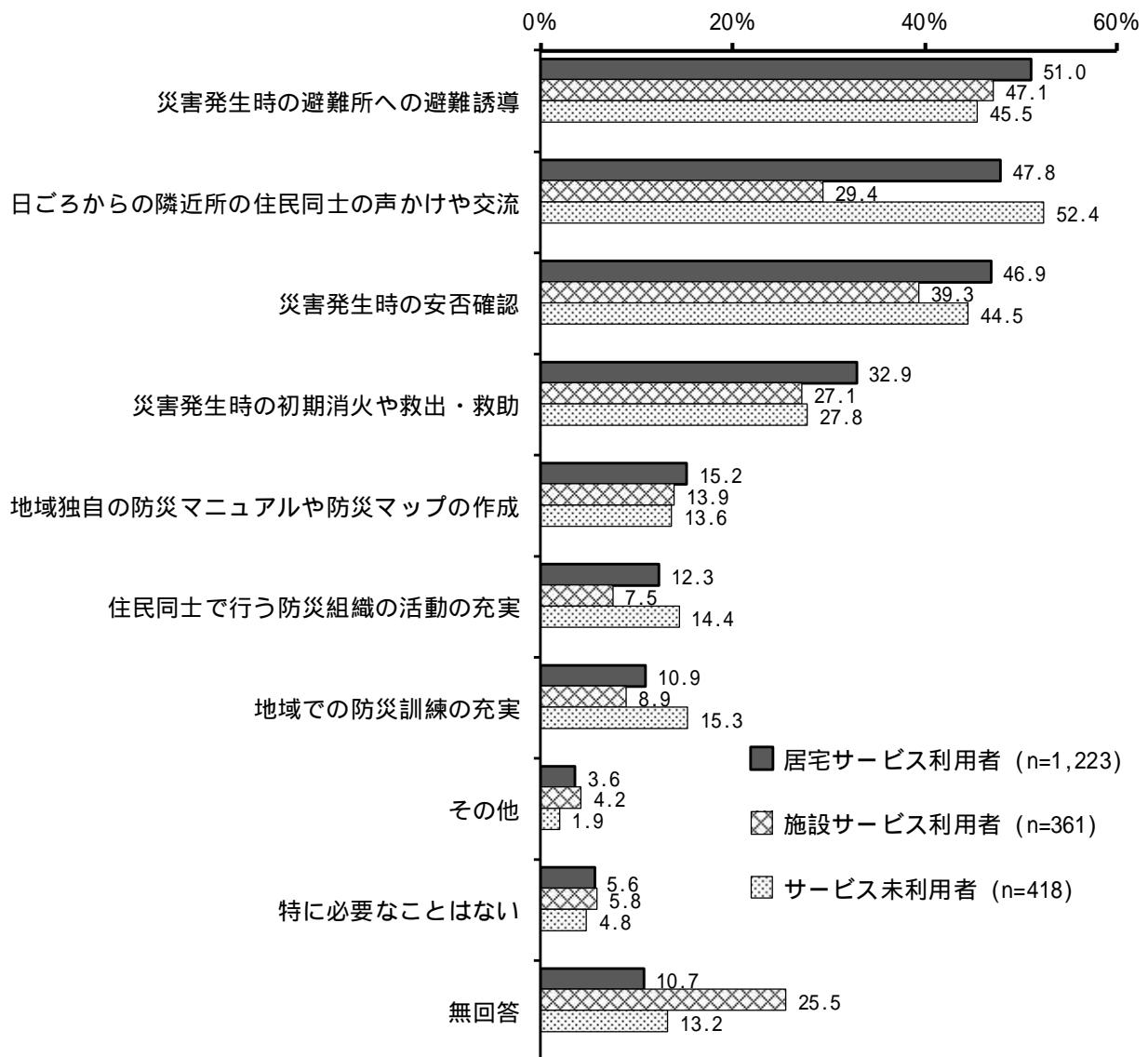
- ・ 居宅サービス利用者では、「同居の家族」(58.2%)が最も多く、次いで「別居の家族」(40.5%)、「近所の人」(23.5%)、「友人・知人」(8.6%)と続いている。一方、「いない」は7.4%、「必要ない」は0.1%となっている。要介護度別、家族構成別にみると、「いない」割合は、『要支援1・2』では11.9%、『1人暮らし』では16.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「別居の家族」(27.7%)が最も多く、次いで「同居の家族」(25.8%)、「近所の人」(7.2%)と続いている。一方、「いない」は3.3%、「必要ない」は2.5%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「同居の家族」(54.8%)が最も多く、次いで「別居の家族」(37.8%)、「近所の人」(21.5%)、「友人・知人」(10.5%)と続いている。一方、「いない」は8.4%、「必要ない」は0.0%となっている。



		同居の家族	別居の家族	近所の人	友人・知人	その他	いない	必要ない	無回答	
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		58.2%	40.5%	23.5%	8.6%	4.9%	7.4%	0.1%	6.5%	
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	44.5%	45.5%	31.9%	10.0%	4.4%	11.9%	0.0%	6.6%	
	要介護1・2 (n=501)	62.1%	39.5%	19.6%	8.6%	4.6%	6.0%	0.2%	5.4%	
	要介護3～5 (n=270)	74.1%	35.6%	17.8%	6.7%	7.0%	3.3%	0.0%	5.2%	
性別	男性 (n=423)	63.8%	40.2%	23.6%	7.8%	5.2%	8.7%	0.0%	6.4%	
	女性 (n=780)	55.8%	41.0%	23.7%	9.0%	4.9%	6.7%	0.1%	5.9%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=81)	60.5%	27.2%	11.1%	6.2%	6.2%	12.3%	0.0%	4.9%
		75～84歳 (n=168)	69.0%	41.7%	26.8%	9.5%	4.8%	5.4%	0.0%	6.5%
		85歳以上 (n=173)	60.1%	45.1%	26.0%	6.9%	5.2%	10.4%	0.0%	6.9%
	女性	65～74歳 (n=83)	63.9%	43.4%	19.3%	8.4%	3.6%	8.4%	0.0%	6.0%
		75～84歳 (n=273)	53.1%	44.7%	22.7%	11.4%	4.0%	8.4%	0.4%	6.6%
85歳以上 (n=420)	56.2%	38.3%	25.0%	7.6%	5.7%	5.0%	0.0%	5.5%		
家族構成	1人暮らし (n=325)	3.1%	54.8%	34.2%	12.9%	6.8%	16.6%	0.3%	7.1%	
	夫婦2人暮らし (n=373)	67.8%	47.5%	22.8%	9.1%	4.6%	6.2%	0.0%	7.0%	
	子のみと同居 (n=294)	87.4%	28.9%	19.4%	4.4%	3.1%	2.0%	0.0%	5.1%	
	配偶者・子以外と同居 (n=88)	92.0%	20.5%	17.0%	4.5%	2.3%	3.4%	0.0%	3.4%	
	その他 (n=118)	83.1%	25.4%	14.4%	8.5%	7.6%	2.5%	0.0%	5.1%	

問25 災害に備えて、又は災害が発生したときに、あなたに対してどのような手助けがあれば安心できると思いますか。(いくつでも)

- ・居宅サービス利用者では、「災害発生時の避難所への避難誘導」(51.0%)が最も多く、次いで「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(47.8%)、「災害発生時の安否確認」(46.9%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(32.9%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は5.6%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「災害発生時の避難所への避難誘導」(47.1%)が最も多く、次いで「災害発生時の安否確認」(39.3%)、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(29.4%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(27.1%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は5.8%となっている。
- ・サービス未利用者では、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(52.4%)が最も多く、次いで「災害発生時の避難所への避難誘導」(45.5%)、「災害発生時の安否確認」(44.5%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(27.8%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は4.8%となっている。



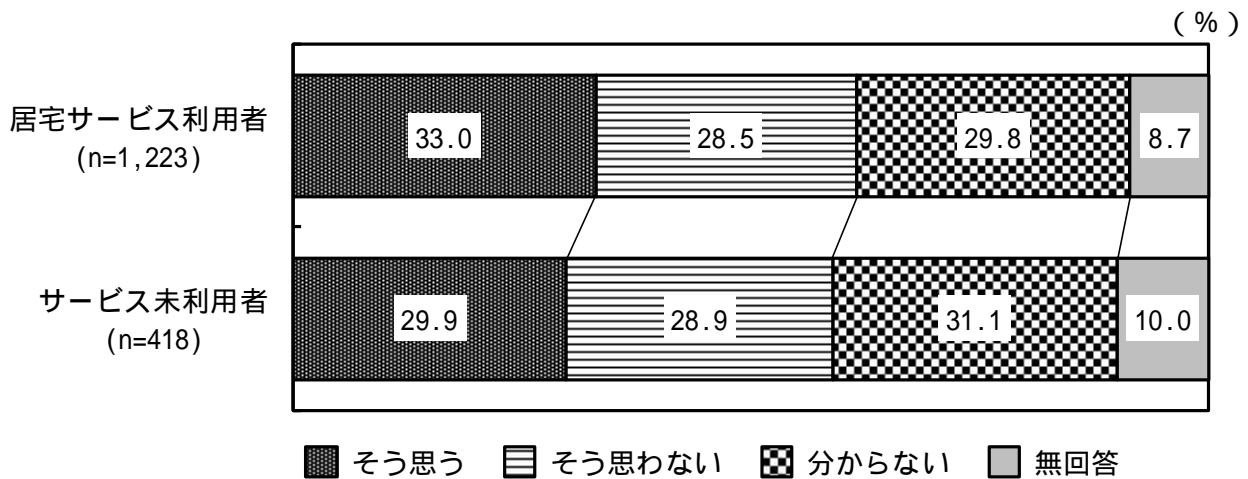
・居宅サービス利用者の「災害発生時の避難所への避難誘導」は要介護度による差がみられないが、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」は『要支援1・2』(59.1%)の割合が高くなっている。

		同日ごろからの声かけや交流の住民	住民活動の充実	地域での防災訓練の充実	地域独自の防災マップの作成	災害発生時の安否確認	災害発生時の初期消火や救出・救助	災害発生時の避難所への避難誘導	その他	特に必要はない	無回答	
居宅サービス利用者(全体) (n=1,223)		47.8%	12.3%	10.9%	15.2%	46.9%	32.9%	51.0%	3.6%	5.6%	10.7%	
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=411)	59.1%	14.8%	13.4%	17.8%	50.1%	32.1%	51.1%	3.9%	5.6%	9.2%	
	要介護1・2 (n=501)	43.3%	11.6%	10.6%	12.8%	47.7%	34.9%	52.3%	3.8%	5.0%	10.2%	
	要介護3～5 (n=270)	38.9%	10.4%	8.5%	17.0%	43.0%	31.9%	51.5%	3.0%	6.7%	10.7%	
要介護度	要支援1 (n=203)	64.5%	13.8%	14.8%	17.7%	45.8%	30.0%	50.7%	5.4%	3.4%	7.4%	
	要支援2 (n=208)	53.8%	15.9%	12.0%	17.8%	54.3%	34.1%	51.4%	2.4%	7.7%	11.1%	
	要介護1 (n=285)	43.9%	10.5%	11.2%	13.0%	47.7%	38.2%	53.3%	2.1%	4.9%	10.5%	
	要介護2 (n=216)	42.6%	13.0%	9.7%	12.5%	47.7%	30.6%	50.9%	6.0%	5.1%	9.7%	
	要介護3 (n=132)	41.7%	12.1%	7.6%	22.7%	44.7%	31.1%	53.8%	2.3%	6.8%	11.4%	
	要介護4 (n=68)	42.6%	5.9%	8.8%	11.8%	32.4%	35.3%	50.0%	1.5%	7.4%	11.8%	
	要介護5 (n=70)	30.0%	11.4%	10.0%	11.4%	50.0%	30.0%	48.6%	5.7%	5.7%	8.6%	
分からない (n=11)	54.5%	9.1%	9.1%	9.1%	45.5%	36.4%	54.5%	9.1%	9.1%	18.2%		
性別	男性 (n=423)	52.2%	14.9%	13.9%	15.8%	49.9%	31.7%	49.2%	3.5%	2.4%	12.5%	
	女性 (n=780)	45.8%	10.9%	9.2%	15.1%	45.8%	33.7%	52.6%	3.7%	7.3%	9.1%	
年齢	65～69歳 (n=53)	32.1%	9.4%	13.2%	17.0%	47.2%	28.3%	54.7%	0.0%	7.5%	9.4%	
	70～74歳 (n=111)	30.6%	10.8%	7.2%	16.2%	43.2%	31.5%	53.2%	3.6%	7.2%	12.6%	
	75～79歳 (n=178)	53.4%	13.5%	12.9%	20.2%	46.6%	36.5%	48.9%	5.1%	1.7%	9.6%	
	80～84歳 (n=266)	51.1%	14.3%	13.9%	17.3%	51.1%	28.9%	49.2%	3.4%	5.6%	12.8%	
	85～89歳 (n=342)	53.2%	12.0%	10.8%	13.5%	46.2%	33.6%	51.2%	4.7%	5.8%	9.9%	
	90～94歳 (n=211)	47.9%	10.9%	6.6%	13.3%	47.4%	36.0%	55.9%	1.9%	5.7%	7.1%	
	95歳以上 (n=44)	29.5%	15.9%	13.6%	6.8%	45.5%	36.4%	47.7%	4.5%	11.4%	13.6%	
性別×年齢	男性	65～74歳 (n=81)	32.1%	13.6%	8.6%	17.3%	46.9%	30.9%	55.6%	2.5%	6.2%	11.1%
		75～84歳 (n=168)	54.2%	17.9%	17.9%	16.7%	50.6%	29.8%	42.9%	3.6%	1.2%	15.5%
		85歳以上 (n=173)	59.5%	12.7%	12.7%	14.5%	50.9%	34.1%	52.6%	4.0%	1.7%	10.4%
	女性	65～74歳 (n=83)	30.1%	7.2%	9.6%	15.7%	42.2%	30.1%	51.8%	2.4%	8.4%	12.0%
		75～84歳 (n=273)	50.5%	11.7%	11.0%	19.8%	48.4%	33.7%	52.7%	4.4%	5.9%	8.8%
85歳以上 (n=420)	45.5%	11.2%	8.1%	12.1%	45.0%	34.8%	52.9%	3.6%	8.1%	8.6%		
家族構成	1人暮らし (n=325)	49.2%	11.7%	9.8%	12.9%	52.3%	33.2%	52.9%	2.8%	6.5%	9.5%	
	夫婦2人暮らし (n=373)	51.5%	12.9%	9.4%	13.4%	48.5%	30.0%	49.9%	3.5%	2.7%	13.4%	
	子のみと同居 (n=294)	42.5%	13.3%	13.3%	17.7%	42.5%	32.3%	46.6%	5.1%	8.2%	9.2%	
	配偶者・子以外と同居 (n=88)	48.9%	10.2%	10.2%	17.0%	45.5%	38.6%	53.4%	1.1%	8.0%	6.8%	
	その他 (n=118)	45.8%	9.3%	11.0%	21.2%	43.2%	39.8%	63.6%	5.1%	4.2%	7.6%	

(11) 在宅療養について

問 26 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「そう思う」が33.0%、「そう思わない」が28.5%、「分からない」が29.8%となっている。「そう思う」割合は、『要介護3～5』(40.7%)で高く、また『女性』(28.6%)よりも『男性』(41.6%)のほうが高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「そう思う」が29.9%、「そう思わない」が28.9%、「分からない」が31.1%となっている。

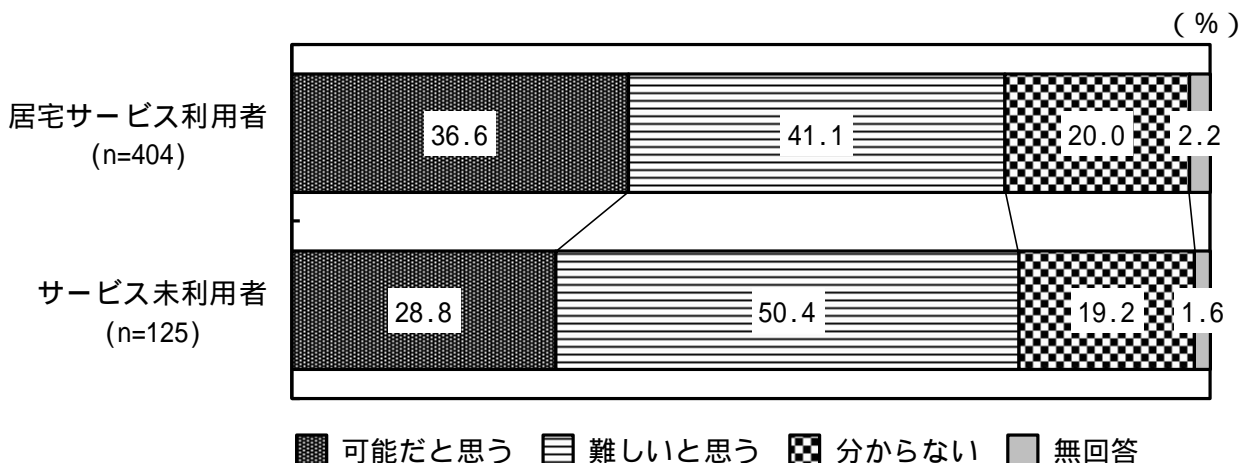


		人数	そう思う (%)	そう思わない (%)	分からない (%)	無回答 (%)	
居宅サービス利用者 (全体)		(n=1,223)	33.0%	28.5%	29.8%	8.7%	
要介護度 (3区分)	要支援 1・2	(n=411)	29.9%	36.0%	26.0%	8.0%	
	要介護 1・2	(n=501)	32.5%	29.1%	30.9%	7.4%	
	要介護 3～5	(n=270)	40.7%	17.4%	33.0%	8.9%	
性別	男性	(n=423)	41.6%	23.2%	26.5%	8.7%	
	女性	(n=780)	28.6%	31.9%	31.3%	8.2%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	40.7%	24.7%	27.2%	7.4%
		75～84歳	(n=168)	43.5%	19.6%	28.0%	8.9%
		85歳以上	(n=173)	40.5%	25.4%	24.9%	9.2%
	女性	65～74歳	(n=83)	26.5%	28.9%	37.3%	7.2%
		75～84歳	(n=273)	28.6%	34.4%	28.9%	8.1%
		85歳以上	(n=420)	28.6%	31.2%	31.9%	8.3%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	20.3%	38.8%	31.1%	9.8%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	36.2%	26.5%	26.8%	10.5%	
	子のみと同居	(n=294)	39.1%	24.1%	29.9%	6.8%	
	配偶者・子以外と同居	(n=88)	40.9%	20.5%	34.1%	4.5%	
	その他	(n=118)	37.3%	27.1%	29.7%	5.9%	
家族介護者	有り	(n=1,053)	35.5%	28.1%	29.9%	6.5%	
	無し	(n=170)	17.6%	31.2%	28.8%	22.4%	

問26で「そう思う」とお答えの方におたずねします

問26-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「可能だと思う」が36.6%、「難しいと思う」が41.1%、「分からない」が20.0%となっている。「可能だと思う」割合は、『要介護3～5』(50.9%)の割合が高く、また『女性』(30.9%)よりも『男性』(43.2%)のほうが高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「可能だと思う」が28.8%、「難しいと思う」が50.4%、「分からない」が19.2%となっている。

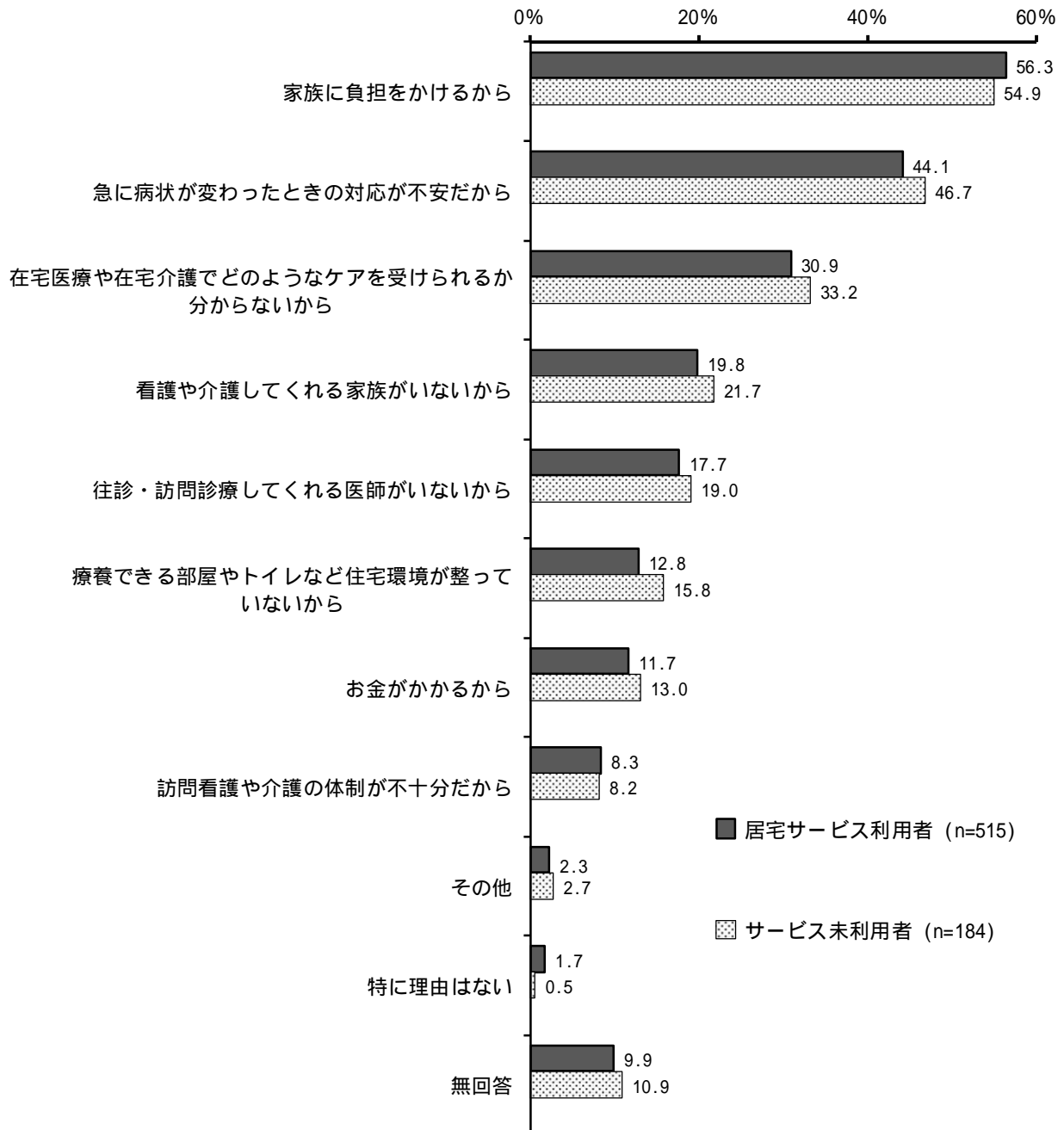


		可能だと思う	難しいと思う	分からない	無回答		
居宅サービス利用者 (全体)		(n=404)	36.6%	41.1%	20.0%	2.2%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=123)	34.1%	45.5%	18.7%	1.6%	
	要介護1・2	(n=163)	28.2%	46.6%	23.3%	1.8%	
	要介護3～5	(n=110)	50.9%	30.0%	15.5%	3.6%	
性別	男性	(n=176)	43.2%	34.7%	18.8%	3.4%	
	女性	(n=223)	30.9%	46.2%	21.5%	1.3%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=33)	36.4%	42.4%	21.2%	0.0%
		75～84歳	(n=73)	45.2%	34.2%	17.8%	2.7%
		85歳以上	(n=70)	44.3%	31.4%	18.6%	5.7%
	女性	65～74歳	(n=22)	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%
		75～84歳	(n=78)	24.4%	43.6%	30.8%	1.3%
		85歳以上	(n=120)	33.3%	47.5%	17.5%	1.7%
家族構成	1人暮らし	(n=66)	19.7%	63.6%	12.1%	4.5%	
	夫婦2人暮らし	(n=135)	38.5%	40.0%	20.0%	1.5%	
	子のみと同居	(n=115)	43.5%	31.3%	21.7%	3.5%	
	配偶者・子以外と同居	(n=36)	44.4%	22.2%	33.3%	0.0%	
	その他	(n=44)	27.3%	52.3%	20.5%	0.0%	
家族 介護者	有り	(n=374)	37.2%	40.9%	19.8%	2.1%	
	無し	(n=30)	30.0%	43.3%	23.3%	3.3%	

問26で「そう思わない」又は問26-1で「難しいと思う」とお答えの方におたずねします

問26-2 それはなぜですか。(3つまでに)

- ・居宅サービス利用者では、「家族に負担をかけるから」(56.3%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(44.1%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから」(30.9%)と続いている。一方、「特に理由はない」は1.7%となっている。
- ・サービス未利用者では、「家族に負担をかけるから」(54.9%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(46.7%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから」(33.2%)と続いている。一方、「特に理由はない」は0.5%となっている。



・居宅サービス利用者で「家族に負担をかけるから」「急に病状が変わったときの対応が不安だから」「療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから」「お金がかかるから」の割合は、要介護度が高いほど高くなっている。

		在宅医療を受けられる分からのようなケア	急に病状が変わったときの対応が不安だから	往診・訪問診療してくれる医師がい	ら訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	看護や介護してくれる家族がいないから	療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから	お金がかかるから	その他	特に理由はない	無回答		
居宅サービス利用者(全体)		(n=515)	30.9%	44.1%	17.7%	8.3%	56.3%	19.8%	12.8%	11.7%	2.3%	1.7%	9.9%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=204)	36.8%	42.6%	18.1%	9.3%	52.0%	26.5%	10.8%	8.8%	2.5%	1.5%	10.3%	
	要介護1・2	(n=222)	26.1%	44.6%	18.5%	7.2%	58.1%	18.9%	12.6%	13.5%	1.8%	2.3%	9.9%	
	要介護3～5	(n=80)	30.0%	47.5%	15.0%	8.8%	62.5%	6.3%	18.8%	15.0%	3.8%	0.0%	10.0%	
性別	男性	(n=159)	34.6%	46.5%	17.0%	7.5%	50.9%	17.0%	13.8%	8.8%	3.1%	1.3%	13.8%	
	女性	(n=352)	29.3%	43.2%	17.9%	8.8%	59.1%	20.7%	12.5%	12.8%	2.0%	2.0%	8.2%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=34)	35.3%	44.1%	8.8%	5.9%	50.0%	17.6%	11.8%	8.8%	2.9%	2.9%	11.8%
		75～84歳	(n=58)	36.2%	56.9%	13.8%	3.4%	46.6%	20.7%	17.2%	8.6%	3.4%	0.0%	12.1%
		85歳以上	(n=66)	33.3%	37.9%	24.2%	12.1%	56.1%	12.1%	12.1%	7.6%	3.0%	1.5%	16.7%
	女性	65～74歳	(n=36)	36.1%	33.3%	8.3%	5.6%	69.4%	13.9%	16.7%	27.8%	2.8%	5.6%	11.1%
		75～84歳	(n=128)	27.3%	44.5%	22.7%	7.8%	58.6%	22.7%	11.7%	13.3%	2.3%	0.8%	6.3%
	85歳以上	(n=188)	29.3%	44.1%	16.5%	10.1%	57.4%	20.7%	12.2%	9.6%	1.6%	2.1%	9.0%	
家族構成	1人暮らし	(n=168)	33.3%	39.3%	20.2%	10.7%	41.7%	36.3%	9.5%	8.9%	1.8%	3.6%	8.3%	
	夫婦2人暮らし	(n=153)	36.6%	47.1%	19.6%	5.9%	56.9%	12.4%	9.8%	9.8%	3.9%	0.0%	11.1%	
	子のみと同居	(n=107)	23.4%	47.7%	11.2%	9.3%	67.3%	11.2%	19.6%	19.6%	1.9%	0.9%	10.3%	
	配偶者・子以外と同居	(n=26)	34.6%	57.7%	15.4%	7.7%	73.1%	3.8%	23.1%	15.4%	0.0%	3.8%	3.8%	
	その他	(n=55)	23.6%	36.4%	20.0%	5.5%	69.1%	16.4%	12.7%	7.3%	1.8%	0.0%	14.5%	
家族 介護者	有り	(n=449)	31.6%	45.4%	16.9%	8.2%	59.9%	16.9%	13.8%	12.0%	2.4%	1.3%	9.8%	
	無し	(n=66)	25.8%	34.8%	22.7%	9.1%	31.8%	39.4%	6.1%	9.1%	1.5%	4.5%	10.6%	
住まい	持ち家	(n=395)	33.4%	44.3%	19.0%	9.4%	57.5%	19.5%	11.1%	9.6%	2.0%	1.5%	10.4%	
	賃貸(民間・公的)	(n=91)	23.1%	42.9%	14.3%	4.4%	49.5%	24.2%	20.9%	19.8%	2.2%	3.3%	8.8%	

問27 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご意見・ご要望を自由回答形式で聞いたところ、全体で295件（居宅サービス利用者184件、施設サービス利用者52件、サービス未利用者59件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

居宅サービス利用者

内容	件数
制度、サービス、事業について	61
現状や将来について	17
情報提供、周知について	13
要介護認定について	9
介護サービスの質（スタッフを含む）について	7
交通・移動支援について	6
施設入所・整備について	5
アンケートを回答しての感想	5
人材について	3
相談窓口、連絡先について	3
家族への支援について	3
住居について	3
手続きについて	2
災害対応	2
アンケートについての意見	2
保険料について	1
国や社会全体に対する意見	1
認知症について	1
障害、疾病について	1
施設について	0
その他	20
わからない・特になし	19

施設サービス利用者

内容	件数
施設入所・整備について	9
制度、サービス、事業について	8
アンケートを回答しての感想	6
施設について	5
介護サービスの質（スタッフを含む）について	4
人材について	3
情報提供、周知について	2
保険料について	2
交通・移動支援について	1
相談窓口、連絡先について	1
家族への支援について	1
災害対応	1
アンケートについての意見	1
国や社会全体に対する意見	1
その他	2
わからない・特になし	5

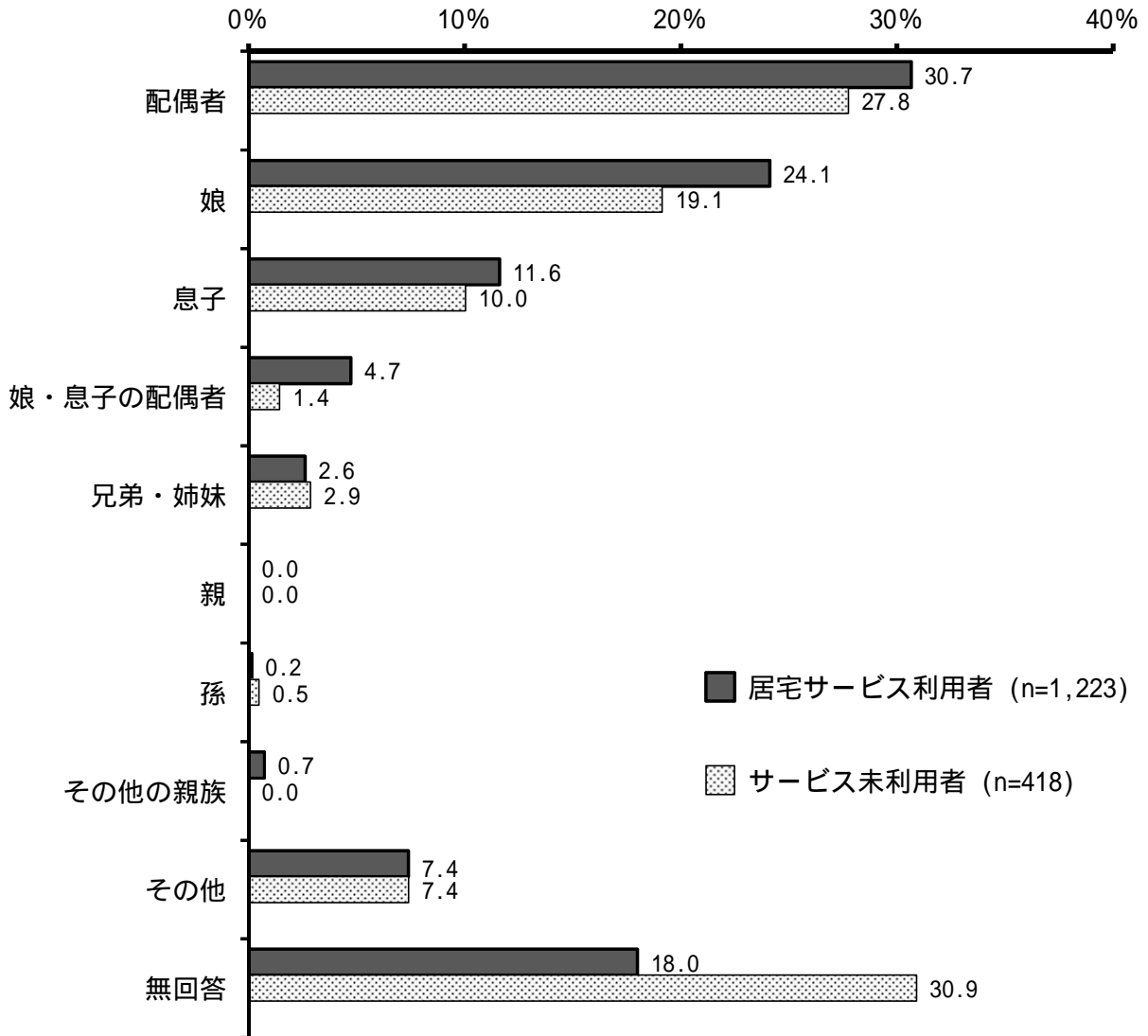
居宅サービス利用者

内容	件数
制度、サービス、事業について	16
情報提供、周知について	7
交通・移動支援について	4
現状や将来について	3
災害対応	2
アンケートについての意見	2
要介護認定について	2
施設入所・整備について	1
家族への支援について	1
国や社会全体に対する意見	1
その他	6
わからない・特になし	14

(12) 主な介護者の状況や意向について

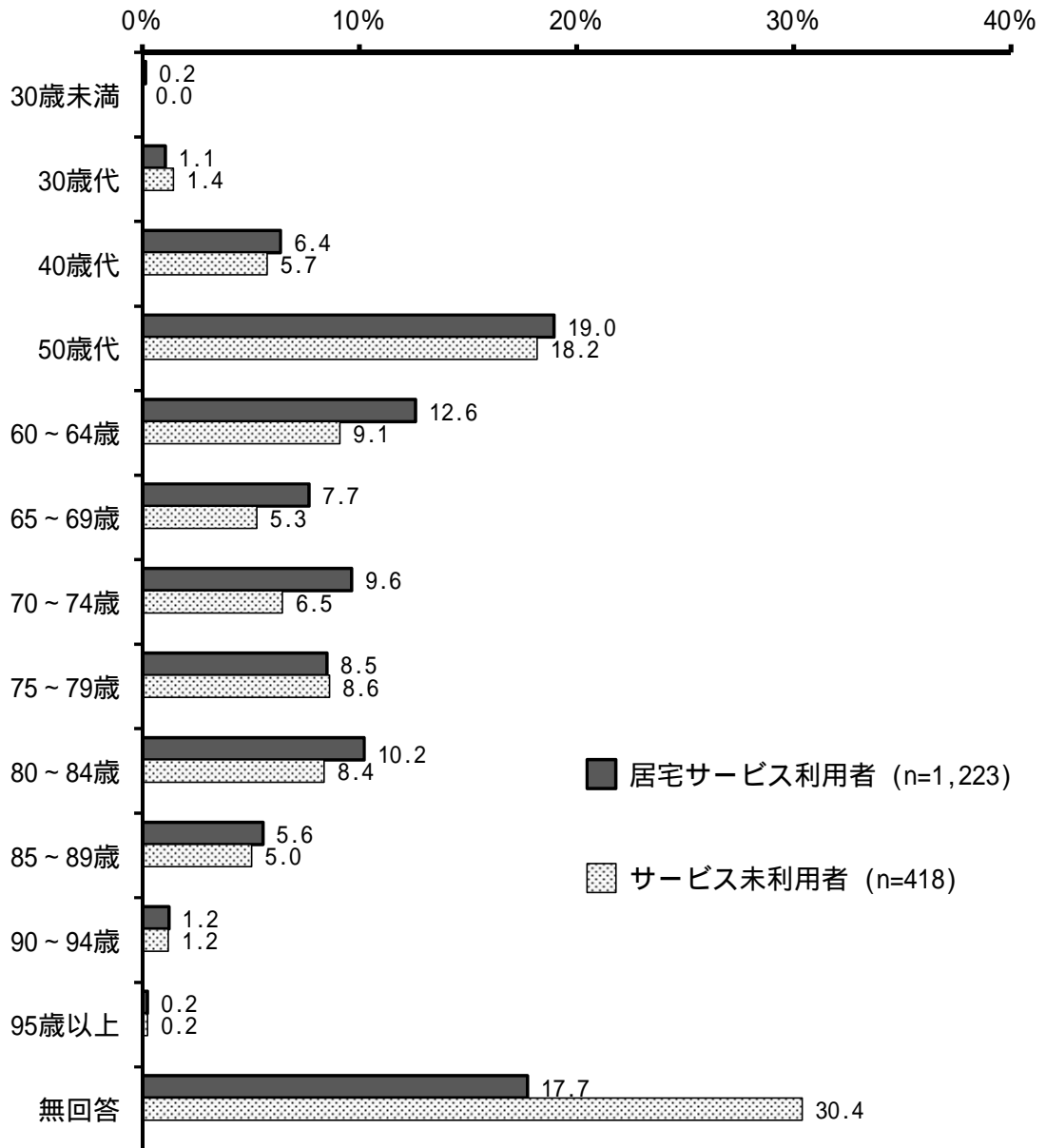
問28 あて名のご本人を主に介護しているのは、どなたですか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「配偶者」(30.7%)が最も多く、次いで「娘」(24.1%)、「息子」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「配偶者」(27.8%)が最も多く、次いで「娘」(19.1%)、「息子」(10.0%)、と続いている。



問29 あて名のご本人を主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに)

- ・ 居宅サービス利用者では、「50歳代」(19.0%)が最も多く、次いで「60～64歳」(12.6%)、「80～84歳」(10.2%)、「70～74歳」(9.6%)、「75～79歳」(8.5%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「50歳代」(18.2%)が最も多く、次いで「60～64歳」(9.1%)、「75～79歳」(8.6%)、「80～84歳」(8.4%)、「70～74歳」(6.5%)と続いている。



・居宅サービス利用者の「配偶者」の割合は、要介護度が高くなるほど高く、『女性』よりも『男性』で高く、本人の年齢では『70～74歳』（46.6%）で最も高くなっている。

		配偶者	娘	息子	娘・息子の配偶者	兄弟・姉妹	親	孫	その他の親族	その他	無回答		
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,223)	30.7%	24.1%	11.6%	4.7%	2.6%	0.0%	0.2%	0.7%	7.4%	18.0%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	25.5%	22.1%	9.5%	4.1%	3.2%	0.0%	0.0%	0.5%	11.9%	23.1%	
	要介護1・2	(n=501)	30.5%	27.3%	12.4%	5.2%	2.4%	0.0%	0.4%	1.0%	5.2%	15.6%	
	要介護3～5	(n=270)	41.1%	24.1%	11.9%	4.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.7%	5.2%	10.4%	
性別	男性	(n=423)	56.0%	10.4%	4.7%	1.9%	2.8%	0.0%	0.2%	0.9%	6.4%	16.5%	
	女性	(n=780)	17.2%	31.9%	15.4%	6.2%	2.4%	0.0%	0.0%	0.6%	7.9%	18.3%	
年齢	65～69歳	(n=53)	41.5%	17.0%	5.7%	0.0%	7.5%	0.0%	0.0%	1.9%	9.4%	17.0%	
	70～74歳	(n=111)	56.8%	7.2%	4.5%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	15.3%	
	75～79歳	(n=178)	46.6%	14.6%	7.3%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.6%	7.3%	18.5%	
	80～84歳	(n=266)	36.5%	17.3%	9.4%	3.0%	3.4%	0.0%	0.4%	0.0%	7.5%	22.6%	
	85～89歳	(n=342)	24.0%	28.7%	15.5%	5.8%	0.9%	0.0%	0.3%	1.2%	8.2%	15.5%	
	90～94歳	(n=211)	10.9%	41.2%	13.7%	8.5%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	5.2%	17.5%	
	95歳以上	(n=44)	4.5%	40.9%	25.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	15.9%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	56.8%	3.7%	2.5%	0.0%	9.9%	0.0%	0.0%	1.2%	11.1%	14.8%
		75～84歳	(n=168)	66.7%	3.0%	1.8%	1.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	18.5%
		85歳以上	(n=173)	45.7%	20.8%	8.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.6%	1.7%	4.6%	15.6%
	女性	65～74歳	(n=83)	47.0%	16.9%	7.2%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	16.9%
		75～84歳	(n=273)	24.5%	24.5%	12.8%	4.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.4%	8.4%	22.3%
		85歳以上	(n=420)	6.4%	39.8%	18.6%	8.8%	1.4%	0.0%	0.0%	1.0%	7.9%	16.2%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	0.6%	30.2%	13.8%	3.1%	6.2%	0.0%	0.0%	1.8%	17.8%	26.5%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	75.1%	5.4%	1.9%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	1.9%	14.7%	
	子のみ同居	(n=294)	11.6%	38.4%	25.2%	7.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	14.6%	
	配偶者・子以外同居	(n=88)	42.0%	23.9%	2.3%	10.2%	3.4%	0.0%	1.1%	0.0%	3.4%	13.6%	
	その他	(n=118)	14.4%	33.1%	10.2%	9.3%	4.2%	0.0%	0.8%	1.7%	12.7%	13.6%	

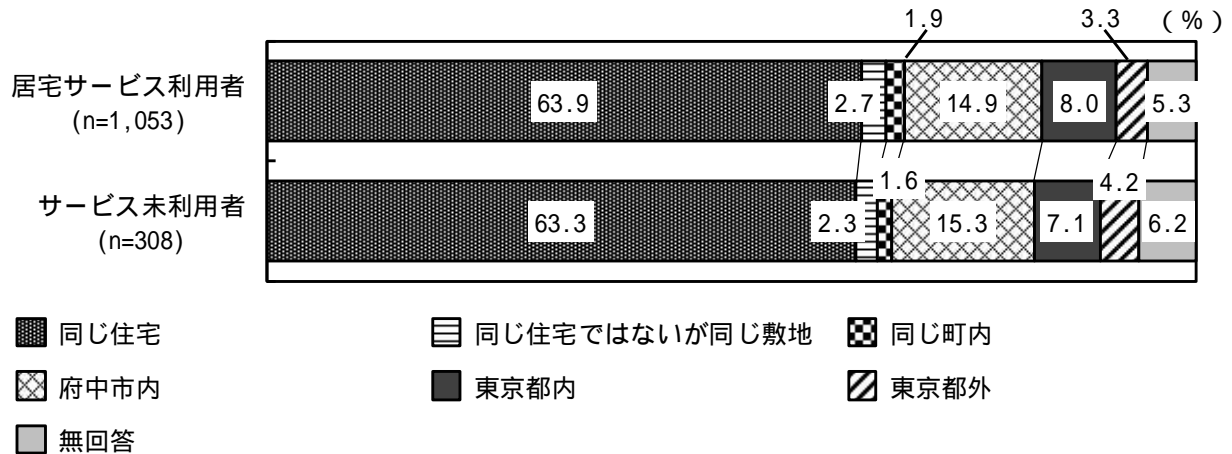
・居宅サービス利用者の本人の年齢が『70～74歳』では、家族等の介護者の年齢が「70～74歳」（31.5%）の割合が最も高く、本人の年齢が『75～79歳』では家族等の介護者の年齢が「75～79歳」（21.9%）の割合が高くなっているが、本人の年齢が『80～84歳』では家族等の介護者の年齢が「50歳代」（25.6%）の割合が高く、本人の年齢が80歳未満と80歳以上とで差がみられる。

		30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	無回答		
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,223)	0.2%	1.1%	6.4%	19.0%	12.6%	7.7%	9.6%	8.5%	10.2%	5.6%	1.2%	0.2%	17.7%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=411)	0.0%	0.5%	7.8%	17.3%	10.7%	4.6%	7.5%	4.9%	9.2%	6.3%	1.5%	0.2%	29.4%	
	要介護1・2	(n=501)	0.4%	1.0%	5.8%	22.4%	14.2%	9.2%	9.8%	9.0%	9.4%	6.0%	1.2%	0.0%	11.8%	
	要介護3～5	(n=270)	0.0%	1.9%	5.6%	15.6%	13.3%	10.4%	13.7%	13.3%	14.1%	3.7%	0.7%	0.7%	7.0%	
性別	男性	(n=423)	0.2%	0.9%	4.3%	8.5%	7.8%	7.3%	14.2%	14.2%	18.9%	7.6%	1.7%	0.0%	14.4%	
	女性	(n=780)	0.0%	1.2%	7.4%	25.0%	15.0%	7.9%	7.4%	5.5%	5.6%	4.4%	0.9%	0.4%	19.2%	
年齢	65～69歳	(n=53)	1.9%	11.3%	11.3%	0.0%	13.2%	22.6%	9.4%	5.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	22.6%	
	70～74歳	(n=111)	0.0%	2.7%	11.7%	0.9%	3.6%	14.4%	31.5%	14.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	18.9%	
	75～79歳	(n=178)	0.0%	0.0%	14.0%	12.4%	1.7%	0.6%	18.5%	21.9%	9.6%	1.7%	0.0%	0.0%	19.7%	
	80～84歳	(n=266)	0.4%	0.4%	4.5%	25.6%	2.6%	0.0%	6.0%	12.8%	19.5%	6.8%	0.4%	0.0%	21.1%	
	85～89歳	(n=342)	0.0%	0.9%	4.1%	28.9%	18.7%	5.8%	1.2%	1.2%	13.5%	10.2%	1.8%	0.0%	13.7%	
	90～94歳	(n=211)	0.0%	0.0%	2.8%	18.5%	28.0%	15.2%	5.2%	1.4%	2.8%	4.7%	3.3%	1.4%	16.6%	
	95歳以上	(n=44)	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	13.6%	29.5%	31.8%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.9%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=81)	1.2%	3.7%	4.9%	0.0%	13.6%	25.9%	21.0%	7.4%	1.2%	0.0%	0.0%	21.0%	
		75～84歳	(n=168)	0.0%	0.0%	4.2%	4.8%	0.6%	0.0%	23.8%	30.4%	20.8%	1.2%	0.0%	0.0%	14.3%
		85歳以上	(n=173)	0.0%	0.6%	4.0%	15.6%	12.1%	5.8%	1.7%	1.7%	25.4%	17.3%	4.0%	0.0%	11.6%
	女性	65～74歳	(n=83)	0.0%	7.2%	18.1%	1.2%	0.0%	8.4%	27.7%	15.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	19.3%
		75～84歳	(n=273)	0.0%	0.4%	11.0%	30.0%	2.9%	0.4%	3.3%	8.1%	12.5%	6.6%	0.4%	0.0%	24.5%
		85歳以上	(n=420)	0.0%	0.5%	3.1%	26.7%	25.5%	12.9%	6.2%	1.7%	1.9%	3.6%	1.4%	0.7%	16.0%
家族構成	1人暮らし	(n=325)	0.0%	0.9%	6.8%	24.6%	13.8%	8.0%	6.2%	1.5%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	35.4%	
	夫婦2人暮らし	(n=373)	0.0%	0.5%	1.9%	4.0%	3.5%	6.4%	13.4%	18.8%	23.9%	12.6%	2.9%	0.5%	11.5%	
	子のみ同居	(n=294)	0.0%	1.4%	10.2%	32.3%	22.4%	6.8%	6.5%	3.7%	4.4%	2.7%	0.0%	0.0%	9.5%	
	配偶者・子以外同居	(n=88)	0.0%	2.3%	5.7%	19.3%	11.4%	8.0%	14.8%	9.1%	13.6%	5.7%	1.1%	0.0%	9.1%	
	その他	(n=118)	1.7%	0.8%	9.3%	18.6%	14.4%	14.4%	13.6%	5.1%	2.5%	3.4%	1.7%	0.8%	13.6%	

以下、問28・29のいずれかを回答した者を集計

問30 あて名のご本人を主に介護している方はどこに住んでいますか。(1つに)

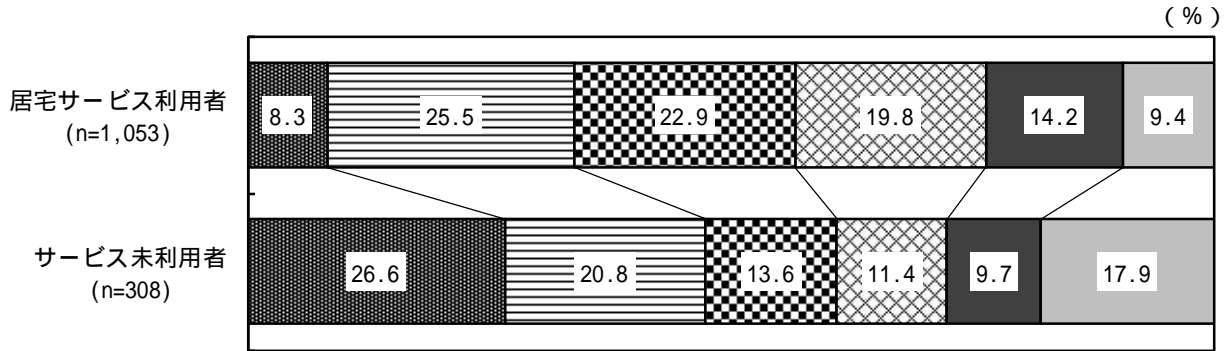
- ・居宅サービス利用者では、「同じ住宅」(63.9%)が最も多く、次いで「府中市内」(14.9%)、「東京都内」(8.0%)と続いている。「同じ住宅」の割合は、『要支援1・2』では51.9%、『要介護3～5』では76.1%と、要介護度が高くなるほど高くなっている。また、『要介護度(3区分)』のいずれにおいても、「同じ住宅」の割合が最も高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「同じ住宅」(63.3%)が最も多く、次いで「府中市内」(15.3%)、「東京都内」(7.1%)と続いている。



		同じ住宅	同じ住宅ではないが同じ敷地	同じ町内	府中市内	東京都内	東京都外	無回答		
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,053)	63.9%	2.7%	1.9%	14.9%	8.0%	3.3%	5.3%	
要介護度(3区分)	要支援1・2	(n=320)	51.9%	2.8%	2.5%	15.6%	12.8%	5.0%	9.4%	
	要介護1・2	(n=451)	66.3%	2.2%	2.0%	15.3%	7.3%	3.3%	3.5%	
	要介護3～5	(n=259)	76.1%	3.5%	0.8%	13.1%	2.3%	1.5%	2.7%	
性別	男性	(n=377)	72.7%	1.9%	1.1%	10.9%	5.6%	1.6%	6.4%	
	女性	(n=662)	58.9%	3.0%	2.4%	17.4%	9.1%	4.4%	4.8%	
年齢	65～69歳	(n=44)	72.7%	4.5%	0.0%	13.6%	2.3%	0.0%	6.8%	
	70～74歳	(n=94)	68.1%	1.1%	2.1%	17.0%	6.4%	2.1%	3.2%	
	75～79歳	(n=152)	74.3%	2.0%	0.0%	15.1%	2.6%	1.3%	4.6%	
	80～84歳	(n=221)	62.9%	1.8%	0.9%	16.3%	8.1%	3.6%	6.3%	
	85～89歳	(n=306)	58.5%	2.6%	2.6%	14.7%	11.1%	4.9%	5.6%	
	90～94歳	(n=183)	61.2%	3.8%	3.3%	15.3%	8.7%	3.3%	4.4%	
	95歳以上	(n=39)	69.2%	5.1%	5.1%	5.1%	7.7%	2.6%	5.1%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=69)	66.7%	2.9%	0.0%	17.4%	5.8%	1.4%	5.8%
		75～84歳	(n=149)	79.9%	0.7%	0.0%	9.4%	3.4%	0.7%	6.0%
		85歳以上	(n=158)	69.0%	2.5%	2.5%	9.5%	7.6%	2.5%	6.3%
	女性	65～74歳	(n=69)	72.5%	1.4%	2.9%	14.5%	4.3%	1.4%	2.9%
		75～84歳	(n=221)	59.7%	2.7%	0.9%	19.9%	7.2%	4.1%	5.4%
		85歳以上	(n=368)	56.5%	3.5%	3.3%	16.3%	10.9%	4.9%	4.6%

問31 あて名のご本人を介護している期間はどのくらいですか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「1年以上3年未満」(25.5%)が最も多く、次いで「3年以上5年未満」(22.9%)、「5年以上10年未満」(19.8%)、「10年以上」(14.2%)と続いている。「10年以上」の割合は、『要支援1・2』では9.7%、『要介護3～5』では22.4%と、要介護度が高いほど高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「1年未満」(26.6%)が最も多く、次いで「1年以上3年未満」(20.8%)、「3年以上5年未満」(13.6%)、「5年以上10年未満」(11.4%)と続いている。

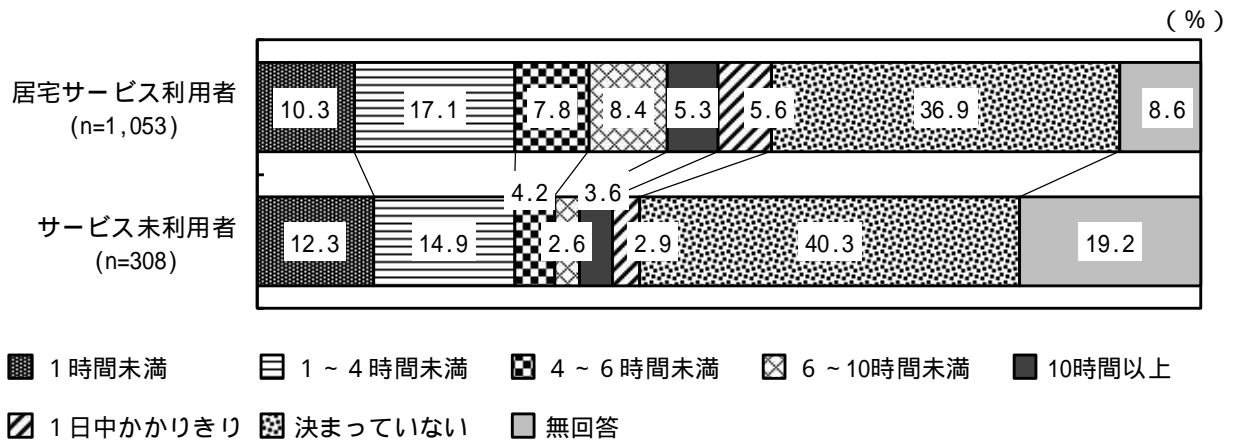


■ 1年未満 □ 1年以上3年未満 ▣ 3年以上5年未満 ▤ 5年以上10年未満 ■ 10年以上 □ 無回答

		1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答		
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,053)	8.3%	25.5%	22.9%	19.8%	14.2%	9.4%	
要介護度(3区分)	要支援1・2	(n=320)	11.9%	29.7%	17.5%	11.6%	9.7%	19.7%	
	要介護1・2	(n=451)	7.1%	25.3%	25.7%	23.7%	12.6%	5.5%	
	要介護3～5	(n=259)	5.4%	21.6%	24.3%	24.3%	22.4%	1.9%	
性別	男性	(n=377)	7.7%	26.8%	21.8%	20.7%	16.7%	6.4%	
	女性	(n=662)	8.6%	24.9%	23.6%	19.3%	12.7%	10.9%	
年齢	65～69歳	(n=44)	4.5%	36.4%	18.2%	22.7%	9.1%	9.1%	
	70～74歳	(n=94)	4.3%	25.5%	21.3%	17.0%	25.5%	6.4%	
	75～79歳	(n=152)	9.9%	32.9%	18.4%	19.7%	12.5%	6.6%	
	80～84歳	(n=221)	11.3%	25.8%	20.8%	19.9%	12.2%	10.0%	
	85～89歳	(n=306)	8.5%	25.5%	24.2%	17.3%	13.1%	11.4%	
	90～94歳	(n=183)	6.0%	20.8%	30.1%	22.4%	13.1%	7.7%	
	95歳以上	(n=39)	7.7%	7.7%	23.1%	28.2%	23.1%	10.3%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=69)	2.9%	29.0%	11.6%	21.7%	26.1%	8.7%
		75～84歳	(n=149)	9.4%	24.2%	22.1%	22.8%	16.8%	4.7%
		85歳以上	(n=158)	7.6%	28.5%	25.9%	18.4%	12.7%	7.0%
	女性	65～74歳	(n=69)	5.8%	29.0%	29.0%	15.9%	14.5%	5.8%
		75～84歳	(n=221)	11.3%	32.1%	18.1%	18.1%	9.5%	10.9%
		85歳以上	(n=368)	7.6%	20.1%	26.1%	20.7%	14.4%	11.1%
家族構成	1人暮らし	(n=241)	9.1%	21.2%	21.2%	19.1%	9.5%	19.9%	
	夫婦2人暮らし	(n=336)	8.0%	26.2%	21.7%	20.5%	16.4%	7.1%	
	子のみ同居	(n=270)	8.1%	27.0%	28.9%	19.3%	12.2%	4.4%	
	配偶者・子以外同居	(n=82)	9.8%	26.8%	18.3%	23.2%	18.3%	3.7%	
	その他	(n=106)	7.5%	28.3%	20.8%	17.0%	18.9%	7.5%	

問32 あて名のご本人の介護に1日に平均してどのくらい関わっていますか。(1つに)

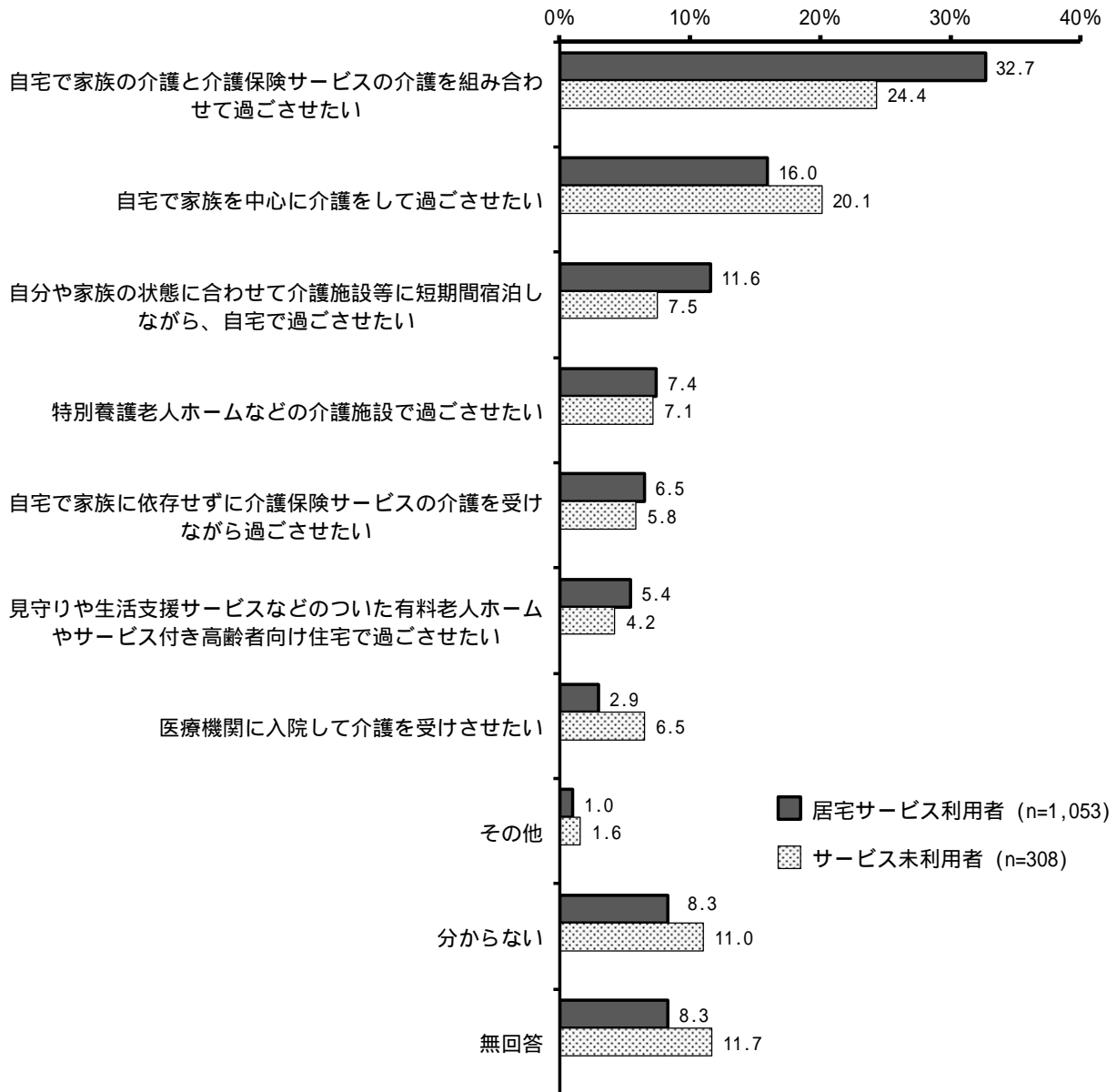
- ・居宅サービス利用者では、「決まっていない」(36.9%)が最も多く、次いで、「1～4時間未満」(17.1%)、「1時間未満」(10.3%)と続いている。「1日中かかりきり」の割合は居宅サービス利用者全体では5.6%で、要介護3以上(12.1%～15.7%)で高くなっている。
- ・サービス未利用者では、「決まっていない」(40.3%)が最も多く、次いで「1～4時間未満」(14.9%)、「1時間未満」(12.3%)と続いている。



		1時間未満	1～4時間未満	4～6時間未満	6～10時間未満	10時間以上	1日中かかりきり	決まっていない	無回答
居宅サービス利用者 (全体) (n=1,053)		10.3%	17.1%	7.8%	8.4%	5.3%	5.6%	36.9%	8.6%
要介護度	要支援1 (n=158)	13.9%	15.8%	3.2%	1.3%	0.0%	1.9%	43.7%	20.3%
	要支援2 (n=162)	18.5%	12.3%	5.6%	3.1%	1.2%	1.9%	46.3%	11.1%
	要介護1 (n=248)	9.7%	23.0%	5.6%	6.9%	2.8%	2.8%	41.9%	7.3%
	要介護2 (n=203)	9.4%	19.2%	9.4%	10.8%	6.9%	3.9%	37.4%	3.0%
	要介護3 (n=127)	3.9%	18.1%	12.6%	15.0%	11.0%	15.7%	22.0%	1.6%
	要介護4 (n=66)	4.5%	6.1%	12.1%	15.2%	10.6%	12.1%	30.3%	9.1%
	要介護5 (n=66)	3.0%	12.1%	16.7%	19.7%	18.2%	13.6%	12.1%	4.5%
性別	男性 (n=377)	9.8%	14.9%	8.8%	9.8%	5.6%	7.4%	35.8%	8.0%
	女性 (n=662)	10.6%	18.6%	7.4%	7.6%	5.3%	4.7%	37.2%	8.8%
年齢	65～69歳 (n=44)	18.2%	13.6%	6.8%	4.5%	13.6%	9.1%	27.3%	6.8%
	70～74歳 (n=94)	16.0%	12.8%	4.3%	11.7%	7.4%	4.3%	37.2%	6.4%
	75～79歳 (n=152)	7.9%	16.4%	9.2%	9.2%	1.3%	7.9%	38.8%	9.2%
	80～84歳 (n=221)	8.6%	19.0%	6.8%	7.7%	5.0%	5.0%	38.0%	10.0%
	85～89歳 (n=306)	10.5%	16.7%	7.8%	6.2%	4.6%	4.6%	39.5%	10.1%
	90～94歳 (n=183)	9.8%	20.8%	9.3%	9.8%	7.1%	6.6%	31.7%	4.9%
性別×年齢	65～74歳 (n=69)	17.4%	11.6%	2.9%	11.6%	7.2%	7.2%	31.9%	10.1%
	75～84歳 (n=149)	5.4%	14.8%	11.4%	10.7%	3.4%	7.4%	38.3%	8.7%
	85歳以上 (n=158)	10.8%	16.5%	8.9%	8.2%	7.0%	7.6%	34.8%	6.3%
	65～74歳 (n=69)	15.9%	14.5%	7.2%	7.2%	11.6%	4.3%	36.2%	2.9%
	75～84歳 (n=221)	10.4%	20.4%	5.4%	6.3%	3.6%	5.4%	38.5%	10.0%
	85歳以上 (n=368)	9.5%	18.5%	8.7%	8.4%	5.2%	4.3%	36.7%	8.7%
家族構成	1人暮らし (n=241)	13.3%	13.7%	4.6%	3.3%	1.7%	0.8%	45.6%	17.0%
	夫婦2人暮らし (n=336)	6.5%	15.2%	9.5%	9.5%	7.4%	8.9%	36.6%	6.3%
	子のみ同居 (n=270)	13.3%	19.3%	9.3%	8.9%	4.8%	7.4%	31.9%	5.2%
	配偶者・子以外同居 (n=82)	7.3%	19.5%	7.3%	12.2%	9.8%	6.1%	31.7%	6.1%
	その他 (n=106)	9.4%	24.5%	6.6%	13.2%	4.7%	1.9%	33.0%	6.6%

問33 今後、あて名のご本人がどこで生活するのが良いと考えていますか。(1つに)

- ・居宅サービス利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(32.7%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい」(16.0%)、「自分や家族の状態に合わせて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で過ごさせたい」(11.6%)と続いている。一方、「分からない」は8.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(24.4%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい」(20.1%)と続いている。一方、「分からない」は11.0%となっている。

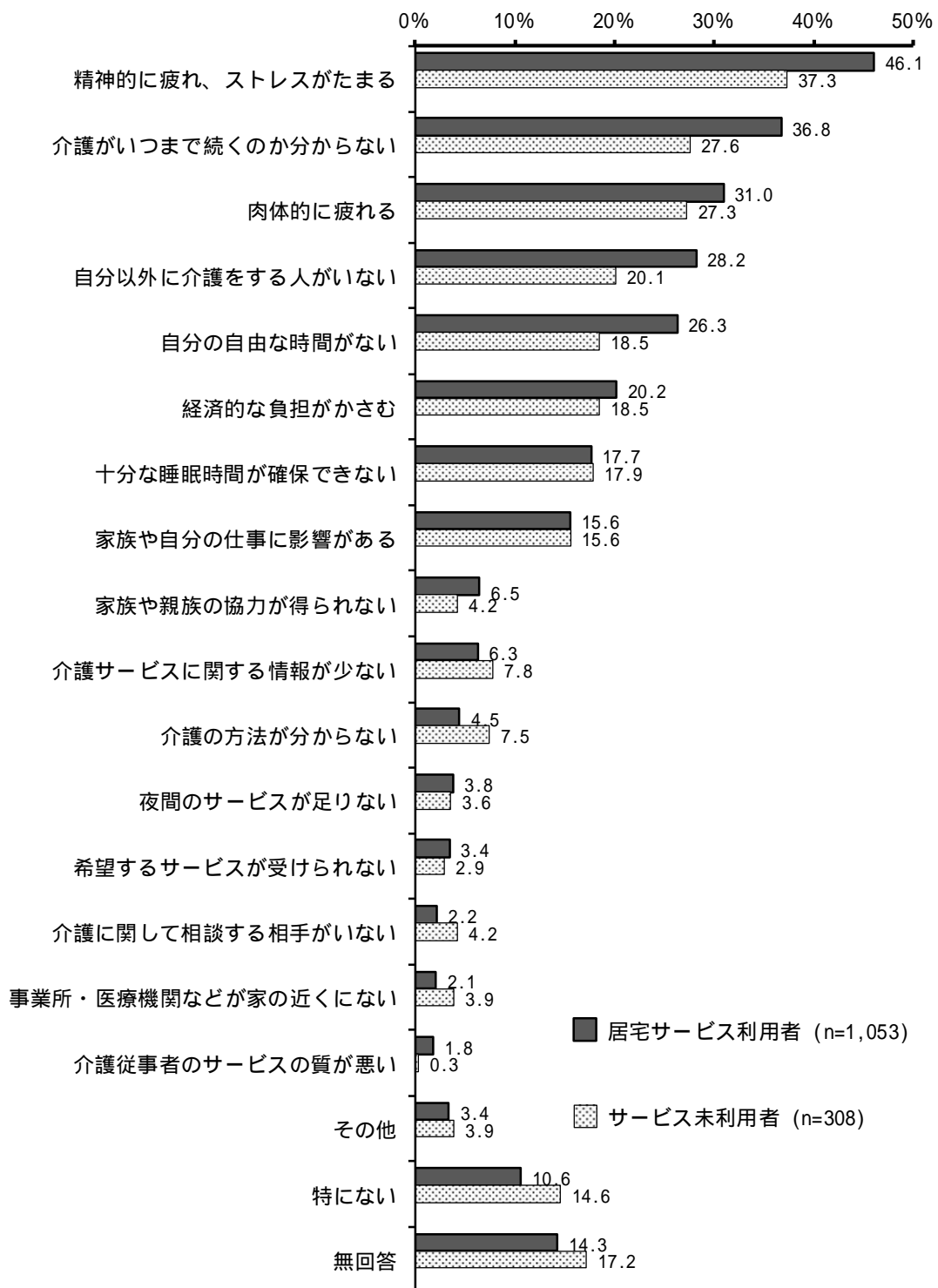


・居宅サービス利用者で、「特別養護老人ホームなどの介護施設で過ごさせたい」は、『要支援1』では2.5%、『要介護4』では12.4%と、要介護4以下では要介護度が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。

		自宅 で家族 を中心 に介護 をして 過ごさ せたい	自宅 で家族 の介護 と介護 保険サ ービス の介護	自宅 で家族 に依存 せずに 介護保 険サ ービス の介 護を受 けなが ら過ご させたい	自分 や家族 の状況 に合わ せて介 護施設 等に短 期間宿 泊しな がら、 自宅 で過ご させたい	見守り や生活 支援サ ービス 付き高 齢者の ついで に住宅 料を 過ごさ せたい	特別 養護老 人ホ ームな どの介 護施設 で過ご させたい	医療 機関に 入院し て介護 を受け させたい	その他	分 か ら な い	無 回 答		
居宅サービス利用者(全体)		(n=1,053)	16.0%	32.7%	6.5%	11.6%	5.4%	7.4%	2.9%	1.0%	8.3%	8.3%	
要介護度	要支援1	(n=158)	12.7%	25.3%	11.4%	7.6%	9.5%	2.5%	1.9%	1.3%	12.7%	15.2%	
	要支援2	(n=162)	11.7%	28.4%	9.3%	12.3%	6.8%	3.1%	7.4%	0.0%	10.5%	10.5%	
	要介護1	(n=248)	15.3%	36.7%	4.8%	10.1%	6.5%	6.9%	1.2%	1.2%	9.3%	8.1%	
	要介護2	(n=203)	19.2%	34.5%	3.9%	13.3%	4.4%	10.8%	3.0%	1.5%	4.4%	4.9%	
	要介護3	(n=127)	22.0%	40.2%	3.9%	8.7%	1.6%	11.8%	1.6%	0.0%	7.1%	3.1%	
	要介護4	(n=66)	10.6%	30.3%	7.6%	19.7%	1.5%	12.1%	4.5%	3.0%	4.5%	6.1%	
	要介護5	(n=66)	19.7%	33.3%	4.5%	16.7%	3.0%	10.6%	1.5%	1.5%	6.1%	3.0%	
性別	男性	(n=377)	20.2%	32.6%	5.3%	10.9%	6.4%	7.4%	2.4%	1.1%	6.9%	6.9%	
	女性	(n=662)	13.6%	32.9%	6.9%	12.1%	5.0%	7.6%	3.3%	1.1%	8.8%	8.8%	
年齢	65～69歳	(n=44)	18.2%	34.1%	4.5%	11.4%	2.3%	11.4%	4.5%	0.0%	9.1%	4.5%	
	70～74歳	(n=94)	12.8%	38.3%	9.6%	10.6%	4.3%	7.4%	5.3%	0.0%	5.3%	6.4%	
	75～79歳	(n=152)	14.5%	31.6%	10.5%	11.2%	4.6%	6.6%	2.6%	2.0%	6.6%	9.9%	
	80～84歳	(n=221)	18.1%	32.6%	5.9%	10.4%	5.9%	7.7%	1.8%	0.9%	10.9%	5.9%	
	85～89歳	(n=306)	17.3%	30.1%	5.6%	12.4%	5.6%	6.5%	3.6%	1.3%	7.5%	10.1%	
	90～94歳	(n=183)	12.6%	36.1%	4.9%	11.5%	6.6%	8.7%	2.2%	1.1%	8.2%	8.2%	
性別×年齢	男性	65～74歳	(n=69)	20.3%	33.3%	8.7%	13.0%	2.9%	8.7%	0.0%	0.0%	7.2%	5.8%
		75～84歳	(n=149)	20.1%	31.5%	6.0%	13.4%	6.7%	8.7%	2.0%	1.3%	6.7%	3.4%
		85歳以上	(n=158)	20.3%	33.5%	2.5%	7.6%	7.6%	5.7%	3.8%	1.3%	7.0%	10.8%
	女性	65～74歳	(n=69)	8.7%	40.6%	7.2%	8.7%	4.3%	8.7%	10.1%	0.0%	5.8%	5.8%
		75～84歳	(n=221)	14.5%	32.6%	8.6%	8.6%	4.5%	6.3%	2.3%	1.4%	10.9%	10.4%
		85歳以上	(n=368)	13.9%	32.1%	6.0%	14.9%	5.4%	8.2%	2.4%	1.1%	7.9%	8.2%
家族構成	1人暮らし	(n=241)	5.0%	24.5%	12.0%	7.9%	11.6%	7.9%	2.9%	0.8%	12.4%	14.9%	
	夫婦2人暮らし	(n=336)	20.2%	35.1%	3.6%	12.8%	4.8%	7.7%	2.4%	1.2%	4.8%	7.4%	
	子のみと同居	(n=270)	21.1%	36.7%	5.2%	12.2%	2.2%	5.9%	4.4%	1.1%	6.7%	4.4%	
	配偶者・子以外と同居	(n=82)	22.0%	37.8%	3.7%	9.8%	1.2%	8.5%	0.0%	0.0%	13.4%	3.7%	
	その他	(n=106)	9.4%	31.1%	8.5%	17.9%	5.7%	9.4%	2.8%	1.9%	6.6%	6.6%	

問34 介護をしていくうえで、どのようなことに問題がありますか。(いくつでも)

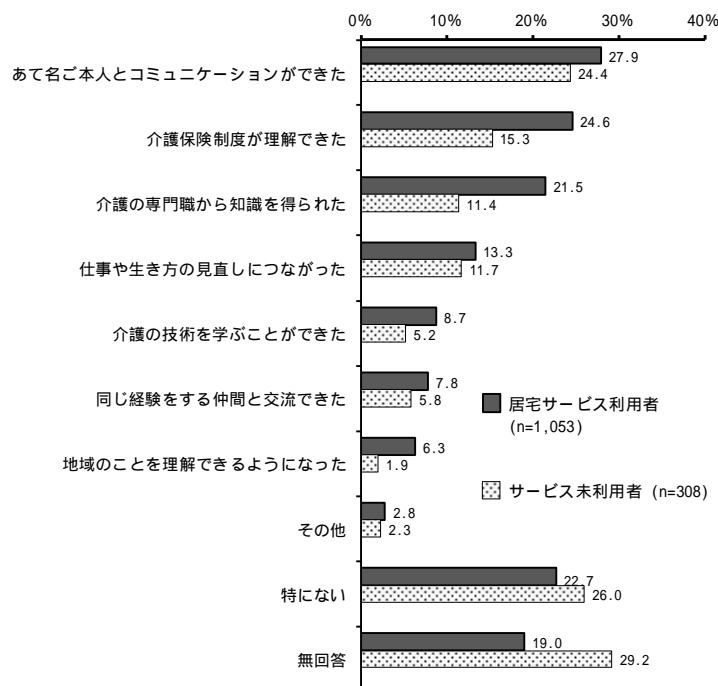
- ・居宅サービス利用者では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(46.1%)が最も多く、次いで「介護がいつまで続くのか分からない」(36.8%)、「肉体的に疲れる」(31.0%)、「自分以外に介護をする人がいない」(28.2%)、「自分の自由な時間がない」(26.3%)と続いている。一方、「特にない」は10.6%となっている。
- ・サービス未利用者では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(37.3%)が最も多く、次いで「介護がいつまで続くのか分からない」(27.6%)、「肉体的に疲れる」(27.3%)、「自分以外に介護をする人がいない」(20.1%)、「自分の自由な時間がない」「経済的な負担がかさむ」(ともに18.5%)と続いている。一方、「特にない」は14.6%となっている。



		できない 十分な睡眠 時間が確保 できない	精神的に 疲れる、 ストレス	肉体的に 疲れる	自分の自由な 時間が ない	家族や自分の 仕事に 影響がある	自分以外に 介護をする 人がいない	介護がいつまで 続くのか 分からない	家族や親族の 協力が得 られない	経済的な負担が かさむ	介護の方法が 分からない	希望するサービスが 受けられない	夜のサービスが 足りない	介護サービスの 質が悪い	介護従事者の サービスに 不満がある	介護サービスに 関する情報 が少ない	介護サービスに 関する情報 が少ない	事業所・医療機関 など	その他	特にな い	無回 答
居宅サービス利用者（全体） (n=1,053)		17.7%	46.1%	31.0%	26.3%	15.6%	28.2%	36.8%	6.5%	20.2%	4.5%	3.4%	3.8%	1.8%	2.2%	6.3%	2.1%	3.4%	10.6%	14.3%	
要介護度	要支援1 (n=158)	10.8%	27.8%	16.5%	9.5%	10.1%	23.4%	15.2%	5.1%	10.1%	3.2%	5.1%	2.5%	0.6%	2.5%	7.0%	0.6%	3.2%	15.8%	28.5%	
	要支援2 (n=162)	13.0%	30.9%	19.8%	14.2%	7.4%	24.7%	24.1%	6.8%	16.0%	6.2%	3.1%	3.1%	0.0%	1.9%	6.8%	1.9%	3.7%	17.9%	23.5%	
	要介護1 (n=248)	10.9%	40.3%	25.8%	20.2%	18.5%	24.2%	32.7%	6.0%	15.3%	5.6%	2.8%	2.4%	1.2%	1.6%	8.1%	4.0%	2.0%	11.3%	15.7%	
	要介護2 (n=203)	18.2%	59.1%	35.0%	34.0%	19.2%	32.0%	46.8%	7.9%	23.2%	3.9%	4.9%	3.4%	3.4%	2.0%	3.9%	2.0%	3.9%	6.9%	6.9%	
	要介護3 (n=127)	29.9%	68.5%	51.2%	44.9%	21.3%	37.8%	58.3%	6.3%	29.9%	3.1%	3.1%	7.1%	2.4%	1.6%	4.7%	1.6%	5.5%	4.7%	3.9%	
	要介護4 (n=66)	24.2%	57.6%	40.9%	45.5%	18.2%	37.9%	54.5%	6.1%	28.8%	6.1%	0.0%	4.5%	1.5%	6.1%	6.1%	3.0%	3.0%	7.6%	4.5%	
要介護5 (n=66)	39.4%	59.1%	56.1%	47.0%	15.2%	27.3%	50.0%	9.1%	40.9%	3.0%	3.0%	9.1%	6.1%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%	1.5%		
分からない (n=7)	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%		
性別	男性 (n=377)	22.5%	49.3%	37.1%	27.1%	10.1%	31.0%	39.5%	6.6%	22.8%	5.6%	3.4%	2.4%	1.3%	1.9%	6.1%	1.9%	3.2%	9.0%	12.2%	
	女性 (n=662)	14.8%	44.4%	27.3%	26.3%	18.9%	27.0%	35.3%	6.3%	18.7%	3.8%	3.5%	4.7%	2.0%	2.4%	6.5%	2.3%	3.6%	11.5%	15.3%	
性別 × 年齢	男性 65-74歳 (n=69)	27.5%	49.3%	37.7%	31.9%	7.2%	27.5%	42.0%	4.3%	24.6%	5.8%	7.2%	7.2%	4.3%	2.9%	7.2%	1.4%	4.3%	8.7%	11.6%	
	男性 75-84歳 (n=149)	21.5%	57.0%	39.6%	31.5%	8.1%	35.6%	45.6%	9.4%	29.5%	6.0%	2.7%	0.7%	0.0%	2.7%	6.7%	3.4%	2.0%	6.0%	7.4%	
	男性 85歳以上 (n=158)	21.5%	42.4%	34.8%	20.9%	12.7%	27.8%	32.9%	5.1%	15.2%	5.1%	2.5%	1.9%	1.3%	0.6%	5.1%	0.6%	3.8%	12.0%	17.1%	
	女性 65-74歳 (n=69)	20.3%	46.4%	40.6%	30.4%	13.0%	33.3%	40.6%	4.3%	23.2%	1.4%	7.2%	5.8%	4.3%	2.9%	8.7%	1.4%	2.9%	7.2%	14.5%	
	女性 75-84歳 (n=221)	14.9%	40.3%	24.4%	24.4%	22.2%	26.2%	36.2%	9.5%	22.2%	4.1%	3.2%	2.7%	1.8%	2.7%	6.8%	3.2%	3.2%	10.9%	20.4%	
女性 85歳以上 (n=368)	13.9%	47.0%	26.9%	26.9%	17.9%	26.4%	34.0%	4.9%	15.8%	4.1%	2.7%	5.7%	1.6%	2.2%	6.0%	1.9%	4.1%	12.5%	12.5%		
家族構成	1人暮らし (n=241)	6.6%	28.2%	16.2%	12.9%	14.1%	16.6%	24.9%	4.6%	12.4%	2.5%	2.1%	4.6%	1.7%	3.3%	7.1%	0.8%	2.1%	11.2%	34.0%	
	夫婦2人暮らし (n=336)	22.6%	51.5%	40.2%	28.6%	8.6%	39.0%	40.2%	8.3%	23.2%	6.5%	3.9%	2.7%	1.5%	1.8%	7.1%	2.7%	3.9%	7.4%	9.8%	
	子のみと同居 (n=270)	20.0%	49.6%	27.4%	32.6%	21.5%	29.6%	36.7%	5.6%	23.7%	4.4%	2.6%	5.2%	1.5%	1.9%	4.4%	3.0%	3.3%	13.0%	7.0%	
	配偶者・子以外と同居 (n=82)	23.2%	68.3%	50.0%	40.2%	17.1%	23.2%	53.7%	6.1%	23.2%	2.4%	9.8%	3.7%	1.2%	2.4%	8.5%	2.4%	4.9%	8.5%	3.7%	
	その他 (n=106)	17.0%	46.2%	29.2%	26.4%	25.5%	23.6%	41.5%	7.5%	17.9%	4.7%	2.8%	2.8%	3.8%	1.9%	5.7%	0.9%	4.7%	13.2%	9.4%	

問35 介護をしていて良かったと思うことはどのようなことですか。（いくつでも）

- ・居宅サービス利用者では、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(27.9%)が最も多く、次いで「介護保険制度が理解できた」(24.6%)、「介護の専門職から知識を得られた」(21.5%)と続いている。一方、「特にない」は22.7%となっている。
- ・サービス未利用者では、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(24.4%)が最も多く、次いで「介護保険制度が理解できた」(15.3%)、「仕事や生き方の見直しにつながった」(11.7%)、「介護の専門職から知識を得られた」(11.4%)と続いている。一方、「特にない」は26.0%となっている。

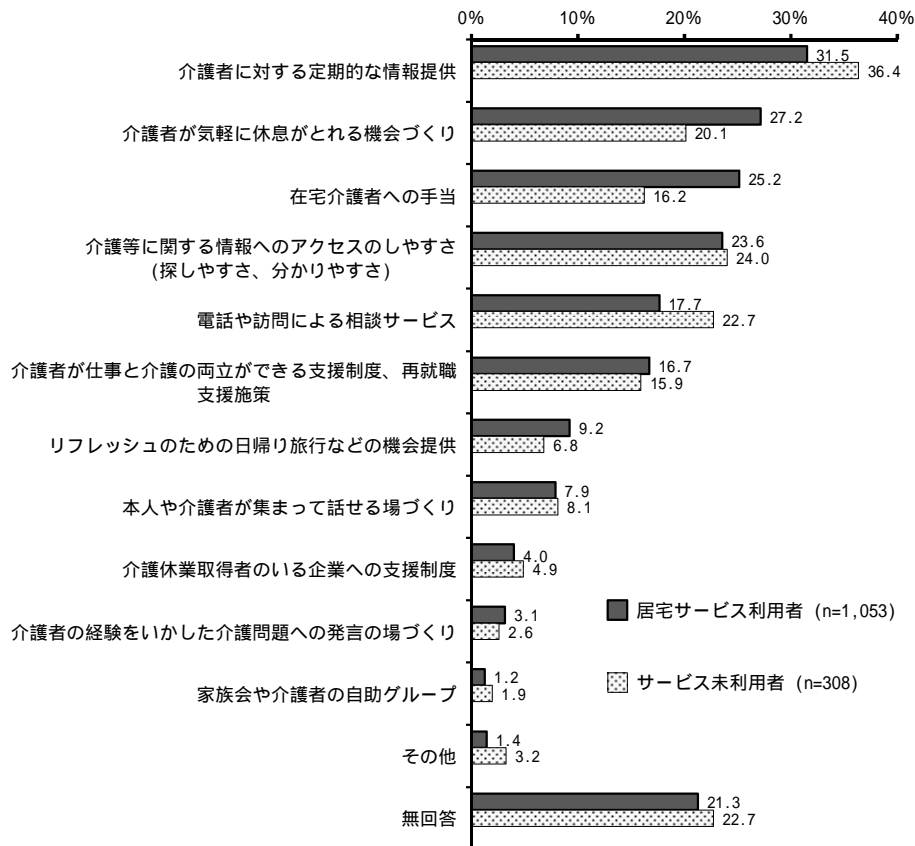


- ・ 居宅サービス利用者におけるほとんどの項目で要介護度が高いほど割合が高くなっている。特に「あて名ご本人とコミュニケーションができた」「介護の専門職から知識を得られた」「介護の技術を学ぶことができた」「介護保険制度が理解できた」は、『要支援1・2』よりも『要介護3～5』の割合が10ポイント以上高くなっている。

		あて名ご本人とコミュニケーションができた	仕事や生き方の見直しにつながった	介護の専門職から知識を得られた	地域のことを理解できるようになった	同じ経験をする仲間と交流できた	介護の技術を学ぶことができた	介護保険制度が理解できた	その他	特にない	無回答		
居宅サービス利用者（全体）		(n=1,053)	27.9%	13.3%	21.5%	6.3%	7.8%	8.7%	24.6%	2.8%	22.7%	19.0%	
要介護度 (3区分)	要支援1・2	(n=320)	22.2%	8.8%	16.3%	5.3%	7.2%	6.9%	18.1%	3.8%	18.4%	31.6%	
	要介護1・2	(n=451)	28.6%	14.2%	19.1%	7.3%	6.9%	5.1%	22.6%	1.6%	27.9%	15.5%	
	要介護3～5	(n=259)	34.7%	16.6%	31.7%	5.4%	10.0%	17.8%	36.7%	3.9%	19.7%	8.1%	
性別	男性	(n=377)	25.2%	10.9%	24.4%	7.4%	10.6%	11.7%	25.5%	3.2%	22.5%	18.3%	
	女性	(n=662)	29.5%	15.0%	19.8%	5.6%	6.2%	6.6%	23.9%	2.6%	23.0%	19.2%	
性別 × 年齢	男性	65～74歳	(n=69)	18.8%	13.0%	29.0%	2.9%	4.3%	13.0%	30.4%	5.8%	18.8%	15.9%
		75～84歳	(n=149)	26.8%	9.4%	26.8%	10.1%	17.4%	14.8%	26.8%	2.7%	22.1%	12.1%
		85歳以上	(n=158)	26.6%	11.4%	19.6%	7.0%	7.0%	8.2%	22.2%	2.5%	24.7%	25.3%
	女性	65～74歳	(n=69)	33.3%	11.6%	17.4%	2.9%	5.8%	5.8%	29.0%	0.0%	26.1%	17.4%
		75～84歳	(n=221)	28.1%	15.4%	19.5%	6.8%	5.0%	5.9%	20.8%	2.7%	19.9%	27.1%
		85歳以上	(n=368)	29.3%	15.2%	20.7%	5.4%	7.1%	7.3%	25.0%	3.0%	24.2%	14.7%
家族構成	1人暮らし	(n=241)	25.7%	9.1%	13.3%	3.3%	3.7%	4.6%	15.4%	1.2%	17.8%	38.6%	
	夫婦2人暮らし	(n=336)	26.5%	13.1%	21.1%	7.1%	10.4%	8.9%	26.2%	3.9%	25.0%	16.7%	
	子のみと同居	(n=270)	30.7%	16.3%	23.0%	8.1%	8.5%	9.6%	25.9%	2.6%	25.2%	10.7%	
	配偶者・子以外と同居	(n=82)	37.8%	14.6%	31.7%	3.7%	8.5%	17.1%	31.7%	3.7%	23.2%	7.3%	
	その他	(n=106)	23.6%	16.0%	29.2%	7.5%	6.6%	7.5%	30.2%	2.8%	20.8%	9.4%	

問36 介護者支援策として必要だと思うのはどれですか。(3つまでに)

- ・居宅サービス利用者では、「介護者に対する定期的な情報提供」(31.5%)が最も多く、次いで「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(27.2%)、「在宅介護者への手当」(25.2%)、「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ(探しやすさ、分かりやすさ)」(23.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「介護者に対する定期的な情報提供」(36.4%)が最も多く、次いで「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ(探しやすさ、分かりやすさ)」(24.0%)、「電話や訪問による相談サービス」(22.7%)、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(20.1%)と続いている。



- ・居宅サービス利用者の『要介護3～5』では、「在宅介護者への手当」(39.8%)が最も多くなっている。

		介護者に対する定期的な情報提供	介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ(探しやすさ、分かりやすさ)	介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	電話や訪問による相談サービス	本人や介護者が集まって話せる場づくり	家族会や介護者の自助グループ	在宅介護者への手当	介護休業取得者のいる企業への支援制度	介護者が仕事と介護の両ができる支援制度、再就職支援施策	介護者の経験をいかした介護問題への発言の場づくり	その他	無回答
居宅サービス利用者(全体) (n=1,053)		31.5%	23.6%	27.2%	9.2%	17.7%	7.9%	1.2%	25.2%	4.0%	16.7%	3.1%	1.4%	21.3%
要介護度(3区分)	要支援1・2 (n=320)	27.8%	21.3%	26.6%	9.1%	21.9%	11.3%	0.9%	18.8%	4.7%	14.4%	3.4%	1.3%	27.2%
	要介護1・2 (n=451)	35.5%	26.4%	24.6%	8.8%	17.5%	6.7%	2.2%	22.0%	2.9%	17.3%	2.9%	1.1%	20.4%
	要介護3～5 (n=259)	30.1%	21.2%	33.6%	8.5%	13.5%	5.8%	0.0%	39.8%	5.0%	19.3%	3.5%	2.3%	13.5%
性別	男性 (n=377)	33.4%	20.4%	31.0%	8.8%	16.7%	9.3%	2.1%	23.9%	2.1%	10.3%	3.2%	1.9%	23.3%
	女性 (n=662)	30.7%	25.4%	24.9%	9.7%	18.4%	7.3%	0.8%	26.1%	5.0%	20.2%	3.2%	1.2%	19.6%
年齢	65～69歳 (n=44)	27.3%	20.5%	36.4%	11.4%	20.5%	4.5%	0.0%	31.8%	11.4%	13.6%	4.5%	2.3%	18.2%
	70～74歳 (n=94)	31.9%	20.2%	25.5%	6.4%	14.9%	6.4%	0.0%	28.7%	5.3%	8.5%	1.1%	1.1%	25.5%
	75～79歳 (n=152)	34.2%	24.3%	28.9%	11.2%	16.4%	7.2%	3.3%	19.7%	3.3%	15.1%	0.0%	2.0%	26.3%
	80～84歳 (n=221)	26.7%	23.5%	27.1%	9.5%	17.6%	10.0%	1.4%	27.1%	3.6%	18.1%	4.1%	1.8%	20.8%
	85～89歳 (n=306)	33.7%	20.3%	25.5%	8.2%	17.6%	9.2%	0.7%	26.1%	3.3%	20.9%	3.9%	1.0%	21.6%
	90～94歳 (n=183)	33.3%	29.5%	27.9%	9.3%	19.1%	4.9%	1.6%	21.3%	3.3%	16.9%	3.3%	1.6%	15.3%
95歳以上 (n=39)	33.3%	28.2%	30.8%	12.8%	20.5%	12.8%	0.0%	30.8%	5.1%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	
性別×年齢	男性 65～74歳 (n=69)	26.1%	20.3%	23.2%	7.2%	15.9%	8.7%	0.0%	24.6%	5.8%	5.8%	4.3%	1.4%	29.0%
	男性 75～84歳 (n=149)	37.6%	20.8%	34.2%	12.1%	14.1%	10.7%	2.7%	24.8%	1.3%	8.1%	2.7%	2.7%	20.8%
	男性 85歳以上 (n=158)	32.9%	20.3%	31.6%	6.3%	19.0%	8.2%	2.5%	22.8%	1.3%	14.6%	3.2%	1.3%	23.4%
	女性 65～74歳 (n=69)	34.8%	20.3%	34.8%	8.7%	17.4%	2.9%	0.0%	34.8%	8.7%	14.5%	0.0%	1.4%	17.4%
	女性 75～84歳 (n=221)	24.4%	25.8%	23.1%	9.0%	19.5%	7.7%	1.8%	24.0%	5.0%	22.2%	2.3%	1.4%	24.4%
	女性 85歳以上 (n=368)	34.0%	25.8%	24.5%	10.1%	18.2%	7.9%	0.3%	25.8%	4.3%	20.4%	4.3%	1.1%	16.8%
家族構成	1人暮らし (n=241)	24.9%	20.3%	18.3%	8.3%	17.4%	7.5%	0.4%	16.6%	4.1%	14.5%	4.6%	0.8%	34.4%
	夫婦2人暮らし (n=336)	33.9%	21.4%	32.1%	8.0%	18.5%	10.4%	1.5%	26.8%	0.6%	7.1%	3.6%	2.4%	21.1%
	子のみ同居 (n=270)	33.7%	28.9%	24.8%	7.8%	15.2%	7.0%	1.5%	29.3%	7.0%	28.1%	1.9%	1.1%	13.3%
	配偶者・子以外同居 (n=82)	29.3%	31.7%	36.6%	19.5%	15.9%	2.4%	1.2%	29.3%	2.4%	11.0%	2.4%	1.2%	19.5%
	その他 (n=106)	38.7%	19.8%	31.1%	11.3%	24.5%	7.5%	1.9%	26.4%	7.5%	26.4%	2.8%	0.9%	9.4%

問37 介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市へのご意見・ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、全体で470件（居宅サービス利用者277件、施設サービス利用者98件、サービス未利用者95件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

居宅サービス利用者

内容	件数
制度、サービス、事業について	63
現状や将来について	36
施設について	19
交通・移動支援について	13
家族への支援について	11
アンケートを回答しての感想	11
施設入所・整備について	10
情報提供、周知について	9
人材について	8
災害対応	6
保険料について	5
要介護認定について	5
相談窓口、連絡先について	4
手続きについて	4
国や社会全体に対する意見	4
住居について	3
アンケートについての意見	3
障害、疾病について	2
地域活動、ボランティア活動	1
認知症について	1
介護サービスの質（スタッフを含む）について	1
その他	38
わからない・特になし	20

施設サービス利用者

内容	件数
施設について	15
施設入所・整備について	14
アンケートを回答しての感想	12
制度、サービス、事業について	11
人材について	7
現状や将来について	5
国や社会全体に対する意見	5
家族への支援について	2
情報提供、周知について	2
交通・移動支援について	1
災害対応	1
要介護認定について	1
相談窓口、連絡先について	1
手続きについて	1
住居について	1
アンケートについての意見	1
地域活動、ボランティア活動	1
介護サービスの質（スタッフを含む）について	1
その他	9
特にない・わからない	7

サービス未利用者

内容	件数
制度、サービス、事業について	13
現状や将来について	9
施設について	6
施設入所・整備について	5
アンケートを回答しての感想	4
災害対応	3
手続きについて	3
家族への支援について	2
情報提供、周知について	2
相談窓口、連絡先について	2
障害、疾病について	2
国や社会全体に対する意見	1
交通・移動支援について	1
要介護認定について	1
保険料について	1
その他	15
わからない・特になし	25

2 - 2 調査結果から見えた課題

地域包括ケアシステムの充実

- ・住まいや住環境などで困っていることは、居宅サービス利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(22.1%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.9%)となっている。さらに、「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」の割合は、要介護度が高くなるほど高くなっている。(問1-1)

地域包括ケアシステムの構成要素でもある「住まい」の環境整備や、買い物などの「生活支援」の充実が求められている。

要介護度の重度化を防ぐ施策の推進

- ・かかったことのある病気をみると、居宅サービス利用者は「高血圧」(46.4%)が最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(25.9%)、「目の病気」(22.8%)、「心臓病」(20.6%)となっている。「高血圧」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がある。(問2)

高血圧の状態を放置していると、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患、あるいは慢性腎臓病などの重大な病気につながることから、「高血圧」などの生活習慣病の予防より、要介護度の重度化防止を図ることも重要である。

- ・「生きがいあり」の割合は居宅サービス利用者全体では38.3%、このうち『要支援1』では52.2%で、要介護度が低くなるほど割合が高くなる傾向がある。(問22)

介護を通じた重度化防止だけでなく、生きがいづくりなどを含めた自立支援や要介護度の重度化防止を図る必要がある。

自立に向けた支援の充実

- ・利用中のサービスの「総合的な満足度」について、居宅サービス利用者では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は65.8%となっている。(問9-3)
- ・また、「総合的な満足度」の基準は、「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(49.0%)が最も多く、次いで「自立支援に向けたサービスが受けられること」(38.4%)となっている。(問9-3)

本人や家族が「自立支援」を意識したサービスの利用を促進していく必要がある。

家族介護者支援策の充実

- ・居宅サービス利用者では、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」を合わせた割合は、19.7%となっている。(問11)
- ・申し込みをしている又は検討している理由は、「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(44.0%)が最も多く、次いで「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」(39.8%)となっている。(問11-1)

- ・長期の療養が必要になった場合、自宅で療養を続けたいと「思わない」や、「療養を続けたいが難しい」と回答した人の理由は、居宅サービス利用者では、「家族に負担をかけるから」(56.3%)が最も多くなっている。(問26)
- ・居宅サービス利用者の家族介護者では、「介護者に対する情報提供」(31.5%)が最も多く、次いで「介護者が気軽に休息できる機会づくり」(27.2%)、「在宅介護者の手当」(25.2%)、「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ」(23.6%)と続いている。(問36)
- ・家族介護者等による自由意見(問37)では、「制度・サービス・事業」に関する記載が63件と最も多く、「様々な介護サービスの情報に対するアクセスがよくなるといい」、「仕事と介護の両立で心身ともに疲弊している」、「介護度が軽度でも長期に拘束されストレスが溜まる」などの意見があった。

介護期間の長期化や仕事と介護の両立など、家族介護者の負担が増大していることから、家族介護者が気軽に休めるように、介護保険サービス・介護保険外サービスの利用が円滑となること、家族介護者同士の情報交換の機会を設けるなど、家族介護者支援策の充実が求められている。

認知症の人への支援体制の充実

- ・家族介護者等による自由意見(問37)では、「認知症」に関する記載が28件(意見総数470件)あり、「認知症の症状が変化し、介護者もストレスがたまる」「認知症が先進行し、家で生活することに不安になる」「若年性認知症を理解して欲しい」などの意見があった。
- ・認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るために必要なこととして、居宅サービス利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(37.9%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.2%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(28.0%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加することができる「通いの場」や、必要に応じて「短期間の宿泊」ができるサービスの充実」(27.9%)と同程度となっている。(問18)

認知症施策に対して総合的な支援体制の充実が求められている。

日常の支えあいと災害時の助け合いの推進

- ・高齢や病気などで日常生活が不自由になったとき、隣近所の人に手助けしてもらいたいことは、居宅サービス利用者では、「災害時の手助け」(40.1%)が最も多く、次いで「安否確認など」(34.0%)となっている。(問21)
- ・地震等の災害が起こったときに手助けをしてくれる人が「いない」割合は、居宅サービス利用者全体では7.4%、『要支援1・2』で11.9%、『1人暮らし』で16.6%となっている。(問24)

日常のご近所関係や支えあいが災害時の安否確認や助け合いにつながることから、介護保険認定者への支援にもつながるような、地域における支えあい活動の更なる推進が必要である。

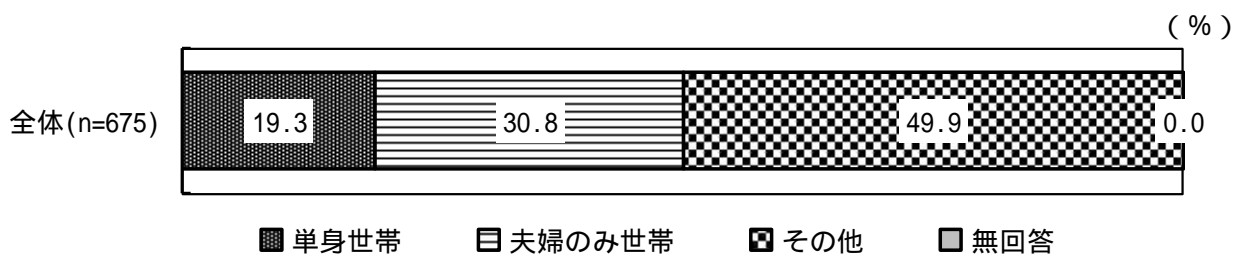
第3章 在宅介護実態調査

3 - 1 調査結果の概要

(1) 回答者について

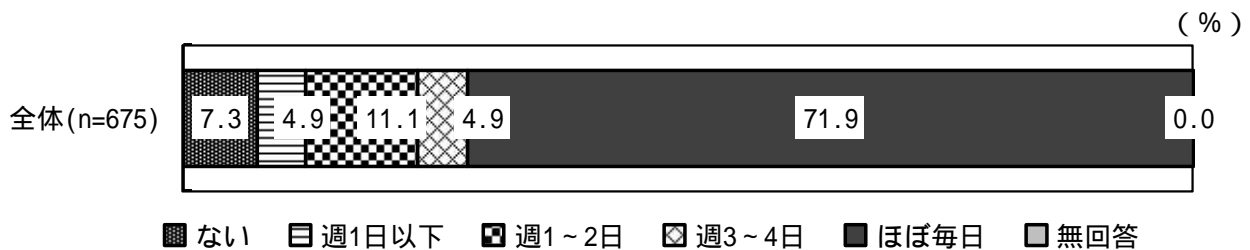
問1：世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

- ・「夫婦のみ世帯」(30.8%)が最も多く、次いで「単身世帯」(19.3%)である。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

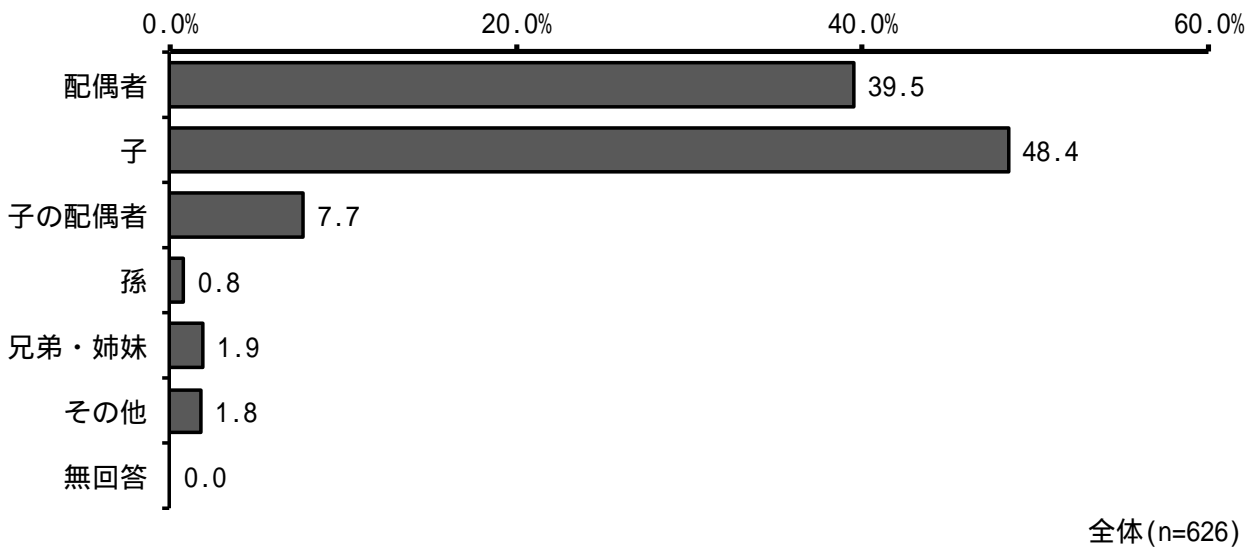
- ・「ほぼ毎日」(71.9%)が最も多く、次いで「週1～2日」(11.1%)、「ない」(7.3%)の順である。



問2で「週に1日未満」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日ある」と回答した方のみ

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

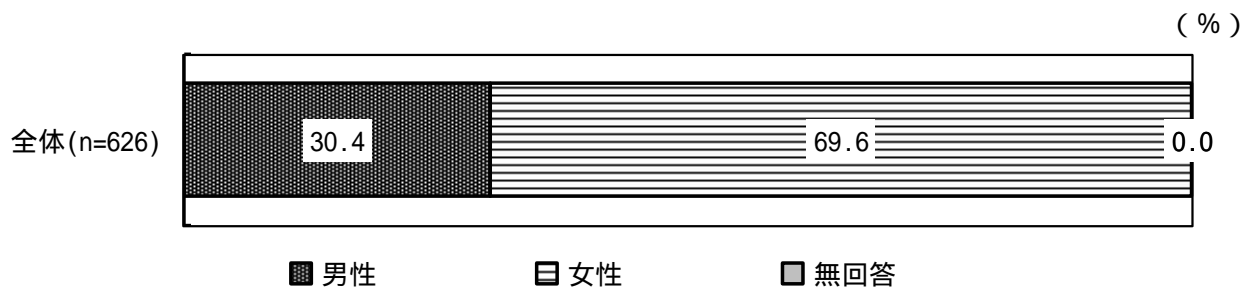
・「子」(48.4%)が最も多く、次いで「配偶者」(39.5%)である。



問2で「週に1日未満」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日ある」と回答した方におたずねします

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

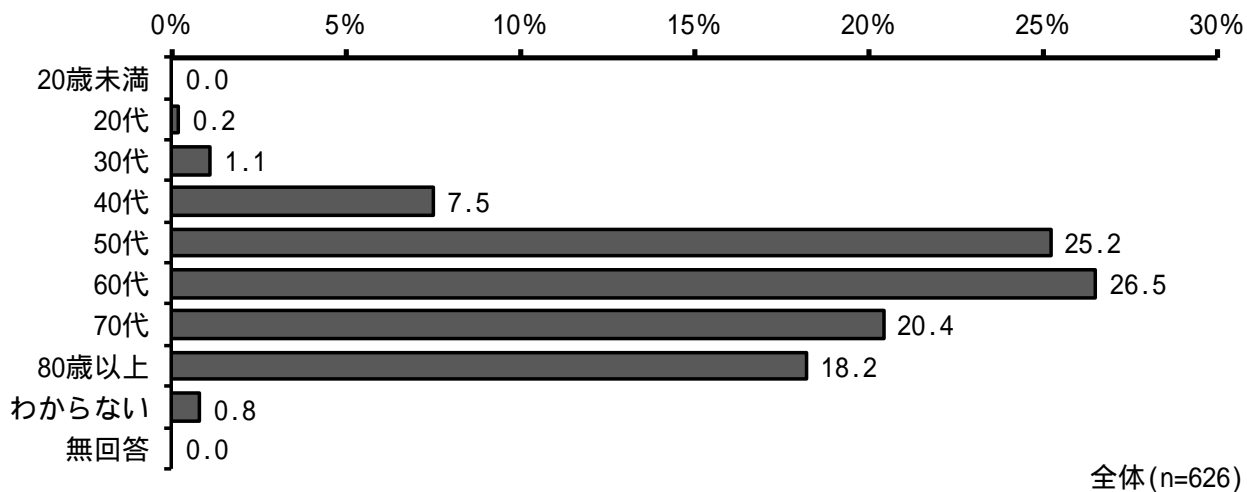
・主な介護者の性別は「女性」が7割程度である。



問2で「週に1日未満」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日ある」と回答した方におたずね
します

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

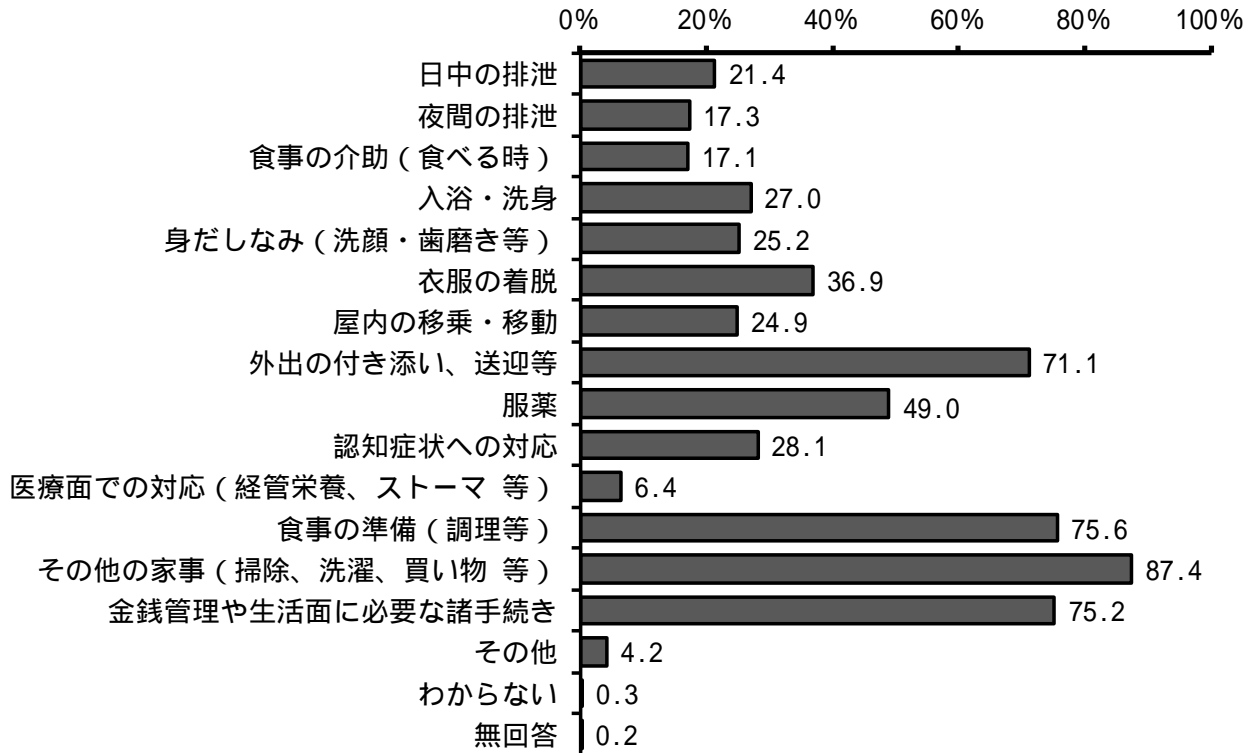
- ・主な介護者の年齢は「60代」(56.5%)が最も多く、次いで「50代」(25.2%)が多い。50代以上が9割を超える。



問2で「週に1日未満」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日ある」と回答した方におたずね
 します

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数回答可）

- ・「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(87.4%)が最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」(75.6%)及び「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(75.2%)、「外出の付き添い、送迎等」(59.5%)であり、それぞれ7割を超えている。

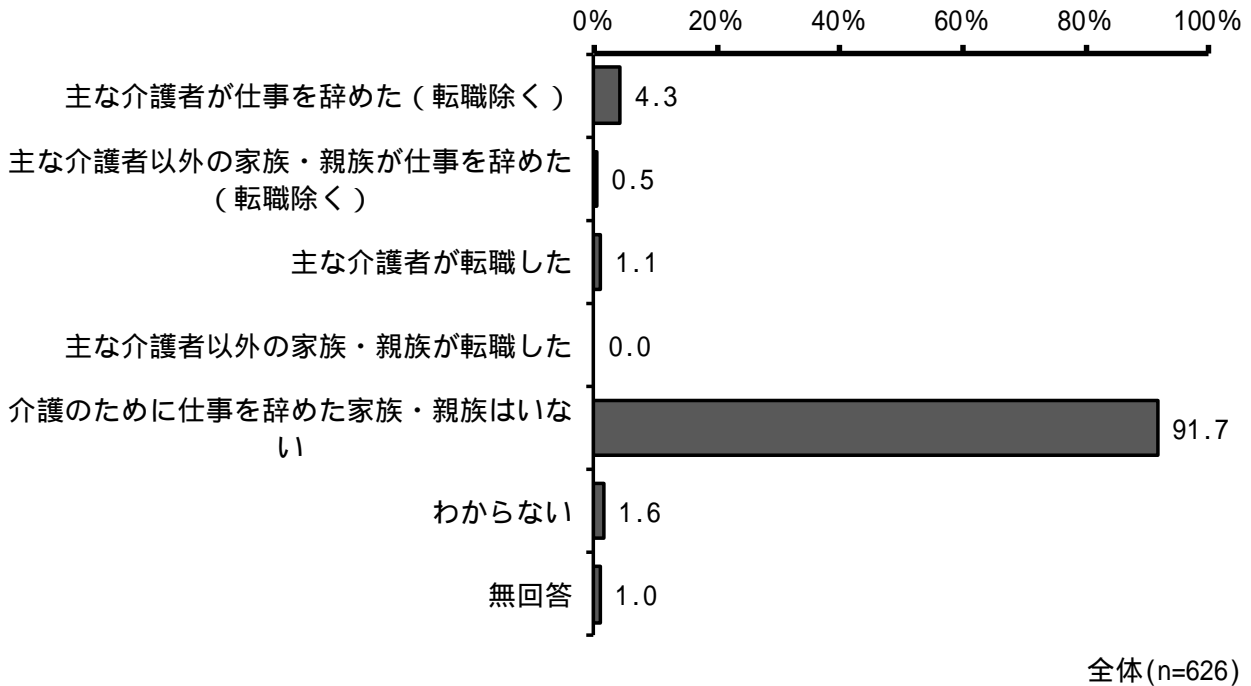


全体(n=626)

問2で「週に1日未満」「週に1～2日」「週に3～4日」「ほぼ毎日ある」と回答した方におたずねします

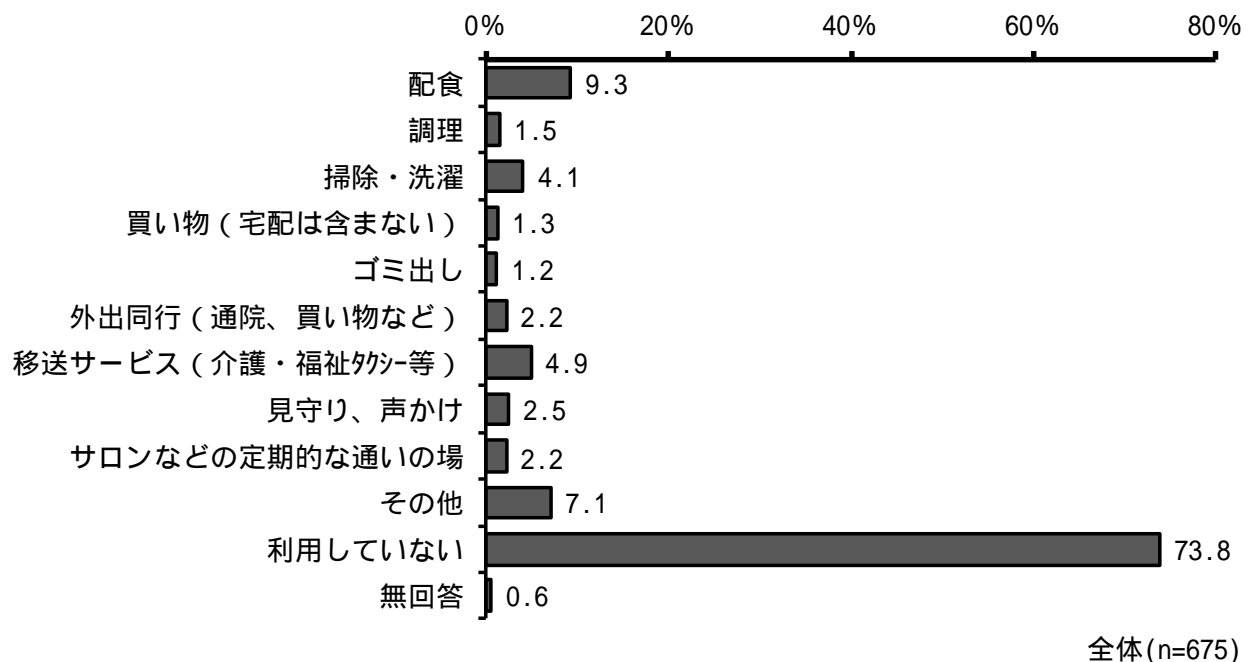
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数回答可）
 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

・「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が91.7%である。



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数回答可） 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

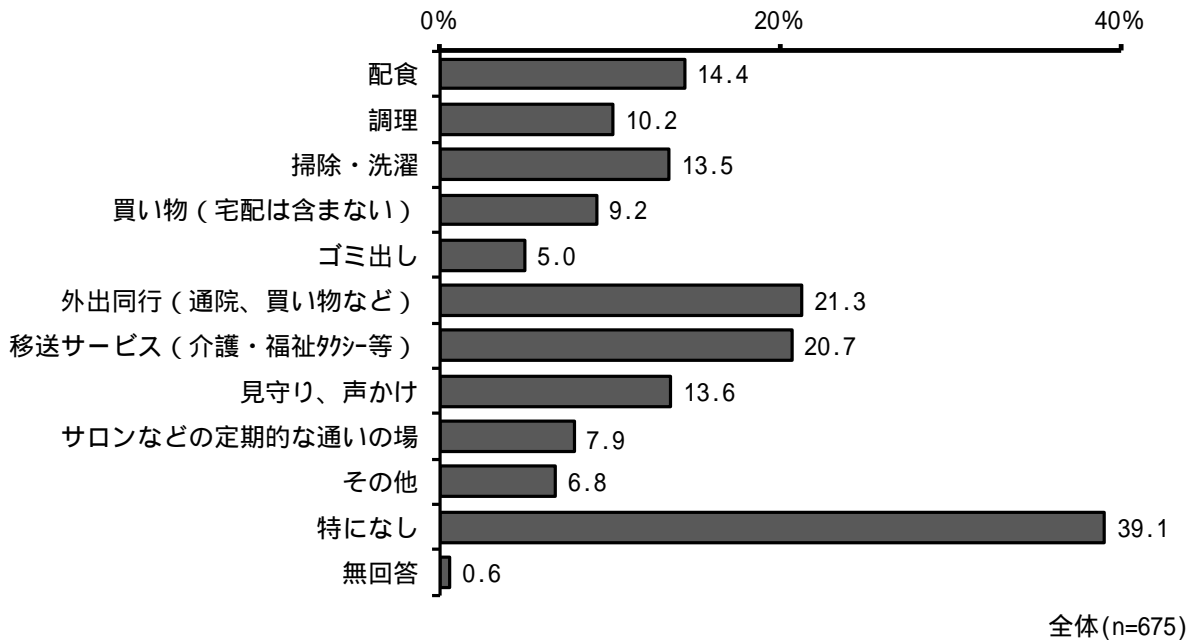
・「配食」が9.3%である。一方、「利用していない」は73.8%である。



問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数回答可）

介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

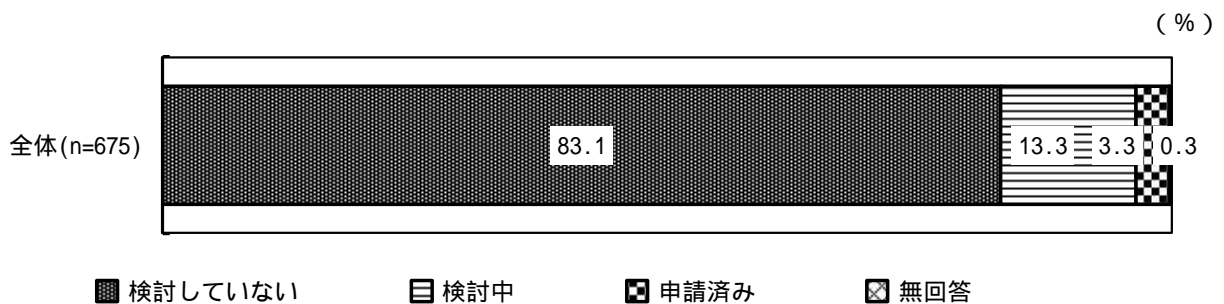
- ・「外出同行（通院、買い物など）」(21.3%)、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(20.7%)が2割を超えている。なお、「特になし」は39.1%である。



問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

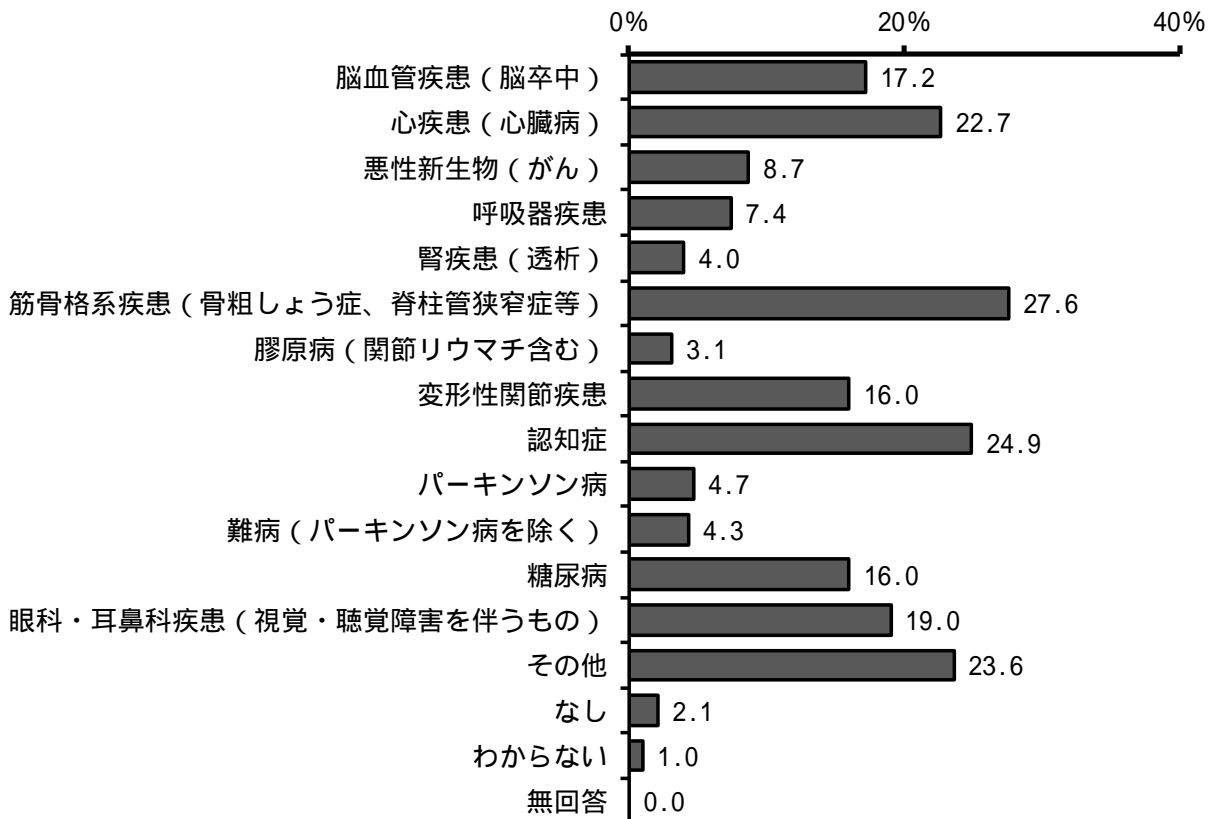
「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- ・「入所・入居は検討していない」が83.1%である一方、「検討中」が13.3%、「申請済み」が3.3%である。



問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数回答可）

- ・「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」(27.6%)が最も多く、次いで「認知症」(24.9%)、「心疾患（心臓病）」(22.7%)である。

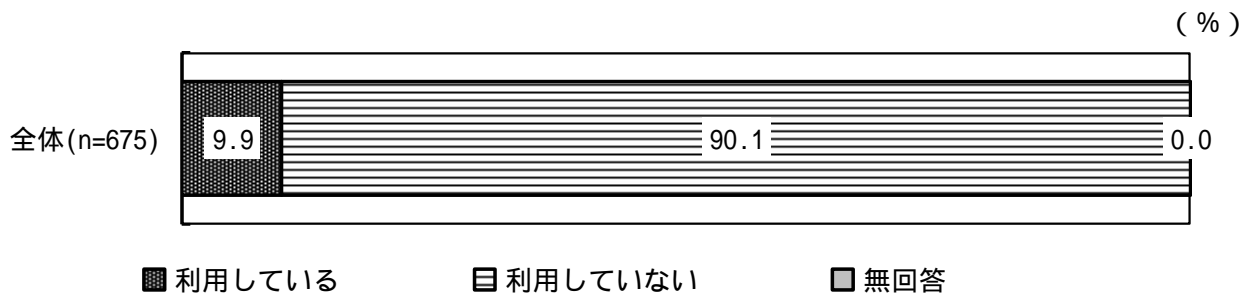


全体(n=675)

問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

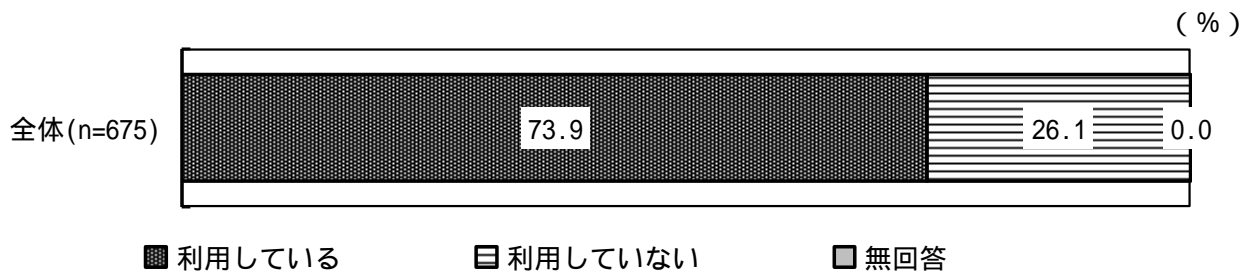
- ・訪問診療を「利用している」のは9.9%である。



問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。

（1つを選択）

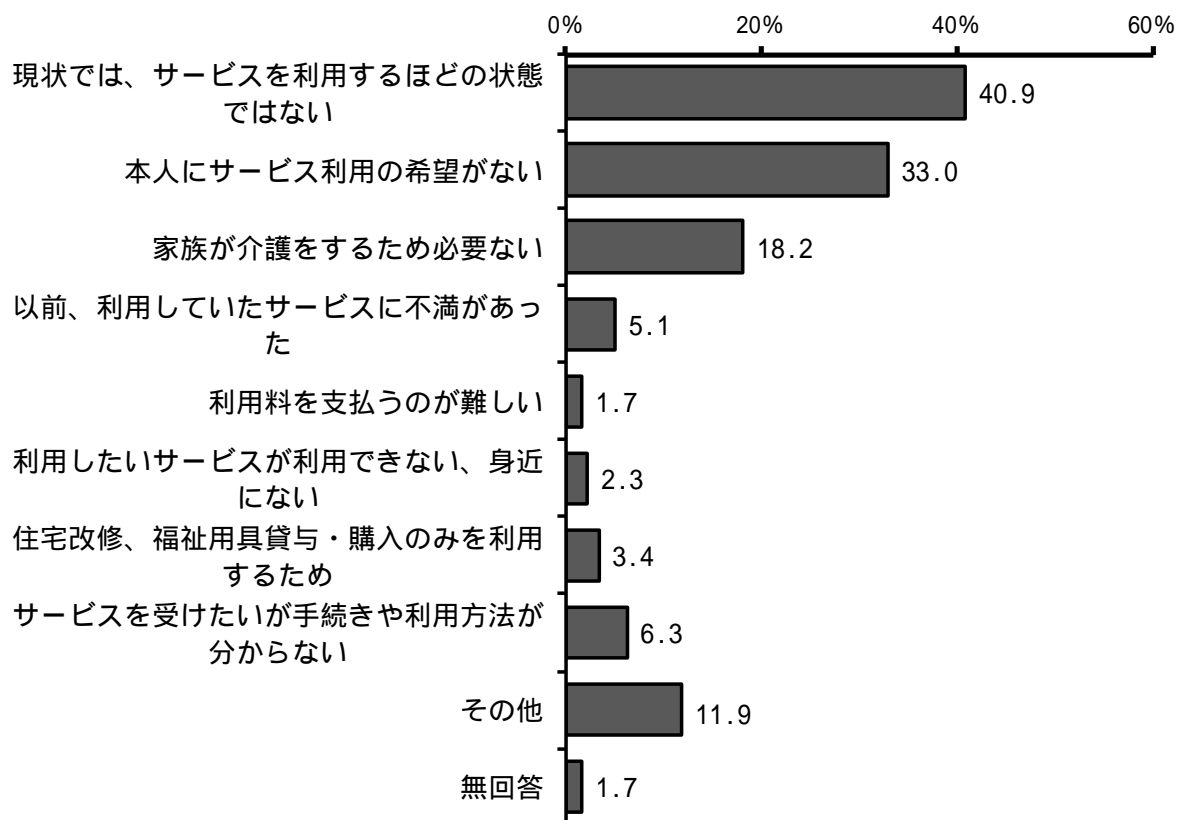
・介護保険サービスを「利用している」のは73.9%である。



問13で「利用していない」と回答した方におたずねします

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【複数回答】

・「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.9%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(33.0%)、「家族が介護をするため必要ない」(18.2%)である。



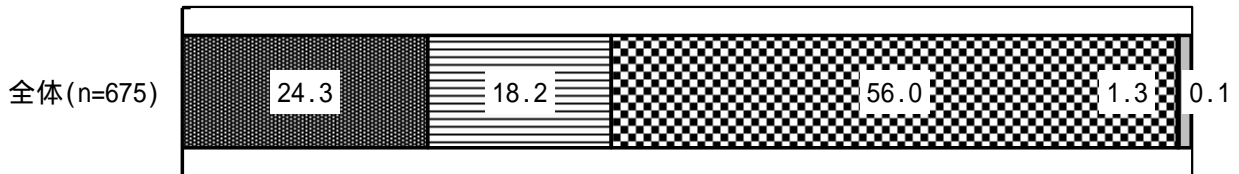
全体(n=176)

(2) 主な介護者の就労状況について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- ・「フルタイム勤務」が24.3%、「パートタイム勤務」が18.2%で、就労している人は42.5%である。(%)



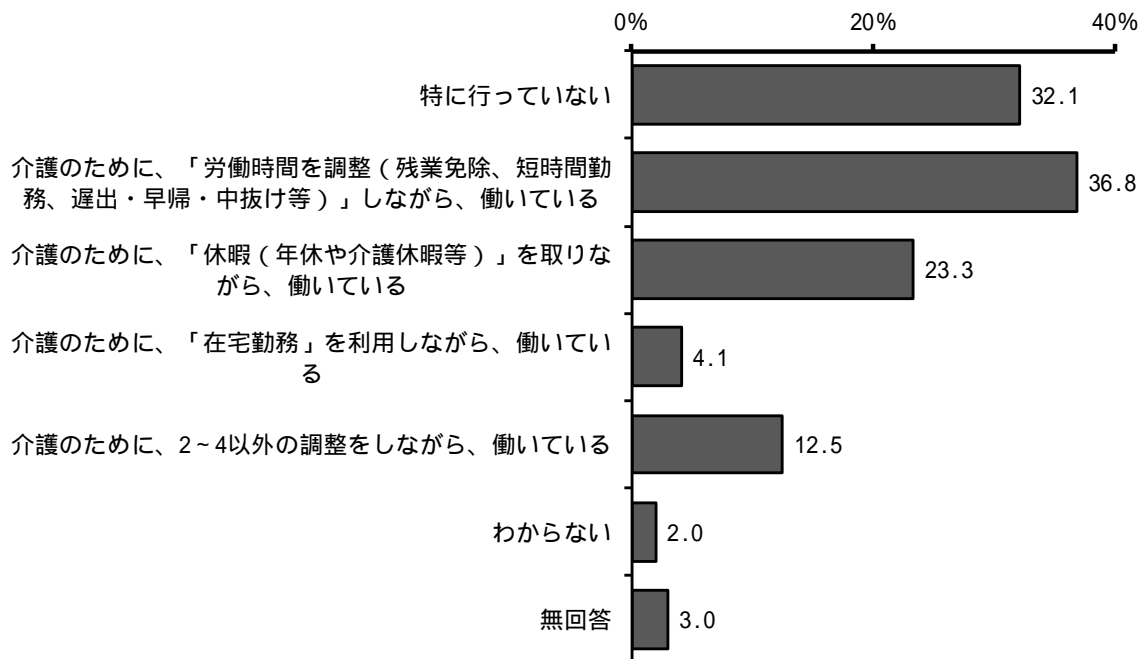
■ フルタイム勤務 □ パートタイム勤務 ■ 働いていない ■ わからない □ 無回答

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におたずねします

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(複数回答可)

- ・『介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等)」しながら、働いている』(36.8%)が最も多く、次いで『特に行っていない』(32.1%)、『介護のために「休暇(年休や介護休暇等)」を取得しながら働いている』(23.3%)となっている。



全体(n=296)

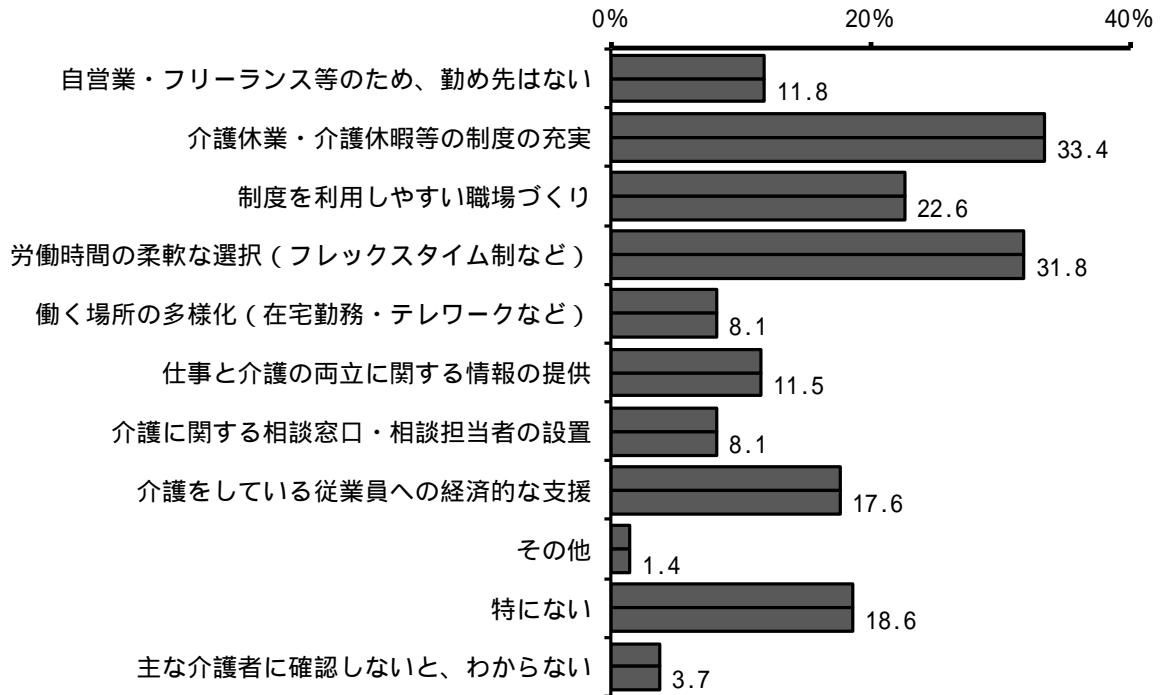
* 「介護のために2~4以外の調整をしながら働いている」の2~4は次のとおり。

2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におたずねします

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思えますか。(3つまで選択可)

- ・「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.4%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(31.8%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(22.6%)である。

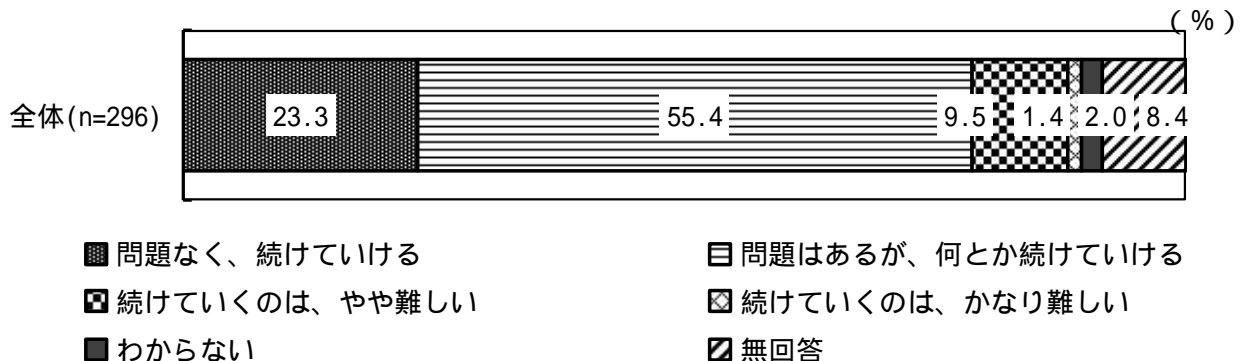


全体(n=296)

問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方におたずねします

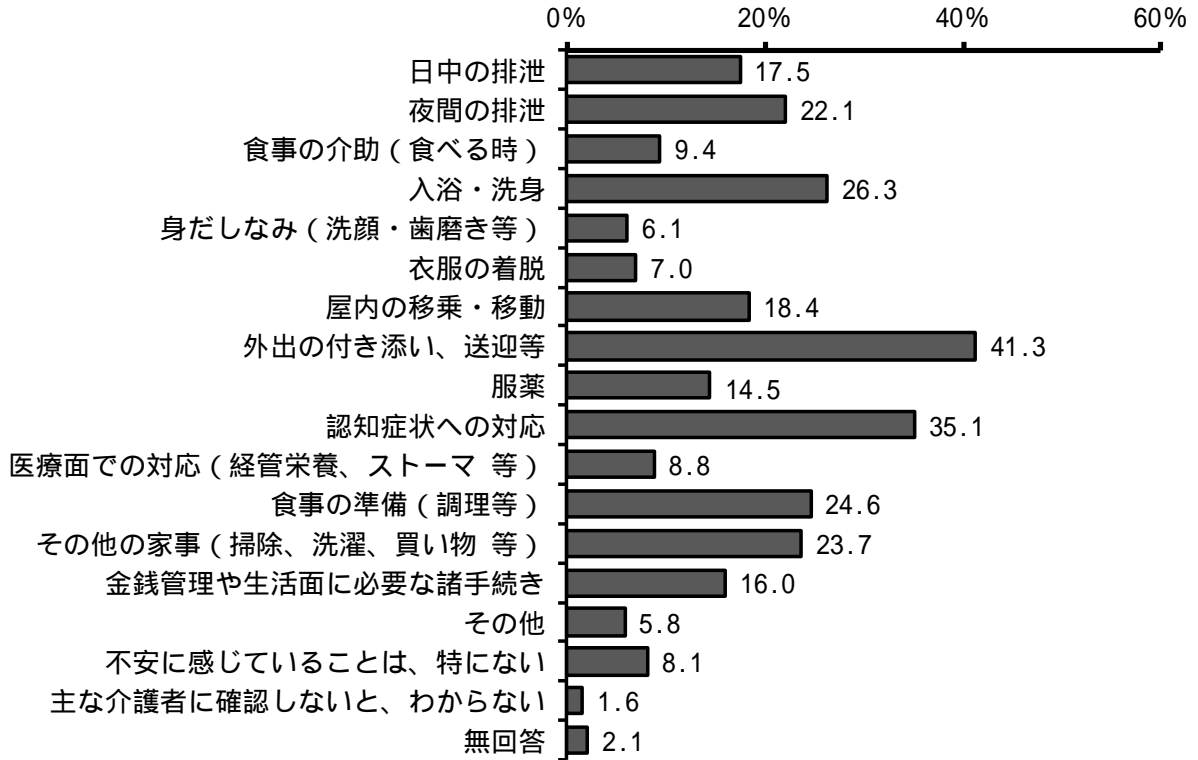
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

- ・「問題はあるが、何とか続けていける」(55.4%)が最も多く、5割を超えている。次いで「問題なく、続けていける」(23.3%)である。
- また、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた就労継続が困難と考える介護者は10.9%である。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

・「外出の付き添い、送迎等」(41.3%)が最も多く、4割を超えている。次いで、「認知症状への対応」(35.1%)である。

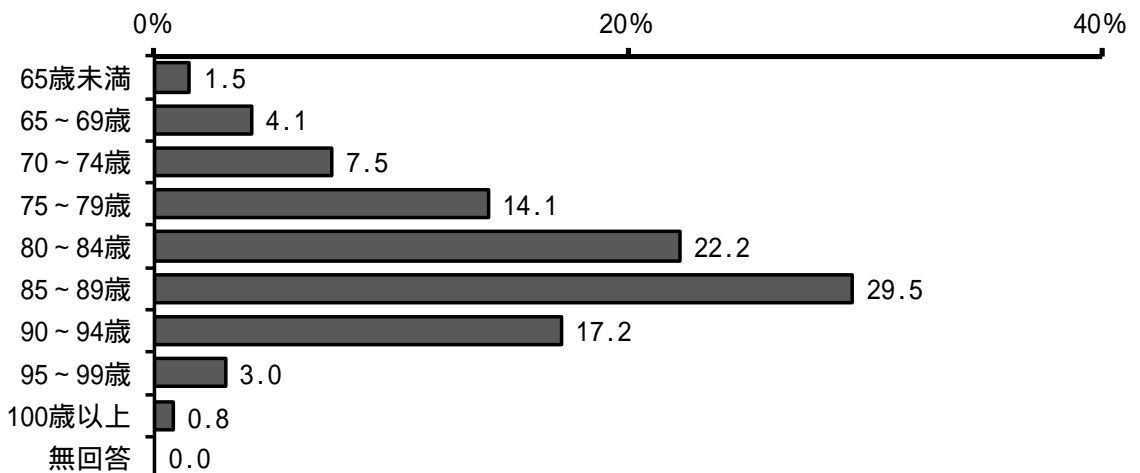


全体 (n=670)

(3) 介護保険認定データ

年齢

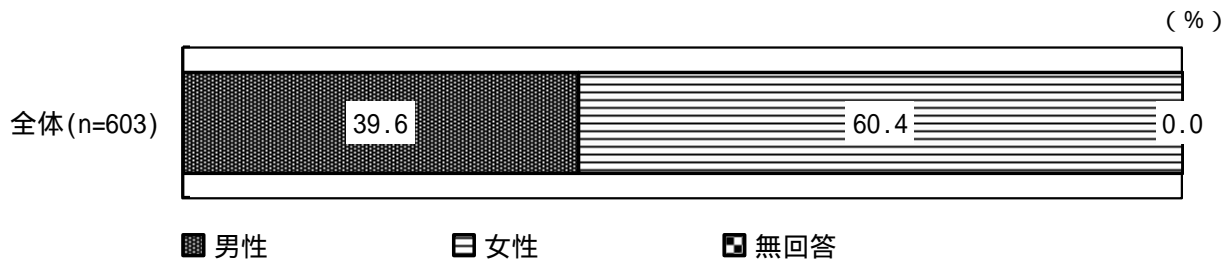
・要介護者本人の年齢は、75歳以上の後期高齢者が86.8%を占め、「85～89歳」(29.5%)が最も多く、次いで「80～84歳」(22.2%)である。



全体 (n=603)

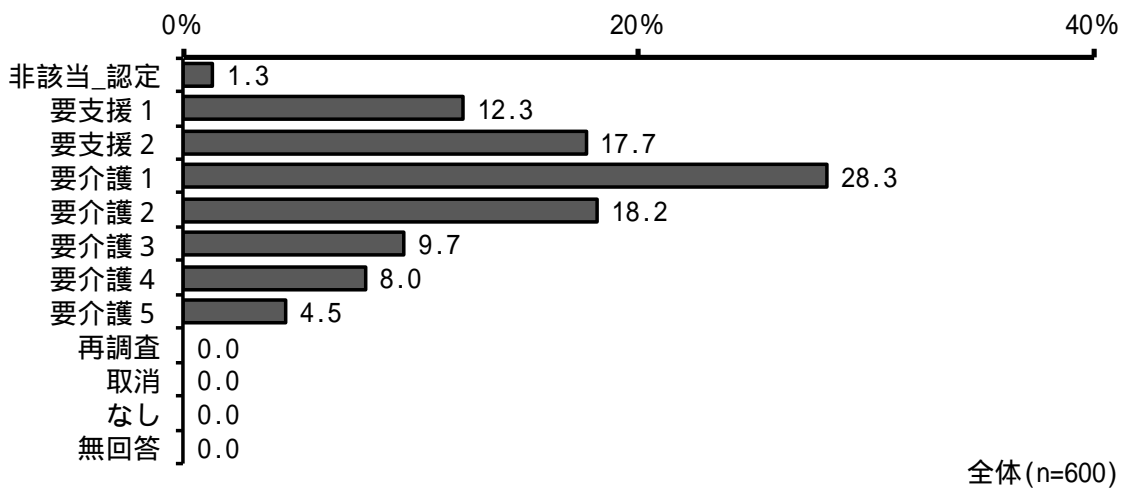
性別

・要介護者本人の性別は、「女性」(60.4%)が「男性」(39.6%)の1.5倍以上である。



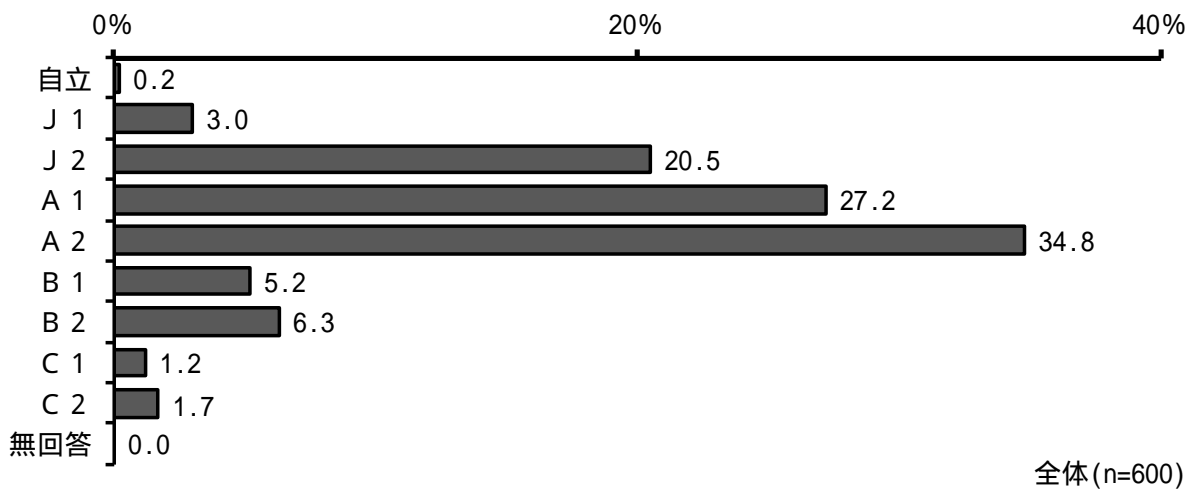
要介護度(2次分析結果)

・「要介護1」(28.3%)、「要介護2」(18.2%)、「要支援2」(17.7%)の順に多く、要介護3以上の重度者は22.2%である。



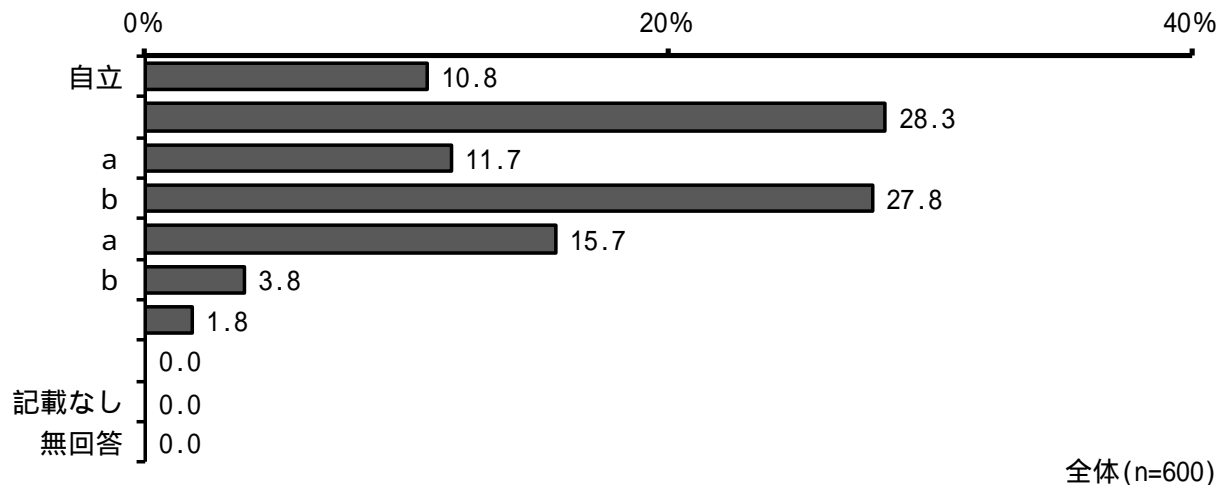
障害高齢者の日常生活自立度

・「A2」(34.8%)が最も多く、次いで「A1」(27.2%)が多い。



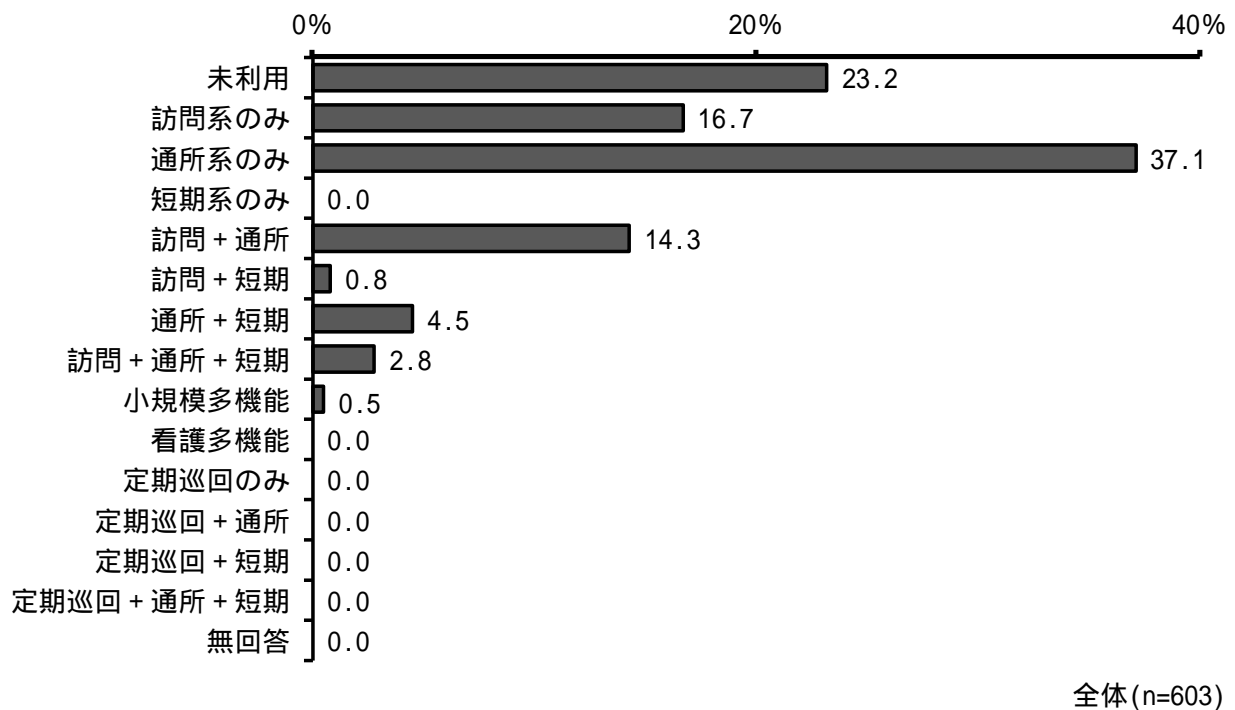
認知症高齢者の日常生活自立度

- ・「 a 」(28.3%)と「 b 」(27.8%)が多く、それぞれ2割を超えている。



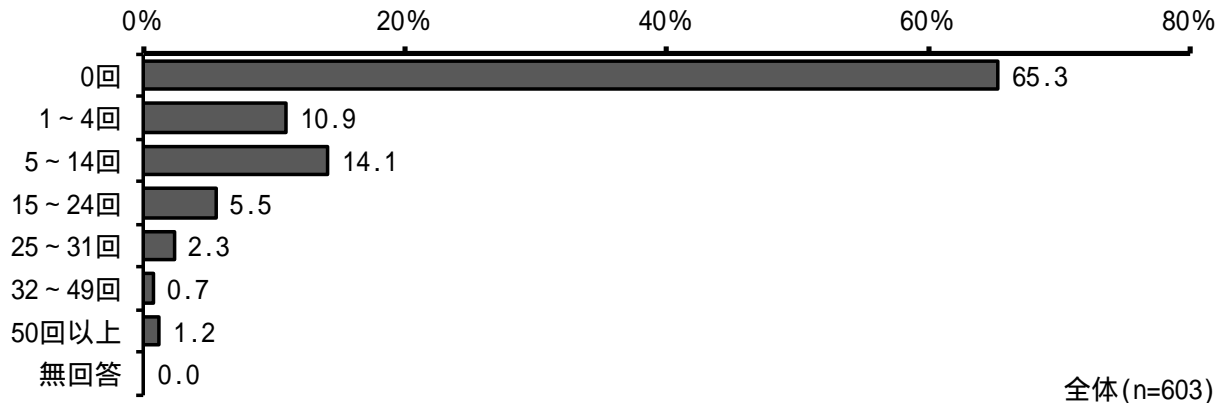
サービス利用の組み合わせ

- ・「通所系のみ」(37.1%)が最も多く、次いで「訪問系のみ」(16.7%)、「訪問+通所」(14.3%)の順である。なお、「小規模多機能」や「定期巡回」等の地域密着型のサービスの利用は0.5%である。



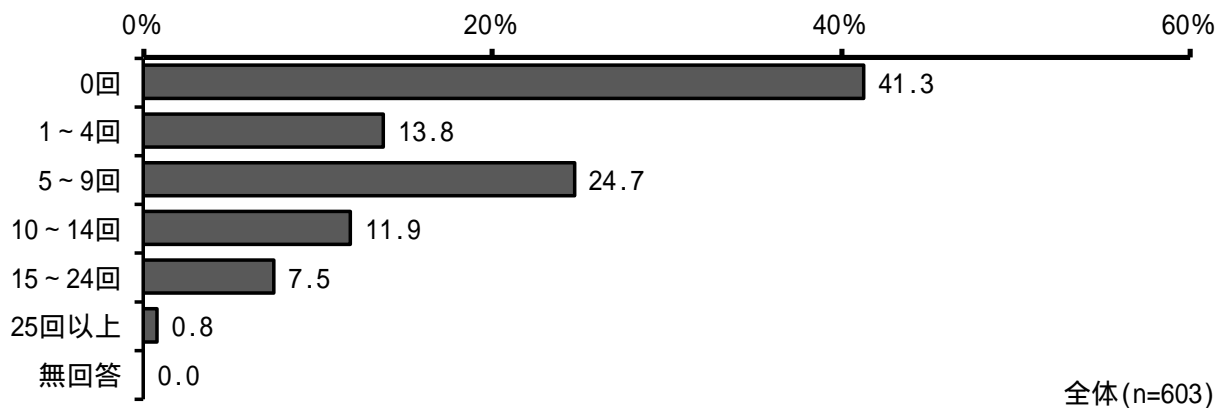
訪問系サービスの合計利用回数

- ・「0回」が65.3%であるが、利用者の中では、「5～14回」(14.1%)が最も多く、次いで「1～4回」(10.9%)である。



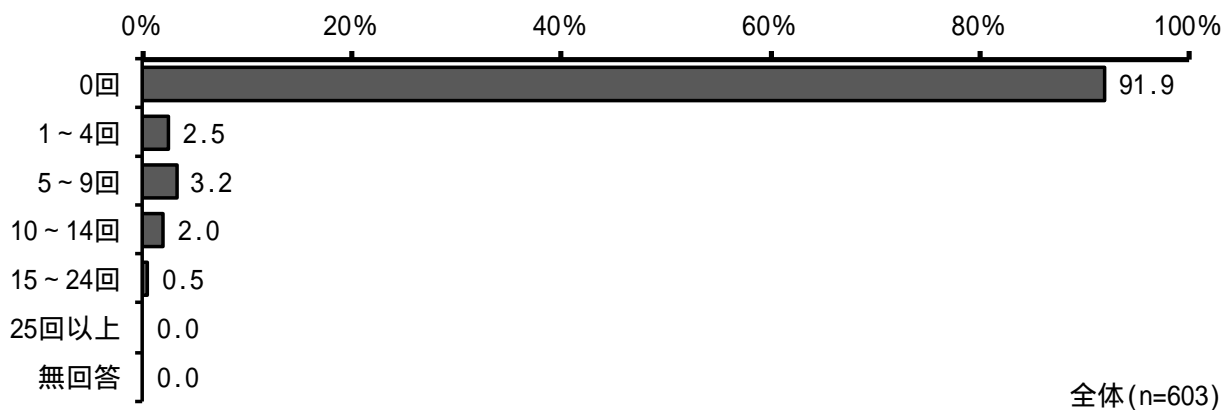
通所系サービスの合計利用回数

- ・「0回」が41.3%であるが、利用者の中では次いで、「5～9回」(24.9%)が最も多く、次いで「1～4回」(13.8%)である。



短期系サービスの合計利用回数

- ・利用している人は1割に満たないが、利用者の中では「5～9回」(3.2%)が最も多く、次いで「1～4回」(2.5%)である。

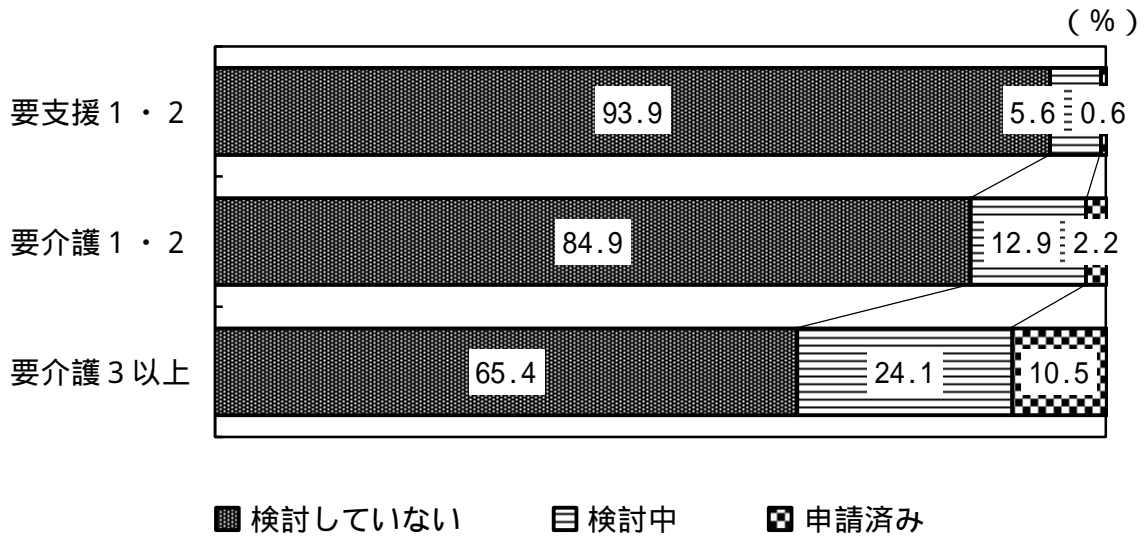


3 - 2 テーマ別分析

(1) 要介護度等の概要別にみた状況

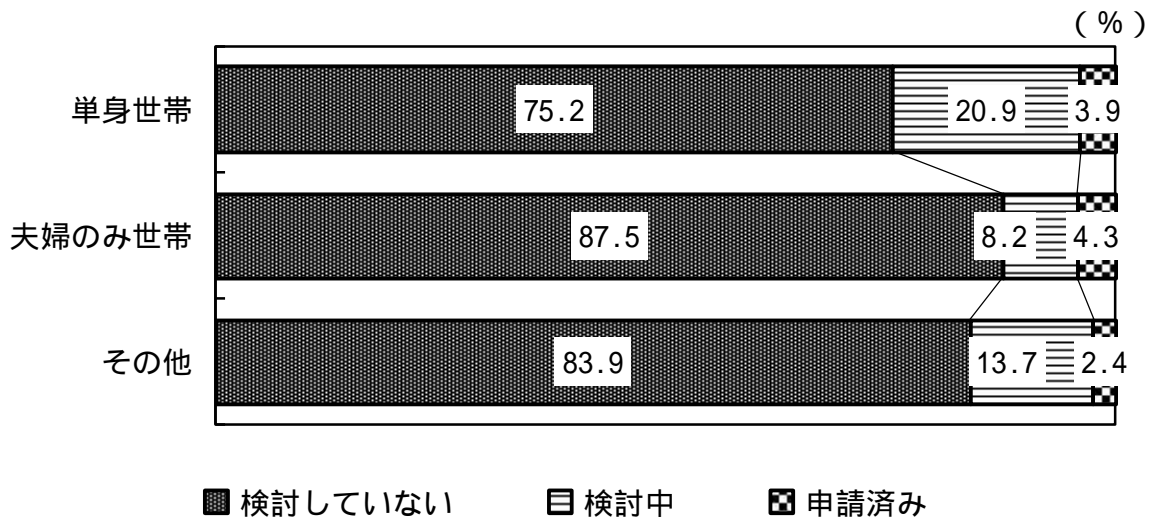
要介護度別・施設等検討の状況

- ・要介護度別に施設等の検討状況を見ると、「検討していない」は『要支援1・2』で9割を超えているが、『要介護3以上』では6割程度まで低くなり、一方で、重度化に伴い「検討中」及び「申請済み」の割合が高くなる。



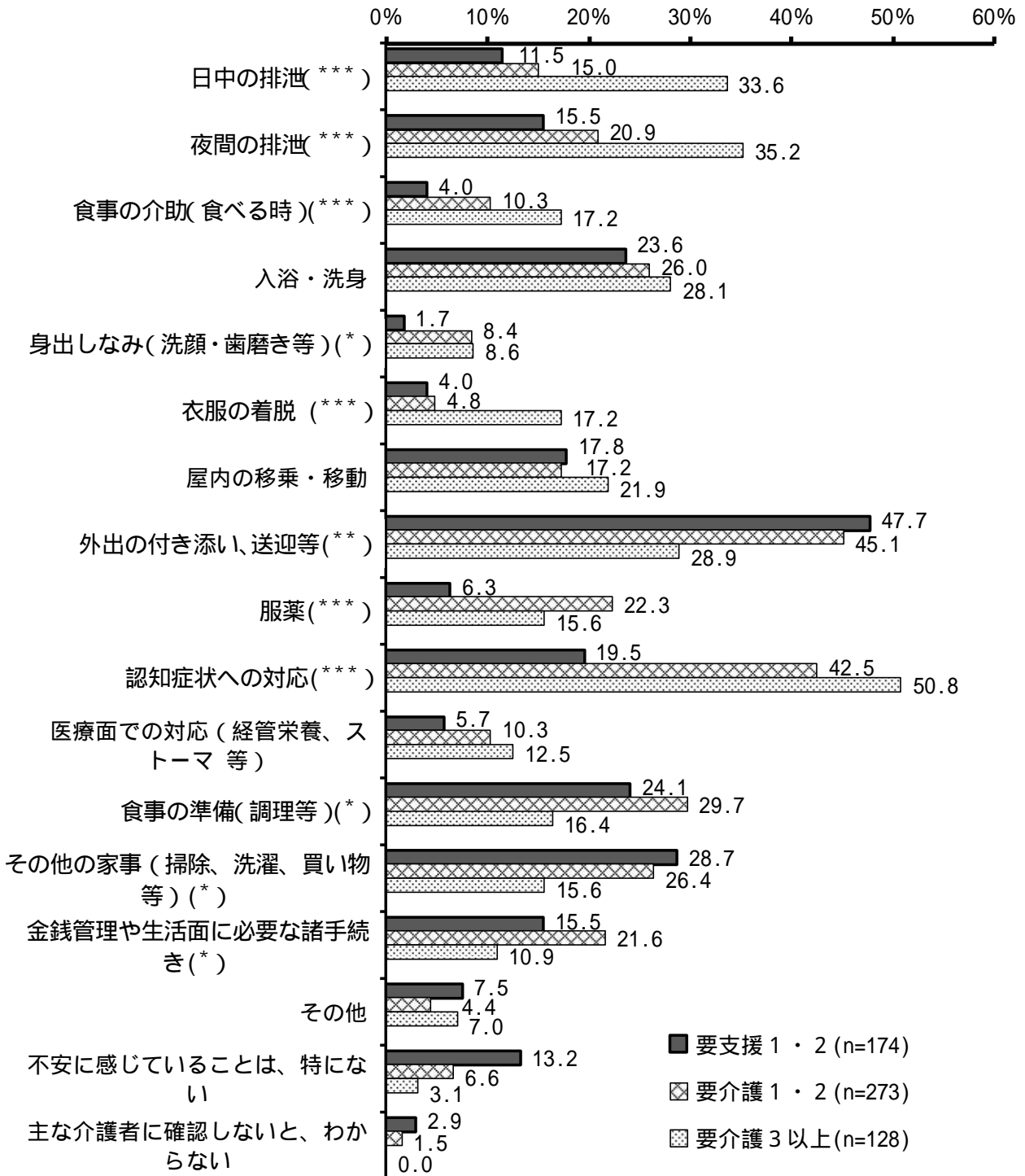
世帯類型別・施設等検討の状況

- ・世帯類型別に施設等への入所・入居の検討状況を見ると、「検討していない」割合が最も低いのは『単身世帯』で75.2%、一方、『夫婦のみ世帯』では87.5%と高い。



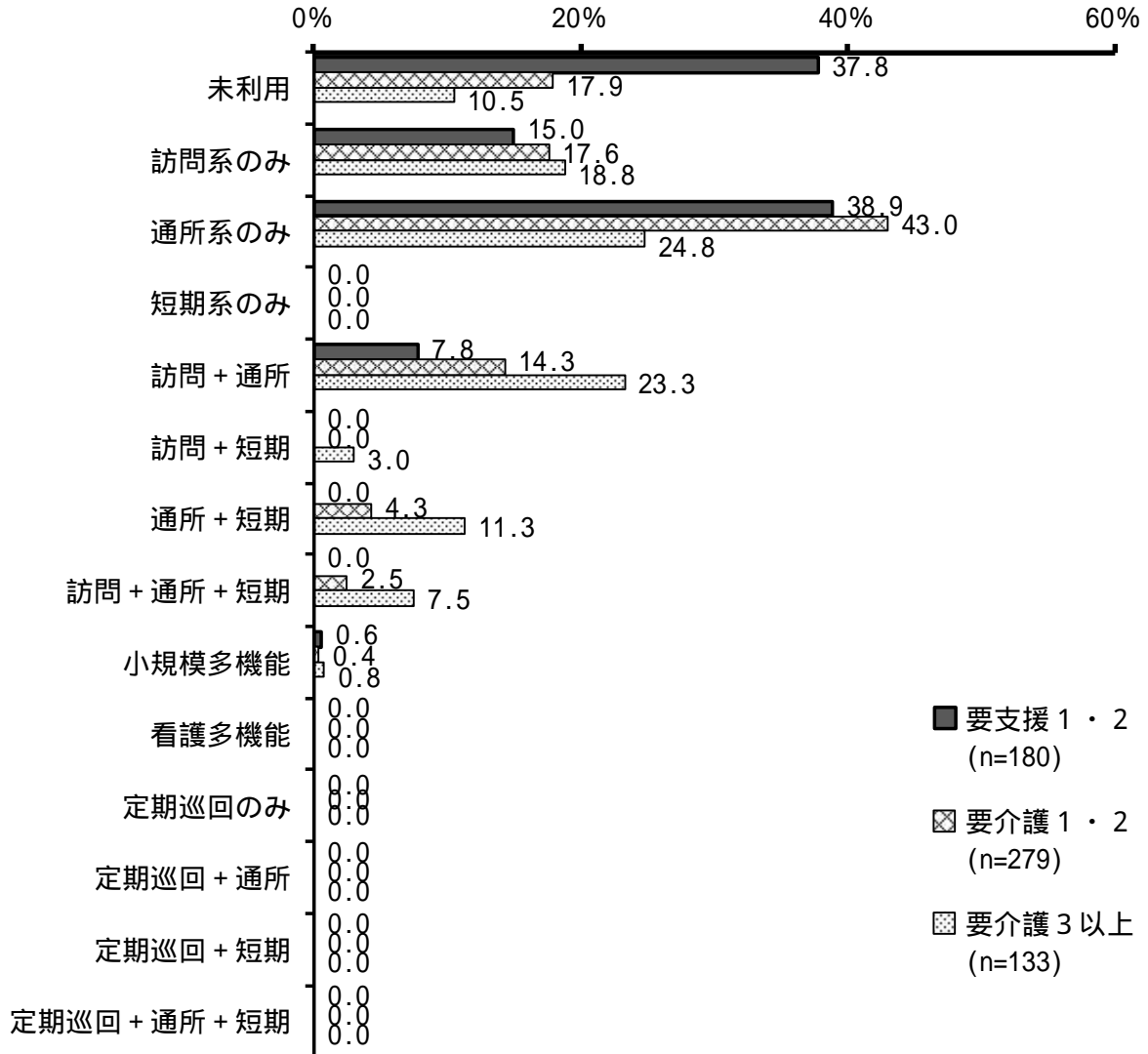
要介護度別・介護者が不安を感じる介護【複数回答】

・「今後の在宅生活の継続にあり、主な介護者の方が不安を感じる介護」については、『要介護3以上』では「認知症への対応」、「日中の排泄」及び「夜間の排泄」において不安が大きい傾向に見られた。同様に、『要介護1・2』では「外出の付き添い、送迎等」、「認知症への対応」において不安が大きい傾向が見られた。



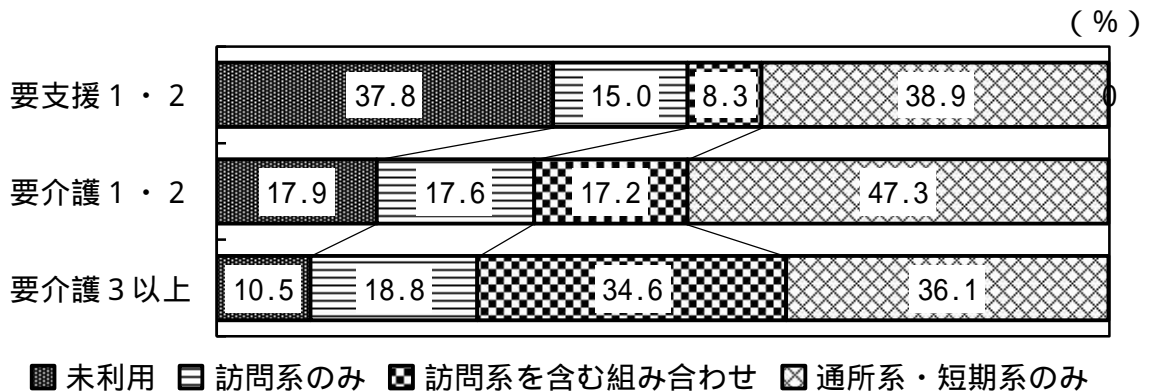
要介護度別・サービス利用の組み合わせ

・要介護度別にサービス利用の組み合わせを見ると、『要支援1・2』は「通所系のみ」と「未利用」の割合が高いが、『要介護1・2』では「通所系のみ」の利用割合が高く、『要介護3以上』では「通所系のみ」と訪問系を含む組み合わせの「訪問+通所」のサービス利用割合が高くなる。



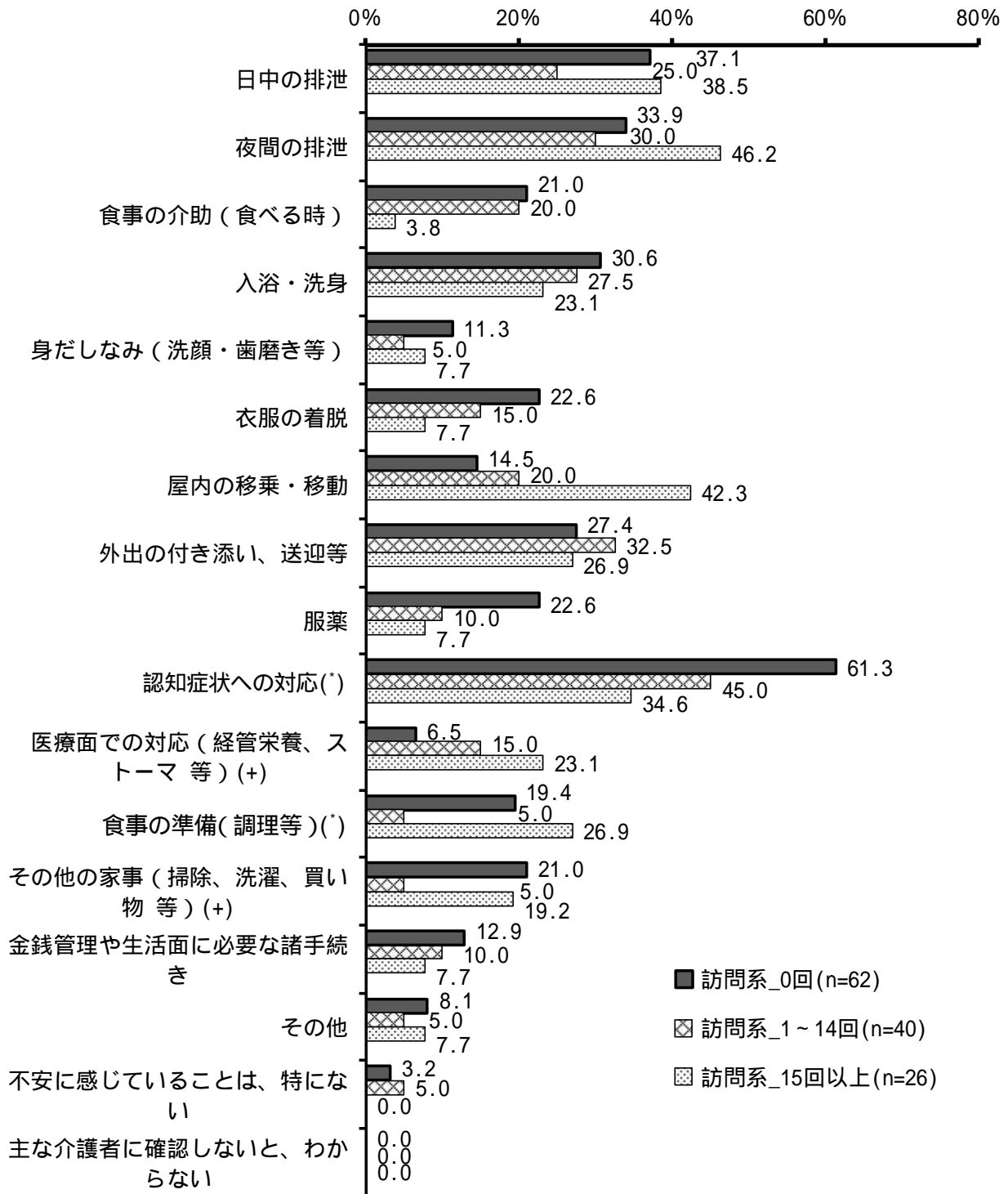
要介護度別・サービス利用の組み合わせの内訳

・サービス利用の組み合わせの内訳を、要介護度別に見ると、重度化に伴い「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高まる傾向が見られる。



サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）

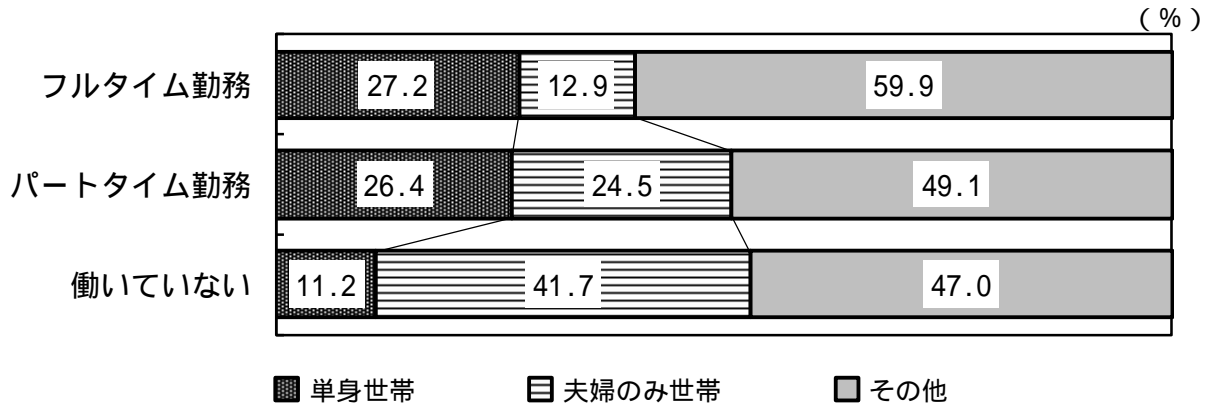
- ・『要介護3以上』で「介護者が不安を感じる介護」と「訪問系サービスの利用回数」の関係を見ると、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「認知症への対応」、「入浴・洗身」及び「衣服の着脱」において介護者の不安が軽減する傾向が見られた。



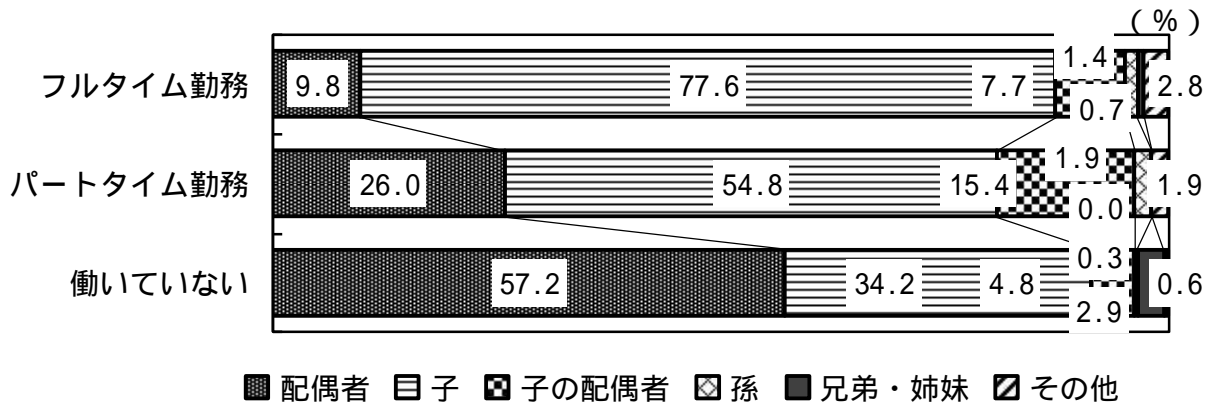
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援

- ・主な介護者が「フルタイム勤務」または「パートタイム勤務」の場合は、『単身世帯』の割合が高い。
- ・本人との関係は『子』が最も多く、特に「フルタイム勤務」では77.6%を占め、年齢は『50歳代』が52.1%と最も多い。
- ・一方、「働いていない場合」は、『夫婦のみ世帯』の割合が高く、本人との続柄は『配偶者』が57.2%と最も多く、年齢は『70歳以上』が多い。

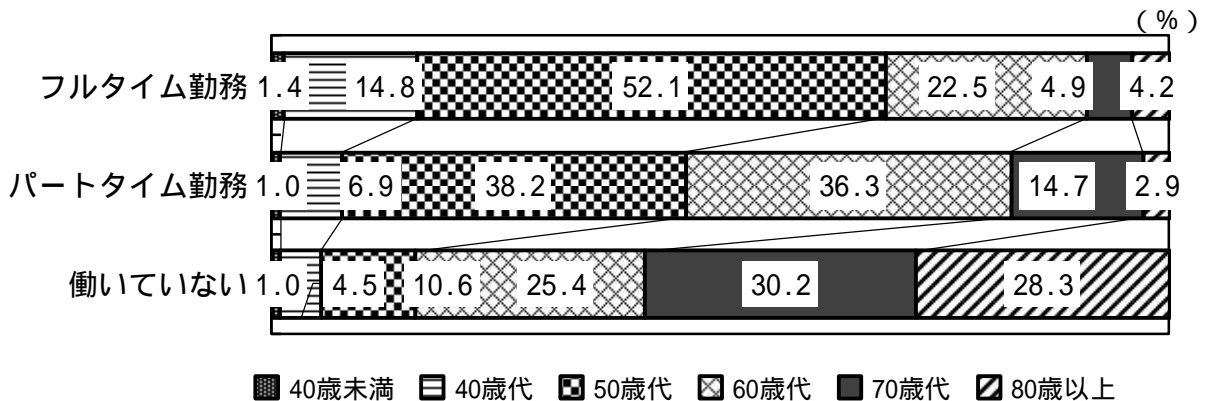
主な介護者の就労状況別・世帯類型



主な介護者の就労状況別・本人との関係

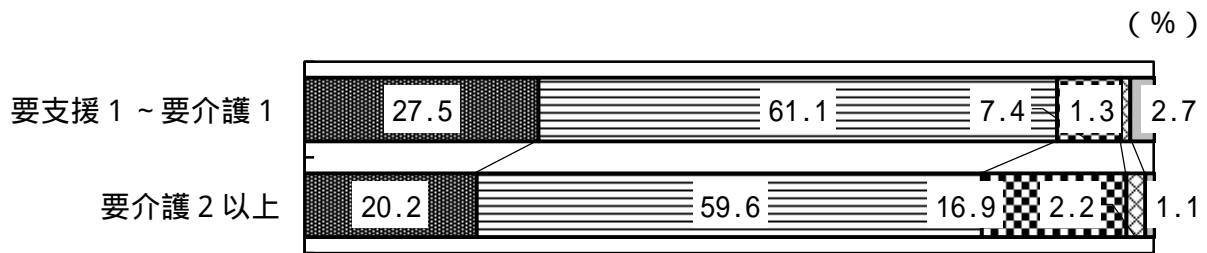


就労状況別・主な介護者の年齢



要介護度別・就労継続見込（フルタイム勤務・パートタイム勤務）

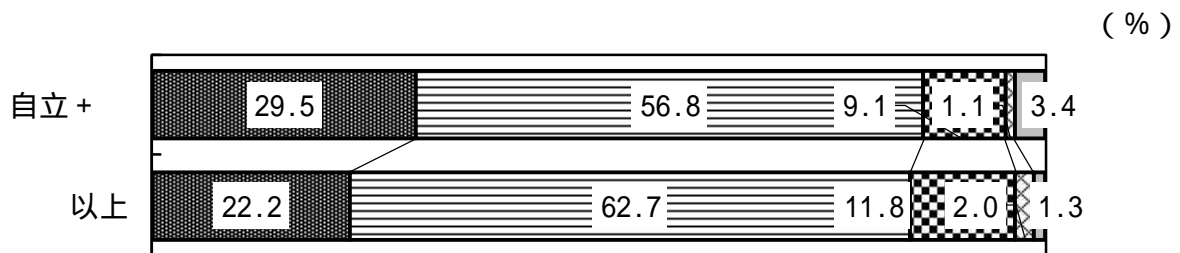
・「問題はあるが、何とか続けている」が、どちらも約6割で最も割合が高い。「問題なく、続けている」を合わせた割合については、『要支援1～要介護1』が88.6%、『要介護2以上』で79.8%となっている。



- 問題なく、続けていける
- ▨ 問題はあるが、何とか続けていける
- ▣ 続けていくのは、やや難しい
- ▤ 続けていくのは、かなり難しい
- わからない

認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務・パートタイム勤務）

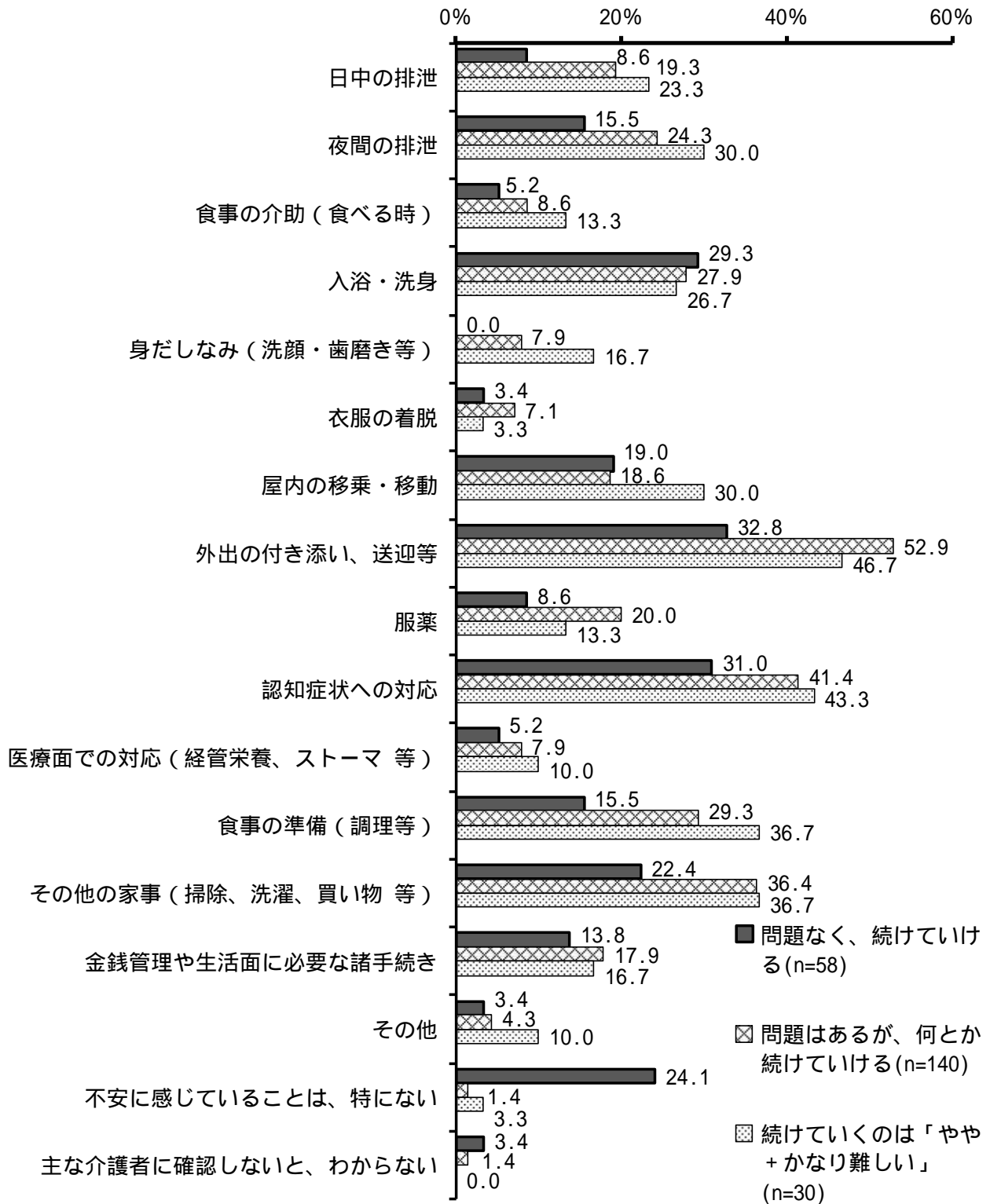
・「問題はあるが、何とか続けている」は、『自立+』では56.8%、『以上』では62.7%と割合が高い。「問題なく、続けている」を合わせた割合については、『自立+』では86.3%、『以上』では84.9%と8割を超えている。



- 問題なく、続けていける
- ▨ 問題はあるが、何とか続けていける
- ▣ 続けていくのは、やや難しい
- ▤ 続けていくのは、かなり難しい
- わからない

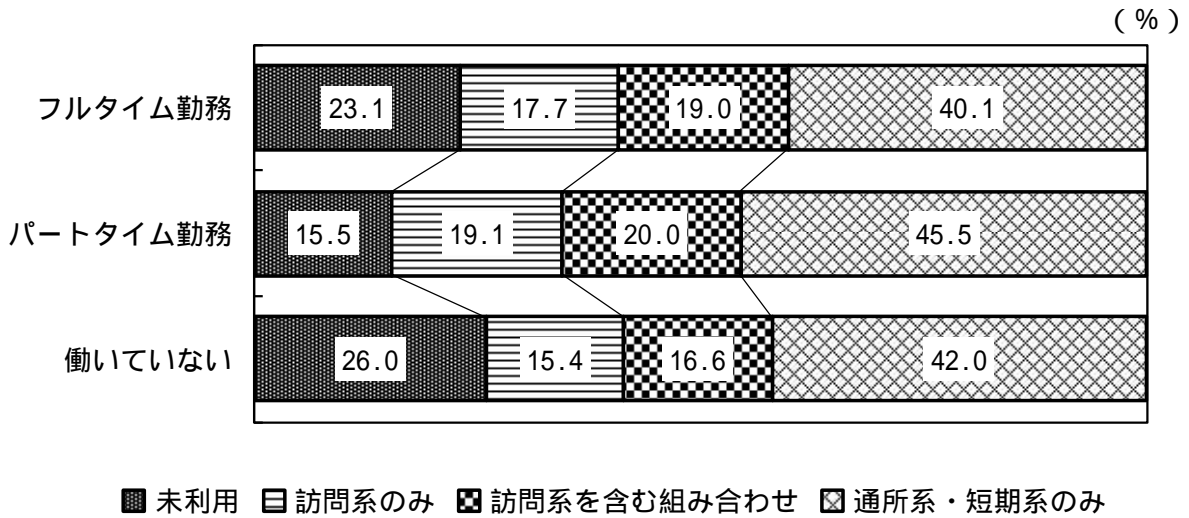
就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護

・就労継続見込み別に見た介護者が不安に感じる介護については、仕事を『問題はあるが、何とか続けていける』または『続けていくのは難しい』とでは、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」及び「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」において割合が高い傾向がある。



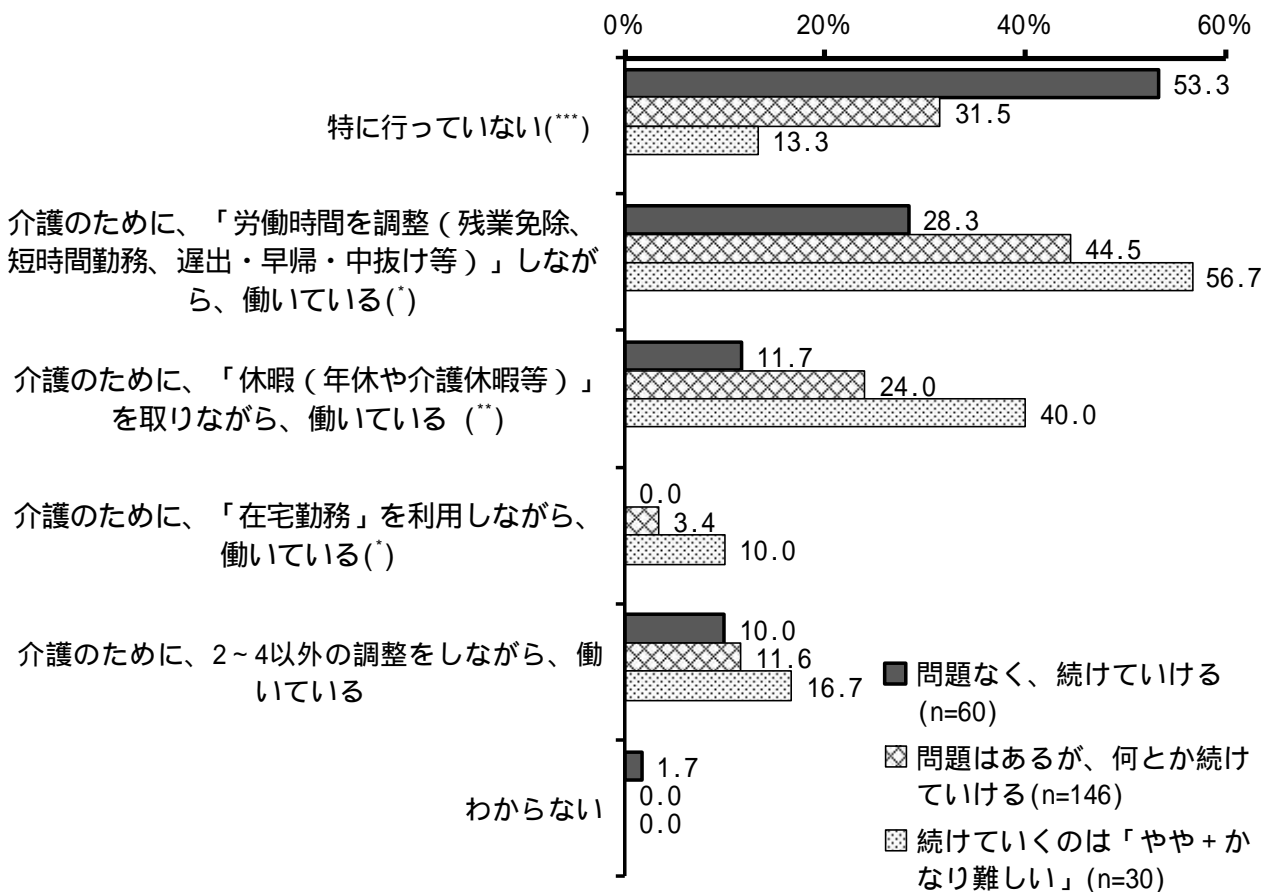
就労状況別・サービスの組み合わせ

- ・就労状況別に利用しているサービスの組み合わせを見ると、全ての就労状況で「通所系・短期系のみ」の割合が最も高くなっている。



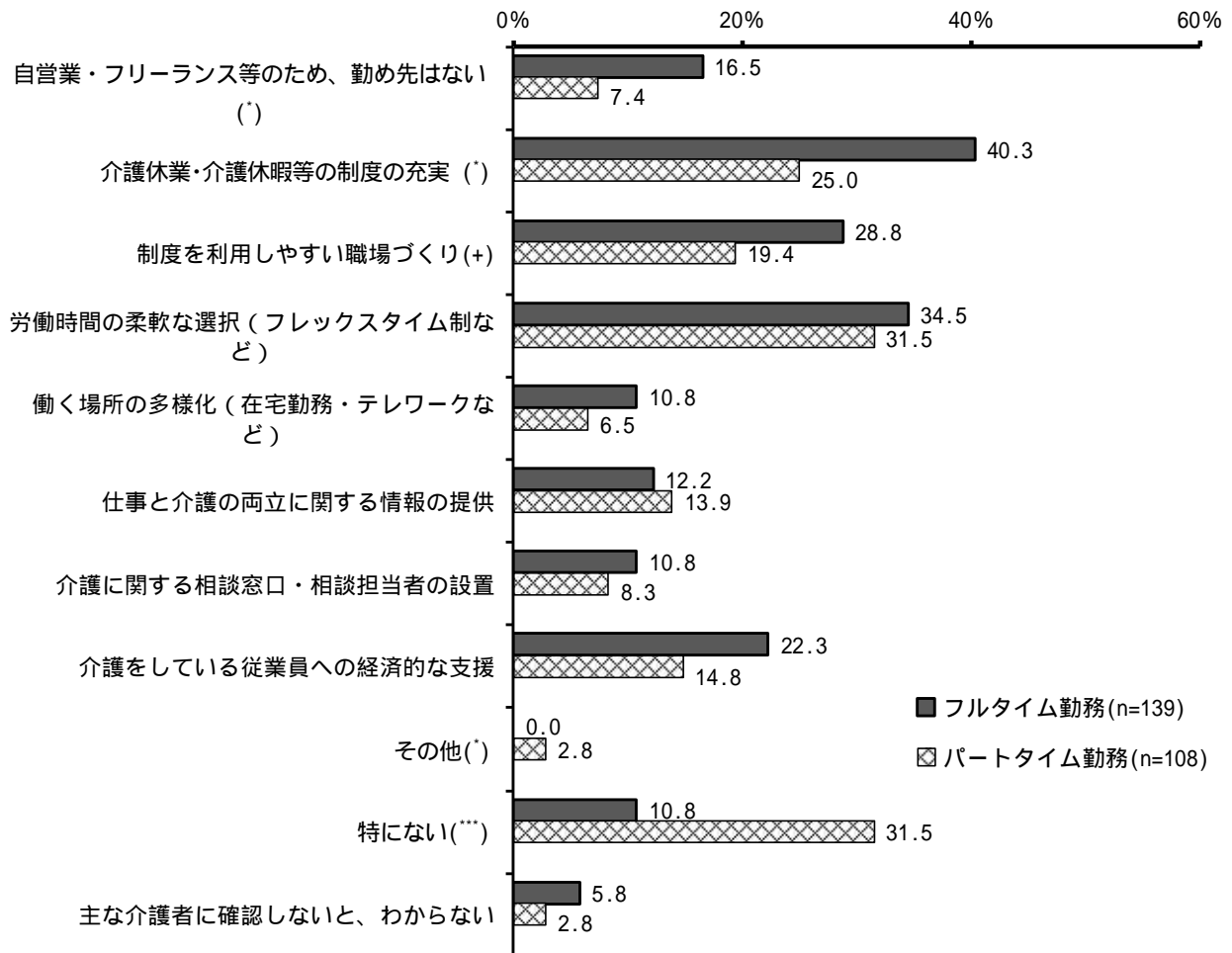
就労継続見込み別・介護のための働き方の調整

- ・就労継続見込み別に見た介護のための働き方の調整については、仕事を『問題なく、続けていける』は「特に行っていない」の割合が53.3%と高く、比較的介護と仕事の両立が可能な職場であることが考えられ、一方で『問題はあるが何とか続けている』または『続けていくのは難しい』は、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら働いている」が56.7%となっている。



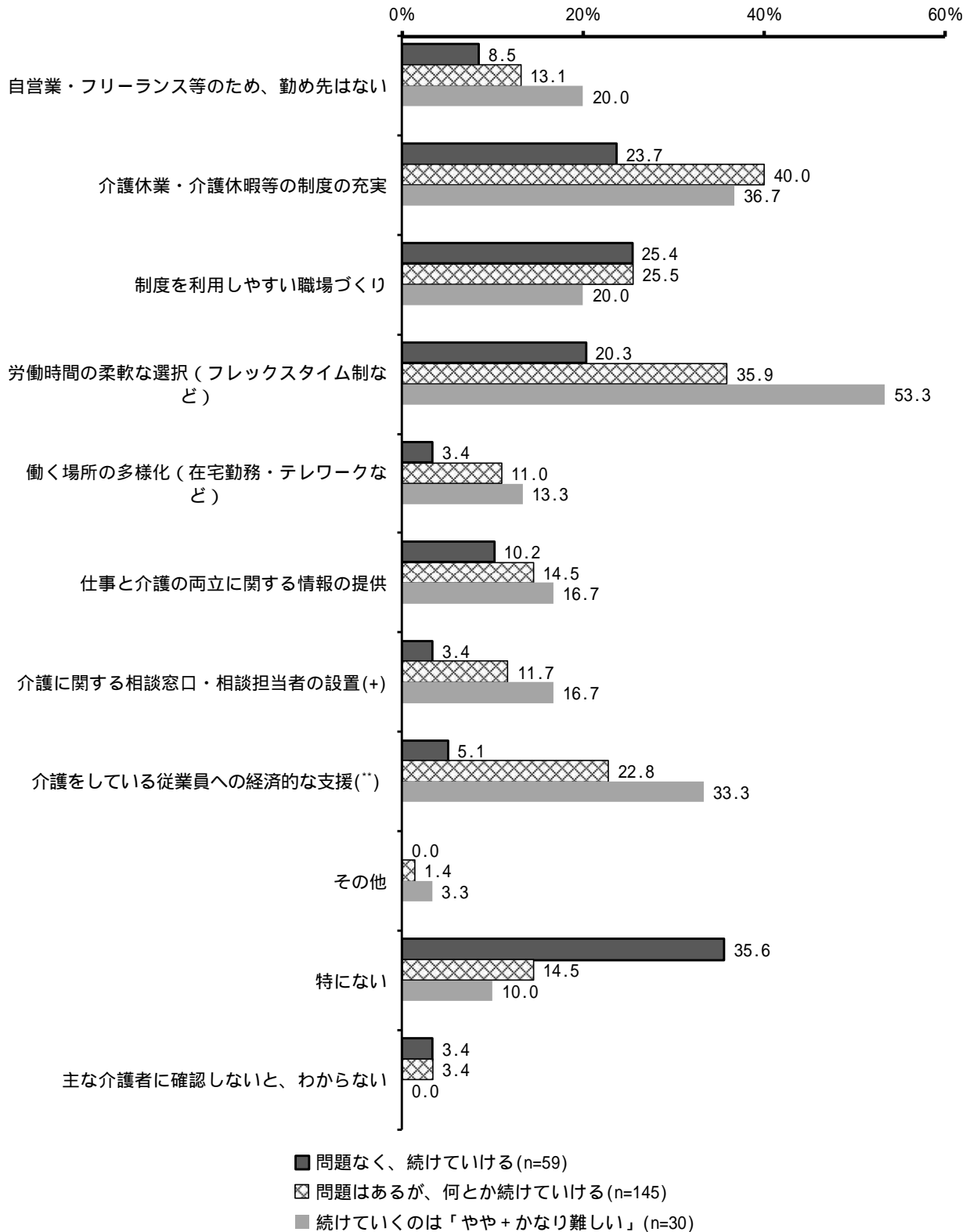
就労状況別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務・パートタイム勤務）

・就労状況別に見た効果的な勤め先からの支援については、『パートタイム勤務』は「特にない」と「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が最も多く、『フルタイム勤務』では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」のほか、「制度を利用しやすい職場づくり」が効果的であるとした割合が高い。



就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援

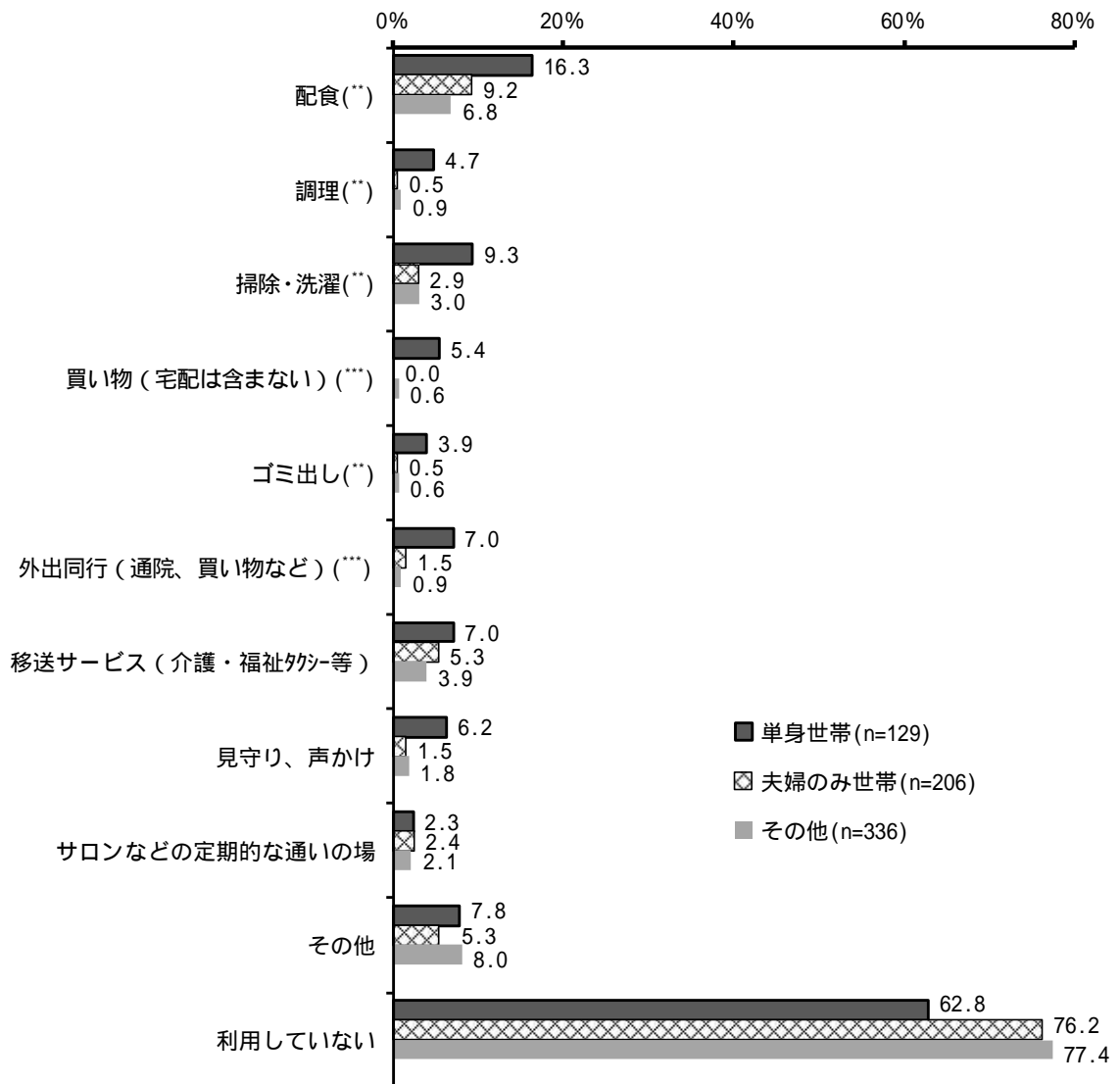
・効果的な勤め先からの支援について就労継続見込み別に見ると、就労継続困難を感じるほど「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への継続的な支援」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」を求める割合が高い。



(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備

世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況

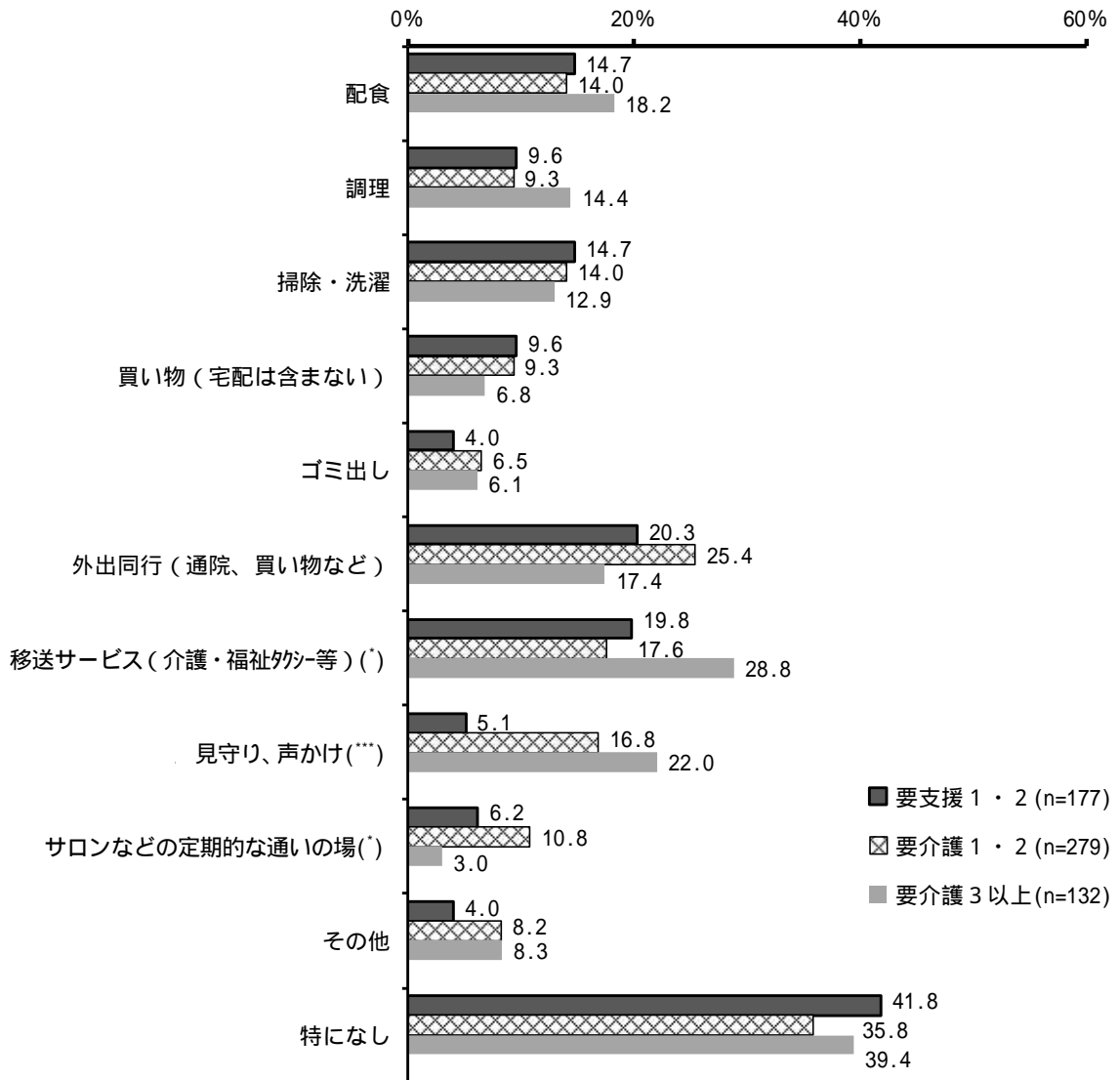
- ・実際に利用している保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別に見ると、『単身世帯』において「配食」の割合がやや高いものの、全体として利用している割合は低い。「利用していない」の割合を見ると、『単身世帯』では62.8%であるのに対し、『夫婦のみ世帯』及び『その他の世帯』ではそれぞれ7割を超えている。



世帯類型別・要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

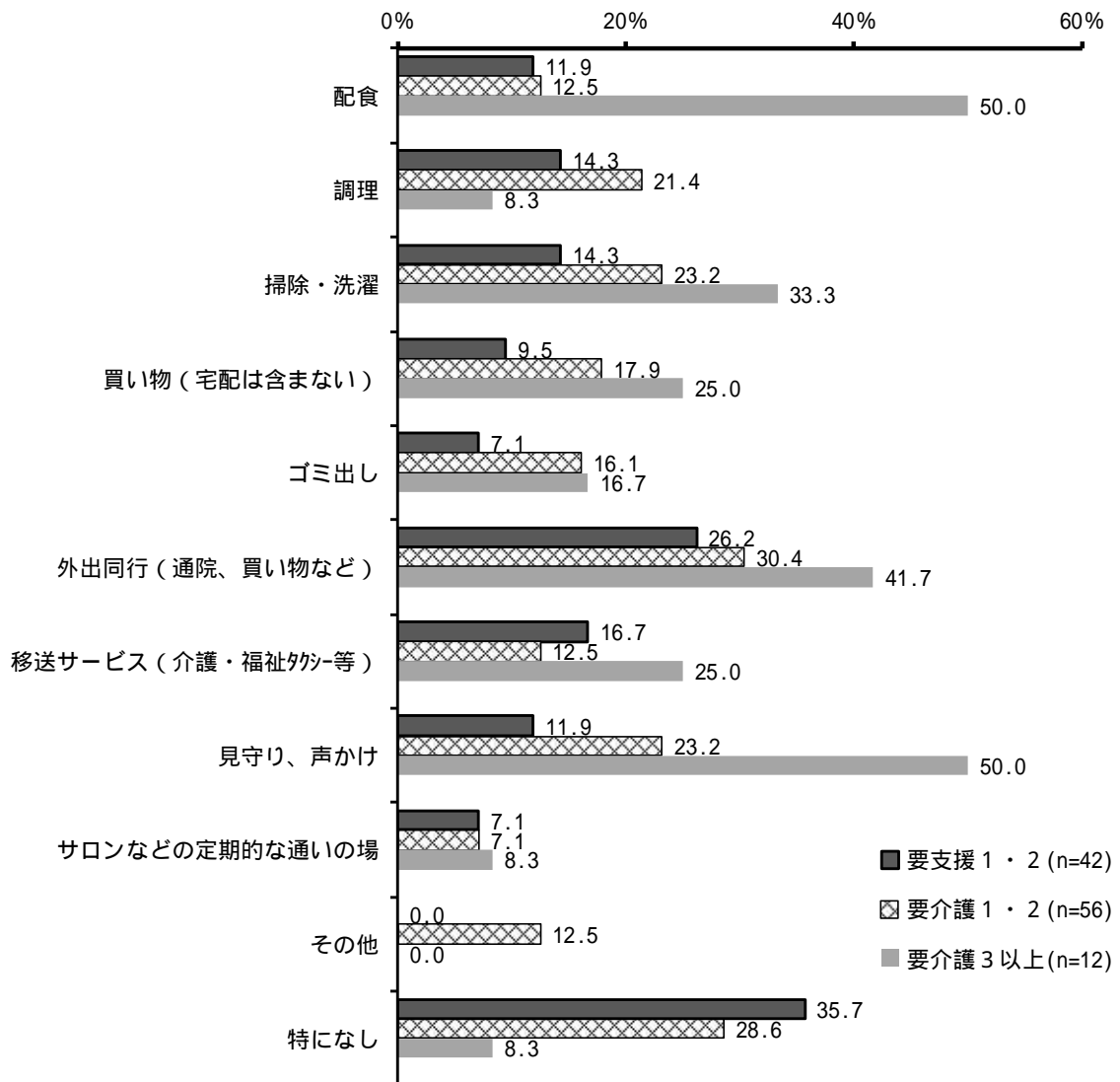
ア 全体

・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを要介護度別に見ると、『要支援1・2』は「特になし」が多いが、『要介護1・2』は「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「買い物」等各種支援のニーズが高い。また、『要介護3以上』では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」及び「外出同行（通院、買い物など）」の割合が高い。



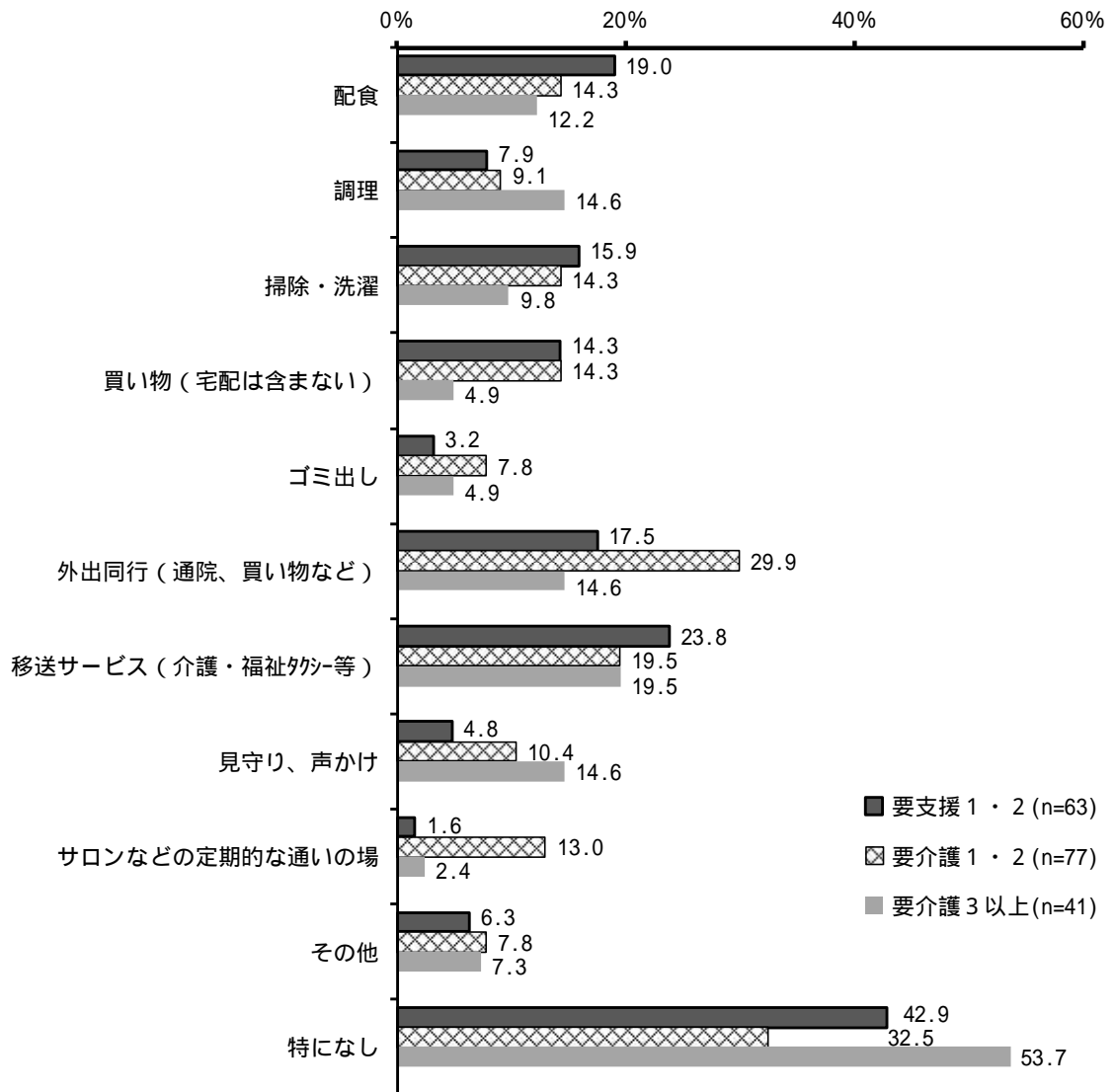
イ 単身世帯

・単身世帯は、『要支援1・2』では「外出同行（通院・買い物など）」のニーズが高く、『要介護1・2』及び『要介護3以上』では「配食」及び「見守り、声かけ」のニーズが高い。



ウ 夫婦のみ世帯

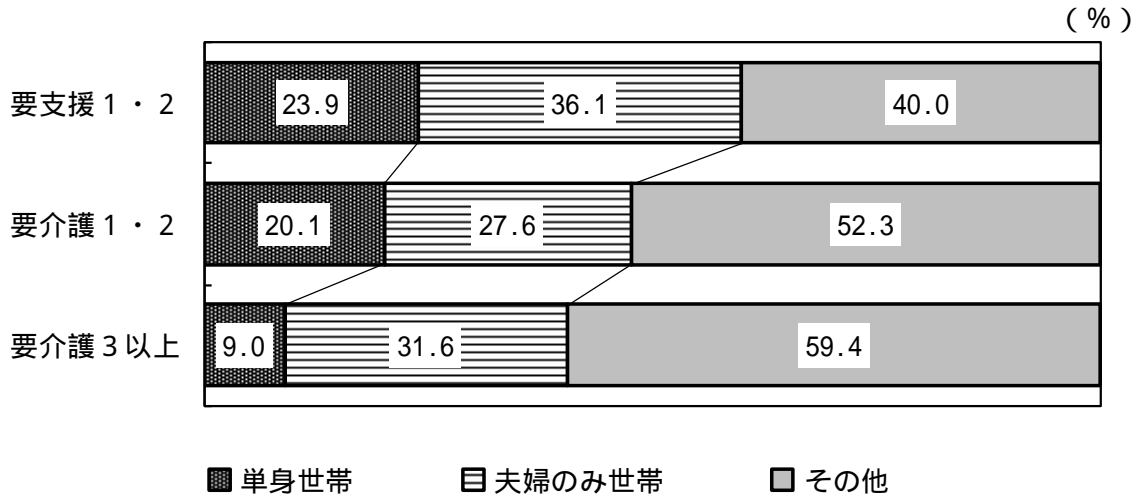
・夫婦のみ世帯は、『要支援1・2』は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が23.8%と高く、一方で、『要介護3以上』は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.5%、「調理」「外出同行（通院、買い物など）」「見守り、声かけ」が14.6%となっている。



(4) 将来の世帯類型の変化に対応した支援・サービスの提供体制

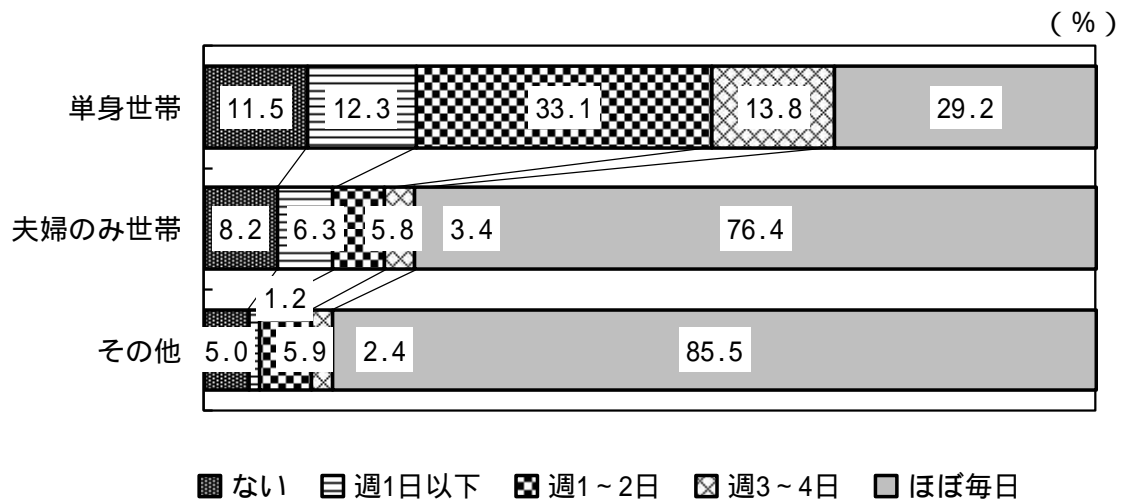
要介護度別・世帯類型

- ・「単身世帯」の割合をみると、『要支援1・2』では23.9%、『要介護1・2』では20.1%、『要介護3以上』で9.0%と低くなっており、要介護度の重度化に伴い単身世帯の割合が低くなっており、介護のための同居者が増えていることや、徐々に在宅生活の継続が困難となっていることがうかがえる。



世帯類型別・家族等による介護の頻度

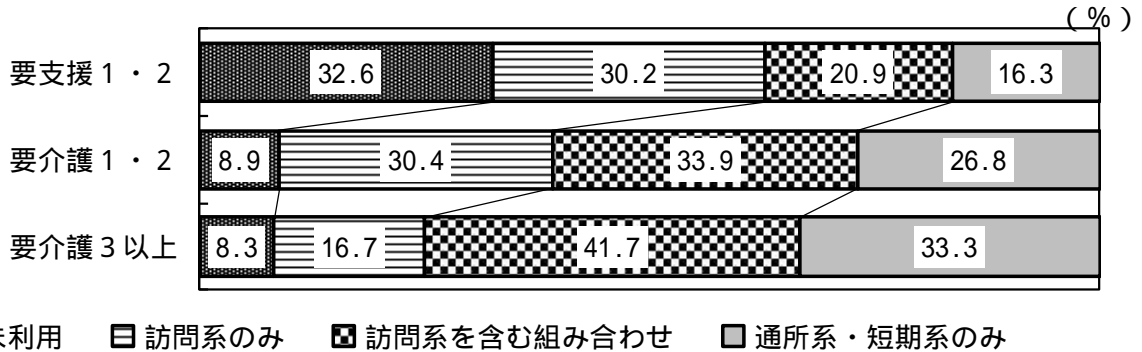
- ・世帯類型別に家族等による介護の頻度を見ると「ほぼ毎日」は『その他の世帯』では85.5%、『夫婦のみ世帯』では76.4%と割合が高い。『単身世帯』では、「週1～2日」が33.1%、次いで「ほぼ毎日」が29.2%、「週3～4日」が13.8%と他の世帯類型と比べて頻度が低い。



世帯類型別・要介護度別・サービス利用の組み合わせ

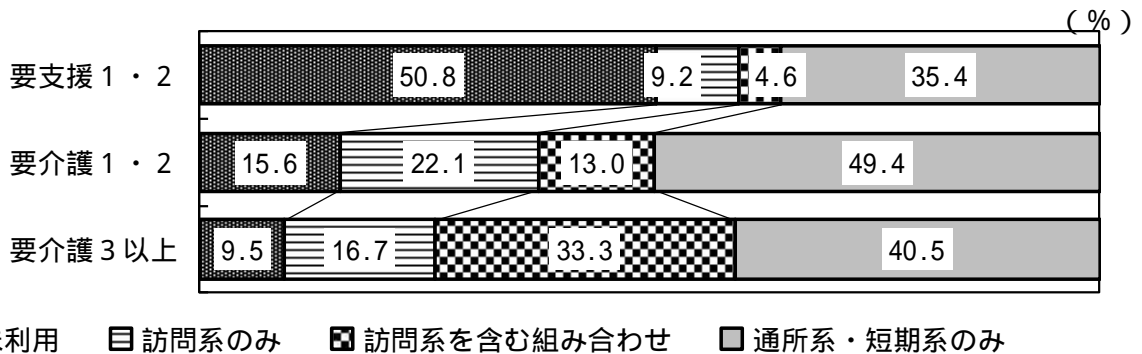
ア 単身世帯

・要介護度別のサービス利用の組み合わせを世帯構成別に見ると、単身世帯は、『要支援1・2』では「未利用」が多いが、要介護度が重度化するにつれて「訪問系を含む組み合わせ」が多くなり、『要介護3以上』では41.7%と4割を超える。



イ 夫婦のみ世帯

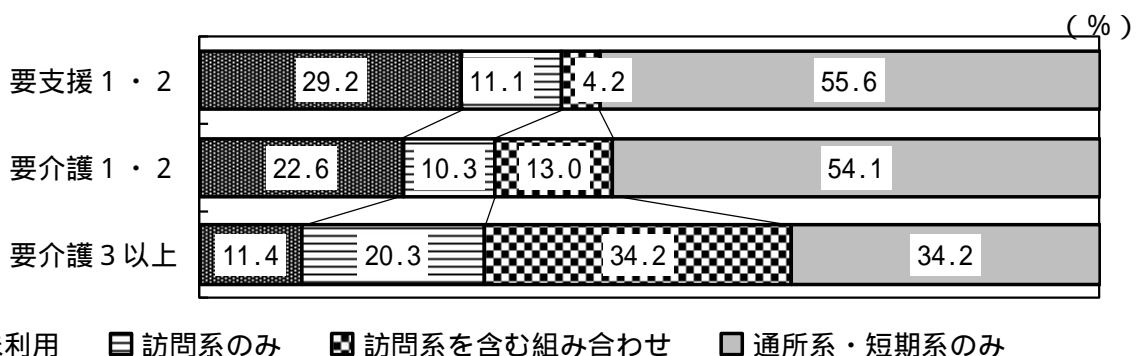
・夫婦のみ世帯は、『要支援1・2』では「未利用」の割合は5割を超えて単身世帯よりも多くなっている。『要介護1・2』は単身世帯と比べて「通所系・短期系のみ」が増え、『要介護3以上』では「通所系・短期系のみ」が4割を超える。また、要介護度が重度化するにつれて「訪問系を含む組み合わせ」が多くなる。



ウ その他の世帯

・その他の世帯は、『要支援1・2』及び『要介護1・2』では「通所系・短期系のみ」が半数を超えて割合が高く、『要介護3以上』では「訪問系を含む組み合わせ」と「通所系・短期系のみ」の割合が3割を超えている。

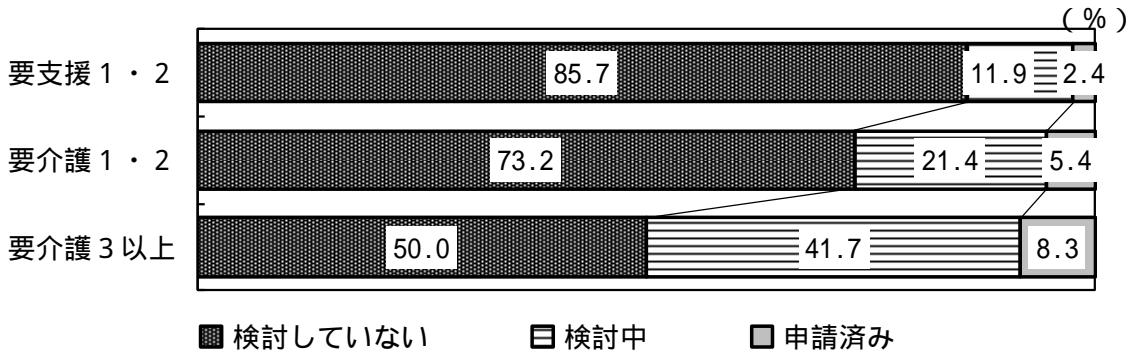
・世帯構成によりサービス利用の組み合わせが異なっているが、いずれの世帯も重度化するにつれて「訪問系を含む組み合わせ」が多くなっている。



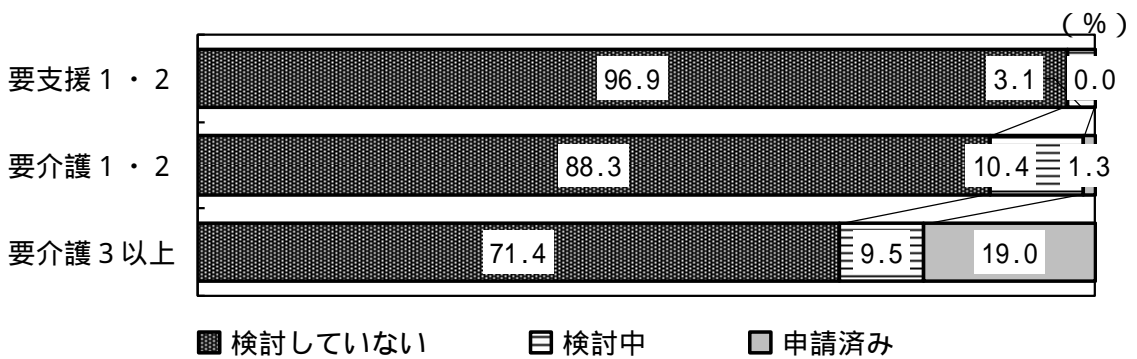
世帯類型別・要介護度別・施設等検討の状況

・要介護度別の施設等検討の状況を世帯類型別に見ると、単身世帯及びその他の世帯では要介護度の重度化に伴い「検討していない」の割合が徐々に減少しているが、夫婦のみ世帯では概ね一定である。

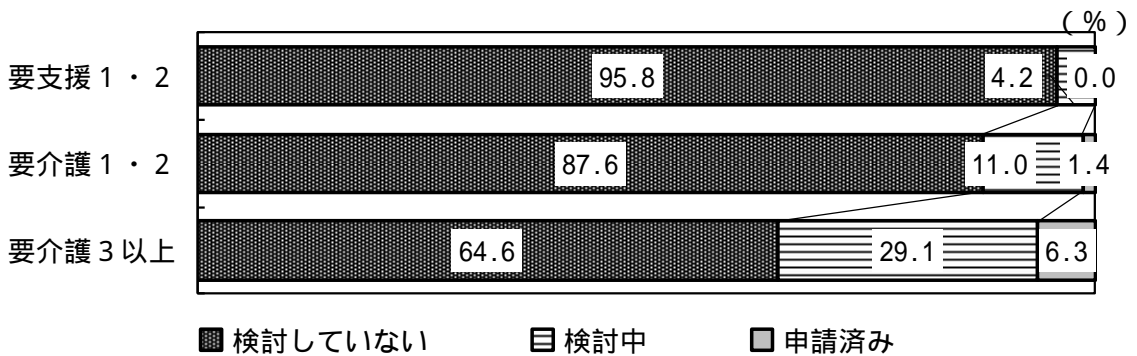
要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）



要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）



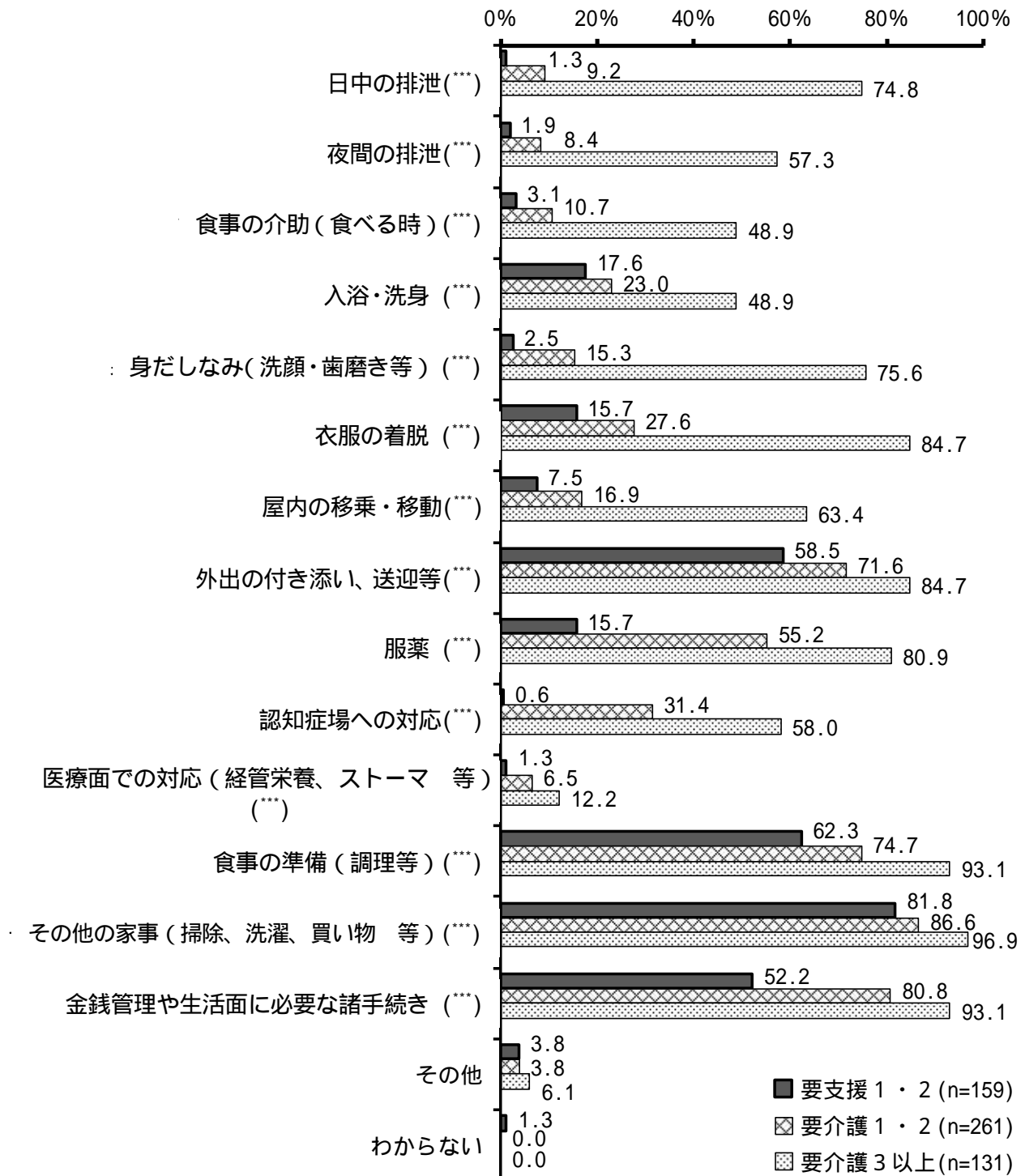
要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援

要介護度別・主な介護者が行っている介護

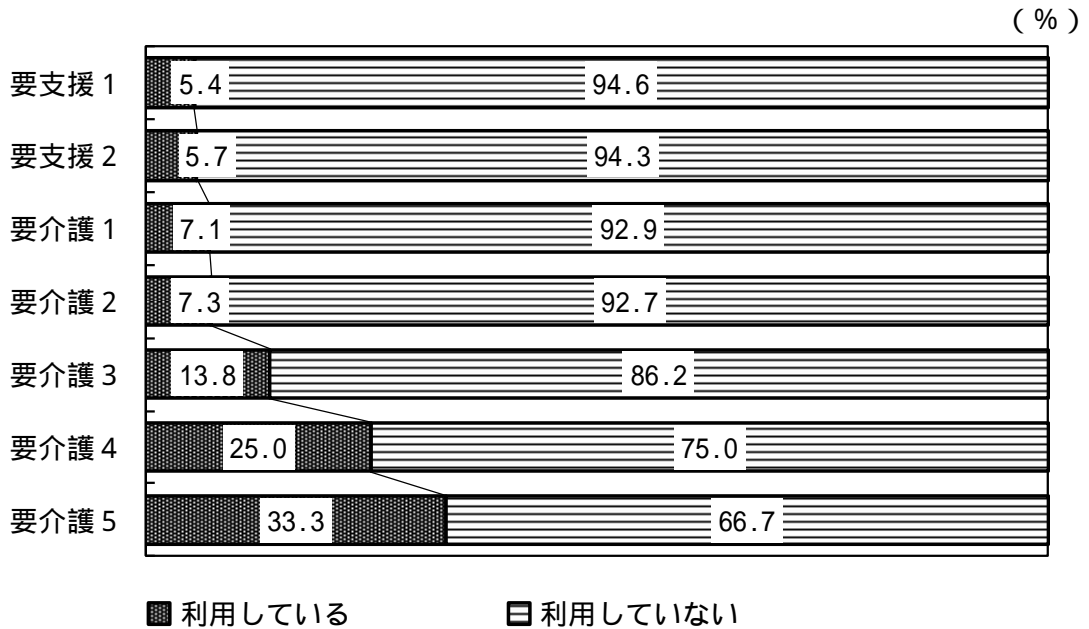
・要介護度の重度化に伴い全体として主な介護者が行っている介護は多岐にわたり、その割合も高くなっているが、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」は、『要介護3以上』でも12.2%にとどまっている。



訪問診療の利用状況

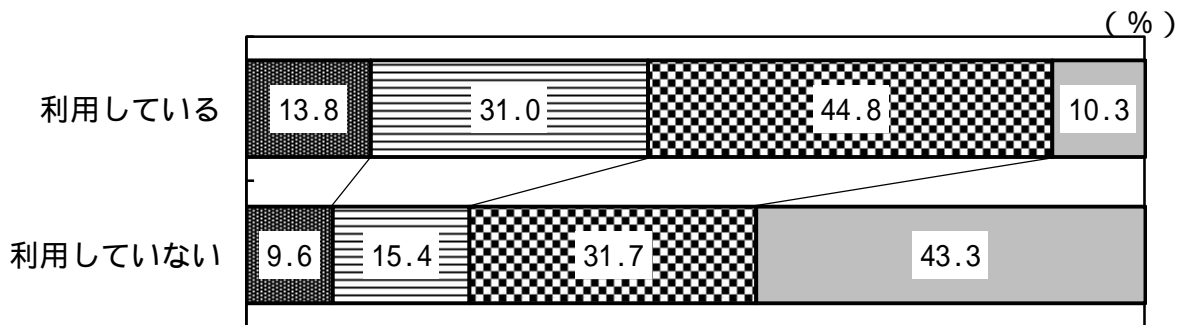
- ・要介護度別に訪問診療の利用状況を見ると、要介護4以上でニーズが高くなり、「利用している」割合は、『要介護4』では25.0%、『要介護5』では33.3%である。

要介護度別・訪問診療の利用割合



訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）

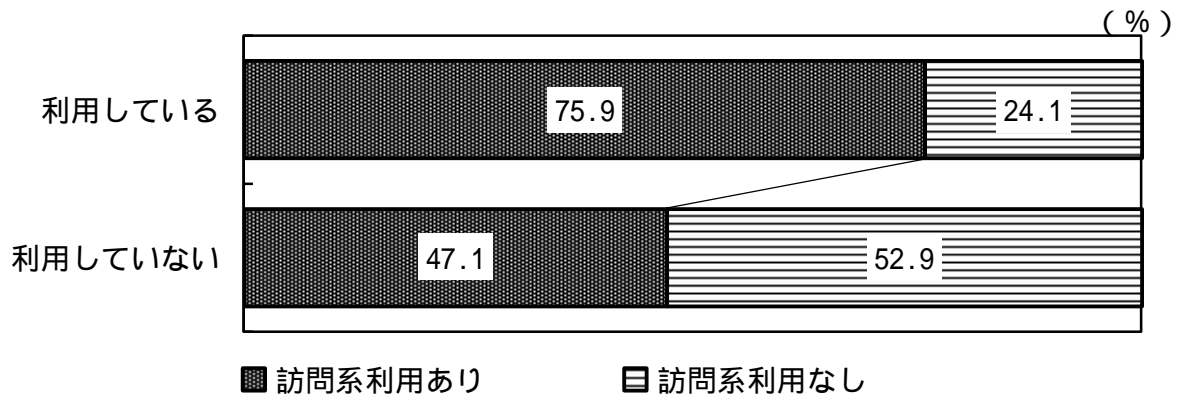
- ・要介護3以上で訪問診療を「利用している」人の75.8%が『訪問系サービス（訪問のみ・訪問系を含む組み合わせ）』を利用している。訪問診療を利用している場合、訪問介護や訪問看護を組み合わせで利用しているケースが大半で、医療ニーズのある要介護者の増加に伴い、訪問系サービスの重要性が高くなっている。



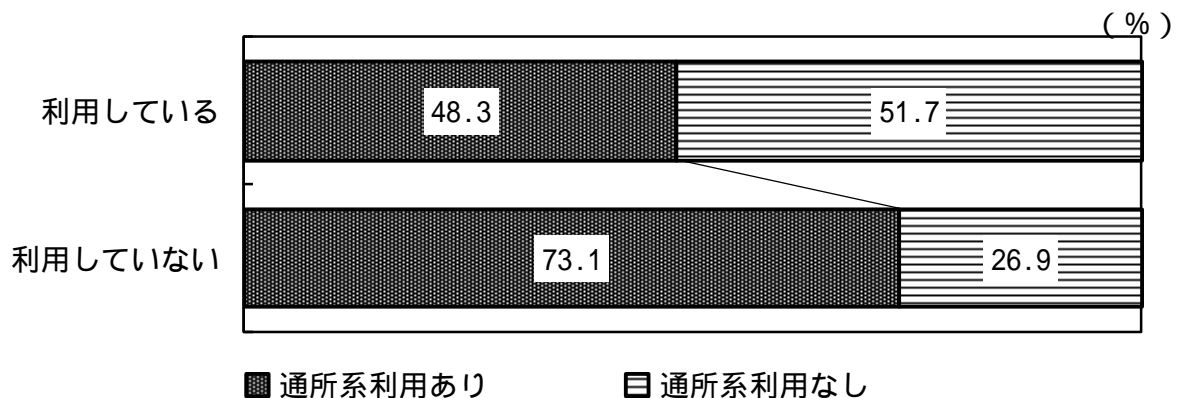
訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービス利用の有無（要介護3以上）

- ・要介護3以上で訪問診療を利用している人は、介護保険サービスの『訪問系利用あり』が75.9%と高いが、一方で『通所系利用あり』は48.3%、『短期系利用あり』は20.7%となっている。なお、それぞれ訪問診療を利用していない人と比べると、『通所系利用あり』は73.1%と高く、『訪問系利用あり』は47.1%、『短期系利用あり』は23.1%となっている。

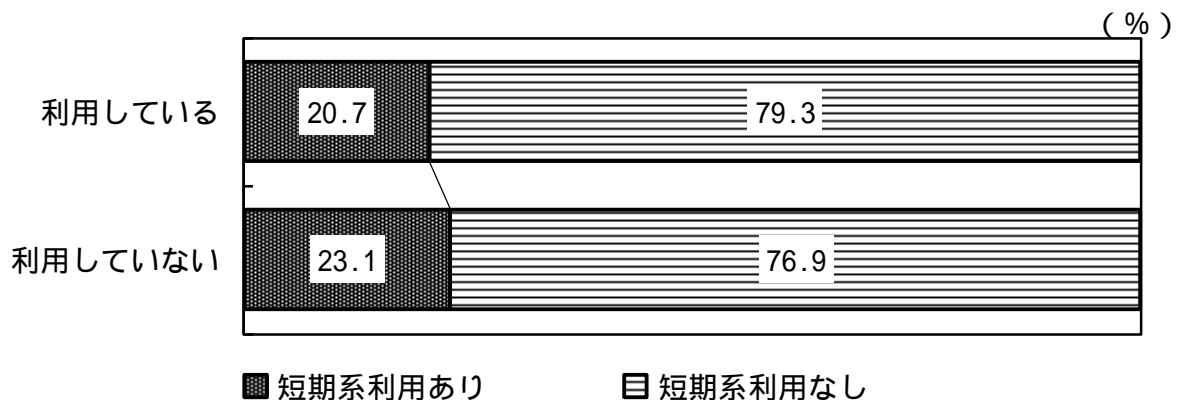
訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）



訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）



訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）



3 - 2 調査結果から見えた課題

家族介護者への支援

- ・主な介護者の年齢は、「80歳以上」が18.2%、「70歳代」が20.4%と、70歳以上が38.6%となっており、老々介護の実態がうかがえる。(A問5)
- ・主な介護者の方が行っている介護等は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(87.4%)が最も多く、次いで「食事の準備(調理等)」(75.6%)及び「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(75.2%)となっている。(A問6)
- ・今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「外出同行(通院、買い物など)」(21.3%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(20.7%)が2割を超えている。(A問9)
- ・主な介護者の方が不安を感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」(41.3%)が最も多く、次いで「認知症状への対応」(35.1%)となっている。また、要介護度別にみると、『要介護3以上』では「認知症状への対応」は50.8%と最も高くなっている。(B問5) テーマ別分析(1)

家族介護者の高齢化に配慮しながら、生活支援をはじめとする介護保険外サービスの利用支援や認知症への不安を緩和するなど、家族介護者の負担を軽減する取組が求められている。

主な介護者の仕事と介護の両立

- ・主な介護者がフルタイム又はパートタイムで働いている人のうち、「働き方について何らかの調整をしている」は76.7%、「特に行っていない」が32.1%となっている。(B問2)
- ・勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.4%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(31.8%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(22.6%)となっている。(B問3)
- ・今後も働きながら介護を続けていけそうかについて、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた就労継続が困難と考える介護者は10.9%である。(B問4)

主な介護者の多くが仕事と介護を両立している一方で、就労継続が困難と考えている介護者が一定程度みられ、介護の負担軽減のための支援が求められている。

第4章 介護保険サービス提供事業者調査

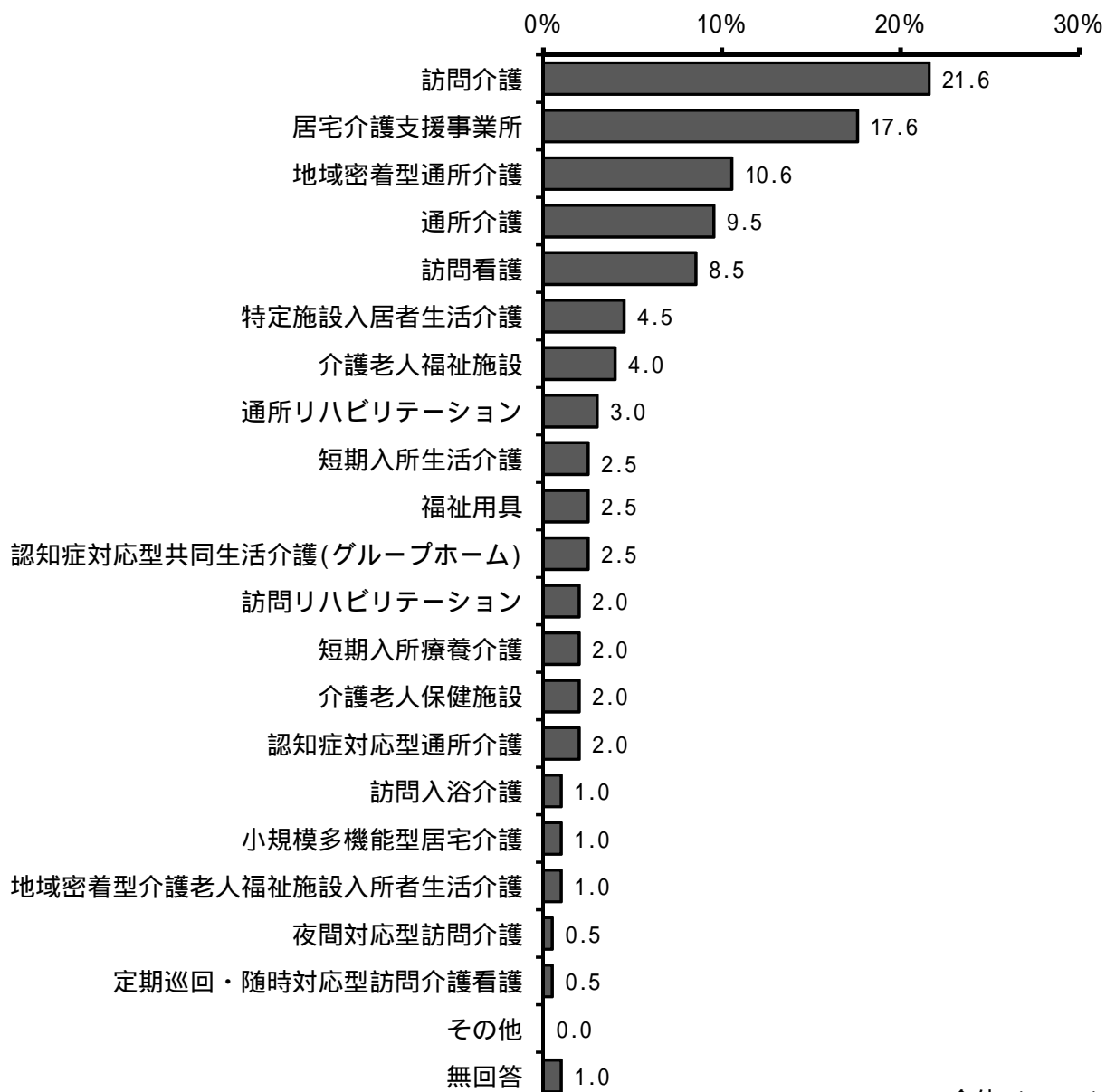
4-1 調査結果の概要

(1) 回答者について

問1 貴事業所が府中市内で提供しているサービス（予防を含む）は次のうちどれですか。

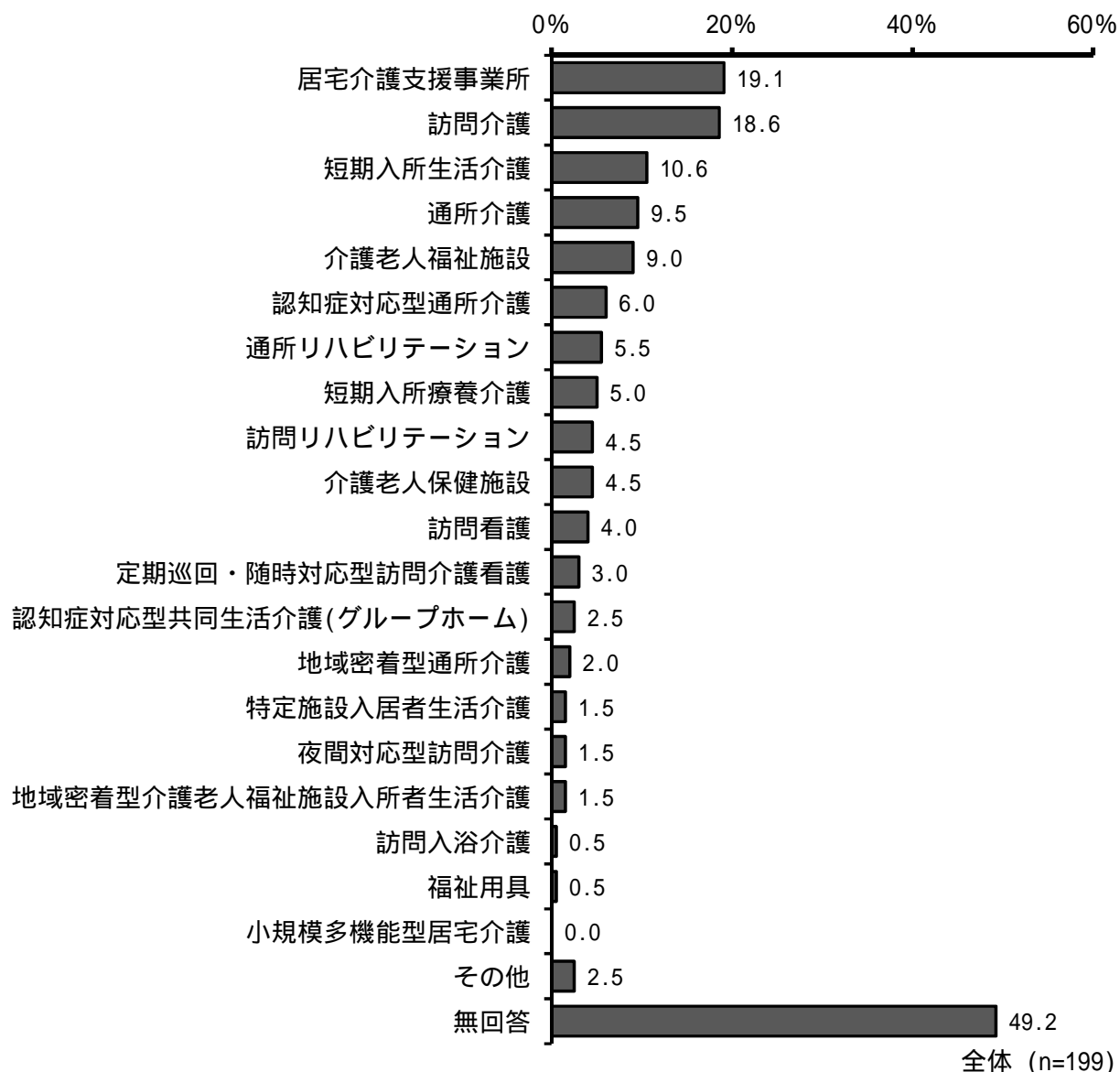
(1) 封筒の宛名に記載されているサービス名の種別に をつけてください。(1つに)

- ・「訪問介護」(21.6%)が最も多く、次いで「居宅介護支援事業所」(17.6%)、「地域密着型通所介護」(10.6%)、「通所介護」(9.5%)、「訪問看護」(8.5%)と続いている。



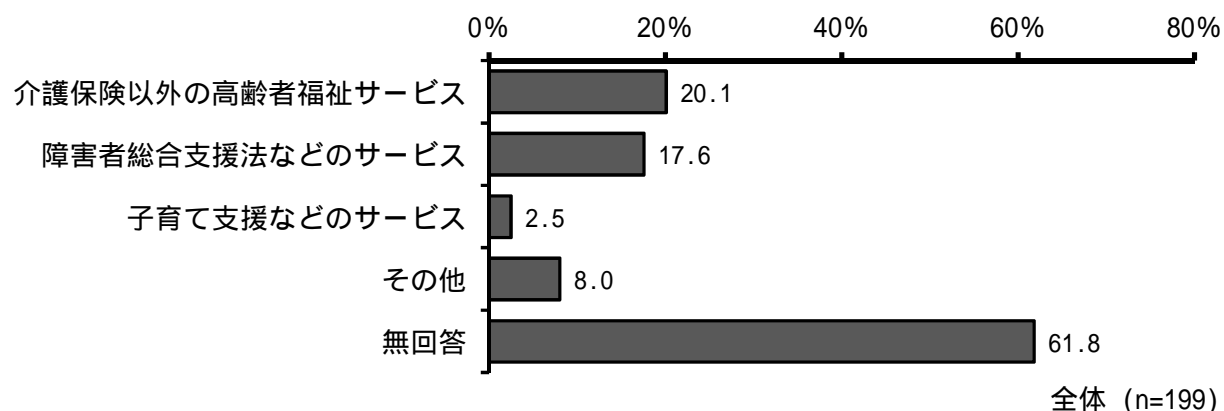
問1(2) 前記以外の介護保険サービスを提供していますか。(いくつでも)

- ・「居宅介護支援事業所」(19.1%)が最も多く、次いで「訪問介護」(18.6%)、「短期入所生活介護」(10.6%)、「通所介護」(9.5%)、「介護老人福祉施設」(9.0%)と続いている。



問1(3) 介護保険以外のサービスを提供されていますか。(いくつでも)

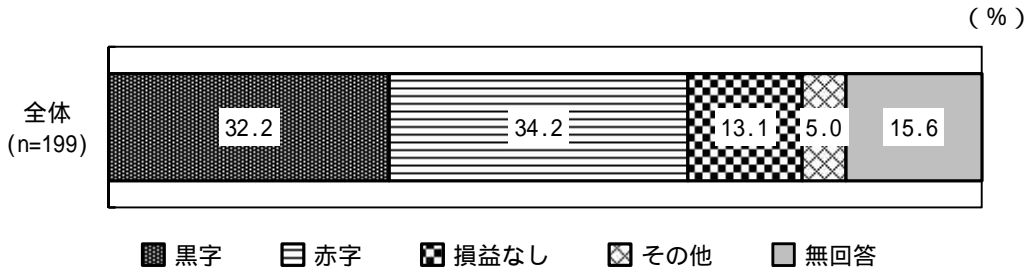
- ・「介護保険以外の高齢者福祉サービス」(20.1%)が最も多く、次いで「障害者総合支援法などのサービス」(17.6%)、「子育て支援などのサービス」(2.5%)となっている。



(2) 事業運営について

問2 貴事業所の昨年度の事業採算について、お答えなければお答えください。(1つに)

- ・「黒字」が32.2%、「赤字」が34.2%、「損益なし」が13.1%となっている。
- ・『地域密着型通所介護』『居宅介護支援事業所』などでは、「黒字」より「赤字」の割合が高い。

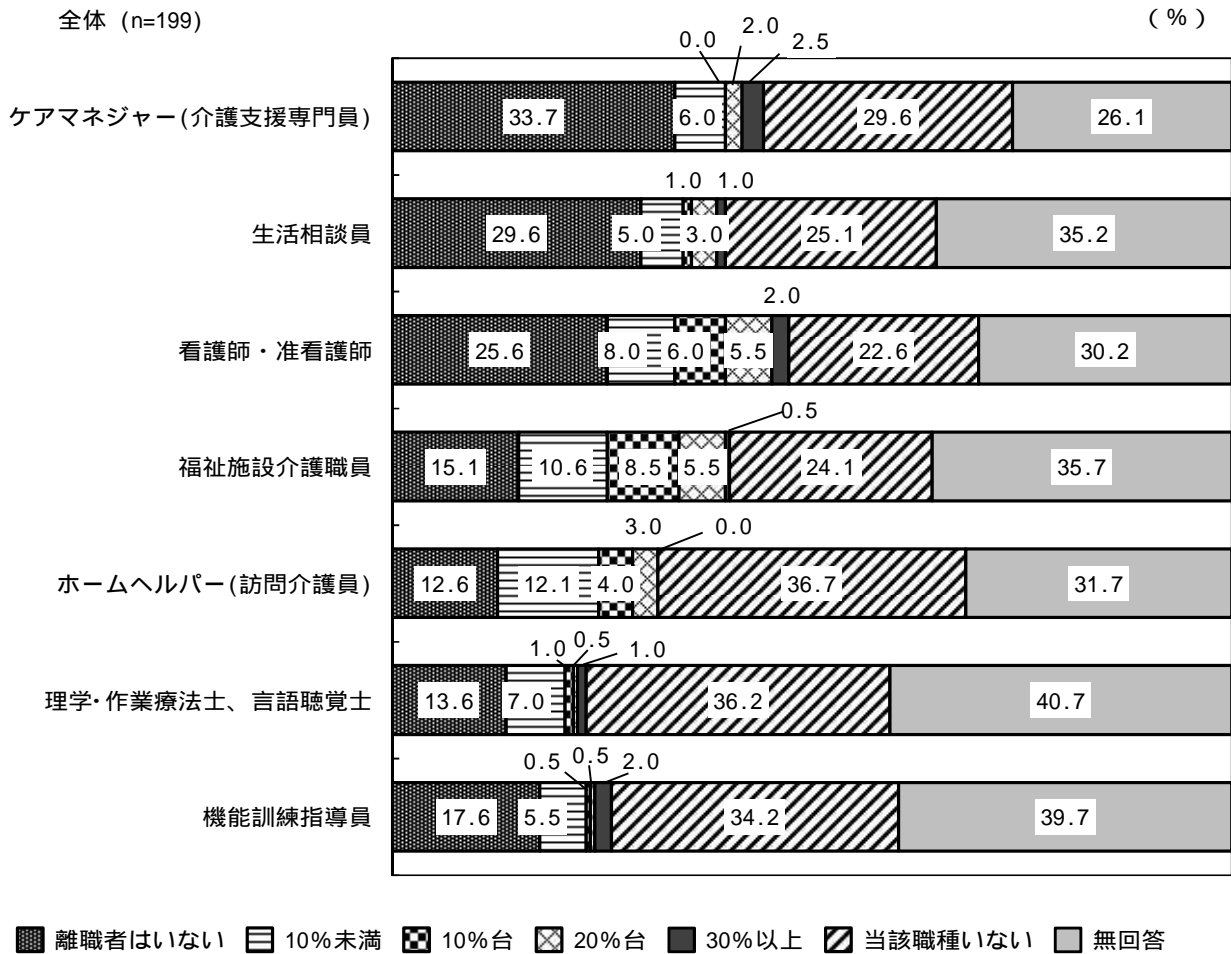


		黒字	赤字	損益なし	その他	無回答
全 体	(n=199)	32.2%	34.2%	13.1%	5.0%	15.6%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	32.6%	32.6%	16.3%	0.0%	18.6%
	訪問看護 (n=17)	35.3%	29.4%	17.6%	5.9%	11.8%
	通所介護 (n=19)	47.4%	36.8%	0.0%	0.0%	15.8%
	通所リハビリテーション (n=6)	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%
	福祉用具 (n=5)	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	23.8%	42.9%	14.3%	4.8%	14.3%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	31.4%	45.7%	8.6%	2.9%	11.4%

問3 貴事業所における職員の離職状況などについてお答えください。

(1) 昨年1年間(平成30年10月1日~令和元年9月30日)の職種(業務区分)別の離職状況

- ・「離職者はいない」の割合は、『ケアマネジャー(介護支援専門員)』(33.7%)が最も多く、次いで『生活相談員』(29.6%)、『看護師・准看護師』(25.6%)、『機能訓練指導員』(17.6%)、『福祉施設介護職員』(15.1%)と続いている。
- ・一方、離職率が10%以上(「10%台」「20%台」「30%以上」を合わせたもの)の割合は、『福祉施設介護職員』(14.5%)が最も多く、次いで『看護師・准看護師』(13.5%)、『ホームヘルパー(訪問介護員)』(7.0%)、『生活指導員』(5.0%)となっている。

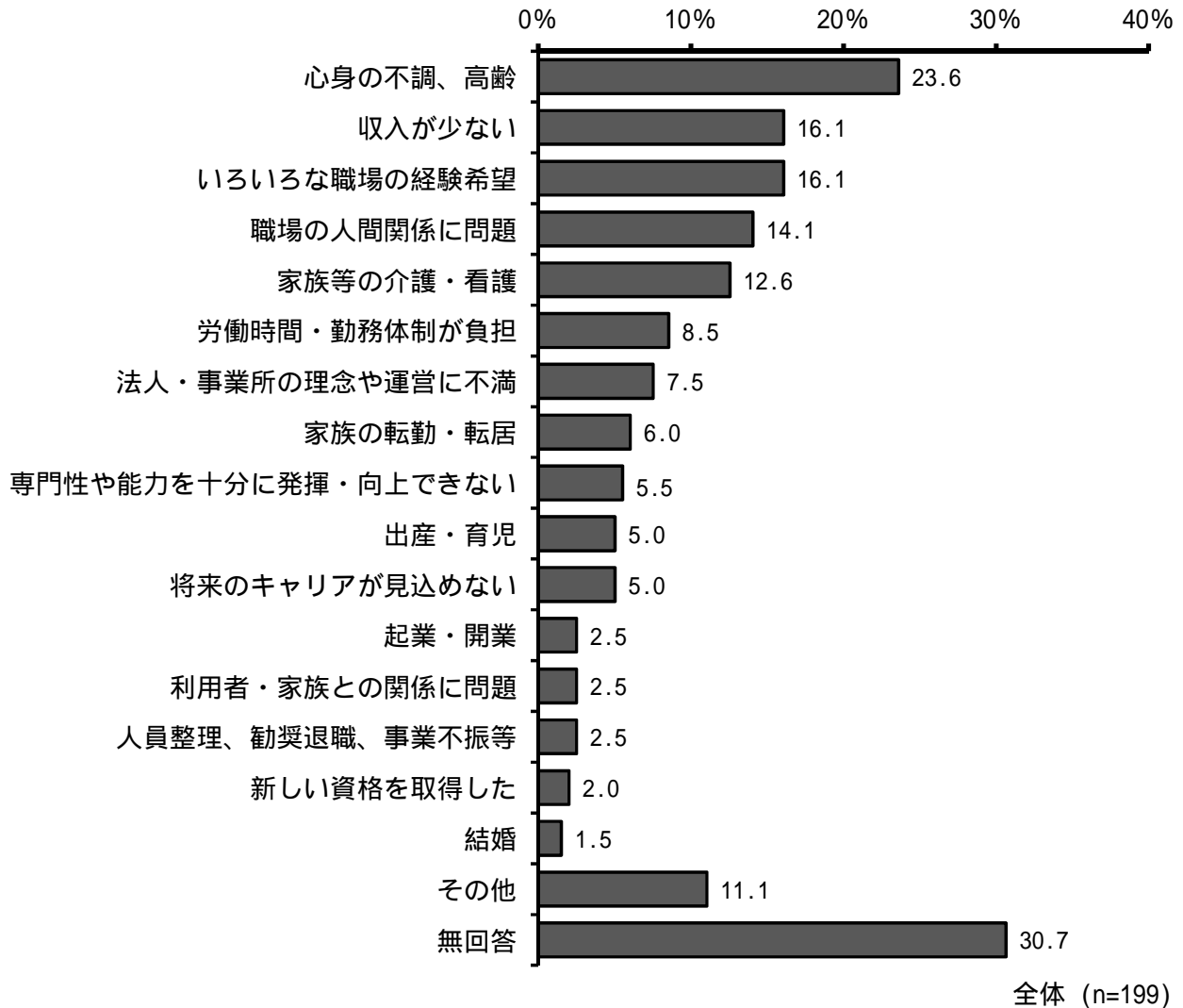


・『居宅介護支援事業所』のケアマネジャーの「離職者がいない」割合は、62.9%となっている。

		ケアマネジャー（介護支援専門員）						
		離職者が いない	10%未満	10%台	20%台	30%以上	当該職種い ない	無回答
全体	(n=199)	33.7%	6.0%	0.0%	2.0%	2.5%	29.6%	26.1%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	11.6%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	37.2%	48.8%
	訪問看護 (n=17)	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.4%	58.8%
	通所介護 (n=19)	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.2%	21.1%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	62.9%	14.3%	0.0%	11.4%	8.6%	0.0%	2.9%
		生活相談員						
全体	(n=199)	29.6%	5.0%	1.0%	3.0%	1.0%	25.1%	35.2%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	2.3%	2.3%	0.0%	2.3%	2.3%	39.5%	51.2%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	58.8%
	通所介護 (n=19)	63.2%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	5.3%	10.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	61.9%	9.5%	9.5%	9.5%	0.0%	0.0%	9.5%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	65.7%
		看護師・准看護師						
全体	(n=199)	25.6%	8.0%	6.0%	5.5%	2.0%	22.6%	30.2%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	4.7%	0.0%	2.3%	2.3%	0.0%	41.9%	48.8%
	訪問看護 (n=17)	35.3%	29.4%	11.8%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%
	通所介護 (n=19)	47.4%	26.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	47.6%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	19.0%	23.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%	62.9%
		福祉施設介護職員						
全体	(n=199)	15.1%	10.6%	8.5%	5.5%	0.5%	24.1%	35.7%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	37.2%	53.5%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	58.8%
	通所介護 (n=19)	26.3%	21.1%	15.8%	10.5%	5.3%	5.3%	15.8%
	地域密着型通所介護 (n=21)	42.9%	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	28.6%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%	65.7%
		ホームヘルパー（訪問介護員）						
全体	(n=199)	12.6%	12.1%	4.0%	3.0%	0.0%	36.7%	31.7%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	30.2%	41.9%	11.6%	7.0%	0.0%	4.7%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	35.3%	52.9%
	通所介護 (n=19)	5.3%	0.0%	5.3%	5.3%	0.0%	57.9%	26.3%
	地域密着型通所介護 (n=21)	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.4%	33.3%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	25.7%	62.9%
		理学療法士、作業療法士、言語聴覚士						
全体	(n=199)	13.6%	7.0%	1.0%	0.5%	1.0%	36.2%	40.7%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.2%	53.5%
	訪問看護 (n=17)	35.3%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	17.6%
	通所介護 (n=19)	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	52.6%	26.3%
	地域密着型通所介護 (n=21)	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	47.6%	38.1%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%	65.7%
		機能訓練指導員						
全体	(n=199)	17.6%	5.5%	0.5%	0.5%	2.0%	34.2%	39.7%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	41.9%	53.5%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	58.8%
	通所介護 (n=19)	36.8%	21.1%	5.3%	0.0%	5.3%	15.8%	15.8%
	地域密着型通所介護 (n=21)	57.1%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	14.3%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.4%	65.7%

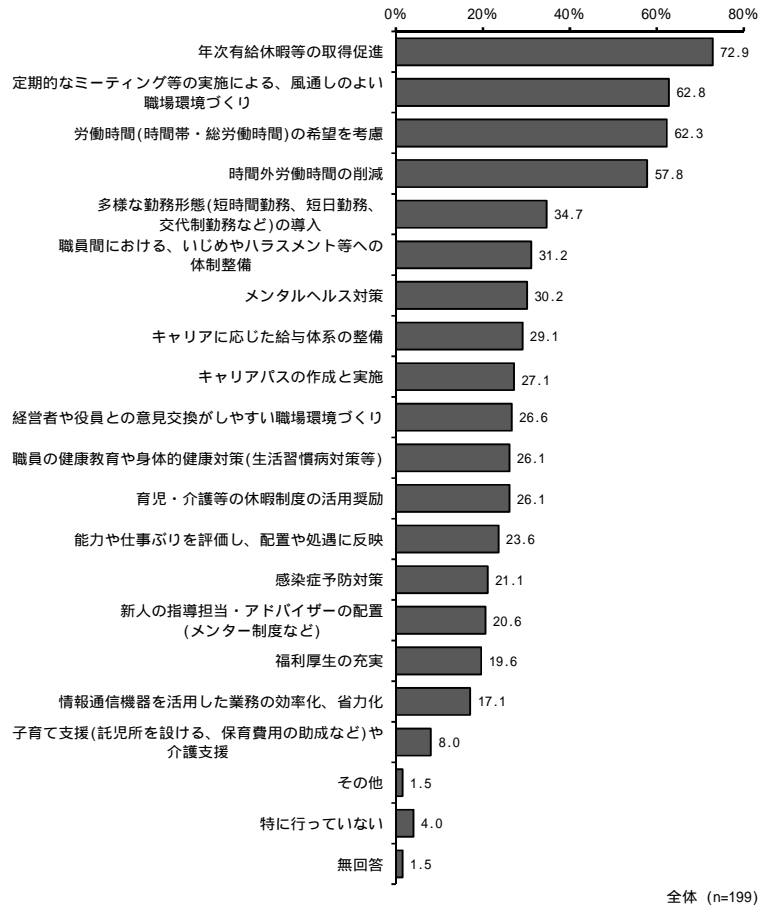
問3(2) 把握している範囲で結構ですので、離職理由についてお答えください。(いくつでも)

- ・「心身の不調、高齢」(23.6%)が最も多く、次いで「収入が少ない」と「いろいろな職場の経験希望」(ともに16.1%)、「職場の人間関係に問題」(14.1%)、「家族等の介護・看護」(12.6%)と続いている。



問3 (3) 離職者がいないようにしている工夫について、お答えください。(いくつでも)

- ・「年次有給休暇等の取得促進」(72.9%)が最も多く、次いで「定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり」(62.8%)、「労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を考慮」(62.3%)、「時間外労働時間の削減」(57.8%)と続いている。
- ・「特に行っていない」は4.0%となっている。



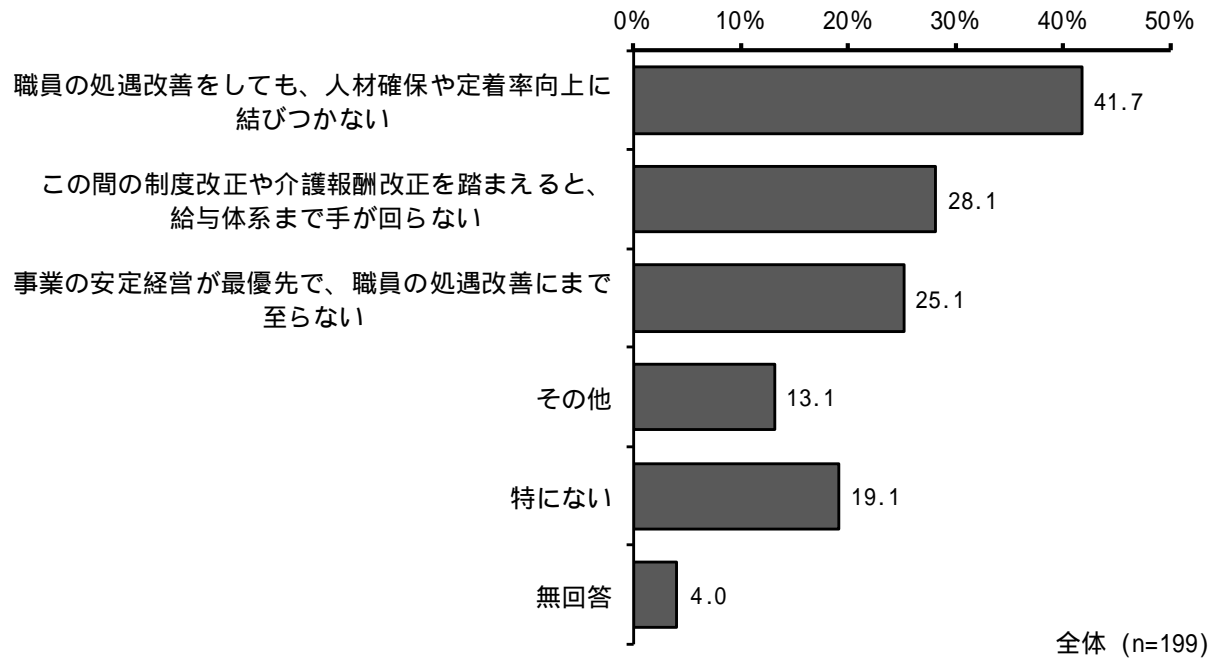
- ・「メンタルヘルス対策」割合は、9.5% (地域密着型通所介護) から 100.0% (短期入所生活介護) まで、大きな差がみられる。

	を労働時間(時間帯・総労働時間)の希望	時間外労働時間の削減	年次有給休暇等の取得促進	習熟病対策等	感染症予防対策	職員間の健康教育や身体的健康対策(生活)	多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代勤務など)の導入	メンタルヘルス対策	育児・介護等の休暇制度の活用奨励	子育支援(託児所を設ける、保育費用)	多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代勤務など)の導入	新人の指導担当・アドバイザーの配置(メンター制度など)	キャリアパスの作成と実施	能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映	キャリアに応じた給与体系の整備	経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくり	定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり	福利厚生の充実	情報通信機器を活用した業務の効率化	その他	特に行っていない	無回答	
全体 (n=199)	62.3%	57.8%	72.9%	26.1%	21.1%	31.2%	30.2%	26.1%	23.6%	8.0%	34.7%	20.6%	27.1%	23.6%	29.1%	26.6%	62.8%	19.6%	17.1%	1.5%	4.0%	1.5%	
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	67.4%	48.8%	74.4%	23.3%	14.0%	27.9%	23.3%	14.0%	9.3%	27.9%	20.9%	27.9%	30.2%	23.3%	27.9%	60.5%	25.6%	18.6%	0.0%	2.3%	2.3%	
	訪問看護 (n=17)	70.6%	70.6%	94.1%	23.5%	29.4%	29.4%	17.6%	41.2%	11.8%	41.2%	11.8%	17.6%	23.5%	52.9%	29.4%	70.6%	35.3%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	通所介護 (n=19)	78.9%	63.2%	78.9%	36.8%	31.6%	68.4%	42.1%	36.8%	15.8%	52.6%	26.3%	36.8%	31.6%	31.6%	42.1%	78.9%	15.8%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	
	通所リハビリテーション (n=6)	66.7%	83.3%	100.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	66.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	80.0%	60.0%	60.0%	60.0%	40.0%	20.0%	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	66.7%	77.8%	88.9%	11.1%	44.4%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	77.8%	33.3%	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%	88.9%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
宛名以外サービス数	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	62.5%	62.5%	62.5%	50.0%	62.5%	87.5%	62.5%	25.0%	50.0%	50.0%	75.0%	50.0%	62.5%	37.5%	87.5%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	
	地域密着型通所介護 (n=21)	85.7%	66.7%	61.9%	23.8%	23.8%	14.3%	9.5%	19.0%	14.3%	38.1%	14.3%	38.1%	47.6%	47.6%	38.1%	76.2%	14.3%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	居宅介護支援事業所 (n=35)	34.3%	42.9%	57.1%	20.0%	5.7%	17.1%	14.3%	20.0%	2.9%	20.0%	2.9%	2.9%	0.0%	11.4%	14.3%	54.3%	8.6%	8.6%	0.0%	20.0%	0.0%	
	なし(無回答を含む) (n=98)	67.3%	58.2%	71.4%	16.3%	14.3%	27.6%	21.4%	15.3%	5.1%	32.7%	20.4%	21.4%	25.5%	31.6%	32.7%	63.3%	20.4%	17.3%	1.0%	4.1%	3.1%	
介護保険以外のサービス	1サービス(計2) (n=43)	62.8%	55.8%	69.8%	30.2%	32.6%	27.9%	25.6%	32.6%	11.6%	39.5%	18.6%	25.6%	25.6%	27.9%	25.6%	69.8%	20.9%	14.0%	0.0%	4.7%	0.0%	
	2サービス(計3) (n=22)	54.5%	59.1%	81.8%	36.4%	18.2%	36.4%	36.4%	18.2%	4.5%	31.8%	9.1%	31.8%	4.5%	4.5%	13.6%	59.1%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	52.8%	58.3%	75.0%	41.7%	27.8%	41.7%	55.6%	52.8%	13.9%	36.1%	30.6%	41.7%	27.8%	38.9%	19.4%	55.6%	22.2%	19.4%	5.6%	0.0%	0.0%	
	高齢者福祉サービス (n=40)	65.0%	42.5%	70.0%	37.5%	30.0%	45.0%	50.0%	37.5%	15.0%	42.5%	27.5%	40.0%	37.5%	42.5%	37.5%	70.0%	27.5%	20.0%	5.0%	0.0%	2.5%	
昨年度事業採算	黒字 (n=64)	78.1%	65.6%	81.3%	25.0%	25.0%	31.3%	34.4%	37.5%	15.6%	46.9%	21.9%	32.8%	26.6%	32.8%	28.1%	78.1%	26.8%	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	赤字 (n=68)	63.2%	55.9%	64.7%	36.8%	20.6%	32.4%	30.9%	19.1%	5.9%	29.4%	16.2%	25.0%	22.1%	33.8%	32.4%	64.7%	23.5%	8.8%	4.4%	7.4%	0.0%	
	損益なし (n=26)	42.3%	61.5%	80.8%	19.2%	7.7%	19.2%	26.9%	30.8%	3.8%	30.8%	15.4%	19.2%	19.2%	23.1%	23.1%	46.2%	11.5%	23.1%	0.0%	3.8%	7.7%	
その他 (n=10)	50.0%	60.0%	60.0%	20.0%	50.0%	50.0%	50.0%	40.0%	10.0%	40.0%	60.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	30.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問4 貴事業所では、職員の処遇改善を行ううえで、どのような課題があると考えていますか。

(いくつでも)

- ・「職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」(41.7%)が最も多く、次いで「この間の制度改正や介護報酬改正を踏まえると、給与体系まで手が回らない」(28.1%)、「事業の安定経営が最優先で、職員の処遇改善にまで至らない」(25.1%)となっている。
- ・「特にない」は19.1%となっている。
- ・「職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」の割合は、特に『訪問介護』(62.8%)で高くなっている。

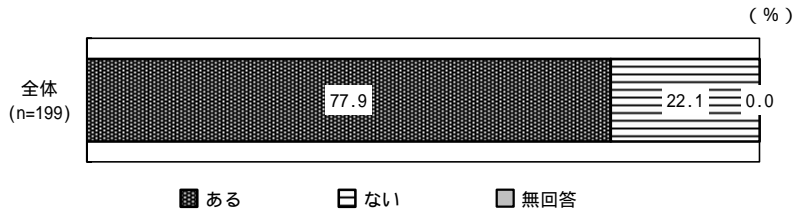


		事業の安定経営が最優先で、職員の処遇改善にまで至らない	職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない	この間の制度改正や介護報酬改正を踏まえると、給与体系まで手が回らない	その他	特にない	無回答
全体	(n=199)	25.1%	41.7%	28.1%	13.1%	19.1%	4.0%
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	23.3%	62.8%	14.0%	0.0%	18.6%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	41.2%	41.2%	17.6%	23.5%	11.8%	5.9%
	通所介護 (n=19)	31.6%	21.1%	31.6%	15.8%	36.8%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	23.8%	33.3%	38.1%	19.0%	19.0%	4.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	20.0%	28.6%	37.1%	8.6%	25.7%	5.7%
昨年度事業採算	黒字 (n=64)	15.6%	46.9%	14.1%	18.8%	21.9%	1.6%
	赤字 (n=68)	30.9%	39.7%	39.7%	14.7%	10.3%	0.0%
	損益なし (n=26)	26.9%	42.3%	23.1%	0.0%	30.8%	7.7%
	その他 (n=10)	40.0%	40.0%	40.0%	30.0%	20.0%	0.0%

(3) サービス提供における課題について

問5 サービス提供で困難だったケースがありましたか。(1つに)

- ・「ある」が77.9%、「ない」が22.1%となっている。
- ・「ある」の割合が最も低いのは、『通所リハビリテーション』(50.0%)となっている。

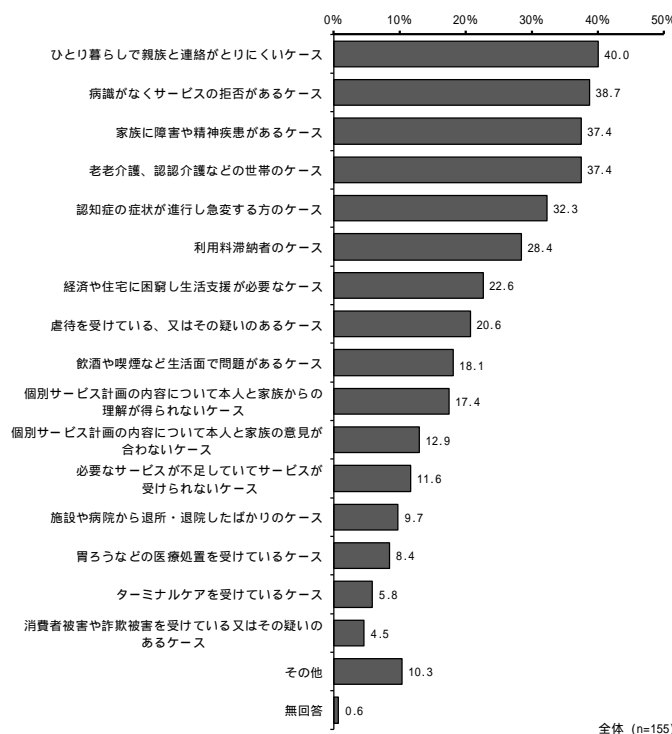


		ある	ない	無回答
全体	(n=199)	77.9%	22.1%	0.0%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	74.4%	25.6%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	88.2%	11.8%	0.0%
	通所介護 (n=19)	78.9%	21.1%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	50.0%	50.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	60.0%	40.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	55.6%	44.4%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	100.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	37.5%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	81.0%	19.0%	0.0%
居宅介護支援事業所 (n=35)	100.0%	0.0%	0.0%	

問5で「ある」とお答えの事業所におたずねします

問5-1 それはどのようなケースですか。(いくつでも)

- ・「ひとり暮らしで親族と連絡がとりにくいケース」(40.0%)が最も多く、次いで「病識がなくサービスの拒否があるケース」(38.7%)、「家族に障害や精神疾患があるケース」「老老介護、認認介護などの世帯のケース」(ともに37.4%)、「認知症の症状が進行し急変する方のケース」(32.3%)と続いている。



問5-2 前記のケース対応にあたり、必要な行政支援としてどのようなことが考えられますか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、81件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
市や包括との連携（困難ケースに対する市、包括、各事業所間での連携、担当者会議）	28
保険外サービス・緊急対応（保険外サービスや緊急対応、措置対応など）	7
経済支援（経済的支援（対利用者））	7
相談窓口・情報発信の充実	6
質の向上（ケアマネや介護職に対する研修、質の向上）	6
独居・家族支援（親族等がない人に対する支援、家族がかかえている問題、家族との問題）	6
認知症	5
サービスの充実（医療ニーズ、訪問、安否確認）	4
利用者（利用者本位、権利擁護）	3
その他	7
特になし	2

問6 実事業所では介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）のサービスを提供していますか。（1つに）

- ・「訪問型」が25.1%、「通所型」が20.1%、「提供していない」が50.3%となっている。
- ・『訪問介護（事業所）』の72.1%、『通所介護（事業所）』の73.7%が総合事業を提供している。

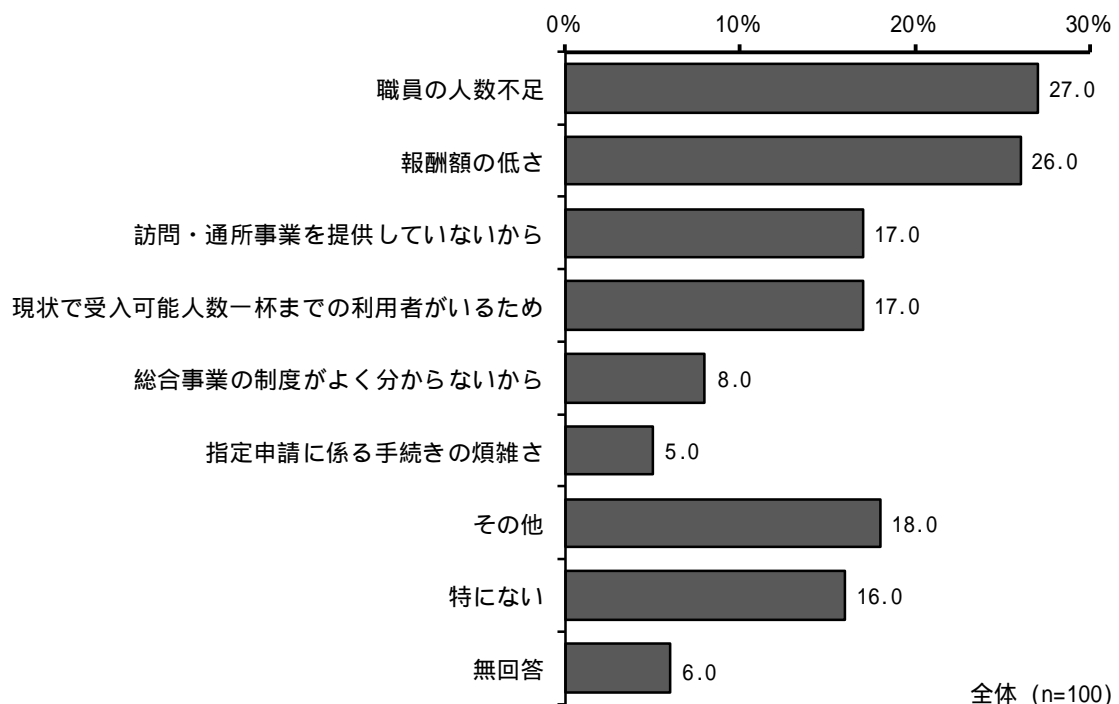


		訪問型	通所型	提供していない	無回答
全体	(n=199)	25.1%	20.1%	50.3%	4.5%
宛名記載サービス	訪問介護	(n=43) 72.1%	4.7%	23.3%	0.0%
	通所介護	(n=19) 0.0%	73.7%	21.1%	5.3%
	地域密着型通所介護	(n=21) 0.0%	42.9%	57.1%	0.0%

問6で「提供していない」とお答えの事業所におたずねします

問6-1 総合事業のサービスを提供しない理由は何ですか。（いくつでも）

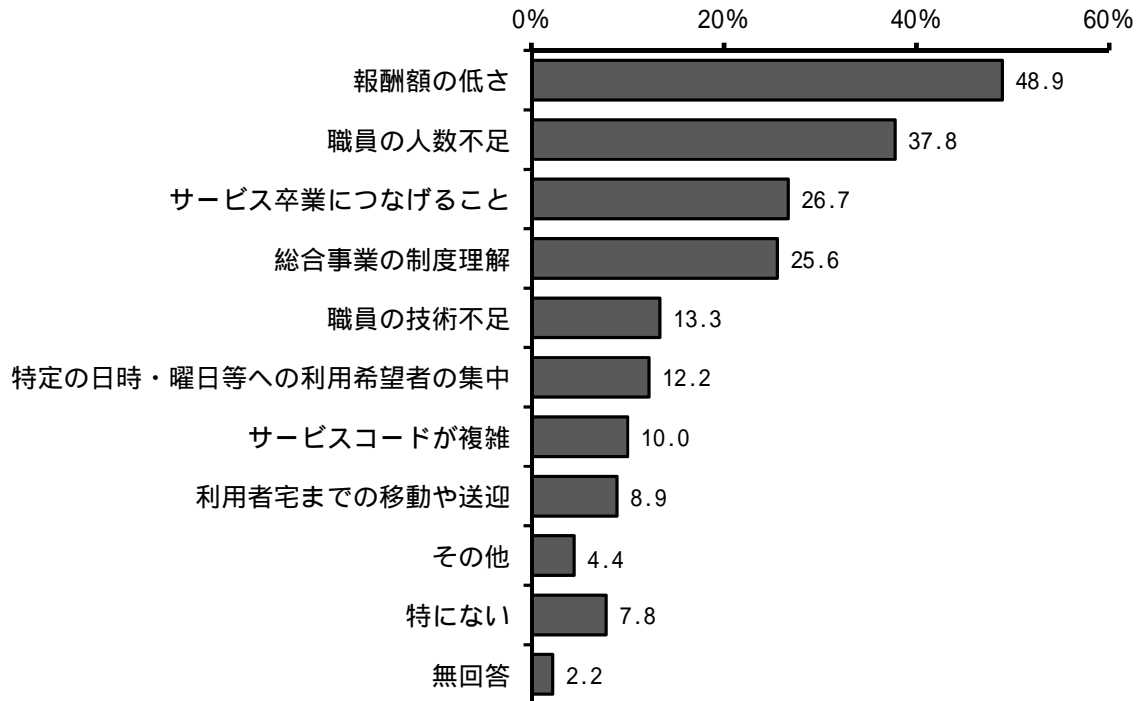
- ・「職員の人数不足」(27.0%)が最も多く、次いで「報酬額の低さ」(26.0%)、「訪問・通所事業を提供していないから」「現状で受入可能人数一杯までの利用者があるため」(ともに17.0%)、と続いている。
- ・一方、「特にない」は16.0%となっている。



問6で「訪問型」又は「通所型」(提供している)とお答えの事業所におたずねします

問6-2 総合事業のサービスを提供していくうえで、どのような課題がありますか。

- ・「報酬額の低さ」(48.9%)が最も多く、次いで「職員の人数不足」(37.8%)、「サービス卒業につなげること」(26.7%)、「総合事業の制度理解」(25.6%)と続いている。
- ・「特にない」は7.8%となっている。

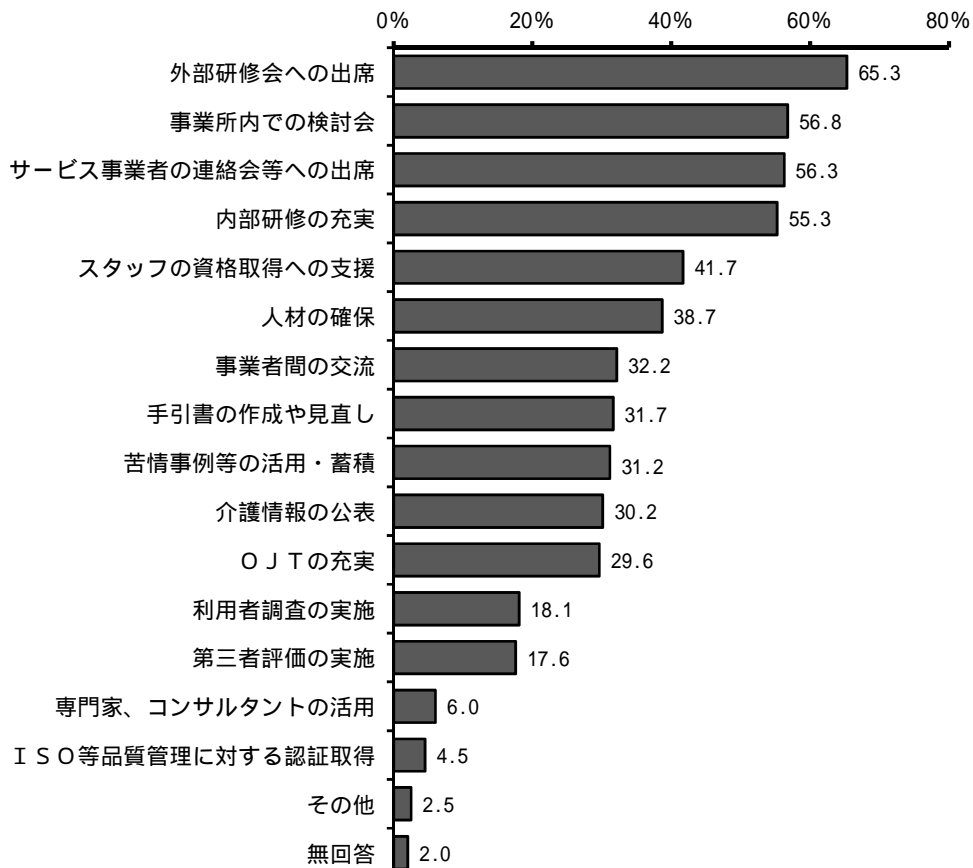


全体 (n=90)

(4) サービスの質の向上と人材確保に向けた取組について

問7 貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(いくつでも)

- ・「外部研修会への出席」(65.3%)が最も多く、次いで「事業所内での検討会」(56.8%)、「サービス事業者の連絡会等への出席」(56.3%)、「内部研修の充実」(55.3%)、「スタッフの資格取得への支援」(41.7%)と続いている。
- ・「外部研修会への出席」の割合は、特に『居宅介護支援事業所』(85.7%)の割合が高い。

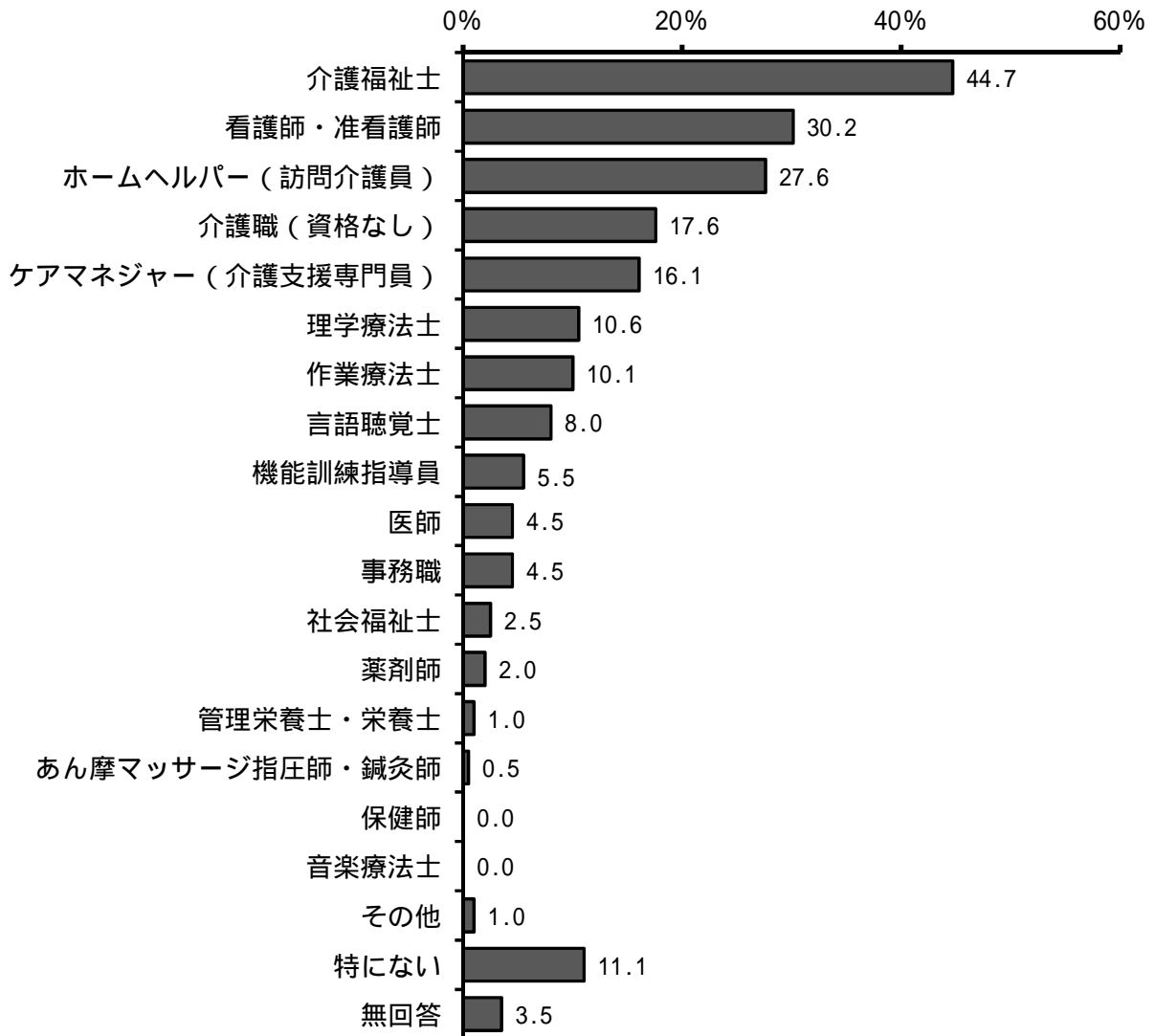


全体 (n=199)

		(%)													
		新規採用枠の拡大	中途採用枠の拡大	就業時間の見直し	福利厚生	賃金面の充実	研修会への参加支援	資格取得の支援	苦情・相談体制の充実	職員間の助け合い制度	事業所内で人員確保	社外の協力体制の整備	求人広告掲載	その他	無回答
全体	(n=199)	23.6	40.2	16.1	16.1	30.2	26.6	37.7	12.1	6.5	16.1	3.5	46.7	8.0	6.0
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	23.3	34.9	9.3	25.6	51.2	27.9	48.8	11.6	4.7	18.6	7.0	53.5	4.7	0.0
	訪問看護 (n=17)	17.6	41.2	35.3	23.5	29.4	52.9	11.8	11.8	23.5	11.8	0.0	52.9	11.8	0.0
	通所介護 (n=19)	15.8	36.8	21.1	10.5	31.6	21.1	47.4	10.5	10.5	26.3	5.3	68.4	0.0	0.0
	地域密着型通所介護 (n=21)	19.0	28.6	38.1	14.3	38.1	28.6	38.1	28.6	9.5	9.5	4.8	52.4	4.8	4.8
	居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9	17.1	5.7	14.3	20.0	28.6	28.6	2.9	0.0	2.9	2.9	28.6	8.6	25.7
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	20.4	41.8	21.4	17.3	30.6	23.5	33.7	15.3	7.1	13.3	2.0	46.9	5.1	7.1
	1サービス(計2) (n=43)	25.6	37.2	9.3	14.0	37.2	27.9	39.5	7.0	4.7	27.9	2.3	48.8	0.0	9.3
	2サービス(計3) (n=22)	27.3	45.5	4.5	13.6	13.6	31.8	36.4	9.1	4.5	9.1	4.5	40.9	13.6	0.0
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	27.8	36.1	16.7	16.7	30.6	30.6	47.2	11.1	8.3	13.9	8.3	47.2	22.2	2.8

問8 貴事業所において、特に人材確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも)

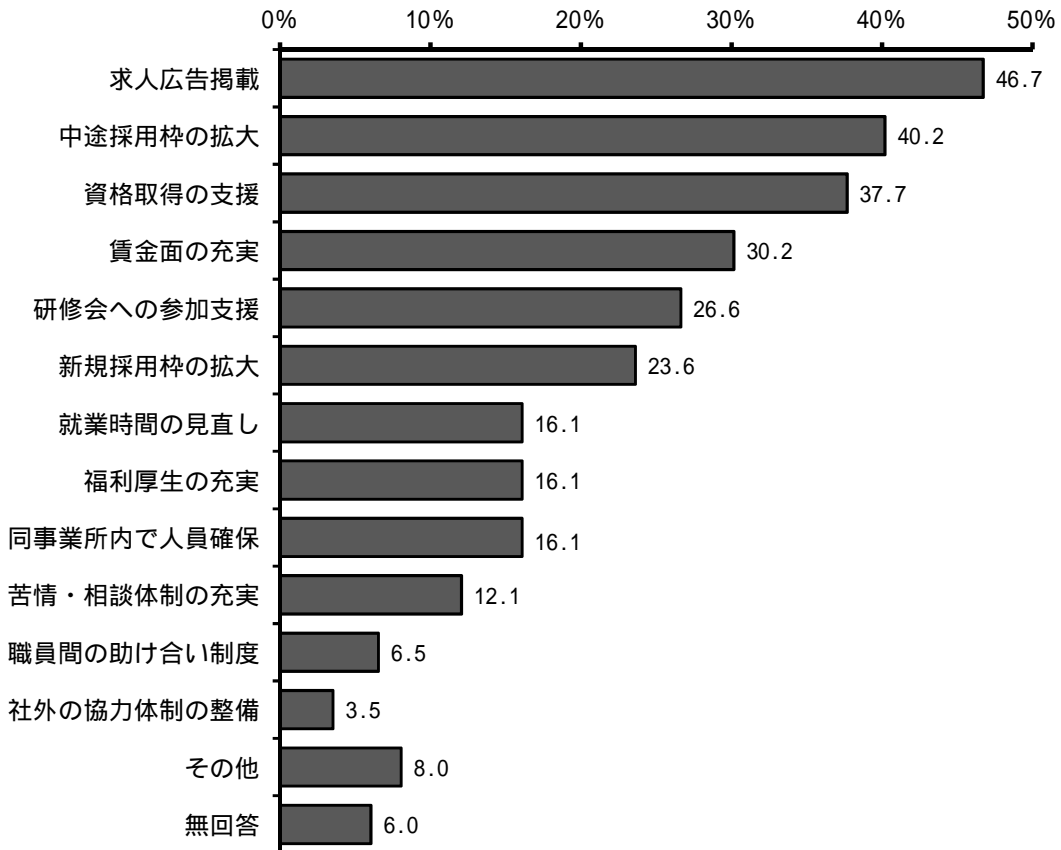
- ・「介護福祉士」(44.7%)が最も多く、次いで「看護師・准看護師」(30.2%)、「ホームヘルパー(訪問介護員)」(27.6%)、「介護職(資格なし)」(17.6%)、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」(16.1%)と続いている。
- ・「特にない」は11.1%となっている。



全体 (n=199)

問9 人材を確保するためにどのような取組を行っていますか。(いくつでも)

- ・「求人広告掲載」(46.7%)が最も多く、次いで「中途採用枠の拡大」(40.2%)、「資格取得の支援」(37.7%)、「賃金面の充実」(30.2%)、「研修会への参加支援」(26.6%)と続いている。
- ・「求人広告掲載」の割合は、『通所介護』(68.4%)で高く、『居宅介護支援事業所』(28.6%)で低い。

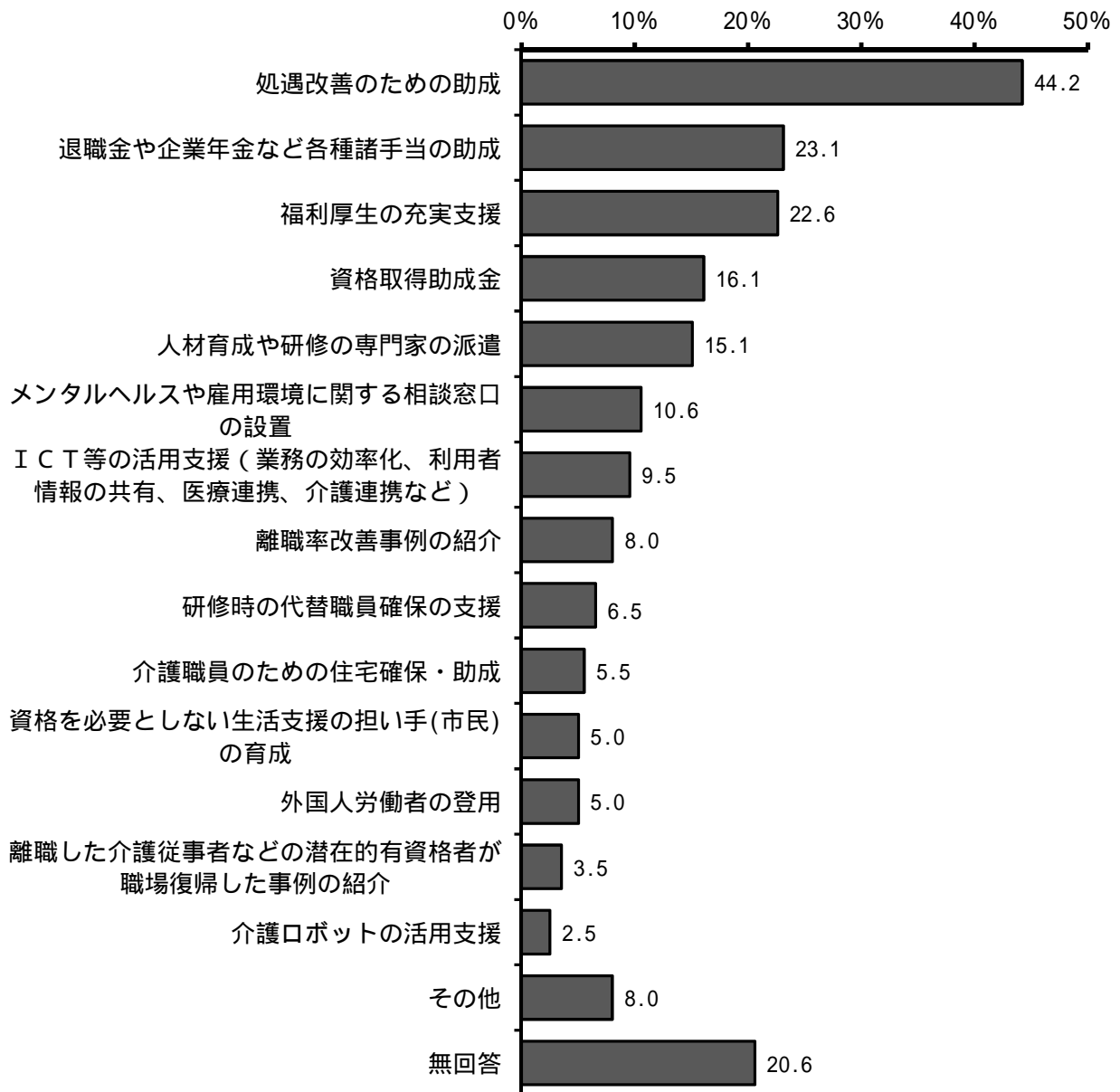


全体 (n=199)

		新規採用枠の拡大	中途採用枠の拡大	就業時間の見直し	福利厚生の充実	賃金面の充実	研修会への参加支援	資格取得の支援	苦情・相談体制の充実	職員間の助け合い制度	同事業所内で人員確保	社外の協力体制の整備	求人広告掲載	その他	無回答
全体 (n=199)		23.6	40.2	16.1	16.1	30.2	26.6	37.7	12.1	6.5	16.1	3.5	46.7	8.0	6.0
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	23.3	34.9	9.3	25.6	51.2	27.9	48.8	11.6	4.7	18.6	7.0	53.5	4.7	0.0
	訪問看護 (n=17)	17.6	41.2	35.3	23.5	29.4	52.9	11.8	11.8	23.5	11.8	0.0	52.9	11.8	0.0
	通所介護 (n=19)	15.8	36.8	21.1	10.5	31.6	21.1	47.4	10.5	10.5	26.3	5.3	68.4	0.0	0.0
	地域密着型通所介護 (n=21)	19.0	28.6	38.1	14.3	38.1	28.6	38.1	28.6	9.5	9.5	4.8	52.4	4.8	4.8
	居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9	17.1	5.7	14.3	20.0	28.6	28.6	2.9	0.0	2.9	2.9	28.6	8.6	25.7
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	20.4	41.8	21.4	17.3	30.6	23.5	33.7	15.3	7.1	13.3	2.0	46.9	5.1	7.1
	1サービス(計2) (n=43)	25.6	37.2	9.3	14.0	37.2	27.9	39.5	7.0	4.7	27.9	2.3	48.8	0.0	9.3
	2サービス(計3) (n=22)	27.3	45.5	4.5	13.6	13.6	31.8	36.4	9.1	4.5	9.1	4.5	40.9	13.6	0.0
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	27.8	36.1	16.7	16.7	30.6	30.6	47.2	11.1	8.3	13.9	8.3	47.2	22.2	2.8

問10 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、様々な支援策がありますが、有効と考えられるものは何ですか。(3つまでに)

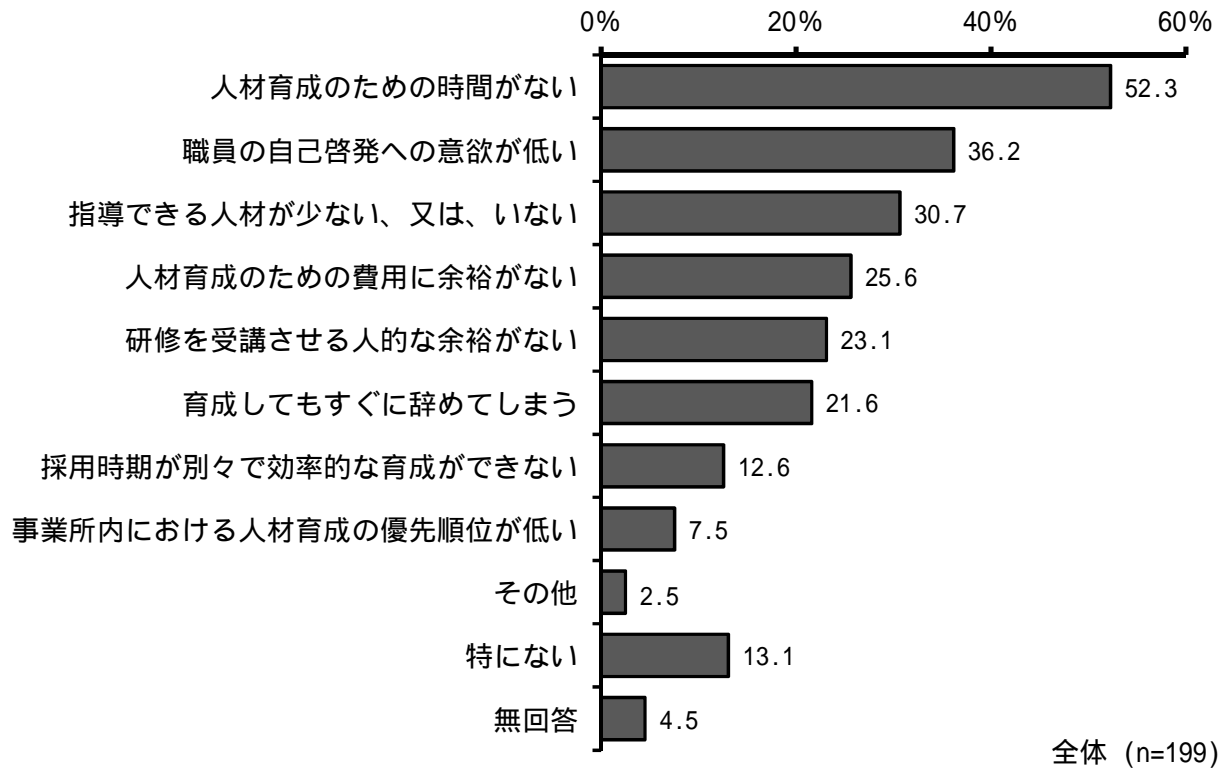
- ・「処遇改善のための助成」(44.2%)が最も多く、次いで「退職金や企業年金など各種諸手当の助成」(23.1%)、「福利厚生充実支援」(22.6%)、「資格取得助成金」(16.1%)、「人材育成や研修の専門家の派遣」(15.1%)と続いている。



全体 (n=199)

問11 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。(いくつかでも)

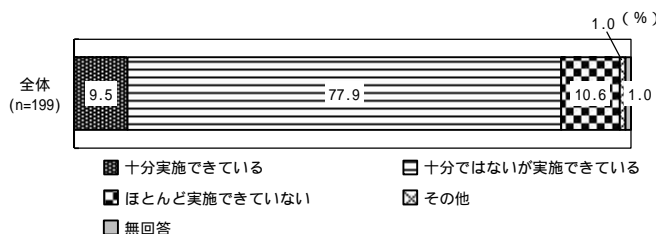
- ・「人材育成のための時間がない」(52.3%)が最も多く、次いで「職員の自己啓発への意欲が低い」(36.2%)、「指導できる人材が少ない、又は、いない」(30.7%)、「人材育成のための費用に余裕がない」(25.6%)と続いている。
- ・「特にない」は13.1%となっている。
- ・「人材育成のための時間がない」割合は、『通所介護』(73.7%)で高くなっている。



		い 人 材 育 成 の た め の 時 間 が な い	裕 が な い 人 材 育 成 の た め の 費 用 に 余	低 職 員 の 自 己 啓 発 へ の 意 欲 が	の 事 業 所 内 に お け る 人 材 育 成 の 優 先 順 位 が 低 い	又 は 、 指 導 で き る 人 材 が 少 な い 、	採 用 時 期 が 別 々 で 効 率 的 な	ま 育 成 し て も す ぐ に 辞 め て し	裕 が な い 研 修 を 受 講 さ せ る 人 的 な 余	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	(n=199)	52.3%	25.6%	36.2%	7.5%	30.7%	12.6%	21.6%	23.1%	2.5%	13.1%	4.5%
宛名記載 サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	53.5%	20.9%	34.9%	2.3%	27.9%	11.6%	23.3%	23.3%	0.0%	14.0%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	47.1%	11.8%	17.6%	5.9%	23.5%	17.6%	29.4%	35.3%	5.9%	5.9%	5.9%
	通所介護 (n=19)	73.7%	21.1%	42.1%	10.5%	42.1%	15.8%	21.1%	36.8%	0.0%	5.3%	5.3%
	地域密着型通所介護 (n=21)	57.1%	57.1%	33.3%	0.0%	23.8%	4.8%	28.6%	33.3%	0.0%	4.8%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	45.7%	17.1%	20.0%	11.4%	22.9%	8.6%	17.1%	5.7%	2.9%	14.3%	8.6%
宛名以外 サービス 数	なし(無回答を含む) (n=98)	54.1%	25.5%	33.7%	3.1%	27.6%	12.2%	25.5%	24.5%	3.1%	12.2%	3.1%
	1サービス(計2) (n=43)	51.2%	23.3%	37.2%	9.3%	32.6%	14.0%	16.3%	30.2%	2.3%	9.3%	9.3%
	2サービス(計3) (n=22)	40.9%	31.8%	22.7%	13.6%	22.7%	13.6%	9.1%	4.5%	0.0%	36.4%	4.5%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	55.6%	25.0%	50.0%	13.9%	41.7%	11.1%	25.0%	22.2%	2.8%	5.6%	2.8%

問12 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに)

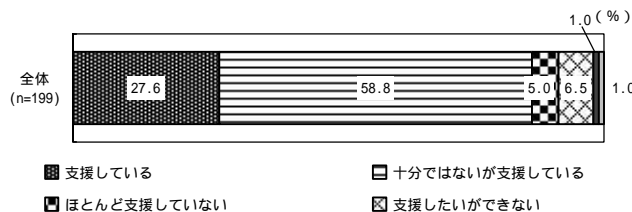
- ・「十分実施できている」が9.5%、「十分ではないが実施できている」が77.9%、「ほとんど実施できていない」が10.6%となっている。
- ・「十分実施できている」割合は、『宛名以外サービス数が3以上(サービス提供数が計4以上)』の事業所では25.0%となっている。



		十分実施できている	十分ではないが実施できている	ほとんど実施できていない	その他	無回答
全 体	(n=199)	9.5%	77.9%	10.6%	1.0%	1.0%
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	14.0%	72.1%	14.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	70.6%	17.6%	5.9%	5.9%
	通所介護 (n=19)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	9.5%	76.2%	14.3%	0.0%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	11.4%	65.7%	17.1%	2.9%	2.9%
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	6.1%	79.6%	13.3%	1.0%	0.0%
	1サービス(計2) (n=43)	9.3%	74.4%	14.0%	0.0%	2.3%
	2サービス(計3) (n=22)	0.0%	90.9%	4.5%	0.0%	4.5%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	25.0%	69.4%	2.8%	2.8%	0.0%

問13 外部の研修や事例検討、勉強会について、非常勤を含む職員が積極的に参加できるよう支援していますか。支援していない場合は、その理由を具体的に書きください。(1つに)

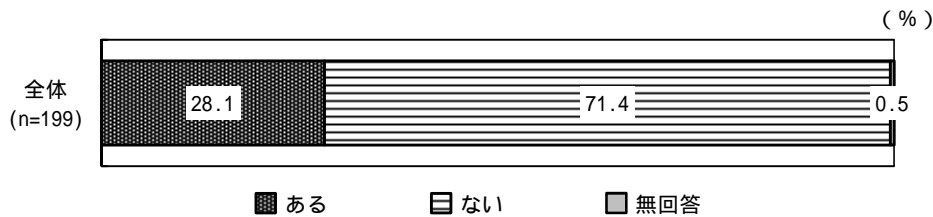
- ・「支援している」(27.6%)、「十分ではないが支援している」(58.8%)を合わせた割合は86.4%となっている。
- ・「ほとんど支援していない」(5.0%)、「支援したいができない」(6.5%)を合わせた割合は11.5%となっている。
- ・「支援している」は、『訪問看護』(41.2%)、『居宅介護支援事業所』(42.9%)で高くなっている。



		支援している	十分ではないが支援している	ほとんど支援していない	支援したいができない	その他	無回答
全 体	(n=199)	27.6%	58.8%	5.0%	6.5%	1.0%	1.0%
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	18.6%	72.1%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	41.2%	35.3%	0.0%	17.6%	0.0%	5.9%
	通所介護 (n=19)	21.1%	57.9%	5.3%	15.8%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	14.3%	52.4%	14.3%	9.5%	9.5%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	26.5%	53.1%	9.2%	9.2%	2.0%	0.0%
	1サービス(計2) (n=43)	27.9%	62.8%	0.0%	4.7%	0.0%	4.7%
	2サービス(計3) (n=22)	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	30.6%	61.1%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%

問14 貴事業所では福祉サービス第三者評価を受審したことがありますか。(1つに)

- ・「ある」が28.1%、「ない」が71.4%となっている。
- ・提供サービス数(宛名以外のサービス数)が多いほど、受審率(「ある」の割合)が高くなっている。

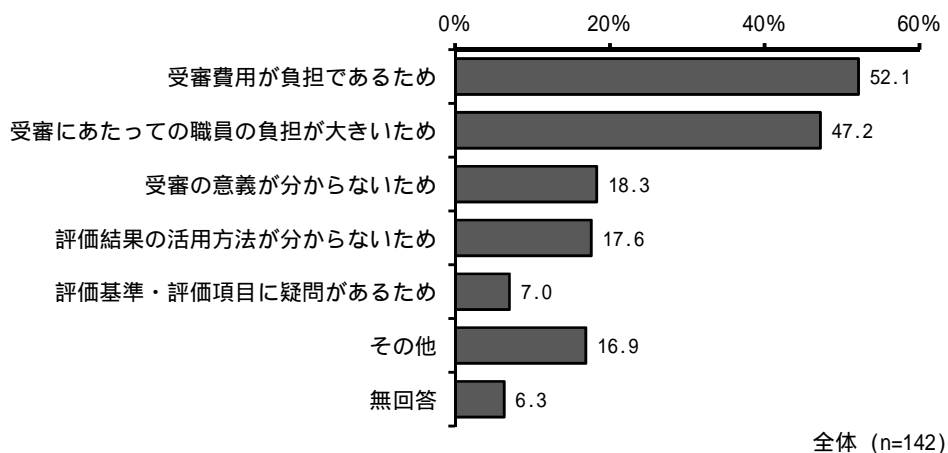


		ある	ない	無回答
全 体	(n=199)	28.1%	71.4%	0.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	14.0%	86.0%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	5.9%	88.2%	5.9%
	通所介護 (n=19)	31.6%	68.4%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	50.0%	50.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	100.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	11.1%	88.9%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	100.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	87.5%	12.5%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	14.3%	85.7%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	28.6%	71.4%	0.0%
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	15.3%	84.7%	0.0%
	1サービス(計2) (n=43)	23.3%	74.4%	2.3%
	2サービス(計3) (n=22)	27.3%	72.7%	0.0%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	69.4%	30.6%	0.0%

問14で「ない」とお答えの事業所におたずねします

問14-1 受審をしたことがないのはなぜですか。(いくつでも)

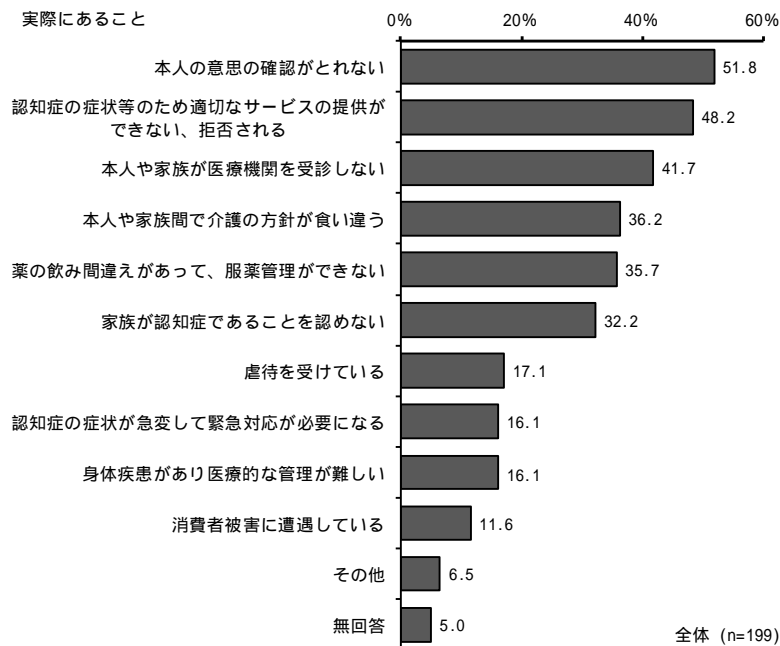
- ・「受審費用が負担であるため」(52.1%)が最も多く、次いで「受審にあたっての職員の負担が大きいため」(47.2%)、「受審の意義が分からないため」(18.3%)、「評価結果の活用方法が分からないため」(17.6%)と続いている。



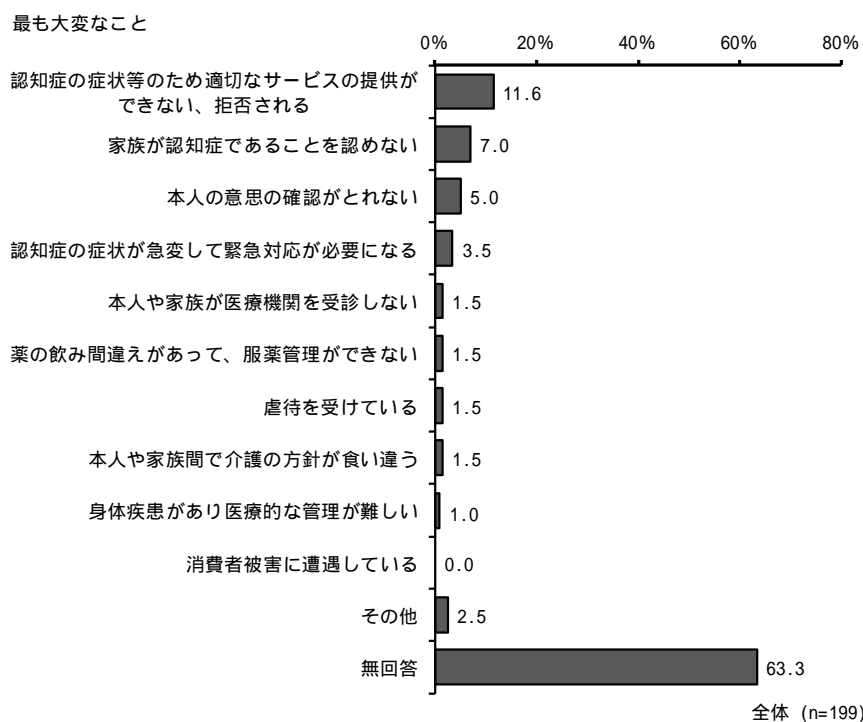
(5) 認知症患者のサービス利用について

問15 認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも、最も大変なことに)

- ・実際にあることは、「本人の意思の確認がとれない」(51.8%)が最も多く、次いで「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(48.2%)、「本人や家族が医療機関を受診しない」(41.7%)、「本人や家族間で介護の方針が食い違う」(36.2%)、「薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない」(35.7%)と続いている。



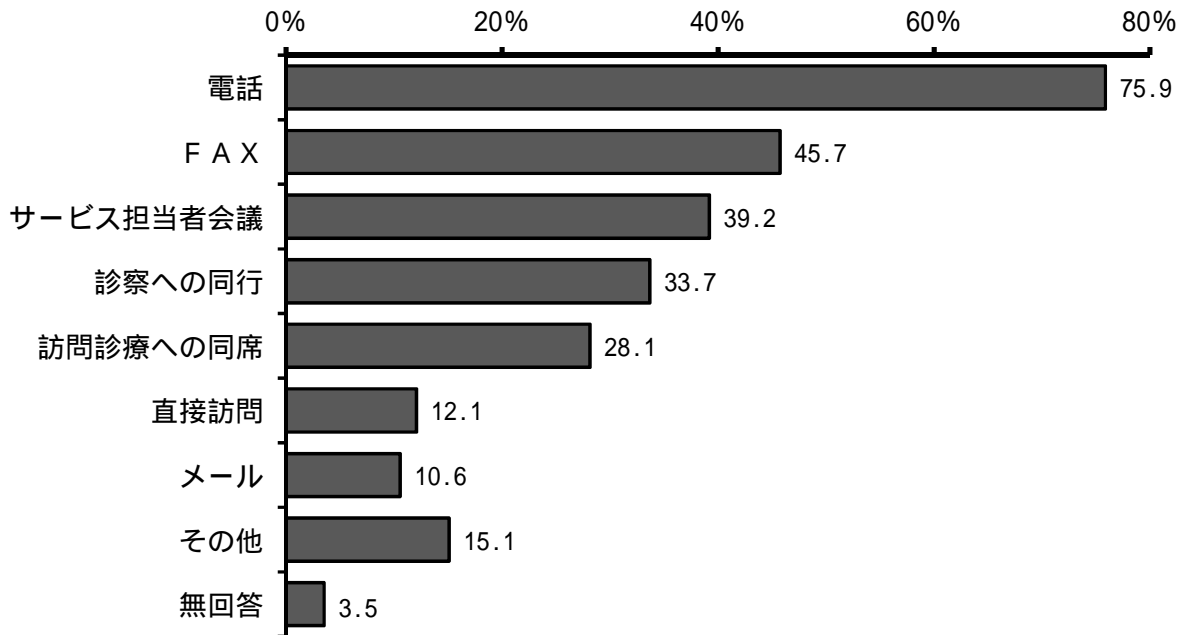
- ・最も大変なことは、「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(11.6%)が最も多く、次いで「家族が認知症であることを認めない」(7.0%)、「本人の意思の確認がとれない」(5.0%)、「認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる」(3.5%)と続いている。



問16 貴事業所では、医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。

(いくつでも)

- ・「電話」(75.9%)が最も多く、次いで「FAX」(45.7%)、「サービス担当者会議」(39.2%)、「診察への同行」(33.7%)、「訪問診療への同席」(28.1%)と続いている。
- ・『福祉用具(事業所)』では、「電話」(20.0%)の割合が低く、「サービス担当者会議」(80.0%)の割合が高くなっている。



全体 (n=199)

		電話	FAX	メール	診察への同行	訪問診療への同席	サービス担当者会議	直接訪問	その他	無回答
全体	(n=199)	75.9%	45.7%	10.6%	33.7%	28.1%	39.2%	12.1%	15.1%	3.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	53.5%	30.2%	11.6%	39.5%	16.3%	65.1%	4.7%	9.3%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	100.0%	82.4%	23.5%	5.9%	47.1%	47.1%	29.4%	11.8%	0.0%
	通所介護 (n=19)	73.7%	36.8%	10.5%	10.5%	0.0%	52.6%	5.3%	26.3%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	88.9%	44.4%	11.1%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	100.0%	87.5%	12.5%	87.5%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	61.9%	14.3%	9.5%	14.3%	4.8%	33.3%	4.8%	14.3%	14.3%
居宅介護支援事業所 (n=35)	88.6%	65.7%	11.4%	74.3%	77.1%	25.7%	31.4%	25.7%	0.0%	
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	65.3%	35.7%	10.2%	24.5%	23.5%	39.8%	8.2%	16.3%	4.1%
	1サービス(計2) (n=43)	79.1%	53.5%	14.0%	44.2%	39.5%	44.2%	14.0%	7.0%	7.0%
	2サービス(計3) (n=22)	90.9%	50.0%	4.5%	45.5%	31.8%	27.3%	13.6%	18.2%	0.0%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	91.7%	61.1%	11.1%	38.9%	25.0%	38.9%	19.4%	19.4%	0.0%

問17 貴事業所では、認知症患者の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに)

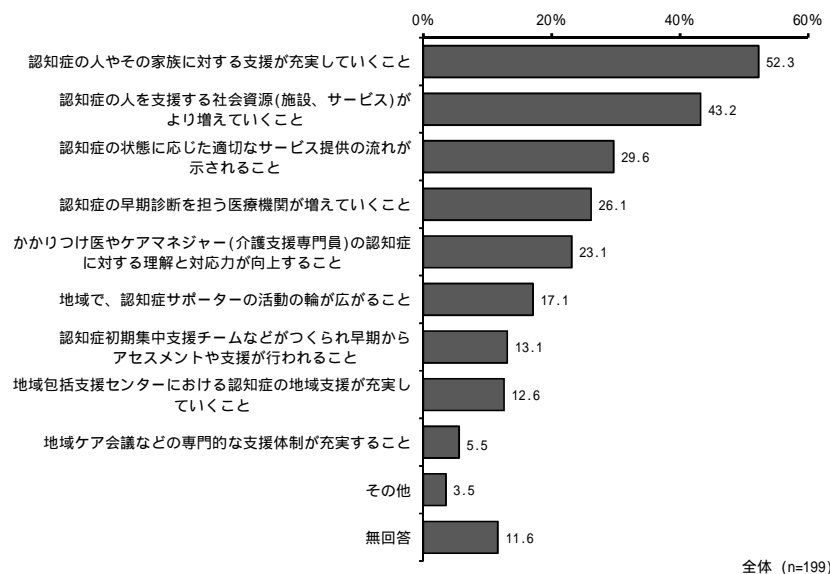
- ・「とれている」(12.1%)、「まあまあとれている」(37.7%)を合わせた割合は49.8%となっている。一方、「あまりとれていない」(38.2%)、「とれていない」(10.1%)を合わせた割合は48.3%となっている。
- ・「とれている・まあまあとれている」は、『通所介護』(21.1%)、『福祉用具』(20.0%)、『地域密着型通所介護』(19.0%)の割合が低い。一方『特定施設入所者生活介護』では合わせて100.0%(33.3%、66.7%)となっている。



		とれている	まあまあとれている	あまりとれていない	とれていない	無回答
全 体	(n=199)	12.1%	37.7%	38.2%	10.1%	2.0%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	9.3%	34.9%	37.2%	16.3%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	5.9%	64.7%	23.5%	0.0%	5.9%
	通所介護 (n=19)	5.3%	15.8%	68.4%	10.5%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	19.0%	47.6%	33.3%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	11.4%	45.7%	42.9%	0.0%	0.0%

問18 今後、認知症患者の支援にあたり、必要になることは次のどれですか。(3つまでに)

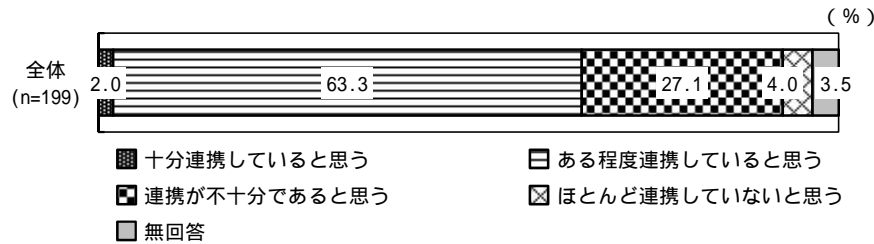
- ・「認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと」(52.3%)が最も多く、次いで「認知症の人を支援する社会資源(施設、サービス)がより増えていくこと」(43.2%)、「認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること」(29.6%)、「認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと」(26.1%)、「かかりつけ医やケアマネジャー(介護支援専門員)の認知症に対する理解と対応力が向上すること」(23.1%)と続いている。



(6) 医療と介護の連携の状況について

問 19 市内の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに)

- ・「十分連携していると思う」(2.0%)、「ある程度連携していると思う」(63.3%)を合わせた割合は65.3%となっている。一方、「連携が不十分であると思う」(27.1%)、「ほとんど連携していないと思う」(4.0%)を合わせた割合は31.1%となっている。
- ・『地域密着型通所介護』では、「十分連携していると思う・ある程度連携していると思う」(33.3%)が低くなっている。

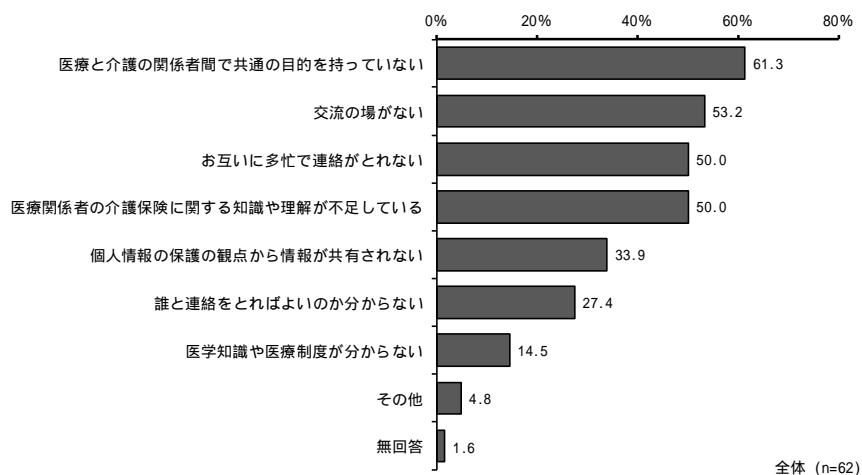


		十分連携していると思う	ある程度連携していると思う	連携が不十分であると思う	ほとんど連携していないと思う	無回答
全体	(n=199)	2.0%	63.3%	27.1%	4.0%	3.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	0.0%	65.1%	27.9%	4.7%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%
	通所介護 (n=19)	0.0%	68.4%	26.3%	0.0%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	22.2%	66.7%	0.0%	11.1%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	0.0%	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	33.3%	38.1%	23.8%	4.8%
居宅介護支援事業所 (n=35)	0.0%	77.1%	22.9%	0.0%	0.0%	

問 19 で「連携が不十分であると思う」又は「ほとんど連携していないと思う」とお答えの事業所におたずねします

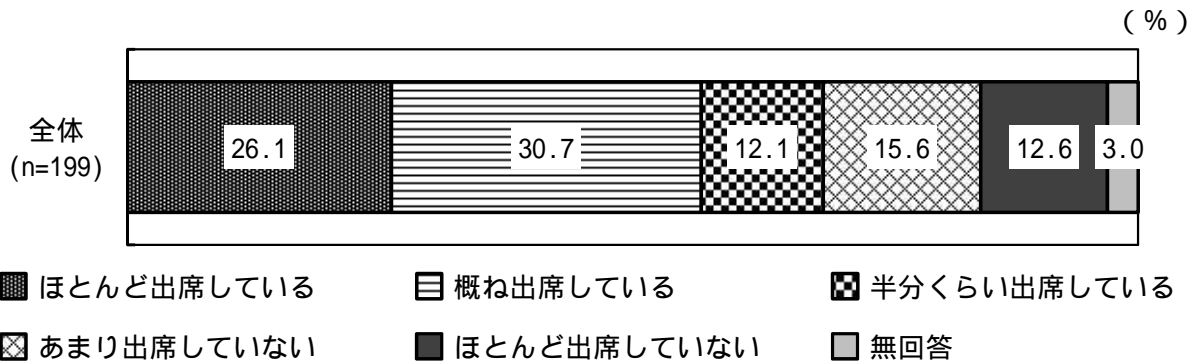
問 19-1 そのように思う理由は何ですか。(いくつでも)

- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない」(61.3%)が最も多く、次いで「交流の場がない」(53.2%)、「お互いに多忙で連絡がとれない」「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」(ともに 50.0%)、「個人情報の保護の観点から情報が共有されない」(33.9%)と続いている。



問20 貴事業所では、退院前(時)カンファレンスにどれくらいの頻度で出席していますか。(1つに)

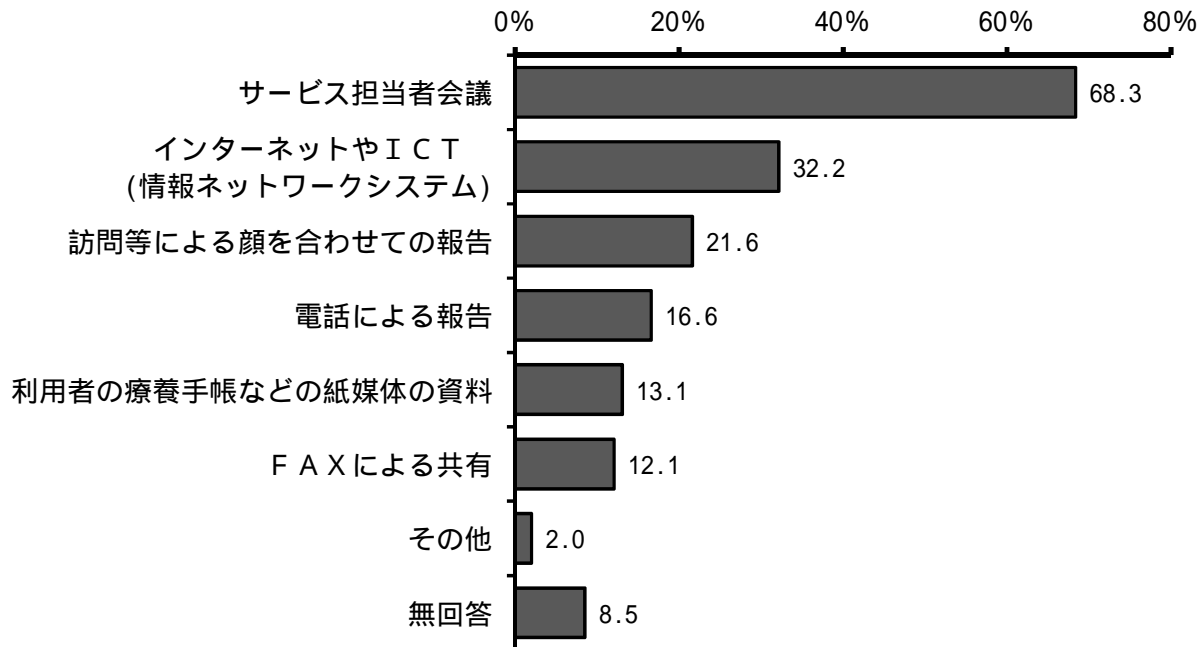
- ・「ほとんど出席している」(26.1%)、「概ね出席している」(30.7%)を合わせた割合は56.8%となっている。一方、「あまり出席していない」(15.6%)、「ほとんど出席していない」(12.6%)を合わせた割合は28.2%となっている。
- ・「ほとんど出席している・概ね出席している」割合は、『訪問看護』(82.3%)や『福祉用具』(80.0%)、『居宅介護支援事業所』(80.0%)で高くなっている。



		ほとんど出席している	概ね出席している	半分くらい出席している	あまり出席していない	ほとんど出席していない	無回答
全体	(n=199)	26.1%	30.7%	12.1%	15.6%	12.6%	3.0%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	18.6%	27.9%	7.0%	18.6%	23.3%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	64.7%	17.6%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%
	通所介護 (n=19)	10.5%	26.3%	26.3%	21.1%	10.5%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	22.2%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	12.5%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	9.5%	28.6%	4.8%	23.8%	28.6%	4.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	42.9%	37.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問21 貴事業所では、医療と介護の連携を図るうえで利用者の情報の共有化をどのような方法で進めると良いとお考えですか。(2つまでに)

- ・「サービス担当者会議」(68.3%)が最も多く、次いで「インターネットやICT(情報ネットワークシステム)」(32.2%)、「訪問等による顔を合わせての報告」(21.6%)と続いている。
- ・「サービス担当者会議」の割合は、『訪問介護』(93.0%)で高くなっている。

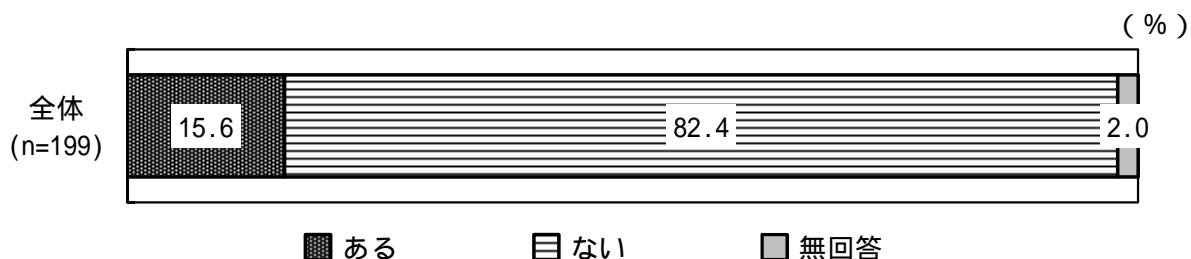


全体 (n=199)

		サービス担当者会議	利用者の療養手帳などの紙媒体の資料	インターネットやICT (情報ネットワークシステム)	訪問等による顔を合わせての報告	電話による報告	FAXによる共有	その他	無回答
全体 (n=199)		68.3%	13.1%	32.2%	21.6%	16.6%	12.1%	2.0%	8.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	93.0%	18.6%	23.3%	27.9%	11.6%	7.0%	0.0%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	76.5%	11.8%	29.4%	17.6%	23.5%	5.9%	0.0%	11.8%
	通所介護 (n=19)	73.7%	26.3%	31.6%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	10.5%
	通所リハビリテーション (n=6)	66.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	60.0%	0.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	76.2%	23.8%	38.1%	19.0%	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%
居宅介護支援事業所 (n=35)	48.6%	2.9%	37.1%	28.6%	31.4%	20.0%	2.9%	11.4%	
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	67.3%	13.3%	31.6%	26.5%	16.3%	9.2%	2.0%	7.1%
	1サービス(計2) (n=43)	74.4%	14.0%	23.3%	25.6%	23.3%	11.6%	2.3%	7.0%
	2サービス(計3) (n=22)	63.6%	18.2%	27.3%	9.1%	13.6%	18.2%	4.5%	18.2%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	66.7%	8.3%	47.2%	11.1%	11.1%	16.7%	0.0%	8.3%

問22 貴事業所では、医療機関（診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに）

- ・「ある」が15.6%、「ない」が82.4%となっている。
- ・『訪問看護』では、「ある」(47.1%)割合が高くなっている。



		ある	ない	無回答
全 体	(n=199)	15.6%	82.4%	2.0%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	4.7%	95.3%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	47.1%	52.9%	0.0%
	通所介護 (n=19)	10.5%	89.5%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	16.7%	83.3%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	0.0%	100.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	11.1%	88.9%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	100.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	12.5%	87.5%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	9.5%	90.5%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	28.6%	65.7%	5.7%

《問22で「ある」とお答えの事業所におたずねします》

問22-1 どのような問題やトラブルが発生しましたか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、30件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
連絡・情報共有、意思疎通、意見相違、	26
指示書、情報提供書に関すること	1
金銭的なこと	1
入退院に関すること	1
その他	1

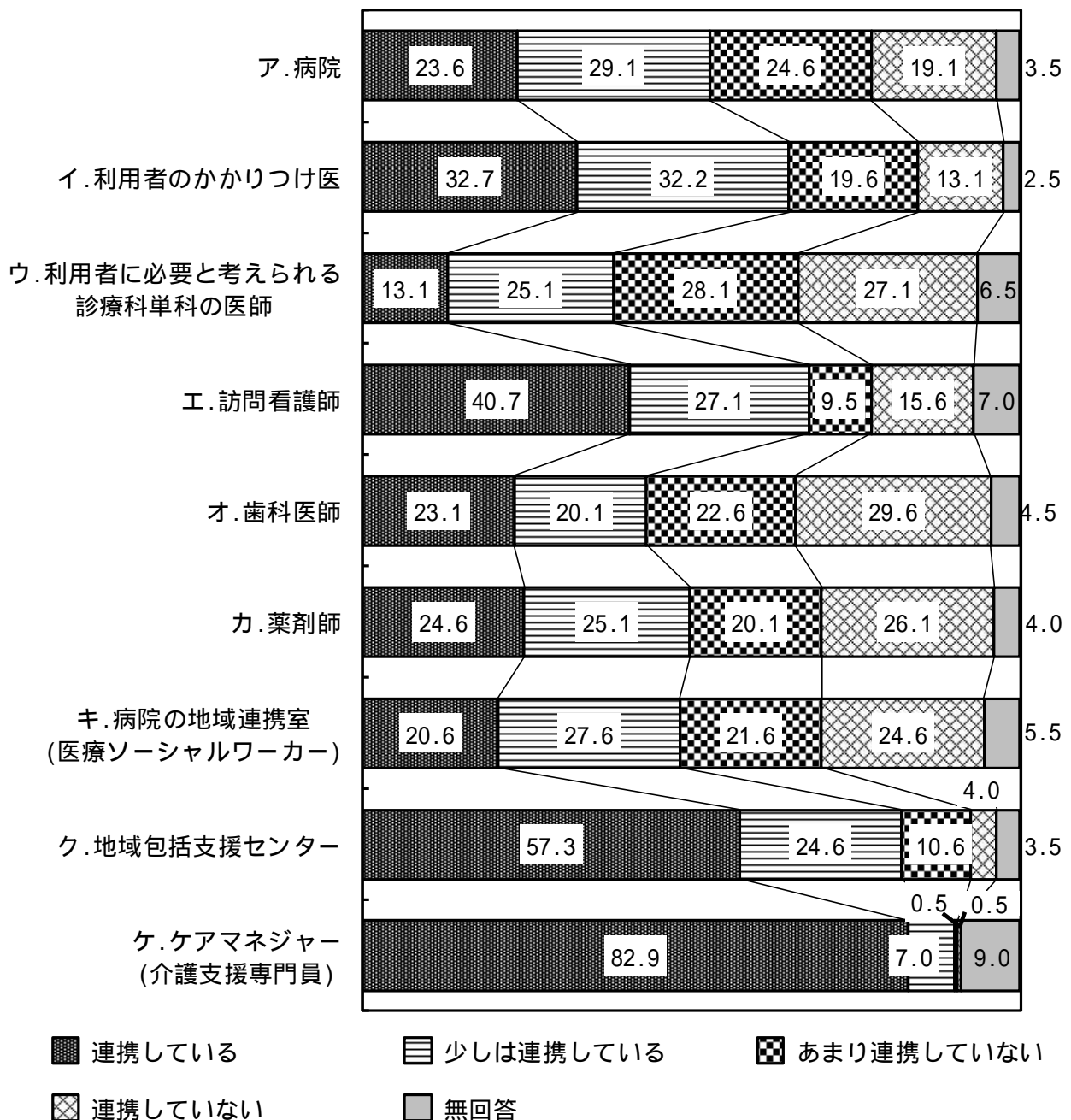
問23 貴事業所のサービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。

(ア~ケそれぞれ1つに)

- ・利用者について関係機関・職種との連携状況は、「連携している」「少しは連携している」を合わせた割合は、『ケ．ケアマネジャー（介護支援専門員）』（89.9%）、が最も多く、次いで『ク．地域包括支援センター』（81.9%）、『エ．訪問看護師』（67.8%）、『イ．利用者のかかりつけ医』（64.9%）、『ア．病院』（52.7%）と続いている。
- ・一方、「あまり連携していない」「連携していない」を合わせた割合は、『ウ．利用者が必要と考えられる診療科単科の医師』（55.2%）、が最も多く、次いで『オ．歯科医師』（52.2%）、『カ．薬剤師』『キ．病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）』ともに（46.2%）、『ア．病院』（43.7%）と続いている。

全体 (n=199)

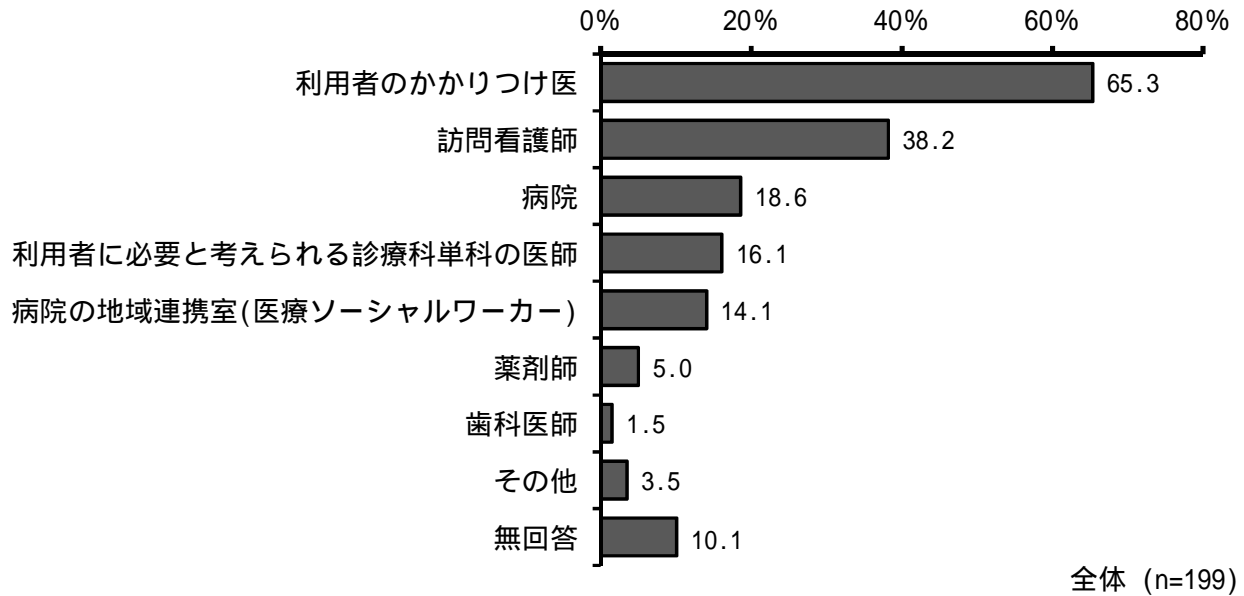
(%)



		ア.病院					イ.利用者のかかりつけ医				
		連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全体	(n=199)	23.6%	29.1%	24.6%	19.1%	3.5%	32.7%	32.2%	19.6%	13.1%	2.5%
宛名記載サービス (n 5)	訪問介護 (n=43)	9.3%	30.2%	20.9%	32.6%	7.0%	23.3%	32.6%	20.9%	20.9%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	52.9%	35.3%	11.8%	0.0%	0.0%	52.9%	41.2%	0.0%	5.9%	0.0%
	通所介護 (n=19)	10.5%	15.8%	36.8%	36.8%	0.0%	10.5%	21.1%	47.4%	21.1%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	4.8%	38.1%	57.1%	0.0%	4.8%	28.6%	33.3%	33.3%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	17.1%	60.0%	17.1%	0.0%	5.7%	42.9%	42.9%	8.6%	0.0%	5.7%
全体	(n=199)	13.1%	25.1%	28.1%	27.1%	6.5%	40.7%	27.1%	9.5%	15.6%	7.0%
宛名記載サービス (n 5)	訪問介護 (n=43)	4.7%	27.9%	23.3%	39.5%	4.7%	44.2%	41.9%	4.7%	7.0%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	11.8%	64.7%	17.6%	5.9%	0.0%	70.6%	11.8%	0.0%	0.0%	17.6%
	通所介護 (n=19)	10.5%	10.5%	47.4%	31.6%	0.0%	15.8%	52.6%	15.8%	10.5%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	55.6%	22.2%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	75.0%	12.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	0.0%	33.3%	61.9%	4.8%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	8.6%	37.1%	34.3%	5.7%	14.3%	85.7%	8.6%	0.0%	0.0%	5.7%
全体	(n=199)	23.1%	20.1%	22.6%	29.6%	4.5%	24.6%	25.1%	20.1%	26.1%	4.0%
宛名記載サービス (n 5)	訪問介護 (n=43)	11.6%	32.6%	23.3%	30.2%	2.3%	16.3%	37.2%	16.3%	27.9%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	11.8%	29.4%	35.3%	17.6%	5.9%	35.3%	35.3%	17.6%	11.8%	0.0%
	通所介護 (n=19)	5.3%	5.3%	31.6%	52.6%	5.3%	15.8%	10.5%	36.8%	31.6%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	4.8%	33.3%	61.9%	0.0%	0.0%	9.5%	42.9%	47.6%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	34.3%	37.1%	17.1%	5.7%	5.7%	28.6%	57.1%	5.7%	2.9%	5.7%
全体	(n=199)	20.6%	27.6%	21.6%	24.6%	5.5%	57.3%	24.6%	10.6%	4.0%	3.5%
宛名記載サービス (n 5)	訪問介護 (n=43)	4.7%	25.6%	27.9%	34.9%	7.0%	48.8%	32.6%	7.0%	4.7%	7.0%
	訪問看護 (n=17)	35.3%	35.3%	23.5%	0.0%	5.9%	41.2%	35.3%	23.5%	0.0%	0.0%
	通所介護 (n=19)	5.3%	26.3%	31.6%	31.6%	5.3%	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	16.7%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	11.1%	55.6%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	33.3%	22.2%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	4.8%	14.3%	81.0%	0.0%	52.4%	28.6%	19.0%	0.0%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	42.9%	48.6%	2.9%	0.0%	5.7%	80.0%	8.6%	2.9%	2.9%	5.7%
全体	(n=199)	82.9%	7.0%	0.5%	0.5%	9.0%					
宛名記載サービス (n 5)	訪問介護 (n=43)	93.0%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	訪問看護 (n=17)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	通所介護 (n=19)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	通所リハビリテーション (n=6)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%					
	短期入所生活介護 (n=5)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%					
	福祉用具 (n=5)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%					
	地域密着型通所介護 (n=21)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
	居宅介護支援事業所 (n=35)	48.6%	5.7%	2.9%	0.0%	42.9%					

問24 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職は何ですか。(2つまでに)

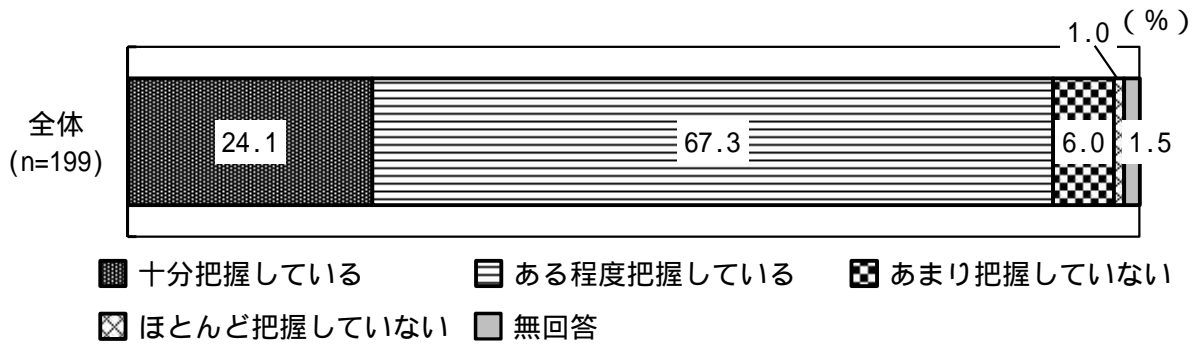
- ・「利用者のかかりつけ医」(65.3%)が最も多く、次いで「訪問看護師」(38.2%)、「病院」(18.6%)、「利用者に必要と考えられる診療科単科の医師」(16.1%)、「病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)」(14.1%)と続いている。
- ・「利用者のかかりつけ医」の割合は、『訪問看護』(72.1%)、『通所介護』(78.9%)、『通所リハビリテーション』(100.0%)、『地域密着型通所介護』(76.2%)で高くなっている。



		病院	利用者のかかりつけ医	利用者に必要と考えられる診療科単科の医師	訪問看護師	歯科医師	薬剤師	病院の地域連携室(医療ソーシャルワーカー)	その他	無回答
全体 (n=199)		18.6%	65.3%	16.1%	38.2%	1.5%	5.0%	14.1%	3.5%	10.1%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	11.6%	72.1%	16.3%	53.5%	4.7%	4.7%	11.6%	2.3%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	29.4%	64.7%	41.2%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%
	通所介護 (n=19)	5.3%	78.9%	10.5%	68.4%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	33.3%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	55.6%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	19.0%	76.2%	23.8%	28.6%	0.0%	9.5%	9.5%	9.5%	4.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	20.0%	57.1%	20.0%	28.6%	0.0%	8.6%	20.0%	0.0%	14.3%

問25 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。(1つに)

- ・「十分把握している」(24.1%)、「ある程度把握している」(67.3%)を合わせた割合は91.4%となっている。
- ・「十分把握している」割合は、『訪問看護』(47.1%)、『短期入所生活』(60.0%)、『特定施設入所者生活介護』(77.8%)、『介護老人福祉施設』(62.5%)で高くなっている。
- ・一方、「あまり把握していない」(6.0%)、「ほとんど把握していない」(1.0%)を合わせた割合は7.0%となっている。

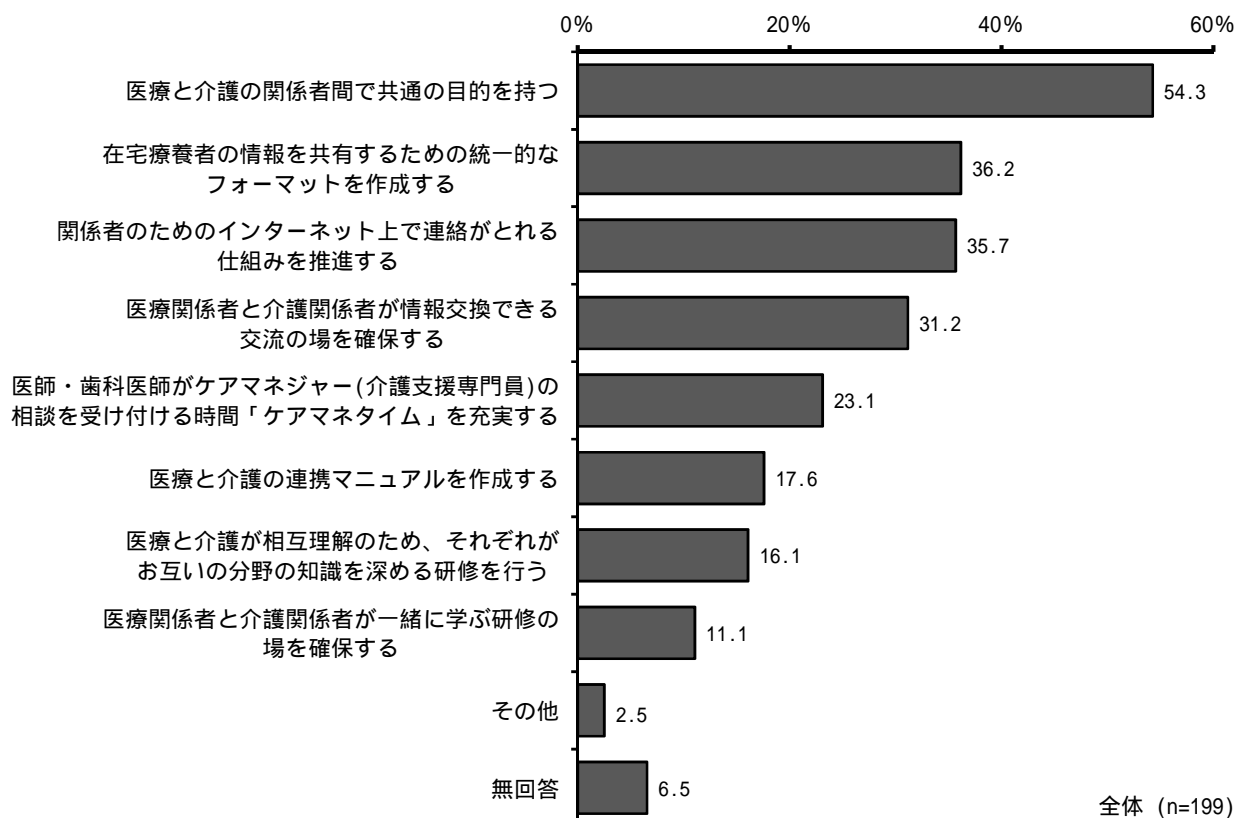


		十分把握している	ある程度把握している	あまり把握していない	ほとんど把握していない	無回答
全体	(n=199)	24.1%	67.3%	6.0%	1.0%	1.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	16.3%	76.7%	7.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	47.1%	47.1%	5.9%	0.0%	0.0%
	通所介護 (n=19)	15.8%	84.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	9.5%	71.4%	14.3%	4.8%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	5.7%	88.6%	2.9%	0.0%	2.9%

問26 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。

(3つまでに)

- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」(54.3%)が最も多く、次いで「在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する」(36.2%)、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する」(35.7%)、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」(31.2%)と続いている。
- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」割合は、『地域密着型通所介護』(76.2%)で高く、『居宅介護支援事業所』(20.0%)で低くなっている。なお、『居宅介護支援事業所』では、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する」(45.7%)が高くなっている。



		医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	「ケアマネタイム」を充実する	在宅療養者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する	医療と介護の連携マニュアルを作成する	医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う	その他	無回答
全体	(n=199)	54.3%	23.1%	36.2%	17.6%	31.2%	11.1%	35.7%	16.1%	2.5%	6.5%
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=43)	67.4%	20.9%	37.2%	25.6%	37.2%	11.6%	34.9%	11.6%	0.0%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	58.8%	23.5%	47.1%	23.5%	41.2%	0.0%	23.5%	35.3%	5.9%	5.9%
	通所介護 (n=19)	68.4%	10.5%	26.3%	15.8%	36.8%	15.8%	47.4%	15.8%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	76.2%	28.6%	33.3%	23.8%	28.6%	9.5%	42.9%	14.3%	4.8%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	20.0%	31.4%	51.4%	11.4%	22.9%	11.4%	45.7%	22.9%	2.9%	8.6%

問 27 貴事業所では、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、111件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
日常時の連絡方法（連絡がとれない、問い合わせができない、時間がない）	24
情報共有の仕組み、情報交換の場	21
医療サイドとの対応方針のギャップ	20
他職種・組織との連携・理解不足	16
情報（量・質）不足、必要な情報のズレ	5
薬に関すること。	4
受診に関すること、急変時の対応。	3
専門職・有資格者・技術力不足。	3
指示書、情報提供書、サマリーに関すること。	2
認知症に関すること。	1
制度に関すること。	1
その他	1
特になし 困ったことはない	10

問 28 貴事業所では、医療機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、414件（病院99件、診療所87件、歯科診療所73件、薬局79件、訪問看護ステーション76件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

病院（地域連携室）

内容	件数
情報共有(カンファレンス等)	47
職種の違いにおける意識や目的の共有、他職種等の理解、介護保険の理解、相談	22
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	13
対応の時間的配慮（退院準備のための時間的ゆとりなど）	5
利用者、家族、市民向けの周知、情報提供	1
認知症高齢者に対する理解	1
その他	2
特になし	8

診療所

内容	件数
情報共有(カンファレンス等)	34
職種の違いにおける意識や目的の共有、他職種等の理解、介護保険の理解、相談	15
医療全般(訪問診療・往診、医療や薬に関する助言など)	13
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	6
認知症高齢者に対する理解	1
特にない	18

歯科診療所

内容	件数
情報共有(カンファレンス等)	23
医療全般(訪問診療・往診、医療や薬に関する助言など)	15
職種の違いにおける意識や目的の共有、他職種等の理解、介護保険の理解、相談	6
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	2
その他	1
特にない	26

薬局

内容	件数
医療全般(訪問診療・往診、医療や薬に関する助言など)	27
情報共有(カンファレンス等)	24
職種の違いにおける意識や目的の共有、他職種等の理解、介護保険の理解、相談	6
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	2
その他	0
特にない	20

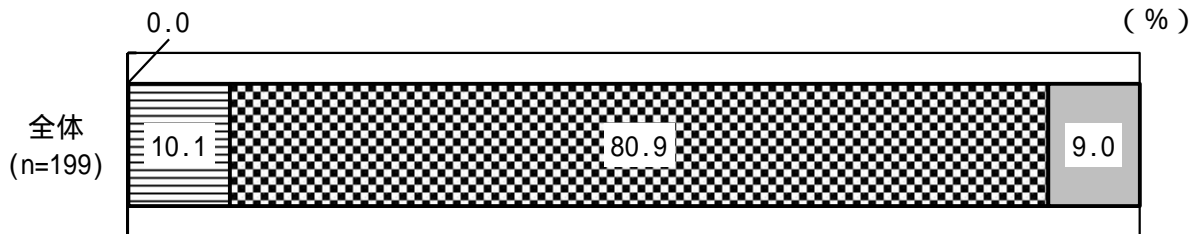
訪問看護ステーション

内容	件数
情報共有(カンファレンス等)	33
医療全般(訪問診療・往診、医療や薬に関する助言など)	11
職種の違いにおける意識や目的の共有、他職種等の理解、介護保険の理解、相談	8
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	2
その他	2
特にない	20

(7) 共生型サービスについて

問 29 介護保険法では、高齢者や障害のある人がともに利用できる「共生型サービス」が新設されましたが、貴事業所では共生型サービスの提供についてどのようにお考えですか。(1つに)

- ・「提供する準備をしている」が0.0%、「提供について検討したい」が10.1%、「特に考えていない」が80.9%となっている。

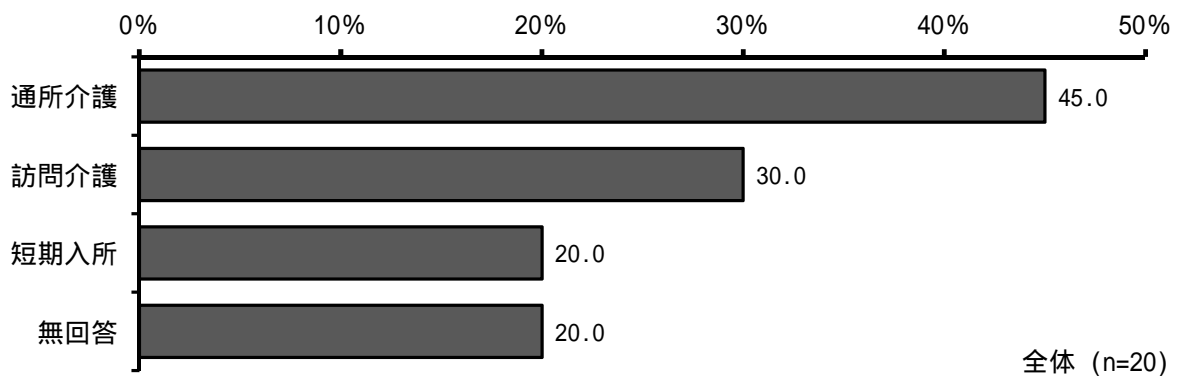


■ 提供する準備をしている □ 提供について検討したい ▣ 特に考えていない □ 無回答

問 29 で「提供する準備をしている」又は「提供について検討したい」とお答えの事業所におたずねします

問 29-1 準備又は検討している共生型サービスの種類は何ですか。(いくつでも)

- ・「通所介護」(45.0%)が最も多く、次いで「訪問介護」(30.0%)、「短期入所」(20.0%)と続いている。



問 29-2 共生型サービスを提供するにあたって、課題等があれば、ご自由にお書きください。

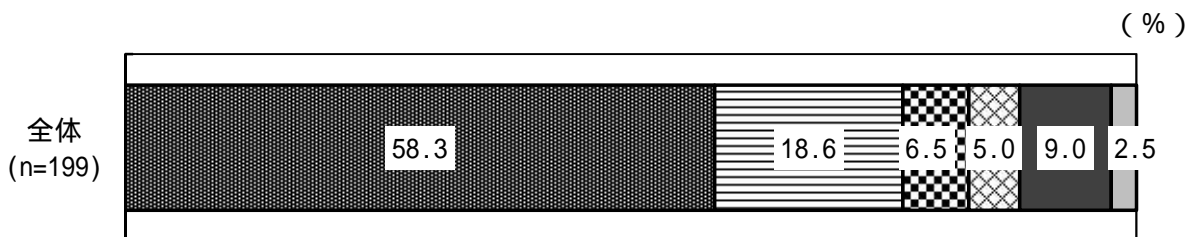
自由回答形式で聞いたところ、21件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
障害の理解(運営者)	7
介護保険制度、サービス全般	5
資金・人材	4
利用者同士(高齢者、障害者)の理解	1
その他	3
特になし	1

(8) 災害時等の体制について

問30 災害弱者に対する対策が重要となっていますが、貴法人では、災害時のマニュアルを作成していますか。(1つに)

- ・「法人全体で共通のものを作成している」(58.3%)が最も多く、次いで「部門ごとに作成している」(18.6%)、「作成している部門もあるが、作成していない部門もある」(6.5%)と続いている。
- ・一方、「作成していない」は9.0%となっている。



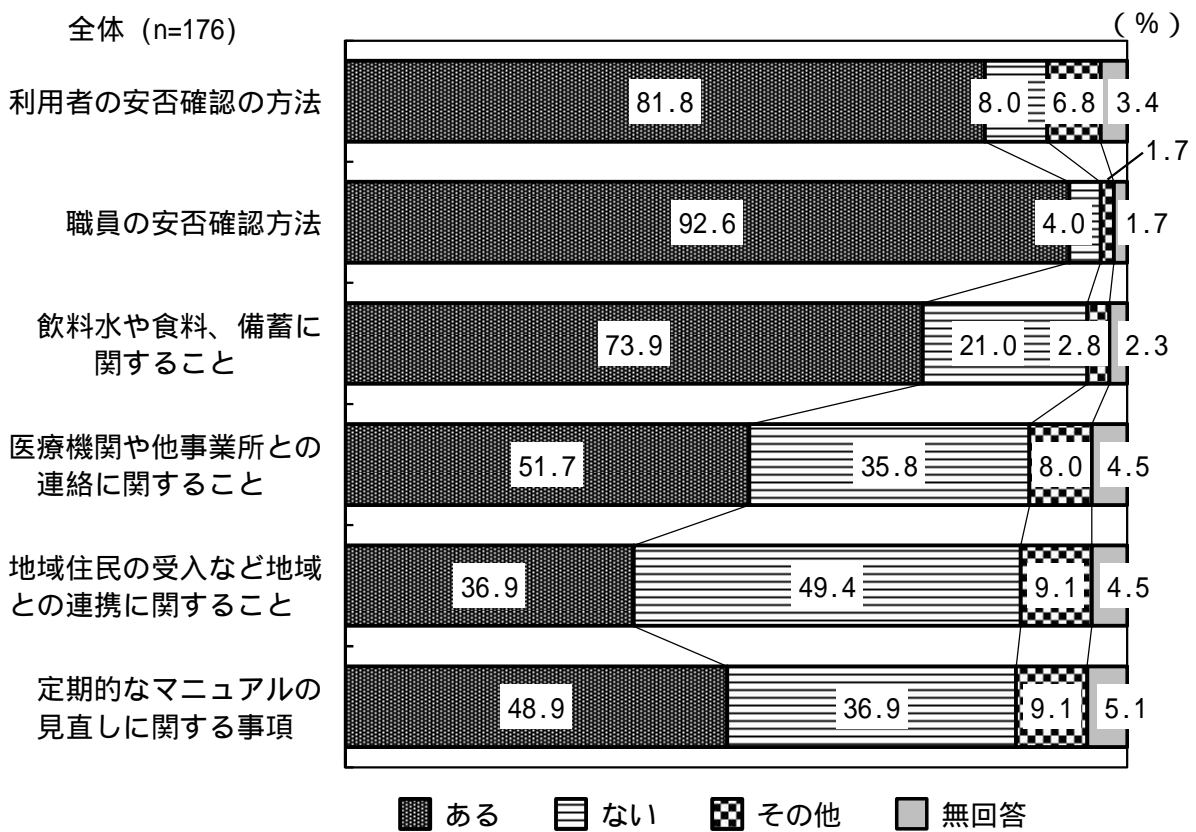
- 法人全体で共通のものを作成している
- ▨ 部門ごとに作成している
- ▣ 作成している部門もあるが、作成していない部門もある
- ▤ その他
- 作成していない
- 無回答

		法人全体で共通のものを作成している	部門ごとに作成している	作成している部門もあるが、作成していない部門もある	その他	作成していない	無回答	
全体	(n=199)	58.3%	18.6%	6.5%	5.0%	9.0%	2.5%	
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む)	(n=98)	53.1%	18.4%	10.2%	3.1%	12.2%	3.1%
	1サービス(計2)	(n=43)	53.5%	30.2%	2.3%	2.3%	9.3%	2.3%
	2サービス(計3)	(n=22)	50.0%	18.2%	0.0%	22.7%	9.1%	0.0%
	3サービス以上(計4以上)	(n=36)	83.3%	5.6%	5.6%	2.8%	0.0%	2.8%

問30で「法人全体で共通のものを作成している」「部門ごとに作成している」「作成している部門もあるが、作成していない部門もある」「その他(の方法で作成している)」とお答えの事業所におたずねします

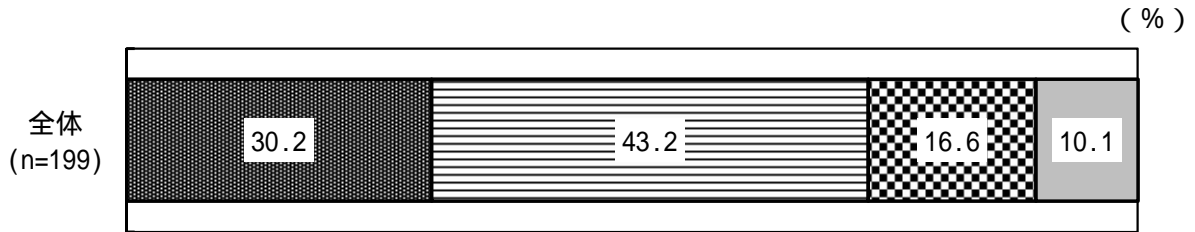
問30-1 マニュアルに次の内容は含まれていますか。(それぞれ1つに)

- ・「ある」は、『職員の安否確認方法』(92.6%)が最も多く、『利用者の安否確認の方法』(81.8%)、『飲料水や食料、備蓄に関すること』(73.9%)、『医療機関や他事業所との連絡に関すること』(51.7%)、『定期的なマニュアルの見直しに関する事項』(48.9%)と続いている。
- ・一方「ない」は、『地域住民の受入など地域との連携に関すること』(49.4%)が最も多く、『定期的なマニュアルの見直しに関する事項』(36.9%)、『医療機関や他事業所との連絡に関すること』(35.8%)、『飲料水や食料、備蓄に関すること』(21.0%)、と続いている。



問31 貴事業所では、BCP（災害時の事業継続計画）を策定していますか。（1つに ）

- ・「策定していないが、今後策定する予定がある」(43.2%)が最も多く、次いで「策定している」(30.2%)、「策定しておらず、今後も策定する予定はない」(16.6%)となっている。
- ・「策定している」割合は、『短期入所生活介護』(80.0%)、『介護老人福祉施設』(75.0%)で高く、『訪問看護』(0.0%)で低くなっている。また、第三者評価の受審の有無により策定状況に差がみられる。



- 策定している
- ▨ 策定していないが、今後策定する予定がある
- ▩ 策定しておらず、今後も策定する予定はない
- 無回答

		策定している	策定していないが、今後策定する予定がある	策定しておらず、今後も策定する予定はない	無回答
全体	(n=199)	30.2%	43.2%	16.6%	10.1%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	18.6%	53.5%	14.0%	14.0%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	70.6%	17.6%	11.8%
	通所介護 (n=19)	47.4%	26.3%	15.8%	10.5%
	通所リハビリテーション (n=6)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%
	福祉用具 (n=5)	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	9.5%	57.1%	28.6%	4.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	20.0%	37.1%	25.7%	17.1%
宛名以外サービス数	なし（無回答を含む） (n=98)	16.3%	53.1%	20.4%	10.2%
	1サービス（計2） (n=43)	20.9%	37.2%	23.3%	18.6%
	2サービス（計3） (n=22)	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%
	3サービス以上（計4以上） (n=36)	75.0%	16.7%	2.8%	5.6%
第三者評価受審	ある (n=56)	53.6%	35.7%	3.6%	7.1%
	ない (n=142)	21.1%	46.5%	21.8%	10.6%

問32 貴事業所では地震等の災害が発生したときの避難訓練や安否確認の訓練を実施していますか。

(1つに)

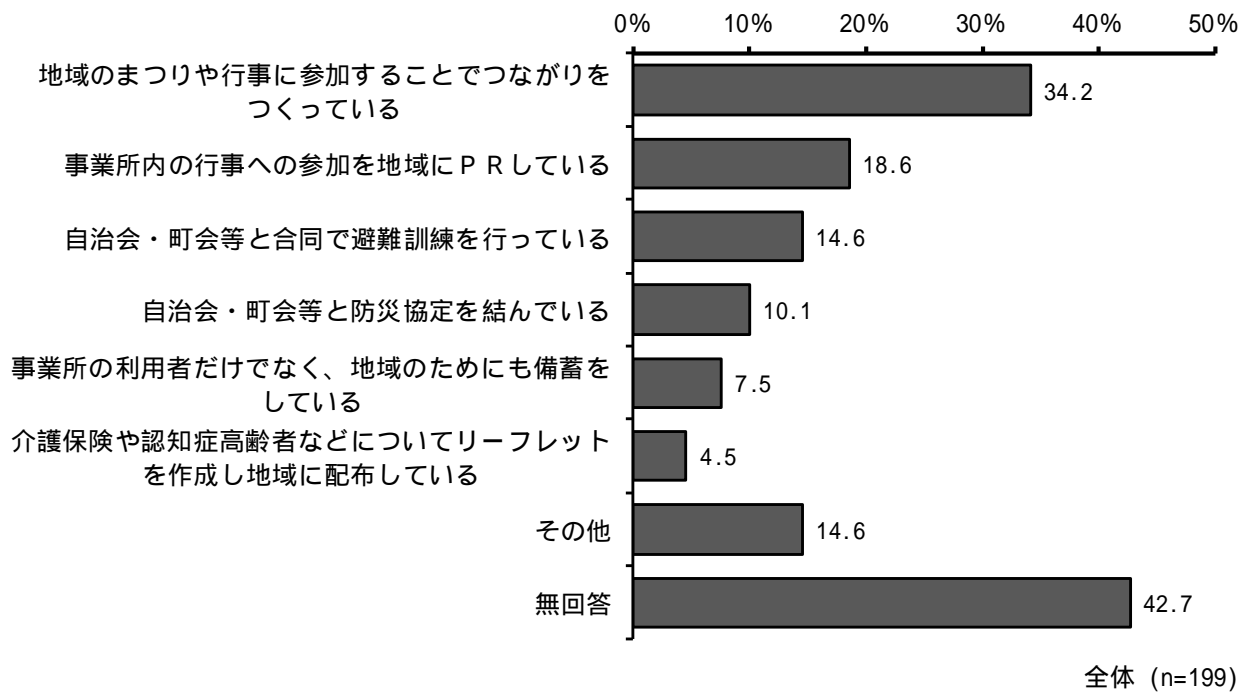
- ・「実施している」が68.3%、「実施していない」が29.1%となっている。
- ・「実施していない」割合は、『訪問看護』(70.6%)、『福祉用具』(80.0%)、『居宅介護支援事業所』(51.4%)で高くなっている。また、第三者評価の受審の有無により、実施の有無に差がみられる。



		実施して いる	実施してい ない	無回答
全 体	(n=199)	68.3%	29.1%	2.5%
宛名記載 サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	51.2%	44.2%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	29.4%	70.6%	0.0%
	通所介護 (n=19)	94.7%	5.3%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	83.3%	16.7%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	100.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	100.0%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	80.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	100.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	95.2%	4.8%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	45.7%	51.4%	2.9%
宛名以外 サービス 数	なし(無回答を含む) (n=98)	60.2%	36.7%	3.1%
	1サービス(計2) (n=43)	60.5%	37.2%	2.3%
	2サービス(計3) (n=22)	81.8%	18.2%	0.0%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	91.7%	5.6%	2.8%
第三者 評価受審	ある (n=56)	94.6%	3.6%	1.8%
	ない (n=142)	58.5%	38.7%	2.8%

問33 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも)

- ・「地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている」(34.2%)が最も多く、次いで「事業所内の行事への参加を地域にPRしている」(18.6%)、「自治会・町会等と合同で避難訓練を行っている」(14.6%)、「自治会・町会等と防災協定を結んでいる」(10.1%)と続いている。
- ・「介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している」割合は、全体では4.5%で、『通所介護』(21.1%)、『通所リハビリテーション』(16.7%)、『短期入所生活介護』(40.0%)で高くなっている。



		自治会・町会等と防災協定を結んでいる	自治会・町会等と合同で避難訓練を行っている	介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している	地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている	事業所内の行事への参加を地域にPRしている	事業所の利用者だけでなく、地域のためにも備蓄をしている	その他	無回答
全体 (n=199)		10.1%	14.6%	4.5%	34.2%	18.6%	7.5%	14.6%	42.7%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	7.0%	7.0%	0.0%	23.3%	11.6%	4.7%	11.6%	48.8%
	訪問看護 (n=17)	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	11.8%	0.0%	35.3%	41.2%
	通所介護 (n=19)	5.3%	15.8%	21.1%	26.3%	26.3%	10.5%	15.8%	36.8%
	通所リハビリテーション (n=6)	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	60.0%	100.0%	40.0%	100.0%	80.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%
	福祉用具 (n=5)	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	50.0%	62.5%	0.0%	75.0%	62.5%	25.0%	37.5%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	0.0%	0.0%	4.8%	28.6%	23.8%	4.8%	9.5%	57.1%
居宅介護支援事業所 (n=35)	2.9%	5.7%	0.0%	22.9%	5.7%	8.6%	20.0%	48.6%	
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	3.1%	1.0%	3.1%	21.4%	9.2%	6.1%	17.3%	54.1%
	1サービス(計2) (n=43)	4.7%	11.6%	7.0%	37.2%	23.3%	7.0%	9.3%	37.2%
	2サービス(計3) (n=22)	18.2%	40.9%	4.5%	45.5%	27.3%	13.6%	18.2%	31.8%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	30.6%	38.9%	5.6%	58.3%	33.3%	8.3%	11.1%	25.0%

問34 災害発生時における貴事業所が抱える課題などについてお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、108件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
利用者の安全確保（避難誘導、安否確認、家族との連絡）と発災後対応	40
提供体制（スタッフの通勤・帰宅、利用者宅への移動など）	21
他の事業者やケアマネジャーとの情報共有	7
建物等の被害（倒壊、浸水）や送迎中の浸水など	6
災害対策全般	6
ライフラインのバックアップ体制	5
自治体との連携	5
災害備蓄	5
マニュアル整備、マニュアルの周知が不十分など	4
地域との連携（協定等）	2
情報の収集など	2
事業再開の判断など	1
医療ケアが必要な人の対応	1
その他	1
特になし	2

問35 感染症防止のために貴事業所が取り組んでいることをお書きください。

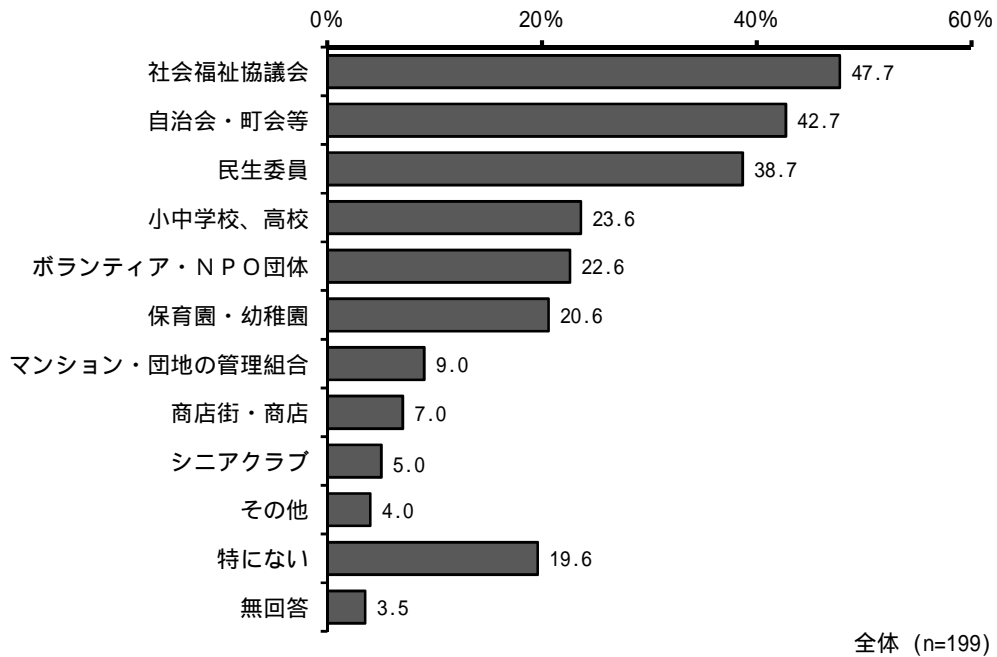
自由回答形式で聞いたところ、129件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
研修・話し合い・委員会	57
日常の予防対策（手洗い・うがい・健康チェック）	52
マスク、手袋等の支給、用具、室内環境の整備など	8
マニュアル作成	6
予防接種（家族に対するお願いを含む）	3
感染症の情報周知・啓発	2
特になし	1

(9) 地域との関わりについて

問36 貴事業所では、以下のような地域の各団体や組織との関わりはありますか。(いくつでも)

- ・「社会福祉協議会」(47.7%)が最も多く、次いで「自治会・町会等」(42.7%)、「民生委員」(38.7%)、「小中学校、高校」(23.6%)、「ボランティア・NPO団体」(22.6%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は全体では19.6%で、『訪問看護』(58.8%)、『通所リハビリテーション』(33.3%)、『福祉用具』(40.0%)、『居宅介護支援事業所』(28.6%)で高くなっている。

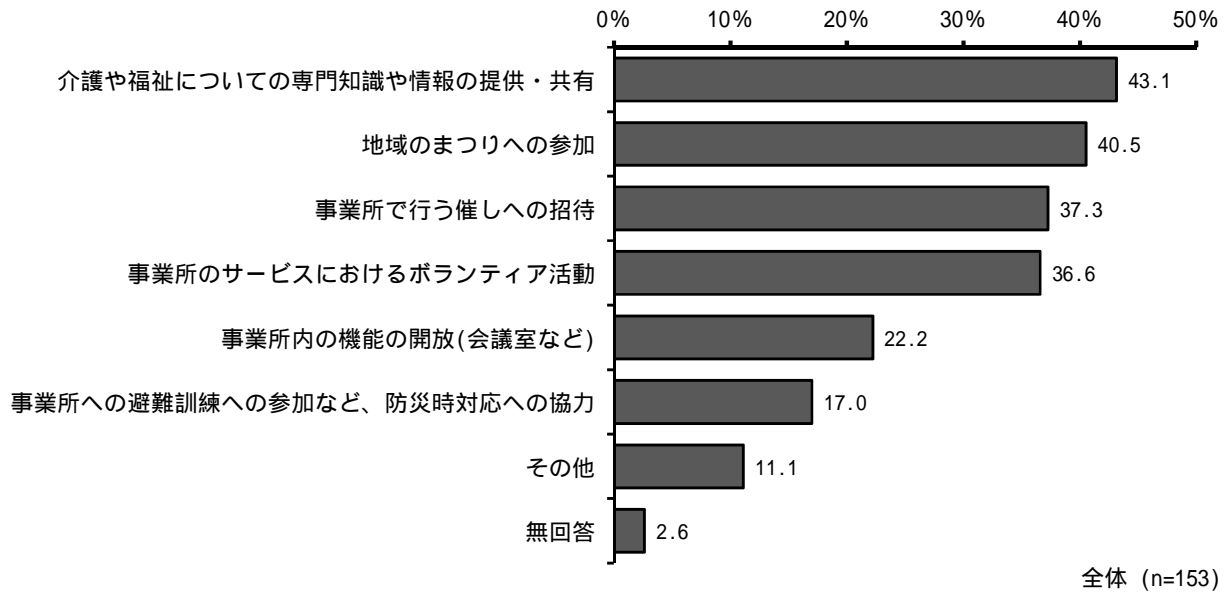


		民生委員	自治会・町会等	保育園・幼稚園	小中学校、高校	シニアクラブ	社会福祉協議会	商店街・商店	NPO団体・ボランティア	マンション・団地の管理組合	その他	特にない	無回答
全体	(n=199)	38.7%	42.7%	20.6%	23.6%	5.0%	47.7%	7.0%	22.6%	9.0%	4.0%	19.6%	3.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	27.9%	32.6%	11.6%	7.0%	0.0%	46.5%	4.7%	14.0%	14.0%	2.3%	16.3%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	5.9%	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	29.4%	0.0%	5.9%	5.9%	11.8%	58.8%	5.9%
	通所介護 (n=19)	42.1%	31.6%	42.1%	36.8%	15.8%	42.1%	15.8%	52.6%	15.8%	0.0%	10.5%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	16.7%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	80.0%	80.0%	60.0%	100.0%	0.0%	80.0%	0.0%	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	55.6%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	87.5%	87.5%	50.0%	75.0%	12.5%	75.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	85.7%	66.7%	14.3%	9.5%	14.3%	33.3%	4.8%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
居宅介護支援事業所 (n=35)	37.1%	34.3%	8.6%	5.7%	2.9%	54.3%	8.6%	8.6%	11.4%	0.0%	28.6%	2.9%	
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	28.6%	24.5%	12.2%	8.2%	4.1%	37.8%	5.1%	15.3%	7.1%	3.1%	25.5%	4.1%
	1サービス(計2) (n=43)	44.2%	55.8%	23.3%	18.6%	7.0%	58.1%	11.6%	25.6%	11.6%	2.3%	14.0%	4.7%
	2サービス(計3) (n=22)	45.5%	59.1%	27.3%	36.4%	4.5%	59.1%	9.1%	22.7%	9.1%	4.5%	22.7%	0.0%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	55.6%	66.7%	36.1%	63.9%	5.6%	55.6%	5.6%	38.9%	11.1%	8.3%	8.3%	2.8%
介護保険以外のサービス	高齢者福祉サービス (n=40)	40.0%	52.5%	37.5%	35.0%	12.5%	50.0%	7.5%	32.5%	20.0%	2.5%	7.5%	2.5%
	障害福祉サービス (n=35)	28.6%	37.1%	17.1%	11.4%	2.9%	48.6%	8.6%	11.4%	11.4%	2.9%	11.4%	8.6%
	子育て支援サービス (n=5)	20.0%	60.0%	60.0%	40.0%	0.0%	60.0%	20.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他 (n=16)	31.3%	43.8%	31.3%	31.3%	0.0%	81.3%	18.8%	31.3%	12.5%	6.3%	12.5%	0.0%
第三者評価受審	提供なし・無回答 (n=123)	39.0%	41.5%	14.6%	22.0%	3.3%	43.1%	4.9%	22.0%	4.1%	4.9%	24.4%	3.3%
	ある (n=56)	60.7%	66.1%	42.9%	50.0%	8.9%	71.4%	14.3%	32.1%	17.9%	5.4%	7.1%	1.8%
共生型サービス	ない (n=142)	30.3%	33.8%	12.0%	13.4%	3.5%	38.7%	4.2%	19.0%	5.6%	3.5%	23.9%	4.2%
	準備をしている (n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	検討したい (n=20)	55.0%	60.0%	15.0%	30.0%	5.0%	45.0%	10.0%	5.0%	10.0%	5.0%	10.0%	5.0%
地域ケア会議参加	特に考えていない (n=161)	39.1%	39.8%	22.4%	23.0%	5.0%	50.3%	5.6%	24.2%	9.9%	4.3%	19.9%	1.9%
	ある (n=111)	45.0%	47.7%	20.7%	25.2%	7.2%	58.6%	9.9%	25.2%	12.6%	4.5%	13.5%	0.9%
	ない (n=83)	30.1%	38.6%	21.7%	22.9%	2.4%	34.9%	3.6%	20.5%	4.8%	3.6%	28.9%	3.6%

問36で「民生委員」～「その他」とお答えの事業所におたずねします

問36-1 どのような関わりがありますか。(いくつでも)

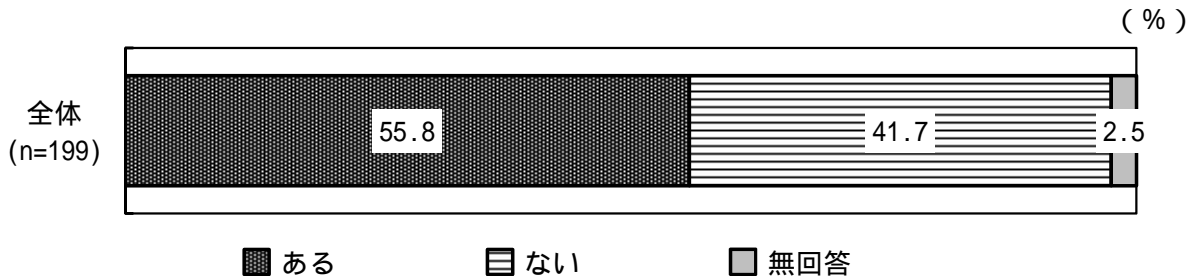
- ・「介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有」(43.1%)が最も多く、次いで「地域のまつりへの参加」(40.5%)、「事業所で行う催しへの招待」(37.3%)、「事業所のサービスにおけるボランティア活動」(36.6%)と続いている。
- ・サービス提供事業数が多いほど、また、第三者評価を受審『ある』ほうが、各関わりの割合が高くなっている。



		介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有	地域のまつりへの参加	事業所で行う催しへの招待	事業所内の機能の開放(会議室など)	事業所への避難訓練への参加など、防災時対応への協力	事業所のサービスにおけるボランティア活動	その他	無回答
全体 (n=153)		43.1%	40.5%	37.3%	22.2%	17.0%	36.6%	11.1%	2.6%
宛名記載サービス (n=10)	訪問介護 (n=34)	44.1%	35.3%	20.6%	11.8%	2.9%	17.6%	8.8%	5.9%
	通所介護 (n=17)	23.5%	23.5%	41.2%	17.6%	17.6%	70.6%	11.8%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	38.1%	28.6%	52.4%	23.8%	4.8%	19.0%	14.3%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=24)	62.5%	25.0%	12.5%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	4.2%
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=69)	34.8%	27.5%	31.9%	11.6%	4.3%	29.0%	14.5%	1.4%
	1サービス(計2) (n=35)	48.6%	51.4%	40.0%	25.7%	8.6%	28.6%	8.6%	2.9%
	2サービス(計3) (n=17)	41.2%	47.1%	35.3%	29.4%	35.3%	47.1%	5.9%	5.9%
	3サービス以上(計4以上) (n=32)	56.3%	53.1%	46.9%	37.5%	43.8%	56.3%	9.4%	3.1%
介護保険以外のサービス	高齢者福祉サービス (n=36)	44.4%	41.7%	33.3%	22.2%	19.4%	50.0%	11.1%	2.8%
	障害福祉サービス (n=28)	57.1%	39.3%	21.4%	3.6%	3.6%	21.4%	10.7%	7.1%
	子育て支援サービス (n=5)	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
	その他 (n=14)	50.0%	50.0%	57.1%	28.6%	28.6%	35.7%	14.3%	0.0%
	提供なし・無回答 (n=89)	39.3%	40.4%	40.4%	23.6%	18.0%	34.8%	11.2%	2.2%
第三者評価受審	ある (n=51)	51.0%	60.8%	51.0%	43.1%	39.2%	51.0%	7.8%	2.0%
	ない (n=102)	39.2%	30.4%	30.4%	11.8%	5.9%	29.4%	12.7%	2.9%

問 37 貴事業所では、地域包括支援センターが実施する地域ケア会議に参加したことはありますか。
(1つに)

- ・「ある」が55.8%、「ない」が41.7%となっている。
- ・「ない」割合が高いのは、『特定施設入所者生活介護』(77.8%)、『福祉用具』(80.0%)となっている。

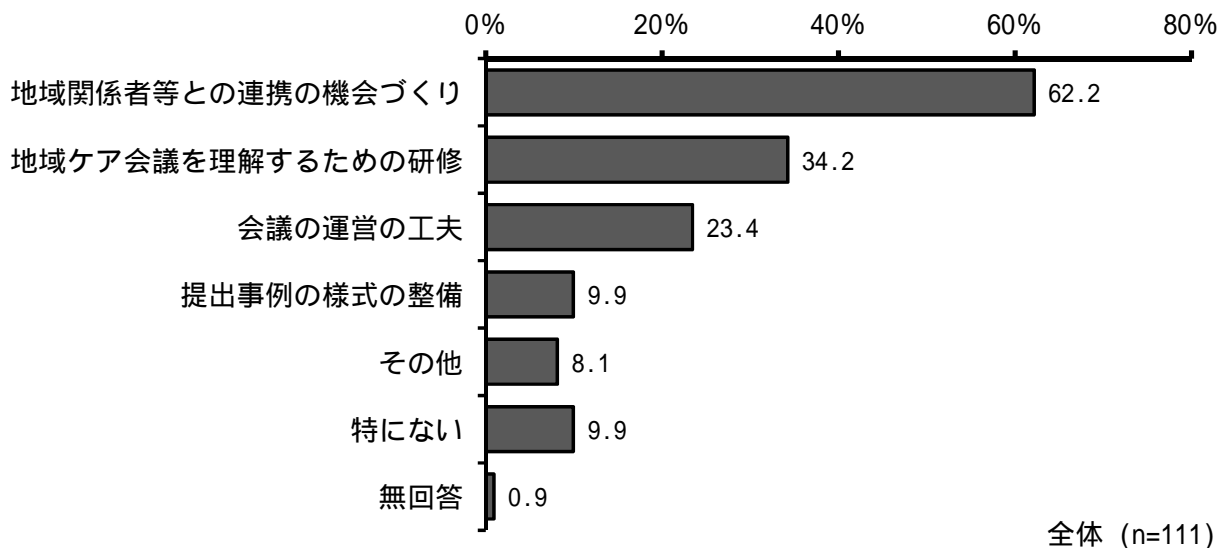


		ある	ない	無回答
全 体	(n=199)	55.8%	41.7%	2.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	53.5%	46.5%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	76.5%	23.5%	0.0%
	通所介護 (n=19)	57.9%	42.1%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	50.0%	50.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	80.0%	20.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	22.2%	77.8%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	80.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	62.5%	37.5%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	61.9%	33.3%	4.8%
居宅介護支援事業所 (n=35)	74.3%	22.9%	2.9%	

問 37 で「ある」とお答えの事業所におたずねします

問 37-1 地域ケア会議を活発にするために必要と思われることは何ですか。(2つまでに)

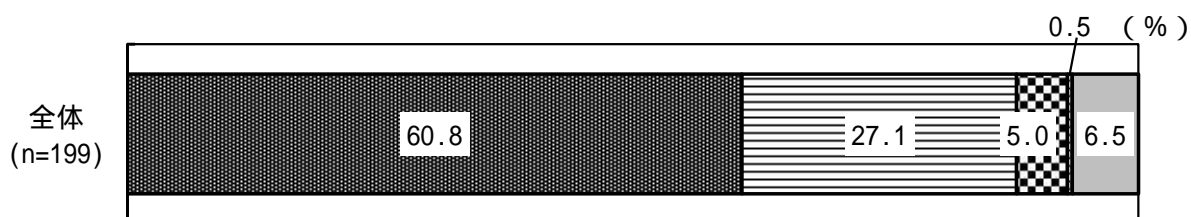
- ・「地域関係者等との連携の機会づくり」(62.2%)が最も多く、次いで「地域ケア会議を理解するための研修」(34.2%)、「会議の運営の工夫」(23.4%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は9.9%となっている。



(10) 事故やトラブルの対応策について

問38 貴事業所には、ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の決まった様式がありますか。
(1つに)

- ・「ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の専用の様式がある」(60.8%)、「事故報告書と兼用のヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の様式がある」(27.1%)となっている。
- ・第三者評価を受審しているほうが「専用様式がある」(69.6%)が高くなっている。

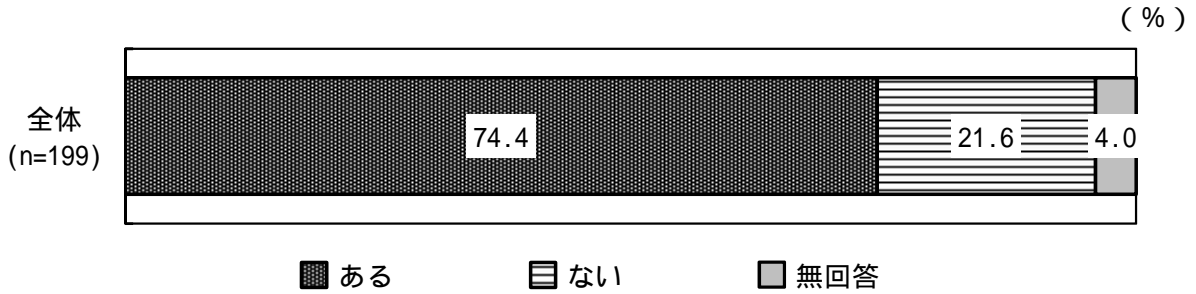


- ヒヤリハット報告書(インシデントレポート)の専用の様式がある
- ▨ 事故報告書と兼用のヒヤリハット報告書(インシデントレポート)の様式がある
- ▩ ヒヤリハット報告書(インシデントレポート)の様式はない
- ⊠ その他
- 無回答

		ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の専用の様式がある	事故報告書と兼用のヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の様式がある	ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の様式はない	その他	無回答
全体	(n=199)	60.8%	27.1%	5.0%	0.5%	6.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	65.1%	27.9%	2.3%	0.0%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	47.1%	52.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	通所介護 (n=19)	78.9%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%
	福祉用具 (n=5)	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
	地域密着型通所介護 (n=21)	66.7%	23.8%	4.8%	0.0%	4.8%
居宅介護支援事業所 (n=35)	45.7%	37.1%	14.3%	2.9%	0.0%	
宛名以外サービス数	なし（無回答を含む） (n=98)	58.2%	26.5%	8.2%	0.0%	7.1%
	1サービス（計2） (n=43)	69.8%	30.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	2サービス（計3） (n=22)	40.9%	36.4%	4.5%	0.0%	18.2%
	3サービス以上（計4以上） (n=36)	69.4%	19.4%	2.8%	2.8%	5.6%
第三者評価受審	ある (n=56)	69.6%	17.9%	3.6%	1.8%	7.1%
	ない (n=142)	57.0%	31.0%	5.6%	0.0%	6.3%

問39 貴事業所には、ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の報告基準や報告手順のマニュアルはありますか。（1つに）

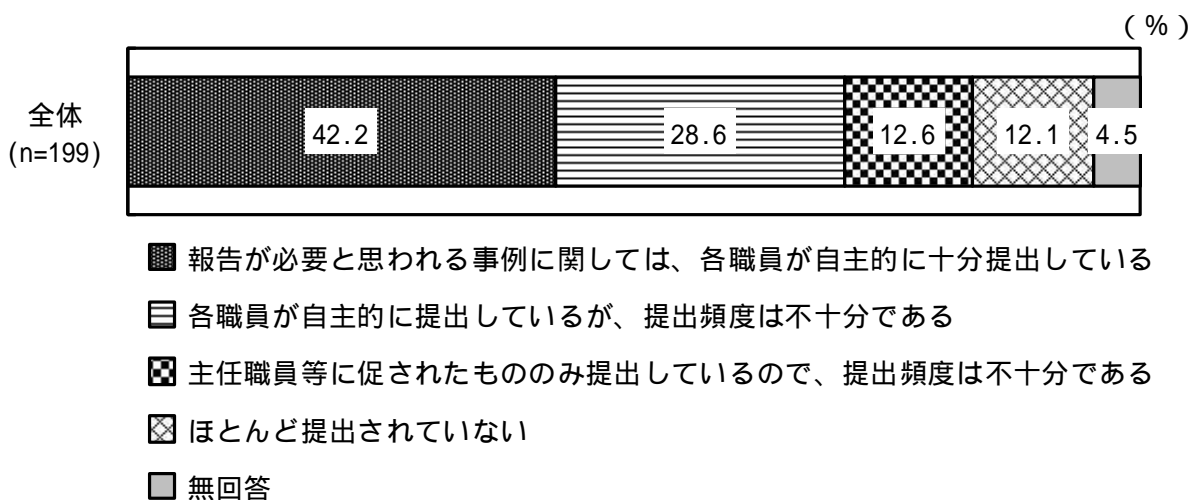
- ・「ある」が74.4%、「ない」が21.6%となっている。
- ・第三者評価を受審しているほうが「ある」(83.9%)が高くなっている。



		ある	ない	無回答
全 体	(n=199)	74.4%	21.6%	4.0%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	67.4%	27.9%	4.7%
	訪問看護 (n=17)	70.6%	29.4%	0.0%
	通所介護 (n=19)	73.7%	21.1%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	100.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	80.0%	20.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	88.9%	11.1%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	80.0%	20.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	100.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	71.4%	28.6%	0.0%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	68.6%	31.4%	0.0%
宛名以外サービス数	なし（無回答を含む） (n=98)	68.4%	27.6%	4.1%
	1サービス（計2） (n=43)	76.7%	16.3%	7.0%
	2サービス（計3） (n=22)	86.4%	13.6%	0.0%
	3サービス以上（計4以上） (n=36)	80.6%	16.7%	2.8%
第三者評価受審	ある (n=56)	83.9%	10.7%	5.4%
	ない (n=142)	70.4%	26.1%	3.5%

問40 貴事業所では、「ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）」がどの程度提出されていると感じますか。（1つに）

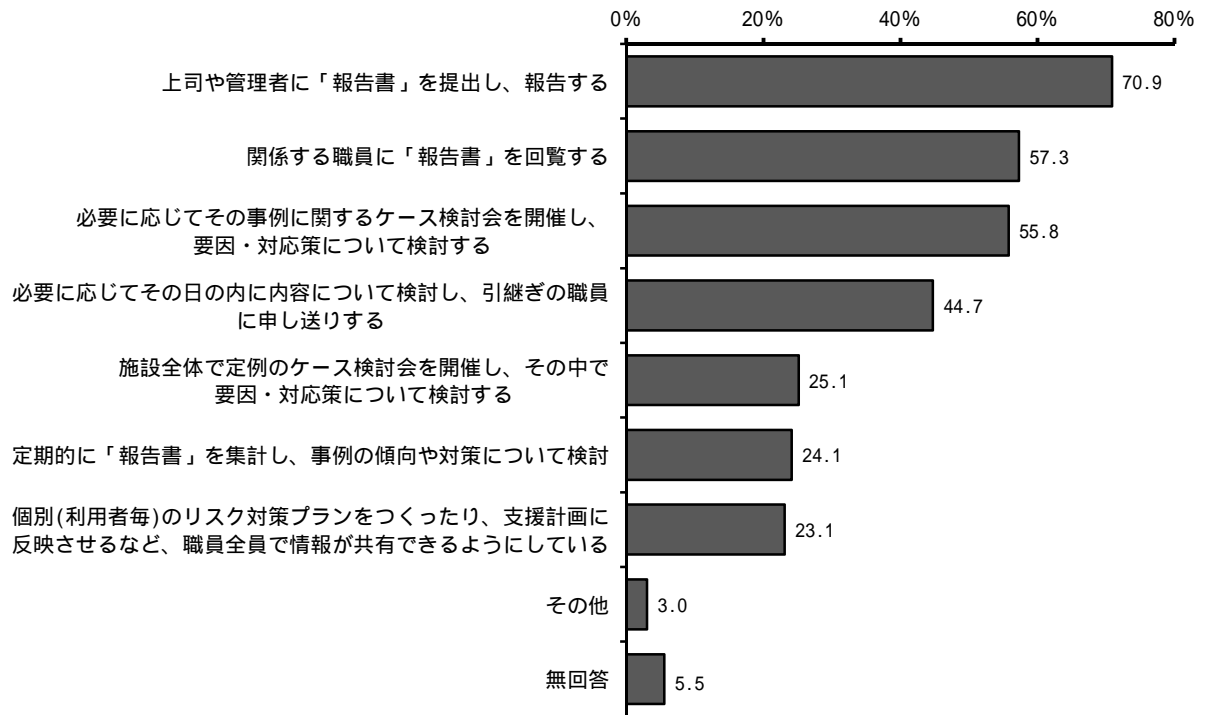
- ・「報告が必要と思われる事例に関しては、各職員が自主的に十分提出している。」(42.2%)が最も多く、次いで「各職員が自主的に提出しているが、提出頻度は不十分である」(28.6%)、「主任職員等に促されたもののみ提出しているため、提出頻度は不十分である」(12.6%)、「ほとんど提出されていない」(12.1%)となっている。
- ・第三者評価を受審しているほうが「十分提出している」(58.9%)が高くなっている。



		報告が必要と思われる事例に関しては、各職員が自主的に十分提出している	各職員が自主的に提出しているが、提出頻度は不十分である	主任職員等に促されたもののみ提出しているため、提出頻度は不十分である	ほとんど提出されていない	無回答
全 体	(n=199)	42.2%	28.6%	12.6%	12.1%	4.5%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	46.5%	25.6%	14.0%	14.0%	0.0%
	訪問看護 (n=17)	29.4%	47.1%	17.6%	5.9%	0.0%
	通所介護 (n=19)	63.2%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%
	通所リハビリテーション (n=6)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	38.1%	28.6%	28.6%	0.0%	4.8%
居宅介護支援事業所 (n=35)	22.9%	25.7%	11.4%	37.1%	2.9%	
宛名以外サービス数	なし（無回答を含む） (n=98)	39.8%	25.5%	14.3%	14.3%	6.1%
	1サービス（計2） (n=43)	34.9%	37.2%	16.3%	11.6%	0.0%
	2サービス（計3） (n=22)	50.0%	22.7%	4.5%	9.1%	13.6%
	3サービス以上（計4以上） (n=36)	52.8%	30.6%	8.3%	8.3%	0.0%
第三者評価受審	ある (n=56)	58.9%	23.2%	7.1%	8.9%	1.8%
	ない (n=142)	35.2%	31.0%	14.8%	13.4%	5.6%

問41 報告のあがった「ヒヤリハット報告書(インシデントレポート)」をどのように活用していますか。(いくつでも)

- ・「上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する」(70.9%)が最も多く、次いで「関係する職員に「報告書」を回覧する」(57.3%)、「必要に応じてその事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する」(55.8%)、「必要に応じてその日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする」(44.7%)と続いている。

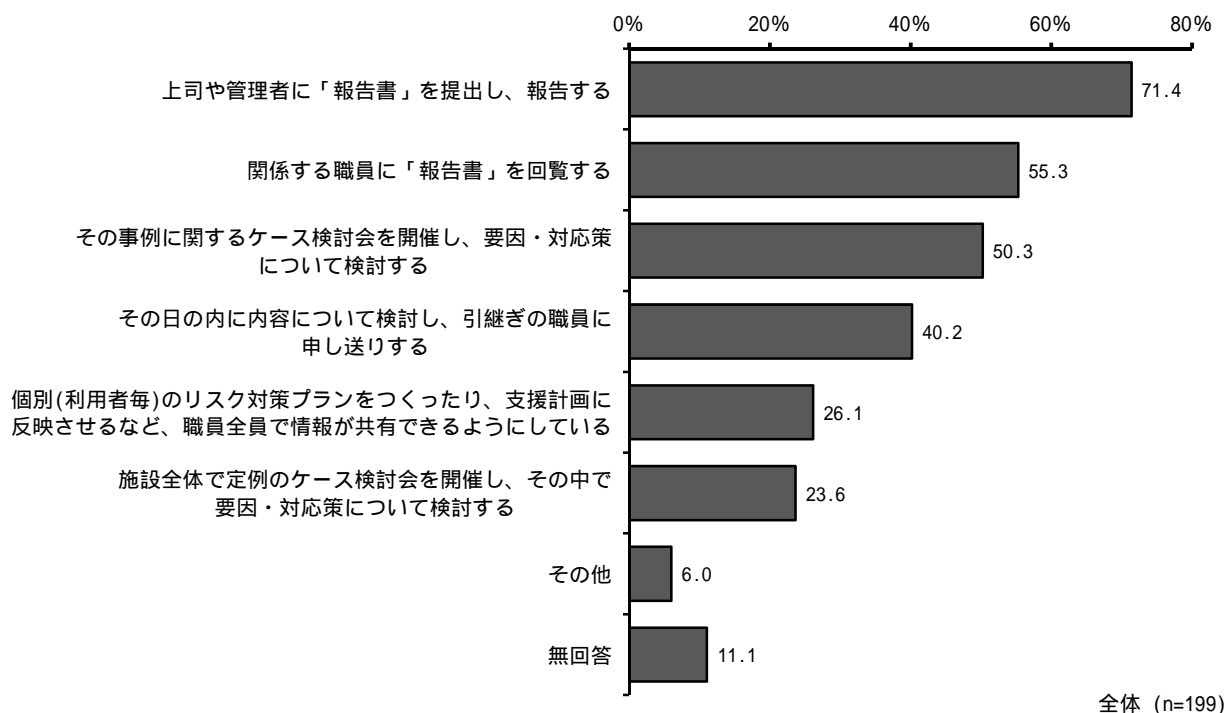


全体 (n=199)

	上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する	関係する職員に「報告書」を回覧する	必要に応じてその日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする	必要に応じてその事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する	施設全体で定例のケース検討会を開催し、その中で要因・対応策について検討する	個別(利用者毎)のリスク対策プランをつくらせたり、支援計画に反映させるなど、職員全員で情報が共有できるようにしている	定期的に「報告書」を集計し、事例の傾向や対策について検討	その他	無回答	
全体 (n=199)	70.9%	57.3%	44.7%	55.8%	25.1%	23.1%	24.1%	3.0%	5.5%	
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	67.4%	55.8%	34.9%	55.8%	23.3%	23.3%	16.3%	2.3%	2.3%
	訪問看護 (n=17)	82.4%	41.2%	35.3%	64.7%	11.8%	17.6%	11.8%	11.8%	5.9%
	通所介護 (n=19)	73.7%	47.4%	68.4%	52.6%	26.3%	26.3%	15.8%	0.0%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	83.3%	83.3%	50.0%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	100.0%	60.0%	80.0%	100.0%	20.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	77.8%	77.8%	44.4%	55.6%	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	87.5%	75.0%	87.5%	87.5%	62.5%	62.5%	75.0%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	66.7%	71.4%	57.1%	71.4%	38.1%	38.1%	14.3%	0.0%	4.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	62.9%	31.4%	22.9%	37.1%	20.0%	5.7%	14.3%	5.7%	11.4%

問42 行政報告をした事故に関して、事業所内での情報共有や再発防止の取組をどのように行っていますか。(いくつでも)

- ・「上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する」(71.4%)が最も多く、次いで「関係する職員に「報告書」を回覧する」(55.3%)、「その事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する」(50.3%)、「その日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする」(40.2%)と続いている。

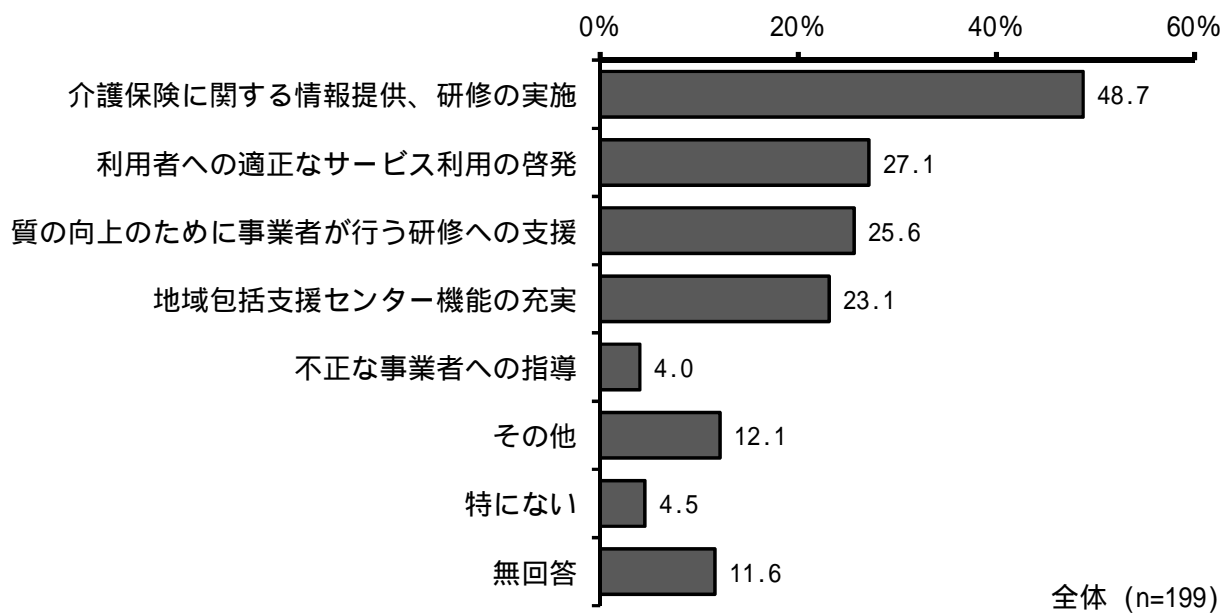


		上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する	関係する職員に「報告書」を回覧する	その日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする	その事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する	施設全体で定例のケース検討会を開催し、その中で要因・対応策について検討する	個別(利用者毎)のリスク対策プランをつくらたり、支援計画に反映させるなど、職員全員で情報が共有できるようにしている	その他	無回答
全体 (n=199)		71.4%	55.3%	40.2%	50.3%	23.6%	26.1%	6.0%	11.1%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	81.4%	48.8%	41.9%	34.9%	23.3%	27.9%	4.7%	7.0%
	訪問看護 (n=17)	47.1%	35.3%	29.4%	47.1%	17.6%	11.8%	11.8%	23.5%
	通所介護 (n=19)	84.2%	68.4%	63.2%	42.1%	21.1%	31.6%	0.0%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	66.7%	66.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	短期入所生活介護 (n=5)	100.0%	80.0%	80.0%	80.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	100.0%	77.8%	33.3%	77.8%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
	福祉用具 (n=5)	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%
宛名以外サービス数	地域密着型通所介護 (n=21)	71.4%	71.4%	47.6%	71.4%	33.3%	33.3%	0.0%	4.8%
	居宅介護支援事業所 (n=35)	48.6%	22.9%	17.1%	45.7%	14.3%	8.6%	14.3%	25.7%
	なし(無回答を含む) (n=98)	63.3%	54.1%	36.7%	43.9%	17.3%	21.4%	7.1%	13.3%
	1サービス(計2) (n=43)	81.4%	48.8%	39.5%	48.8%	30.2%	27.9%	4.7%	9.3%
	2サービス(計3) (n=22)	72.7%	59.1%	45.5%	59.1%	40.9%	27.3%	9.1%	13.6%
3サービス以上(計4以上) (n=36)	80.6%	63.9%	47.2%	63.9%	22.2%	36.1%	2.8%	5.6%	

(11) 市への意見・要望について

問43 今後、保険者としての府中市に対し、事業者として望むことは何ですか。(2つまでに)

- ・「介護保険に関する情報提供、研修の実施」(48.7%)が最も多く、次いで「利用者への適正なサービス利用の啓発」(27.1%)、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」(25.6%)、「地域包括支援センター機能の充実」(23.1%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は4.5%となっている。
- ・「介護保険に関する情報提供、研修の実施」は、特に『地域密着型通所介護』(76.2%)、『通所介護』(57.9%)の割合が高くなっている。



		介護保険に関する情報提供	質の向上のために事業者が行う研修への支援	不正な事業者への指導	利用者への適正なサービス利用の啓発	地域包括支援センター機能の充実	その他	特にない	無回答
全体 (n=199)		48.7%	25.6%	4.0%	27.1%	23.1%	12.1%	4.5%	11.6%
宛名記載サービス (n=5)	訪問介護 (n=43)	51.2%	30.2%	4.7%	25.6%	25.6%	14.0%	2.3%	11.6%
	訪問看護 (n=17)	29.4%	29.4%	17.6%	23.5%	41.2%	11.8%	0.0%	11.8%
	通所介護 (n=19)	57.9%	42.1%	0.0%	26.3%	15.8%	10.5%	0.0%	5.3%
	通所リハビリテーション (n=6)	50.0%	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	短期入所生活介護 (n=5)	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	特定施設入居者生活介護 (n=9)	22.2%	44.4%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%
	福祉用具 (n=5)	40.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	介護老人福祉施設 (n=8)	37.5%	37.5%	0.0%	12.5%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	地域密着型通所介護 (n=21)	76.2%	33.3%	0.0%	19.0%	28.6%	4.8%	0.0%	4.8%
居宅介護支援事業所 (n=35)	42.9%	8.6%	5.7%	34.3%	31.4%	11.4%	14.3%	8.6%	
宛名以外サービス数	なし(無回答を含む) (n=98)	48.0%	27.6%	4.1%	27.6%	19.4%	11.2%	4.1%	11.2%
	1サービス(計2) (n=43)	53.5%	27.9%	4.7%	32.6%	30.2%	9.3%	4.7%	7.0%
	2サービス(計3) (n=22)	45.5%	18.2%	9.1%	13.6%	13.6%	13.6%	0.0%	27.3%
	3サービス以上(計4以上) (n=36)	47.2%	22.2%	0.0%	27.8%	30.6%	16.7%	8.3%	8.3%

問44 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、55件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
制度、サービス、事業について	21
医療と介護の連携について	11
情報共有について（市や他の事業所との連携を含む）	7
人材について（事業所運営を含む）	4
介護報酬について	2
地域特性について	2
災害について	2
利用者負担について	1
要介護認定について	1

4 - 2 調査結果から見えた課題

介護人材の確保

- ・「福祉施設介護職員」「看護師・准看護師」「ホームヘルパー（訪問介護員）」の離職率が高い。（問3(1)）
- ・人材確保で困難な職種は、「介護福祉士」「看護師・准看護師」「ホームヘルパー（訪問介護員）」の割合が高い。（問8）
- ・離職理由は、「心身の不調、高齢」「収入が少ない」「いろいろな職場の経験希望」など、前回調査結果との傾向に変わりはない。（問3(2)）
- ・離職が出ないように工夫していることは「年次有給休暇等の取得促進」「定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい」「職場環境づくり」「時間外労働時間の削減」など、前回調査と同様な傾向であった。（問3(3)）
- ・処遇改善を行う上での課題は、「職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」が最も多く41.7%で、特に、訪問介護事業所では62.8%と高くなっている。（問4）

個々の事業所や法人においては、職員が離職しないよう、職場の環境づくりや柔軟な勤務体制への取組や、事業所と市の連携によるキャリア支援などが求められている。

職員の処遇改善だけでなく新たな人材確保に向けての取組が求められている。

困難ケースへの対応力の向上

- ・困難ケースが「ある」割合は77.9%となっている。（問5）
- ・困難ケースの内容は、「ひとり暮らしで親族と連絡がとりにくいケース」（40.0%）が最も多く、次いで「病識がなくサービスの拒否があるケース」（38.7%）、「家族に障害や精神疾患があるケース」と「老老介護、認認介護などの世帯のケース」（ともに37.4%）と続いている。（問5-1）

家族がいないケース等の増加も想定されることから、対応・解決力を高めていくため、困難ケースに関する事例共有などを実施する必要がある。

サービスの質の向上

- ・第三者評価を受診している割合は、全体では28.1%で、提供サービスの種類による差がみられる。（問14）
- ・ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の対応や、地域との関わりなど、第三者評価を受審している事業所のほうが取り組んでいる割合が高い。（問36、問38）

サービスの質の向上策の1つとして第三者評価受審の促進が必要である。

認知症患者への対応の充実

- ・認知症利用者で実際にあることとして、「本人の意思の確認がとれない」(51.8%)、「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(48.2%)、「本人や家族が医療機関を受診しない」(41.7%)となっている。(問15)
- ・認知症患者支援でのかかりつけ医との連携については、「とれている・まあまあとれている」(49.8%)、「あまりとれていない・とれていない」(48.3%)で、状況が二分している。(問17)

今後増加すると推測される認知症患者への適切なサービス提供を行うために、かかりつけ医との連携が必要である。また、認知症の本人だけでなく、その家族も含めて支援する仕組みの充実が求められている。

災害対策

- ・災害時のマニュアルを作成している(「法人全体で共通」「部門ごとに作成」)割合は76.9%となっている。(問30)
- ・災害時のマニュアルに含まれる内容は、「職員の安否確認の方法」(92.6%)、「利用者の安否確認の方法」(81.8%)の割合が高い一方で、「地域住民の受け入れなど地域との連携に関すること」(36.9%)や「定期的なマニュアルの見直しに関する事項」(48.9%)の割合は低い。(問30-1)
- ・災害時に備えた地域との連携の取組について、最も多いもので「地域のまつりや行事に参加することにつながりをつくっている」が34.2%となっている。次いで、「事業所内の行事への参加を地域にPRしている」は18.6%となっている。(問33)
- ・災害発生時における事業所が抱える課題(自由回答方式)では、「利用者の安全確保(避難誘導、安否確認、家族との連絡)と発災後対応」「提供体制(スタッフの通勤・帰宅、利用者宅への移動など)」に関する回答が多くみられた。(問34)

近年、自然災害が多発しているなかで、介護サービス事業所における対外対策を強化するため、関係課と連携しながら、マニュアル作成の支援や地域との連携を促進していく必要がある。

感染症予防対策

- ・感染症対策のために事業所で取り組んでいること(自由回答方式)は、「研修・話し合い・委員会」や「日常の予防対策(手洗い・うがい・健康チェック)」が多くなっている。(問35)

新型コロナウイルス対策をはじめ、介護保険サービス利用者、職員ともに安全で安心して過ごせるサービス提供環境が求められている。

医療と介護の連携の推進

- ・医療と介護の連携に必要なことは、「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」(54.3%)が最も多く、次いで「在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する」(36.2%)、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる」(31.2%)と続いている。(問26)

医療と介護の関係者間で顔を合わせる機会を持ちながら、利用者を中心とした共通の目標のもと、お互いの機能の違いを生かしつつ、協働する仕組みを構築していくことが求められている。

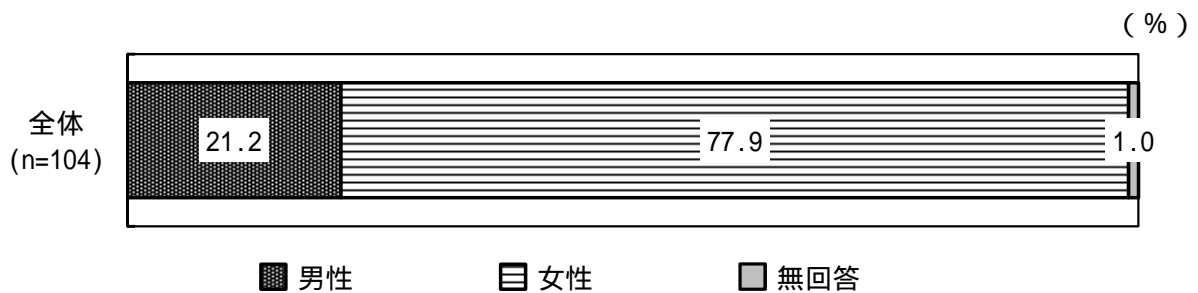
第5章 介護支援専門員調査

5 - 1 調査結果の概要

(1) 回答者について

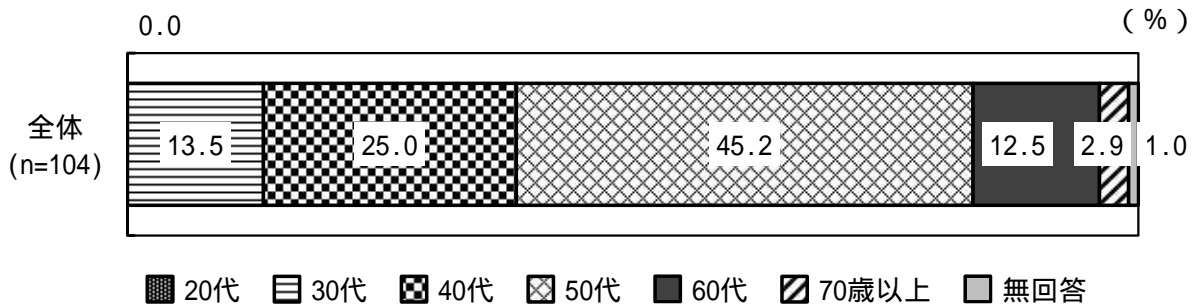
問1 あなたの性別をお答えください。(1つに)

- ・「男性」が21.2%、「女性」が77.9%となっている。



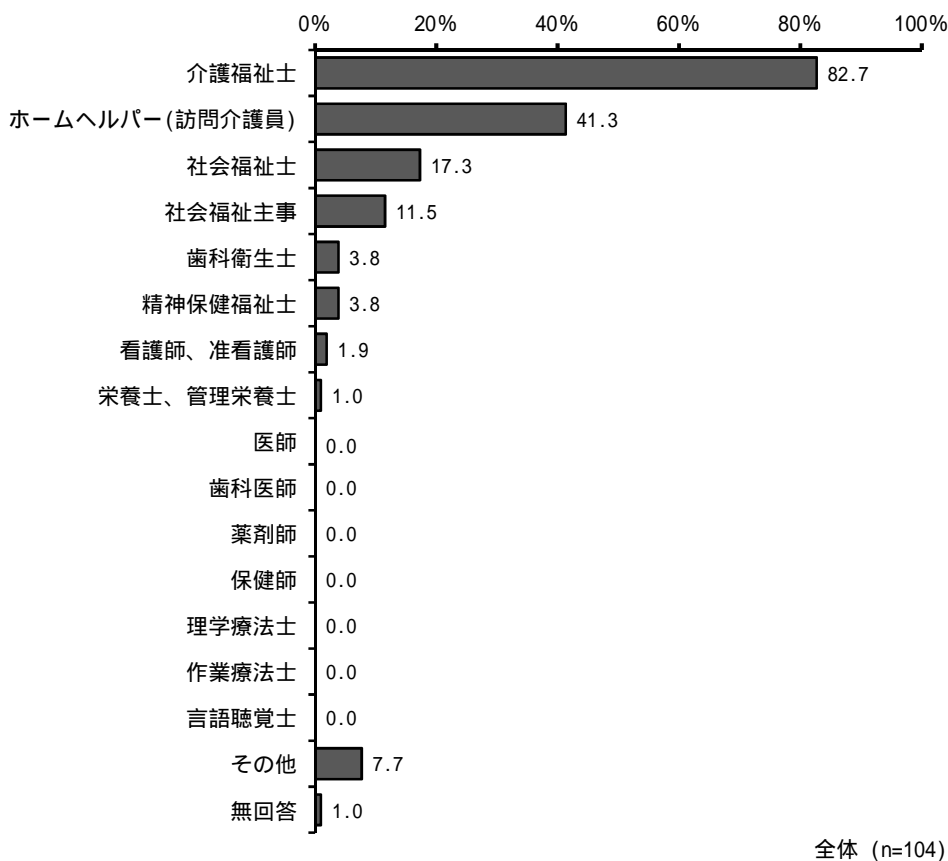
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに)

- ・「50代」(45.2%)が最も多く、次いで「40代」(25.0%)、「30代」(13.5%)、「60代」(12.5%)と続いている。



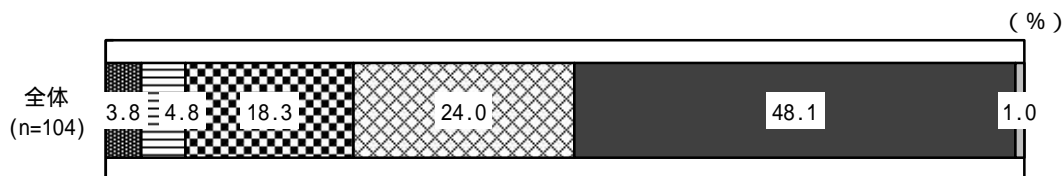
問3 あなたは、介護支援専門員（以下「ケアマネジャー」）以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。（いくつでも）

- ・「介護福祉士」(82.7%)が最も多く、次いで「ホームヘルパー（訪問介護員）」(41.3%)、「社会福祉士」(17.3%)、「社会福祉主事」(11.5%)と続いている。



問4 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職なども含めた合計期間で答えてください。（令和元年10月1日時点）（1つに）

- ・「7年以上」(48.1%)が最も多く、次いで「5年以上7年未満」(24.0%)、「3年以上5年未満」(18.3%)と続いている。

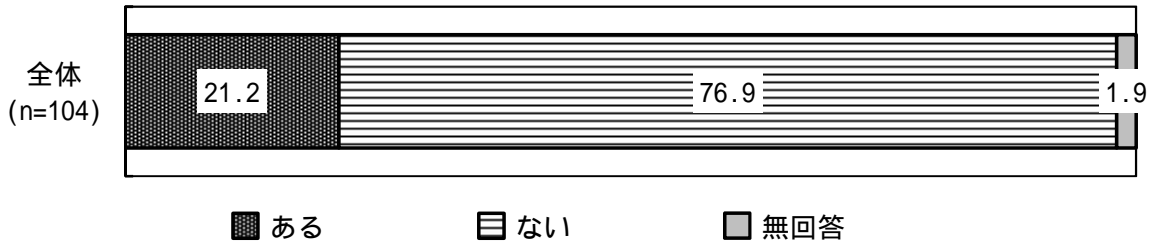


■ 1年未満 □ 1年以上3年未満 ▣ 3年以上5年未満 ▤ 5年以上7年未満 ■ 7年以上 □ 無回答

問5 あなたは、主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）の資格を有していますか。（1つに ）

・「ある」が21.2%、「ない」が76.9%となっている。

(%)

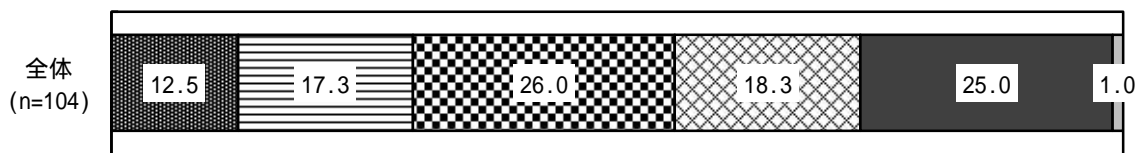


		ある	ない	無回答
全 体	(n=104)	21.2%	76.9%	1.9%
ケアマネ 業務経験	5年以上7年未満	4.0%	92.0%	4.0%
	7年以上	42.0%	58.0%	0.0%

問6 あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在籍している期間はどのくらいですか。（1つに ）

・「3年以上5年未満」(26.0%)が最も多く、次いで「7年以上」(25.0%)、「5年以上7年未満」(18.3%)、「1年以上3年未満」(17.3%)と続いている。

(%)

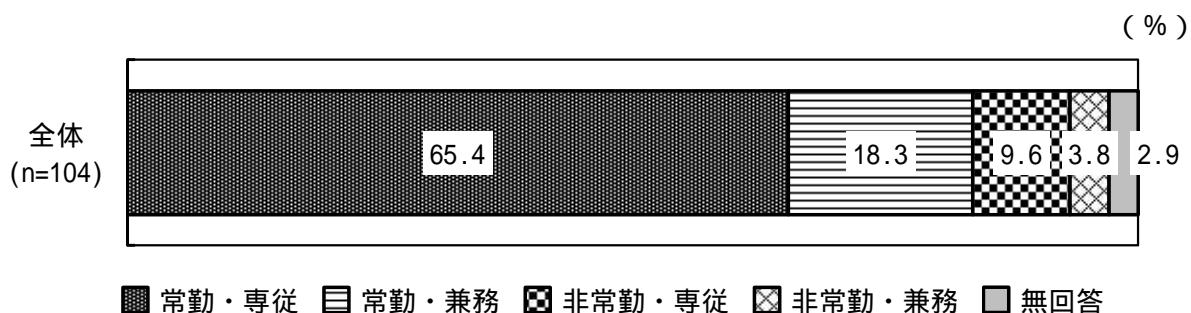


■ 1年未満 ■ 1年以上3年未満 ■ 3年以上5年未満 ■ 5年以上7年未満 ■ 7年以上 ■ 無回答

(2) ケアマネジャー業務の担当状況について

問7 あなたの勤務形態をお答えください。(1つに)

- ・「常勤・専従」(65.4%)が最も多く、次いで「常勤・兼務」(18.3%)、「非常勤・専従」(9.6%)となっている。
- ・『ケアマネ業務経験』が長いほど「常勤・兼務」の割合が高くなっている。

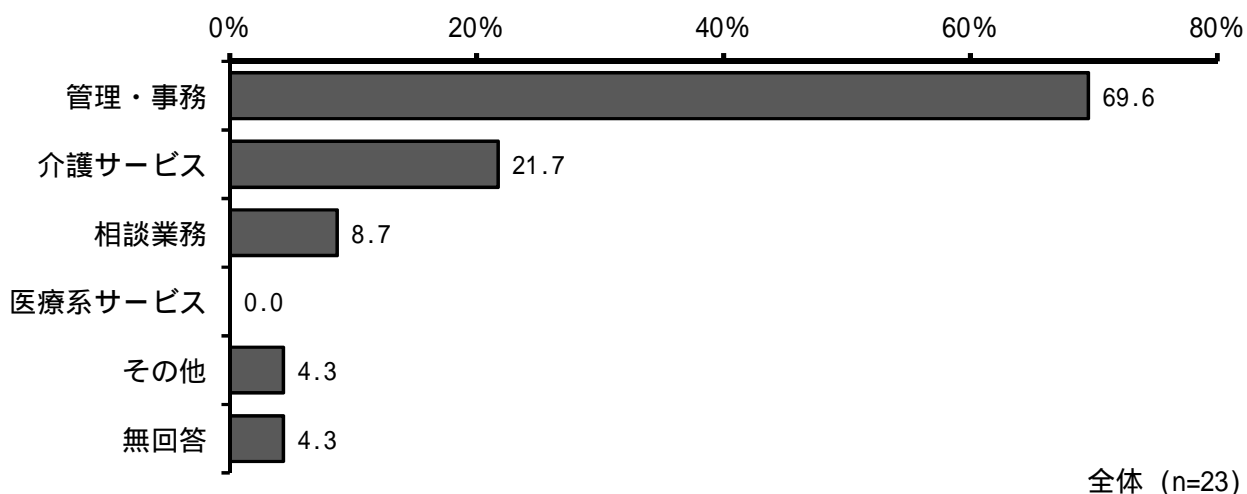


		常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	無回答
全 体	(n=104)	65.4%	18.3%	9.6%	3.8%	2.9%
性別	男性	(n=22) 59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	0.0%
	女性	(n=81) 67.9%	13.6%	11.1%	4.9%	2.5%
年齢	30代	(n=14) 92.9%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
	40代	(n=26) 53.8%	42.3%	3.8%	0.0%	0.0%
	50代	(n=47) 76.6%	12.8%	4.3%	4.3%	2.1%
	60歳以上	(n=16) 31.3%	12.5%	37.5%	12.5%	6.3%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満	(n=9) 100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満	(n=19) 73.7%	10.5%	10.5%	5.3%	0.0%
	5年以上7年未満	(n=25) 68.0%	12.0%	8.0%	8.0%	4.0%
	7年以上	(n=50) 56.0%	28.0%	12.0%	2.0%	2.0%

問7で「常勤・兼務」又は「非常勤・兼務」と答えた方におたずねします

問7-1 どのような業務を兼務していますか。(いくつでも)

- ・「管理・事務」(69.6%)が最も多く、次いで「介護サービス」(21.7%)、「相談業務」(8.7%)となっている。

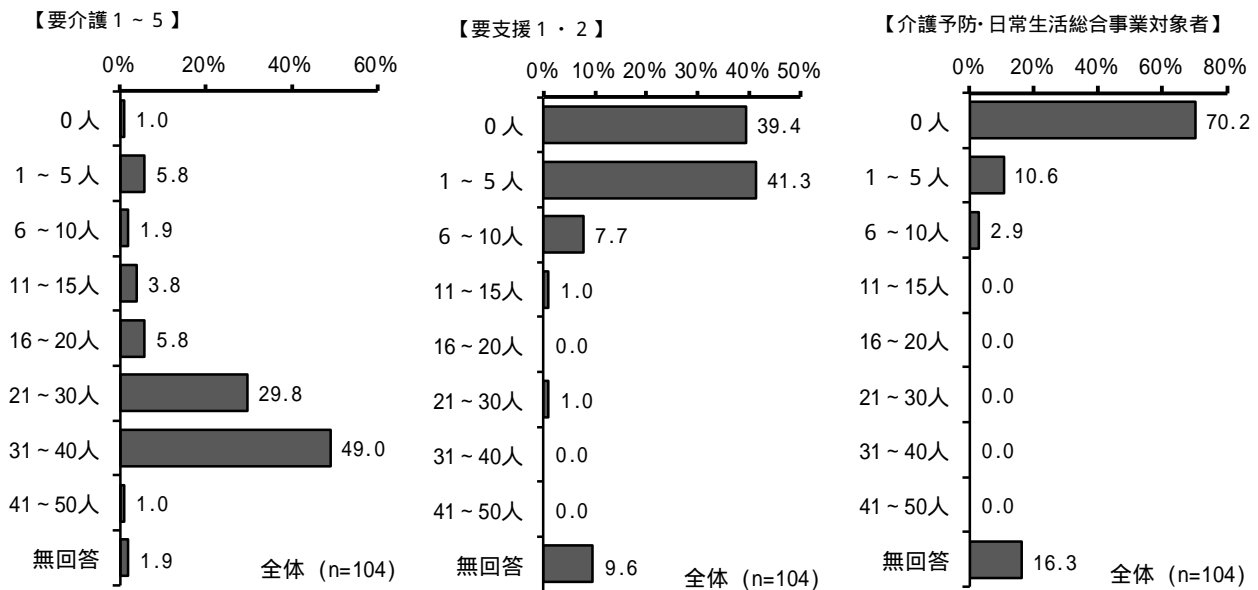


(3) ケアプランの作成状況について

問8 令和元年9月末現在、あなたが担当している利用者数（一時的入院中などを含め、継続的に関わっている総利用者数）をご記入ください。

- ・要介護1～5のケアプラン作成数は、「31～40人」(49.0%)が最も多く、次いで「21～30人」(29.8%)、「1～5人」「16～20人」(ともに5.8%)、「11～15人」(3.8%)と続いている。
- ・介護予防プラン（要支援1・2）作成数は、「1～5人」(41.3%)が最も多く、次いで「0人（なし）」(39.4%)、「6～10人」(7.7%)、と続いている。

介護予防・日常生活総合事業対象者は、「0人（なし）」(70.2%)が最も多く、次いで「1～5人」(10.6%)、「6～10人」(2.9%)となっている。



《居宅介護支援事業所の管理者（又は管理者に類する方）におたずねします》

問8-1 介護予防プランの作成を受託していない場合、その理由を具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、27件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
法人や事業所の方針	7
事務負担が多い、手間がかかる	5
予防プランを受ける余裕がない	3
報酬が低い	3
作成に不慣れ、介護プランと様式が異なるため	2
総合事業の知識がない	1
依頼が無い	1
条件をつけて受けている	1
その他	3
わからない、特になし	1

居宅介護支援事業所の管理者（又は管理者に類する方）におたずねします

問8-2 介護予防プランの受託件数を増やすうえで課題となることは何ですか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、39件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

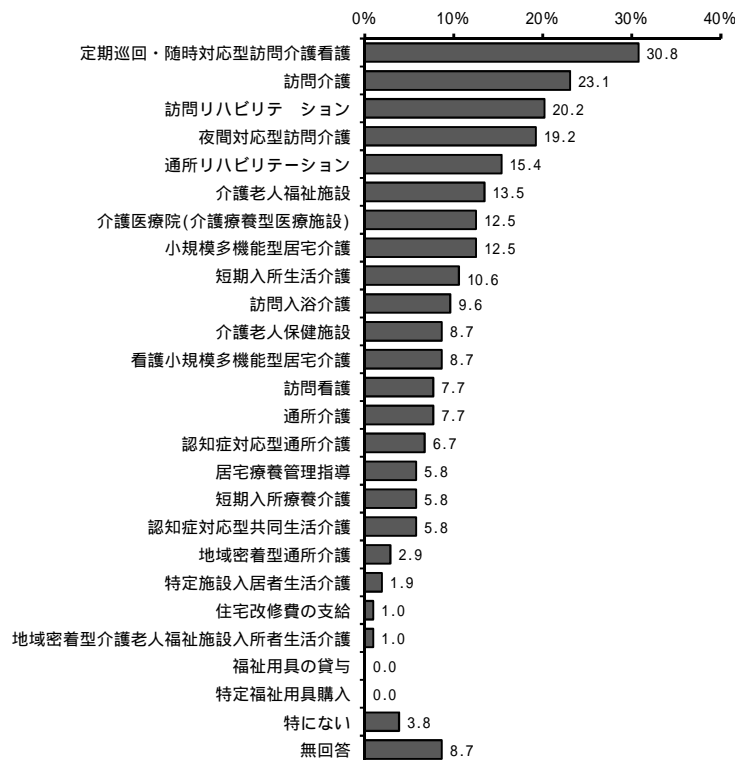
内容	件数
事務負担が多い	25
報酬が低い	7
予防プランを受ける余裕がない	3
総合事業の知識がない	1
提供サービスの不足（調整が困難など）	1
その他	1
わからない・ない	1

(4) 担当地域におけるサービスの状況について

問9 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービス、今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。(それぞれ3つまで選んで番号を記入)

(1) 量的に不足しているサービス

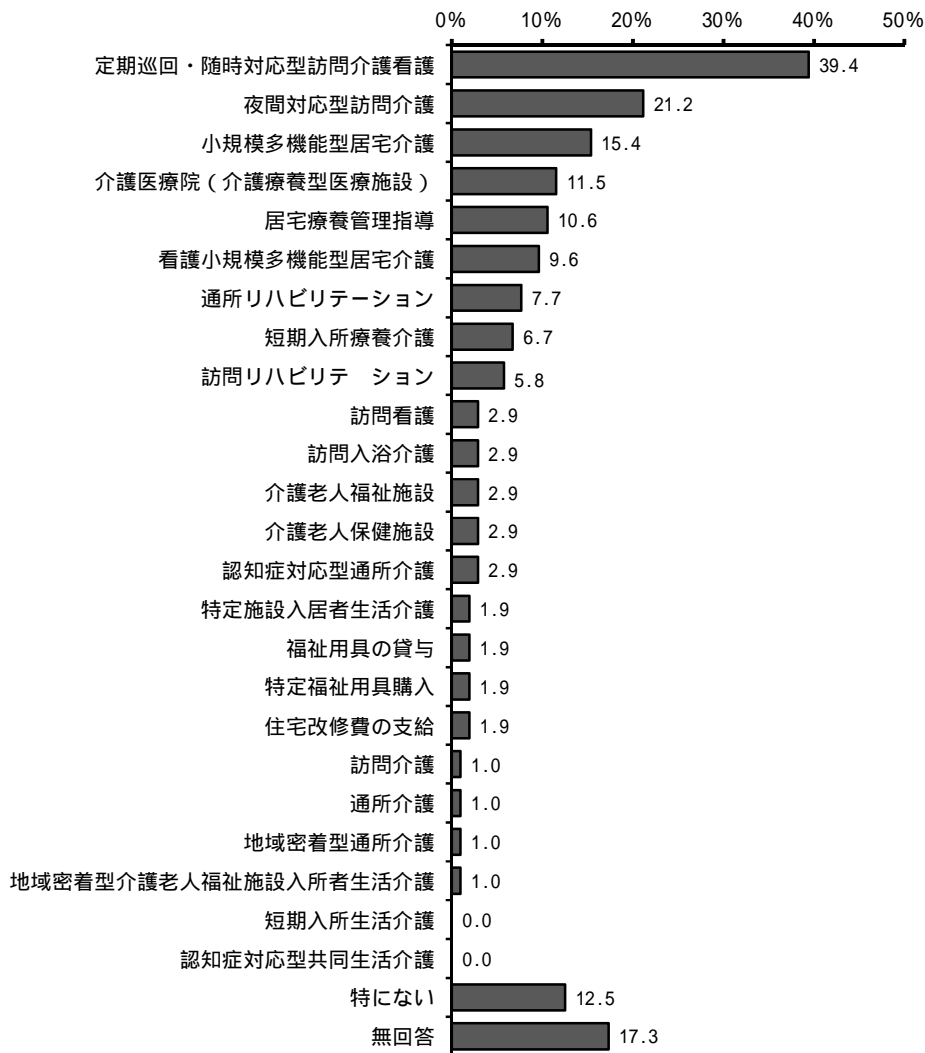
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(30.8%)が最も多く、次いで「訪問介護」(23.1%)、「訪問リハビリテーション」(20.2%)、「夜間対応型訪問介護」(19.2%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は3.8%となっている。



全体 (n=104)

問9(2) ケアプランに組み入れにくいサービス

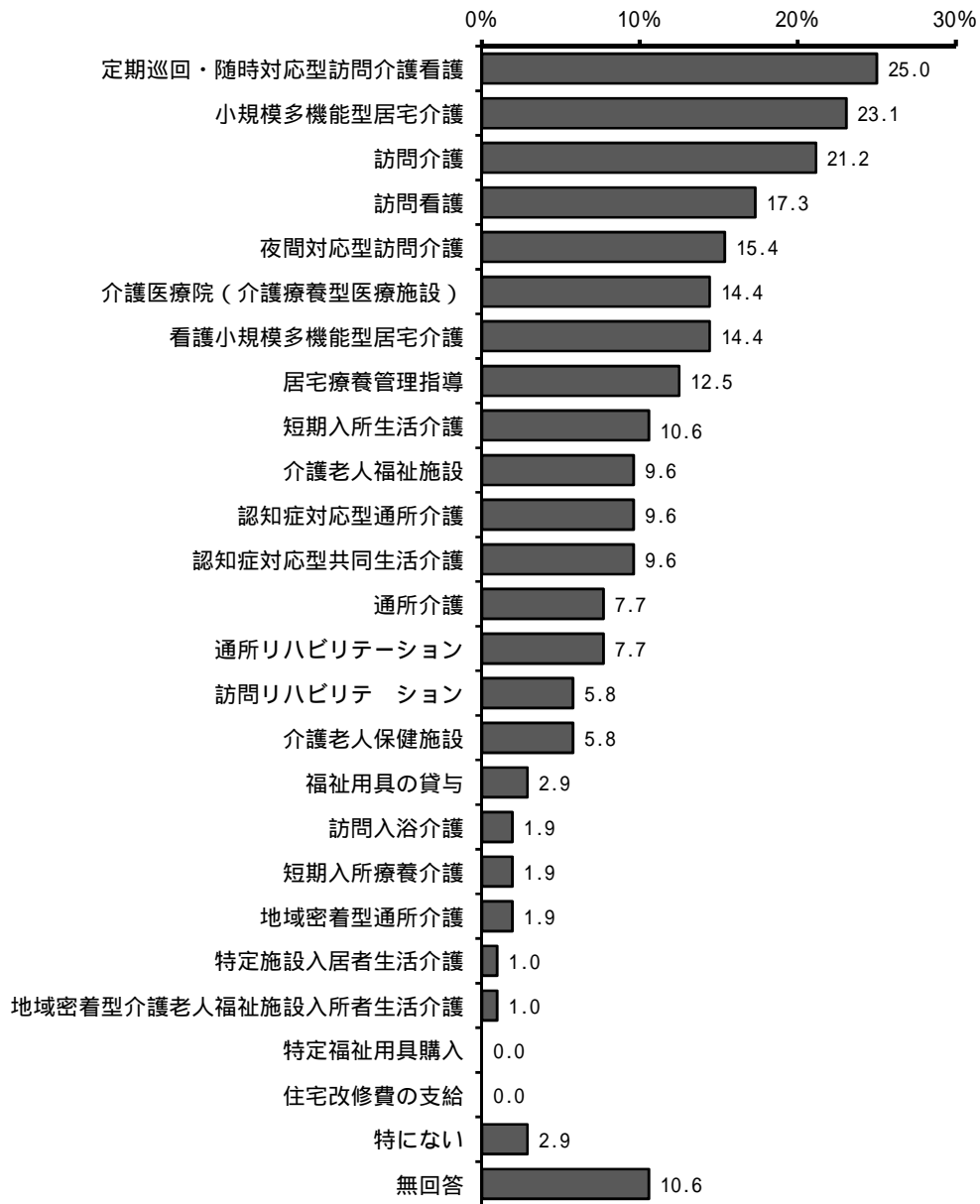
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(39.4%)が最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」(21.2%)、「小規模多機能型居宅介護」(15.4%)、「介護医療院(介護療養型医療施設)」(11.5%)、「居宅療養管理指導」(10.6%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は12.5%となっている。



全体 (n=104)

問9 (3) 今後必要性がより高まると思われるサービス

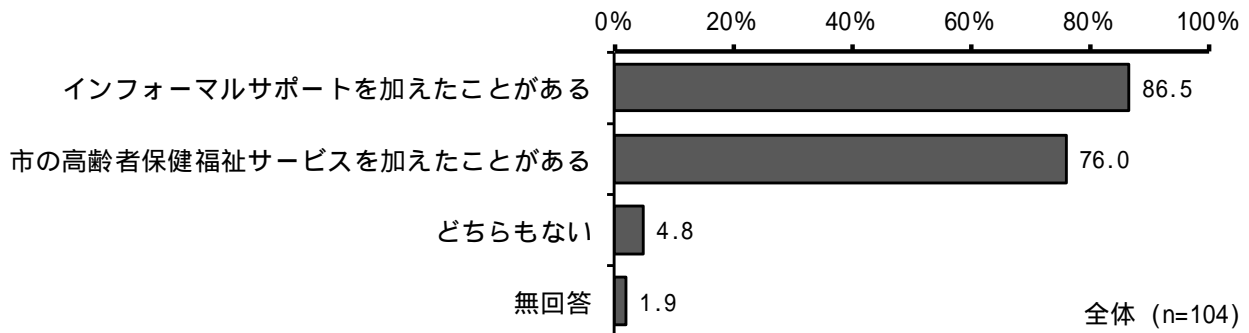
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(25.0%)が最も多く、次いで「小規模多機能型居宅介護」(23.1%)、「訪問介護」(21.2%)、「訪問看護」(17.3%)、「夜間対応型訪問介護」(15.4%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は2.9%となっている。



全体 (n=104)

問10 あなたは、介護保険サービス以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがありますか。(いくつでも)

- ・「インフォーマルサポートを加えたことがある」が86.5%、「市の高齢者保健福祉サービスを加えたことがある」が76.0%、「どちらもない」が4.8%となっている。
- ・ケアマネ業務経験が『3年未満』では、「どちらもない」(22.2%)の割合が高くなっている。

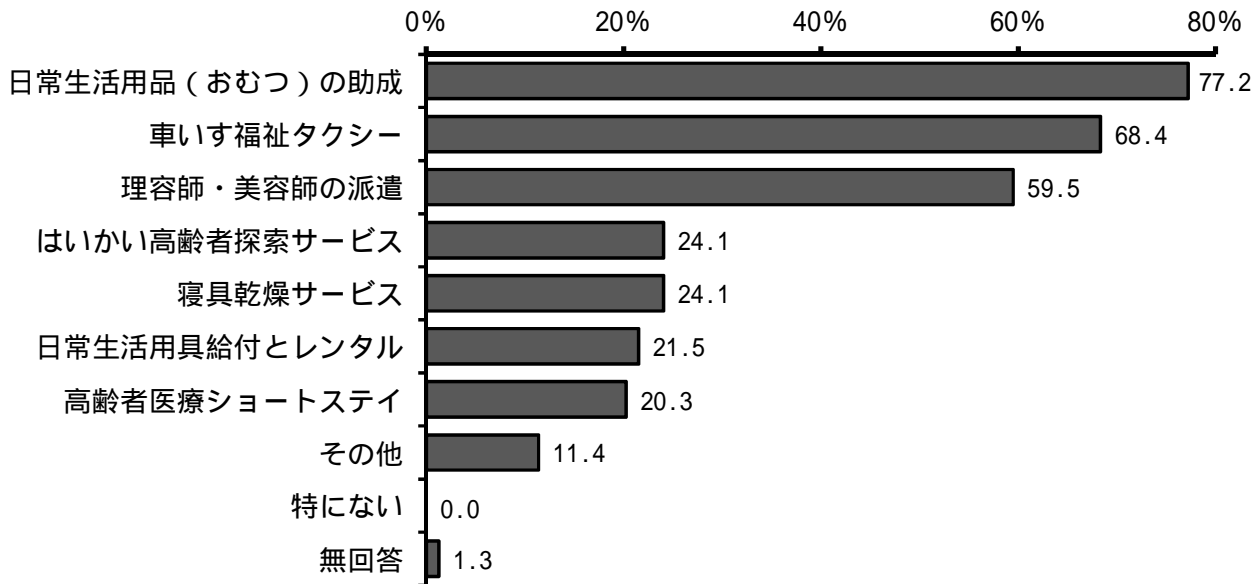


		市の高齢者保健福祉サービスを加えたことがある	インフォーマルサポートを加えたことがある	どちらもない	無回答
全体	(n=104)	76.0%	86.5%	4.8%	1.9%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	75.6%	87.2%	4.7%	2.3%
	ホームヘルパー (n=43)	76.7%	86.0%	4.7%	2.3%
	社会福祉士 (n=18)	83.3%	88.9%	5.6%	0.0%
	社会福祉主事 (n=12)	75.0%	83.3%	0.0%	8.3%
	その他 (n=19)	78.9%	100.0%	0.0%	0.0%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	77.8%	33.3%	22.2%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	73.7%	89.5%	5.3%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	64.0%	92.0%	4.0%	0.0%
	7年以上 (n=50)	82.0%	92.0%	2.0%	4.0%
主任 ケアマネ	ある (n=22)	86.4%	90.9%	0.0%	4.5%
	ない (n=80)	72.5%	85.0%	6.3%	1.3%

問10で「市の高齢者保健福祉サービスを加えたことがある」とお答えの方におたずねします

問10-1 ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービスはどれですか。(いくつでも)

- ・「日常生活用品(おむつ)の助成」(77.2%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(68.4%)、「理容師・美容師の派遣」(59.5%)と続いている。
- ・各サービスともに、ケアマネ業務経験が『5年以上』の割合が高くなっている。



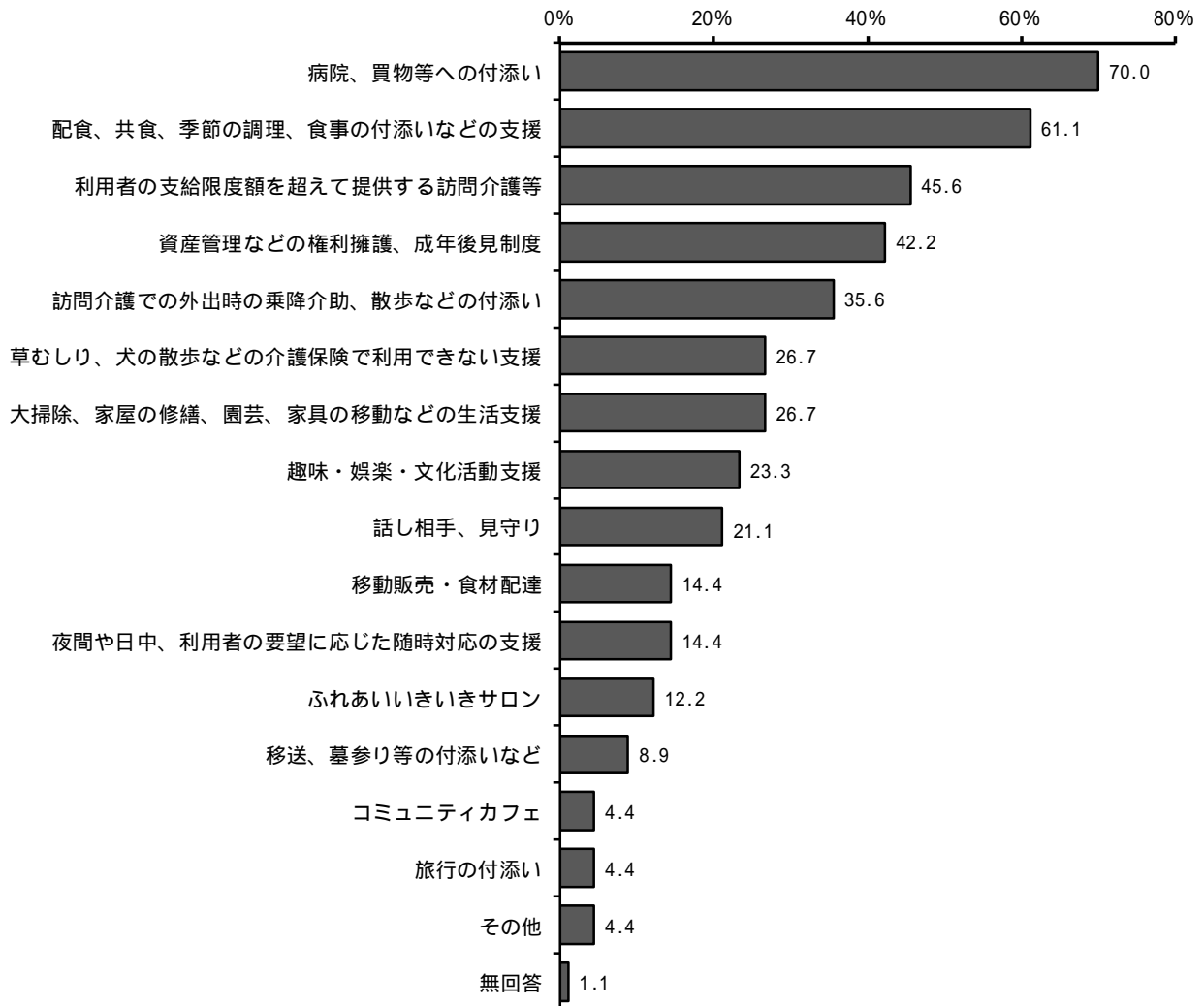
全体 (n=79)

		ト ス テ イ	と 日 常 生 活 用 具 給 付	索 は さ い か い 高 齢 者 探 索	む 日 常 生 活 用 品 (お む つ)	シ 車 い す 福 祉 タ ク シ ー	寝 具 乾 燥 サ ー ビ ス	派 理 遣 容 師 ・ 美 容 師 の	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	(n=79)	20.3%	21.5%	24.1%	77.2%	68.4%	24.1%	59.5%	11.4%	0.0%	1.3%
ケアマネ 業務経験 (4区分)	3年未満 (n=7)	0.0%	14.3%	14.3%	57.1%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=14)	7.1%	7.1%	7.1%	71.4%	42.9%	14.3%	50.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=16)	18.8%	31.3%	25.0%	81.3%	62.5%	25.0%	68.8%	6.3%	0.0%	6.3%
	7年以上 (n=41)	29.3%	24.4%	31.7%	82.9%	82.9%	29.3%	65.9%	12.2%	0.0%	0.0%
ケアマネ 業務経験	5年未満 (n=21)	4.8%	9.5%	9.5%	66.7%	42.9%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
	5年以上 (n=57)	26.3%	26.3%	29.8%	82.5%	77.2%	28.1%	66.7%	10.5%	0.0%	1.8%
主任 ケアマネ	ある (n=19)	21.1%	26.3%	42.1%	89.5%	84.2%	31.6%	63.2%	15.8%	0.0%	0.0%
	ない (n=58)	19.0%	19.0%	19.0%	74.1%	62.1%	22.4%	58.6%	10.3%	0.0%	1.7%

問10で「インフォーマルサポートを加えたことがある」とお答えの方におたずねします

問10-2 ケアプランに加えたインフォーマルサポートはどのような内容のものですか。(いくつでも)

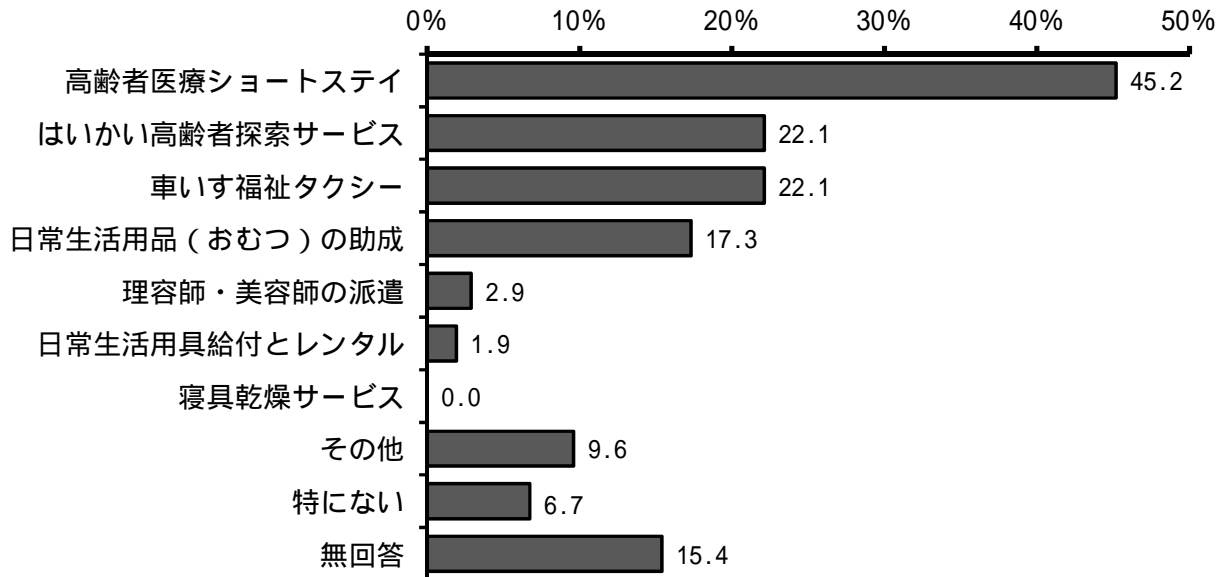
- ・「病院、買物等への付添い」(70.0%)が最も多く、次いで「配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援」(61.1%)、「利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等」(45.6%)、「資産管理などの権利擁護、成年後見制度」(42.2%)、「訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い」(35.6%)と続いている。



全体 (n=90)

問11 今後一層の充実が必要と感じる高齢者保健福祉サービスは次のどれですか。(2つまでに)

- ・「高齢者医療ショートステイ」(45.2%)が最も多く、次いで「はいかい高齢者探索サービス」「車いす福祉タクシー」(ともに22.1%)、「日常生活用品(おむつ)の助成」(17.3%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は6.7%となっている。



全体 (n=104)

		高齢者医療ショートステイ	日常生活用具給付とレンタル	はいかい高齢者探索サービス	日常生活用品(おむつ)の助成	車いす福祉タクシー	寝具乾燥サービス	理容師・美容師の派遣	その他	特にない	無回答
全体	(n=104)	45.2%	1.9%	22.1%	17.3%	22.1%	0.0%	2.9%	9.6%	6.7%	15.4%
他の資格(4種)	介護福祉士 (n=86)	41.9%	1.2%	24.4%	17.4%	22.1%	0.0%	3.5%	8.1%	7.0%	16.3%
	ホームヘルパー (n=43)	46.5%	2.3%	18.6%	27.9%	20.9%	0.0%	0.0%	2.3%	7.0%	11.6%
	社会福祉士 (n=18)	72.2%	5.6%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	社会福祉主事 (n=12)	50.0%	0.0%	41.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	16.7%
	その他 (n=19)	57.9%	5.3%	21.1%	15.8%	21.1%	0.0%	5.3%	21.1%	0.0%	10.5%
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	35.7%	0.0%	28.6%	17.9%	32.1%	0.0%	10.7%	3.6%	3.6%	14.3%
	5年以上 (n=75)	49.3%	2.7%	20.0%	17.3%	18.7%	0.0%	0.0%	10.7%	8.0%	16.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	40.9%	0.0%	22.7%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	13.6%	9.1%	13.6%
	ない (n=80)	46.3%	2.5%	22.5%	15.0%	20.0%	0.0%	3.8%	7.5%	6.3%	16.3%

《問11で「高齢者医療ショートステイ」「日常生活用具給付とレンタル」「はいかい高齢者探索サービス」「日常生活用品（おむつ）の助成」「車いす福祉タクシー」「寝具乾燥サービス」「理容師・美容師の派遣」「その他」とお答えの方におたずねします》

問11-1 その理由を具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、92件（高齢者医療ショートステイ：38件、日常生活用具給付とレンタル：1件、はいかい高齢者探索サービス：11件、日常生活用品（おむつ）の助成：17件、車いす福祉タクシー：16件、寝具乾燥サービス：0件、7.理容師・美容師の派遣：3件、その他：6件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

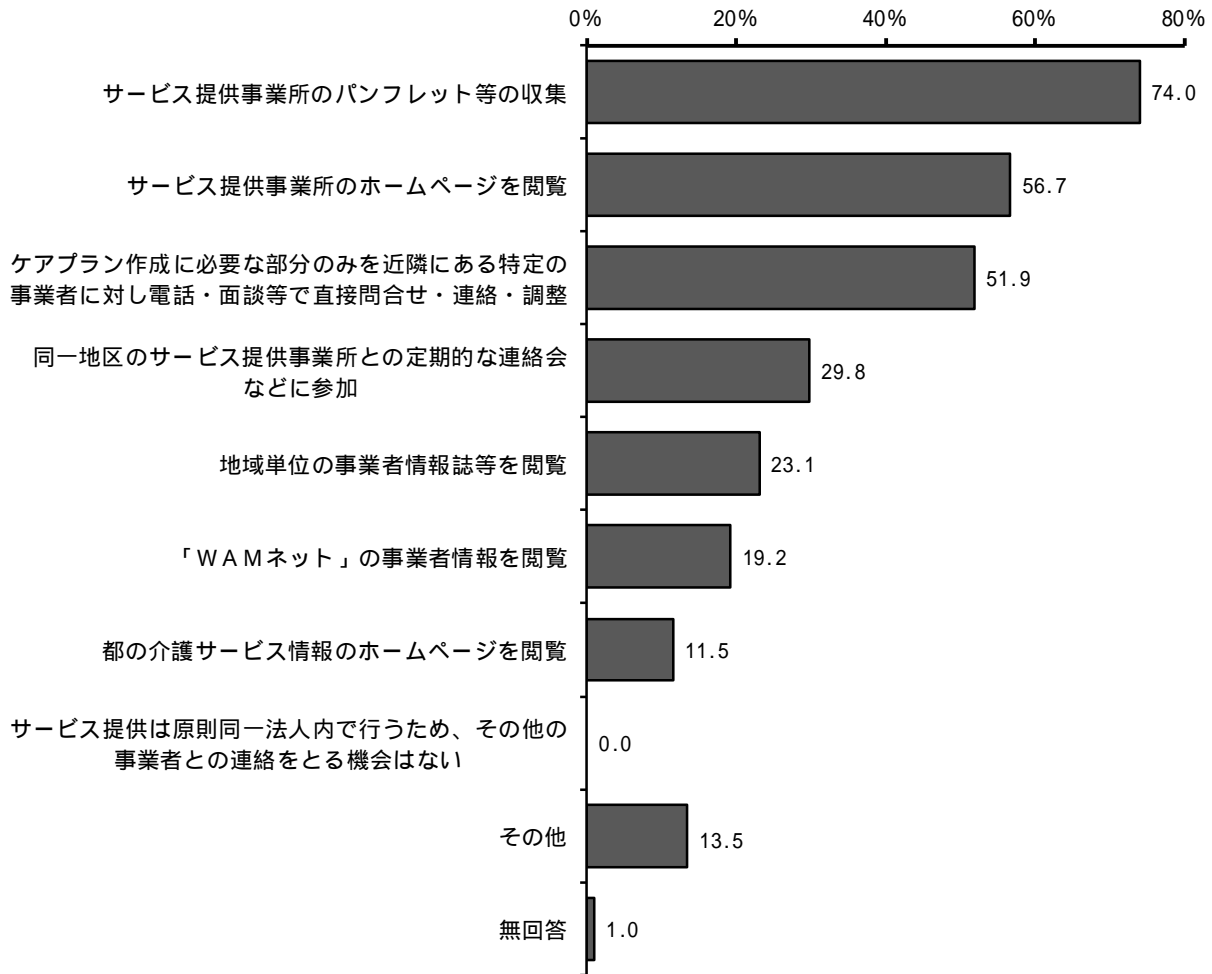
内容	件数
医療ニーズ（他の施設では対応不可など）	28
サービス内容・量の充実、供給体制の充実	16
経済的負担の軽減	12
生活全般の支援、一体的な福祉サービス	11
認知症高齢者の増加	10
在宅生活者の増加・対応、介護家族者支援	7
機器やツールの活用	1
その他	7

(5) サービス提供事業所等との関わりについて

問12 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。

(いくつでも)

- ・「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」(74.0%)が最も多く、次いで「サービス提供事業所のホームページを閲覧」(56.7%)、「ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整」(51.9%)と続いている。



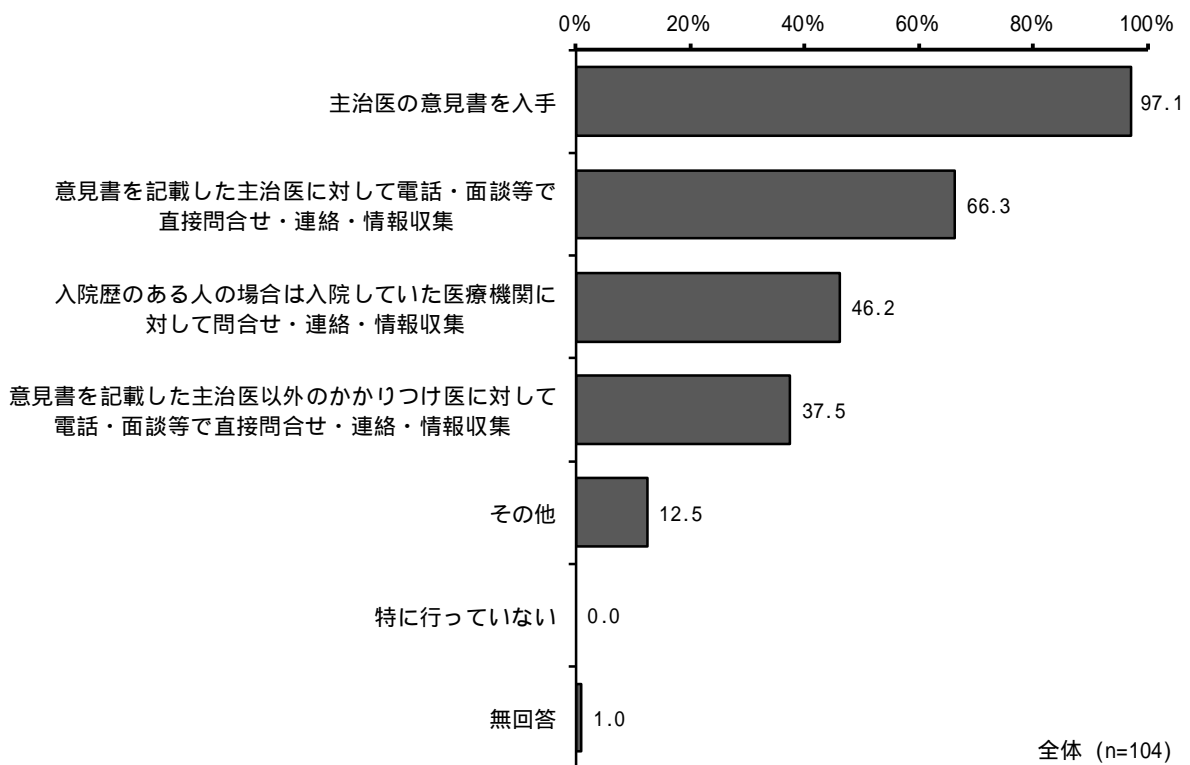
全体 (n=104)

・ケアマネ業務経験が『3年未満』では、「ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整」(77.8%)の割合が高くなっている。

		サービス提供事業所のパンフレット等の収集	サービス提供事業所のホームページを閲覧	地域単位の事業者情報誌等を閲覧	都の介護サービス情報のホームページを閲覧	「WAMネット」の事業者情報を閲覧	同一地区のサービス提供事業所との定期的な連絡会などに参加	ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整	事業者との連絡をとる機会はない	サービス提供は原則同一法人内で行うため、その他の	その他	無回答
全体 (n=104)		74.0%	56.7%	23.1%	11.5%	19.2%	29.8%	51.9%	0.0%	13.5%	1.0%	
性別	男性 (n=22)	81.8%	72.7%	31.8%	13.6%	27.3%	31.8%	40.9%	0.0%	9.1%	0.0%	
	女性 (n=81)	71.6%	51.9%	19.8%	9.9%	16.0%	29.6%	55.6%	0.0%	14.8%	1.2%	
年齢	30代 (n=14)	85.7%	71.4%	28.6%	21.4%	14.3%	21.4%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%	
	40代 (n=26)	65.4%	57.7%	19.2%	3.8%	26.9%	23.1%	46.2%	0.0%	11.5%	0.0%	
	50代 (n=47)	68.1%	53.2%	19.1%	12.8%	19.1%	34.0%	57.4%	0.0%	17.0%	2.1%	
	60歳以上 (n=16)	93.8%	50.0%	31.3%	6.3%	6.3%	37.5%	43.8%	0.0%	6.3%	0.0%	
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	73.3%	57.0%	26.7%	10.5%	17.4%	30.2%	48.8%	0.0%	12.8%	1.2%	
	ホームヘルパー (n=43)	76.7%	53.5%	20.9%	7.0%	20.9%	37.2%	41.9%	0.0%	14.0%	0.0%	
	社会福祉士 (n=18)	66.7%	38.9%	5.6%	16.7%	11.1%	27.8%	55.6%	0.0%	22.2%	0.0%	
	社会福祉主事 (n=12)	58.3%	58.3%	8.3%	25.0%	8.3%	25.0%	75.0%	0.0%	16.7%	0.0%	
	その他 (n=19)	73.7%	57.9%	15.8%	10.5%	21.1%	31.6%	63.2%	0.0%	21.1%	0.0%	
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	66.7%	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%	
	3年以上5年未満 (n=19)	89.5%	68.4%	31.6%	21.1%	31.6%	21.1%	52.6%	0.0%	21.1%	0.0%	
	5年以上7年未満 (n=25)	76.0%	56.0%	24.0%	4.0%	16.0%	24.0%	44.0%	0.0%	4.0%	4.0%	
	7年以上 (n=50)	68.0%	54.0%	18.0%	8.0%	16.0%	38.0%	52.0%	0.0%	14.0%	0.0%	
主任ケアマネ	ある (n=22)	77.3%	59.1%	13.6%	9.1%	27.3%	31.8%	50.0%	0.0%	18.2%	0.0%	
	ない (n=80)	73.8%	56.3%	25.0%	11.3%	16.3%	30.0%	53.8%	0.0%	12.5%	0.0%	

問13 ケアプラン作成にあたり、医療機関等からの情報収集を行っていますか。(いくつでも)

- ・「主治医の意見書を入手」(97.1%)が最も多く、次いで「意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集」(66.3%)、「入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集」(46.2%)、「意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集」(37.5%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は0.0%となっている。
- ・「意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集」「入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集」の割合は、主任ケアマネが『ある』が『ない』よりも10ポイント程度高くなっている。



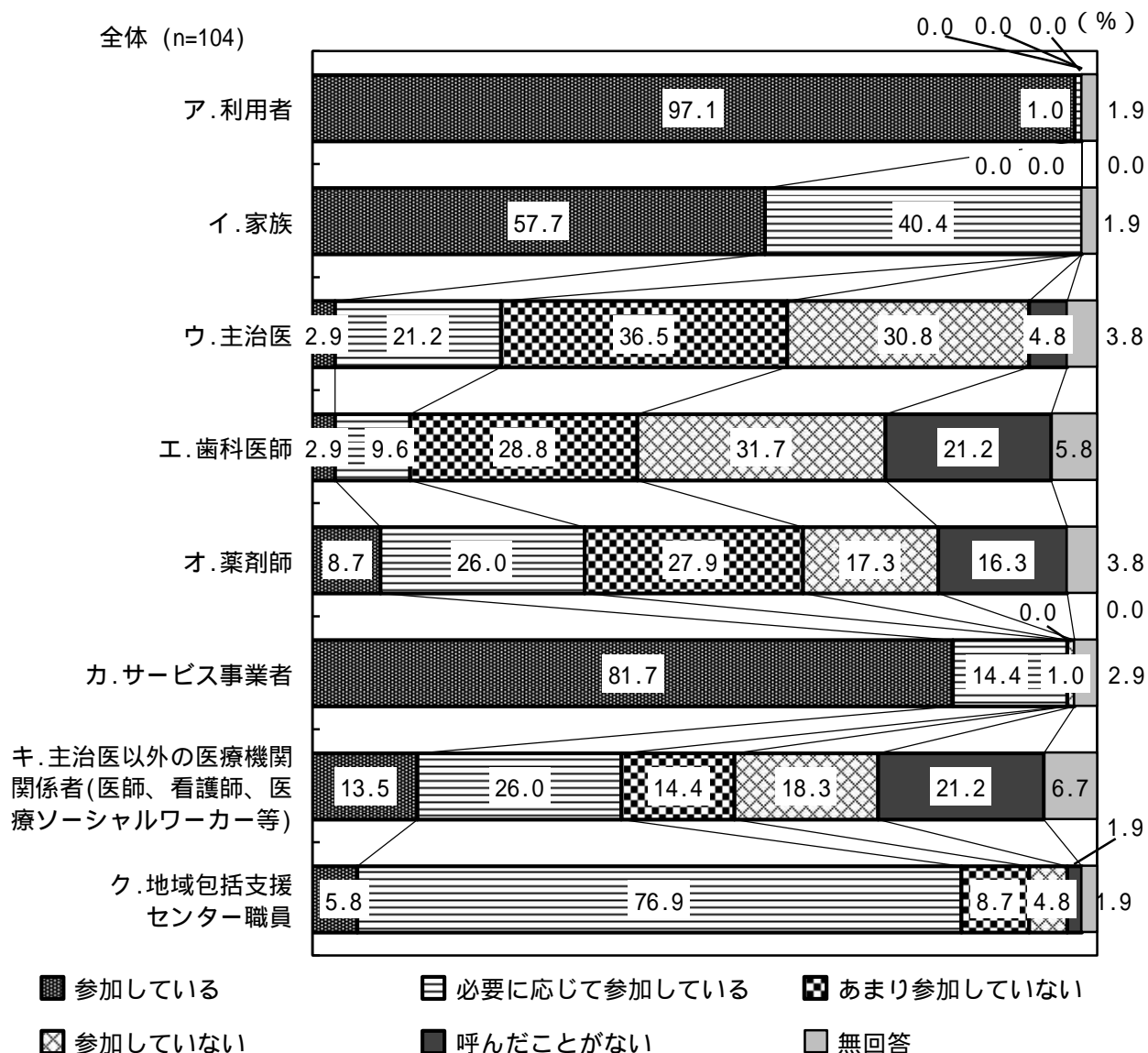
		主治医の意見書を入手	意見書を記載した主治医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	意見書を記載した主治医以外のかかりつけ医に対して電話・面談等で直接問合せ・連絡・情報収集	入院歴のある人の場合は入院していた医療機関に対して問合せ・連絡・情報収集	その他	特に行っていない	無回答
全体	(n=104)	97.1%	66.3%	37.5%	46.2%	12.5%	0.0%	1.0%
性別	男性 (n=22)	100.0%	68.2%	50.0%	50.0%	13.6%	0.0%	0.0%
	女性 (n=81)	96.3%	65.4%	33.3%	44.4%	12.3%	0.0%	1.2%
年齢	30代 (n=14)	92.9%	85.7%	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%	0.0%
	40代 (n=26)	100.0%	69.2%	46.2%	50.0%	11.5%	0.0%	0.0%
	50代 (n=47)	95.7%	66.0%	36.2%	38.3%	12.8%	0.0%	2.1%
	60歳以上 (n=16)	100.0%	43.8%	25.0%	50.0%	18.8%	0.0%	0.0%
ケアマネ業務経験(4区分)	3年未満 (n=9)	77.8%	77.8%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	100.0%	73.7%	31.6%	52.6%	5.3%	0.0%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	96.0%	68.0%	48.0%	28.0%	8.0%	0.0%	4.0%
	7年以上 (n=50)	100.0%	60.0%	36.0%	50.0%	18.0%	0.0%	0.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	100.0%	63.6%	45.5%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%
	ない (n=80)	97.5%	67.5%	35.0%	43.8%	11.3%	0.0%	0.0%

(6) サービス担当者会議について

問14 サービス担当者会議への参加状況(電話、FAX、メールを含む)についてお答えください。

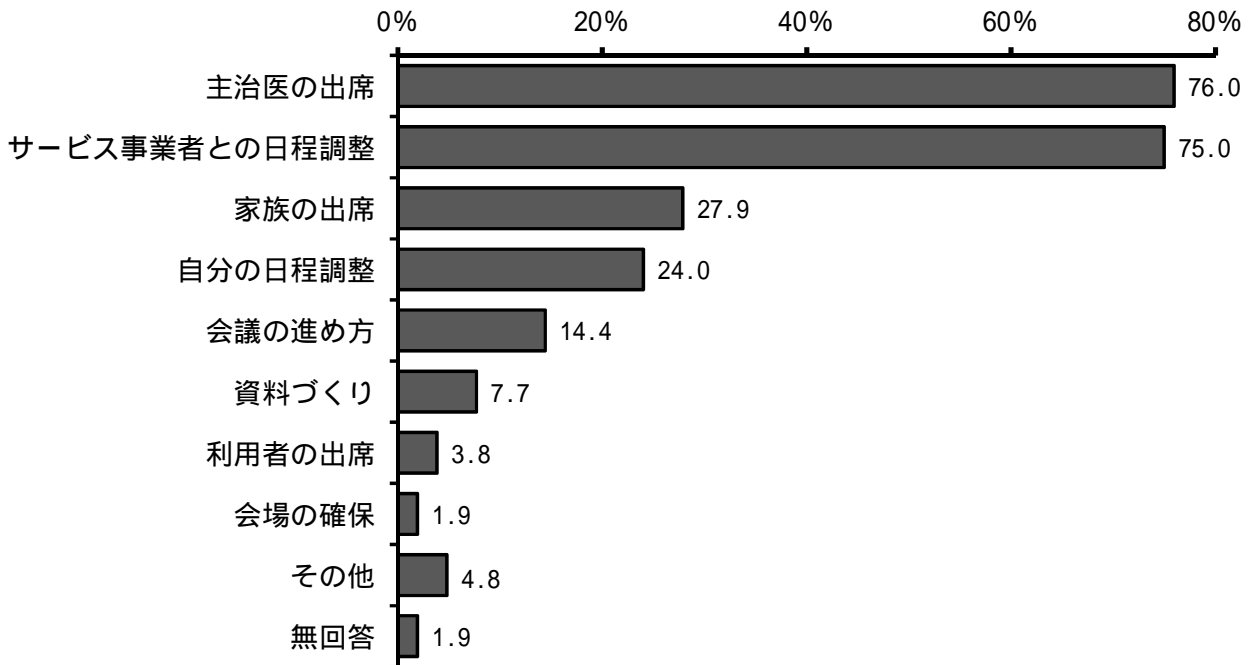
(平成30年10月1日~令和元年9月30日)(それぞれ1つに)

- ・「参加している」と「必要に応じて参加している」を合わせた割合は、『ア.利用者』と『イ.家族』(ともに98.1%)が最も多く、次いで『カ.サービス事業者』(96.1%)、『ク.地域包括支援センター職員』(82.7%)、『キ.主治医以外の医療機関関係者(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等)』(39.5%)と続いている。
- ・「あまり参加していない」と「参加していない」を合わせた割合は、『ウ.主治医』(67.3%)が最も多く、次いで『エ.歯科医師』(60.5%)、『オ.薬剤師』(45.2%)、『キ.主治医以外の医療機関関係者』(32.7%)、『ク.地域包括支援センター職員』(13.5%)と続いている。
- ・「呼んだことがない」は『エ.歯科医師』と『キ.主治医以外の医療機関関係者(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー等)』(ともに21.2%)が最も高く、次いで『オ.薬剤師』(16.3%)、『ウ.主治医』(4.8%)と続いている。



問15 サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感じることは何ですか。(いくつでも)

- ・「主治医の出席」(76.0%)が最も多く、次いで「サービス事業者との日程調整」(75.0%)、「家族の出席」(27.9%)、「自分の日程調整」(24.0%)と続いている。
- ・ケアマネ業務経験年数が短いほど「会議の進め方」の割合が高くなっている。



全体 (n=104)

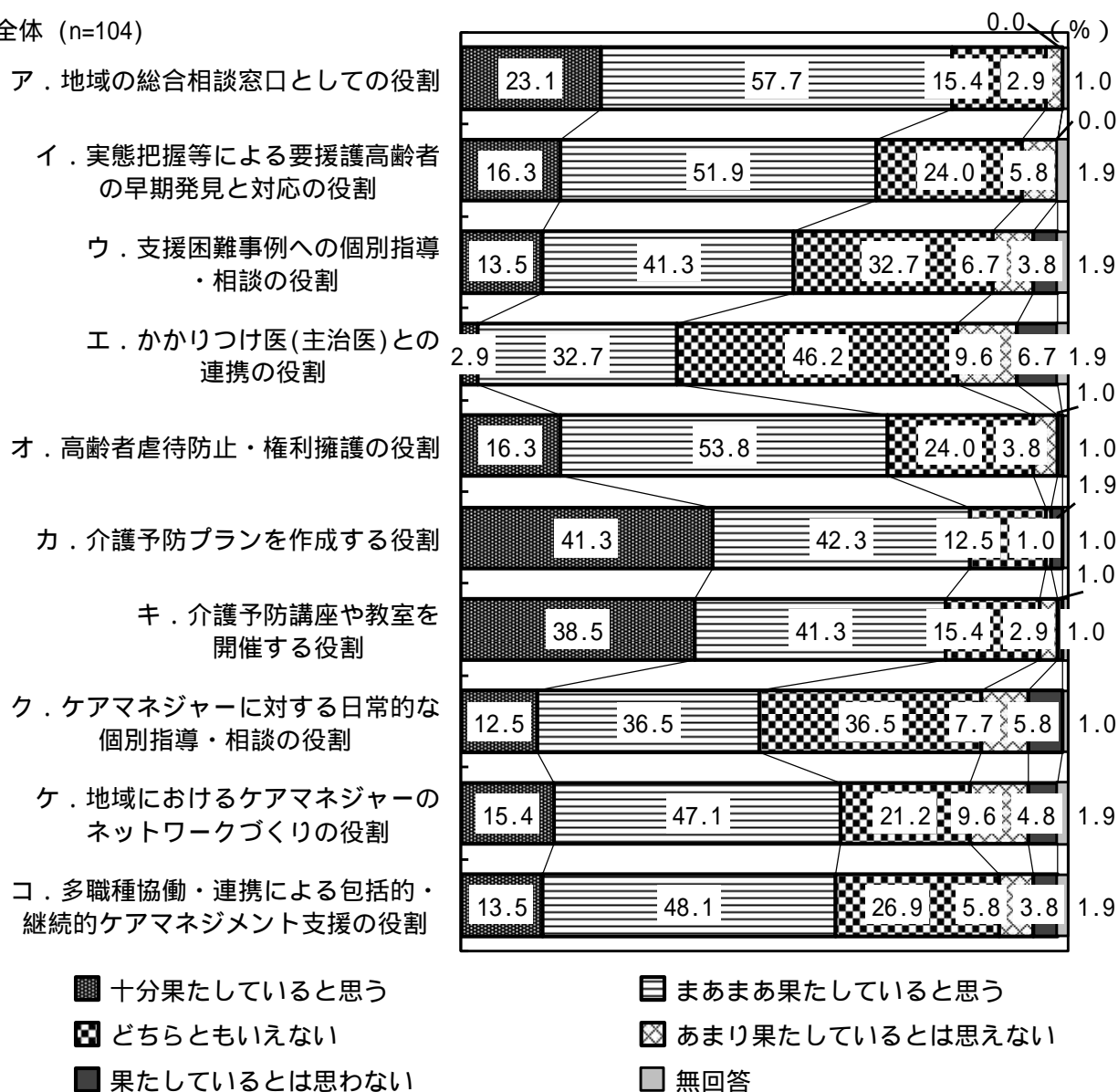
		自分の日程調整	サービス事業者との日程調整	利用者の出席	家族の出席	主治医の出席	会場の確保	資料づくり	会議の進め方	その他	無回答
全体 (n=104)		24.0%	75.0%	3.8%	27.9%	76.0%	1.9%	7.7%	14.4%	4.8%	1.9%
性別	男性 (n=22)	22.7%	72.7%	4.5%	27.3%	72.7%	4.5%	4.5%	13.6%	0.0%	0.0%
	女性 (n=81)	24.7%	75.3%	3.7%	28.4%	76.5%	1.2%	8.6%	13.6%	4.9%	2.5%
年齢	30代 (n=14)	21.4%	71.4%	0.0%	14.3%	64.3%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%	0.0%
	40代 (n=26)	26.9%	65.4%	3.8%	26.9%	80.8%	0.0%	19.2%	19.2%	0.0%	0.0%
	50代 (n=47)	29.8%	78.7%	4.3%	36.2%	76.6%	0.0%	2.1%	6.4%	6.4%	4.3%
	60歳以上 (n=16)	6.3%	81.3%	6.3%	18.8%	75.0%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	24.4%	74.4%	3.5%	30.2%	75.6%	2.3%	8.1%	14.0%	4.7%	2.3%
	ホームヘルパー (n=43)	20.9%	62.8%	4.7%	25.6%	72.1%	2.3%	9.3%	18.6%	7.0%	2.3%
	社会福祉士 (n=18)	22.2%	66.7%	5.6%	38.9%	83.3%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	社会福祉主事 (n=12)	8.3%	75.0%	0.0%	41.7%	66.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	その他 (n=19)	36.8%	78.9%	15.8%	26.3%	84.2%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	22.2%	77.8%	0.0%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	26.3%	78.9%	5.3%	26.3%	73.7%	5.3%	5.3%	21.1%	0.0%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	20.0%	72.0%	0.0%	36.0%	72.0%	0.0%	4.0%	12.0%	4.0%	8.0%
	7年以上 (n=50)	26.0%	74.0%	6.0%	26.0%	82.0%	2.0%	12.0%	6.0%	6.0%	0.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	31.8%	72.7%	4.5%	22.7%	81.8%	0.0%	4.5%	9.1%	4.5%	0.0%
	ない (n=80)	22.5%	76.3%	3.8%	30.0%	75.0%	2.5%	8.8%	15.0%	3.8%	1.3%

(7) 地域包括支援センターの役割について

問16 市内の地域包括支援センターは、その役割を果たしていると思いますか。次の各項目についてお答えください。(ア~コそれぞれ1つに)

- ・「十分果たしていると思う」と「まあまあ果たしていると思う」を合わせた割合は、『カ．介護予防プランを作成する役割』(83.6%)が最も多く、次いで『ア．地域の総合相談窓口としての役割』(80.8%)、『キ．介護予防講座や教室を開催する役割』(79.8%)、『オ．高齢者虐待防止・権利擁護の役割』(70.1%)、『イ．実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割』(68.2%)と続いている。
- ・一方、「あまり果たしているとは思えない」と「果たしているとは思わない」を合わせた割合は、『エ．かかりつけ医(主治医)との連携の役割』(16.3%)が最も多く、次いで『ケ．地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割』(14.4%)、『ク．ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割』(13.5%)、『ウ．支援困難事例への個別指導・相談の役割』(10.5%)、と続いている。

全体 (n=104)

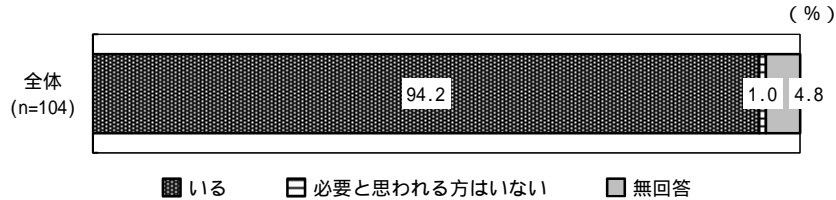


(8) サービス利用者の在宅医療の状況について

問17 あなたが担当している利用者の中に、訪問診療、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。(それぞれ1つに)

【ア．訪問診療】

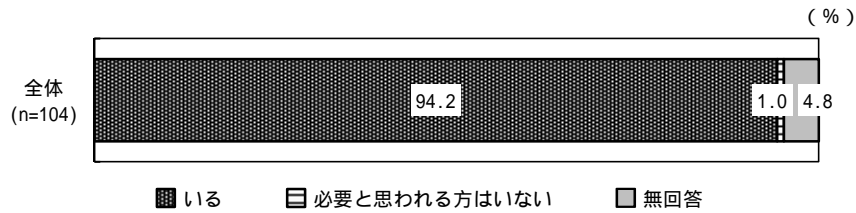
- ・「いる」が94.2%、「必要と思われる方はいない」が1.0%となっている。



	必要と思われる方の数	実際に利用している方の数	充足率
合計人数	645	469	72.7%

【イ．訪問看護】

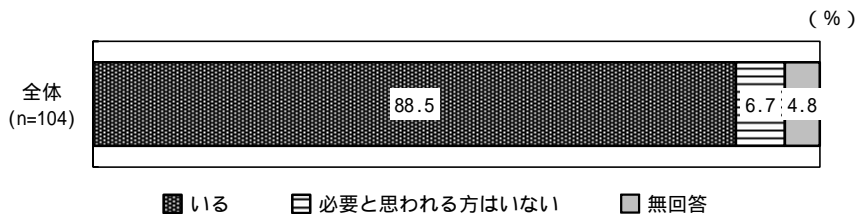
- ・「いる」が94.2%、「必要と思われる方はいない」が1.0%となっている。



	必要と思われる方の数	実際に利用している方の数	充足率
合計人数	850	710	83.5%

【ウ．訪問歯科診療】

- ・「いる」が88.5%、「必要と思われる方はいない」が6.7%となっている。



	必要と思われる方の数	実際に利用している方の数	充足率
合計人数	416	245	58.9%

【エ．訪問服薬管理指導】

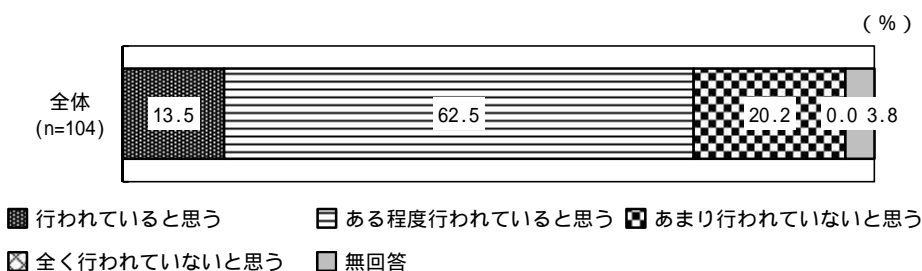
- ・「いる」が84.6%、「必要と思われる方はいない」が7.7%となっている。



	必要と思われる方の数	実際に利用している方の数	充足率
合計人数	460	337	73.3%

問18 あなたは、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。(1つに)

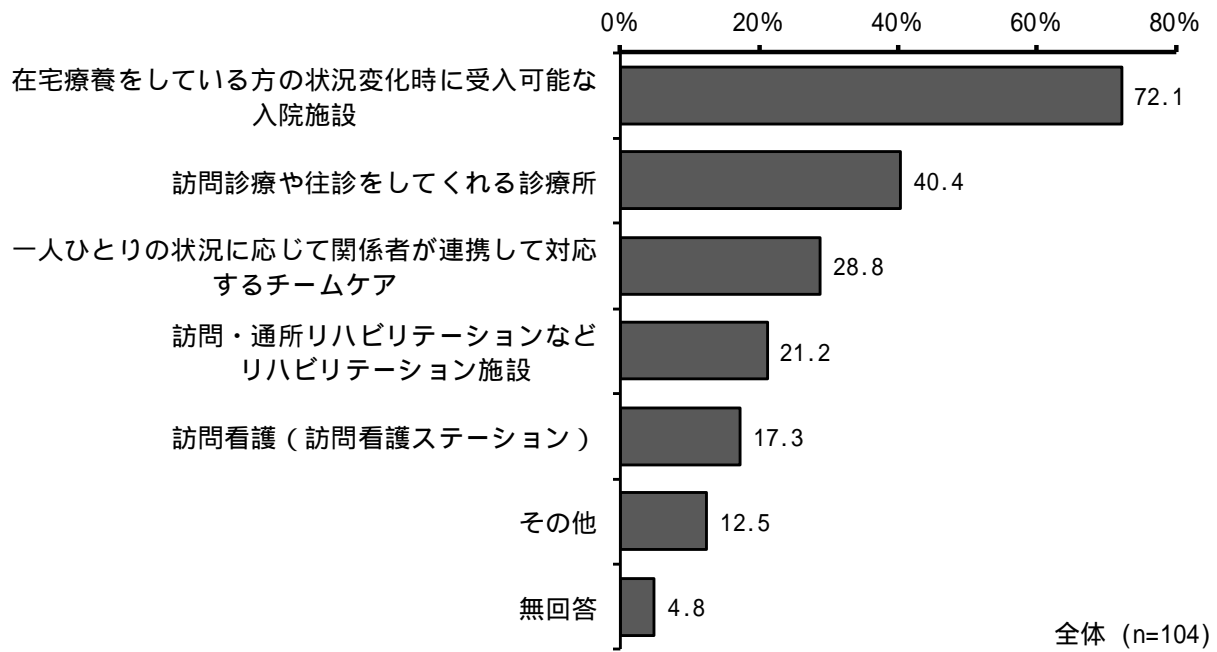
- ・「行われていると思う」(13.5%)、「ある程度行われていると思う」(62.5%)を合わせた割合は76.0%となっている。一方、「あまり行われていないと思う」(20.2%)、「全く行われていないと思う」(0.0%)を合わせた割合は20.2%となっている。
- ・「あまり行われていないと思う」割合は、主任ケアマネが「ない」(16.3%)よりも「ある」(36.4%)のほうが高くなっている。



		行われていると思う	ある程度行われていると思う	あまり行われていないと思う	全く行われていないと思う	無回答
全 体 (n=104)		13.5%	62.5%	20.2%	0.0%	3.8%
性別	男性 (n=22)	9.1%	63.6%	22.7%	0.0%	4.5%
	女性 (n=81)	13.6%	63.0%	19.8%	0.0%	3.7%
年齢	30代 (n=14)	14.3%	71.4%	7.1%	0.0%	7.1%
	40代 (n=26)	11.5%	65.4%	19.2%	0.0%	3.8%
	50代 (n=47)	10.6%	55.3%	29.8%	0.0%	4.3%
	60歳以上 (n=16)	18.8%	75.0%	6.3%	0.0%	0.0%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	14.0%	61.6%	22.1%	0.0%	2.3%
	ホームヘルパー (n=43)	16.3%	62.8%	18.6%	0.0%	2.3%
	社会福祉士 (n=18)	22.2%	55.6%	16.7%	0.0%	5.6%
	社会福祉主事 (n=12)	8.3%	83.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	その他 (n=19)	5.3%	63.2%	26.3%	0.0%	5.3%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	10.5%	63.2%	21.1%	0.0%	5.3%
	5年以上7年未満 (n=25)	24.0%	52.0%	16.0%	0.0%	8.0%
	7年以上 (n=50)	10.0%	64.0%	24.0%	0.0%	2.0%
主任ケア	ある (n=22)	4.5%	59.1%	36.4%	0.0%	0.0%
	ない (n=80)	15.0%	63.8%	16.3%	0.0%	5.0%

問19 あなたは、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は何かと考えますか。(いくつでも)

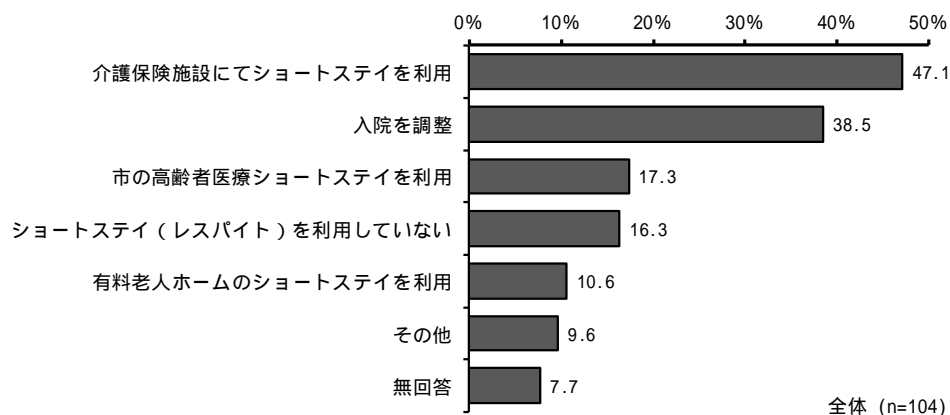
- ・「在宅療養をしている方の状況変化時に受入可能な入院施設」(72.1%)が最も多く、次いで「訪問診療や往診をしてくれる診療所」(40.4%)、「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア」(28.8%)、「訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設」(21.2%)と続いている。



		訪問診療や往診をしてくれる診療所	訪問看護（訪問看護ステーション）	訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設	一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア	在宅療養をしている方の状況変化時に受入可能な入院施設	その他	無回答
全体	(n=104)	40.4%	17.3%	21.2%	28.8%	72.1%	12.5%	4.8%
性別	男性 (n=22)	50.0%	18.2%	18.2%	22.7%	45.5%	13.6%	9.1%
	女性 (n=81)	37.0%	17.3%	21.0%	30.9%	80.2%	12.3%	3.7%
年齢	30代 (n=14)	50.0%	35.7%	21.4%	42.9%	50.0%	0.0%	7.1%
	40代 (n=26)	38.5%	7.7%	15.4%	23.1%	69.2%	15.4%	3.8%
	50代 (n=47)	42.6%	19.1%	21.3%	27.7%	80.9%	14.9%	6.4%
	60歳以上 (n=16)	25.0%	12.5%	25.0%	31.3%	75.0%	12.5%	0.0%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	41.9%	18.6%	24.4%	30.2%	73.3%	11.6%	3.5%
	ホームヘルパー (n=43)	37.2%	16.3%	23.3%	25.6%	74.4%	16.3%	4.7%
	社会福祉士 (n=18)	55.6%	16.7%	33.3%	27.8%	72.2%	11.1%	5.6%
	社会福祉士専任 (n=12)	41.7%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%	8.3%	8.3%
	その他 (n=19)	42.1%	26.3%	15.8%	26.3%	78.9%	21.1%	5.3%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	22.2%	22.2%	22.2%	44.4%	66.7%	22.2%	11.1%
	3年以上5年未満 (n=19)	47.4%	31.6%	15.8%	26.3%	68.4%	5.3%	5.3%
	5年以上7年未満 (n=25)	28.0%	16.0%	20.0%	28.0%	80.0%	8.0%	4.0%
	7年以上 (n=50)	46.0%	12.0%	22.0%	28.0%	72.0%	16.0%	4.0%
主任ケア	ある (n=22)	54.5%	9.1%	18.2%	13.6%	86.4%	4.5%	0.0%
	ない (n=80)	36.3%	20.0%	21.3%	33.8%	68.8%	15.0%	6.3%

問20 医療的ケア（胃ろう、吸引、インスリン、人工肛門など）が必要な利用者のショートステイ（レスパイト）に関して、どのように対応されていますか。（いくつでも）

- ・「介護保険施設にてショートステイを利用」（47.1%）が最も多く、次いで「入院を調整」（38.5%）、
「市の高齢者医療ショートステイを利用」（17.3%）、「ショートステイ（レスパイト）を利用していない」（16.3%）と続いている。



		介護保険施設にてショートステイを利用	有料老人ホームのショートステイを利用	入院を調整	市の高齢者医療ショートステイを利用	ショートステイ（レスパイト）を利用していない	その他	無回答
全体	(n=104)	47.1%	10.6%	38.5%	17.3%	16.3%	9.6%	7.7%
性別	男性 (n=22)	45.5%	4.5%	40.9%	18.2%	13.6%	9.1%	4.5%
	女性 (n=81)	46.9%	12.3%	38.3%	17.3%	17.3%	9.9%	8.6%
年齢	30代 (n=14)	42.9%	7.1%	21.4%	14.3%	35.7%	14.3%	7.1%
	40代 (n=26)	42.3%	19.2%	46.2%	19.2%	11.5%	11.5%	3.8%
	50代 (n=47)	46.8%	10.6%	42.6%	17.0%	14.9%	8.5%	8.5%
	60歳以上 (n=16)	56.3%	0.0%	31.3%	18.8%	12.5%	6.3%	12.5%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	45.3%	11.6%	40.7%	17.4%	17.4%	10.5%	7.0%
	ホームヘルパー (n=43)	37.2%	11.6%	44.2%	27.9%	14.0%	9.3%	7.0%
	社会福祉士 (n=18)	44.4%	16.7%	27.8%	33.3%	16.7%	11.1%	5.6%
	社会福祉主事 (n=12)	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	8.3%	33.3%	8.3%
ケアマネ業務経験 (4区分)	その他 (n=19)	36.8%	5.3%	26.3%	21.1%	15.8%	15.8%	10.5%
	3年未満 (n=9)	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	42.1%	10.5%	42.1%	5.3%	15.8%	15.8%	10.5%
	5年以上7年未満 (n=25)	36.0%	12.0%	36.0%	12.0%	16.0%	12.0%	12.0%
ケアマネ業務経験	7年以上 (n=50)	56.0%	12.0%	40.0%	28.0%	12.0%	4.0%	6.0%
	5年未満 (n=28)	39.3%	7.1%	39.3%	3.6%	25.0%	17.9%	7.1%
主任ケア	5年以上 (n=75)	49.3%	12.0%	38.7%	22.7%	13.3%	6.7%	8.0%
	ある (n=22)	54.5%	9.1%	45.5%	22.7%	9.1%	4.5%	4.5%
	ない (n=80)	45.0%	11.3%	36.3%	16.3%	18.8%	11.3%	8.8%

問 21 今後、医療的ケアが必要な在宅療養者が増加することが考えられます。このとき、在宅療養を継続するうえで必要と思われる支援・サービスを具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、80件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
レスパイト・ショート	26
在宅での医療ケア（訪看、訪問診療、デイケア）	22
急変時・状況変化時への対応	12
24時間、365日（土日）対応	10
医療と介護の連携（専門職、医療機関、サービス提供事業者）	4
2号被保険者対応、障害福祉サービス連携	1
生活支援サービス	1
その他	3

問 22 後方支援病床利用調整事業について利用したことがありますか。（1つに ）

- ・「利用したことがある」が1.9%、「利用したことが無い」が80.8%、「本事業を知らなかった」が15.4%となっている。



《問 22 で「利用したことがない」、「本事業を知らなかった」とお答えの方におたずねします》

問 22-1 その理由を具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、67件（「利用したことがない」が67件、「本事業を知らなかった」が11件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

利用したことがない

内容	件数
該当ケースがない、利用せずに調整ができた	40
利用する条件に合わない・条件を把握していない	12
連携している主治医（病院）がいる（ある）	11
主治医が必要と判断しなかった	3
その他	1

本事業を知らなかった

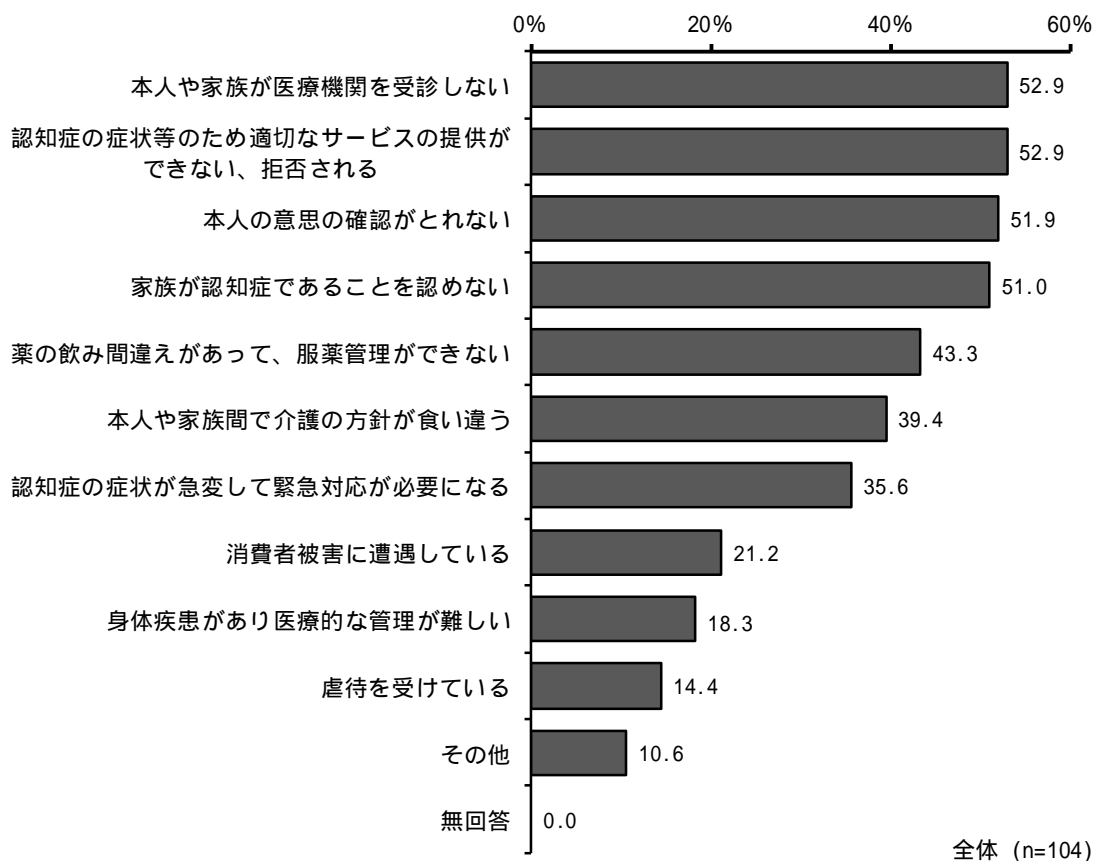
内容	件数
知らなかった	8
該当ケースがない、利用せずに調整ができた	1
主治医が必要と判断しなかった	1
その他	1

(9) 認知症患者のサービス利用について

問23 あなたが担当している認知症の利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも、最も大変なことに)

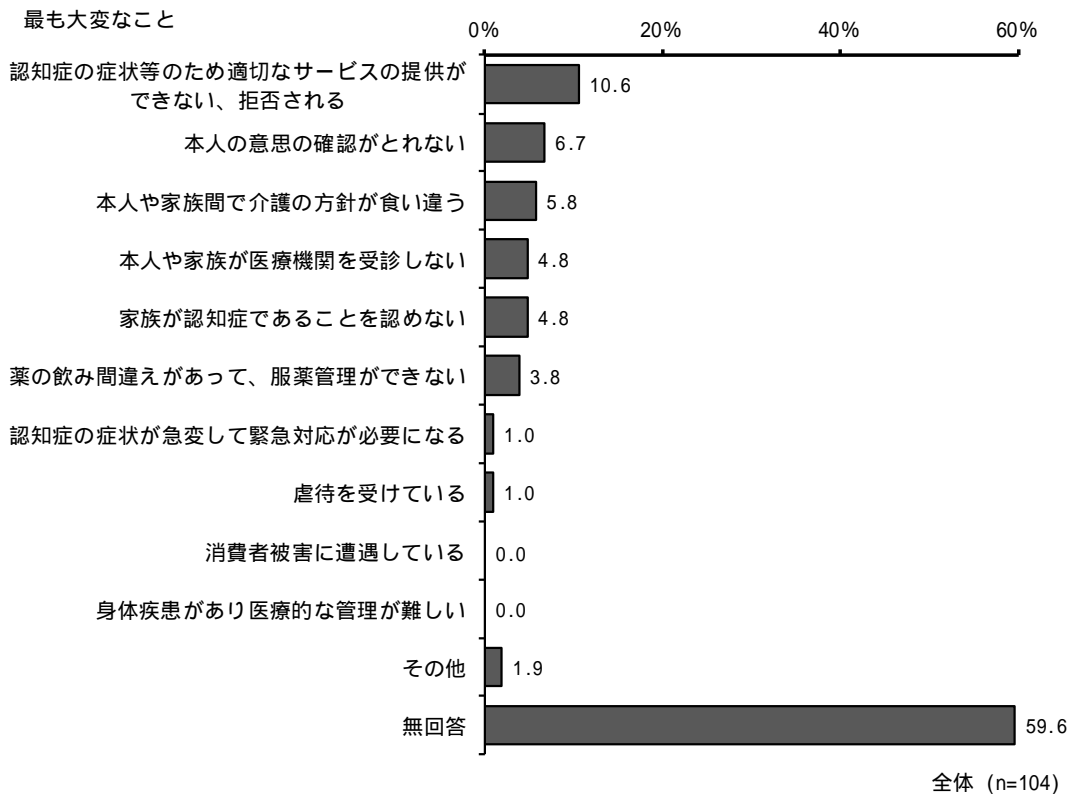
- ・実際にあることは、「本人や家族が医療機関を受診しない」と「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」(ともに52.9%)が最も多く、次いで「本人の意思の確認がとれない」(51.9%)、「家族が認知症であることを認めない」(51.0%)と続いている。
- ・「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」割合は、ケアマネ業務経験が『5年以上』(49.3%)よりも『5年未満』(60.7%)の割合が高くなっている。同様に、「本人の意思の確認がとれない」の割合は、『5年以上』(49.3%)よりも『5年未満』(60.7%)の割合が高くなっている。

実際にあること



		受本人や家族が医療機関を受診しない	本人の意思の確認がとれない	家族が認知症であることを認めない	薬の服薬管理ができない	緊急対応が必要になる	認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない	消費者被害に遭遇している	虐待を受けている	本人や家族間で介護の方針が食い違う	身体疾患があり医療的な管理が難しい	その他	無回答
全体	(n=104)	52.9%	51.9%	51.0%	43.3%	35.6%	52.9%	21.2%	14.4%	39.4%	18.3%	10.6%	0.0%
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	53.6%	60.7%	42.9%	50.0%	32.1%	60.7%	28.6%	10.7%	39.3%	21.4%	17.9%	0.0%
	5年以上 (n=75)	52.0%	49.3%	53.3%	40.0%	37.3%	49.3%	17.3%	16.0%	40.0%	17.3%	8.0%	0.0%
主任ケア	ある (n=22)	63.6%	40.9%	54.5%	40.9%	40.9%	45.5%	27.3%	13.6%	45.5%	22.7%	9.1%	0.0%
	ない (n=80)	50.0%	55.0%	48.8%	42.5%	35.0%	53.8%	17.5%	15.0%	38.8%	16.3%	11.3%	0.0%

・最も大変なことは、「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される」が10.6%と最も多く、次いで「本人の意思の確認がとれない」(6.7%)、「本人や家族間で介護の方針が食い違う」(5.8%)、「本人や家族が医療機関を受診しない」「家族が認知症であることを認めない」(ともに4.8%)と続いている。

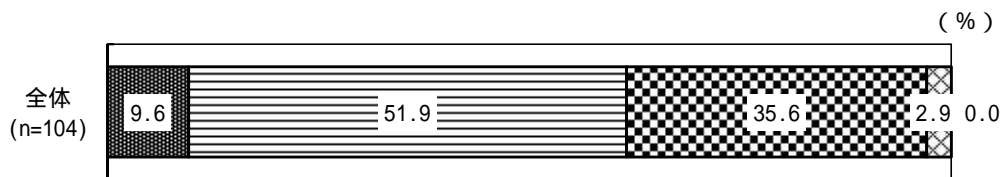


問24 あなたは認知症患者の支援にあたって、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。

(1つに)

・「とれている」(9.6%)、「まあまあとれている」(51.9%)を合わせた割合は61.5%となっている。一方、「あまりとれていない」(35.6%)、「とれていない」(2.9%)を合わせた割合は38.5%となっている。

・ケアマネ実務経験が『3年未満』では、「あまりとれていない」(77.8%)割合が高い。



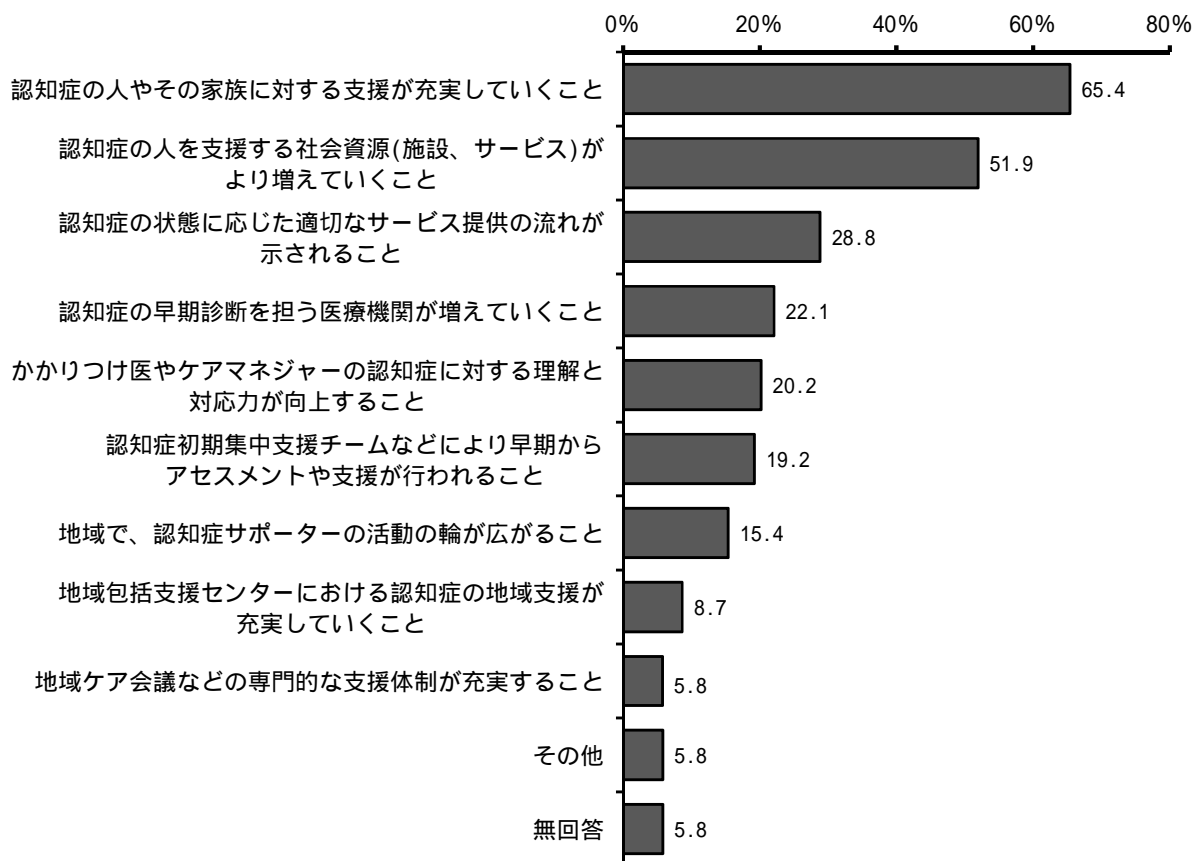
■ とれている ■ まあまあとれている ■ あまりとれていない ■ とれていない ■ 無回答

		とれてい る	まあまあ とれてい る	あまりと れていな い	とれてい ない	無回答
全 体 (n=104)		9.6%	51.9%	35.6%	2.9%	0.0%
ケアマネ 業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	10.5%	68.4%	15.8%	5.3%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	12.0%	36.0%	48.0%	4.0%	0.0%
	7年以上 (n=50)	10.0%	60.0%	28.0%	2.0%	0.0%
主任 ケアマネ	ある (n=22)	9.1%	59.1%	31.8%	0.0%	0.0%
	ない (n=80)	10.0%	50.0%	36.3%	3.8%	0.0%

問 25 これから認知症患者の支援にあたり必要になると思うことは、次のどれですか。

(3つまでに)

- ・「認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと」(65.4%)が最も多く、次いで「認知症の人を支援する社会資源(施設、サービス)がより増えていくこと」(51.9%)、「認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること」(28.8%)と続いている。



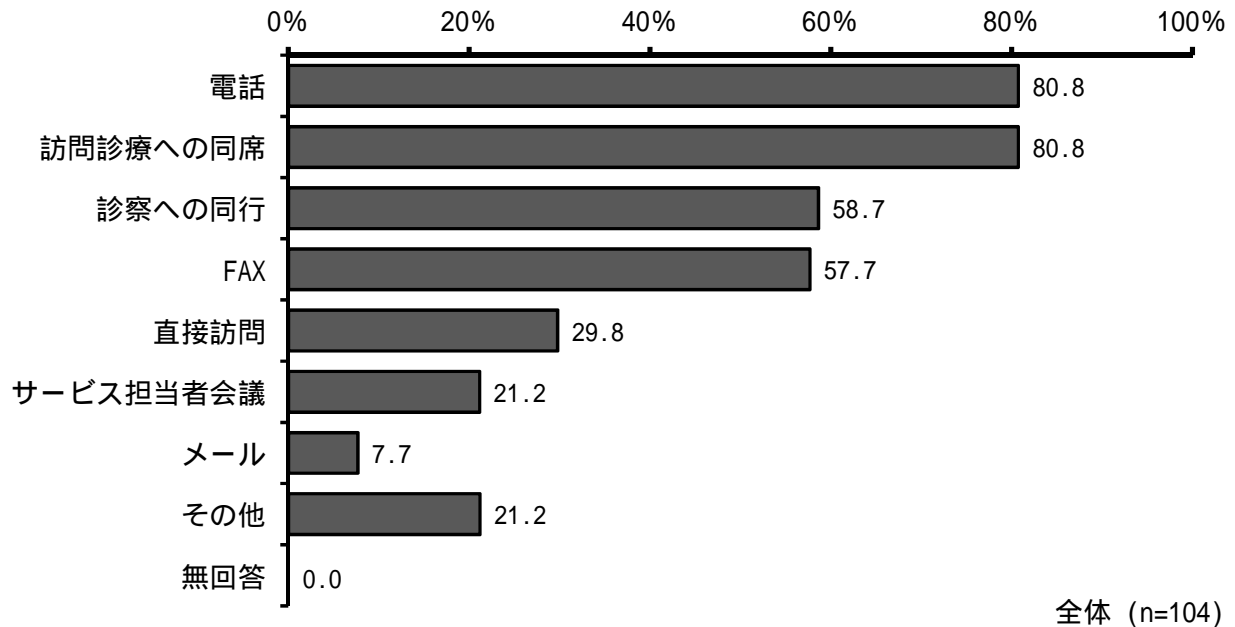
全体 (n=104)

	認知症の人やその家族に対する支援が充実していくこと	認知症の人を支援する社会資源(施設、サービス)がより増えていくこと	認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと	かかりつけ医やケアマネジャーの認知症に対する理解と対応力が向上すること	認知症初期集中支援チームなどにより早期からアセスメントや支援が行われること	地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	地域ケア会議などの専門的な支援体制が充実すること	その他	無回答	
全体 (n=104)	28.8%	51.9%	22.1%	15.4%	20.2%	8.7%	5.8%	19.2%	65.4%	5.8%	5.8%	
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	30.2%	52.3%	24.4%	17.4%	17.4%	10.5%	7.0%	19.8%	66.3%	3.5%	4.7%
	ホームヘルパー (n=43)	30.2%	51.2%	16.3%	11.6%	11.6%	14.0%	4.7%	27.9%	55.8%	7.0%	7.0%
	社会福祉士 (n=18)	22.2%	61.1%	16.7%	5.6%	16.7%	5.6%	5.6%	16.7%	77.8%	11.1%	5.6%
	社会福祉士専任 (n=12)	25.0%	41.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	58.3%	16.7%	16.7%
	その他 (n=19)	42.1%	57.9%	10.5%	5.3%	31.6%	5.3%	0.0%	15.8%	78.9%	10.5%	0.0%
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	35.7%	57.1%	17.9%	3.6%	28.6%	10.7%	3.6%	14.3%	75.0%	3.6%	7.1%
	5年以上 (n=75)	26.7%	49.3%	24.0%	20.0%	17.3%	8.0%	6.7%	20.0%	61.3%	6.7%	5.3%
主任ケア	ある (n=22)	22.7%	50.0%	31.8%	22.7%	18.2%	4.5%	13.6%	13.6%	59.1%	13.6%	4.5%
	ない (n=80)	31.3%	51.3%	18.8%	13.8%	21.3%	10.0%	3.8%	18.8%	67.5%	3.8%	6.3%

(10) 医療と介護の連携の状況について

問26 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも)

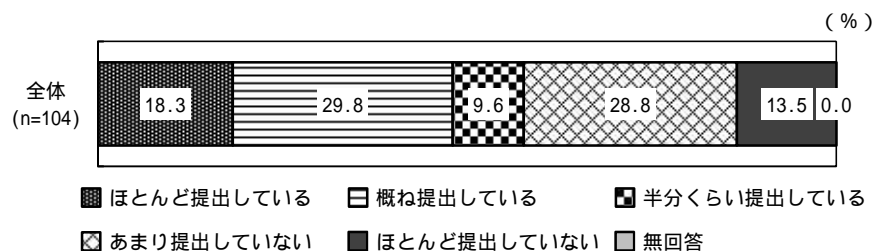
- ・「電話」と「訪問診療への同席」(ともに80.8%)が最も多く、次いで「診察への同行」(58.7%)、「FAX」(57.7%)、「直接訪問」(29.8%)と続いている。
- ・『男性』は『女性』よりも、「電話」(90.9%)、「FAX」(81.8%)の割合が高い。また、年齢が低いほど「電話」の割合が高くなっている《『30代』(100.0%)、『60歳以上』(68.8%)》。



		電話	FAX	メール	診察への同行	訪問診療への同席	サービス担当者会議	直接訪問	その他	無回答
全 体 (n=104)		80.8%	57.7%	7.7%	58.7%	80.8%	21.2%	29.8%	21.2%	0.0%
性別	男性 (n=22)	90.9%	81.8%	4.5%	54.5%	81.8%	18.2%	45.5%	18.2%	0.0%
	女性 (n=81)	77.8%	51.9%	8.6%	59.3%	80.2%	21.0%	25.9%	21.0%	0.0%
年齢	30代 (n=14)	100.0%	64.3%	7.1%	50.0%	85.7%	21.4%	28.6%	35.7%	0.0%
	40代 (n=26)	84.6%	65.4%	7.7%	61.5%	84.6%	19.2%	42.3%	23.1%	0.0%
	50代 (n=47)	76.6%	53.2%	6.4%	57.4%	78.7%	25.5%	31.9%	19.1%	0.0%
	60歳以上 (n=16)	68.8%	56.3%	12.5%	62.5%	75.0%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	77.8%	55.6%	0.0%	44.4%	66.7%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	89.5%	68.4%	10.5%	73.7%	78.9%	26.3%	47.4%	15.8%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	84.0%	52.0%	4.0%	48.0%	76.0%	24.0%	28.0%	16.0%	0.0%
	7年以上 (n=50)	76.0%	58.0%	10.0%	60.0%	86.0%	18.0%	26.0%	24.0%	0.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	90.9%	54.5%	13.6%	54.5%	90.9%	31.8%	36.4%	27.3%	0.0%
	ない (n=80)	78.8%	60.0%	6.3%	58.8%	78.8%	17.5%	28.8%	18.8%	0.0%
現事業所ケアマネ在籍期間	1年未満 (n=13)	84.6%	69.2%	0.0%	53.8%	61.5%	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%
	1年以上3年未満 (n=18)	77.8%	61.1%	5.6%	50.0%	88.9%	27.8%	33.3%	11.1%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=27)	85.2%	70.4%	11.1%	66.7%	74.1%	22.2%	37.0%	25.9%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=19)	73.7%	42.1%	5.3%	42.1%	84.2%	36.8%	21.1%	10.5%	0.0%
7年以上 (n=26)	80.8%	50.0%	11.5%	69.2%	88.5%	11.5%	34.6%	26.9%	0.0%	
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	85.3%	60.3%	7.4%	55.9%	82.4%	20.6%	32.4%	19.1%	0.0%
	常勤・兼務 (n=19)	78.9%	57.9%	10.5%	68.4%	84.2%	21.1%	36.8%	31.6%	0.0%
	非常勤 (n=14)	64.3%	42.9%	7.1%	57.1%	71.4%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%

問27 あなたは、利用者が入院する際に、どれくらいの頻度で情報提供書を作成し、入院先へ提供していますか。(1つに)

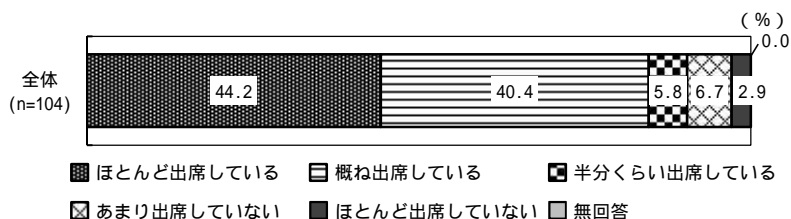
- ・「ほとんど提出している」(18.3%)、「概ね提出している」(29.8%)を合わせた割合は48.1%となっている。一方、「あまり提出していない」(28.8%)、「ほとんど提出していない」(13.5%)を合わせた割合は42.3%となっている。
- ・「ほとんど提出している・概ね提出している」割合を業務形態別にみると、『非常勤』(28.5%)で低くなっている。



		ほとんど提出している	概ね提出している	半分くらい提出している	あまり提出していない	ほとんど提出していない	無回答
全 体	(n=104)	18.3%	29.8%	9.6%	28.8%	13.5%	0.0%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	11.1%	33.3%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	10.5%	31.6%	15.8%	31.6%	10.5%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	16.0%	36.0%	20.0%	24.0%	4.0%	0.0%
	7年以上 (n=50)	24.0%	26.0%	4.0%	28.0%	18.0%	0.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	27.3%	27.3%	0.0%	40.9%	4.5%	0.0%
	ない (n=80)	16.3%	31.3%	11.3%	25.0%	16.3%	0.0%
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	19.1%	30.9%	7.4%	32.4%	10.3%	0.0%
	常勤・兼務 (n=19)	21.1%	31.6%	15.8%	21.1%	10.5%	0.0%
	非常勤 (n=14)	7.1%	21.4%	14.3%	21.4%	35.7%	0.0%

問28 あなたは、退院前(時)カンファレンスにどれくらいの頻度で出席していますか。(1つに)

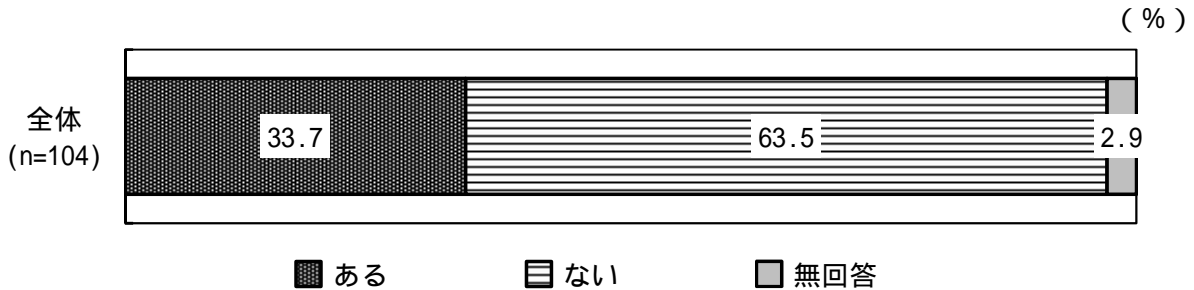
- ・「ほとんど出席している」(44.2%)、「概ね出席している」(40.4%)を合わせた割合は84.6%となっている。一方、「あまり出席していない」(6.7%)、「ほとんど出席していない」(2.9%)を合わせた割合は9.6%となっている。
- ・「ほとんど出席している・概ね出席している」割合をケアマネ業務経験別にみると、『5年以上』(92.0%)よりも『5年未満』(64.3%)のほうが低くなっている。



		ほとんど出席している	概ね出席している	半分くらい出席している	あまり出席していない	ほとんど出席していない	無回答
全 体	(n=104)	44.2%	40.4%	5.8%	6.7%	2.9%	0.0%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	31.6%	31.6%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	44.0%	40.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%
	7年以上 (n=50)	50.0%	46.0%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	35.7%	28.6%	17.9%	7.1%	10.7%	0.0%
	5年以上 (n=75)	48.0%	44.0%	1.3%	6.7%	0.0%	0.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	45.5%	50.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%
	ない (n=80)	43.8%	37.5%	7.5%	7.5%	3.8%	0.0%
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	45.6%	42.6%	4.4%	2.9%	4.4%	0.0%
	常勤・兼務 (n=19)	36.8%	36.8%	10.5%	15.8%	0.0%	0.0%
	非常勤 (n=14)	50.0%	35.7%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%

問29 あなたは、医療機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室等）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに）

- ・「ある」が33.7%、「ない」が63.5%となっている。
- ・「ある」割合は、『女性』（29.6%）よりも『男性』（50.0%）で高くなっている。



		ある	ない	無回答
全 体	(n=104)	33.7%	63.5%	2.9%
性別	男性 (n=22)	50.0%	50.0%	0.0%
	女性 (n=81)	29.6%	66.7%	3.7%
年齢	30代 (n=14)	42.9%	57.1%	0.0%
	40代 (n=26)	30.8%	61.5%	7.7%
	50代 (n=47)	34.0%	66.0%	0.0%
	60歳以上 (n=16)	31.3%	62.5%	6.3%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	31.4%	65.1%	3.5%
	ホームヘルパー (n=43)	27.9%	67.4%	4.7%
	社会福祉士 (n=18)	55.6%	38.9%	5.6%
	社会福祉主事 (n=12)	16.7%	75.0%	8.3%
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	33.3%	66.7%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	31.6%	63.2%	5.3%
	5年以上7年未満 (n=25)	24.0%	76.0%	0.0%
	7年以上 (n=50)	40.0%	56.0%	4.0%
主任 ケアマネ	ある (n=22)	31.8%	63.6%	4.5%
	ない (n=80)	35.0%	62.5%	2.5%
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	36.8%	58.8%	4.4%
	常勤・兼務 (n=19)	36.8%	63.2%	0.0%
	非常勤 (n=14)	14.3%	85.7%	0.0%

《問29で「ある」とお答えの方におたずねします》

問29-1 どのような問題やトラブルが発生しましたか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、34件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
連携不足（情報共有、カンファレンス、対応不信）	22
本人や家族の意向と、医療機関・医療職の方針のずれ	9
医療職・医療機関の介護保険制度の理解不足	3

問30 あなたは、医療機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、343件（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

病院（地域連携室）

内容	件数
患者・利用者の情報共有、カンファレンス、連絡・連携のしやすさ	38
対応の時間的配慮（退院準備等）	12
職種の違いにおける意識や目的、支援方針の共有、他職種等の理解、介護保険の理解	10
在宅生活の理解	7
介護サービス、医療（訪問診療・往診、診察）や薬に関する情報提供や相談	5
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	4
利用者、家族の理解・説明、市民に対する周知、情報提供（対利用者や家族）	1
その他（全般）	1
特になし	1

診療所

内容	件数
患者・利用者の情報共有、カンファレンス、連絡・連携のしやすさ	26
介護サービス、医療（訪問診療・往診、診察）や薬に関する情報提供や相談	18
職種の違いにおける意識や目的、支援方針の共有、他職種等の理解、介護保険の理解	7
在宅生活の理解	4
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	4
利用者、家族の理解・説明、市民に対する周知、情報提供（対利用者や家族）	3
その他（全般）	1
特になし	7

歯科診療所

内容	件数
介護サービス、医療（訪問診療・往診、診察）や薬に関する情報提供や相談	25
患者・利用者の情報共有、カンファレンス、連絡・連携のしやすさ	19
職種の違いにおける意識や目的、支援方針の共有、他職種等の理解、介護保険の理解	2
利用者、家族の理解・説明、市民に対する周知、情報提供（対利用者や家族）	2
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	1
特になし	11

薬局

内容	件数
介護サービス、医療（訪問診療・往診、診察）や薬に関する情報提供や相談	25
患者・利用者の情報共有、カンファレンス、連絡・連携のしやすさ	22
職種の違いにおける意識や目的、支援方針の共有、他職種等の理解、介護保険の理解	4
利用者、家族の理解・説明、市民に対する周知、情報提供（対利用者や家族）	1
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	1
在宅生活の理解	1
対応の時間的配慮（退院準備等）	1
認知症高齢者に対する理解	1
特になし	9

訪問看護ステーション

内容	件数
患者・利用者の情報共有、カンファレンス、連絡・連携のしやすさ	26
迅速な対応、急変時の対応、夜間・土日対応	10
介護サービス、医療（訪問診療・往診、診察）や薬に関する情報提供や相談	9
利用者、家族の理解・説明、市民に対する周知、情報提供（対利用者や家族）	6
職種の違いにおける意識や目的、支援方針の共有、他職種等の理解、介護保険の理解	5
在宅生活の理解	5
特になし	8

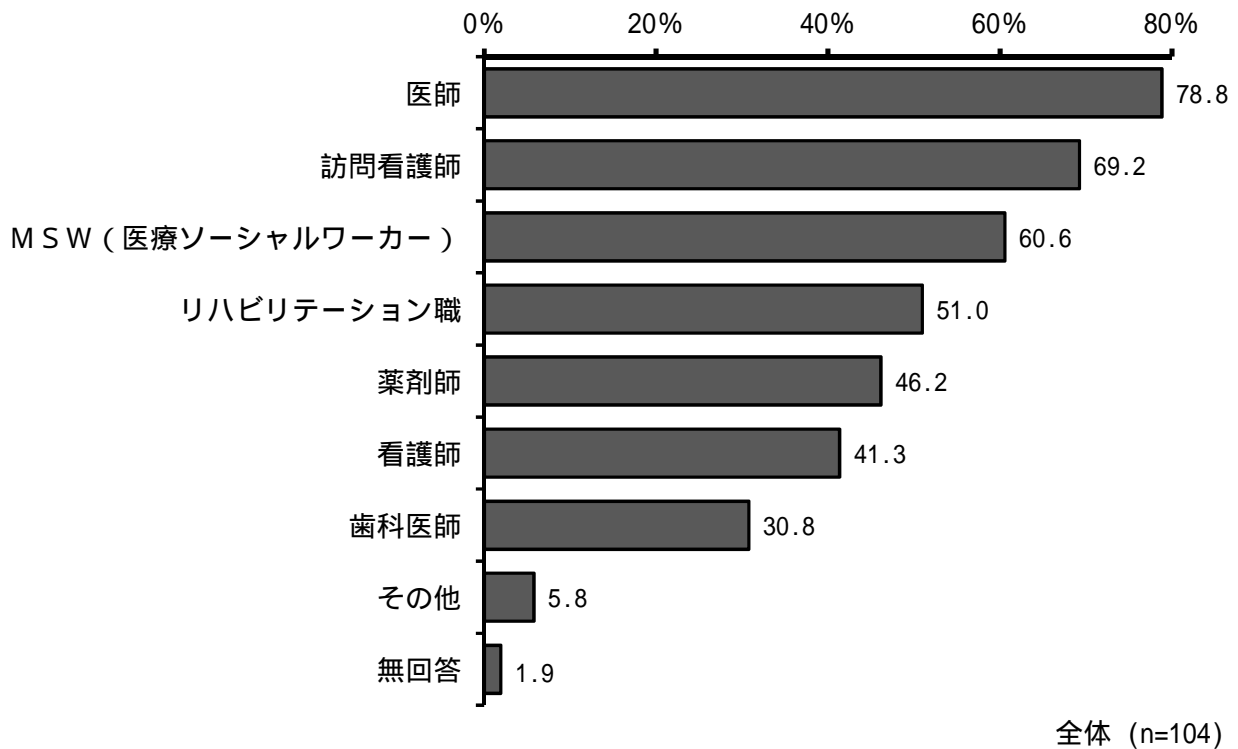
問31 あなたは、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、76件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
日常の連絡がとりにくい、情報交換が図りにくい	32
情報の一方通行、職種・職域の考えや視点の違い等について共有化を図りにくい	22
介護保険制度・ケアマネ、ケアプランに関する理解不足	11
利用者や在宅生活の理解不足	5
認知症の理解不足	1
その他	5

問32 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職は何ですか。(いくつでも)

- ・「医師」(78.8%)が最も多く、次いで「訪問看護師」(69.2%)、「MSW(医療ソーシャルワーカー)」(60.6%)、「リハビリテーション職」(51.0%)と続いている。
- ・ケアマネ業務経験が『5年未満』では、「医師」「MSW(医療ソーシャルワーカー)」がそれぞれ82.1%となっている。



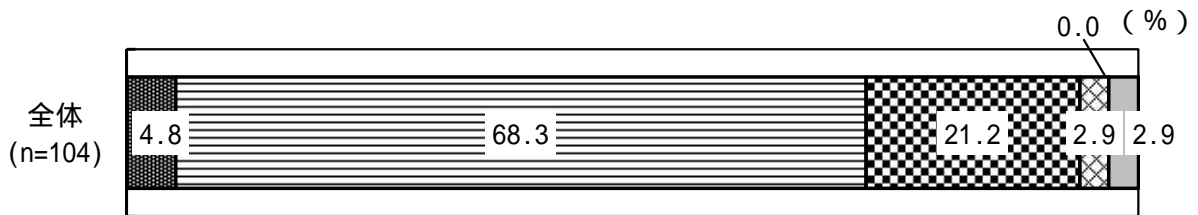
		医師	歯科医師	薬剤師	看護師	訪問看護師	MSW (医療ソーシャルワーカー)	リハビリテーション職	その他	無回答
全体 (n=104)		78.8%	30.8%	46.2%	41.3%	69.2%	60.6%	51.0%	5.8%	1.9%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	77.9%	33.7%	45.3%	40.7%	70.9%	62.8%	53.5%	5.8%	2.3%
	ホームヘルパー (n=43)	74.4%	30.2%	51.2%	39.5%	74.4%	67.4%	53.5%	7.0%	4.7%
	社会福祉士 (n=18)	83.3%	27.8%	44.4%	44.4%	55.6%	66.7%	44.4%	5.6%	5.6%
	社会福祉主事 (n=12)	75.0%	8.3%	25.0%	41.7%	58.3%	50.0%	33.3%	8.3%	8.3%
	その他 (n=19)	94.7%	31.6%	52.6%	57.9%	84.2%	78.9%	42.1%	0.0%	0.0%
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	82.1%	28.6%	46.4%	46.4%	71.4%	82.1%	50.0%	7.1%	0.0%
	5年以上 (n=75)	77.3%	32.0%	45.3%	40.0%	68.0%	53.3%	50.7%	5.3%	2.7%
主任ケアマネ	ある (n=22)	86.4%	31.8%	36.4%	40.9%	59.1%	50.0%	50.0%	4.5%	0.0%
	ない (n=80)	76.3%	30.0%	47.5%	41.3%	71.3%	63.8%	50.0%	6.3%	2.5%

(11) ケアマネジャー業務全般について

問33 あなたは、利用者の自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできていると思いますか。

(1つに)

- ・「思う」(4.8%)、「少しは思う」(68.3%)を合わせた割合は73.1%となっている。一方、「あまり思わない」(21.2%)、「思わない」(2.9%)を合わせた割合は24.1%となっている。
- ・ケアマネ業務経験が長くなるほど、「思う・少しは思う」割合が高くなっている《『3年未満』(55.6%)、『7年以上』(78.0%)》。



■ 思う □ 少しは思う ▣ あまり思わない ▤ 思わない ■ 考えたことはない □ 無回答

		思う	少しは思 う	あまり思 わない	思わない	考えたこ とはない	無回答
全 体 (n=104)		4.8%	68.3%	21.2%	2.9%	0.0%	2.9%
性別	男性 (n=22)	9.1%	45.5%	36.4%	4.5%	0.0%	4.5%
	女性 (n=81)	3.7%	74.1%	17.3%	2.5%	0.0%	2.5%
年齢	30代 (n=14)	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40代 (n=26)	7.7%	57.7%	26.9%	7.7%	0.0%	0.0%
	50代 (n=47)	4.3%	74.5%	17.0%	2.1%	0.0%	2.1%
	60歳以上 (n=16)	6.3%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	5.8%	68.6%	20.9%	2.3%	0.0%	2.3%
	ホームヘルパー (n=43)	4.7%	74.4%	16.3%	2.3%	0.0%	2.3%
	社会福祉士 (n=18)	0.0%	50.0%	38.9%	5.6%	0.0%	5.6%
	社会福祉主事 (n=12)	8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
ケアマネ 業務経験 (4区分)	その他 (n=19)	0.0%	57.9%	31.6%	5.3%	0.0%	5.3%
	3年未満 (n=9)	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	8.0%	64.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主任 ケアマネ	7年以上 (n=50)	6.0%	78.0%	4.0%	6.0%	0.0%	6.0%
	ある (n=22)	0.0%	86.4%	9.1%	0.0%	0.0%	4.5%
	ない (n=80)	5.0%	63.8%	25.0%	3.8%	0.0%	2.5%

《問33で「思う」、「少しは思う」とお答えの方におたずねします》

問33-1 自立支援に向けたケアプランとなるように意識していることや、自立支援につなげるために工夫していることについて具体的にご記入ください。

自由回答形式で聞いたところ、65件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
強みを生かす、エンパワーメント、意欲を引き出すなど	30
本人の意向確認、尊重、アセスメント、話をよく聞く、一緒に考える	25
利用するサービスの工夫	5
その他	5

《問33で「あまり思わない」「思わない」とお答えの方におたずねします》

問33-2 そのように思う理由について具体的にご記入ください。

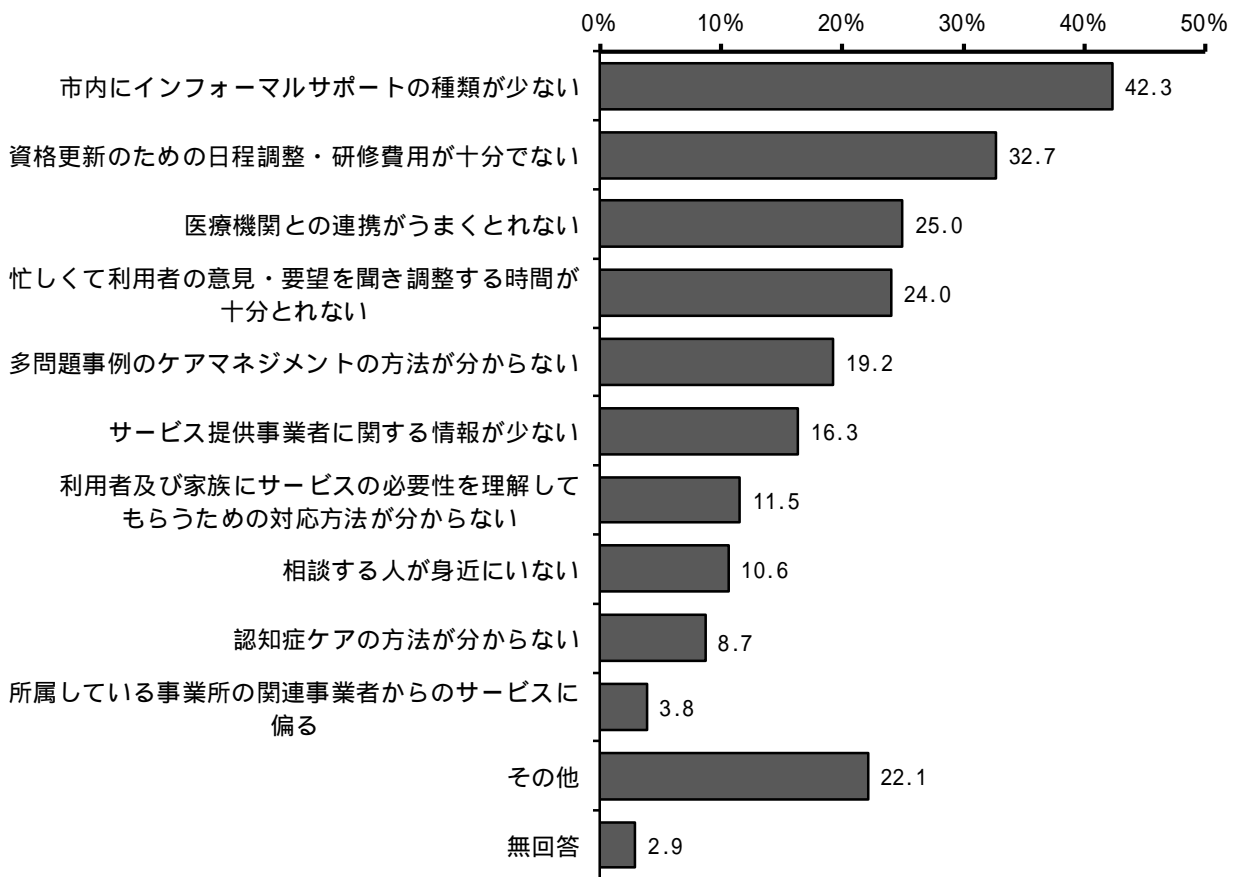
自由回答形式で聞いたところ、24件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
研修や教科書のようにできていない	6
本人の意向の確認（認知症の方、家族の意向との違い、意思表示が少ない）	5
サービスありきのプラン	3
自立支援の評価がわからない、評価をしにくい、加齢にともない自立支援が難しい	3
時間に追われ、事務的になっている	2
アセスメントが不十分	1
その他	4

問34 ケアマネジャー業務を行ううえで、課題としてお考えのことはどのようなことですか。

(いくつでも)

- ・「市内にインフォーマルサポートの種類が少ない」(42.3%)が最も多く、次いで「資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない」(32.7%)、「医療機関との連携がうまくとれない」(25.0%)、「忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない」(24.0%)と続いている。
- ・「市内にインフォーマルサポートの種類が少ない」を除き、各項目ともに、ケアマネ業務経験『5年以上』よりも『5年未満』の割合が高くなっている。

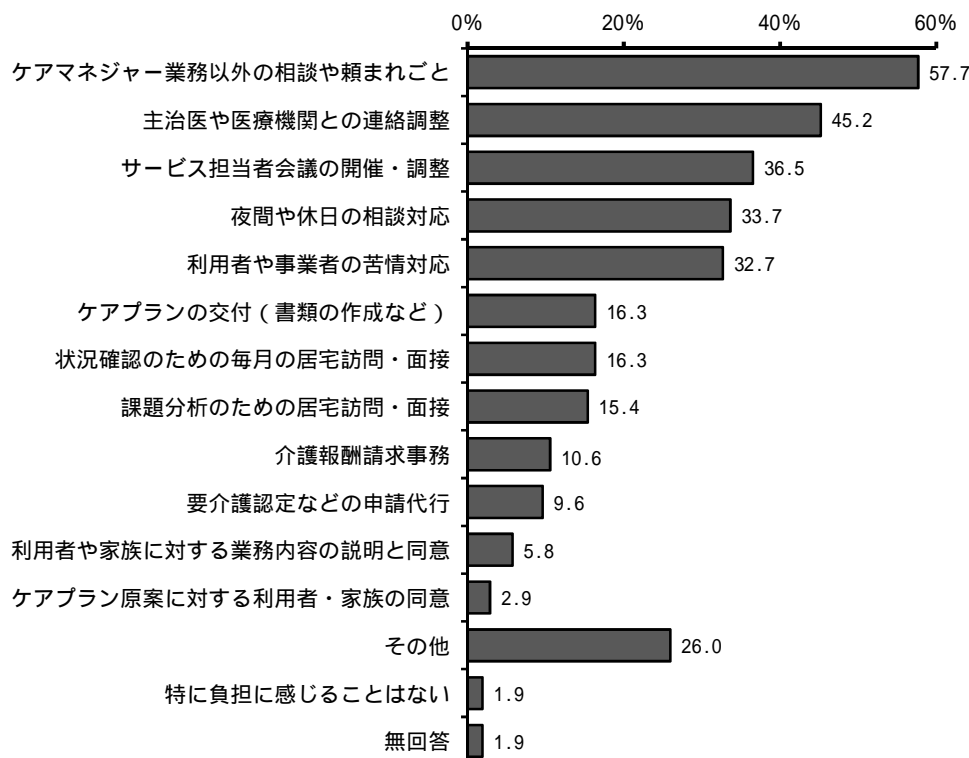


全体 (n=104)

		市内にインフォーマルサポートの種類が少ない	情報が少ない提供事業者に関する	必要対応方法が分からないうちの	利用者及び家族にサービスの必要性を理解してもらうための対応方法が分からない	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	多問題事例のケアマネジメントの方法が分からない	認知症ケアの方法が分からない	医療機関との連携がうまくとれない	相談する人が身近にいない	所属している事業所の関連事業者からのサービスに偏る	資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない	その他	無回答
全体	(n=104)	42.3%	16.3%	11.5%	24.0%	19.2%	8.7%	25.0%	10.6%	3.8%	32.7%	22.1%	2.9%	
他の資格(4種)	介護福祉士 (n=86)	44.2%	15.1%	10.5%	25.6%	19.8%	7.0%	26.7%	11.6%	3.5%	32.6%	20.9%	3.5%	
	ホームヘルパー (n=43)	37.2%	16.3%	16.3%	25.6%	23.3%	11.6%	25.6%	16.3%	2.3%	32.6%	20.9%	4.7%	
	社会福祉士 (n=18)	44.4%	5.6%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	
	社会福祉主事 (n=12)	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	8.3%	8.3%	25.0%	0.0%	16.7%	41.7%	33.3%	0.0%	
その他 (n=19)	42.1%	26.3%	21.1%	15.8%	31.6%	15.8%	26.3%	15.8%	5.3%	42.1%	21.1%	0.0%		
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	39.3%	25.0%	25.0%	42.9%	32.1%	21.4%	25.0%	17.9%	7.1%	42.9%	17.9%	0.0%	
	5年以上 (n=75)	44.0%	12.0%	6.7%	17.3%	14.7%	4.0%	25.3%	8.0%	2.7%	29.3%	22.7%	4.0%	
主任ケアマネ	ある (n=22)	36.4%	0.0%	0.0%	27.3%	13.6%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	50.0%	31.8%	0.0%	
	ない (n=80)	43.8%	20.0%	15.0%	23.8%	20.0%	11.3%	25.0%	11.3%	5.0%	27.5%	18.8%	3.8%	

問35 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。(いくつでも)

- ・「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」(57.7%)が最も多く、次いで「主治医や医療機関との連絡調整」(45.2%)、「サービス担当者会議の開催・調整」(36.5%)、「夜間や休日の相談対応」(33.7%)、「利用者や事業者の苦情対応」(32.7%)と続いている。
- ・一方、「特に負担に感じることはない」は1.9%となっている。
- ・「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」を除き、各項目ともに、ケアマネ業務経験『5年以上』よりも『5年未満』の割合が高くなっている。

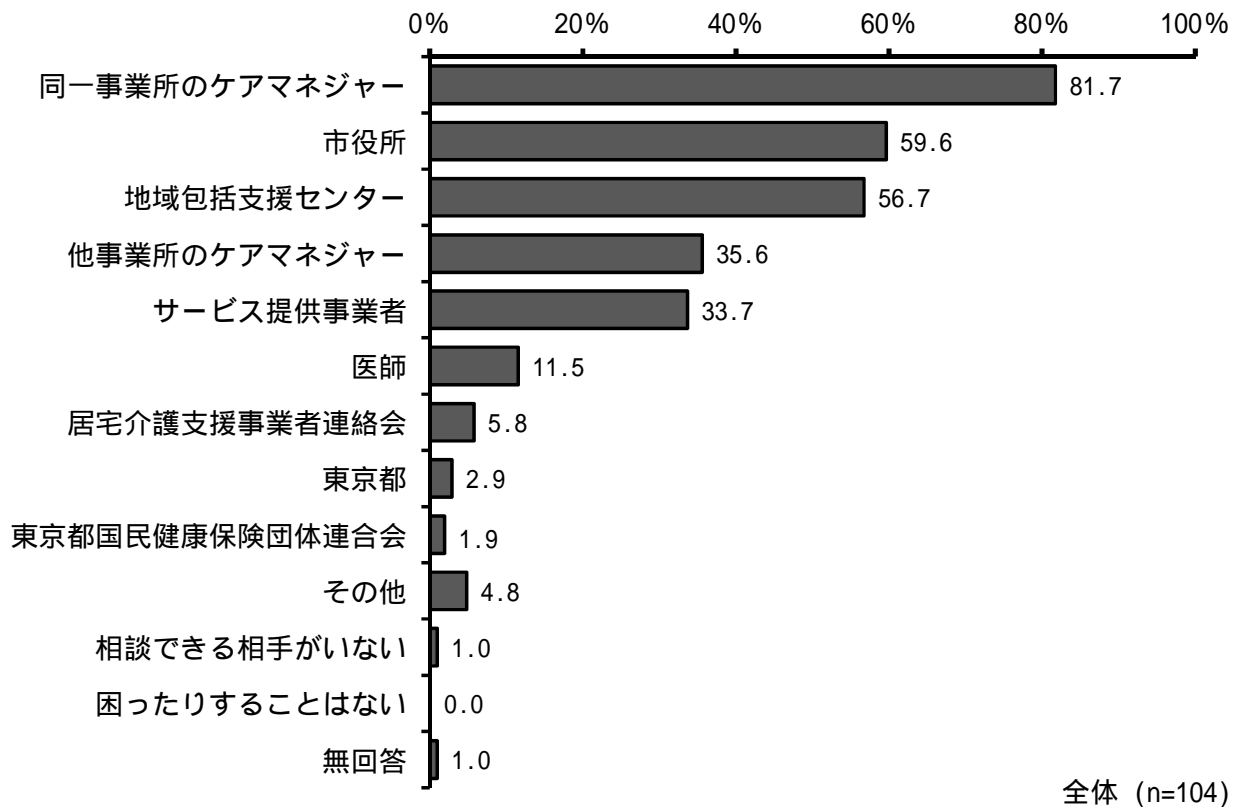


全体 (n=104)

	利用者や家族と同意する業務内容の面接	課題分析のための居宅訪問	サービス担当者会議の開催	ケアプラン原案に対する同意	ケアプランの作成（書類）	ケアプランの交付（書類）	状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	主治医や医療機関との連絡調整	利用者や事業者の苦情対応	要介護認定などの申請代行	介護報酬請求事務	夜間や休日の相談対応	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	その他	特に負担に感じることはない	無回答
全体 (n=104)	5.8%	15.4%	36.5%	2.9%	16.3%	16.3%	45.2%	32.7%	9.6%	10.6%	33.7%	57.7%	26.0%	1.9%	1.9%	
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	14.3%	32.1%	42.9%	7.1%	35.7%	21.4%	53.6%	35.7%	21.4%	14.3%	42.9%	53.6%	17.9%	0.0%	0.0%
	5年以上 (n=75)	2.7%	9.3%	34.7%	1.3%	9.3%	14.7%	42.7%	32.0%	5.3%	9.3%	30.7%	58.7%	28.0%	2.7%	2.7%
主任ケアマネ	ある (n=22)	0.0%	4.5%	40.9%	0.0%	9.1%	18.2%	31.8%	36.4%	9.1%	9.1%	31.8%	68.2%	40.9%	0.0%	0.0%
	ない (n=80)	7.5%	18.8%	35.0%	3.8%	18.8%	16.3%	48.8%	32.5%	10.0%	11.3%	35.0%	53.8%	21.3%	2.5%	2.5%
現事業所ケアマネ在籍期間	1年未満 (n=13)	7.7%	30.8%	46.2%	15.4%	38.5%	23.1%	69.2%	46.2%	15.4%	15.4%	30.8%	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%
	1年以上3年未満 (n=18)	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	22.2%	38.9%	44.4%	22.2%	16.7%	61.1%	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=27)	3.7%	11.1%	29.6%	3.7%	22.2%	14.8%	37.0%	18.5%	7.4%	7.4%	29.6%	59.3%	18.5%	0.0%	3.7%
	5年以上7年未満 (n=19)	5.3%	10.5%	36.8%	0.0%	10.5%	15.8%	57.9%	31.6%	10.5%	5.3%	31.6%	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%
7年以上 (n=26)	3.8%	3.8%	42.3%	0.0%	3.8%	11.5%	38.5%	34.6%	0.0%	11.5%	23.1%	57.7%	23.1%	3.8%	3.8%	
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	5.9%	17.6%	38.2%	1.5%	22.1%	19.1%	44.1%	38.2%	14.7%	11.8%	38.2%	57.4%	27.9%	1.5%	1.5%
	常勤・兼務 (n=19)	0.0%	10.5%	42.1%	0.0%	10.5%	15.8%	47.4%	21.1%	0.0%	10.5%	31.6%	57.9%	21.1%	0.0%	5.3%
	非常勤 (n=14)	14.3%	14.3%	28.6%	7.1%	0.0%	7.1%	42.9%	21.4%	0.0%	0.0%	21.4%	57.1%	14.3%	7.1%	0.0%

問36 ケアプランを作成するうえで、分からないことや困ったことがあったとき、誰に相談しますか。
(いくつでも)

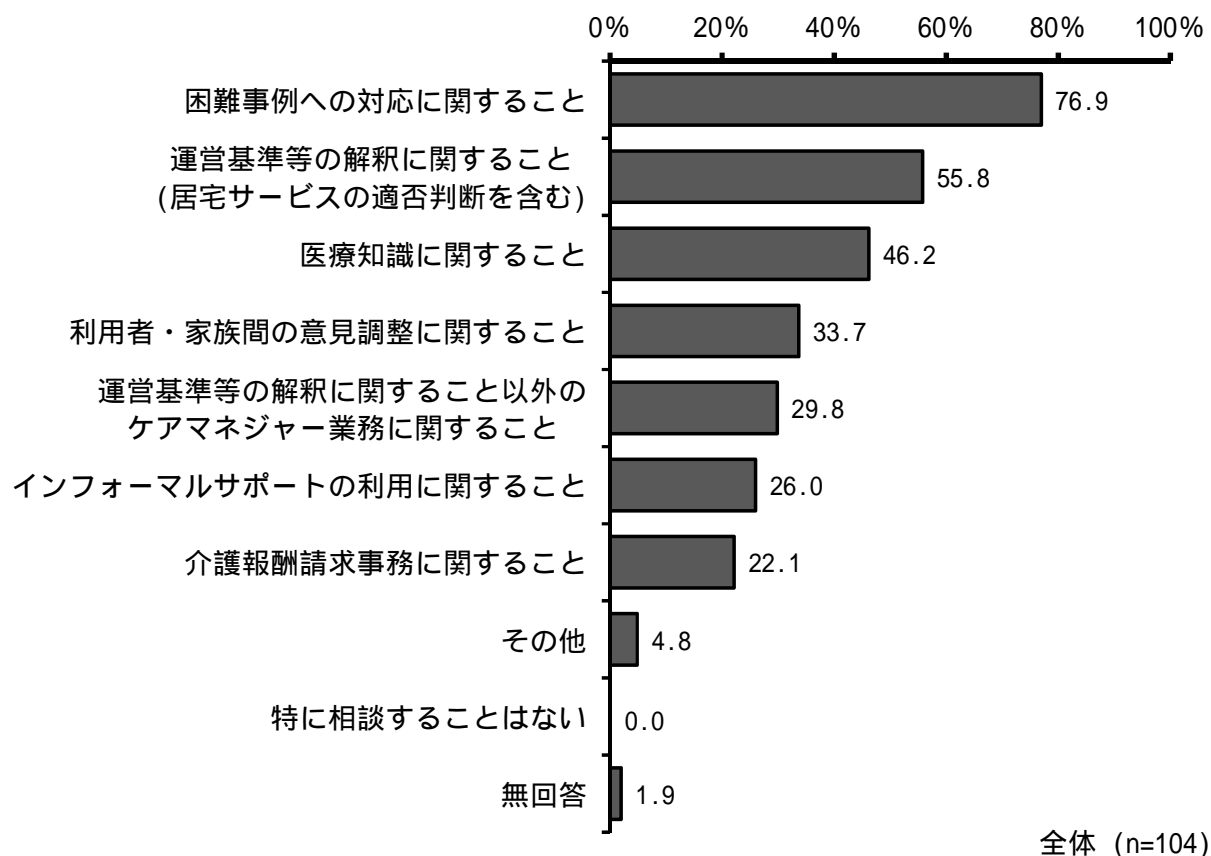
- ・「同一事業所のケアマネジャー」(81.7%)が最も多く、次いで「市役所」(59.6%)、「地域包括支援センター」(56.7%)、「他事業所のケアマネジャー」(35.6%)、「サービス提供事業者」(33.7%)と続いている。
- ・一方、「相談できる相手がない」は1.0%、「困ったりすることはない」は0.0%となっている。
- ・「市役所」は、ケアマネ業務経験が長いほど割合が高くなっている《『3年未満』(44.4%)、『7年以上』(66.0%)》。



	ア マ ネ ジ ャ ー	マ ネ ジ ャ ー	他 事 業 所 の ケ ア	居 宅 介 護 支 援 事	地 域 包 括 支 援 セ	市 役 所	東 京 都	保 険 団 体 連 合 会	東 京 都 民 生 保 護 会	サ ー ビ ス 提 供 事	医 師	そ の 他	が 相 談 で き る 相 手	と 困 つ た り す る こ	無 回 答
全 体 (n=104)	81.7%	35.6%	5.8%	56.7%	59.6%	2.9%	1.9%	33.7%	11.5%	4.8%	1.0%	0.0%	1.0%		
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	83.7%	33.7%	5.8%	58.1%	59.3%	1.2%	2.3%	32.6%	11.6%	3.5%	1.2%	0.0%	1.2%	
	ホームヘルパー (n=43)	88.4%	25.6%	7.0%	58.1%	62.8%	0.0%	2.3%	34.9%	18.6%	4.7%	2.3%	0.0%	2.3%	
	社会福祉士 (n=18)	72.2%	55.6%	11.1%	50.0%	55.6%	5.6%	0.0%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	社会福祉主事 (n=12)	83.3%	25.0%	8.3%	50.0%	75.0%	8.3%	0.0%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他 (n=19)	68.4%	47.4%	5.3%	52.6%	52.6%	5.3%	0.0%	52.6%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%	44.4%	0.0%	0.0%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3年以上5年未満 (n=19)	89.5%	26.3%	5.3%	47.4%	52.6%	5.3%	0.0%	31.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	5年以上7年未満 (n=25)	88.0%	24.0%	4.0%	56.0%	56.0%	0.0%	4.0%	44.0%	12.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	
	7年以上 (n=50)	72.0%	46.0%	8.0%	60.0%	66.0%	4.0%	2.0%	26.0%	12.0%	6.0%	0.0%	0.0%	2.0%	
主任ケアマネ	ある (n=22)	68.2%	59.1%	13.6%	63.6%	63.6%	4.5%	4.5%	27.3%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	ない (n=80)	85.0%	30.0%	3.8%	55.0%	57.5%	2.5%	1.3%	36.3%	13.8%	5.0%	1.3%	0.0%	1.3%	
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	80.9%	36.8%	4.4%	54.4%	54.4%	1.5%	1.5%	38.2%	11.8%	7.4%	1.5%	0.0%	1.5%	
	常勤・兼務 (n=19)	78.9%	47.4%	10.5%	57.9%	68.4%	0.0%	5.3%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	非常勤 (n=14)	92.9%	21.4%	7.1%	64.3%	78.6%	14.3%	0.0%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問37 どのようなことを相談していますか。(いくつでも)

- ・「困難事例への対応に関すること」(76.9%)が最も多く、次いで「運営基準等の解釈に関すること(居宅サービスの適否判断を含む)」(55.8%)、「医療知識に関すること」(46.2%)、「利用者・家族間の意見調整に関すること」(33.7%)と続いている。
- ・一方、「特に相談することはない」は0.0%となっている。
- ・ケアマネ業務経験『3年未満』は、ほとんどの項目で高い割合となっており、特に「運営基準等の解釈に関すること以外のケアマネジャー業務に関すること」は、『7年以上』(20.0%)よりも『3年未満』(88.9%)の割合は70ポイント程度高くなっている。

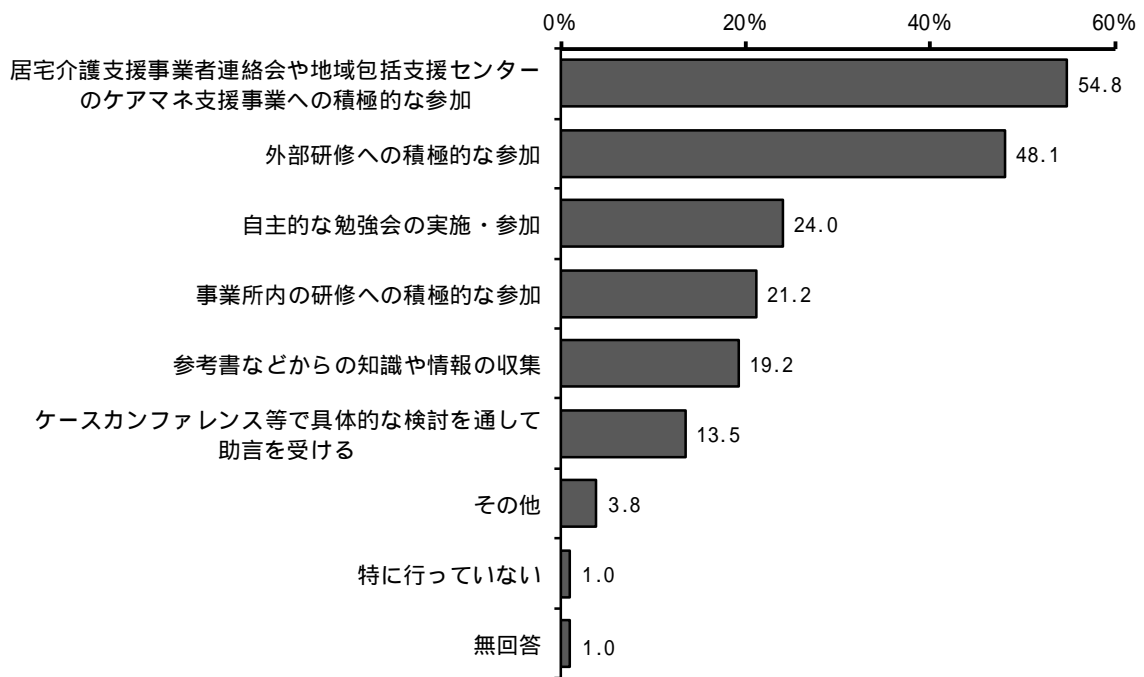


	困難事例への対応に関すること	利用者・家族間の意見調整に関すること	適否判断(居宅サービスを含む)	運営基準等の解釈に関すること	運営基準等の解釈に関すること以外のケアマネ業務に関すること	インフォーマルサポート	医療知識に関すること	介護報酬請求事務に関すること	その他	特に相談することはない	無回答
全体 (n=104)	76.9%	33.7%	55.8%	29.8%	26.0%	46.2%	22.1%	4.8%	0.0%	1.9%	
ケアマネ業務経験 (4区分)	3年未満 (n=9)	88.9%	44.4%	77.8%	88.9%	55.6%	66.7%	66.7%	11.1%	0.0%	0.0%
	3年以上5年未満 (n=19)	84.2%	52.6%	57.9%	31.6%	21.1%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	5年以上7年未満 (n=25)	64.0%	36.0%	52.0%	28.0%	24.0%	60.0%	16.0%	8.0%	0.0%	4.0%
	7年以上 (n=50)	78.0%	24.0%	52.0%	20.0%	22.0%	34.0%	8.0%	4.0%	0.0%	2.0%
主任ケアマネ	ある (n=22)	77.3%	13.6%	59.1%	13.6%	13.6%	31.8%	13.6%	9.1%	0.0%	0.0%
	ない (n=80)	76.3%	38.8%	53.8%	33.8%	28.8%	51.3%	25.0%	3.8%	0.0%	2.5%
勤務形態 (3分類)	常勤・専従 (n=68)	82.4%	32.4%	55.9%	32.4%	23.5%	48.5%	25.0%	5.9%	0.0%	2.9%
	常勤・兼務 (n=19)	63.2%	21.1%	57.9%	26.3%	21.1%	36.8%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%
	非常勤 (n=14)	64.3%	57.1%	57.1%	21.4%	35.7%	50.0%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%

問38 ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために(1)現在行っている、(2)今後行いたい取組をそれぞれ2つまで選び、ご記入ください。

(1) 現在行っている取組

- ・「居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加」(54.8%)が最も多く、次いで「外部研修への積極的な参加」(48.1%)、「自主的な勉強会の実施・参加」(24.0%)、「事業所内の研修への積極的な参加」(21.2%)、「参考書などからの知識や情報の収集」(19.2%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は1.0%となっている。
- ・主任ケアマネ資格が『ある』は、特に「居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加」(72.7%)が高くなっている。

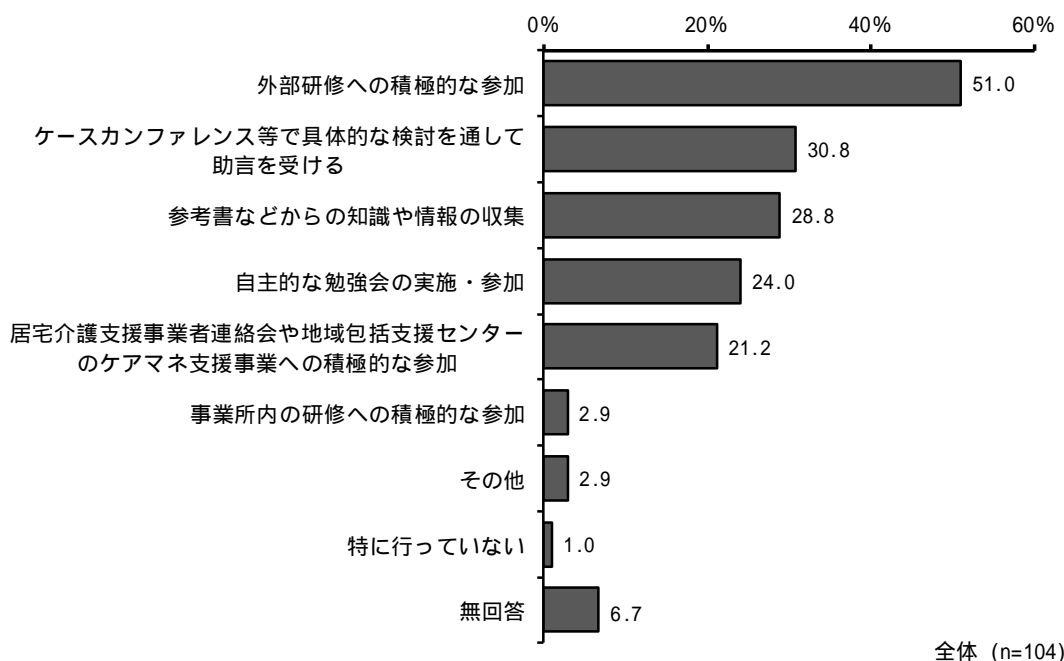


全体 (n=104)

		自主的な勉強会の実施・参加	地域包括支援センターの積極的な参加	居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加	ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける	事業所内の研修への積極的な参加	外部研修への積極的な参加	参考書などからの知識や情報の収集	その他	特に行っていない	無回答
全体 (n=104)		24.0%	54.8%	13.5%	21.2%	48.1%	19.2%	3.8%	1.0%	1.0%	
性別	男性 (n=22)	31.8%	72.7%	18.2%	9.1%	40.9%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	
	女性 (n=81)	22.2%	49.4%	12.3%	23.5%	50.6%	22.2%	2.5%	1.2%	1.2%	
年齢	30代 (n=14)	42.9%	71.4%	7.1%	14.3%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	
	40代 (n=26)	19.2%	65.4%	19.2%	19.2%	34.6%	26.9%	0.0%	3.8%	0.0%	
	50代 (n=47)	21.3%	51.1%	14.9%	17.0%	59.6%	19.1%	2.1%	0.0%	2.1%	
	60歳以上 (n=16)	25.0%	31.3%	6.3%	37.5%	56.3%	18.8%	12.5%	0.0%	0.0%	
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	35.7%	46.4%	17.9%	14.3%	57.1%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%	
	5年以上 (n=75)	20.0%	57.3%	12.0%	22.7%	45.3%	21.3%	4.0%	1.3%	1.3%	
主任ケアマネ	ある (n=22)	27.3%	72.7%	13.6%	13.6%	50.0%	4.5%	9.1%	0.0%	0.0%	
	ない (n=80)	23.8%	48.8%	13.8%	21.3%	48.8%	23.8%	2.5%	1.3%	1.3%	

(2) 今後行いたい取組

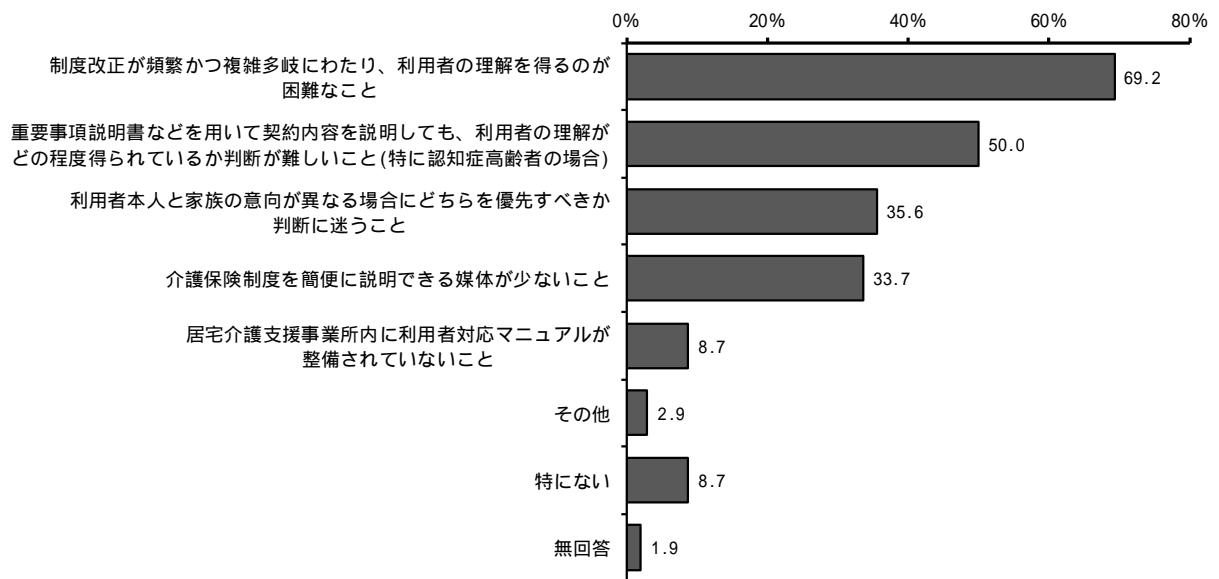
- ・「外部研修への積極的な参加」(51.0%)が最も多く、次いで「ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける」(30.8%)、「参考書などからの知識や情報の収集」(28.8%)、「自主的な勉強会の実施・参加」(24.0%)、「居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的な参加」(21.2%)と続いている。
- ・一方、「特に行っていない」は1.0%となっている。
- ・「外部研修への積極的な参加」は、ケアマネ業務経験『5年以上』(48.0%)よりも『5年未満』(57.1%)の割合が高くなっている。同様に、「ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける」の割合は、ケアマネ業務経験『5年以上』(28.0%)よりも『5年未満』(39.3%)の割合が高くなっている。



		自主的な勉強会の実施・参加	支援包括支援センターや地域包括支援センターのケアマネや地	居宅介護支援事業者連絡会や	的検査カンファレンス等を通じて助言を受ける	加事業所内の研修への積極的な参	外部研修への積極的な参加	参考書などからの知識や情報の	その他	特に行っていない	無回答
全体	(n=104)	24.0%	21.2%	30.8%	2.9%	51.0%	28.8%	2.9%	1.0%	6.7%	
性別	男性 (n=22)	27.3%	9.1%	40.9%	4.5%	40.9%	22.7%	0.0%	0.0%	13.6%	
	女性 (n=81)	22.2%	24.7%	28.4%	2.5%	53.1%	30.9%	3.7%	1.2%	4.9%	
年齢	30代 (n=14)	21.4%	7.1%	42.9%	7.1%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	40代 (n=26)	19.2%	11.5%	34.6%	0.0%	50.0%	26.9%	3.8%	3.8%	7.7%	
	50代 (n=47)	25.5%	27.7%	25.5%	4.3%	53.2%	25.5%	2.1%	0.0%	6.4%	
	60歳以上 (n=16)	25.0%	31.3%	31.3%	0.0%	43.8%	25.0%	6.3%	0.0%	12.5%	
他の資格 (4種)	介護福祉士 (n=86)	20.9%	23.3%	26.7%	2.3%	50.0%	32.6%	3.5%	0.0%	7.0%	
	ホームヘルパー (n=43)	23.3%	25.6%	37.2%	2.3%	41.9%	27.9%	2.3%	0.0%	7.0%	
	社会福祉士 (n=18)	27.8%	27.8%	22.2%	0.0%	50.0%	27.8%	0.0%	5.6%	5.6%	
	社会福祉主事 (n=12)	25.0%	8.3%	41.7%	8.3%	66.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	21.4%	25.0%	39.3%	3.6%	57.1%	32.1%	3.6%	0.0%	0.0%	
	5年以上 (n=75)	24.0%	20.0%	28.0%	2.7%	48.0%	28.0%	2.7%	1.3%	9.3%	
主任ケアマネ	ある (n=22)	27.3%	18.2%	13.6%	4.5%	45.5%	31.8%	4.5%	0.0%	13.6%	
	ない (n=80)	21.3%	22.5%	36.3%	2.5%	51.3%	28.8%	2.5%	1.3%	5.0%	

問39 利用者への情報提供の際に、課題と感じていることはありますか。(いくつでも)

- ・「制度改正が頻繁かつ複雑多岐にわたり、利用者の理解を得るのが困難なこと」(69.2%)が最も多く、次いで「重要事項説明書などを用いて契約内容を説明しても、利用者の理解がどの程度得られているか判断が難しいこと(特に認知症高齢者の場合)」(50.0%)、「利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先すべきか判断に迷うこと」(35.6%)、「介護保険制度を簡便に説明できる媒体が少ないこと」(33.7%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は8.7%となっている。
- ・「介護保険制度を簡便に説明できる媒体が少ないこと」や「利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先すべきか判断に迷うこと」の割合は、ケアマネ実務経験『5年以上』と比べて『5年未満』では25ポイント程度高くなっている。



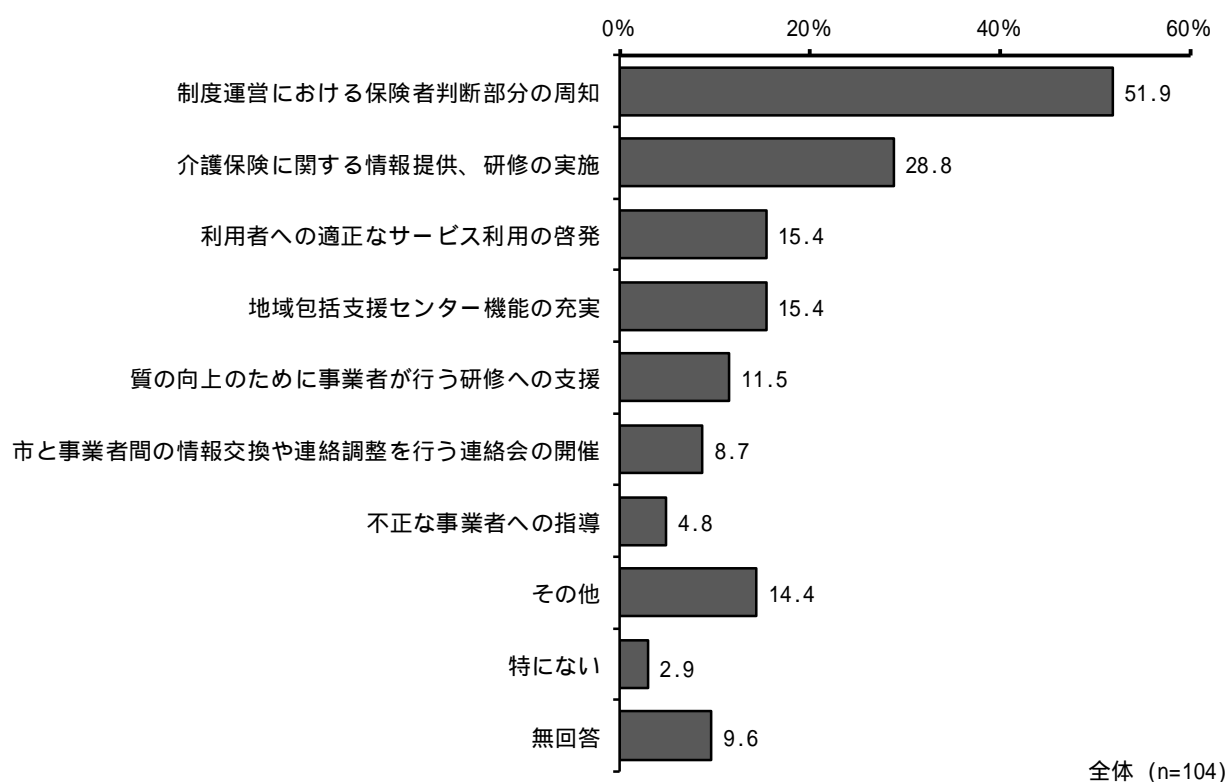
		(特得を要する事項を認め、認知症高齢者判断の場が難しいことの内容)	が介護保険制度を簡便に説明できる媒体	二居宅介護支援事業所内に利用者対応マ	とり、制度改正が頻繁かつ複雑多岐にわたり、	とに利用者本人と家族の意向が異なる場合	その他	特にない	無回答
全体	(n=104)	50.0%	33.7%	8.7%	69.2%	35.6%	2.9%	8.7%	1.9%
ケアマネ業務経験	5年未満 (n=28)	53.6%	53.6%	17.9%	67.9%	53.6%	3.6%	0.0%	0.0%
	5年以上 (n=75)	49.3%	26.7%	5.3%	70.7%	29.3%	2.7%	10.7%	2.7%
主任ケア	ある (n=22)	45.5%	13.6%	0.0%	77.3%	18.2%	0.0%	9.1%	4.5%
	ない (n=80)	52.5%	40.0%	11.3%	67.5%	40.0%	3.8%	7.5%	1.3%
勤務形態(3分類)	常勤・専従 (n=68)	54.4%	36.8%	8.8%	67.6%	39.7%	4.4%	5.9%	1.5%
	常勤・兼務 (n=19)	47.4%	21.1%	5.3%	84.2%	26.3%	0.0%	5.3%	5.3%
	非常勤 (n=14)	35.7%	35.7%	14.3%	64.3%	28.6%	0.0%	21.4%	0.0%

(12) 市への意見・要望について

問40 今後、保険者としての府中市に対し、ケアマネジャーとして望むことは何ですか。

(2つまでに)

- ・「制度運営における保険者判断部分の周知」(51.9%)が最も多く、次いで「介護保険に関する情報提供、研修の実施」(28.8%)、「利用者への適正なサービス利用の啓発」と「地域包括支援センター機能の充実」(ともに15.4%)、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」(11.5%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は2.9%となっている。
- ・「制度運営における保険者判断部分の周知」の割合は、ケアマネ実務経験『5年以上』(56.0%)で高く、また、主任ケアマネ資格が『ある』(72.7%)で高くなっている。



		報介 護保 険 研 修 の 実 施 情	支業 援者 の 向 上 の 研 修 に 関 する 事	導不 正な 事 業 者 へ の 指	サ利 用者 へ の 適 正 な 啓	夕地 域 機 能 の 充 実 セ	う交 換や 事 業 者 間 の 情 報 行	険制 者度 判 断 部 分 に お け る 知 保	そ 他	特 に な い	無 回 答
全	体 (n=104)	28.8%	11.5%	4.8%	15.4%	15.4%	8.7%	51.9%	14.4%	2.9%	9.6%
性 別	男 性 (n=22)	22.7%	9.1%	13.6%	18.2%	18.2%	4.5%	63.6%	22.7%	0.0%	0.0%
	女 性 (n=81)	30.9%	12.3%	2.5%	14.8%	14.8%	9.9%	49.4%	11.1%	3.7%	12.3%
年 齢	30代 (n=14)	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%	50.0%	14.3%	0.0%	7.1%
	40代 (n=26)	11.5%	3.8%	7.7%	23.1%	15.4%	11.5%	53.8%	23.1%	3.8%	7.7%
	50代 (n=47)	40.4%	10.6%	2.1%	12.8%	19.1%	8.5%	55.3%	10.6%	2.1%	10.6%
	60歳以上 (n=16)	37.5%	25.0%	0.0%	12.5%	6.3%	6.3%	43.8%	6.3%	6.3%	12.5%
ケ ア マ ネ 業 務 経 験	5年未満 (n=28)	35.7%	21.4%	3.6%	10.7%	21.4%	7.1%	42.9%	10.7%	0.0%	7.1%
	5年以上 (n=75)	26.7%	8.0%	5.3%	17.3%	13.3%	9.3%	56.0%	14.7%	4.0%	10.7%
主 任 ケ ア マ ネ	ある (n=22)	18.2%	4.5%	9.1%	9.1%	9.1%	22.7%	72.7%	18.2%	4.5%	9.1%
	ない (n=80)	31.3%	13.8%	3.8%	17.5%	17.5%	5.0%	46.3%	12.5%	2.5%	10.0%

問41 最後に、介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、47件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
制度、サービス、事業について	25
医療と介護の連携について	11
制度やサービスの周知について	7
訪問診療・往診の希望について	1
その他	3

5 - 2 調査結果から見えた課題

必要なサービスの提供体制の構築

- ・量的に不足しているサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(30.8%)が最も多く、次いで「訪問介護」(23.1%)、「訪問リハビリテーション」(20.2%)、「夜間対応型訪問介護」(19.2%)と続いている。(問9(1))
- ・今後必要性が高まるサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(25.0%)が最も多く、次いで「小規模多機能型居宅介護」(23.1%)、「訪問介護」(21.2%)と続いている。(問9(3))
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は、「量的に不足しているサービス」と「今後必要性が高まるサービス」の両方にあがっている。(問9(1)、問9(3))

不足しているとされたサービスについては、真に必要なのか分析・検討を行い、必要と判断した場合は提供できるよう、事業者への働きかけや事業者支援の仕組みが求められている。

在宅生活を支える生活支援の充実

- ・ケアプランに介護保険サービス以外を加えたことがあるのは、「インフォーマルサポートを加えたことがある」が86.5%、「市の高齢者保健福祉サービスを加えたことがある」が76.0%となっている。(問10)
- ・ケアマネ実務経験が3年未満では「インフォーマルサポートを加えたことがある」が33.3%と低い。(問10)
- ・ケアプランに加えた市の高齢者保健福祉サービスは、「日常生活用品(おむつ)の助成」(77.2%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(68.4%)、「理容師・美容師の派遣」(59.5%)となっている。(問10-1)
- ・ケアプランに加えたインフォーマルサポートは、「病院、買物等への付添い」(70.0%)が最も多く、次いで「配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援」(61.1%)となっている。(問10-2)
- ・今後一層の充実が必要な高齢者福祉サービスは、「高齢者医療ショートステイ」(45.2%)が最も多く、次いで「はいかい高齢者探索サービス」「車いす福祉タクシー」(ともに22.1%)となっている。(問11)

介護保険サービスだけでなく、生活全般を支援するためのケアプラン作成が求められている。市の福祉サービス等の情報の積極的な提供やケアプラン点検など、ケアプラン充実のためのケアマネの育成が重要である。

在宅療養環境の整備・充実

- ・在宅療養高齢者の急変時の医療機関へのスムーズな移行は、「行われていると思う・ある程度行われていると思う」が76.0%と高く推移しているが、一方で、「あまり行われていないと思う」が20.2%となっている。(問18)
- ・高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は、「在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設」が最も多く72.1%、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」が40.4%となっている。前回調査結果と比較すると、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」は15ポイント程度の改善がみられる一方で、「在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設」については5ポイント程度増加している。(問19)
- ・在宅療養を継続するうえで必要と思われる支援・サービス(自由回答方式)は、「レスパイト・ショート」「在宅での医療ケア(訪看、訪問診療、デイケア)」に関する記載が多くなっている。(問21)

在宅での療養が安心してできるよう、在宅医療に対応できる医療機関を増やすとともに、在宅医療・療養を支えるサービスの充実が求められている。

ケアマネジャーの資質の向上

- ・自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできていると「思う」と「少しは思う」を合わせた割合は73.1%となっている。一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合は24.1%となっている。(問33)
- ・自立支援につなげるために工夫していること(自由回答方式)は、「強みを生かす、エンパワメント、意欲を引き出す」「本人の意向確認、尊重、アセスメント、話をよく聞く、一緒に考える」などの記載が多くなっている。(問33-1)
- ・ケアマネジャー業務のレベルアップのために今後行いたい取組は、「外部研修への積極的な参加」(51.0%)が最も多く、次いで「ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける」(30.8%)、「参考書などからの知識や情報の収集」(28.8%)となっている。(問38(2))

専門職であるケアマネジャーが、ケアプランに自信を持てるよう、情報提供や研修への参加など、資質の向上を図る施策が求められている。

- ・経験年数により、円滑なサービス導入や医療との連携に差が生じている。(問34~39)

経験年数によらず、利用者への情報提供やサービス導入がスムーズにできるよう、ケアマネジャーへの支援が求められている。

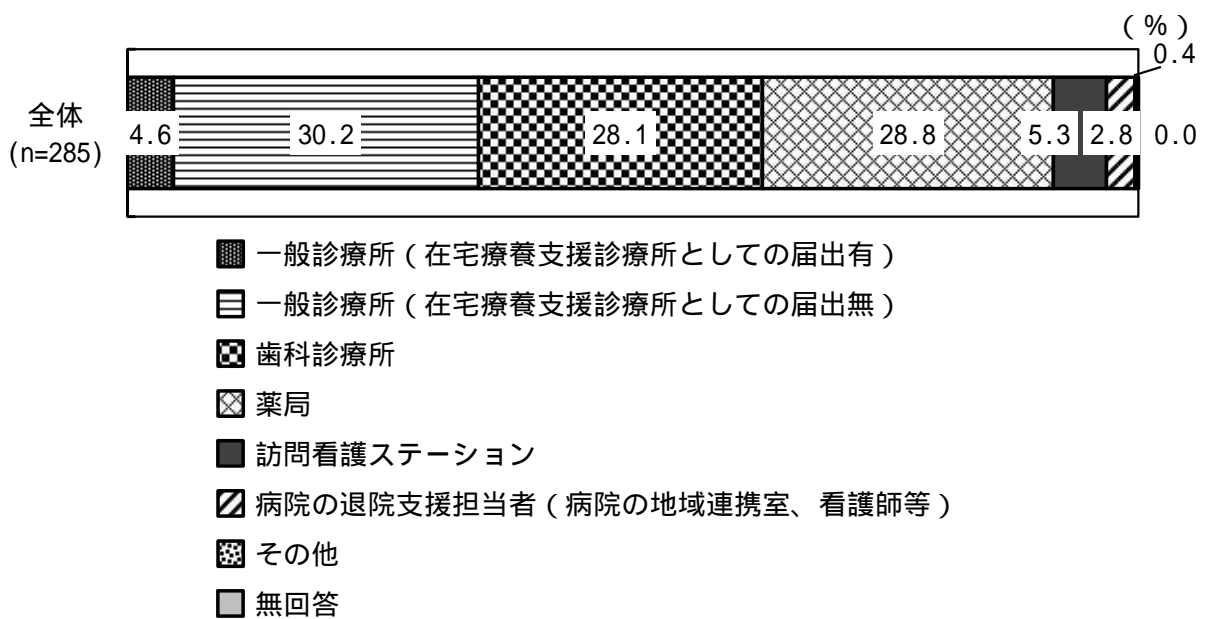
第6章 医療機関調査

6-1 調査結果の概要

(1) 回答者について

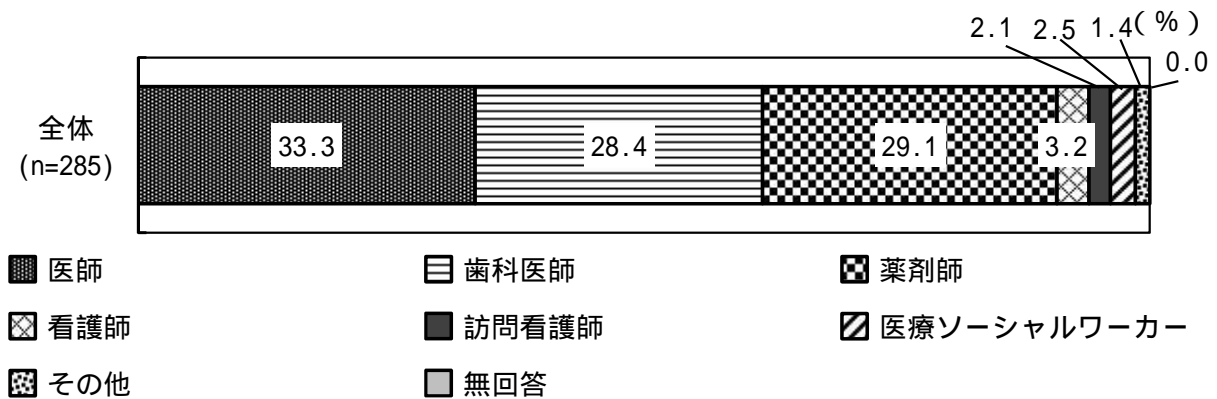
問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに)

- ・「一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）」(30.2%)が最も多く、次いで「薬局」(28.8%)、「歯科診療所」(28.1%)となっている。



問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに)

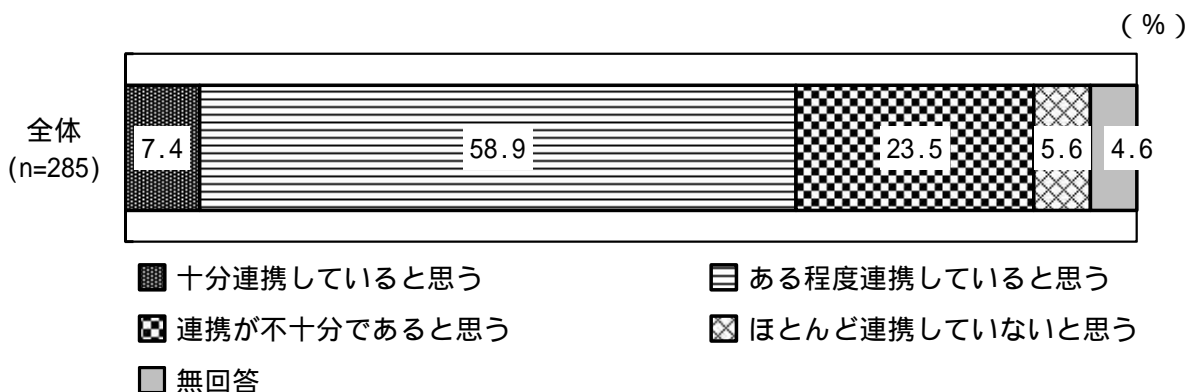
- ・「医師」(33.3%)が最も多く、次いで「薬剤師」(29.1%)、「歯科医師」(28.4%)となっている。



(2) 医療と介護の連携の状況について

問3 あなたは、府中市民の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに)

- ・「十分連携していると思う」(7.4%)、「ある程度連携していると思う」(58.9%)を合わせた割合は66.3%となっている。一方、「連携が不十分であると思う」(23.5%)、「ほとんど連携していないと思う」(5.6%)を合わせた割合は29.1%となっている。
- ・『病院の退院支援担当者』では、「ほとんど連携できていないと思う」が25.0%となっている。

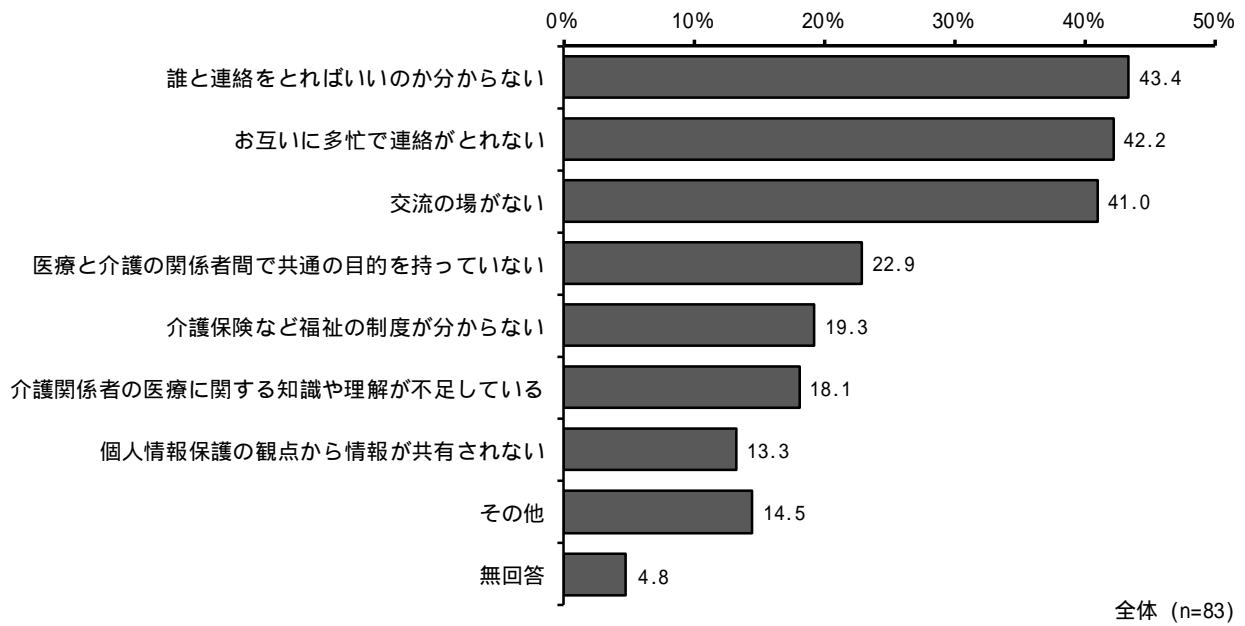


		十分連携していると思う	ある程度連携していると思う	連携が不十分であると思う	ほとんど連携していないと思う	無回答
全体	(n=285)	7.4%	58.9%	23.5%	5.6%	4.6%
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13) 15.4%	53.8%	23.1%	7.7%	0.0%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86) 10.5%	58.1%	20.9%	4.7%	5.8%
	歯科診療所	(n=80) 11.3%	63.8%	17.5%	3.8%	3.8%
	薬局	(n=82) 0.0%	52.4%	34.1%	7.3%	6.1%
	訪問看護ステーション	(n=15) 6.7%	73.3%	20.0%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8) 0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=95) 11.6%	55.8%	21.1%	6.3%	5.3%
	歯科医師	(n=81) 11.1%	64.2%	17.3%	3.7%	3.7%
	薬剤師	(n=83) 0.0%	51.8%	34.9%	7.2%	6.0%
	看護師	(n=9) 11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6) 0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7) 0.0%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%

問3で「連携が不十分であると思う」又は「ほとんど連携していないと思う」とお答えの方におたずねします

問3-1 あなたがそのように考える理由は何ですか。(3つまでに)

- ・「誰と連絡をとればいいのか分からない」(43.4%)が最も多く、次いで「お互いに多忙で連絡がとれない」(42.2%)、「交流の場がない」(41.0%)、「医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない」(22.9%)、「介護保険など福祉の制度が分からない」(19.3%)と続いている。
- ・「交流の場がない」は、『薬局』では58.8%と高い一方で、『一般診療所(在宅療養支援診療所としての届出有)』や『訪問看護ステーション』では0.0%となっている。



		通医療目的を 持つ関係者 間で共	ないお互 いに多忙 で連絡が とれ	報個人情 報共有さ れなない 観点から 情	交流の場 がない	誰から 連絡を とれば いいの か	介護保 険など 福祉の 制度が	知識や 理解が 不足し て関	その他	無回答	
全体	(n=83)	22.9%	42.2%	13.3%	41.0%	43.4%	19.3%	18.1%	14.5%	4.8%	
所属医療 機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=4)	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=22)	31.8%	50.0%	9.1%	36.4%	54.5%	22.7%	13.6%	9.1%	0.0%
	歯科診療所	(n=17)	29.4%	17.6%	23.5%	29.4%	41.2%	29.4%	23.5%	17.6%	0.0%
	薬局	(n=34)	11.8%	52.9%	8.8%	58.8%	44.1%	17.6%	11.8%	20.6%	2.9%
	訪問看護ステーション	(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
	病院の退院支援担当者	(n=3)	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=26)	30.8%	46.2%	11.5%	30.8%	46.2%	19.2%	15.4%	7.7%	7.7%
	歯科医師	(n=17)	29.4%	17.6%	23.5%	29.4%	41.2%	29.4%	23.5%	17.6%	0.0%
	薬剤師	(n=35)	11.4%	54.3%	8.6%	57.1%	45.7%	17.1%	14.3%	20.0%	2.9%
	看護師	(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=2)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

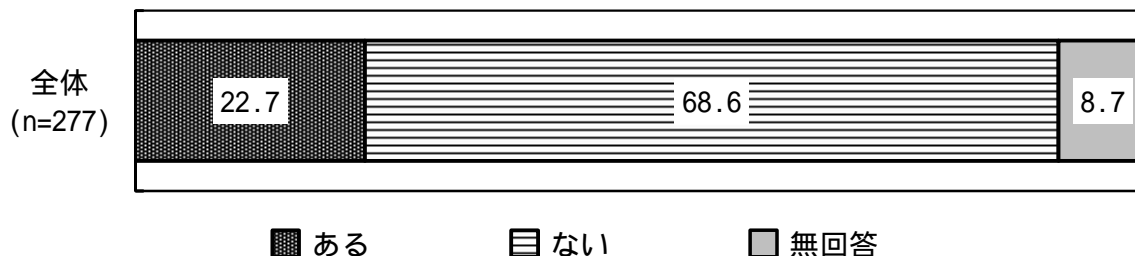
病院の退院支援担当者以外の方におたずねします

問4 あなたは、退院前（時）カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことがありますか。

(1つに)

- ・「ある」が22.7%、「ない」が68.6%となっている。
- ・『訪問看護ステーション』では、「ある」割合が100%となっている。

(%)



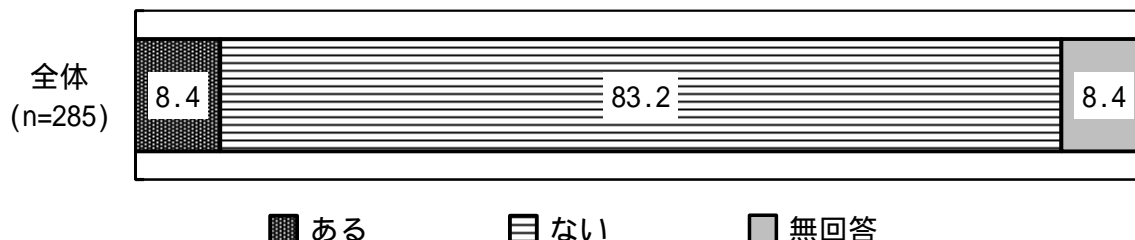
		ある	ない	無回答
全 体	(n=277)	22.7%	68.6%	8.7%
所属医療機関 (5種)	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=13) 46.2%	46.2%	7.7%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=86) 11.6%	75.6%	12.8%
	歯科診療所	(n=80) 15.0%	78.8%	6.3%
	薬局	(n=82) 23.2%	68.3%	8.5%
	訪問看護ステーション	(n=15) 100.0%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=94) 13.8%	73.4%	12.8%
	歯科医師	(n=81) 14.8%	79.0%	6.2%
	薬剤師	(n=83) 24.1%	67.5%	8.4%
	看護師	(n=8) 100.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6) 100.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=1) 100.0%	0.0%	0.0%

問5 あなたは、介護サービス事業者との間で問題やトラブルの発生を経験したことがありますか。

(1つに)

- ・「ある」が8.4%、「ない」が83.2%となっている。
- ・「ある」割合は、『一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）』では30.8%、『訪問看護ステーション』では40.0%、『病院の退院支援担当医者』では25.0%となっている。

(%)



		ある	ない	無回答
全 体 (n=285)		8.4%	83.2%	8.4%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	30.8%	61.5%	7.7%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	9.3%	81.4%	9.3%
	歯科診療所 (n=80)	1.3%	93.8%	5.0%
	薬局 (n=82)	3.7%	89.0%	7.3%
	訪問看護ステーション (n=15)	40.0%	46.7%	13.3%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	25.0%	37.5%	37.5%
職種 (6種)	医師 (n=95)	10.5%	80.0%	9.5%
	歯科医師 (n=81)	1.2%	93.8%	4.9%
	薬剤師 (n=83)	3.6%	89.2%	7.2%
	看護師 (n=9)	33.3%	33.3%	33.3%
	訪問看護師 (n=6)	33.3%	66.7%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	42.9%	28.6%	28.6%

問5で「ある」とお答えの方におたずねします

問5-1 どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、22件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

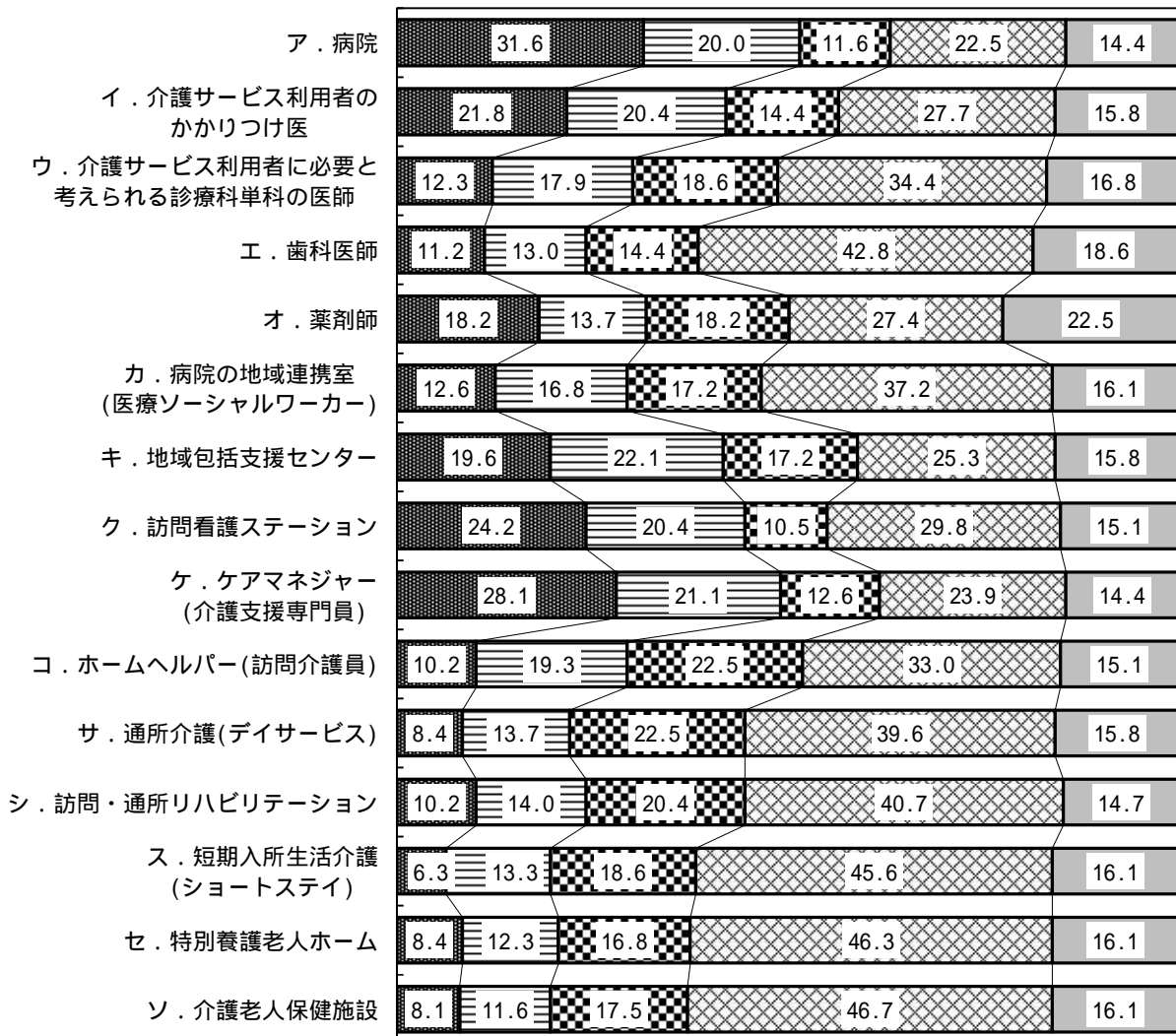
内容	件数
連携・情報交換 (日常の連絡がとりにくい、情報交換が図りにくい、コミュニケーション不足)	4
専門性の違いによるずれ (情報の一方通行、視点の違い等について共有化を図りにくい)	8
事業所・CM との問題 (ケアプランの精度・内容の不備など、情報不足、事業所の閉鎖、担当拒否など、事業者の利益相反)	7
その他	3

問6 あなたが関わる介護サービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。(ア～ソそれぞれ1つに)

- ・「連携している」と「少しは連携している」を合わせた割合は、『ア．病院』(51.6%)が最も多く、次いで『ケ．ケアマネジャー(介護支援専門員)』(49.2%)、『ク．訪問看護ステーション』(44.6%)、『イ．介護サービス利用者のかかりつけ医』(42.2%)、『キ．地域包括支援センター』(41.7%)と続いている。
- ・一方、「あまり連携していない」と「連携していない」を合わせた割合は、『ス．短期入所生活介護(ショートステイ)』と『ソ．介護老人保健施設』(ともに64.2%)が最も多く、次いで『セ．特別養護老人ホーム』(63.1%)、『サ．通所介護(デイサービス)』(62.1%)、『シ．訪問・通所リハビリテーション』(61.1%)と続いている。

全体 (n=285)

(%)



■ 連携している ■ 少しは連携している ■ あまり連携していない ■ 連携していない ■ 無回答

		ア. 病院					イ. 介護サービス利用者のかかりつけ医					
		連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	(n=285)	31.6%	20.0%	11.6%	22.5%	14.4%	21.8%	20.4%	14.4%	27.7%	15.8%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	53.8%	15.4%	0.0%	15.4%	15.4%	23.1%	23.1%	15.4%	23.1%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	37.2%	18.6%	16.3%	17.4%	10.5%	14.0%	19.8%	20.9%	29.1%	16.3%
	歯科診療所	(n=80)	33.8%	20.0%	2.5%	23.8%	20.0%	15.0%	17.5%	11.3%	36.3%	20.0%
	薬局	(n=82)	12.2%	19.5%	19.5%	34.1%	14.6%	28.0%	17.1%	14.6%	26.8%	13.4%
	訪問看護ステーション	(n=15)	60.0%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	36.8%	20.0%	14.7%	17.9%	10.5%	14.7%	21.1%	20.0%	28.4%	15.8%
	歯科医師	(n=81)	33.3%	19.8%	2.5%	23.5%	21.0%	14.8%	17.3%	11.1%	35.8%	21.0%
	薬剤師	(n=83)	13.3%	19.3%	19.3%	33.7%	14.5%	27.7%	16.9%	14.5%	27.7%	13.3%
	看護師	(n=9)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	28.6%
		ウ. 介護サービス利用者が必要と考えられる診療科単科の医師					エ. 歯科医師					
全体	(n=285)	12.3%	17.9%	18.6%	34.4%	16.8%	11.2%	13.0%	14.4%	42.8%	18.6%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	15.4%	38.5%	7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	38.5%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	17.4%	15.1%	16.3%	36.0%	15.1%	4.7%	15.1%	16.3%	46.5%	17.4%
	歯科診療所	(n=80)	10.0%	10.0%	18.8%	40.0%	21.3%	27.5%	11.3%	13.8%	22.5%	25.0%
	薬局	(n=82)	7.3%	17.1%	20.7%	37.8%	17.1%	1.2%	3.7%	12.2%	65.9%	17.1%
	訪問看護ステーション	(n=15)	26.7%	46.7%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	53.3%	13.3%	20.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	0.0%	37.5%	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%	25.0%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	17.9%	18.9%	13.7%	34.7%	14.7%	5.3%	15.8%	15.8%	46.3%	16.8%
	歯科医師	(n=81)	9.9%	9.9%	18.5%	39.5%	22.2%	27.2%	11.1%	13.6%	22.2%	25.9%
	薬剤師	(n=83)	7.2%	16.9%	20.5%	38.6%	16.9%	1.2%	3.6%	12.0%	66.3%	16.9%
	看護師	(n=9)	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%	22.2%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	0.0%	14.3%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%
		オ. 薬剤師					カ. 病院の地域連携室 (医療ソーシャルワーカー)					
全体	(n=285)	18.2%	13.7%	18.2%	27.4%	22.5%	12.6%	16.8%	17.2%	37.2%	16.1%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	53.8%	7.7%	0.0%	15.4%	23.1%	38.5%	15.4%	7.7%	23.1%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	20.9%	14.0%	19.8%	27.9%	17.4%	12.8%	20.9%	22.1%	30.2%	14.0%
	歯科診療所	(n=80)	10.0%	10.0%	23.8%	35.0%	21.3%	7.5%	16.3%	12.5%	42.5%	21.3%
	薬局	(n=82)	11.0%	13.4%	15.9%	26.8%	32.9%	2.4%	8.5%	20.7%	52.4%	15.9%
	訪問看護ステーション	(n=15)	46.7%	33.3%	6.7%	13.3%	0.0%	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	25.3%	13.7%	16.8%	27.4%	16.8%	14.7%	21.1%	21.1%	29.5%	13.7%
	歯科医師	(n=81)	9.9%	9.9%	23.5%	34.6%	22.2%	7.4%	16.0%	12.3%	42.0%	22.2%
	薬剤師	(n=83)	10.8%	13.3%	15.7%	26.5%	33.7%	2.4%	8.4%	20.5%	53.0%	15.7%
	看護師	(n=9)	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
		キ. 地域包括支援センター					ク. 訪問看護ステーション					
全体	(n=285)	19.6%	22.1%	17.2%	25.3%	15.8%	24.2%	20.4%	10.5%	29.8%	15.1%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	15.4%	46.2%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	26.7%	23.3%	17.4%	17.4%	15.1%	31.4%	25.6%	10.5%	18.6%	14.0%
	歯科診療所	(n=80)	7.5%	16.3%	20.0%	37.5%	18.8%	11.3%	12.5%	11.3%	46.3%	18.8%
	薬局	(n=82)	12.2%	24.4%	18.3%	30.5%	14.6%	17.1%	20.7%	14.6%	34.1%	13.4%
	訪問看護ステーション	(n=15)	53.3%	33.3%	6.7%	0.0%	6.7%	53.3%	33.3%	0.0%	6.7%	6.7%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	26.3%	25.3%	15.8%	17.9%	14.7%	33.7%	25.3%	8.4%	18.9%	13.7%
	歯科医師	(n=81)	7.4%	16.0%	19.8%	37.0%	19.8%	11.1%	12.3%	11.1%	45.7%	19.8%
	薬剤師	(n=83)	12.0%	24.1%	19.3%	30.1%	14.5%	16.9%	20.5%	14.5%	34.9%	13.3%
	看護師	(n=9)	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%

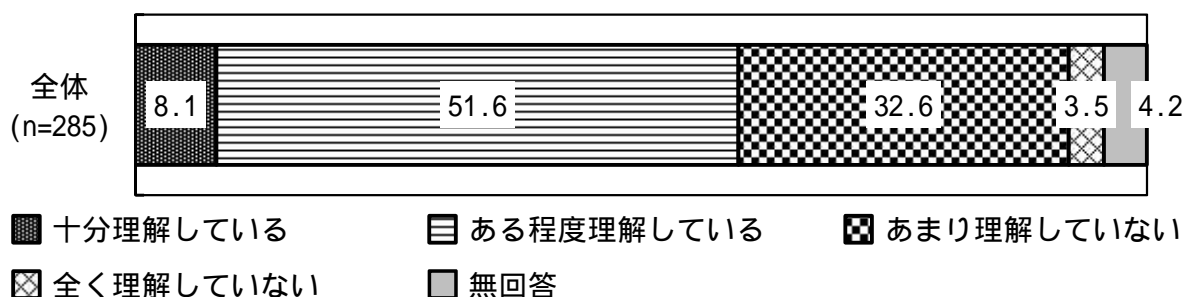
		ケ.ケアマネジャー (介護支援専門員)					コ.ホームヘルパー(訪問看護師)					
		連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	
全体	(n=285)	28.1%	21.1%	12.6%	23.9%	14.4%	10.2%	19.3%	22.5%	33.0%	15.1%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	38.5%	23.1%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	30.8%	23.1%	23.1%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	26.7%	27.9%	17.4%	16.3%	11.6%	9.3%	20.9%	25.6%	30.2%	14.0%
	歯科診療所	(n=80)	17.5%	15.0%	13.8%	33.8%	20.0%	8.8%	13.8%	20.0%	38.8%	18.8%
	薬局	(n=82)	23.2%	22.0%	11.0%	30.5%	13.4%	7.3%	14.6%	23.2%	40.2%	14.6%
	訪問看護ステーション	(n=15)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	27.4%	29.5%	14.7%	16.8%	11.6%	8.4%	22.1%	26.3%	29.5%	13.7%
	歯科医師	(n=81)	17.3%	14.8%	13.6%	33.3%	21.0%	8.6%	13.6%	19.8%	38.3%	19.8%
	薬剤師	(n=83)	22.9%	21.7%	12.0%	30.1%	13.3%	7.2%	14.5%	22.9%	41.0%	14.5%
	看護師	(n=9)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%
全体	(n=285)	8.4%	13.7%	22.5%	39.6%	15.8%	10.2%	14.0%	20.4%	40.7%	14.7%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	7.7%	30.8%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	30.8%	7.7%	30.8%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	11.6%	16.3%	26.7%	30.2%	15.1%	16.3%	23.3%	20.9%	27.9%	11.6%
	歯科診療所	(n=80)	6.3%	10.0%	18.8%	46.3%	18.8%	6.3%	6.3%	20.0%	48.8%	18.8%
	薬局	(n=82)	2.4%	7.3%	19.5%	54.9%	15.9%	1.2%	6.1%	17.1%	59.8%	15.9%
	訪問看護ステーション	(n=15)	33.3%	40.0%	26.7%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	12.5%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	10.5%	17.9%	26.3%	30.5%	14.7%	15.8%	24.2%	20.0%	28.4%	11.6%
	歯科医師	(n=81)	6.2%	9.9%	18.5%	45.7%	19.8%	6.2%	6.2%	19.8%	48.1%	19.8%
	薬剤師	(n=83)	2.4%	7.2%	19.3%	55.4%	15.7%	1.2%	6.0%	16.9%	60.2%	15.7%
	看護師	(n=9)	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%
全体	(n=285)	6.3%	13.3%	18.6%	45.6%	16.1%	8.4%	12.3%	16.8%	46.3%	16.1%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	7.7%	38.5%	15.4%	23.1%	15.4%	15.4%	23.1%	15.4%	30.8%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	10.5%	19.8%	16.3%	39.5%	14.0%	7.0%	10.5%	22.1%	46.5%	14.0%
	歯科診療所	(n=80)	3.8%	8.8%	17.5%	50.0%	20.0%	12.5%	20.0%	13.8%	33.8%	20.0%
	薬局	(n=82)	0.0%	7.3%	14.6%	62.2%	15.9%	2.4%	4.9%	11.0%	65.9%	15.9%
	訪問看護ステーション	(n=15)	26.7%	13.3%	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	13.3%	26.7%	40.0%	6.7%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	9.5%	22.1%	16.8%	37.9%	13.7%	8.4%	12.6%	20.0%	45.3%	13.7%
	歯科医師	(n=81)	3.7%	8.6%	17.3%	49.4%	21.0%	12.3%	19.8%	13.6%	33.3%	21.0%
	薬剤師	(n=83)	0.0%	7.2%	14.5%	62.7%	15.7%	2.4%	4.8%	10.8%	66.3%	15.7%
	看護師	(n=9)	33.3%	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%
全体	(n=285)	8.1%	11.6%	17.5%	46.7%	16.1%	8.1%	11.6%	17.5%	46.7%	16.1%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	15.4%	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	10.5%	10.5%	22.1%	43.0%	14.0%	10.5%	10.5%	22.1%	43.0%	14.0%
	歯科診療所	(n=80)	8.8%	15.0%	18.8%	37.5%	20.0%	8.8%	15.0%	18.8%	37.5%	20.0%
	薬局	(n=82)	1.2%	4.9%	9.8%	68.3%	15.9%	1.2%	4.9%	9.8%	68.3%	15.9%
	訪問看護ステーション	(n=15)	13.3%	13.3%	33.3%	33.3%	6.7%	13.3%	13.3%	33.3%	33.3%	6.7%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	10.5%	11.6%	21.1%	43.2%	13.7%	10.5%	11.6%	21.1%	43.2%	13.7%
	歯科医師	(n=81)	8.6%	14.8%	18.5%	37.0%	21.0%	8.6%	14.8%	18.5%	37.0%	21.0%
	薬剤師	(n=83)	1.2%	4.8%	9.6%	68.7%	15.7%	1.2%	4.8%	9.6%	68.7%	15.7%
	看護師	(n=9)	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%

問7 あなたは、介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度理解していますか。

(1つに)

- ・「十分理解している」(8.1%)、「ある程度理解している」(51.6%)を合わせた割合は59.7%となっている。
- ・一方、「あまり理解していない」(32.6%)、「全く理解していない」(3.5%)を合わせた割合は36.1%となっている。
- ・『訪問看護ステーション』では、「十分理解している」(26.7%)、「ある程度理解している」(66.7%)を合わせた割合は93.4%となっている。

(%)

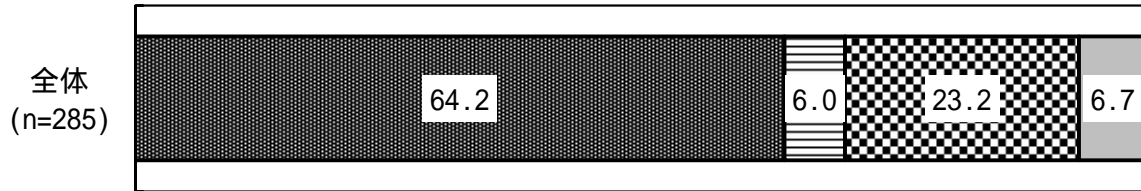


		十分理解している	ある程度理解している	あまり理解していない	全く理解していない	無回答	
全体	(n=285)	8.1%	51.6%	32.6%	3.5%	4.2%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有)	(n=13)	0.0%	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%
	一般診療所 (在宅支援・届出無)	(n=86)	14.0%	48.8%	30.2%	2.3%	4.7%
	歯科診療所	(n=80)	3.8%	43.8%	41.3%	7.5%	3.8%
	薬局	(n=82)	3.7%	52.4%	37.8%	2.4%	3.7%
	訪問看護ステーション	(n=15)	26.7%	66.7%	6.7%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	12.5%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%
職種 (6種)	医師	(n=95)	11.6%	52.6%	29.5%	2.1%	4.2%
	歯科医師	(n=81)	3.7%	43.2%	40.7%	7.4%	4.9%
	薬剤師	(n=83)	3.6%	53.0%	37.3%	2.4%	3.6%
	看護師	(n=9)	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%

問8 あなたは、在宅医療に関してどのようにお考えですか。(1つに)

- ・「関心がある」が64.2%、「積極的に関わりたい」が6.0%、「関心がない」が23.2%となっている。
- ・「関心がない」は、『医師』では35.8%、『歯科医師』では23.5%、『薬剤師』では14.5%となっている。

(%)



■ 関心がある ■ 積極的に関わりたい ■ 関心がない ■ 無回答

		関心がある	積極的に関わりたい	関心がない	無回答
全 体 (n=285)		64.2%	6.0%	23.2%	6.7%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	69.2%	15.4%	0.0%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	50.0%	4.7%	39.5%	5.8%
	歯科診療所 (n=80)	63.8%	3.8%	23.8%	8.8%
	薬局 (n=82)	75.6%	4.9%	14.6%	4.9%
	訪問看護ステーション (n=15)	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	75.0%	0.0%	12.5%	12.5%
職種 (6種)	医師 (n=95)	52.6%	5.3%	35.8%	6.3%
	歯科医師 (n=81)	63.0%	3.7%	23.5%	9.9%
	薬剤師 (n=83)	75.9%	4.8%	14.5%	4.8%
	看護師 (n=9)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%

問8で「2. 積極的に関わりたい」とお答えの方におたずねします

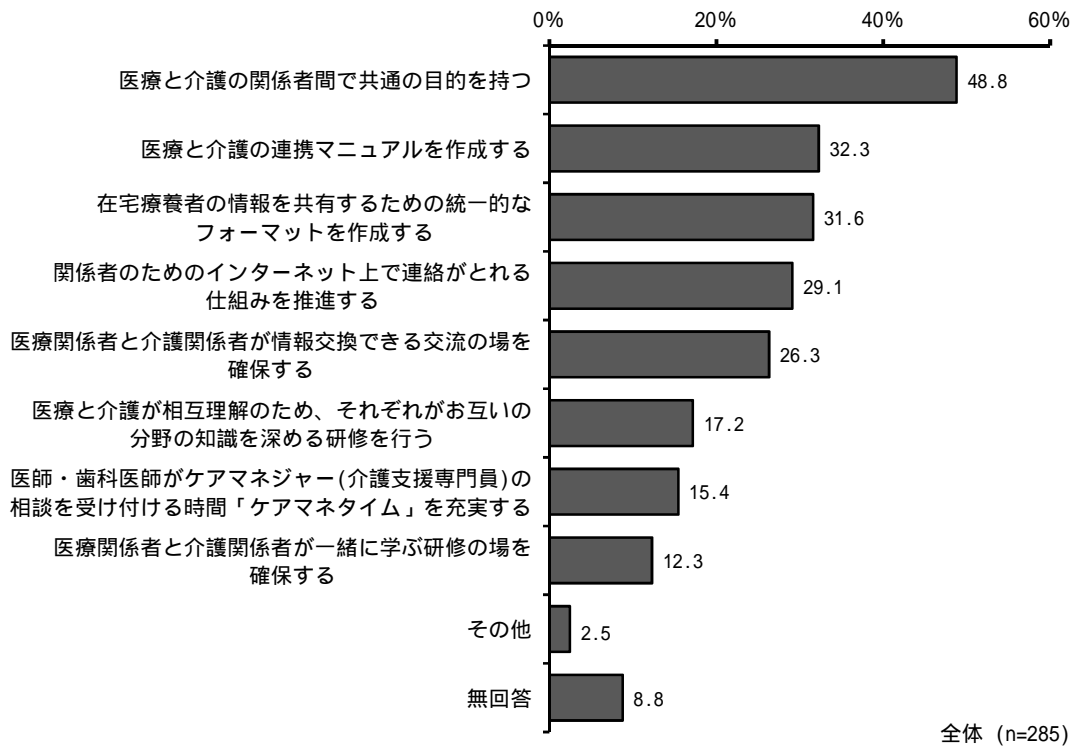
問8-1 あなたは、どのように関わりたいとお考えですか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、16件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
在宅医療 (医科・歯科・薬科・看護)	11
介護との連携	4
その他	1

問9 あなたは、医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。
(3つまでに)

- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」(48.8%)が最も多く、次いで「医療と介護の連携マニュアルを作成する」(32.3%)、「在宅療養者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する」(31.6%)、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する」(29.1%)、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」(26.3%)と続いている。
- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」は、『一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）』では76.9%となっている。

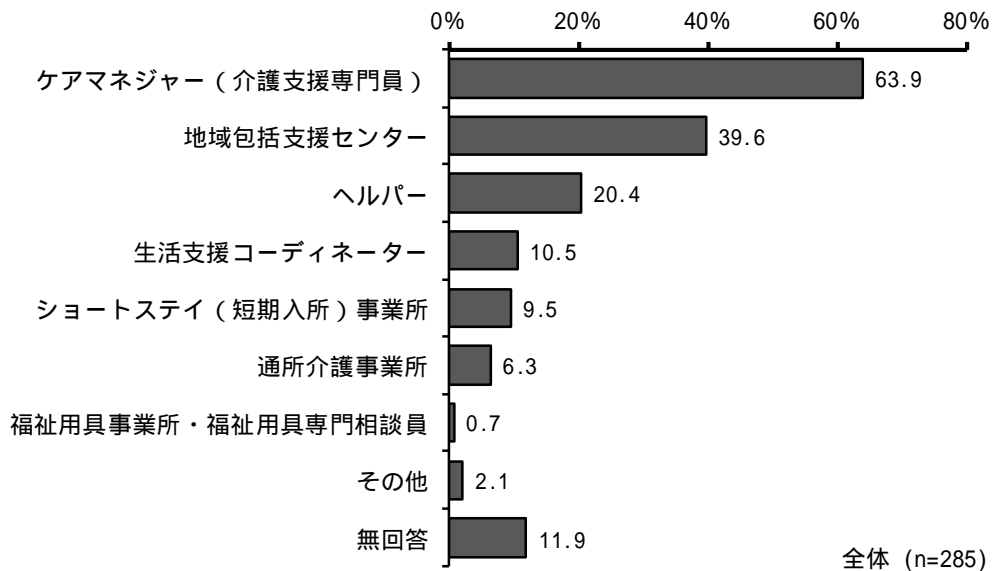


		医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	医療と介護の連携マニュアルを作成する	在宅療養者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する	関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う	医師・歯科医師がケアマネジャー(介護支援専門員)の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する	医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	その他	無回答
全体 (n=285)		48.8%	32.3%	31.6%	29.1%	26.3%	17.2%	15.4%	12.3%	2.5%	8.8%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	76.9%	15.4%	23.1%	30.8%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	50.0%	32.3%	29.1%	27.9%	10.5%	8.1%	2.3%	11.6%	2.3%	11.6%
	歯科診療所 (n=80)	43.8%	32.3%	33.8%	21.3%	16.3%	21.3%	22.5%	2.5%	2.5%	7.5%
	薬局 (n=82)	42.7%	32.9%	32.9%	37.8%	13.4%	19.5%	2.4%	7.3%	2.4%	7.3%
	訪問看護ステーション (n=15)	66.7%	13.3%	20.0%	33.3%	13.3%	33.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	62.5%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	53.7%	28.4%	34.7%	23.2%	8.4%	28.4%	9.5%	10.5%	2.1%	10.5%
	歯科医師 (n=81)	43.2%	33.3%	39.5%	21.0%	16.0%	21.0%	22.2%	8.6%	2.5%	8.6%
	薬剤師 (n=83)	43.4%	32.5%	26.5%	37.3%	13.3%	20.5%	2.4%	7.2%	2.4%	7.2%
	看護師 (n=9)	88.9%	11.1%	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	57.1%	28.6%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%

問10 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える事業所や介護職は何ですか。

(2つまでに)

- ・「ケアマネジャー（介護支援専門員）」(63.9%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(39.6%)、「ヘルパー」(20.4%)と続いている。
- ・「地域包括支援センター」の割合は、『訪問看護師』では0.0%、『医師』では47.4%と、職種による差がみられる。

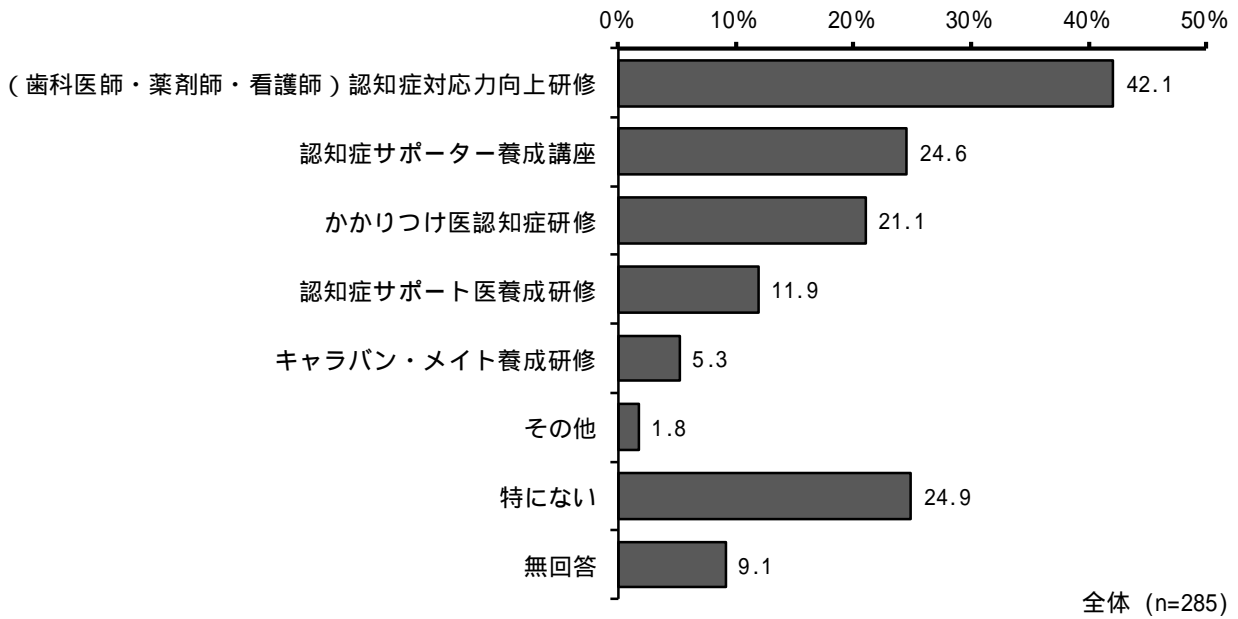


		(ケアマネジャー 介護支援専門員)	地域包括支援センター	(ショートステイ 短期入所) 事業所	通所介護事業所	ヘルパー	生活支援コーディネーター	福祉用具事業所・福祉用具専門相談員	その他	無回答
全体	(n=285)	63.9%	39.6%	9.5%	6.3%	20.4%	10.5%	0.7%	2.1%	11.9%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有)	(n=13) 76.9%	46.2%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
	一般診療所 (在宅支援・届出無)	(n=86) 66.3%	47.7%	12.8%	4.7%	16.3%	12.8%	0.0%	1.2%	10.5%
	歯科診療所	(n=80) 61.3%	32.5%	10.0%	6.3%	21.3%	11.3%	0.0%	1.3%	16.3%
	薬局	(n=82) 59.8%	42.7%	6.1%	7.3%	20.7%	8.5%	2.4%	2.4%	11.0%
	訪問看護ステーション	(n=15) 73.3%	13.3%	6.7%	13.3%	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8) 75.0%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%
職種 (6種)	医師	(n=95) 67.4%	47.4%	11.6%	4.2%	16.8%	12.6%	0.0%	1.1%	9.5%
	歯科医師	(n=81) 60.5%	32.1%	9.9%	6.2%	21.0%	11.1%	0.0%	1.2%	17.3%
	薬剤師	(n=83) 60.2%	43.4%	6.0%	7.2%	20.5%	8.4%	2.4%	2.4%	10.8%
	看護師	(n=9) 77.8%	33.3%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	訪問看護師	(n=6) 66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7) 85.7%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%

問11 あなたは今後、次のような認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けてみたいですか。

(いくつでも)

- ・「(歯科医師・薬剤師・看護師)認知症対応力向上研修」(42.1%)が最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」(24.6%)、「かかりつけ医認知症研修」(21.1%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は24.9%となっている。
- ・「認知症サポーター養成講座」は、『薬剤師』(32.5%)、『看護師』(33.3%)、『訪問看護師』(66.7%)の割合が高くなっている。

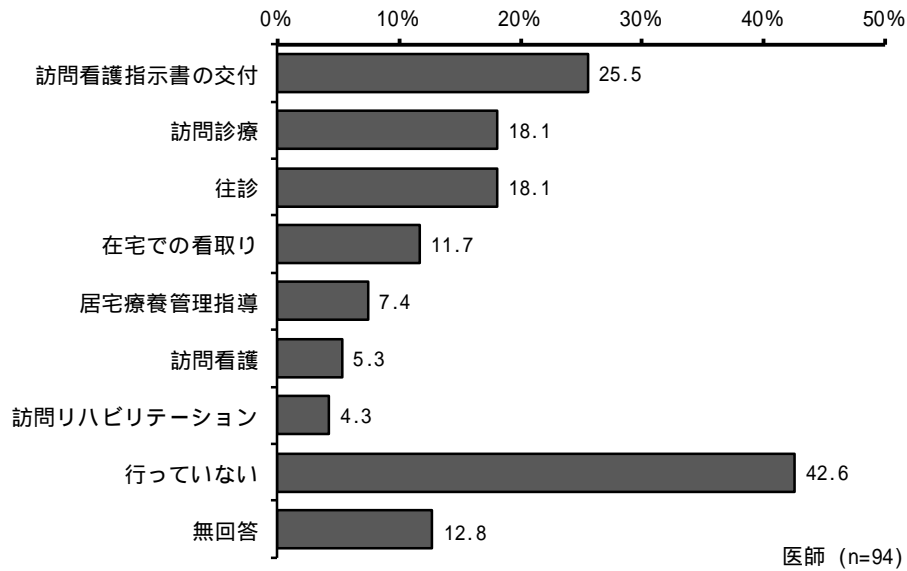


		認知症サポーター養成講座	キャラバン・メイト養成研修	かかりつけ医認知症研修	認知症サポート医養成研修	師(歯科医師・薬剤師・看護師)認知症対応力向上研修	その他	特にない	無回答
全 体 (n=285)		24.6%	5.3%	21.1%	11.9%	42.1%	1.8%	24.9%	9.1%
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有) (n=13)	30.8%	0.0%	23.1%	15.4%	38.5%	0.0%	23.1%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無) (n=86)	8.1%	0.0%	32.6%	12.8%	2.3%	2.3%	40.7%	12.8%
	歯科診療所 (n=80)	28.8%	7.5%	16.3%	12.5%	63.8%	0.0%	17.5%	10.0%
	薬局 (n=82)	32.9%	8.5%	11.0%	9.8%	63.4%	1.2%	15.9%	4.9%
	訪問看護ステーション (n=15)	33.3%	13.3%	33.3%	20.0%	60.0%	13.3%	13.3%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	12.5%
職種 (6種)	医師 (n=95)	9.5%	0.0%	31.6%	12.6%	5.3%	2.1%	41.1%	12.6%
	歯科医師 (n=81)	28.4%	7.4%	16.0%	12.3%	63.0%	0.0%	17.3%	11.1%
	薬剤師 (n=83)	32.5%	8.4%	10.8%	9.6%	63.9%	1.2%	15.7%	4.8%
	看護師 (n=9)	33.3%	11.1%	44.4%	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	66.7%	16.7%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%

(3) 診療所（医師の方）について

問12 現在、あなたの診療所が行っている在宅医療はどれですか。（いくつでも）

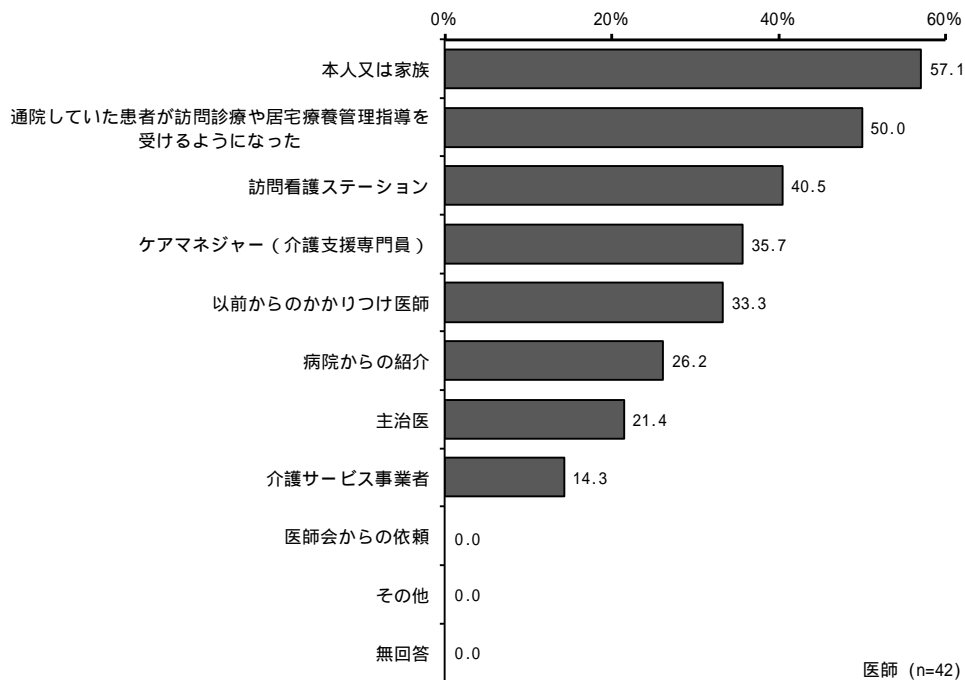
- ・「訪問看護指示書の交付」(25.5%)が最も多く、次いで「訪問診療」「往診」(ともに18.1%)、「在宅での看取り」(11.7%)、「居宅療養管理指導」(7.4%)と続いている。
- ・一方、「行っていない」は42.6%となっている。



問12で「訪問診療」「往診」「在宅での看取り」「居宅療養管理指導」「訪問看護」「訪問看護指示書の交付」「訪問リハビリテーション」とお答えの方におたずねします

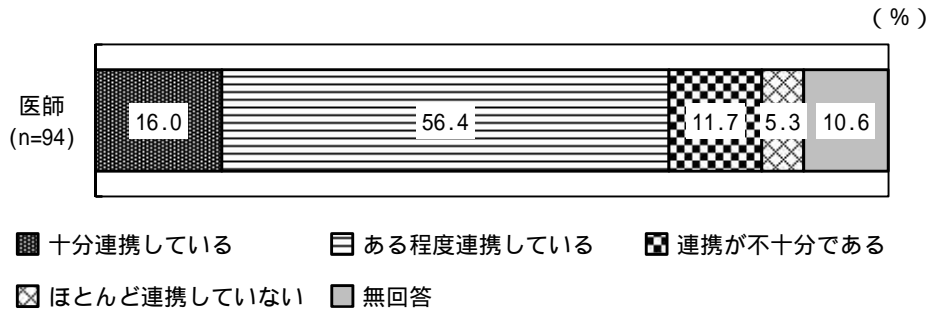
問12-1 訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも）

- ・「本人又は家族」(57.1%)が最も多く、次いで「通院していた患者が訪問診療や居宅療養管理指導を受けるようになった」(50.0%)、「訪問看護ステーション」(40.5%)、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」(35.7%)、「以前からのかかりつけ医師」(33.3%)と続いている。



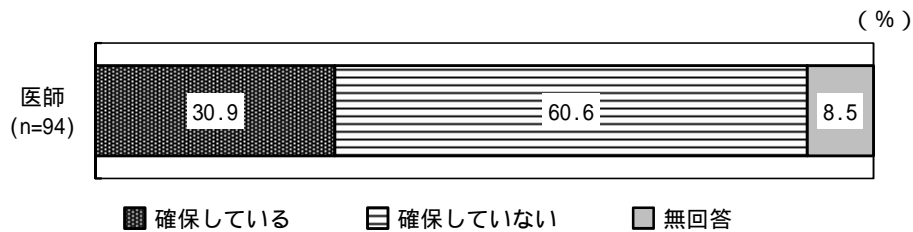
問13 あなたの診療所と、他の医療機関との連携はとれていますか。(1つに)

・「十分連携している・ある程度連携している」の割合は72.4%となっている。一方、「連携が不十分である・ほとんど連携していない」の割合は17.0%となっている。



問14 あなたの診療所では、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに)

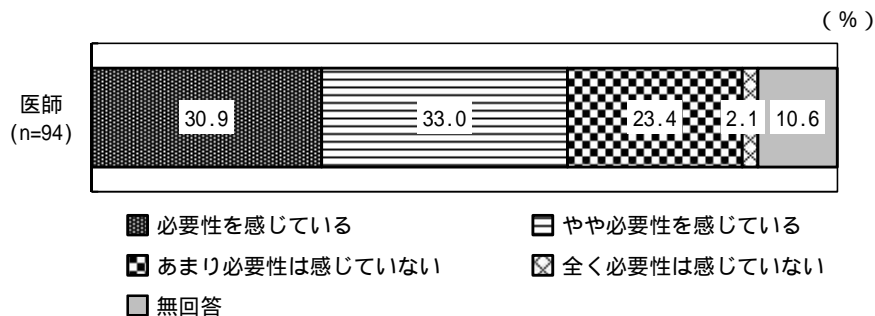
・「確保している」が30.9%、「確保していない」が60.6%となっている。



問15 あなたは、ケアプランの送付と受け取りの必要性についてどのようにお考えですか。

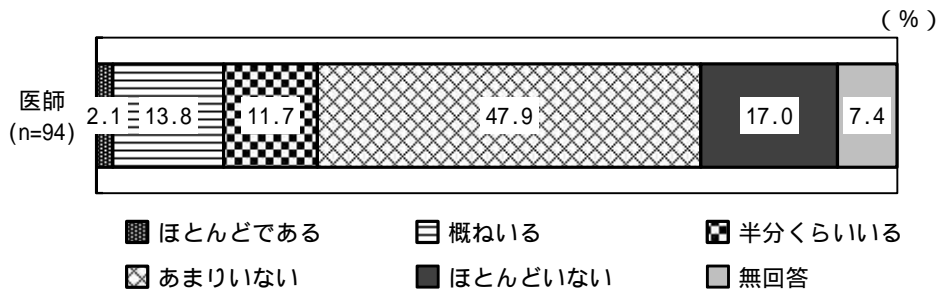
(1つに)

・「必要性を感じている」(30.9%)、「やや必要性を感じている」(33.0%)を合わせた割合は63.9%となっている。一方、「あまり必要性は感じていない」(23.4%)、「全く必要性は感じていない」(2.1%)を合わせた割合は25.5%となっている。



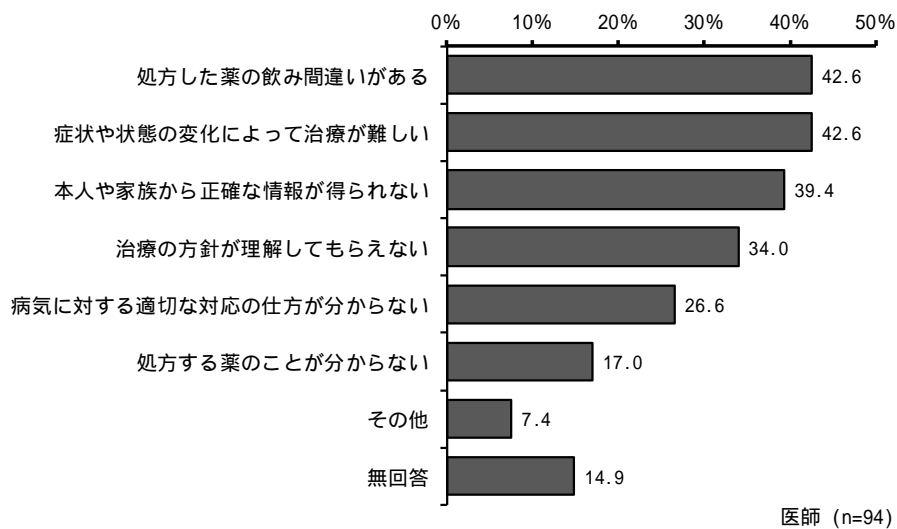
問16 あなたが担当している患者のうち、認知症の症状がある人はどの程度いますか。(1つに)

・「ほとんどである」(2.1%)、「概ねいる」(13.8%)を合わせた割合は15.9%となっている。一方、「あまりいない」(47.9%)、「ほとんどいない」(17.0%)を合わせた割合は64.9%となっている。



問17 あなたが、認知症の方を治療するときに困ることは何ですか。(いくつでも)

・「処方した薬の飲み間違いがある」と「症状や状態の変化によって治療が難しい」(ともに42.6%)が最も多く、次いで「本人や家族から正確な情報が得られない」(39.4%)、「治療の方針が理解してもらえない」(34.0%)、「病気に対する適切な対応の仕方が分からない」(26.6%)と続いている。



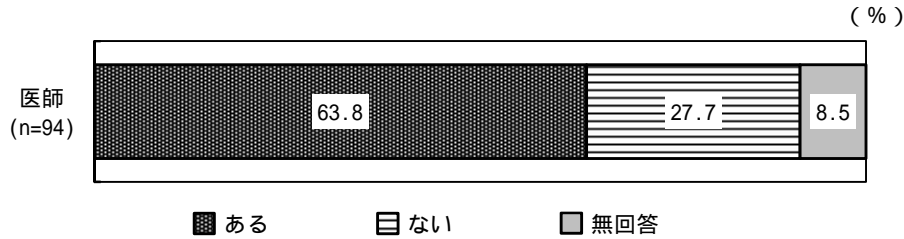
問18 あなたは、認知症サポート医に相談をしたことがありますか。(1つに)

・「ある」が18.1%、「ない」が63.8%、「自分が認知症サポート医である」が9.6%となっている。



問19 あなたは、認知症の方の治療を専門医に紹介することはありますか。(1つに)

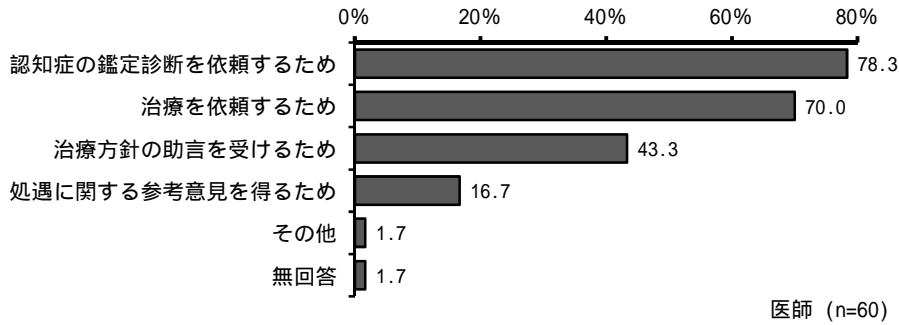
・「ある」が63.8%、「ない」が27.7%となっている。



問19で「ある」と回答した方におたずねします

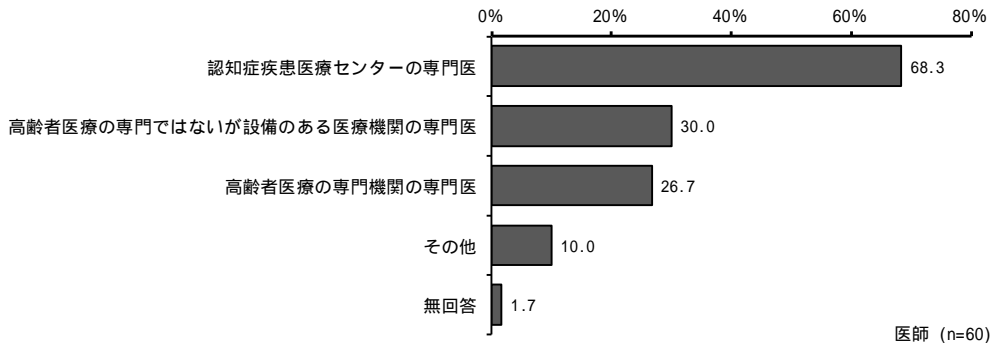
問19-1 どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも)

・「認知症の鑑定診断を依頼するため」(78.3%)が最も多く、次いで「治療を依頼するため」(70.0%)、「治療方針の助言を受けるため」(43.3%)と続いている。



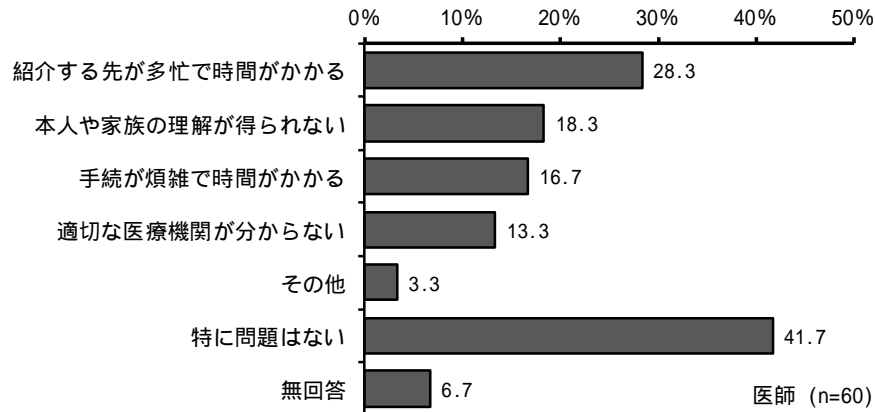
問19-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも)

・「認知症疾患医療センターの専門医」(68.3%)が最も多く、次いで「高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医」(30.0%)、「高齢者医療の専門機関の専門医」(26.7%)となっている。



問 19-3 そのときどのようなことが問題になりますか。(いくつでも)

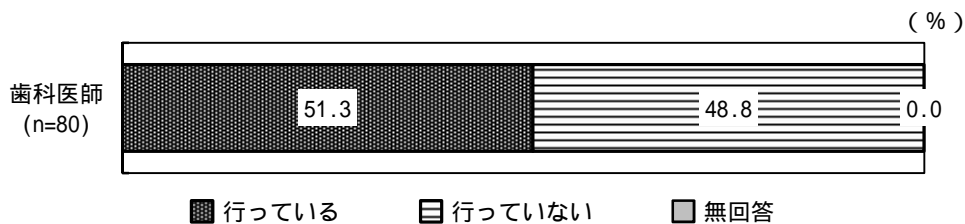
- ・「紹介する先が多忙で時間がかかる」(28.3%)が最も多く、次いで「本人や家族の理解が得られない」(18.3%)、「手順が煩雑で時間がかかる」(16.7%)、「適切な医療機関が分からない」(13.3%)と続いている。
- ・一方、「特に問題はない」は41.7%となっている。



(4) 歯科診療所(歯科医師の方)について

問 20 あなたの歯科診療所では、訪問歯科診療や居宅療養管理指導を行っていますか。(1つに)

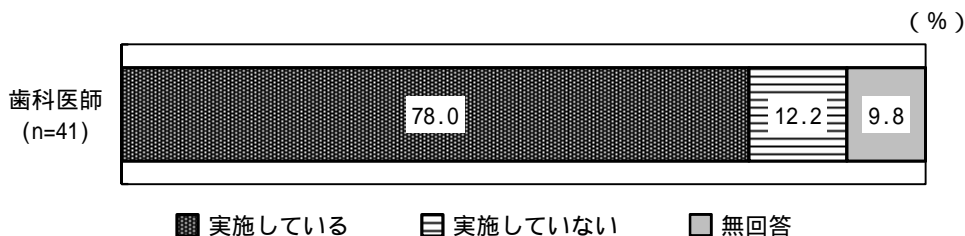
- ・「行っている」が51.3%、「行っていない」が48.8%となっている。



問 20 で「行っている」とお答えの方におたずねします

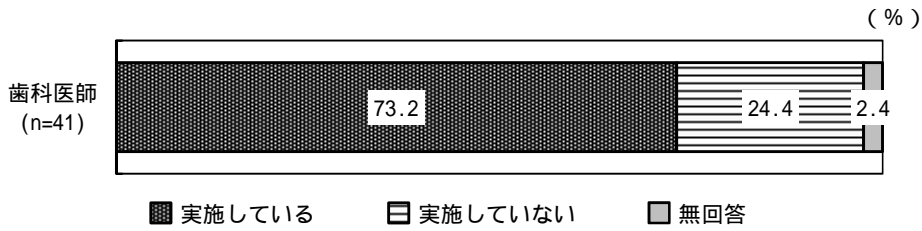
問 20-1 あなたの歯科診療所では、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。(1つに)

- ・「実施している」が78.0%、「実施していない」が12.2%となっている。



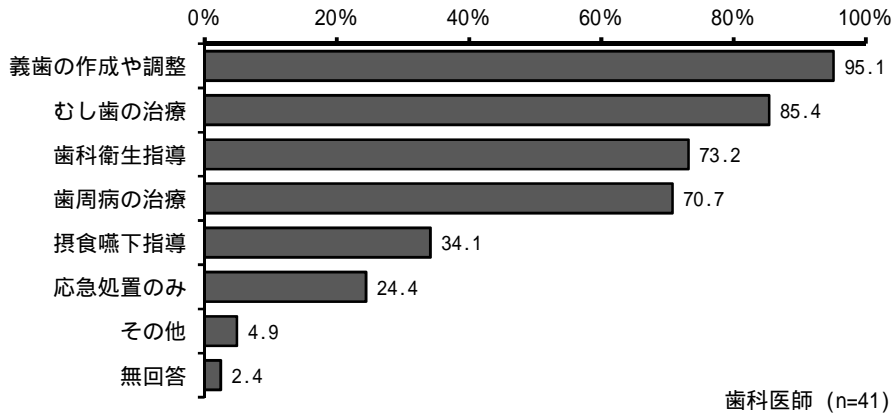
問 20-2 あなたの歯科診療所では、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに)

・「実施している」が73.2%、「実施していない」が24.4%となっている。



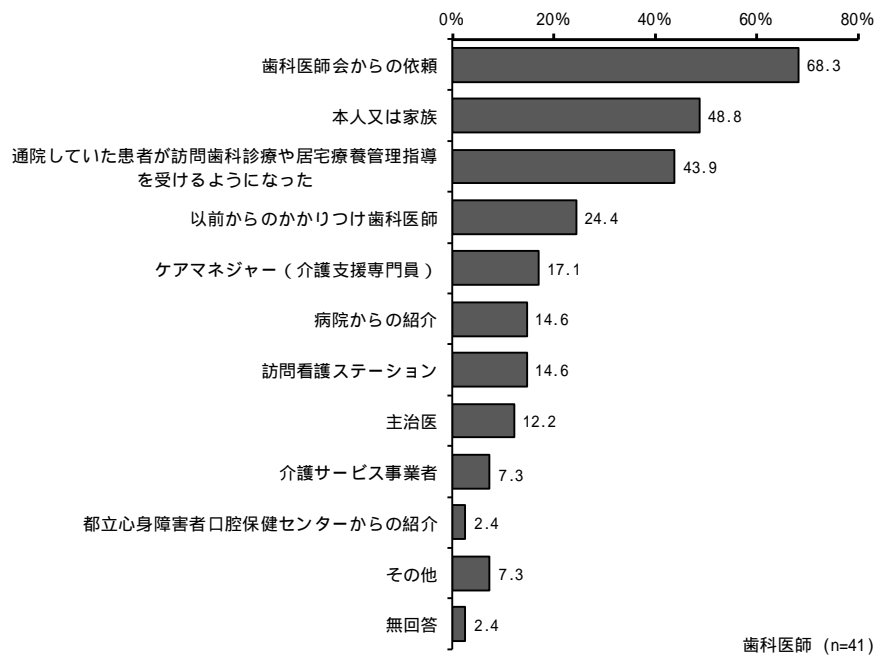
問 20-3 訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも)

・「義歯の作成や調整」(95.1%)が最も多く、次いで「むし歯の治療」(85.4%)、「歯科衛生指導」(73.2%)、「歯周病の治療」(70.7%)と続いている。



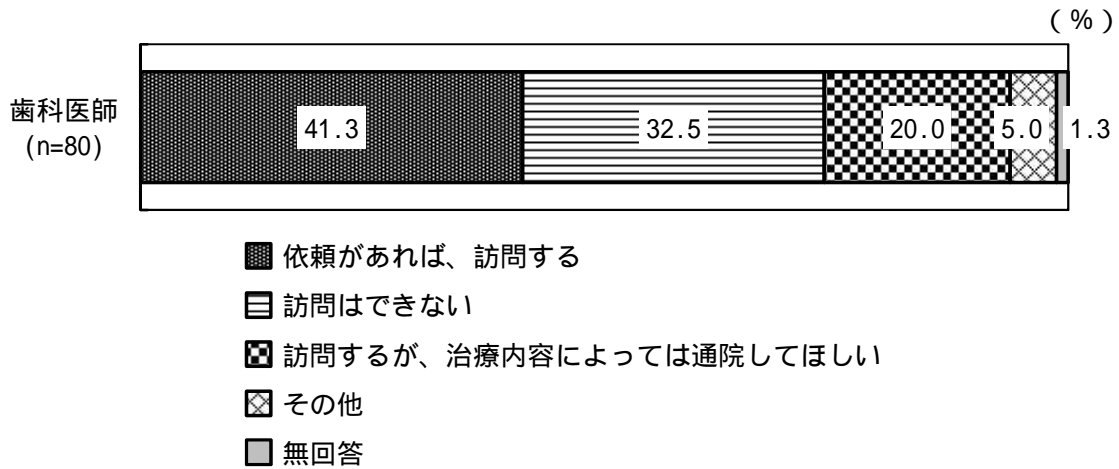
問 20-4 訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも)

・「歯科医師会からの依頼」(68.3%)が最も多く、次いで「本人又は家族」(48.8%)、「通院していた患者が訪問歯科診療や居宅療養管理指導を受けるようになった」(43.9%)と続いている。



問 21 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施は可能ですか。(1つに)

・「依頼があれば、訪問する」(41.3%)、「訪問するが、治療内容によっては通院してほしい」(20.0%)、「訪問はできない」(32.5%)となっている。



問 22 あなたの歯科診療所では、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医(かかりつけ医)と連携していますか。(1つに)

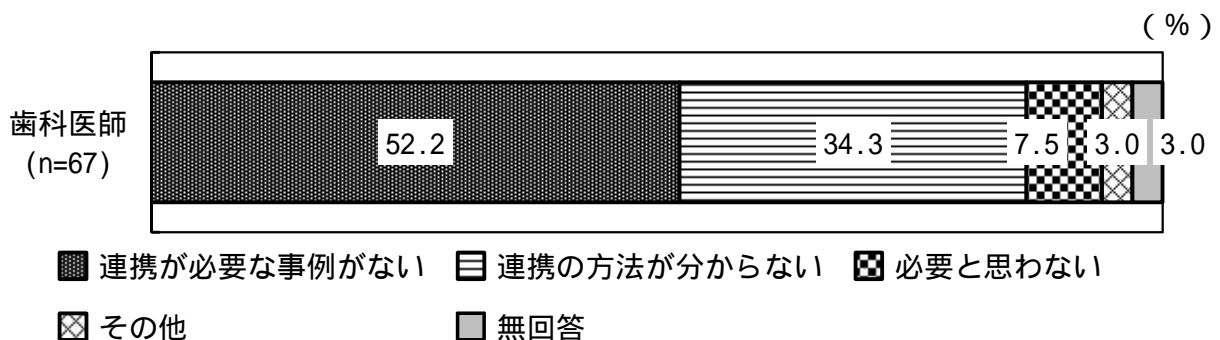
・「連携している」が13.8%、「あまり連携していない」が35.0%、「連携していない」が48.8%となっている。



問 22 で「あまり連携していない」又は「連携していない」とお答えの方におたずねします

問 22-1 その理由は何ですか。(1つに)

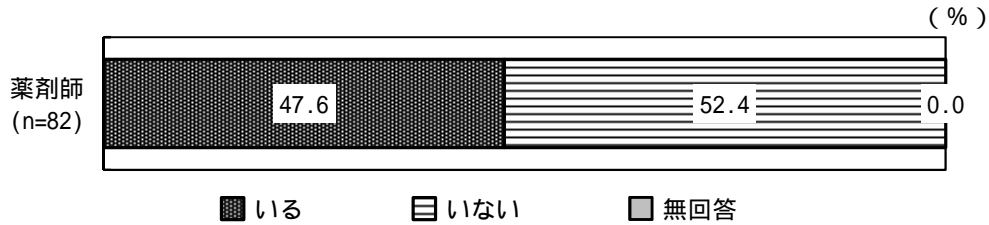
・「連携が必要な事例がない」が52.2%、「連携の方法が分からない」が34.3%、「必要と思わない」が7.5%となっている。



(5) 薬局(薬剤師の方)について

問23 あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導(居宅療養管理指導)を利用している府中市民はいますか。(1つに)

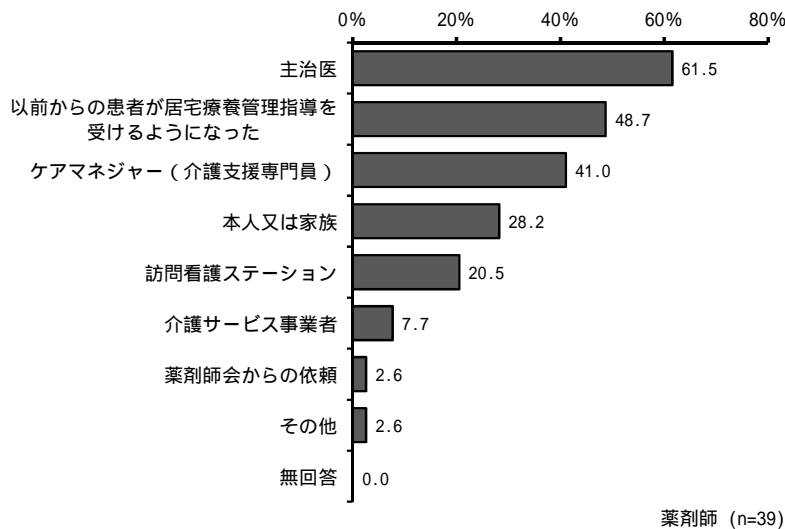
・「いる」が47.6%、「いない」が52.4%となっている。



問23で「いる」とお答えの方におたずねします

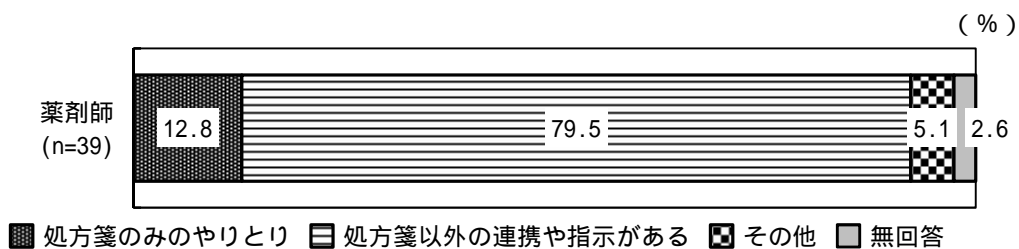
問23-1 居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも)

・「主治医」(61.5%)が最も多く、次いで「以前からの患者が居宅療養管理指導を受けるようになった」(48.7%)、「ケアマネジャー(介護支援専門員)」(41.0%)と続いている。



問23-2 あなたは、医師との連携をどのようにしていますか。(1つに)

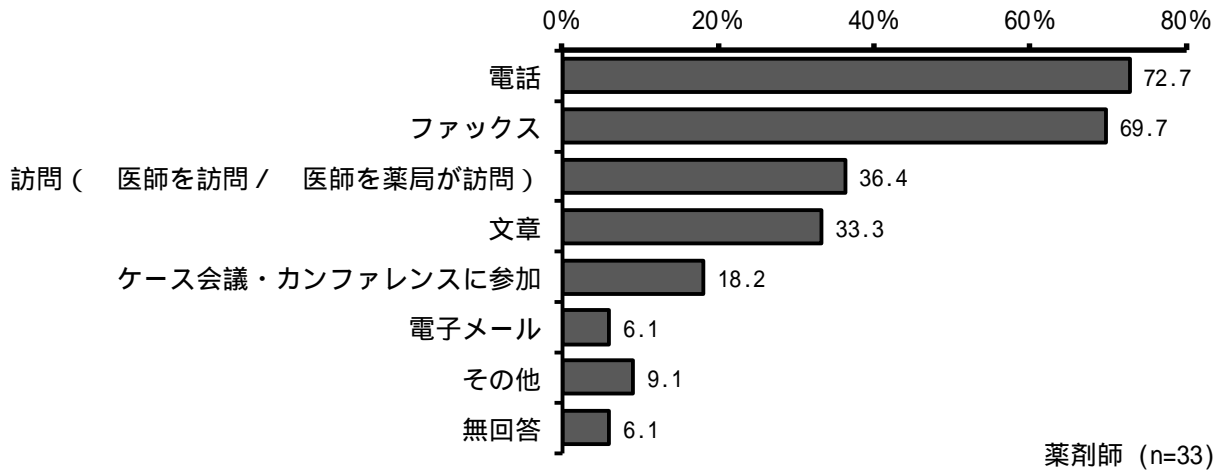
・「処方箋のみのやりとり」が12.8%、「処方箋以外の連携や指示がある」が79.5%となっている。



問 23-2 で「処方箋以外の連携や指示がある」又は「その他」とお答えの方におたずねします

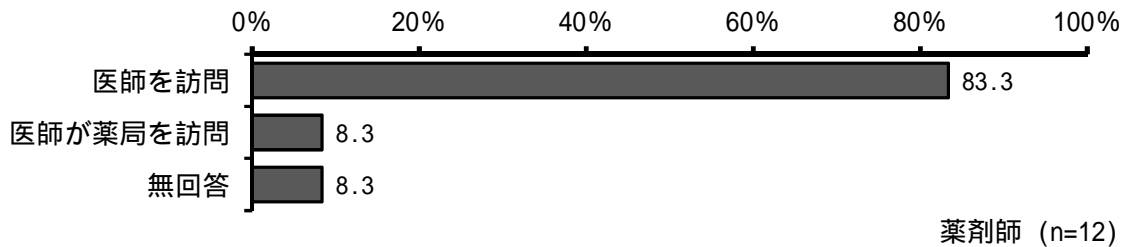
問 23-3 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも)

- ・「電話」(72.7%)が最も多く、次いで「ファックス」(69.7%)、「訪問」(36.4%)、「文章」(33.3%)と続いている。



【訪問】の方法

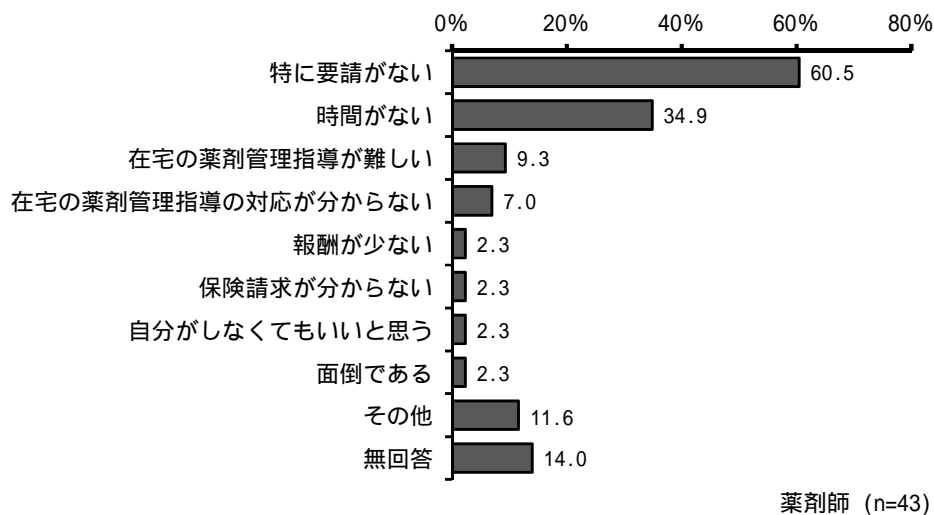
- ・「医師を訪問」が 83.3%、「医師が薬局を訪問」が 8.3%となっている。



問 23 で「いない」とお答えの方におたずねします

問 23-4 いない理由は次のどれですか。(いくつでも)

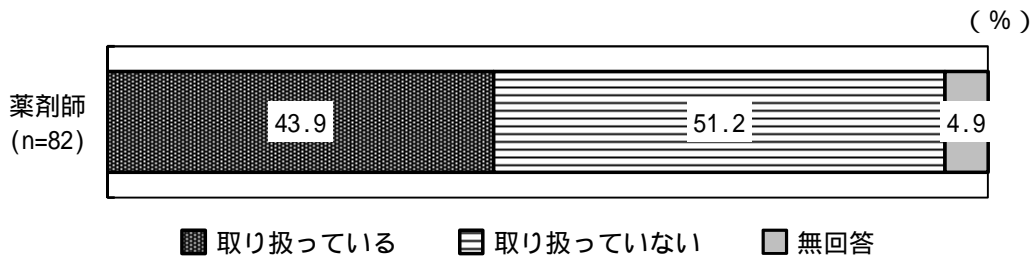
- ・「特に要請がない」(60.5%)が最も多く、次いで「時間がない」(34.9%)、「在宅の薬剤管理指導が難しい」(9.3%)、「在宅の薬剤管理指導の対応が分からない」(7.0%)と続いている。



問24 あなたは、府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋を取り扱っていますか。

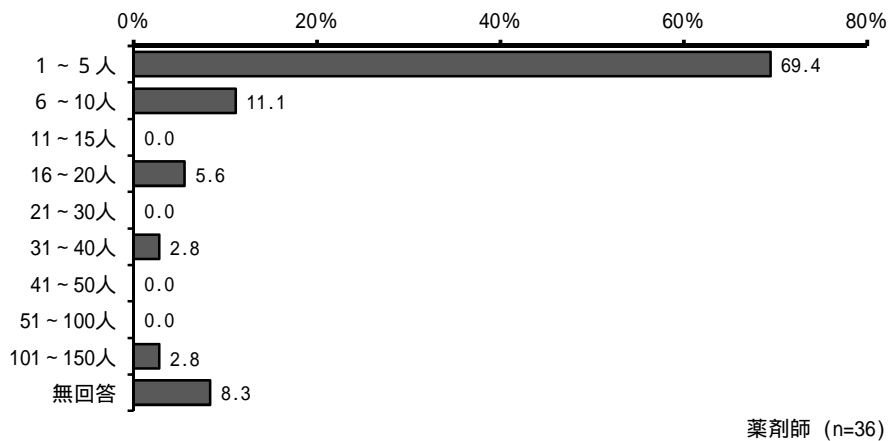
(1つに)

- ・「取り扱っている」が43.9%、「取り扱っていない」が51.2%となっている。



【「取り扱っている」1か月平均の人数】

- ・「1～5人」(69.4%)が最も多く、次いで「6～10人」(11.1%)、「16～20人」(5.6%)、「31～40人」「101～150人」(ともに2.8%)と続いている。

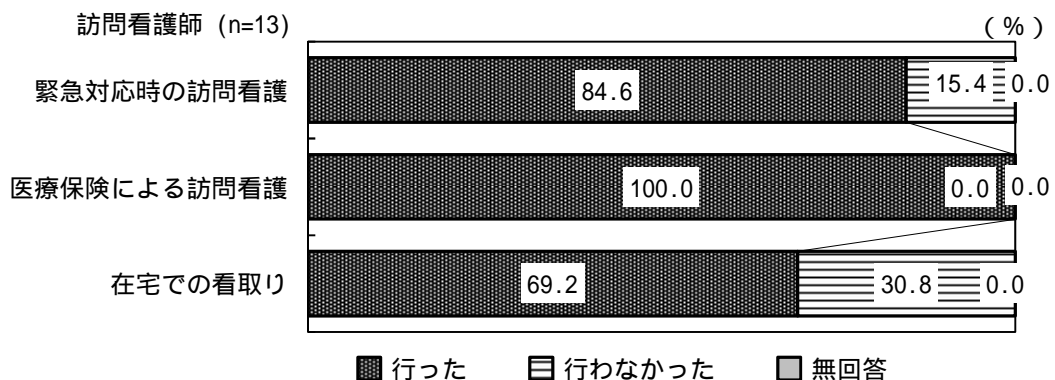


(6) 訪問看護ステーション(訪問看護師の方)について

問25 あなたの訪問看護ステーションでの、令和元年9月中の活動状況をお答えください。

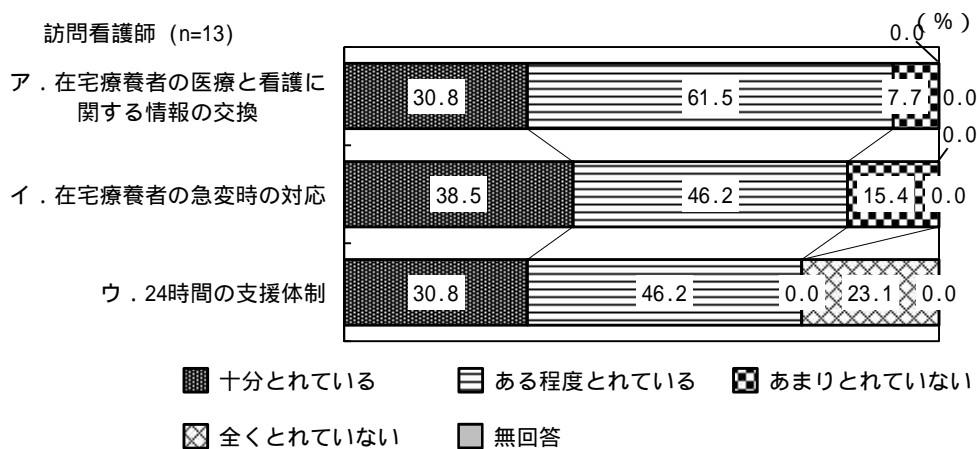
(～それぞれ1つに)

- ・「行った」割合は、『緊急対応時の訪問看護』が84.6%、『医療保険による訪問看護』が100.0%、『在宅での看取り』が69.2%となっている。



問 26 あなたの訪問看護ステーションでは、在宅医療を実施している医療機関とどのような連携をとっていますか。(ア～ウそれぞれ1つに)

- ・『ア．在宅療養者の医療と看護に関する情報の交換』は、「十分とれている」(30.8%)、「ある程度とれている」(61.5%)を合わせた割合は92.3%となっている。一方、「あまりとれていない」(7.7%)、「全くとれていない」(0.0%)を合わせた割合は7.7%となっている。
- ・『イ．在宅療養者の急変時の対応』は、「十分とれている」(38.5%)、「ある程度とれている」(46.2%)を合わせた割合は84.7%となっている。一方、「あまりとれていない」(15.4%)、「全くとれていない」(0.0%)を合わせた割合は15.4%となっている。
- ・『ウ．24時間の支援体制』は、「十分とれている」(30.8%)、「ある程度とれている」(46.2%)を合わせた割合は77.0%となっている。一方、「あまりとれていない」(0.0%)、「全くとれていない」(23.1%)を合わせた割合は23.1%となっている。



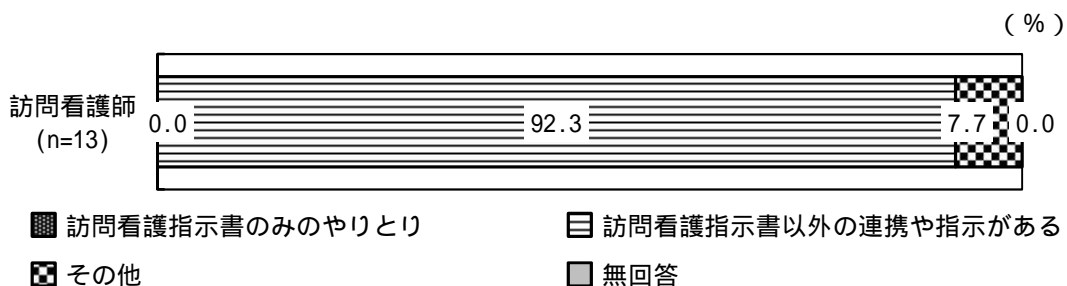
問 26 で、1つでも「あまりとれていない」又は「全くとれていない」とお答えの方におたずねします

問 26-1 在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、4件の回答があった。

問 27 あなたは、医師との連携をどのようにとっていますか。(1つに)

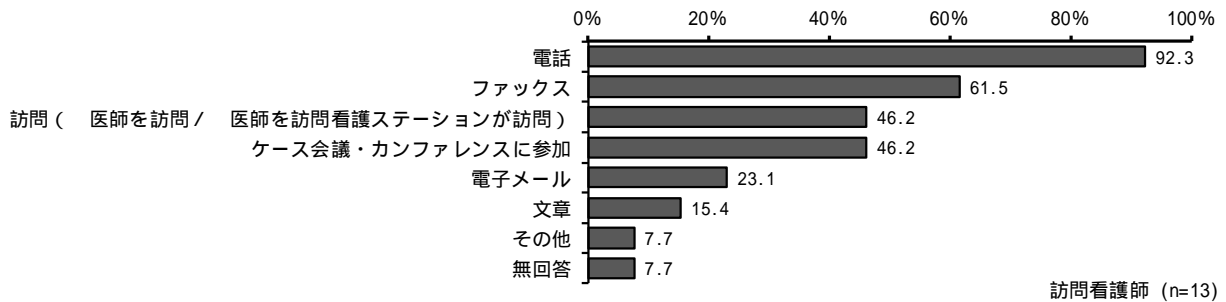
- ・「訪問看護指示書以外の連携や指示がある」が92.3%となっている。



問 27 で「訪問看護指示書以外の連携や指示がある」又は「その他」とお答えの方におたずねします

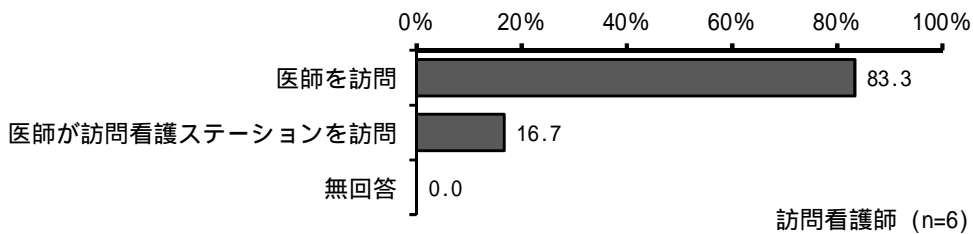
問 27-1 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも)

- ・「電話」(92.3%)が最も多く、次いで「ファックス」(61.5%)、「訪問」「ケース会議・カンファレンスに参加」(ともに 46.2%)、「電子メール」(23.1%)と続いている。



【訪問】の方法

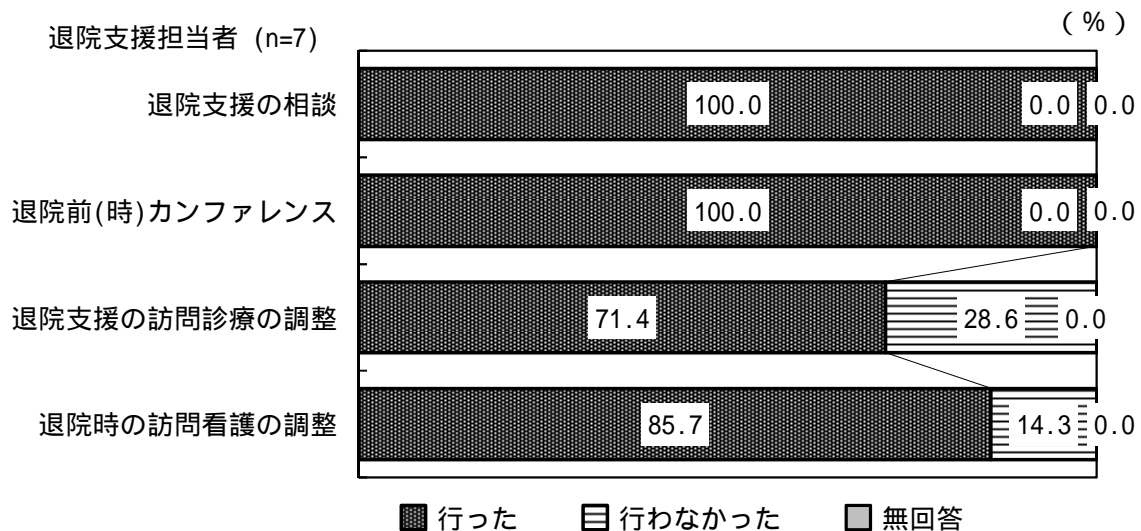
- ・「医師を訪問」が 83.3%、「医師が訪問看護ステーションを訪問」が 16.7%となっている。



(7) 病院の退院支援担当医者(医療ソーシャルワーカー、看護師)について

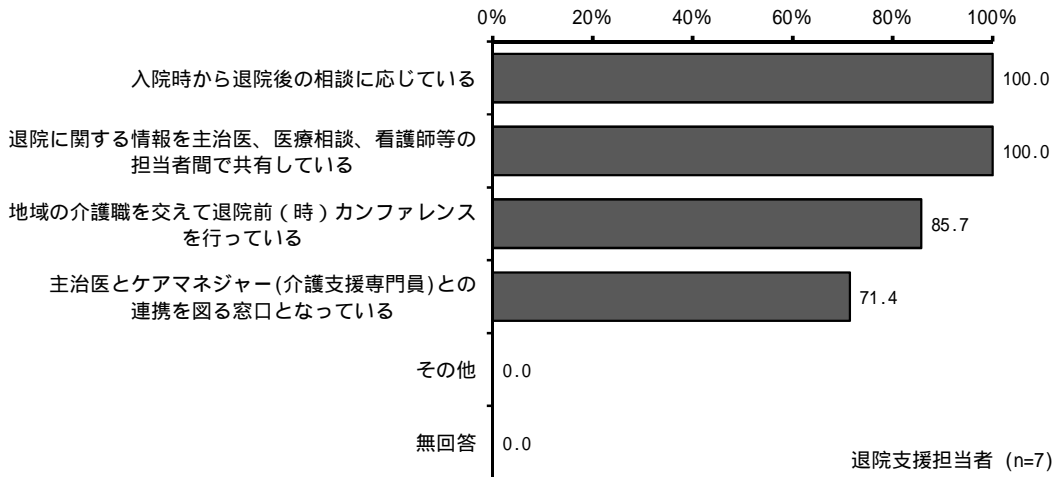
問 28 貴医院における令和元年9月中の活動状況をお答えください。(~ それぞれ1つに)

- ・「行った」割合は、『退院支援の相談』『退院前(時)カンファレンス』がともに 100.0%、『退院支援の訪問診療の調整』が 71.4%、『退院時の訪問看護の調整』が 85.7%となっている。



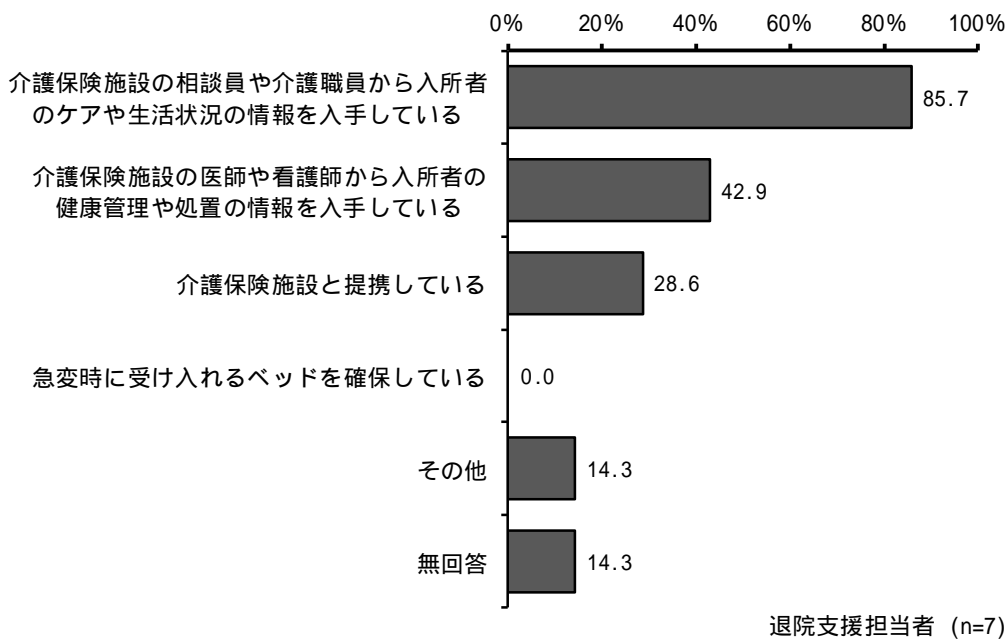
問29 貴医院では、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも)

- ・「入院時から退院後の相談に応じている」と「退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している」(ともに100.0%)が最も多く、次いで「地域の介護職を交えて退院前(時)カンファレンスを行っている」(85.7%)、「主治医とケアマネジャー(介護支援専門員)との連携を図る窓口となっている」(71.4%)と続いている。



問30 あなたは、介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも)

- ・「介護保険施設の相談員や介護職員から入所者のケアや生活状況の情報を入手している」(85.7%)が最も多く、次いで「介護保険施設の医師や看護師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している」(42.9%)、「介護保険施設と提携している」(28.6%)と続いている。



(8) 地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携について

ここからは、すべての方がお答えください

問31 あなたは、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、167件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
日常の連絡がとりにくい、情報交換が図りにくい	28
介護事業所やケアマネとの関わりが少ない、一部の事業所との連携しかない、担当者による違いが大きい	14
他機関、他職種・他科の理解不足、連携不足	13
患者・利用者家族との連絡、無理解、協力を求めにくいこと、本人と家族の意向の違い	8
制度やサービスについて	8
時間がない、時間調整	7
認知症のある方への支援	6
支援目標の共有化が十分でない、意識のずれ	5
在宅生活者支援に対する限界（医療の立場で介護との関わりのバランスなど）	3
独居高齢者、キーパーソンの不在	3
スタッフ不足、経験不足	2
患者・利用者の生活実態の把握が不十分	2
在宅医療や介護に関する知識微速	1
その他	31
特になし、関係していない	36

問32 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）、訪問看護師、福祉施設介護員、福祉施設生活相談員、ホームヘルパー（訪問介護員）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、542件（ケアマネジャー（介護支援専門員）：111件、訪問看護師：91件、福祉施設介護員：77件、福祉施設生活相談員：68件、ホームヘルパー（訪問介護員）：86件、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士：81件、その他：28件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

ケアマネジャー（介護支援専門員）

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	62
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	29
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	1
その他	5
特になし	14

訪問看護師

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	36
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	25
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	5
その他	6
特になし	19

福祉施設介護員

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	29
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	23
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	1
その他	2
特になし	22

福祉施設生活相談員

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	23
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	18
その他	3
特になし	24

ホームヘルパー（訪問介護員）

内容	件数
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	31
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	29
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	2
その他	4
特になし	20

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	21
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	35
その他	4
特になし	21

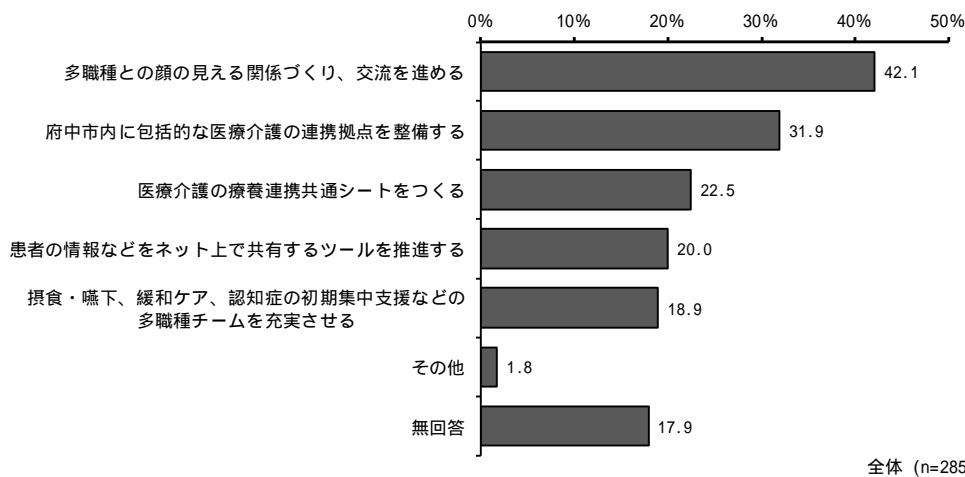
その他

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	8
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	2
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	5
特になし	13

問33 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められています。その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。あなたは、これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

(1) 連携の仕組みづくり(2つまでに)

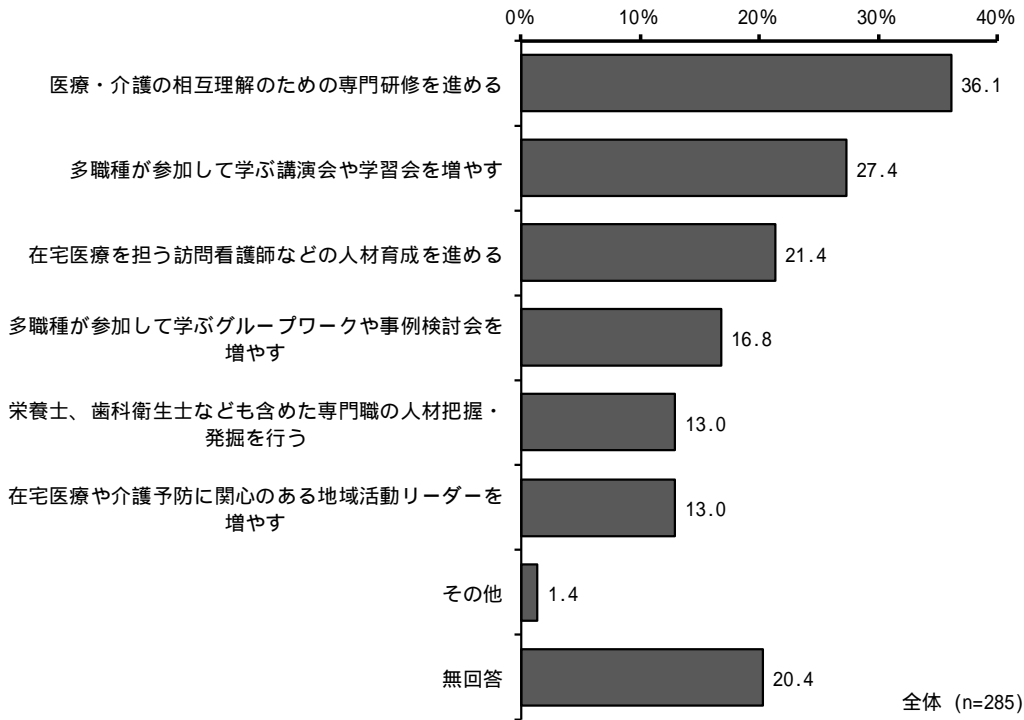
- ・「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」(42.1%)が最も多く、次いで「府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する」(31.9%)、「医療介護の療養連携共通シートをつくる」(22.5%)、「患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する」(20.0%)、「摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる」(18.9%)と続いている。
- ・「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」は、『医師』(34.7%)の割合が低く、『訪問看護師』(66.7%)で高くなっている。



		多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める	府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する	医療介護の療養連携共通シートをつくる	患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する	摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる	その他	無回答
全体 (n=285)		42.1%	31.9%	22.5%	20.0%	18.9%	1.8%	17.9%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	53.8%	38.5%	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%	23.1%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	32.6%	31.4%	23.3%	14.0%	24.4%	1.2%	19.8%
	歯科診療所 (n=80)	41.3%	28.8%	16.3%	10.0%	25.0%	1.3%	27.5%
	薬局 (n=82)	47.6%	36.6%	25.6%	32.9%	7.3%	3.7%	8.5%
	訪問看護ステーション (n=15)	60.0%	20.0%	26.7%	26.7%	26.7%	0.0%	13.3%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	50.0%	25.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	34.7%	32.6%	22.1%	14.7%	22.1%	1.1%	20.0%
	歯科医師 (n=81)	40.7%	28.4%	16.0%	9.9%	24.7%	1.2%	28.4%
	薬剤師 (n=83)	48.2%	36.1%	26.5%	32.5%	7.2%	3.6%	8.4%
	看護師 (n=9)	55.6%	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%	11.1%
	訪問看護師 (n=6)	66.7%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	57.1%	14.3%	57.1%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%

問33(2) 地域の人材育成(2つまでに)

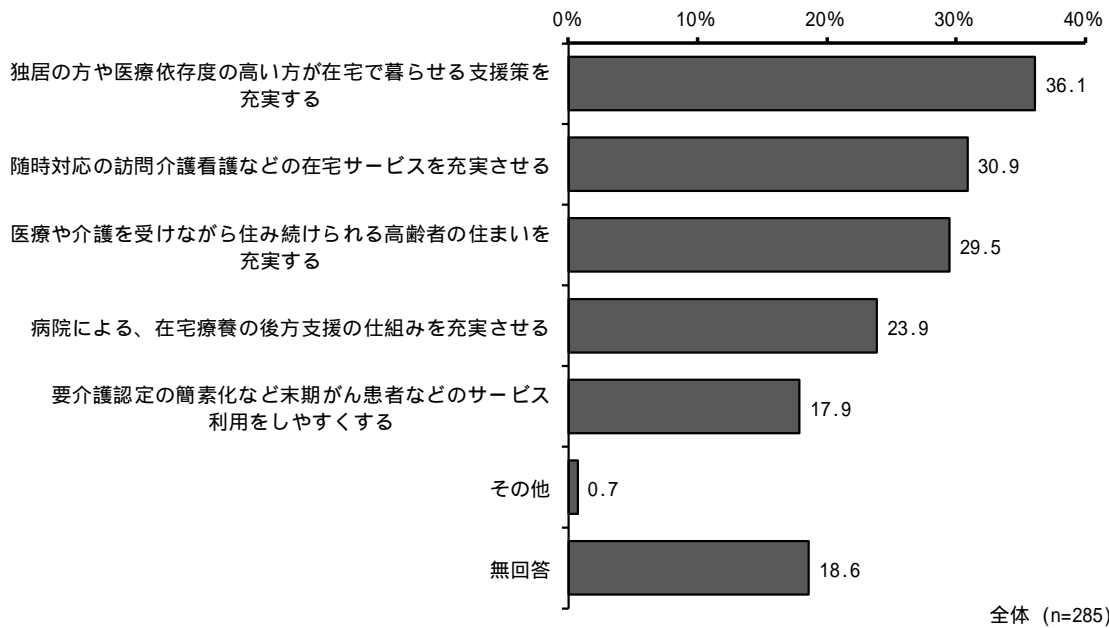
- ・「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」(36.1%)が最も多く、次いで「多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす」(27.4%)、「在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める」(21.4%)、「多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす」(16.8%)、「栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う」と「在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす」(ともに13.0%)と続いている。
- ・「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」の割合は、『看護師』(22.2%)で低く、『医療ソーシャルワーカー』(71.4%)で高くなっている。



	医療・介護の相互理解のための専門研修を進める	発掘をた行う専門職の人材把握・も	多職種が参加して学ぶ講演	をル多増やす	増ある在宅医療や活動リーダーに関心	在宅医療を担う訪問看護師	その他	無回答	
全体 (n=285)	36.1%	13.0%	27.4%	16.8%	13.0%	21.4%	1.4%	20.4%	
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	30.8%	15.4%	23.1%	7.7%	38.5%	23.1%	0.0%	23.1%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	26.7%	12.8%	22.1%	16.3%	15.1%	32.6%	1.2%	19.8%
	歯科診療所 (n=80)	38.8%	22.5%	23.8%	10.0%	5.0%	13.8%	2.5%	30.0%
	薬局 (n=82)	43.9%	6.1%	37.8%	24.4%	13.4%	9.8%	1.2%	13.4%
	訪問看護ステーション (n=15)	33.3%	0.0%	20.0%	33.3%	13.3%	33.3%	0.0%	20.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	25.3%	13.7%	21.1%	14.7%	18.9%	32.6%	1.1%	20.0%
	歯科医師 (n=81)	38.3%	22.2%	23.5%	9.9%	4.9%	13.6%	2.5%	30.9%
	薬剤師 (n=83)	44.6%	6.0%	38.6%	24.1%	13.3%	9.6%	1.2%	13.3%
	看護師 (n=9)	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%
	訪問看護師 (n=6)	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	33.3%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	71.4%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%

問33(3) サービス・基盤整備(2つまでに)

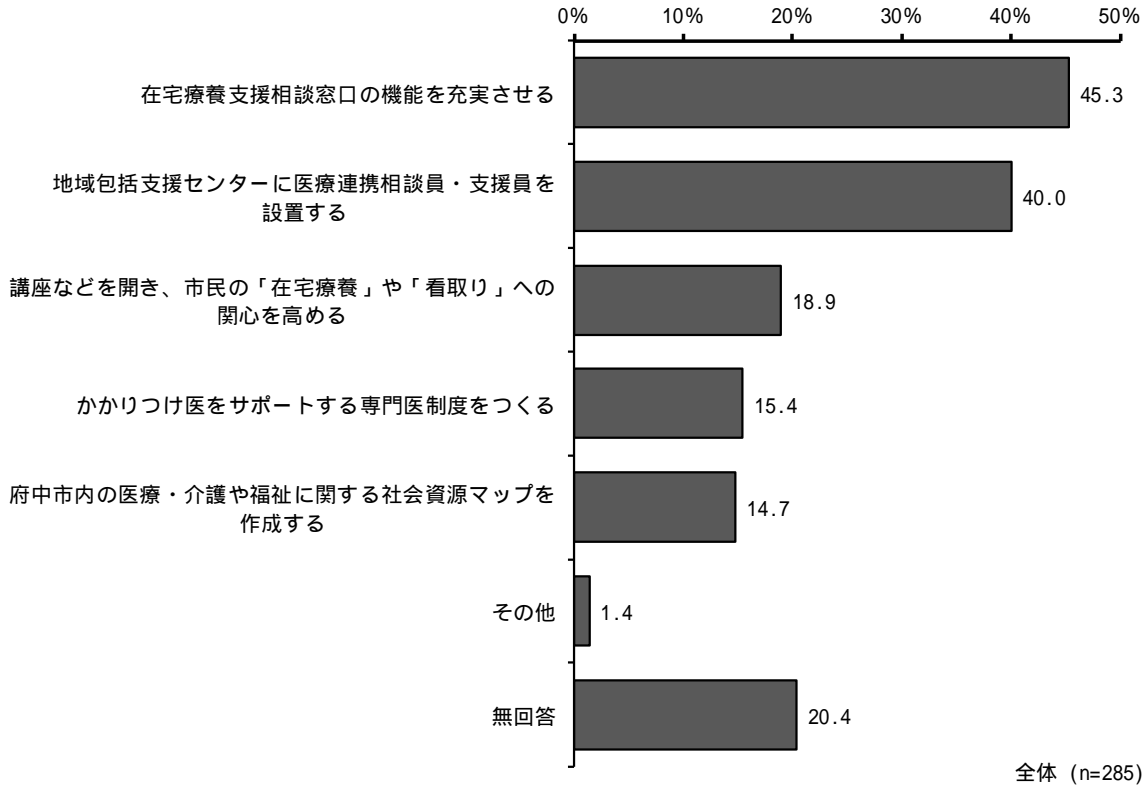
- ・「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」(36.1%)が最も多く、次いで「随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる」(30.9%)、「医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する」(29.5%)、「病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる」(23.9%)、「要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすくする」(17.9%)と続いている。
- ・「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」は、各職種ともに最も高い割合となっている。



		随時対応の訪問介護看護など	支援院の仕組みを在宅療養の後方	充実する在宅で暮らせる在宅療養の	独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる在宅療養の	充実する在宅で暮らせる在宅療養の	医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する	要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすくする	その他	無回答
全体	(n=285)	30.9%	23.9%	36.1%	29.5%	17.9%	0.7%	18.6%		
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有)	(n=13)	15.4%	46.2%	30.8%	23.1%	23.1%	0.0%	23.1%	
	一般診療所 (在宅支援・届出無)	(n=86)	32.6%	27.9%	36.0%	29.1%	14.0%	0.0%	18.6%	
	歯科診療所	(n=80)	31.3%	17.5%	32.5%	28.8%	12.5%	1.3%	28.8%	
	薬局	(n=82)	31.7%	23.2%	36.6%	34.1%	20.7%	1.2%	11.0%	
	訪問看護ステーション	(n=15)	20.0%	33.3%	46.7%	13.3%	46.7%	0.0%	13.3%	
病院の退院支援担当者	(n=8)	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
職種 (6種)	医師	(n=95)	31.6%	29.5%	34.7%	28.4%	14.7%	0.0%	18.9%	
	歯科医師	(n=81)	30.9%	17.3%	32.1%	28.4%	12.3%	1.2%	29.6%	
	薬剤師	(n=83)	31.3%	24.1%	37.3%	33.7%	20.5%	1.2%	10.8%	
	看護師	(n=9)	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	55.6%	0.0%	11.1%	
	訪問看護師	(n=6)	33.3%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	
医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	0.0%	57.1%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%		

問33(4) 情報提供・相談支援の充実(2つまでに)

- ・「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」(45.3%)が最も多く、次いで「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」(40.0%)、「講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める」(18.9%)、「かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる」(15.4%)、「府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する」(14.7%)と続いている。
- ・「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」の割合は、『医師』『歯科医師』『薬剤師』はともに45%程度となっている。



		機能 在宅 療養 支援 相談 窓口 の 充 実 さ せ る	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー に 医 療 連 携 相 談 員 ・ 支 援 員 を 設 置 す る	専 門 医 制 度 を サ ポ ー ト す る	講 座 な ど を 開 き 、 市 民 の 「 在 宅 療 養 」 や 「 看 取 り 」 へ の 関 心 を 高 め る	府 中 市 内 の 医 療 ・ 介 護 や 福 祉 に 関 す る 社 会 資 源 マ ッ プ を 作 成 す る	そ の 他	無 回 答	
全 体	(n=285)	45.3%	40.0%	15.4%	18.9%	14.7%	1.4%	20.4%	
所属医療 機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	53.8%	38.5%	15.4%	30.8%	0.0%	0.0%	23.1%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	40.7%	46.5%	11.6%	16.3%	14.0%	2.3%	22.1%
	歯科診療所	(n=80)	47.5%	35.0%	17.5%	11.3%	13.8%	2.5%	27.5%
	薬局	(n=82)	45.1%	39.0%	13.4%	25.6%	19.5%	0.0%	14.6%
	訪問看護ステーション	(n=15)	33.3%	26.7%	46.7%	26.7%	6.7%	0.0%	13.3%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	75.0%	62.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	44.2%	46.3%	11.6%	16.8%	11.6%	1.1%	22.1%
	歯科医師	(n=81)	46.9%	34.6%	17.3%	11.1%	13.6%	2.5%	28.4%
	薬剤師	(n=83)	45.8%	38.6%	13.3%	26.5%	19.3%	0.0%	14.5%
	看護師	(n=9)	22.2%	33.3%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	50.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	71.4%	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%

問34 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、介護保険制度、医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、65件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
医療・介護の連携について	28
制度、サービス、事業について	20
在宅療養について	5
市民への啓蒙・周知について	3
アンケートについて	1
その他	2
特になし	6

6 - 2 調査結果から見えた課題

医療と介護の連携の推進

- ・医療と介護の連携について、「連携が不十分・ほとんど連携していない」と思う割合は合わせて29.1%となるが、その内訳は医療機関や職種により、0.0%から34.9%まで差が大きい。(問3)
- ・「連携が不十分、ほとんど連携していない」理由は、前回調査と同様に「誰と連絡をとればいいのかわからない」(43.4%)、「お互いに多忙で連絡がとれない」(42.2%)、「交流の場がない」(41.0%)が多くなっている。一方、これらの理由は、医療機関の種別や職種により、割合の違いがみられるなど、視点の違いがうかがえる。(問3-1)
- ・介護保険制度及び介護保険サービスの理解について、「あまり理解していない」「全く理解していない」は全体では36.1%で、0%の職種もみられる一方で、歯科医師では48.1%と、職種による差が大きい。(問7)
- ・自由意見(問34)では、「医療・介護連携」に関する意見が28件(意見総数65件)と最も多く、「顔が見える関係づくりは大切ですが、サービス担当者での情報共有ツールが大切」「各々の職種の方が各々の専門的な立場から意見を言い合える場」などの意見があった。

医療と介護の連携を進めるためには、単に顔の見える関係ではなく、医療と介護がお互いを理解し、共通の目標のもとで情報交換ができる交流の場の設定や、情報共有ツールの構築などの連携策が必要である。

地域包括ケアシステムの充実に向けて

- ・医療と介護の連携を進めるうえで、連携の仕組みづくりに必要なことは、「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」が全体では42.1%と高く、医療機関の種別、職種別にみても、共通して高い割合となっている。(問33(1))
- ・地域の人材育成に必要なことは、「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」が全体では36.1%で、医療機関の種別、職種別にみても、共通して高い割合となっている。(問33(2))
- ・サービス・基盤整備に必要なことは、「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」が最も多く36.1%、医療機関の種別、職種別にみても、共通して高い割合となっている。(問33(3))
- ・相談支援・情報提供に必要なことは、「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」(45.3%)、「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」(40.0%)と高く、医療機関の種別や職種により割合に差はみられるものの、いずれも高い割合となっている。(問33(4))

地域包括ケアシステムの充実に向けて、医療介護連携の点においても地域包括支援センターの果たす役割は今後ますます重要となるため、その機能強化が求められている。